和雑誌
バックナンバー在庫目録

2018年度版

このカタログには、出版社の医学書院と多数の学会誌など弊社取り扱いのバックナンバーが
一冊から購入できるようリストされています。
尚、品切れの場合もございますので、在庫は前もってE－mail、FAX、お電話にてご確認ください。

ご注文は、直接当社宛に、E－mailもしくはFAXにてお申込み下さい。

ご注文商品は請求書等同封の上、郵便または宅配便で発送いたします。
尚、表示価格は消費税込みの価格です。

商品がお手元に届きましたら現品ご確認の上、郵便振替もしくは銀行振込みにて3週間以内に
お支払い下さい。
尚、送金手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします。

このカタログにリストされていないお探しの洋雑誌・和雑誌のバックナンバーがございましたら、
何なりとお問い合わせ下さい。1冊でもお探しして速やかにご返事申し上げます。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11
電話(03)5947-4781　FAX(03)3923-4539
E-Mail : st@toabook.com
代表取締役　　鶴　三郎

学術雑誌バックナンバーの専門店です。
1966年創業
ホームページアドレス
http://www.toabook.com
WEBショップアドレス
http://toabook.shop-pro.jp/

1	**アディクションと家族：日本嗜癖行動学会誌（家族機能研究所）**		
	Vol. 14#3 (1997)		¥1,728
	Vol. 15#1,3,4 (1998)	各号	¥1,728
	Vol. 16#2,3 (1999)	各号	¥1,728
	Vol. 17-28 (2000-2011/2012) 各1-4号	各号	¥1,728
2	**アドレリアン（日本アドラー心理学会）**		
	Vol. 2#1 (1987)		¥1,620
	Vol. 4#1 (1990)		¥1,620
	Vol. 13#3 (2000)		¥1,620
	Vol. 15#2 (2001)		¥1,620
	Vol. 16#3 (2003)		¥1,620
	Vol. 17#1 (2003)		¥1,620
	Vol. 24-27 (2010/2011-2013/2014) 各1-3号	各号	¥1,620
	Vol. 28#1,2 (2014/2015)	各号	¥1,620
3	**Advances in Exercise and Sports Physiology（日本運動生理学会）**		
	Vol. 1-3 (1995-1997) 各1-2号	各号	¥3,780
	Vol. 4-19 (1998-2013) 各1-4号	各号	¥3,780
	Vol. 20#1 (2014)		¥3,780
4	**エアロゾル研究 = Journal of aerosol research（エアロゾル研究協議会）**		
	Vol. 1#1-4 (1986)	各号	¥3,240
	Vol. 2#2-4 (1987)	各号	¥3,240
	Vol. 3#1-4 (1988)	各号	¥3,240
	Vol. 4#1,2 (1989)	各号	¥3,240
	Vol. 5#1-4 (1990)	各号	¥3,240
	Vol. 6#1-4 (1991)	各号	¥3,240
	Vol. 7#1-4 (1992)	各号	¥3,240
	Vol. 8#1-4 (1993)	各号	¥3,240
	Vol. 9#1-4 (1994)	各号	¥3,240
	Vol. 10#1-4 (1995)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1-4 (1996)	各号	¥3,240
	Vol. 12#1-4 (1997)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1-4 (1998)	各号	¥3,240
	Vol. 14#1-4 (1999)	各号	¥3,240
	Vol. 15#1-4 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 16#1-4 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1-4 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 18#1-4 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 19#1-4,Special Issue (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1-4 (2005)	各号	¥3,240
5	**Aesthetic Dermatology 日本美容皮膚科学会雑誌（日本美容皮膚科学会）**		
	Vol. 16#2 (2006)		¥2,700
	Vol. 17#1,2,4 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 18#1-4 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 19#1,3,4 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 20#1-3 (2010)	各号	¥2,700
6	**Aesthetics（美学会）**		
	No. 3-9,11 (1988-2004)	各号	¥1,296

7	**愛知学院大学歯学会誌**		
	Vol. 39#1,2 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 42#2-4 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 43#1-4 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 44#1-3 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 45#1-4 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 46#1 (2008)		¥2,160
8	**アルコール医療研究（嗜癖問題研究所・星和書店）**		
	Vol. 1-5 (1984-1988) 各1-4号	各号	¥1,728
	Vol. 6#1-3 (1989)	各号	¥1,728
	Vol. 7#2-4 (1990)	各号	¥1,728
	Vol. 8#2-4 (1991)	各号	¥1,728
9	**アルコール依存とアディクション（嗜癖問題臨床研究所・星和書店）**		
	Vol. 9#4 (1992)		¥1,728
	Vol. 10#1,3,4 (1993)	各号	¥1,728
	Vol. 11#2,4 (1994)	各号	¥1,728
	Vol. 12#1,4 (1995)	各号	¥1,728
	Vol. 14#2 (1997)		¥1,728
10	**アルコール研究（日本アルコール医学会）**		
	Vol. 1-15 (1966-1980) 各1-4号	各号	¥2,160
11	**アルコール研究と薬物依存（日本アルコール医学会）**		
	Vol. 16-23 (1981-1988) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 24-30 (1989-1995) 各1-6号	各号	¥2,160
12	**アレキサンダー研究会会誌（アレキサンダー研究会）**		
	No. 11-20 (1996-2005)	各号	¥2,700
	No. 20 別冊 (2005)	各号	¥2,700
	No. 22-26 (2007-2011)	各号	¥2,700
13	**アレルギー科 Allergology（科学評論社）**		
	Vol. 13#1,3,5 (2002)	各号	¥2,916
	Vol. 14#1,2,4,6 (2002)	各号	¥2,916
	Vol. 15#1,6 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 16#1-6 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 17#1-5 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 18#2-6 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 19#1-6 (2005)	各号	¥2,916
	Vol. 20#2-6 (2005)	各号	¥2,916
14	**アレルギー・免疫（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 15#1-3 (2008)	各号	¥2,700
15	**アレルギーの臨床 Allergy in Practice（北隆館）**		
	No. 268-270 (2000)	各号	¥2,057
	No. 271-273,279,280 (2001)	各号	¥2,057
	No. 285-288,290,297 (2002)	各号	¥2,057
	No. 299-301 (2003)	各号	¥2,057
	No. 313-315,325 (2004)	各号	¥2,057
	No. 327-329 (2005)	各号	¥2,057

16	**Anatomical Science International (日本解剖学会)**		
	Vol. 77-78 (2002-2003) 各1-4号	各号	¥12,960
	Vol. 79#1-4 (2004) 各1-4号,Supplement	各号	¥12,960
	Vol. 80-83 (2006-2008) 各1-4号	各号	¥12,960
	Vol. 84#1/2 (2009)		¥25,920
	Vol. 84#3,4 (2009)	各号	¥12,960
	Vol. 85#1-4 (2010)	各号	¥12,960
品切	Vol. 86#1 (2011)		¥12,960
	Vol. 86#2-4 (2011)	各号	¥12,960
	Vol. 87#1-4(2012)	各号	¥12,960
	Vol. 88#1-3(2013)	各号	¥12,960
品切	Vol. 88#4(2013)		¥12,960
品切	Vol. 89#1-3(2014)	各号	¥12,960
	Vol. 89#4(2014)		¥12,960
品切	Vol. 90#1-3(2015)	各号	¥12,960
	Vol. 90#4(2015)		¥12,960
17	**Angiology Frontier (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 5#1 (2006); 6#3,4 (2007); 8#1 (2009); 9#2,3 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 10#1 (2011)		¥2,700
18	**Annals of Physiological Anthropology (日本生理人類学会)**		
	Vol. 2-10 (1985-1991) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 11-13 (1992-1993) 各1-6号	各号	¥2,160
19	**Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery**		
	Vol. 13#3 (2007); 14#5,6 (2008); 15#1,3 (2009); 17#2-6 (2011)	各号	¥3,240
20	**Anthropological Science. Japanese Series 人類学雑誌 (日本人類学会)**		
	Vol. 106-120 (1998/99-2012) 各1-2号	各号	¥2,160
21	**Anthropological Science (日本人類学会)**		
	Vol. 101-105 (1993-1997) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 106-111 (1998-2003) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 112-120 (2004-2012) 各1-3号	各号	¥3,240
22	**アンチエイジング医学 日本抗加齢医学会雑誌 Anti-Aging Medicine (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 1#1-3 (2005)	各号	¥1,620
	Vol. 2#1-4 (2006)	各号	¥1,620
	Vol. 3#1,2,4 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 4#1-3 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 5#1-6 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 6#1,4 (2010)	各号	¥1,620
23	**Architectural digest Japan : アーキテクチュラル・ダイジェスト・ジャパン (福武書店)**		
	No.5-14 (Vol. 2#3-12) (1984)	各号	¥2,160
	No.15-21 (Vol. 3#1-7) (1985)	各号	¥2,160
24	**Archives of Histopathologic Differential Diagnosis (大阪・上海・メルボルン病理組織研究会)**		
	Vol. 2-13 (1995-2006)	各巻	¥5,400
25	**Aromatherapy and Environment (日本アロマ環境協会)**		
	No. 36-62 (2005-2011)	各号	¥1,080
26	**アロマテラピー学雑誌 (日本アロマ環境協会)**		
	Vol. 1-11 (2001-2011) 各1号	各号	¥1,620
27	**Aromatopia アロマトピア (フレグランスジャーナル社)**		
	No. 1-75 (1992-2006)	各号	¥1,851

28	**Arterial Stiffness 動脈壁の硬化と老化（メジカルビュー社）**		
	No. 6-11,13-16,19 (2004-2013)	各号	¥2,160
29	**アジア・アフリカ言語文化研究（アジア・アフリカ言語文化研究所）**		
	No. 21,22 (1981)	各号	¥3,240
	No. 23,24 (1982)	各号	¥3,240
	No. 26 (1983)		¥3,240
	No. 27 (1984)		¥3,240
	No. 29,30 (1985)	各号	¥3,240
	No. 31,32 (1986)	各号	¥3,240
	No. 33,34 (1987)	各号	¥3,240
	No. 35,36 (1988)	各号	¥3,240
	No. 38 (1989)		¥3,240
	No. 39-40 (1990)	各号	¥3,240
	No. 43,44 (1992)	各号	¥3,240
	No. 45 (1993)		¥3,240
	No. 50 (1995)		¥3,240
	No. 53,54 (1997)	各号	¥3,240
	No. 55,56 (1998)	各号	¥3,240
30	**あたらしい眼科 Journal of the eye（メディカル葵出版）**		
	Vol. 16-31 (1999-2014) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 16-31 (1999-2014) 各臨時増刊号	各号	¥6,480
	Vol. 23,23 (2006,2007) 各別巻	各号	¥8,640
31	**AVD : Annals of Vascular Diseases**		
	Vol. 1#1,2,Supplement (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 2-3 (2009-2010) 各1-3号,Supplement	各号	¥3,240
32	**美術史（美術史學會）**		
	No. 123-180 (1988-2016)	各号	¥3,240
33	**Binos 日本野鳥の会神奈川支部研究年報**		
	Vol. 1-10 (1994-2003)	各号	¥2,160
34	**BIO Clinica（北隆館）**		
	Vol. 17#3,4,7,12,14 (2002)	各号	¥2,674
	Vol. 17#1,2,5,6,8,11,13 (2002)	各号	¥2,057
	Vol. 18#3,7,9,11,14 (2003)	各号	¥2,674
	Vol. 18#1,2,4,6,8,10,13 (2003)	各号	¥2,057
	Vol. 19#2,3,7,8,11,14 (2004)	各号	¥2,674
	Vol. 19#1,4-6,9,12,13 (2004)	各号	¥2,057
	Vol. 20#3,4,7,10,13,14 (2005)	各号	¥2,674
	Vol. 20#1,2,5,6,8,9,11,12 (2005)	各号	¥2,057
	Vol. 21#3-6,13 (2006)	各号	¥2,057
	Vol. 21#11,14 (2006)	各号	¥2,674
	Vol. 22#1,8,12,13 (2007)	各号	¥2,674
	Vol. 22#2,3,4,5,7,9 (2007)	各号	¥2,057
	Vol. 23#1-3,6-8,11,12,14 (2008)	各号	¥2,057
	Vol. 23#4,5,9,10,13 (2008)	各号	¥2,674
	Vol. 24#1,2,3,5,6,10 (2009)	各号	¥2,263
	Vol. 26#3,5,11 (2011)	各号	¥2,263
	Vol. 27#1-8,10,12,13 (2012)	各号	¥2,263
	Vol. 27#9,14 (2012)	各号	¥2,674
	Vol. 28#1,2,5,6,7,11,12,13 (2013)	各号	¥2,263
	Vol. 28#4,14 (2013)	各号	¥2,674
	Vol. 29#2,4,5 (2014)	各号	¥2,263

35	**別冊BIO Clinica 慢性炎症と疾患（北隆館）**		
	Vol. 2#1-2 (2013)	各号	¥3,086
36	**バイオフィードバック研究（日本バイオフィードバック学会）**		
	Vol. 25 (1998)		¥3,240
	Vol. 30 (2003)		¥3,240
	Vol. 32 (2005)		¥3,240
	Vol. 34#1,2 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 35#1,2 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 36#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 37#1,2 (2010)	各号	¥3,240
37	**バイオマテリアル 生体材料（日本バイオマテリアル学会）**		
	Journal of Japanese Society for Biomaterials		
	Vol. 20-23 (2002-2005) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 24#4,5 (2006)	各号	¥2,700
	Vol. 25#4,5,6 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 26#1,3,5,6 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 27#1,3,4 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 28#1 (2010)		¥2,700
38	**バイオメカニクス研究（日本バイオメカニクス学会）**		
	Japanese journal of biomechanics in sports & exercise		
	Vol. 1#1-3 (1997)	各号	¥1,620
	Vol. 2-11 (1998-2007) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 12#1,3,4 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 13#1-3 (2009)	各号	¥1,620
39	**バイオメディカル・ファジィ・システム学会年次大会講演論文集**		
	第9回年次大会講演論文集 (1996)		¥5,400
	第11-15回年次大会講演論文集 (1998-2002)	各冊	¥5,400
40	**バイオサイエンスとインダストリー（バイオインダストリー協会）**		
	Vol. 57#1-12 (1999)	各号	¥1,512
	Vol. 58#1-12 (2000)	各号	¥1,512
	Vol. 59#1,2,4,8-12 (2001)	各号	¥1,512
	Vol. 60#2,5,7,10,11 (2002)	各号	¥1,512
	Vol. 62#4-12 (2004)	各号	¥1,512
	Vol. 63#3 (2005)		¥1,512
41	**Biotherapy 日本バイオセラピィ学会（癌と化学療法社）**		
	Vol. 21#1-6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 22#1-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 23#1-6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 25#1-5 (2011)	各号	¥2,160

42　微粒化 Atomization（日本液体微粒化学会）

Vol. 1#1-2 (1992)	各号	¥2,160
Vol. 3#5-6 (1994)	各号	¥2,160
Vol. 4#7-8 (1995)	各号	¥2,160
Vol. 5#9-12 (1996)	各号	¥2,160
Vol. 6#13-16 (1997)	各号	¥2,160
Vol. 7#17-20 (1998)	各号	¥2,160
Vol. 8#21-24 (1999)	各号	¥2,160
Vol. 9#25-28 (2000)	各号	¥2,160
Vol. 10#29-32 (2001)	各号	¥2,160
Vol. 11#33-36 (2002)	各号	¥2,160
Vol. 12#37-40 (2003)	各号	¥2,160
Vol. 13#41-44 (2004)	各号	¥2,160
Vol. 14#45-48 (2005)	各号	¥2,160
Vol. 15#49-52 (2006)	各号	¥2,160
Vol. 16#53-56 (2007)	各号	¥2,160
Vol. 17#57-60 (2008)	各号	¥2,160
Vol. 18#61-64 (2009)	各号	¥2,160
Vol. 19#65-68 (2010)	各号	¥2,160
Vol. 20#70-71 (2011)	各号	¥2,160

43　BME 日本ME学会雑誌（日本ME学会）

Vol. 1#1,3-8,11 (1987)	各号	¥2,160
Vol. 2#5,7-9,11 (1988)	各号	¥2,160
Vol. 3#3,6,7,9,12 (1989)	各号	¥2,160
Vol. 4#1,3,5,6,8,11 (1990)	各号	¥2,160
Vol. 5#2,3,5-8,10-12 (1991)	各号	¥2,160
Vol. 6#1,2,5,7,9-12 (1992)	各号	¥2,160
Vol. 7#1-6,8-10,12 (1993)	各号	¥2,160
Vol. 8#1,6-12 (1994)	各号	¥2,160
Vol. 9#2-12 (1995)	各号	¥2,160
Vol. 10#3-8,10,11 (1996)	各号	¥2,160
Vol. 11#1,4-9,11,12 (1997)	各号	¥2,160
Vol. 12-15 (1998-2001) 各1-12号	各号	¥2,160
Vol. 16#1-3,6-8,11,12 (2002)	各号	¥2,160
Vol. 17#1-6 (2003)	各号	¥2,160
Vol. 18#2,4 (2004)	各号	¥2,160

44	**防衛衛生（防衛衛生協会）**		
	Vol. 5#1-10,12 (1958)	各号	¥864
	Vol. 6#1-12 (1959)	各号	¥864
	Vol. 9#1-12 (1962)	各号	¥864
	Vol. 10#1-12 (1963)	各号	¥864
	Vol. 11#1-12 (1964)	各号	¥864
	Vol. 12#1-12 (1965)	各号	¥864
	Vol. 13#7/8 (1966)		¥1,728
	Vol. 14#1-12 (1967)	各号	¥864
	Vol. 15#1-12,別冊 (1968)	各号	¥864
	Vol. 16#1-12 (1969)	各号	¥864
	Vol. 17#1-12,別冊 (1970)	各号	¥864
	Vol. 18#1-12,別冊 (1971)	各号	¥864
	Vol. 19#1-12,別冊 (1972)	各号	¥864
	Vol. 20#1-12 (1973)	各号	¥864
	Vol. 21#1-12,別冊 (1974)	各号	¥864
	Vol. 22#1-12,別冊 (1975)	各号	¥864
	Vol. 41#1-4,6-12,別冊 (1994)	各号	¥864
	Vol. 42#1-7,9,11,12,別冊 (1995)	各号	¥864
	Vol. 43#1-4,6-12 (1996)	各号	¥864
	Vol. 44#1-12 (1997)	各号	¥864
	Vol. 45#1,2,4-12,別冊 (1998)	各号	¥864
	Vol. 46#1,3-7,9-12,別冊 (1999)	各号	¥864
	Vol. 47#6-10,別冊 (2000)	各号	¥864
	Vol. 48#6.8/9 (2001)	各号	¥864
	Vol. 49#4/5,6/7.9/10,別冊 (2002)	各号	¥864
	Vol. 51#5/6 (2004)		¥1,728
	Vol. 52#3/4,7/8,9/10,11,12 (2005)	各号	¥864
	Vol. 53#1/2,3/4,5-12,別冊 (2006)	各号	¥864
	Vol. 54#1-12,別冊 (2007)	各号	¥864
	Vol. 55#1,2,4-6,8-12,別冊 (2008)	各号	¥864
	Vol. 56#1-12 (2009)	各号	¥864
	Vol. 57#1-3,4/5,6/7,8,11,12 (2010)	各号	¥864
	Vol. 58#1/2,3-12 (2011)	各号	¥864
	Vol. 59#1/2,3/4,5/6,7,8/9,10/11,12 (2012)	各号	¥864
	Vol. 60#1/2,3/4,5/6,11/12,別冊 (2013)	各号	¥864
	Vol. 61#3/4,5/6,11/12 (2014)	各号	¥864
	Vol. 62#3/4,5/6,7/8,11/12 (2015)	各号	¥864
	Vol. 63#1/2,別冊 (2016)	各号	¥864
45	**防衛学研究 Defense studies（防衛大学校防衛学研究会）**		
	No. 47 (2012)		¥1,080
	No. 48 (2013)		¥1,080
46	**防菌防黴（日本防菌防黴学会）**		
	Vol. 17-22 (1989-1994) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 23#2-12 (1995)	各号	¥1,620
	Vol. 24#1,3,4,7-12 (1996)	各号	¥1,620
	Vol. 25#1-3,5-12 (1997)	各号	¥1,620
	Vol. 26-32 (1998-2004) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 33#1-3 (2005)	各号	¥1,620

47	**The Bone (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 14#3,4 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 15#4,5,6,増刊号 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 16-22 (2002-2008) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 23#1-4 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 26#4 (2012)		¥2,268
48	**母性衛生 Maternal health (日本母性衛生学会)**		
	Vol. 2#1 (1961)		¥1,944
	Vol. 3#1 (1962)		¥1,944
	Vol. 4#1-2 (1963)	各号	¥1,944
	Vol. 5#1-2 (1964)	各号	¥1,944
	Vol. 6#1 (1965)		¥1,944
	Vol. 10#2 (1969)		¥1,944
	Vol. 15#3/4 (1974)		¥3,888
	Vol. 16#1-4 (1975/1976)	各号	¥1,944
	Vol. 17#1-4 (1976/1977)	各号	¥1,944
	Vol. 18#1-4 (1977/1978)	各号	¥1,944
	Vol. 19#1-4 (1978/1979)	各号	¥1,944
	Vol. 20#1-4 (1979/1980)	各号	¥1,944
	Vol. 21#1-4 (1980/1981)	各号	¥1,944
	Vol. 22#1-4 (1981/1982)	各号	¥1,944
	Vol. 23#1-4 (1982/1983)	各号	¥1,944
	Vol. 24#1-2 (1983)	各号	¥1,944
	Vol. 24#3/4 (1983)		¥3,888
	Vol. 25#1-4 (1984)	各号	¥1,944
	Vol. 26#1-4 (1985)	各号	¥1,944
	Vol. 27#1-4 (1986)	各号	¥1,944
	Vol. 28#1-4 (1987)	各号	¥1,944
	Vol. 29#1-4 (1988)	各号	¥1,944
	Vol. 30#1-4 (1989)	各号	¥1,944
	Vol. 31#1-4 (1990)	各号	¥1,944
	Vol. 32#1-4 (1991)	各号	¥1,944
	Vol. 33#1 (1992)		¥1,944
	Vol. 34#1-4 (1993)	各号	¥1,944
	Vol. 35#1-4 (1994)	各号	¥1,944
	Vol. 36#1-4 (1995)	各号	¥1,944
	Vol. 37#1-4 (1996)	各号	¥1,944
	Vol. 38-44 (1997-2003) 各1-4号	各号	¥1,944
	Vol. 40#40周年記念誌 (1999)		¥1,944
	Vol. 45-48 (2004/2005-2007/2008) 各1-4号	各号	¥1,944
	Vol. 49-52 (2009/2010-2011/12) 各1,2,4号	各号	¥1,944
	Vol. 49-52 (2009-2011) 各3号	各号	¥2,160
49	**母子保健情報 (思賜財団母子愛育会)**		
	No. 1/2-57 (1981-2008)	各号	¥2,057

50 Brain and Nerve 脳と神経（医学書院）

Vol. 1-8 (1948/49-1956) 各1-6号	各号	¥2,808
Vol. 9-44 (1957-1992)	各号	¥2,808
Vol. 45-54 (1993-2002)　各1-12号	各号	¥2,808
Vol. 55#1 (2003) 特集 睡眠障害と体内時計		¥2,808
Vol. 55#2-5 (2003)	各号	¥2,808
Vol. 55#6 (2003) 特集 神経内視鏡手術の進歩		¥2,808
Vol. 55#7,8 (2003)	各号	¥2,808
Vol. 55#9 (2003) 特集 遺伝性痙性対麻痺		¥2,808
Vol. 55#10 (2003) 特集 神経疾患と神経栄養因子		¥2,808
Vol. 55#11,12 (2003)	各号	¥2,808
Vol. 56#1 (2004) 特集　脳ドックの新しい診療ガイドライン		¥2,808
Vol. 56#2 (2004) 特集　大脳機能の新しいパースペクティブ		¥2,808
Vol. 56#3 (2004)		¥2,808
Vol. 56#4 (2004) 特集　AIDSと神経疾患		¥2,808
Vol. 56#5-7 (2004)	各号	¥2,808
Vol. 56#8 (2004) 特集　頭痛をめぐる最近の話題		¥2,808
Vol. 56#9 (2004)		¥2,808
Vol. 56#10 (2004) 特集　脳深部刺激療法		¥2,808
Vol. 56#11 (2004) 特集　脳卒中治療ガイドライン2004内科医からみたコ		¥2,808
Vol. 56#12 (2004)		¥2,808
Vol. 57#1,2,4 (2005)	各号	¥2,808
Vol. 57#3 (2005) 特集　てんかんの基礎と臨床		¥2,808
Vol. 57#5 (2005) 特集　わかりやすい高次脳機能の診方		¥2,808
Vol. 57#6 (2005) 特集　神経興奮性と軸索機能―閾値追跡法の臨床応		¥2,808
Vol. 57#7 (2005) 特集　脳卒中の回復期医療と在宅医療		¥2,808
Vol. 57#8 (2005) 特集　香りと脳		¥2,808
Vol. 57#9 (2005) 特集　脳神経血管内治療の現況		¥2,808
Vol. 57#10 (2005) 特集　Alzheimer病の最前線		¥2,808
Vol. 57#11 (2005) 特集　ジストニア update		¥2,808
Vol. 57#12 (2005) 特集　悪性脳腫瘍に対する最近の治療		¥2,808
Vol. 58#1,3,4,6 (2006)	各号	¥2,808
Vol. 58#2 (2006) 特集 化膿性髄膜炎治療の最近の動向		¥2,808
Vol. 58#5 (2006) 特集 神経内分泌学の進歩		¥2,808
Vol. 58#7 (2006) 特集 神経感染症の新しい展開		¥2,808
Vol. 58#8 (2006) 特集 神経難病のケア		¥2,808
Vol. 58#9 (2006) 特集 パーキンソン病の症候学―新しい視点		¥2,808
Vol. 58#10 (2006) 特集 心・血管疾患と脳卒中		¥2,808
Vol. 58#11 (2006) 特集 I急性期脳梗塞のガイドライン・特集IICryptogenic		¥2,808
Vol. 58#12 (2006) 特集 グリオーマ―最近の治療―		¥2,808

※Vol. 59#1 (2007)→BRAIN and NERVE－神経研究の進歩（医学書院）

51　BRAIN and NERVE－神経研究の進歩（医学書院）

※Vol.1-58 (1948/49-2006)→Brain and Nerve 脳と神経（医学書院）

	Vol. 59#1 (2007) 高次視覚研究の最近の進歩	¥2,808
	Vol. 59#2 (2007) 進行性多巣性白質脳症の新しい展開 PMLが治る時代	¥2,808
	Vol. 59#3 (2007) 分子イメージング	¥2,808
	Vol. 59#4 (2007) 増大特集 最近注目される脳神経疾患治療の研究	¥3,888
	Vol. 59#5 (2007) 脳画像最前線	¥2,808
	Vol. 59#6 (2007) 職業性神経障害の新しい展開	¥2,808
	Vol. 59#7 (2007) 増大特集 情報伝達処理におけるグリアの機能と異常	¥3,888
	Vol. 59#8 (2007) パーキンソン病の分子遺伝学-最近の知見	¥2,808
	Vol. 59#9 (2007) パーキンソン病の認知機能障害	¥2,808
	Vol. 59#10 (2007) 増大特集 ALS-研究と診療の進歩	¥3,888
	Vol. 59#11 (2007) 毛根管症候群をめぐって	¥2,808
	Vol. 59#12 (2007) 損傷神経の再生-温存的治療法の開発	¥2,808
	Vol. 60#1 (2008) 日本人の発見した神経疾患	¥2,808
	Vol. 60#2 (2008) がん治療と神経障害	¥2,808
	Vol. 60#3 (2008) 特発性正常圧水頭症(iNPH)-最近の話題	¥2,808
	Vol. 60#4 (2008) 増大特集 神経系の発生とその異常	¥3,888
	Vol. 60#5 (2008)「痛み」の研究と治療の最前線	¥2,808
	Vol. 60#6 (2008) Crow-深瀬症候群（POEMS症候群）	¥2,808
品切	Vol. 60#7 (2008) 増大特集 学習と記憶-基礎と臨床	¥3,888
	Vol. 60#8 (2008) 脳硬膜動静脈瘻	¥2,808
	Vol. 60#9 (2008) 知・情・意の神経学	¥2,808
	Vol. 60#10 (2008) 若年者の脳卒中	¥2,808
	Vol. 60#11 (2008) 増大特集 脳卒中と遺伝子	¥3,888
品切	Vol. 60#12 (2008) 痙縮	¥2,808
	Vol. 61#1 (2009) 脳神経倫理	¥2,808
	Vol. 61#2 (2009) 神経系の再興感染症と輸入感染症	¥2,808
	Vol. 61#3 (2009) Microneurography（微小神経電図法）の臨床応用	¥2,808
	Vol. 61#4 (2009) 大脳基底核―分子基盤から臨床まで	¥4,104
	Vol. 61#5 (2009) Restless legs syndrome	¥2,808
	Vol. 61#6 (2009) 脊椎・脊髄外科の最近の進歩	¥2,808
	Vol. 61#7 (2009) 脳腫瘍研究の最前線―遺伝子解析から治療まで	¥4,104
	Vol. 61#8 (2009) 神経・筋疾患の分子標的治療	¥2,808
	Vol. 61#9 (2009) 脳血管障害治療の進歩	¥2,808
	Vol. 61#10 (2009) 片頭痛の予防療法	¥2,808
	Vol. 61#11 (2009) 増大特集 前頭側頭葉変性症	¥4,104
	Vol. 61#12 (2009) Somatotopy再考	¥2,808
	Vol. 62#1 (2010) 神経救急	¥2,808
	Vol. 62#2 (2010) ニューロリハビリテーションの最前線	¥2,808
	Vol. 62#3 (2010) 神経回路解析法の最近の進歩	¥2,808
	Vol. 62#4 (2010) 増大特集 傍腫瘍性神経筋疾患update	¥4,104
	Vol. 62#5 (2010) 神経画像のピットフォール―見落としと読み過ぎ	¥2,808
	Vol. 62#6 (2010) 改正臓器移植法の問題点とその対応	¥2,808
	Vol. 62#7 (2010) 増大特集　アルツハイマー病―研究と診療の進歩	¥4,104
	Vol. 62#8 (2010) 辺縁系脳炎	¥2,808
	Vol. 62#9 (2010) 視神経脊髄炎(NMO)update	¥2,808
	Vol. 62#10 (2010) ブレインバンク	¥2,808
	Vol. 62#11 (2010) 増大特集 歩行と異常	¥4,104
	Vol. 62#12 (2010) 頸部頸動脈狭窄症の診断と治療	¥2,808
	Vol. 63#1 (2011) 血管腫	¥2,808
	Vol. 63#2 (2011) 続・日本人の発見した神経疾患	¥2,808
	Vol. 63#3 (2011) サイバーナイフ治療	¥2,808
	Vol. 63#4 (2011) 増大特集 てんかんの新しい治療	¥4,104
	Vol. 63#5 (2011) 神経系と血管内リンパ腫	¥2,808
	Vol. 63#6 (2011) ニューロパチー	¥2,808
	Vol. 63#7 (2011) 増大特集 神経筋接合部－基礎から臨床まで	¥4,104

	Vol. 63#8 (2011) 日本人の発見した神経症候	¥2,808
	Vol. 63#9 (2011) 脳卒中の最新画像診断	¥2,808
	Vol. 63#10 (2011) 緩徐進行性高次脳機能障害の病態	¥2,808
	Vol. 63#11 (2011) 増大特集 筋疾患update	¥4,104
	Vol. 63#12 (2011) 神経心理学と画像解析の融合	¥2,808
	Vol. 64#1 (2012) iPS細胞と神経疾患	¥2,916
	Vol. 64#2 (2012) 生物学的精神医学の進歩	¥2,916
	Vol. 64#3 (2012) アカデミアから新規治療の実現へートランスレーショナル	¥2,916
	Vol. 64#4 (2012) 増大特集 パーキンソン病の新しい側面	¥4,104
	Vol. 64#5 (2012) 神経疾患のバイオマーカー	¥2,916
	Vol. 64#6 (2012) 睡眠と覚醒の脳内機構	¥2,916
	Vol. 64#7 (2012) 増大特集 顔認知の脳内機構	¥4,104
	Vol. 64#8 (2012) 線条体の基礎と臨床	¥2,916
	Vol. 64#9 (2012) 高次脳機能イメージングの脳科学への新展開	¥2,916
	Vol. 64#10 (2012) 辺縁系をめぐって	¥2,916
	Vol. 64#11 (2012) 増大特集　痛みの神経学-末梢神経から脳まで	¥4,104
	Vol. 64#12 (2012) The Border-Land of Dementia	¥2,916
	Vol. 65#1 (2013) Corticobasal Syndrome	¥2,916
	Vol. 65#2 (2013) 血液脳関門研究の進歩	¥2,916
	Vol. 65#3 (2013) 次世代シーケンサーによる神経変性疾患の解析と展望	¥2,916
	Vol. 65#4 (2013) 増大特集　Antibody Update	¥4,104
	Vol. 65#5 (2013) てんかん-新しいパースペクティブ	¥2,916
	Vol. 65#6 (2013) 見せる・仕分ける―脳機能解析の新手法	¥2,916
	Vol. 65#7 (2013) 増大特集 あしたの脳梗塞	¥4,104
	Vol. 65#8 (2013) こころの時間学－現在・過去・未来の起源を求めて	¥2,916
	Vol. 65#9 (2013) Common diseaseは神経学の主戦場である－現状と展	¥2,916
	Vol. 65#10 (2013) 神経系の発達メカニズム―最近の話題	¥2,916
	Vol. 65#11 (2013) 増大特集 Close Encounters―臨床神経学と臨床免疫	¥4,104
	Vol. 65#12 (2013) プロテイノパチーの神経病理学	¥2,916
	Vol. 66#1 (2014) 日常生活の脳科学	¥2,916
	Vol. 66#2 (2014) 糖尿病の神経学 revisited	¥2,916
	Vol. 66#3 (2014) 神経筋疾患の超音波診断	¥2,916
品切	Vol. 66#4 (2014) 増大特集 タッチ・ビジョン・アクション	¥4,104
	Vol. 66#5 (2014) アセチルコリンと神経疾患-100年目の現在地	¥2,916
	Vol. 66#6 (2014) ミラーニューロン	¥2,916
	Vol. 66#7 (2014) 増大特集アミロイド関連神経疾患のすべて―封入体筋	¥4,104
	Vol. 66#8 (2014) 神経系の悪性リンパ腫update	¥2,916
	Vol. 66#9 (2014) 痙縮の臨床神経学	¥2,916
	Vol. 66#10 (2014) 分子を撃つ　神経疾患治療の新しい水平線	¥2,916
	Vol. 66#11 (2014) 神経症候学は神経学の“魂”である	¥4,104
	Vol. 66#12 (2014) Orthopaedic Neurology―神経内科と整形外科の狭間	¥2,916
	Vol. 67#1 (2015) ニューロトキシコロジー	¥2,916
	Vol. 67#2 (2015)「食べる」を考える	¥2,916
	Vol. 67#3 (2015) 中枢神経の血管炎	¥2,916
	Vol. 67#4 (2015) 増大特集 大脳皮質vs.大脳白質	¥4,104
	Vol. 67#5 (2015) NCSE（非痙攣性てんかん重積状態）	¥2,916

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

52 BRAIN MEDICAL（メディカルレビュー社）

Vol. 24#1-4 (2012)	各号	¥2,484
Vol. 25#1-3 (2013)	各号	¥2,484
Vol. 26#1-4 (2014)	各号	¥2,484

53	**ブリーフサイコセラピー研究（日本ブリーフサイコセラピー学会）**		
	Vol. 15#1,2 (2006)	各号	¥2,057
	Vol. 16#1,2 (2007)	各号	¥2,057
	Vol. 17#1,2 (2008)	各号	¥2,057
	Vol. 19#1 (2010)		¥2,057
54	**文化人類学（日本文化人類学会）**		
	Vol. 70-77 (2005/2006-2012/2013) 各1-4号	各号	¥3,087
	Vol. 81#1 (2016)		¥3,087
	Vol. 80#1-4 (2015/2016)	各号	¥3,087
55	**文化とこころ 多文化間精神医学研究（相川書房）**		
	創刊準備号 (1996)		¥1,677
	Vol. 1#1-4 (1996-1997)	各号	¥1,656
	Vol. 2#1 (1997)		¥1,656
	Vol. 3#3,4 (1999)	各号	¥1,656
	Vol. 4#1/2 (1999)		¥3,456
56	**分子リウマチ治療（先端医学社）**		
	Vol. 2#3 (2009)		¥2,484
	Vol. 3#2-4 (2010)	各号	¥2,484
	Vol. 4#3 (2011)		¥2,484
	Vol. 6#2 (2013)		¥2,484
	Vol. 8#1-4 (2015)	各号	¥2,484
57	**物理教育（日本物理教育学会）**		
	Vol. 25#2-4 (1977)	各号	¥1,620
	Vol. 26-44 (1978-1996) 各No.1-4	各号	¥1,620
	Vol. 45-50 (1997-2002) 各No.1-6	各号	¥1,620
	Vol. 51-57 (2003-2009) 各No.1-4	各号	¥2,160
58	**物理探査（物理探査学会）**		
	Vol. 46-61 (1993-2008) 各1-6号	各号	¥2,160

59 病院（医学書院）

Vol. 2-9 (1950-1953) 各1-6号	各号	¥3,024
Vol. 12-15 (1955-1956) 各1-6号	各号	¥3,024
Vol. 16#1-12 (1957)	各号	¥3,024
Vol. 17-18 (1958-1959) 各1-13号	各号	¥3,024
Vol. 19-23 (1960-1964) 各1-12号	各号	¥3,024
Vol. 24-32 (1965-1973) 各1-13号	各号	¥3,024
Vol. 33-47 (1974-1988) 各1-12号	各号	¥3,024
Vol. 48#1-13 (1989)	各号	¥3,024
Vol. 49#1-11,13 (1990)	各号	¥3,024
Vol. 49#12 (1990) 増刊号医療機器・設備機器ｶﾞｲﾄﾞ 1991		¥4,536
Vol. 50#1-11,13 (1991)	各号	¥3,024
Vol. 50#12 (1991) 増刊号 日本の病院建築		¥4,752
Vol. 51#1-12 (1992)	各号	¥3,024
Vol. 52#1-12 (1993)	各号	¥3,024
Vol. 53#1-12 (1994)	各号	¥3,024
Vol. 54#1 (1995)「21世紀福祉ビジョン」と病院		¥3,024
Vol. 54#2 (1995) 病院とボランティア-開かれた病院づくり		¥3,024
Vol. 54#3 (1995) 薬価と病院経営		¥3,024
Vol. 54#4 (1995) 新看護体系で病院はどうなるか		¥3,024
Vol. 54#5 (1995) 特定療養費制度の功罪		¥3,024
Vol. 54#6 (1995) 病院が倒産するとき		¥3,024
Vol. 54#7 (1995) 病院の食事は今…		¥3,024
Vol. 54#8 (1995) 病院職員の教育と研修		¥3,024
Vol. 54#9 (1995) 大災害に対するリスクマネジメント		¥3,024
Vol. 54#10 (1995) 新しい入院療養環境		¥3,024
Vol. 54#11 (1995) 医療法人制度をめぐる諸問題		¥3,024
Vol. 54#12 (1995) 問われる病院と地域の保健活動		¥3,024
Vol. 55#1 (1996) 病院経営の改善		¥3,024
Vol. 55#2 (1996) 大学病院と関連病院との関係を問う		¥3,024
Vol. 55#3 (1996) 病院経営と医薬分業をめぐって		¥3,024
Vol. 55#4 (1996) 二交替制看護を追う		¥3,024
Vol. 55#5 (1996) 病院管理者としての女性		¥3,024
Vol. 55#6 (1996) 病院のネットワーク化を追う		¥3,024
Vol. 55#7 (1996) 医療機能評価で病院はどうなる		¥3,024
Vol. 55#8 (1996) 待ち時間解消はどこまでできるか		¥3,024
Vol. 55#9 (1996) 診療報酬改定・96年4月を検証する		¥3,024
Vol. 55#10 (1996) 介護保険制度をめぐって		¥3,024
Vol. 55#11 (1996) 補助金と病院経営		¥3,024
Vol. 55#12 (1996)「薬害問題」から学ぶこと		¥3,024
Vol. 56#1 (1997) 第3次医療法改正と病院		¥2,808
Vol. 56#2 (1997) 病院職員の高齢化対策		¥2,808
Vol. 56#3 (1997) 病院におけるマルチメディア		¥2,808
Vol. 56#4 (1997) ナーシング・マネジメント		¥2,808
Vol. 56#5 (1997) 病院機能評価の動向と将来		¥2,808
Vol. 56#6 (1997) 医療関連ﾋﾞｼﾞﾈｽの展開		¥2,808
Vol. 56#7 (1997) 医療保険改革と病院		¥2,808
Vol. 56#8 (1997) 病院経営における多角化戦略		¥2,808
Vol. 56#9 (1997) ケアマネジメントと病院		¥2,808
Vol. 56#10 (1997) 病院が医師を選ぶとき		¥2,808
Vol. 56#11 (1997) 病院における情報開示		¥2,808
Vol. 56#12 (1997) 問われる事務(部・局) 長の経営能力		¥2,808
Vol. 57#1 (1998) 新時代の病院組織		¥2,808
Vol. 57#2 (1998) 医療界の世代交代		¥2,808
Vol. 57#3 (1998) 介護保険と長期ケア施設		¥2,808
Vol. 57#4 (1998) 看護の質の評価		¥2,808

Vol. 57#5 (1998) 医療法人の今後	¥2,808
Vol. 57#6 (1998) 医療の標準化を考える	¥2,808
Vol. 57#7 (1998) 急性期包括払い方式の可能性	¥2,808
Vol. 57#8 (1998) 入院診療計画	¥2,808
Vol. 57#9 (1998) 薬価基準制度の行方	¥2,808
Vol. 57#10 (1998) 地域支援病院はどうなる	¥2,808
Vol. 57#11 (1998) 医療ビッグバンと公私の役割を考える	¥2,808
Vol. 57#12 (1998) 退院後ケア	¥2,808
Vol. 58#1 (1999) 医療保障のグランドデザイン	¥2,916
Vol. 58#2 (1999) 在日日数と病院経営	¥2,916
Vol. 58#3 (1999) 病院組織と意思決定－コーポレイトガバナンスとは	¥2,916
Vol. 58#4 (1999) 看護新時代	¥2,916
Vol. 58#5 (1999) 岐路に立つ中小病院	¥2,916
Vol. 58#6 (1999) 病院として介護保険にいかに対処すべきか	¥2,916
Vol. 58#7 (1999) 医療計画の新しい方向と病院	¥2,916
Vol. 58#8 (1999) 病院におけるマーケッティング戦略	¥2,916
Vol. 58#9 (1999) 改めて癒しの環境を問う	¥2,916
Vol. 58#10 (1999) 診療情報管理－開示に値する診療記録	¥2,916
Vol. 58#11 (1999) 病院における賃金と年金	¥2,916
Vol. 58#12 (1999) 医師養成と大学病院像	¥2,916
Vol. 59#1 (2000) 病院・医療・社会－21世紀を展望する	¥2,916
Vol. 59#2 (2000) 病院の危機管理	¥2,916
Vol. 59#3 (2000) 減価償却と耐用年数	¥2,916
Vol. 59#4 (2000) 介護保険と看護	¥2,916
Vol. 59#5 (2000) 中小病院－次世紀への挑戦	¥2,916
Vol. 59#6 (2000) 病院としての地球環境問題への取り組み	¥2,916
Vol. 59#7 (2000) 消費者（患者）の声／ニーズの吸収	¥2,916
Vol. 59#8 (2000) 病院経営戦略と企画部門の役割	¥2,916
Vol. 59#9 (2000) 検証　平成12年診療報酬改定	¥2,916
Vol. 59#10 (2000) 改革期の療養型病床郡	¥2,916
Vol. 59#11 (2000) 医療専門職の需要と供給	¥2,916
Vol. 59#12 (2000) 病院医療－21世紀への遺産	¥2,916
Vol. 60#1 (2001) IT革命と病院	¥2,916
Vol. 60#2 (2001) 改めて病院の安全管理を問う	¥2,916
Vol. 60#3 (2001) 病院と資金調達	¥2,916
Vol. 60#4 (2001) 病院の求める看護職像	¥2,916
Vol. 60#5 (2001) 病院サービスの新しいメニュー	¥2,916
Vol. 60#6 (2001) 施設機能分化の新たな展開	¥2,916
Vol. 60#7 (2001) 病院の医療情報発信	¥2,916
Vol. 60#8 (2001) 人材開発と管理職研修	¥2,916
Vol. 60#9 (2001) 検証・変革期の病院経営	¥2,916
Vol. 60#10 (2001) 医療連携と病院	¥2,916
Vol. 60#11 (2001) 社会保障改革と病院	¥2,916
Vol. 60#12 (2001) ゲノム時代と病院	¥2,916
Vol. 61#1 (2002) 医療の規制改革と病院	¥3,024
Vol. 61#2 (2002) 病院の増改築	¥3,024
Vol. 61#3 (2002) 緩和ケアの検証と今後の課題	¥3,024
Vol. 61#4 (2002) 学卒看護師の課題	¥3,024
Vol. 61#5 (2002) 病院の外来-増やすか減らすか	¥3,024
Vol. 61#6 (2002) 医師臨床研修必修化は病院に何をもたらすか	¥3,024
Vol. 61#7 (2002) 療養病床の行方	¥3,024
Vol. 61#8 (2002) 年功給は崩せるか	¥3,024
Vol. 61#9 (2002) 女性医師と病院	¥3,024
Vol. 61#10 (2002) 徹底検証 診療報酬改定2002	¥3,024
Vol. 61#11 (2002) 院内機能の分散化の動き	¥3,024
Vol. 61#12 (2002) 改革期における事務長像	¥3,024
Vol. 62#1 (2003) 医療政策の新しい潮流	¥3,024

	Vol. 62#2 (2003) デフレ下における病院	¥3,024
	Vol. 62#3 (2003) 自立できるか自治体立病院	¥3,024
	Vol. 62#4 (2003) 病院のカウンセリング機能	¥3,024
	Vol. 62#5 (2003) 看護師のキャリアアップ	¥3,024
	Vol. 62#6 (2003) 病院管理からみた患者安全	¥3,024
	Vol. 62#7 (2003) 特定療養費制度の拡大と病院の対応	¥3,024
	Vol. 62#8 (2003) 病院のコスト管理	¥3,024
	Vol. 62#9 (2003) 変革を迫られる大学病院	¥3,024
	Vol. 62#10 (2003) 変貌するか医療法人	¥3,024
	Vol. 62#11 (2003) どう生かす診療情報	¥3,024
	Vol. 62#12 (2003) 亜急性医療は存在し得るか	¥3,024
	Vol. 63#1 (2004) 国民は医療をどう見ているか	¥3,024
	Vol. 63#2 (2004) 公私の役割分担とイコール・フッティング	¥3,024
	Vol. 63#3 (2004) 医療におけるナレッジ・マネジメント	¥3,024
	Vol. 63#4 (2004) 看護の臨床研修と病院	¥3,024
	Vol. 63#5 (2004) 相補・代替医療へのニーズにどう対応するか	¥3,024
	Vol. 63#6 (2004) 急変する医薬品政策―病院としての対応	¥3,024
	Vol. 63#7 (2004) 病院のセーフティ・マネジメント最前線	¥3,024
	Vol. 63#8 (2004) 急性期入院はDPC適用になるのか	¥3,024
	Vol. 63#9 (2004) 動き始めた新医師臨床研修制度	¥3,024
	Vol. 63#10 (2004) 検証　平成16年度診療報酬改定	¥3,024
	Vol. 63#11 (2004) パブリック・リレーションズ地域の人の期待	¥3,024
	Vol. 63#12 (2004) 派遣は人材確保に役立つか	¥3,024
	Vol. 64#1 (2005) 医療の本質を捉える	¥3,024
	Vol. 64#2 (2005) 病院の質評価の選択肢は広がるか	¥3,024
	Vol. 64#3 (2005) 今後の病院の財政基盤を問う	¥3,024
	Vol. 64#4 (2005) 個人情報保護法と病院	¥3,024
	Vol. 64#5 (2005) 経営陣の一翼としての看護部長	¥3,024
	Vol. 64#6 (2005) 社会的責任(CSR)が問われる病院	¥3,024
	Vol. 64#7 (2005) スピリチュアリティと病院	¥3,024
	Vol. 64#8 (2005) 病院経営のプロをどう養成するか	¥3,024
	Vol. 64#9 (2005) 地方分権と医療	¥3,024
	Vol. 64#10 (2005) 勤務医と労働基準法－医療の現実と法	¥3,024
	Vol. 64#11 (2005) 病院にとって「患者の視点」とは	¥3,024
	Vol. 64#12 (2005) 医療政策の決定プロセス	¥3,024
	Vol. 65#1 (2006) 地域医療の新たな展開と病院	¥3,024
	Vol. 65#2 (2006) 超高齢社会の終末期ケア	¥3,024
	Vol. 65#3 (2006) 新しい臨床教育手法―シミュレータの活用	¥3,024
	Vol. 65#4 (2006) 看護人員の適正化に向けて	¥3,024
	Vol. 65#5 (2006) 外来機能はどうあるべきか	¥3,024
	Vol. 65#6 (2006) 持つ病院,持たざる病院-法人制度から資金調達まで	¥3,024
	Vol. 65#7 (2006) 医療のパフォーマンス評価	¥3,024
	Vol. 65#8 (2006) 医療と経済格差	¥3,024
	Vol. 65#9 (2006) 病院の人材確保-景気・社会構造の変化を踏まえて	¥3,024
品切	Vol. 65#10 (2006) 在宅医療を支える地域連携システムとは	¥3,024
	Vol. 65#11 (2006) 社会保障・税制改革と医療	¥3,024
	Vol. 65#12 (2006) 検証平成18年診療報酬改定	¥3,024
	Vol. 66#1 (2007) いい病院を作りましょう	¥3,024
	Vol. 66#2 (2007) 介護保険施設と医療のあり方	¥3,024
	Vol. 66#3 (2007) 地域の活性化に病院は貢献するか	¥3,024
	Vol. 66#4 (2007) 変革に立ち向かう病院	¥3,024
	Vol. 66#5 (2007) 医療連携における看護師の役割	¥3,024
	Vol. 66#6 (2007) どう対応する 医事紛争時代	¥3,024
	Vol. 66#7 (2007) 患者負担のあり方を考える	¥3,024
	Vol. 66#8 (2007) 技術革新と競争激化	¥3,024
	Vol. 66#9 (2007) 価格とコストの地域格差	¥3,024
	Vol. 66#10 (2007) 病院空間とまちづくり	¥3,024

Vol. 66#11 (2007) 躍進するアジアと病院戦略	¥3,024
Vol. 66#12 (2007) 病院におけるIT化の新局面	¥3,024
Vol. 67#1 (2008) 個人の力と医療・社会	¥3,024
Vol. 67#2 (2008) 医療に求められるイノベーション	¥3,024
Vol. 67#3 (2008) 事務職員の採用とキャリア形成	¥3,024
Vol. 67#4 (2008) 看護師の役割を今問い直す	¥3,024
Vol. 67#5 (2008) 変容する患者像 求められるヘルスリテラシー	¥3,024
Vol. 67#6 (2008) 人材不足をどう打開するか	¥3,024
Vol. 67#7 (2008) どうなる 特定健診・特定保健指導	¥3,024
Vol. 67#8 (2008) 人口減少時代の病院	¥3,024
Vol. 67#9 (2008) 新たな医療計画の展開	¥3,024
Vol. 67#10 (2008) 病院と家庭医療	¥3,024
Vol. 67#11 (2008)「環境の時代」と病院	¥3,024
Vol. 67#12 (2008) 検証 平成20年度診療報酬改定	¥3,024
Vol. 68#1 (2009) 60周年記念号 温故知新－これまでの特集から振り返る	¥3,024
Vol. 68#2 (2009) 医療統計の再構築に向けて	¥3,024
Vol. 68#3 (2009) NPMで公立病院は再生するか	¥3,024
Vol. 68#4 (2009) 現場に役立つ看護師をいかに確保するか	¥3,024
Vol. 68#5 (2009) 産業は病院市場をどうみるか	¥3,024
Vol. 68#6 (2009) 医療IT化の行方	¥3,024
Vol. 68#7 (2009) 社会保障改革と病院の将来	¥3,024
Vol. 68#8 (2009) 医療・介護ニューディール	¥3,024
Vol. 68#9 (2009) 外科医を支援する	¥3,024
Vol. 68#10 (2009) 医療費の配分を問う	¥3,024
Vol. 68#11 (2009) 補完代替医療のこれから	¥3,024
Vol. 68#12 (2009) 今後の医師養成と病院	¥3,024
Vol. 69#1 (2010) 拡大する医療・介護需要	¥3,024
Vol. 69#2 (2010) 病院管理会計とBSCの効用	¥3,024
Vol. 69#3 (2010) 医療におけるソーシャル・ビジネスの展開	¥3,024
Vol. 69#4 (2010) 医療の拡大がもたらす社会の厚生―医療費亡国論再	¥3,024
Vol. 69#5 (2010) 長期療養ケアにおける看護の役割	¥3,024
Vol. 69#6 (2010) 災害と病院	¥3,024
Vol. 69#7 (2010) 死生観が問われる時代の医療	¥3,024
Vol. 69#8 (2010) 病院のサステナビリティ―事業継承を考える	¥3,024
Vol. 69#9 (2010) 本格到来するDPC時代	¥3,024
Vol. 69#10 (2010) 病院を取り巻く法環境	¥3,024
Vol. 69#11 (2010) 拡大するリハビリテーション医療	¥3,024
Vol. 69#12 (2010) 検証　平成22年度診療報酬改定	¥3,024
Vol. 70#1 (2011) 病気と社会を考える	¥3,024
Vol. 70#2 (2011) どう発展させる　病院総合医	¥3,024
Vol. 70#3 (2011) 自治体病院の存在意義	¥3,024
Vol. 70#4 (2011) 採用看護師の教育・研修	¥3,024
Vol. 70#5 (2011) 病院は経済成長に寄与するか	¥3,024
Vol. 70#6 (2011) 医療と介護はどう変わるか 平成24年診療報酬・介護報	¥3,024
Vol. 70#7 (2011) 地域医療再生計画を検証する	¥3,024
Vol. 70#8 (2011) 人口減少の衝撃 社会・病院はどう備えるか	¥3,024
Vol. 70#9 (2011) 地域医療を支える住民の活動	¥3,024
Vol. 70#10 (2011) 終末期における延命医療のあり方	¥3,024
Vol. 70#11 (2011) 医療計画と二次医療圏の今後	¥3,024
Vol. 70#12 (2011) 何を目指すチーム医療	¥3,024
Vol. 71#1 (2012) 病院と日本復興	¥3,132
Vol. 71#2 (2012) 病院の医師確保戦略	¥3,132
Vol. 71#3 (2012) 在宅療法と病院	¥3,132
Vol. 71#4 (2012) 患者の医療情報探索	¥3,132
Vol. 71#5 (2012) 看護職の賃金・給与体系はどうあるべきか	¥3,132
Vol. 71#6 (2012) 変化の時代に事務長に求められるもの	¥3,132
Vol. 71#7 (2012) 病院のセキュリティ	¥3,132

Vol. 71#8 (2012) 病院と学生教育 地域で育てる医療人	¥3,132
Vol. 71#9 (2012) 高齢先進国のビジョン	¥3,132
Vol. 71#10 (2012) 病院における歯科	¥3,132
Vol. 71#11 (2012) 検証“同時改定” 診療・介護報酬	¥3,132
Vol. 71#12 (2012) 病院のBCP	¥3,132
Vol. 72#1 (2013) 病院の評価－課題とこれから	¥3,132
Vol. 72#2 (2013) 医療の公益性とは－医療法人制度改革の現状	¥3,132
Vol. 72#3 (2013) 中小病院は生き残れるか	¥3,132
Vol. 72#4 (2013) リビングウィルを考える	¥3,132
Vol. 72#5 (2013) これからの看護教育と病院	¥3,132
Vol. 72#6 (2013) 女性医師のキャリアデザインと病院	¥3,132
Vol. 72#7 (2013) 病院の経営統合	¥3,132
Vol. 72#8 (2013) なぜ今，医療基本法なのか	¥3,132
Vol. 72#9 (2013) 医療計画はこう変わる	¥3,132
Vol. 72#10 (2013) 地域包括ケアと病院	¥3,132
Vol. 72#11 (2013) 診療支援業務の新潮流	¥3,132
Vol. 72#12 (2013) 新たな専門医制度と病院	¥3,132
Vol. 73#1 (2014) 人口高齢化と病院医療	¥3,132
Vol. 73#2 (2014) 2025年に求められる病院経営のプロ	¥3,132
Vol. 73#3 (2014) 事務職員の人材開発・キャリアパス	¥3,132
Vol. 73#4 (2014) 求められる看護補助者の役割	¥3,132
Vol. 73#5 (2014) 病院食再考	¥3,132
Vol. 73#6 (2014) ITの活用とこれからの医療	¥3,132
Vol. 73#7 (2014) 先端医療と病院	¥3,132
Vol. 73#8 (2014) 多様化する病院経営	¥3,132
Vol. 73#9 (2014) 里山資本主義と地域医療	¥3,132
Vol. 73#10 (2014) チーム医療における病院薬剤師の役割	¥3,132
Vol. 73#11 (2014) これからの医療安全を考える	¥3,132
Vol. 73#12 (2014) 検証 平成26年度診療報酬改定?2025年モデルを反	¥3,132
Vol. 74#1 (2015) 地域包括ケア病床は医療を変えるか	¥3,132
Vol. 74#2 (2015) 真のチーム医療とは	¥3,132
Vol. 74#3 (2015) 地域医療構想　来たるべき大変革の特効薬たりえるか	¥3,132
Vol. 74#4 (2015) 在宅医療を支える病院	¥3,132
Vol. 74#5 (2015) 地域包括ケアの中核としての病院看護部門	¥3,132
Vol. 74#6 (2015) 経済学からみたこれからの医療	¥3,132
Vol. 74#7 (2015) 地域創生に病院は貢献するか	¥3,132
Vol. 74#8 (2015) 地域医療構想策定ガイドラインをどう読み解くか	¥3,132
Vol. 74#9 (2015) 自治体病院改革は成功するのか	¥3,132
Vol. 74#10 (2015) 病院の外来戦略	¥3,132
Vol. 74#11 (2015) 医療の質指標　新時代の幕開け	¥3,132
Vol. 74#12 (2015) ロジスティクスが病院を変える	¥3,132
Vol. 75#1 (2016) データマネジメントで変わる病院	¥3,240
Vol. 75#2 (2016)進化するDPC	¥3,240
Vol. 75#3 (2016) 国民健康保険制度の組織改革が病院に何をもたらす	¥3,240
Vol. 75#4 (2016) 医療介護連携―地域包括ケアシステムを構築するため	¥3,240
Vol. 75#5 (2016) ポジティブ・マネジメント　いきいき働く職場づくり	¥3,240
Vol. 75#6 (2016) IPWの時代―チーム医療のための多職種間教育	¥3,240

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

60	**病院病理（日本病院病理医協会）**		
	Vol. 1#1 (1983)		¥2,160
	Vol. 2#1 (1984)		¥2,160
	Vol. 3#1 (1985)		¥2,160
	Vol. 4#1 (1986)		¥2,160
	Vol. 5#1-2 (1987)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-2 (1988)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1-2 (1989)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-2 (1990)	各号	¥2,160
	Vol. 9#2 (1991)		¥2,160
	Vol. 10#1-2 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 11#1 (1993)		¥2,160
61	**病院・地域精神医学（病院・地域精神医学会）**		
	Vol. 45#4 (2002)		¥2,700
	Vol. 46#1-4 (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 47#1-4 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 48#1-4 (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 49#1-4 (2006)	各号	¥2,700

62　病院精神医学（病院精神医学会）

	No. 1 (1957)		¥2,160
	No. 2 (1958)		¥2,160
	No. 4 (1961)		¥2,160
	No. 6 (1963)		¥2,160
	No. 7 (1963)		¥2,160
	No. 8 (1964)		¥2,160
	No. 9 (1964)		¥2,160
	No 10 (1965)		¥2,160
	No. 11 (1965)		¥2,160
品切	No. 13 (1966)		¥2,160
	No. 14 (1966)		¥2,160
	No. 15 (1967)		¥2,160
	No. 19 (1967)		¥2,160
	No. 20 (1967)		¥2,160
	No. 21 (1968)		¥2,160
	No. 22 (1968)		¥2,160
	No. 23 (1968)		¥2,160
	No. 24 (1968)		¥2,160
	No. 25 (1969)		¥2,160
	No. 26 (1969)		¥2,160
	No. 27 (1969)		¥2,160
	No. 28 (1970)		¥2,160
	No. 29 (1970/1971)		¥2,160
	No. 30 (1971)		¥2,160
	No. 32 (1972)		¥2,160
	No. 33 (1972/1973)		¥2,160
	No. 34 (1973)		¥2,160
	No. 35 (1973)		¥2,160
	No. 36 (1973)		¥2,160
	No. 37 (1974)		¥2,160
	No. 38 (1974)		¥2,160
	No. 39 (1974)		¥2,160
	No. 40 (1975)		¥2,160
	No. 41 (1975)		¥2,160
	No. 42 (1975)		¥2,160
	No. 43 (1975)		¥2,160
	No. 44 (1976)		¥2,160
	No. 45 (1976)		¥2,160
	No. 46 (1976)		¥2,160
	No. 63 (1981)		¥2,160

63　病院薬学（日本病院薬剤師会）

Vol. 11-24 (1985-1998) 各1-6号	各号	¥2,160
Vol. 25#1,3-6 (1999)	各号	¥2,160
Vol. 26#1-6 (2000)	各号	¥2,160

64　病理と臨床（文光堂）

Vol. 1-18 (1983-2000) 各1-12号	各号	¥2,592
Vol. 19-22 (2001-2004) 各1-12号	各号	¥2,700
Vol. 23-28 (2005-2010) 各1-12号	各号	¥3,024

65	**C＆G 市民がつくるごみ読本（廃棄物学会）**		
	No. 1 (1997)		¥1,080
	No. 2 (1998)		¥1,080
	No. 3 (1999)		¥1,080
	No. 4 (2000)		¥1,080
	No. 5 (2001)		¥1,080
	No. 6 (2002)		¥540
	No. 7 (2003)		¥540
	No. 8 (2004)		¥823
	No. 9 (2005)		¥823
	No. 10 (2006)		¥823
	No. 11 (2007)		¥823
	No. 12 (2008)		¥823
66	**C・A・P Companion Animal Practice（チクサン出版社）**		
	No. 1-240 (1986-2009)	各号	¥2,674
	Index no.1-150 (2001)		¥2,674
67	**CARDIAC PRACTICE（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 23#1,2,4 (2012)	各号	¥2,484
	Vol. 24#3,4 (2013)	各号	¥2,484
	Vol. 25#4 (2014)		¥2,484
68	**Cardiovascular Anesthesia（日本心臓血管麻酔学会）**		
	Vol. 1-2 (1997-1998) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 3#1 (1999)		¥3,240
69	**セラミックス Ceramics Japan（日本セラミックス協会）**		
	Vol. 41-46 (2006-2011) 各1-12号	各号	¥2,160
70	**CG CAR GRAPHIC（カーグラフィック）**		
	Vol. 52#1-2,5-12 (No.622,623,626-633) (2013年1-2,5-12月号)	各号	¥1,240
	Vol. 53#1-12 (No.634-645) (2014年1-12月号)	各号	¥1,240
	Vol. 54#1-4,6-12 (No.646-649,651-657) (2015年1-4,6-12月号)	各号	¥1,240
71	**The Chemical Record（日本化学会他）**		
	Vol. 1-10 (2001-2010) 各1-6号	各号	¥8,640
72	**千葉医学雑誌（千葉医学会）**		
	Vol. 77#2,4-6 (2001); 78#1-6 (2002); 79#1-6 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 80#3,6 (2004); 81#1,5,6 (2005); 82#1-6 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 83#2-6 (2007); 84#1-6 (2008); 85#1-6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 86#1-6 (2010); 87#1-6 (2011); 88#1-5 (2012)	各号	¥2,160

73 地学雑誌 Journal of geography (東京地学協会)

Vol. 1#1-12 (1889)	各号	¥2,160
Vol. 2#13-24 (1890)	各号	¥2,160
Vol. 3#25-36 (1891)	各号	¥2,160
Vol. 4#37-48 (1892)	各号	¥2,160
Vol. 5#49-60 (1893)	各号	¥2,160
Vol. 6#61-72 (1894)	各号	¥2,160
Vol. 7#73-84 (1895)	各号	¥2,160
Vol. 8#85-96 (1896)	各号	¥2,160
Vol. 9#97-108 (1897)	各号	¥2,160
Vol. 10#109-120 (1898)	各号	¥2,160
Vol. 11#121-132 (1899)	各号	¥2,160
Vol. 12#133-144 (1900)	各号	¥2,160
Vol. 13#145-156 (1901)	各号	¥2,160
Vol. 14#157-168 (1902)	各号	¥2,160
Vol. 15#169-180 (1903)	各号	¥2,160
Vol. 16#181-192 (1904)	各号	¥2,160
Vol. 17#193-204 (1905)	各号	¥2,160
Vol. 18#205-216 (1906)	各号	¥2,160
Vol. 19#217-228 (1907)	各号	¥2,160
Vol. 20#229-240 (1908)	各号	¥2,160
Vol. 21#241-252 (1909)	各号	¥2,160
Vol. 22#253-264 (1910)	各号	¥2,160
Vol. 23#265-276 (1911)	各号	¥2,160
Vol. 24#277-288 (1912)	各号	¥2,160
Vol. 25#289-300 (1913)	各号	¥2,160
Vol. 26#301-312 (1914)	各号	¥2,160
Vol. 27#313-324 (1915)	各号	¥2,160
Vol. 28#325-336 (1916)	各号	¥2,160
Vol. 29#337-348 (1917)	各号	¥2,160
Vol. 30#349-360 (1918)	各号	¥2,160
Vol. 31#361-372 (1919)	各号	¥2,160
Vol. 32#373-384 (1920)	各号	¥2,160
Vol. 33#385-396 (1921)	各号	¥2,160
Vol. 34#397-408 (1922)	各号	¥2,160
Vol. 35#409-418 (1923)	各号	¥2,160
Vol. 36#419-430 (1924)	各号	¥2,160
Vol. 37#431-442 (1925)	各号	¥2,160
Vol. 38#443-454 (1926)	各号	¥2,160
Vol. 39#455-466 (1927)	各号	¥2,160
Vol. 40#467-478 (1928)	各号	¥2,160
Vol. 41#479-490 (1929)	各号	¥2,160
Vol. 42#491-502 (1930)	各号	¥2,160
Vol. 43#503-514 (1931)	各号	¥2,160
Vol. 44#515-526 (1932)	各号	¥2,160
Vol. 45#527-538 (1933)	各号	¥2,160
Vol. 46#539-550 (1934)	各号	¥2,160
Vol. 47#551-562 (1935)	各号	¥2,160
Vol. 48#563-574 (1936)	各号	¥2,160
Vol. 49#575-586 (1937)	各号	¥2,160
Vol. 50#587-598 (1938)	各号	¥2,160
Vol. 51#599-610 (1939)	各号	¥2,160

	Vol. 52#611-622 (1940)	各号	¥2,160
	Vol. 53#623-634 (1941)	各号	¥2,160
	Vol. 54#635-646 (1942)	各号	¥2,160
	Vol. 55#647-658 (1943)	各号	¥2,160
	Vol. 56#659-667 (1944)	各号	¥2,160
	Vol. 57#1(668),2(669) (1948/1949)	各号	¥2,160
	Vol. 58#3,4/5,6/7 (1949)	各号	¥2,160
	Vol. 59-68 (1950-1959) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 69#1-5 (1960)	各号	¥2,160
	Vol. 70-97 (1961-1988) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 98-104 (1989-1995) 各1-7号	各号	¥2,160
	Vol. 105-119 (1996-2010) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 120#1-3,5 (2011)	各号	¥2,160
74	**地方史研究 (地方史研究協議会)**		
	No. 314,316-318 (2005)	各号	¥1,234
	No. 319-324 (2006)	各号	¥1,234
	No. 325-330 (2007)	各号	¥1,234
	No. 331-336 (2008)	各号	¥1,234
	No. 337-342 (2009)	各号	¥1,234
	No. 343-348 (2010)	各号	¥1,234
	No. 349-330,352-354 (2011)	各号	¥1,234
	No. 355 (2012)	各号	¥1,234
75	**地域安全学会論文集 (地域安全学会)**		
	No. 1,3,5,6,7 (1999-2005)	各号	¥5,400
76	**地域保健 (地域保健研究会)**		
	Vol. 10#1-8,10,11 (1979)	各号	¥864
	Vol. 11#1,2,4-11 (1980)	各号	¥864
	Vol. 12#1-3,5-11 (1981)	各号	¥864
	Vol. 13#1-8,10,11 (1982)	各号	¥864
	Vol. 14#1-5,7-11 (1983)	各号	¥864
	Vol. 15#1-6,8-11 (1984)	各号	¥864
	Vol. 16#1-8,10,11 (1985)	各号	¥864
	Vol. 17#3-6,8,11 (1986)	各号	¥864
	Vol. 18#1-11 (1987)	各号	¥864
	Vol. 19#1-8,10,11 (1988)	各号	¥864
	Vol. 20#1,3,5-11 (1989)	各号	¥864
	Vol. 21#1-11 (1990)	各号	¥864
	Vol. 22#1-11 (1991)	各号	¥864
	Vol. 23#1-3,5-11 (1992)	各号	¥864
	Vol. 24#1-11 (1993)	各号	¥864
	Vol. 25#1-11 (1994)	各号	¥864
	Vol. 26#1,2 (1995)	各号	¥864
	Vol. 27#8-11 (1996)	各号	¥864
	Vol. 28#1,2 (1997)	各号	¥864
	Vol. 29#2,3,11 (1998)	各号	¥864
	Vol. 30#3 (1999)		¥864
	Vol. 34#1 (2003)		¥864
	Vol. 38#1 (2007)		¥864
77	**地下水学会誌 (日本地下水学会)**		
	Vol. 35-53 (1993-2011) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 54#1,2 (2012)		¥2,700

78	**地域福祉研究（日本生命済生会）**		
	No. 29-40 (2001-2012)	各号	¥2,160
79	**地球化学（日本地球化学会）**		
	Vol. 32-43 (1998-2009) 各1-4号	各号	¥2,160

80　地球科学（地学団体研究会）

Vol. 3#1 (1949)		¥1,543
Vol. 4#2-3 (1950)	各号	¥1,543
Vol. 5#4-6 (1951)	各号	¥1,543
Vol. 6#7-8 (1952)	各号	¥1,543
Vol. 7#9-15 (1953)	各号	¥1,543
Vol. 8#16-19 (1954)	各号	¥1,543
Vol. 9#20-25 (1955)	各号	¥1,543
Vol. 10#26-30 (1956)	各号	¥1,543
Vol. 11#31-35 (1957)	各号	¥1,543
Vol. 12#36-40 (1958)	各号	¥1,543
Vol. 13#41-45 (1959)	各号	¥1,543
Vol. 14#46-52 (1960)	各号	¥1,543
Vol. 15#53-57 (1961)	各号	¥1,543
Vol. 16#58-63 (1962)	各号	¥1,543
Vol. 17#64-69 (1963)	各号	¥1,543
Vol. 18#70-75 (1964)	各号	¥1,543
Vol. 19#76-81 (1965)	各号	¥1,543
Vol. 20#82-87 (1966)	各号	¥1,543
Vol. 21#1-6 (1967)	各号	¥1,543
Vol. 22#1-6 (1968)	各号	¥1,543
Vol. 23#1-6 (1969)	各号	¥1,543
Vol. 24#1-6 (1970)	各号	¥1,543
Vol. 25#1-6 (1971)	各号	¥1,543
Vol. 26#1-6 (1972)	各号	¥1,543
Vol. 27#1-6 (1973)	各号	¥1,543
Vol. 28#1-6 (1974)	各号	¥1,543
Vol. 29#1-6 (1975)	各号	¥1,543
Vol. 30#1-6 (1976)	各号	¥1,543
Vol. 31#1-6 (1977)	各号	¥1,543
Vol. 32#1-6 (1978)	各号	¥1,543
Vol. 33#1-6 (1979)	各号	¥1,543
Vol. 34#1-6 (1980)	各号	¥1,543
Vol. 35#1-6 (1981)	各号	¥1,543
Vol. 36#1-6 (1982)	各号	¥1,543
Vol. 37#1-6 (1983)	各号	¥1,543
Vol. 38#1-6 (1984)	各号	¥1,543
Vol. 39#1-6,特別号 (1985)	各号	¥1,543
Vol. 40#1-6 (1986)	各号	¥1,543
Vol. 41#1-6 (1987)	各号	¥1,543
Vol. 42#1-6 (1988)	各号	¥1,543
Vol. 43#1-6 (1989)	各号	¥1,543
Vol. 44#1-6 (1990)	各号	¥1,543
Vol. 45#1-6 (1991)	各号	¥1,543
Vol. 46#1-6 (1992)	各号	¥1,543
Vol. 47#1-6 (1993)	各号	¥1,543
Vol. 48#1-6 (1994)	各号	¥1,543
Vol. 49#1-5 (1995)	各号	¥1,543
Vol. 50#1-3,5,6 (1996)	各号	¥1,543
Vol. 51#1-6 (1997)	各号	¥1,543
Vol. 52#1-6 (1998)	各号	¥1,543
Vol. 53#1-6 (1999)	各号	¥1,543

	Vol. 54#1-6 (2000)	各号	¥1,543
	Vol. 55#1-4 (2001)	各号	¥1,543
	Vol. 56#2 (2002)		¥1,543
81	**チャイルドヘルス Child health（診断と治療社）**		
	Vol. 1#1-3 (1998)	各号	¥1,188
	Vol. 2-5 (1999-2002) 各1-12号	各号	¥1,188
	Vol. 7-10 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,188
82	**知能と情報 日本知能情報ファジィ学会誌（日本知能情報ファジィ学会）**		
	Vol. 16#3,5 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1-6 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 18#1,6 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1,2,4,5,6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 20-24 (2008-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
83	**地理（古今書院）**		
	Vol. 50-56 (2005-2011) 各1-12号	各号	¥1,234
	Vol. 57#6,8,12 (2012)	各号	¥1,234
	Vol. 58#1-5 (2013)	各号	¥1,234
84	**ちりぼたん 日本貝類学会研究連絡誌（日本貝類学会）**		
	Vol. 4-10 (1966/67-1978/79) 各1-8号	各号	¥540
	Vol. 11-41 (1980-2011) 各1-4号	各号	¥540
85	**地理学評論（日本地理学会）**		
	Vol. 32-56 (1959-1983) 各1-12号	各号	¥1,080
86	**地理学評論 Geographical review of Japan（日本地理学会）**		
	Vol. 75-79 (2002-2006) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,080
	Vol. 80#1-4,6-11,13,14 (2007)	各号	¥1,337
	Vol. 81#1-3 (2008)	各号	¥1,337
	Vol. 81#4-8 (2008)	各号	¥3,292
	Vol. 82-86 (2009-2013) 各1-6号	各号	¥3,292
87	**地理学評論. Ser. A（日本地理学会）**		
	Vol. 57-74 (1984-2001)　各1-12号	各号	¥1,080
88	**地理科学（地理科学学会）**		
	Vol. 50#Index 1/50,2,3,4 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 51-63 (1996-2008) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 64#1-3 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 66-68 (2011-2013) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 69#1 (2014)		¥2,160
89	**地理空間（地理空間学会）**		
	Vol. 1#1,2 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 2#1,2 (2009)	各号	¥2,700
90	**地理教育研究（全国地理教育学会）**		
	No.1-8 (2008-2011)	各号	¥2,160
	No.14-18 (2014-2016)	各号	¥2,160

91　治療（南山堂書店）

Vol. 82#1-12 (2000)	各号	¥2,484
Vol. 82#2月増刊号 (2000)		¥6,480
Vol. 83#1-12 (2001)	各号	¥2,484
Vol. 83#2月増刊号 (2001)		¥6,480
Vol. 84#1-12 (2002)	各号	¥2,484
Vol. 85#1-12 (2003)	各号	¥2,484
Vol. 86#1-12 (2004)	各号	¥2,484
Vol. 86#3月増刊号 (2004)		¥8,208
Vol. 87#1-12 (2005)	各号	¥2,484
Vol. 88#1-12 (2006)	各号	¥2,484
Vol. 88#3月増刊号 (2006)		¥8,208
Vol. 89#1-12 (2007)	各号	¥2,484
Vol. 90#1-12 (2008)	各号	¥2,484
Vol. 90#3月増刊号 (2008) 地域医療連携 実践ガイドブック		¥8,208
Vol. 91#2-10,12 (2009)	各号	¥2,484
Vol. 92#1-12 (2010)	各号	¥2,484
Vol. 92#4月増刊号 (2010) デキる医師の紹介・逆紹介スキル99		¥8,208

92　治療学（ライフ・サイエンス出版）

Vol. 34#1-12 (2000)	各号	¥1,728
Vol. 35#1-12 (2001)	各号	¥1,728
Vol. 36#1-12 (2002)	各号	¥1,728
Vol. 37#1-12 (2003)	各号	¥1,728
Vol. 38#1-12 (2004)	各号	¥1,728
Vol. 39#1-12 (2005)	各号	¥1,728
Vol. 40#1-12 (2006)	各号	¥1,728
Vol. 41#1-4,6-12 (2007)	各号	¥1,728
Vol. 42#1-12 (2008)	各号	¥1,728
Vol. 43#1-12 (2009)	各号	¥1,728

93 地質学雑誌 Journal of the Geological Society of Japan (日本地質学会)

Vol. 1#2,3,10-12 (1893/1894)	各号	¥1,728
Vol. 2#13-24 (1894/1895)	各号	¥1,728
Vol. 3#25-28,32-36 (1895/1896)	各号	¥1,728
Vol. 4#37-42,44,46 (1896/1897)	各号	¥1,728
Vol. 5#49,51,53,55,56,58,60,62 (1897/1898)	各号	¥1,728
Vol. 6#73,74	各号	¥1,728
Vol. 7#78-86,88 (1900/1901)	各号	¥1,728
Vol. 8#89-99 (1901)	各号	¥1,728
Vol. 9#100-111 (1902)	各号	¥1,728
Vol. 10#112-123 (1903)		¥19,440
Vol. 11#124-135 (1904)	各号	¥1,728
Vol. 12#136-147 (1905)		¥19,440
Vol. 13#148-159 (1906)	各号	¥1,728
Vol. 14#160-171 (1907)	各号	¥1,728
Vol. 15#172-183 (1908)	各号	¥1,728
Vol. 16#184-195 (1909)	各号	¥1,728
Vol. 17#196-207 (1910)		¥19,440
Vol. 18#208-219 (1911)		¥19,440
Vol. 19#220-231 (1912)		¥19,440
Vol. 20#232-243 (1913)	各号	¥1,728
Vol. 21#244-255 (1914)		¥19,440
Vol. 22#256-267 (1915)		¥19,440
Vol. 23#268-279 (1916)		¥19,440
Vol. 24#280-291 (1917)		¥19,440
Vol. 25#292-303 (1918)		¥19,440
Vol. 26#304-315 (1919)		¥19,440
Vol. 27#316-327 (1920)		¥19,440
Vol. 28#328-339 (1921)		¥19,440
Vol. 29#340-351 (1922)		¥19,440
Vol. 30#352-363 (1923)		¥19,440
Vol. 31#364-375 (1924)		¥19,440
Vol. 32#376-387 (1925)		¥19,440
Vol. 33#388-399 (1926)		¥19,440
Vol. 34#400-411 (1927)		¥19,440
Vol. 35#412-423,412S (1928)		¥19,440
Vol. 36#424-435 (1929)		¥19,440
Vol. 37#436-447,447S (1930)		¥19,440
Vol. 38#448-459 (1931)		¥19,440
Vol. 39#460-471 (1932)		¥19,440
Vol. 40#472-483 (1933)		¥19,440
Vol. 41#484-495 (1934)	各号	¥1,728
Vol. 42#496-507,Index No.401/500 (1935)	各号	¥1,728
Vol. 43#508-519 (1936)	各号	¥1,728
Vol. 44#520-531,530S (1937)	各号	¥1,728
Vol. 45#532-543,532S (1938)	各号	¥1,728
Vol. 46#544-555 (1939)	各号	¥1,728
Vol. 47#556-567 (1940)	各号	¥1,728
Vol. 48#568-579 (1941)	各号	¥1,728
Vol. 49#580-591 (1942)	各号	¥1,728
Vol. 50#592-603 (1943)	各号	¥1,728
Vol. 51#604-609 (1944)	各号	¥1,728
Vol. 52#610-615 (1946)	各号	¥1,728
Vol. 53#616-627 (1947)	各号	¥1,728

			税込価格
	Vol. 54#628-639 (1948)	各号	¥1,728
	Vol. 55#1-12 (1949)		¥19,440
	Vol. 56#1-12 (1950)		¥19,440
	Vol. 57#1-12 (1951)		¥19,440
	Vol. 58#1-12 (1952)		¥19,440
	Vol. 59#1-12 (1953)		¥19,440
	Vol. 60#1-12 (1954)		¥19,440
	Vol. 61#1-12 (1955)		¥19,440
	Vol. 62#1-12 (1956)		¥19,440
	Vol. 63#1-12 (1957)		¥19,440
	Vol. 64#1-12 (1958)		¥19,440
	Vol. 65#1-12 (1959)		¥19,440
	Vol. 66#1-12 (1960)		¥19,440
	Vol. 67-119 (1961-2012) 各1-13号	各号	¥1,728
94	**地質ニュース（産業技術総合研究所）**		
	No. 485-679 (1995-2011)	各号	¥808
95	**キチン・キトサン研究（日本キチン・キトサン学会）**		
	Vol. 6#1,3 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 6#2 (2000)		¥4,320
	Vol. 7#1,3 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 7#2 (2001)		¥4,320
	Vol. 8#2 (2002)		¥4,320
	Vol. 8#3 (2002)		¥2,160
	Vol. 9#1,3 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 9#2 (2003)		¥4,320
	Vol. 10#1,3 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 10#2 (2004)		¥4,320
	Vol. 11#1,3 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 11#2 (2005)		¥4,320
	Vol. 12#1,3 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 12#2 (2006)		¥4,320
	Vol. 13#3 (2007)		¥2,160
	Vol. 14#2 (2008)		¥4,320
	Vol. 15#2 (2009)		¥4,320
	Vol. 15#3 (2009)		¥2,160
	Vol. 16#1,3 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 16#2 (2010)		¥4,320
	Vol. 17#1 (2011)		¥2,160
	Vol. 17#2 (2011)		¥4,320
96	**聴覚言語障害（日本聴覚言語障害学会）**		
	Vol. 1-24 (1972-1995) 各1-4号	各号	¥1,080
	Vol. 27#1/2/3/4 (1998)		¥4,320
	Vol. 28-29 (1999-2000) 各1-4号	各号	¥1,080
	Vol. 30-36 (2001-2007) 各1-3号	各号	¥1,080
	Vol. 40#1,2 (2011/2012)	各号	¥1,080
	Vol. 41#1,2 (2012/2013)	各号	¥1,080
	Vol. 42#1 (2013)		¥1,080
97	**聴能言語学研究（日本聴能言語学会 ）**		
	Vol. 1#1 (1983)		¥3,024
	Vol. 2#1-3 (1985)	各号	¥3,024
	Vol. 3-7 (1986-1990) 各1-2号	各号	¥3,024
	Vol. 8-19 (1991-2002) 各1-3号	各号	¥3,024

98	**超音波医学 Japanese Journal of Medical Ultrasonics (日本超音波医学会)**		
	Vol. 36-39 (2009-2012) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,160
	Vol. 40#1-4,Supplement (2013)	各号	¥2,160
99	**中部日本整形外科災害外科学会雑誌 (中部日本整形外科災害外科学会)**		
	Vol. 49#1,4-6,106回春季学会号,107回秋季学会号 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 50#1-6,108回春季学会号,109回秋季学会号 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 51#1-6,110回春季学会号,111回秋季学会号 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 52#1,2,3,112回春季学会号,113回秋季学会号 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 53#2-6,114回春季学会号,115回秋季学会号 (2010)	各号	¥2,160
100	**中部リウマチ (中部リウマチ学会)**		
	Vol. 26-32 (1995-2001) 各1-2号	各号	¥3,240
101	**中毒研究 (中毒研究会)**		
	Vol. 0#0 (1987)		¥2,376
	Vol. 1#1,2 (1988)	各号	¥2,376
	Vol. 2#1-3 (1989)	各号	¥2,376
	Vol. 5-15 (1992-2002) 各1-4号	各号	¥2,376
	Vol. 16#1 (2003)		¥2,376
	Vol. 20#4 (2007)		¥2,376
	Vol. 21#4 (2008)		¥2,376
	Vol. 22-28 (2009-2015) 各1-4号	各号	¥2,376
	Vol. 30#1 (2017)		¥2,376
102	**中・四国矯正歯科学会雑誌 (中・四国矯正歯科学会)**		
	Vol. 14#1 (2002)		¥3,240
	Vol. 16#1 (2004)		¥3,240
	Vol. 20-23 (2008-2011) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 25-27 (2013-2015) 各1号	各号	¥3,240
103	**CI研究 progress in computed imaging (「CI研究」編集事務局)**		
	Vol. 16#1-4 (1994)	各号	¥2,484
	Vol. 18#1-4 (1996)	各号	¥2,484
	Vol. 19#2-4 (1997)	各号	¥2,484
	Vol. 20#1-4 (1998)	各号	¥2,484
	Vol. 21#1-4 (1999)	各号	¥2,484
	Vol. 22#1-4 (2000)	各号	¥2,484
	Vol. 23#1-4 (2001)	各号	¥2,484
	Vol. 24#1-4 (2002)	各号	¥2,484
	Vol. 25#1-4 (2003)	各号	¥2,484
	Vol. 26-33 (2004-2011) 各1,2,3/4号	各号	¥2,484
104	**Clinical Calcium (医薬ジャーナル)**		
	Vol. 17-18 (2007-2008) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 23-25 (2013-2015) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 21#1,3,5-12 (2011)	各号	¥2,700
105	**Clinical Neuroscience 月刊臨床神経科学 (中外医学社)**		
	Vol. 1#1-3 (1983)	各号	¥2,916
	Vol. 2-32 (1984-2014) 各1-12号	各号	¥2,916

106	**クリニカルスタディ Clinical Study（メヂカルフレンド社）**		
	Vol. 1#1-9 (1980)	各号	¥1,080
	Vol. 2-8 (1981-1987) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 9-10 (1988-1989) 各1-13号	各号	¥1,080
	Vol. 11-27 (1990-2006) 各1-14号	各号	¥1,080
	Vol. 11-27 (1990-2006) 各増刊号	各号	¥1,620
	Vol. 28#1-5,8-12,14 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 28#6,13 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 29#1,3,10-12,14 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 29#13 (2008)		¥1,620
	Vol. 30#4,5 (2009)	各号	¥1,080
	Vol. 31#1,13 (2010)	各巻	¥1,080
107	**コミュニケーション障害学（日本コミュニケーション障害学会）**		
	Vol. 20-30 (2003-2013) 各1-3号	各号	¥3,024

108 コミュニティケア Community Care（日本看護協会出版会）

	Vol. 1#0,1,2,3 (1999)	各号	¥1,080
	Vol. 2#1-12 (2000)	各号	¥1,080
	Vol. 3#1-12 (2001)	各号	¥1,080
	Vol. 4#1-12 (2002)	各号	¥1,080
	Vol. 5#1-10,12,13 (2003)	各号	¥1,080
	Vol. 5#11 (2003)		¥1,620
	Vol. 6#1-5,7-11,13,14 (2004)	各号	¥1,080
	Vol. 6#6,12 (2004)	各号	¥1,620
	Vol. 7#1-5,7-11,13,14 (2005)	各号	¥1,080
	Vol. 7#6,12 (2005)	各号	¥1,620
	Vol. 8#1-5,7-11,13,14 (2006)	各号	¥1,080
	Vol. 8#6,12 (2006)	各号	¥1,620
	Vol. 9#2-5,7-11,13,14 (2007)	各号	¥1,080
	Vol. 9#6,12 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 10#1-5,7-11,13,14 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 10#6,12 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 11#1-5,7-11,13,14 (2009)	各号	¥1,188
	Vol. 11#6,12 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 12#1-6,8-13 (2010)	各号	¥1,188
	Vol. 12#7,14 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 13#1 (2011) 通巻151号 “生活を支える看護”を伝えよう――病院看		¥1,188
	Vol. 13#2 (2011) 通巻152号 特養看護職が行う“医療的ケア”の研修		¥1,188
	Vol. 13#3 (2011) 通巻153号 ナースだからできる　家族への“看取り”の		¥1,188
	Vol. 13#4 (2011) 通巻154号 リンパ浮腫のケア――慢性期から終末期ま		¥1,188
品切	Vol. 13#5 (2011) 通巻155号 精神科訪問看護に取り組む!――よりよいか		¥1,188
	Vol. 13#6 (2011) 通巻156号 押さえておきたい! 在宅皮下輸液のポイント		¥1,188
	Vol. 13#8 (2011) 通巻158号 震災後、“地域の看護”は まず何をする?		¥1,188
	Vol. 13#9 (2011) 通巻159号 立ち上げよう!訪問看護ステーション		¥1,188
	Vol. 13#10 (2011) 通巻160号 うまくいかないのはコレが原因? 褥瘡ケア		¥1,188
	Vol. 13#11 (2011) 通巻161号 “生活の場”での感染対策――聖路加国		¥1,188
	Vol. 13#12 (2011) 通巻162号 “癒し”を活用するタクティール®ケア		¥1,188
	Vol. 13#13 (2011) 通巻163号 最期まで“口から食べる”を支える――特		¥1,188
	Vol. 14#1 (2012) 通巻165号 期待しています!“地域”を支える看護職/IC		¥1,188
	Vol. 14#2 (2012) 通巻166号 ショートステイにおける施設と訪問看護の連		¥1,188
	Vol. 14#3 (2012) 通巻167号 ナースも楽しく成長できる!小児訪問看護を		¥1,188
	Vol. 14#4 (2012) 通巻168号 訪問看護師が身につけたい家族の“心”を		¥1,188
	Vol. 14#5 (2012) 通巻169号 新開発の“シート”でできる!高齢者ケア施設		¥1,188
	Vol. 14#6 (2012) 通巻170号 高齢者の皮膚アセスメントとスキンケアのポ		¥1,188
	Vol. 14#8 (2012) 通巻172号 オムツに頼らず快適性を追求!尊厳ある排		¥1,188
	Vol. 14#9 (2012) 通巻173号 在宅・施設のナースを日本看護協会が支援		¥1,188
	Vol. 14#10 (2012) 通巻174号 特定看護師(仮称)業務試行事業“地域”で		¥1,188
	Vol. 14#11 (2012) 通巻175号 “セルフケア能力”を引き出す認知症看護		¥1,188
	Vol. 14#12 (2012) 通巻176号 特別養護老人ホームへの訪問看護－その		¥1,188
	Vol. 14#13 (2012) 通巻177号 高齢者ケアに生かす“シーティング”/開業		¥1,188
	Vol. 14#14 (2012) 通巻178号 看護師が行う“手を当てる”ケア		¥1,620
	Vol. 15#1 (2013) 通巻179号 “複合型サービス”をはじめよう/“地域”を経		¥1,188
	Vol. 15#2 (2013) 通巻180号 広がる“暮らしの保健室”/訪問看護サミット2		¥1,188
	Vol. 15#3 (2013) 通巻181号 訪問看護認定看護師 あらためて考える役		¥1,188
	Vol. 15#4 (2013) 通巻182号 特別養護老人ホームで行う生活の場での“		¥1,188
	Vol. 15#5 (2013) 通巻183号 終末期の栄養ケアマネジメント ―訪問看護		¥1,188
	Vol. 15#6 (2013) 通巻184号 専門看護師・認定看護師のスキルを生かす		¥1,188
	Vol. 15#8 (2013) 通巻186号 地域で支えつづけたい! 神経難病の訪問		¥1,188
	Vol. 15#9 (2013) 通巻187号 今必要とされる 特養の事故予防対策/訪問		¥1,188
	Vol. 15#10 (2013) 通巻188号 遺族の生きる力を支える 訪問看護師が寄		¥1,188

Vol. 15#11 (2013) 通巻189号 慢性疾患を悪化させない訪問看護/特養		¥1,188
Vol. 15#12 (2013) 通巻190号 看護が支援して実現する グループホーム		¥1,188
Vol. 15#14 (2013) 通巻192号 看護職がリードしたい! 特養でのフィジカ		¥1,188
Vol. 16#1 (2014) 通巻193号 訪問看護におけるリハスタッフとの“連携”/		¥1,296
Vol. 16#2 (2014) 通巻194号 これで決断できた!“複合型サービス”の開		¥1,296
Vol. 16#3 (2014) 通巻195号 チーム連携で効果を上げる! 在宅・施設の		¥1,296
Vol. 16#4 (2014) 通巻196号 特養での看取りを見据えた意思決定支援/		¥1,296
Vol. 16#5 (2014) 通巻197号 今こそ地域で支えたい! 求められる精神科		¥1,296
Vol. 16#6 (2014) 通巻198号 “機能強化型”創設で待ったナシ! 訪問看		¥1,296
Vol. 16#8 (2014) 通巻200号 在宅医療への期待さらに高まる 平成26年		¥1,296
Vol. 16#9 (2014) 通巻201号 “認知症のステージ”に合わせた訪問看護/		¥1,296
Vol. 16#10 (2014) 通巻202号 緩和ケア認定看護師―地域で期待される		¥1,296
Vol. 16#11 (2014) 通巻203号 “巻き込まれ”に気づいていますか? 看護		¥1,296
Vol. 16#12 (2014) 通巻204号 「専門性の高い看護師」との連携――訪問		¥1,296
Vol. 16#14 (2014) 通巻206号 その人らしい生活を守るための 特養での“		¥1,296

109　コンピュータソフトウェア Computer software（日本ソフトウェア科学会）

Vol. 1#1-3 (1984)	各号	¥1,080
Vol. 2-7 (1985-1990) 各1-4号	各号	¥1,080
Vol. 8-21 (1991-2004) 各1-6号	各号	¥1,080
Vol. 22-26 (2005-2011) 各1-6号	各号	¥1,620
Vol. 27-28 (2010-2011) 各1-6号	各号	¥1,944
Vol. 29#1,2 (2012)	各号	¥1,944

110　コンセンサス癌治療（へるす出版）

	Vol. 1 No.1 (2002) 胃癌の治療		¥1,620
	Vol. 1 No.2 (2002) 大腸癌の治療		¥1,620
品切	Vol. 1 No.3 (2002) 肺癌の治療		¥1,620
	Vol. 2 No.1 (2003) 膵癌(膵管癌) の治療		¥1,620
品切	Vol. 2 No.2 (2003) 消化管間葉系腫瘍 (GIST)の診断と治療		¥1,620
品切	Vol. 2 No.3 (2003) 肝細胞癌の治療		¥1,620
	Vol. 2 No.4 (2003) 食道癌の治療		¥1,620
	Vol. 3 No.1 (2004) 乳癌の治療		¥1,620
	Vol. 3 No.2 (2004) 胆嚢癌の治療		¥1,620
	Vol. 3 No.3 (2004) 外来化学療法の実際		¥1,620
	Vol. 3 No.4 (2004) 癌の症状緩和医療		¥1,620
	Vol. 4 No.1 (2005) 癌術後フォローアップ計画		¥1,620
	Vol. 4 No.2 (2005) 胃癌の治療2005-2007		¥1,620
	Vol. 4 No.3 (2005) 直腸癌の治療		¥1,620
品切	Vol. 4 No.4 (2005) 肺癌の治療2005-2007		¥1,620
	Vol. 5 No.1 (2006) 膵癌の治療2006-2008		¥1,620
	Vol. 5 No.2 (2006) 癌診療ガイドライン		¥1,620
	Vol. 5 No.3 (2006) 癌診療におけるPET診断の位置づけ		¥1,620
	Vol. 5 No.4 (2006) 抗癌剤の副作用と対策		¥1,620
	Vol. 6 No.1 (2007) 乳癌の治療2007-2009		¥1,620
品切	Vol. 6 No.2 (2007) 術後補助療法		¥1,620
	Vol. 6 No.3 (2007) 腫瘍マーカー		¥1,620
	Vol. 6 No.4 (2007) 多様化する肝転移治療の選択		¥1,620
	Vol. 7 No.1 (2008) チーム医療のためのサイコオンコロジー入門		¥1,620
	Vol. 7 No.2 (2008) 大腸癌診療-最近の話題		¥1,620
	Vol. 7 No.3 (2008) 癌緩和医療のベストプラクティス		¥1,620
	Vol. 7 No.4 (2008) 胃癌;大きく変わってきたスタンダード治療		¥1,620
	Vol. 8 No.1 (2009) ガイドラインに基づいた胆道癌の診断と治療		¥1,620
	Vol. 8 No.2 (2009) 知っておきたい分子標的治療		¥1,620
品切	Vol. 8 No.3 (2009) 肝細胞癌の治療2009-2011		¥1,620
	Vol. 8 No.4 (2009) 外来化学療法のための重篤な副作用対応マニュアル		¥1,620
	Vol. 9 No.1 (2010) 腫瘍進行に伴うoncologic emergency-救急室での対		¥1,620
	Vol. 9 No.2 (2010) 乳癌の初期治療		¥1,620
	Vol. 9 No.3 (2010) 転移乳癌の治療		¥1,620
品切	Vol. 9 No.4 (2010) 非小細胞肺癌の治療2010-2012		¥1,620
	Vol. 10 No.1 (2011) 進行・再発大腸癌の治療		¥1,620
	Vol. 10 No.2 (2011) 新しい胃癌取扱い規約と治療ガイドライン		¥1,620
	Vol. 10 No.3 (2011) 膵癌の診断と治療2011-2013		¥1,620
品切	Vol. 10 No.4 (2012) 終末期がん患者のケア・マニュアル		¥1,620
品切	Vol. 11 No.1 (2012) 小細胞肺癌の治療2012-2014		¥1,620
	Vol. 11 No.2 (2012) 食道癌の治療		¥1,620
	Vol. 11 No.3 (2012) 神経内分泌腫瘍 (NET);診断と治療のコンセンサス		¥1,620
	Vol. 11 No.4 (2012) 外来化学療法の実際;最新のベストプラクティス		¥1,620
	Vol. 12 No.1 (2013) 癌患者に対する栄養療法		¥1,620
	Vol. 12 No.2 (2013) 最新の肝細胞癌の診断と治療		¥1,620
	Vol. 12 No.3 (2013) 分子標的治療薬の使用手引き2013		¥1,620
	Vol. 12 No.4 (2013) 癌薬物療法の副作用対策　支持療法と用量調整の		¥1,620

111　カウンセリング研究（日本カウンセリング学会）

	Vol. 1-19 (1968-1986/1987)→相談学研究（日本相談学会）		
	Vol. 20-28 (1987/1988-1995) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 29-33 (1996-2000) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 34-46 (2001-2013) 各1-3号,増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 47#1,増刊号 (2014)	各号	¥2,160

112　カウンセリング研究 = Counseling（日本カウンセリング・センター）

	Vol. 2#1; 8#1; 10#別冊1; 13#1,別冊2; 14#1; 15#1; 16#1 (1982-1997)	各号	¥1,836

113	**Current Herpetology (The Herpetologycal Society of Japan Kyoto)**		
	Vol. 19-23 (2000-2004) 各1-2号	各号	¥2,700
114	**カレントテラピー Current Therapy (ライフメディコム)**		
	Vol. 26#1-12 (2008); 27#1-8,10-12 (2009); 28#1-12 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 30#1-7,9-12 (2012)	各号	¥2,160
115	**カリキュラム研究 (日本カリキュラム学会)**		
	Vol. 1 (1992)		¥3,240
	Vol. 5-13 (1996-2004)	各巻	¥3,240
116	**Cytometry Research (日本サイトメトリー学会)**		
	Vol. 14#1,2; 15#1,2,特別号; 16#2,特別号; 17#1,2; 18#2 (2004-2008)	各号	¥3,240
117	**第四紀 第四紀総合研究連絡誌 (第四紀総合研究会)**		
	No. 1-7,9-12,14-15 (1961-1970)	各号	¥2,160
118	**第四紀研究 (日本第四紀学会)**		
	Vol. 1#1-7 (1957/60)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1-6 (1961/63)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1-5(1963/64)	各号	¥2,160
	Vol. 4-27 (1965-1989) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 28-37 (1989-1998) 各1-5号	各号	¥2,160
	Vol. 38-50 (1999-2011) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 50#別冊号 (2011)		¥2,160
	Vol. 51#1-3 (2012)	各号	¥2,160
119	**断層映像研究会雑誌 (断層映像研究会)**		
	Vol. 28#4; 29#1,2/3,4; 30#1; 31#1,2; 32#2,3; 33#3 (2001-2006)	各冊	¥2,160
120	**デイケア実践研究 (日本デイケア学会)**		
	Vol. 7-12 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥4,320
121	**Dementia Japan 日本認知症学会誌**		
	Vol. 9-11 (1995-1997) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 12-14 (1998-2000) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 16#2 (2002)		¥3,240
	Vol. 17#1,2 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 18-22 (2004-2008) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 23#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 24#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 25#1,2 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 26-27 (2012-2013) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 28#1 (2014)		¥3,240
122	**電気学会技術報告 (電気学会)**		
	No. 681-1093 (1998-2007)	各号	¥2,592
123	**Dental Diamond (デンタルダイヤモンド社)**		
	Vol. 33#3 (2008); 34#3 (2009); 35#3 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 33#6,11 (2008); 34#6,10,14 (2009); 35#6,10,14 (2010)	各号	¥5,184
	Vol. 37#3 (2012)		¥4,320
	Vol. 37#6,14 (2012)	各号	¥5,184
124	**Dental Materials Journal (日本歯科理工学会)**		
	Vol. 1#1 (1982)		¥3,240
	Vol. 2-16 (1983-1997) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 17-25 (1998-2006) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 26-35 (2007-2016) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 36#1-5 (2017)	各号	¥3,240

125	**デザイン理論（意匠学会）**		
	No. 35-37 (1996-1998)	各号	¥3,240
	No. 40 (2001)		¥3,240
	No. 41 (2002)		¥3,240
	No. 42-43 (2003)	各号	¥3,240
	No. 44-45 (2004)	各号	¥3,240
	No. 47 (2005)		¥3,240
	No. 48-49 (2006)	各号	¥3,240
	No. 50-51 (2007)	各号	¥3,240
	No. 55 (2009)		¥3,240
	No. 56-57 (2010)	各号	¥3,240
	No. 58-59 (2011)	各号	¥3,240
	No. 60-61 (2012)	各号	¥3,240
	No. 62 (2013)	各号	¥3,240
126	**ディテール Detail Magazine for Architects and Engineers（彰国社）**		
	No. 22 (1968)		¥2,314
	No. 37 (1973)		¥2,314
	No. 52,54 (1977)	各号	¥2,314
	No. 55,58 (1978)	各号	¥2,314
	No. 59-187 (1979-2011)	各号	¥2,314
127	**DNA Research (Kazusa DNA Research Institute)**		
	Vol. 1-11 (1994-2004) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 12#1-3 (2005)	各号	¥2,160
128	**動物分類学会会報（動物分類学会）**		
	No. 36-51,53 (1967-1980)	各号	¥324
129	**動物分類学会誌 Proceedings of the Japanese Society of Systematic Zoology**		
	No. 2-38 (1966-1988)	各号	¥324
130	**動物学雑誌 Zoological Magazine（東京動物学会）**		
	Vol. 62-80 (1953-1971) 各1-12号	各号	¥540
	Vol. 81-92 (1972-1983) 各1-4号	各号	¥1,620
131	**ドイツ文学（日本獨文學會・郁文堂書店）**		
	No. 5-8,11-131 (1950-2006)	各号	¥1,620
132	**同志社アメリカ研究 Doshisha American Studies（同志社大学アメリカ研究所）**		
	No. 1,3-37 (1963-2001)	各号	¥2,160
133	**Drug Metabolism and Pharmacokinetics（日本薬物動態学会）**		
	Vol. 20-24 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥3,240
134	**EBMジャーナル（中山書店）**		
	Vol. 1-3 (2000-2002) 各1-6号	各号	¥1,944
	Vol. 5-6 (2004-2005) 各1-6号	各号	¥2,047
	Vol. 7#1 (2006) 増大号		¥3,888
	Vol. 7#2-6 (2006)	各号	¥2,047
	Vol. 8#1,3-6 (2007)	各号	¥2,047
	Vol. 8#2 (2007) 増大号		¥3,240
	Vol. 9#1-6 (2008)	各号	¥2,160
135	**EB Nursing（中山書店）**		
	Vol. 1-7 (2001-2007) 各1-4号	各号	¥1,512
136	**Eco Forum（統計研究会）**		
	Vol. 16#2-4; 17#1,2; 18#3,4; 19#1-3 (1997-2001)	各号	¥2,160

137	**Ecological Research (日本生態学会)**		
	Vol. 1-13 (1986-1997) 各1-3号	各号	¥6,480
	Vol. 14-15 (1999-2000) 各1-4号	各号	¥8,640
	Vol. 16#1-5 (2001)	各号	¥8,640
	Vol. 17-26 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥12,960
138	**英文学研究 Studies in English Literature (日本英文学社)**		
	Vol. 39-41 (1963-1965) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 42#1 (1965)		¥2,160
	Vol. 43-50 (1966-1974) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 51-54 (1974-1977) 各1-2合併号	各巻	¥4,320
	Vol. 55-59 (1978-1982) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 60#1 (1983); 61#1 (1984)	各号	¥2,160
	Vol. 62-67 (1985-1990) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 69-79 (1992-2002) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 82-85 (2005-2008)	各巻	¥4,320
139	**英語教育 English Teachers' Magazine(大修館書店)**		
	Vol. 48#1-15 (1999/2000)	各号	¥864
	Vol. 49#1-13 (2000/2001)	各号	¥864
	Vol. 50#1-13 (2001/2002)	各号	¥864
	Vol. 51#1-14 (2002/2003)	各号	¥864
	Vol. 52#1-13 (2003/2004)	各号	¥864
140	**英語青年 Rising Generation (英語青年社)**		
	Vol. 1-81 (1898-1939)	各巻	¥8,640
	Vol. 145#1-13 (1999/2000)	各号	¥1,080
	Vol. 146-149 (2000/2001-2003/2004) 各1-12号	各号	¥1,080
141	**衛生動物 Medical entomology and Zoology (日本衛生動物学会)**		
	Vol. 1-2 (1950-1951) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 3-59 (1952-2008) 各1-4号	各号	¥2,160
142	**栄養学雑誌 Japanese Journal of Nutrition (国民栄養部研究会)**		
	Vol. 44-48 (1986-1990) 各1-6号	各号	¥1,080
	Vol. 49-50 (1991-1992) 各1-5号	各号	¥1,080
	Vol. 62-67 (2004-2009) 各1-6号	各号	¥1,080
	Vol. 68#1-3 (2010)	各号	¥1,080
143	**栄養日本 : 日本栄養士会雑誌 Journal of the Japan Dietetic Association**		
	Vol. 51#5-7,9-12 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 52#1-7,9-12 (2009)	各号	¥1,080
	Vol. 53#1,3-5,7-9 (2010)	各号	¥1,080
144	**栄養と食糧 (日本栄養・食糧学会)**		
	Vol. 1-35 (1947/49-1982) 各1-6号	各号	¥1,620
145	**映像情報メディア学会誌 (映像情報メディア学会)**		
	Vol. 54-58 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥2,376
	Vol. 59#1-9 (2005)	各号	¥2,376
146	**液晶 日本液晶学会誌**		
	Vol. 2#3,4 (1998)	各号	¥2,160
	Vol. 3-9 (1999-2005) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1 (2006)		¥2,160

147	**Elle Deco (アシェット婦人画報社)**		
	No. 34-37,39 (1998)	各号	¥1,234
	No. 40,41 (1999)	各号	¥1,234
	No. 46,48,50 (2000)	各号	¥1,234
	No. 52,53,56,57 (2001)	各号	¥1,234
	No. 59,61,62 (2002)	各号	¥1,234
	No. 68,69 (2003)	各号	¥1,234
	No. 70,73,74 (2004)	各号	¥1,234
	No. 78 (2005)		¥1,234
	No. 84 (2006)		¥1,234
	No. 89,90,91,93 (2007)	各号	¥1,234
148	**Emergency Care エマージェンシー・ケア (メディカ出版)**		
	Vol. 21#1-3,5-12 (2008)	各号	¥1,944
149	**Emergency nursing エマージェンシー・ナーシング (メディカ出版)**		
	Vol. 3#1,3-6 (1990)	各号	¥1,944
	Vol. 7-17 (1994-2008) 各1-12号	各号	¥1,944
	Vol. 11#夏; 13#春; 14#新春,夏;15#夏季増刊号 (1998-2002)	各号	¥4,320
	Vol. 16#新春,夏季増刊号 (2003)	各号	¥4,320
150	**エンドトキシン血症治療研究会誌**		
	Vol. 2#1 (1998)		¥2,160
	Vol. 9#1 (2005)		¥2,160
	Vol. 10#1 (2005)		¥2,160
151	**演劇と教育 [日本演劇教育連盟編集] (晩成書房)**		
	No. 74,75,79-83,85-87,89,99,110,120,132 (1960-1965)	各号	¥1,080
	No. 577 (2005)		¥1,080
	No. 587 (2006)		¥1,080
	No. 607 (2008)		¥1,080
	No. 617 (2009)		¥1,080
	No. 622,624-627,629 (2010)	各号	¥1,080
	No. 632-637,639-640 (2011)	各号	¥1,080
	No. 641,642,644-647,649,650 (2012)	各号	¥1,080
	No. 651-657,659,660 (2013)	各号	¥1,080
	No. 661-663,665,666,668-670 (2014)	各号	¥1,080
	No. 671-676,678-680 (2015)	各号	¥1,080
	No. 681-683,685,686 (2016)	各号	¥1,080
152	**Monthly Book Entoni エントーニ (全日本病院出版会)**		
	No. 1,4,21,23,25-28,31,32,34,35,45 (2001-2005)	各号	¥2,571
	No. 58,59,62-65,67,68,70 (2006)	各号	¥2,571
	No. 72,73,76,80-82 (2007)	各号	¥2,592
	No. 74 (2007)		¥5,076
	No. 79 (2007)		¥5,724
	No. 85,88,90,91,96 (2008)	各号	¥2,592
	No. 87 (2008)		¥5,076
	No. 97,99,101-102,104,105,108 (2009)	各号	¥2,700
	No. 107 (2009)		¥5,184
	No. 116 (2010)		¥2,592
153	**Equilibrium Research (日本平衡神経科学会)**		
	Vol. 58-70 (1999-2011) 各1-6号	各号	¥2,484

154	**ERマガジン（シービーアール）**		
	Vol. 1#3,5 (2004)	各号	¥1,404
	Vol. 2#1 (2005)		¥1,404
	Vol. 3#2,5 (2006)	各号	¥1,512
	Vol. 4#2,3 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 7#2,4 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 9#1 (2012)		¥2,700
155	**エキスパートナース Expert Nurse（照林社）**		
	Vol. 20#1-5,7,9-13,15 (2004)	各号	¥1,028
	Vol. 20#6 (2004) 5月臨時増刊号 輸液管理そこが知りたいQ&A		¥1,440
	Vol. 21#2-4,6,8-13,15 (2005)	各号	¥1,028
	Vol. 22#1-4,7,10,11,13,15 (2006)	各号	¥1,028
	Vol. 23#1-5,7,9-13,15 (2007)	各号	¥1,028
	Vol. 24#1-5,7,9-13,15 (2008)	各号	¥1,028
156	**Facial Nerve Research（日本顔面神経研究会）**		
	Vol. 28#1 (2008)		¥5,400
	Vol. 29#1 (2009)		¥5,400
157	**ファッション環境**		
	Vol. 9#2,3,4 (1999/2000)	各号	¥1,080
	Vol. 10#1,2,3,4 (2000/2001)	各号	¥1,080
	Vol. 11#1,2,3/4 (2001/2002)	各号	¥1,080
	Vol. 12#3,4 (2003)	各号	¥1,080
	Vol. 13#1 (2003)	各号	¥1,080
	Vol. 14#1 (2004)	各号	¥1,080
158	**ふぇらむ（日本鉄鋼協会）**		
	Vol. 9#6-12 (2004)	各号	¥4,104
	Vol. 10#1-7,9-12 (2005)	各号	¥4,104
	Vol. 13#4-10 (2008)	各号	¥4,104
	Vol. 14#1-12 (2009)	各号	¥4,104
159	**Fire Science and Technology (Tokyo University of Science)**		
	Vol. 23#1,3-5; 24#1-4; 25#1-3; 26#1-4 (2004-2007)	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-3; 28#1-3; 29#1; 30#1-3 (2008-2011)	各号	¥3,240
160	**Fisheries Science（日本水産学会）**		
	Vol. 60-65 (1994-1999) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 66-74 (2000-2008) 各1-6号	各号	¥12,960
	Vol. 75-76 (2009-2010) 各1-6号	各号	¥16,200
	Vol. 77#1 (2011)		¥16,200
161	**Foods & Food Ingredients Journal of Japan 食品・食品添加物研究誌（FFIジャーナル編集委員会）**		
	Vol. 212#4,5,7-12 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 213#1-12 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 214#1-4 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 215#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 216#1 (2011)		¥3,240
162	**Forensic Toxicology（日本法中毒学会）**		
	※Vol. 8-23 (1990-2003)→法中毒（日本法中毒学会）		
	Vol. 24-34 (2006-2016) 各1-2号	各号	¥4,860
	Vol. 35#1 (2017)		¥4,860

163	**Frontiers in Glaucoma (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 2#3 (2001)		¥2,160
	Vol. 3#2,3,4 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1-4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1,2 (2004)	各号	¥2,160
164	**Frontiers in Dry Eye (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 5-10 (2010-2015) 各1-2号	各号	¥1,944
165	**Frontiers in Parkinson Disease (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 1#1,2 (2008)	各号	¥2,376
	Vol. 2#4 (2009)		¥2,376
	Vol. 3#3,4 (2010)	各号	¥2,376
	Vol. 4#4 (2011)		¥2,376
166	**不眠研究 Insomnia Research (不眠研究会)**		
	Year 2007-2008 (2007-2008)	各年	¥3,240
167	**Funkcialaj Ekvacioj (日本数学会函数方程式分科会)**		
	Vol. 1-27 (1947-1976) 各1-3号	各号	¥2,160
168	**粉体工学会誌 Journal of the Society of Powder Technology, Japan**		
	Vol. 37-39,41 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥3,240
	Vol. 47#1-12 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 49#1-12 (2012)	各号	¥3,240
169	**不整脈 (日本心臓ペーシング・電気生理学会)**		
	Vol. 17#1-5 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 18#1-5 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 19#1-5 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1-5 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1-2 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 28#第27回日本不整脈学会学術大会予稿集 (2012	各号	¥5,400
170	**風俗史学 日本風俗史学会誌**		
	No. 34 (2006)		¥1,620
	No. 35,36,37 (2007)	各号	¥1,620
	No. 38,39 (2009)	各号	¥1,620
	No. 40,41 (2010)	各号	¥1,620
	No. 42 (2011)		¥1,620
171	**外来小児科 (日本外来小児科学会)**		
	Vol. 12-15 (2009-2012) 各1-4号	各号	¥2,160
172	**学校保健研究 Japanese Journal of School Health (日本学校保健学会)**		
	Vol. 9-18,22-35 (1967-1993) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 36#1-9 (1994/1995)	各号	¥1,620
	Vol. 47-48 (2005/2006-2006/2007) 各1-6号	各号	¥2,700
173	**顎顔面補綴(日本顎顔面補綴学会)**		
	Vol. 1#1 (1978)		¥5,400
	Vol. 2#1 (1979)		¥5,400
	Vol. 4#1,2 (1981)	各号	¥5,400
	Vol. 5#1 (1982)		¥5,400
	Vol. 6-20 (1983-1997) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 22-35 (1999-2012) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 36#1 (2013)		¥5,400
	Vol. 37-40 (2014-2017) 各1-2号	各号	¥5,400

174	**顎変形症研究会会誌（顎変形症研究会）**		
	No. 3 (1984)		¥2,160
	No. 4 (1985)		¥2,160
	No. 5 (1986)		¥2,160
	No. 6 (1987)		¥2,160
	No. 7 (1988)		¥2,160
	No. 8 (1989)		¥2,160
175	**学生相談研究（日本学生相談学会）**		
	Vol. 8#1 (1987)		¥3,240
	Vol. 9-21 (1987/1988-2000) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 22-34 (2001-2013) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 35#1 (2014)		¥3,240
176	**がん分子標的治療（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 6#1-4 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 7#1,3,4 (2009)	各号	¥2,700
177	**眼科 Ophthalmology（金原出版）**		
	Vol. 26#8-13 (1984)	各号	¥2,160
	Vol. 27#1-8,9-13 (1985)	各号	¥2,160
	Vol. 28-35 (1986-1993) 各1-13号	各号	¥2,160
	Vol. 36#1,3-9,11-13 (1994)	各号	¥2,160
	Vol. 37#3-6,8-13 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 38-39 (1996-1997) 各1-13号	各号	¥2,160
	Vol. 40#4 (1998)		¥4,752
	Vol. 42#1-3,5-10,12,13 (2000)	各号	¥2,484
	Vol. 42#4 (2000)		¥4,752
	Vol. 42#11 (2000)		¥6,912
	Vol. 43#1-3,5-10,12,13 (2001)	各号	¥2,592
	Vol. 43#4 (2001)		¥4,752
	Vol. 43#11 (2001)		¥6,912
	Vol. 44#1-3,5-10,12,13 (2002)	各号	¥2,700
	Vol. 44#4 (2002)		¥4,752
	Vol. 44#11 (2002)		¥6,912
	Vol. 45#1-3,5,6,8-10,12,13 (2003)	各号	¥2,808
	Vol. 45#4 (2003)		¥4,752
	Vol. 46#1,2,5-10,12 (2004)	各号	¥2,808
	Vol. 46#4 (2004)		¥4,752
	Vol. 46#11 (2004)		¥6,912
	Vol. 47#1-3,5-10,12,13 (2005)	各号	¥2,916
	Vol. 47#4 (2005)		¥4,752
	Vol. 47#11 (2005)		¥6,912
	Vol. 48#1,3,11,13 (2006)	各号	¥2,916
	Vol. 51#1-3,5-9,11-13 (2009)	各号	¥2,916
	Vol. 51#4 (2009)		¥4,752
178	**眼科ケア 眼科領域の医療・看護専門誌（メディカ出版）**		
	Vol. 10-13 (2008-2011) 各1-12号	各号	¥1,944
179	**がん看護 Japanese Journal of Cancer Care（南江堂）**		
	Vol. 1#1-3 (1996)	各号	¥1,620
	Vol. 2#1-4 (1997)	各号	¥1,620
	Vol. 3-6 (1998-2001) 各1-6号	各号	¥1,620
	Vol. 7#2-5 (2002)	各号	¥1,620
	Vol. 8-10 (2003-2005) 各1-6号	各号	¥1,728
	Vol. 11#5 (2006)		¥1,728
	Vol. 12#1,3-7 (2007)	各号	¥1,728

180	**がん患者と対症療法（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 21-23 (2010-2012) 各1-2号	各号	¥2,484
	Vol. 25#1 (2014)		¥2,484
181	**眼科臨床医報（眼科臨床医報会）**		
	Vol. 94-100 (2000-2006) 各1-12号	各号	¥2,160
182	**眼科手術 Journal of Ophthalmic Surgery（メディカル葵出版）**		
	Vol. 12-28 (1999-2015) 各1-4号	各号	¥2,592
	Vol. 29#1,2 (2016)	各号	¥2,592
183	**岩鉱 Journal of Mineralogy, Petrology and Economic Ceology（日本岩石鉱物鉱床学会）**		
	Vol. 77-94 (1982-1999) 各1-12号	各号	¥1,296
	Vol. 95#1-3 (2000)	各号	¥1,296
184	**癌の臨床 Japanese Journal of Cancer Clinics（篠原出版新社）**		
	Vol. 46-54 (2000-2008) 各1-13号	各号	¥2,160
	Vol. 55#1-12 (2009)	各号	¥2,160
185	**岩石鉱物科学 Japanese Magazine of Mineralogical and Petrological Science（日本鉱物科学会）**		
	Vol. 29-34 (2000-2005) 各1-6号	各号	¥1,620
186	**岩石鉱物鉱床学会誌**		
	Vol. 35-66 (1951-1971) 各1-6号	各号	¥1,620
	Vol. 67-76 (1972-1981) 各1-12号	各号	¥1,080
187	**癌と化学療法 Japanese Journal of Cancer and Chemotherapy（癌と化学療法社）**		
	Vol. 37#1-11,13 (2010)	各号	¥1,836
	Vol. 37#12,Supplement I,II (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 38#1-11,13 (2011)	各号	¥1,836
	Vol. 38#12,Supplement I (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 39#1-11,13 (2012)	各号	¥1,836
	Vol. 39#12,Supplement I (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 40#1-11,13 (2013)	各号	¥1,836
	Vol. 40#12,Supplement I,II (2013)	各号	¥3,240
188	**眼薬理 Japanese Journal of Ocular Pharmacology（日本眼薬理学会）**		
	Vol. 15-17 (2001-2003) 各1号	各号	¥2,160
189	**ゲッチンゲン医学古典文庫覆刻版　解説**		
	解説者　高木和男　藤野恒三郎　小川鼎三　坂本満　酒井シヅ		
	Marcello Malpighi, Govard Bidloo, William Smellie		
	49 page (1979) paper bound		
	Saikon Publishing Tokyo 1979		¥2,160
190	**ゲッチンゲン医学古典文庫目録**		
	Catalogue of Gottingen Collection of Medical Classics		
	in the Institute for Science of Labour Japan		
	Volume 1 (242 page) volume 2 (370 page) Bound		
	Saikon Publishing Tokyo 1977		¥41,040
191	**外科（南江堂）**		
	Vol. 66-67 (2004-2005) 各1-11,13号	各号	¥2,592
	Vol. 67#12 (2005) 増刊号		¥6,264
	Vol. 68-71 (2006-2009) 各1-11,13号	各号	¥2,700
	Vol. 68#12 (2006) 増刊号		¥6,264
	Vol. 69#12; 70#12; 71#12 (2007-2009) 増刊号	各号	¥6,480
	Vol. 72-76 (2010-2014) 各1-11,13号	各号	¥2,808
	Vol. 72#12 (2010) 増刊号		¥6,480
	Vol. 73#12; 74#12; 75#12; 76#12 (2011-2014) 増刊号	各巻	¥6,804

192	**外科治療 Surgical Therapy（永井書店）**		
	Vol. 92-93 (2005) 各1-6号	各号	¥2,592
	Vol. 96-99 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 100#1-6 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 101#1,2,4-6 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 101#3 (2009)		¥4,320
	Vol. 102-105 (2010-2011) 各1-6号	各号	¥2,808
193	**月刊文化財（第一法規）**		
	No. 1-404 (1963-1997)	各号	¥756
	No. 424-432 (1999)	各号	¥756
194	**月刊福祉（全国社会福祉協議会）**		
	Vol. 89#1-3,5-13 (2006)	各号	¥1,049
	Vol. 89#14 (2006)		¥1,728
	Vol. 90#1-3,5,7-13 (2007)	各号	¥1,049
	Vol. 90#4 (2007)		¥2,376
	Vol. 90#14 (2007)		¥1,728
	Vol. 91#1-3,5-11,13 (2008)	各号	¥1,049
	Vol. 91#14 (2008)		¥1,944
	Vol. 92#1-3,5-10 (2009)	各号	¥1,049
	Vol. 93#1 (2010)		¥1,049
	Vol. 93#15 (2010) シリーズよくわかる福祉政策2 わが国の福祉を・・・		¥1,836
	Vol. 94#4 (2011) 増刊号		¥1,620
195	**月刊廃棄物（日報アイ・ビー）**		
	Vol. 30-34 (2004-2008) 各1-12号	各号	¥1,728
196	**月刊ジェネリック（アズクルー）**		
	No. 82-93 (2010)	各号	¥1,944
197	**月刊ナーシング（学習研究社）**		
	Vol. 1#1-9 (1981)	各号	¥1,234
	Vol. 2-20 (1982-2000) 各1-13号	各号	¥1,234
	Vol. 21#1-4,6-13 (2001)	各号	¥1,234
	Vol. 21#5 (2001)		¥1,543
	Vol. 22-27 (2002-2007) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,234
	Vol. 22-27 (2002-2007) 各5,12号　増刊号	各号	¥1,543
	Vol. 28-29 (2008-2009) 各1-4,6-11,13,14号	各号	¥1,234
	Vol. 28-29 (2008-2009) 各5,12号　増刊号	各号	¥1,646
198	**月刊しにか（大修館書店）**		
	Vol. 8-14 (1997-2003) 各1-12号	各号	¥1,080
199	**月刊薬事 Pharmaceuticals Monthly（じほう）**		
	Vol. 48-50 (2000-2008) 各1-13号	各号	¥1,944
	Vol. 51#1-13 (2009)	各号	¥2,160
200	**現代のエスプリ（至文堂）**		
	No. 20,27,37,41,43,50,51,53,59,61,63 (1966-1972)	各号	¥1,080
	No. 66,67,70,71,74,78,79,81,83,85,86,88,89 (1973-1974)	各号	¥1,080
	No. 95-99,103,105,106,108,110,113 (1975)	各号	¥1,080
	No. 115-117,120,123,125,126-128,130,134 (1977-1978)	各号	¥1,080
	No. 139-149,150-161,162-180,182-187,189-197 (1979-1983)	各号	¥1,080
	No. 198-215,217-224,228-233,239,245,256,258,270-281 (1984-1990)	各号	¥1,080
	No. 292,296,307-377 (1991-1998)	各号	¥1,080
	No. 378-437 (1999-2003)	各号	¥1,285
	No. 454 (2005)		¥1,285
201	**現代社会理論研究（現代社会理論研究会）**		
	No. 4,5,8,13 (1994-2003)	各号	¥2,700

202	**現代東洋医学（医学出版センター）**		
	Vol. 1#2 (1980)		¥1,944
	Vol. 2#2-4 (1981)	各号	¥1,944
	Vol. 3#1-4 (1982)	各号	¥1,944
	Vol. 4#1-4 (1983)	各号	¥1,944
	Vol. 5#1-4 (1984)	各号	¥1,944
	Vol. 6#1-4 (1985)	各号	¥1,944
	Vol. 7#1-4 (1986)	各号	¥1,944
	Vol. 8#4 (1987)		¥1,944
	Vol. 9#1-4 (1988)	各号	¥1,944
	Vol. 10#1-4 (1989)	各号	¥1,944
	Vol. 11#1-4 (1990)	各号	¥1,944
	Vol. 12#1-3 (1991)	各号	¥1,944
	Vol. 13#4 (1992)		¥1,944
	Vol. 14#1,2,4 (1993)	各号	¥1,944
	Vol. 15#1-4 (1994)	各号	¥1,944
	Vol. 16#1-4 (1995)	各号	¥1,944
	Vol. 17#1 (1996)		¥1,944
	Vol. 5#supplement (1984) 現代漢方症例選集（第1集）		¥3,456
	Vol. 6#supplement (1985) 現代漢方症例選集（第2集）		¥3,456
	Vol. 8#supplement (1987) 現代漢方症例選集（第3集）		¥4,536
	Vol. 9#supplement (1988) 難病・難症の漢方治療		¥4,104
	Vol. 10#supplement (1989) 難病・難症の漢方治療（第2集）		¥4,212
	Vol. 11#supplement (1990) 難病・難症の漢方治療（第3集）		¥4,536
	Vol. 13#supplement (1992) 難病・難症の漢方治療（第5集）		¥5,616
	Vol. 14#supplement (1993) 多器官障害の漢方治療		¥4,860
	Vol. 15#supplement (1994) 難病・難症の漢方治療（第6集）		¥4,860
203	**General Thoracic and Cardiovascular Surgery**		
	Vol. 58#1-12 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 59#1-12,Supplement (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 60#1-12 (2012)	各号	¥3,240
204	**ジェネリック研究（日本ジェネリック医薬品学会）**		
	Vol. 1#2 (2007); 2#1,2 (2008); 3#1,2,増刊号 (2009-2010); 4#1 (2011)	各号	¥1,620
205	**言語（大修館書店）**		
	Vol. 1-30 (1972-2001) 各1-13号	各号	¥1,058
206	**言語聴覚研究（日本言語聴覚士協会）**		
	Vol. 1#1 (2004)		¥2,160
	Vol. 2-9 (2005-2012) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1-4 (2013)	各号	¥2,160
207	**言語聴覚療法（日本言語療法士協会）**		
	Vol. 9#2 (1993)		¥3,240
	Vol. 10-15 (1994-2000) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 16#1-3 (2000-2002)	各号	¥3,240
208	**ゲノム医学（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 1#1-3 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1-6 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1-4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 4#2,3,5,6 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1-4,6 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1,3 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 8#3 (2008)		¥2,160
	Vol. 9#1 (2009)		¥2,160

209	**Geographical Review of Japan English Edition (日本地理学会)**		
	Year 2002-2007 (2002-2007) 各1-2号	各号	¥2,674
	Year 2008#1		¥2,674
210	**Geographical Review of Japan Series B (日本地理学会)**		
	Vol. 57#2 (1984)		¥2,674
	Vol. 58-60 (1985-1987) 各1-2号	各号	¥2,674
	Vol. 62#1 (1989)		¥2,674
	Vol. 63-65 (1990-1992) 各1-2号	各号	¥2,674
	Vol. 66#1 (1993)		¥2,674
	Vol. 67#1-2 (1994)	各号	¥2,674
	Vol. 68#1 (1995)		¥2,674
	Vol. 69-74 (1996-2001) 各1-2号	各号	¥2,674
211	**Geriatric Medicine 老年医学 (ライフ・サイエンス)**		
	Vol. 11-20,23,30-34,36-46 (1973-2008) 各1-12号	各号	¥1,363
	Vol. 47-52 (2009-2014) 各1-12号	各号	¥1,728
212	**Gerontology New Horizon 老年学の総合学術誌**		
	Vol. 10#1,3,4; 11#1-3; 12#1-4; 13#1-3 (1998-2001)	各号	¥1,851
213	**技術史教育学会誌 (技術史教育学会)**		
	Vol. 1#1 (2000)		¥3,240
	Vol. 7#1 (2005)		¥3,240
	学会創立十周年記念臨時増刊号1995-2005 (2006)		¥3,240
	Vol. 8#2 (2007)		¥3,240
	Vol. 9#1/2 (2008)		¥3,240
	Vol. 10#1/2 (2009)		¥3,240
	Vol. 11#1,2 (2009/2010)	各号	¥3,240
	Vol. 12#1,2 (2010/2011)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1,2 (2011/2012)	各号	¥3,240
	Vol. 14#1,2; 15#1 (2012-2013)	各号	¥3,240
214	**技術士 PE IPEJ Journal (日本技術士会)**		
	No. 440-499 (2004-2008)	各号	¥1,080
215	**G. I. Research: Journal of Gastrointestinal Research (先端医学社)**		
	Vol. 9-17 (2000-2009) 各1-6号	各号	¥2,160
216	**GIS 理論と応用 Theory and Applications of GIS (地理情報システム学会)**		
	Vol. 12-19 (2004-2011) 各1-2号	各号	¥4,320
217	**ゴバルト ビドロー 人体解剖図譜 アムステルダム 1685年版**		
	Godefridi Bidloo, Medicinae Doctoris & Chirurgi, Anatomia Hvmani Corporis, Centum & quinque Tabvlis, Per artificiofiff. g. de Lairesse ad vivum delineatis, Demonstrata, Veterum Recentiorumque Inventis explicata plurimisque hactenus non detectis, Illvstrata 262 page with many illustration Amsterdam 1685 Bound Reprint Saikon Publishing Tokyo 1979		¥64,800
218	**Grassland Science 日本草地学会誌 (日本草地学会)**		
	Vol. 41-46 (1995-2000) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 47-50 (2001-2004) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 51-54 (2005-2008) 各1-4号	各号	¥2,160
219	**魚病研究 (日本魚病学会)**		
	Vol. 1-10 (1966/67-1975) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 11-25 (1976/77-1990) 各1-4号	各号	¥2,160
220	**魚類学雑誌 Japanese Journal of Ichthyology**		
	Vol. 1-14 (1950/1951-1966/1967) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 15-42 (1968/1969-1995/1996) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 43-59 (1996-2012) 各1-2号	各号	¥3,240

221	**爬虫両棲類学会報 Bulletin of the Herpetological Society of Japan**		
	1999#1 (1999)		¥1,080
	2000-2004 (2000-2004) 各1-2号	各号	¥1,080
222	**爬虫両棲類学雑誌 Japanese Journal of Herpetology**		
	Vol. 17#4 (1998)		¥2,700
	Vol. 18#1,2 (1999)	各号	¥2,700
223	**廃棄物資源循環学会誌 (廃棄物資源循環学会)**		
	Vol. 4#2-4 (1993)	各号	¥3,240
	Vol. 5#1-5 (1994)	各号	¥3,240
	Vol. 6-7 (1995-1996) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 8#1-7 (1997)	各号	¥3,240
	Vol. 9#1,3-6 (1998)	各号	¥3,240
	Vol. 10-20 (1999-2009) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 21#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 22#3,5,6 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-4 (2012)	各号	¥3,240
224	**箱庭療法学研究 (日本箱庭療法学会)**		
	Vol. 5-7,9-11 (1992-1994,1996-1998) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 13#2 (2000)		¥2,160
225	**博物館学雑誌 (全日本博物館学会)**		
	Vol. 31#2; 32#1 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 32#2; 33#1 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 33#2; 34#1 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 34#2; 35#1 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 35#2; 36#1 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 36#2; 37#1 (2011)	各号	¥3,240
226	**白鶴美術館誌 (白鶴美術館)**		
	No. 1-56 (1962-1984)	各号	¥1,296
227	**波紋 The Japanese Societyfor Neutron science (日本中性子科学会)**		
	Vol. 11#2,4 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 12#1,3 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 13#1 (2002)		¥2,160
	Vol. 14#4 (2004)		¥2,160
	Vol. 17#2,3,4 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 18-20 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,160
228	**判例タイムズ (判例タイムズ社)**		
	No. 168-1133 (1965-2003)	各号	¥2,057
229	**HARVARD Business Review Diamond ハーバード・ビジネス・レビュー**		
	Vol. 34#1-9 (2009)	各号	¥2,057
230	**発明 (発明協会)**		
	Vol. 71-104 (1974-2007) 各1-12	各号	¥926
231	**発達心理学研究 (日本発達心理学会)**		
	Vol. 1#1,2 (1990/1991)	各号	¥3,240
	Vol. 4#2 (1993)		¥3,240
	Vol. 6-7 (1995-1996) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 8-18 (1997-2007) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 19-27 (2008-2016) 各1-4号	各号	¥3,240
232	**発達障害研究 (日本発達障害学会)**		
	Vol. 1-14 (1979/1980-1992/1993) 各1-4号	各号	¥2,160

233	**Health Science 日本健康科学学会誌 Journal of Japan Society of Health Science**		
	Vol. 12#1-4 (1996)	各号	¥2,160
	Vol. 13#2,3 (1997)	各号	¥2,160
	Vol. 20#2,3 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 21-24 (2005-2008) 各1-4号	各号	¥2,160
234	**Heart Nursing ハートナーシング (メディカ出版)**		
	Vol. 10#春季増刊 (1997)		¥4,320
	Vol. 13#12 (2000) 秋季増刊		¥4,320
	Vol. 16#12 (2003)		¥1,836
	Vol. 17#3,6-8; 18#1,4,7,9,12; 19#1,7 (2004-2006)	各号	¥1,944
235	**Heart View ハートビュー (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 11#7 (2007)		¥2,808
	Vol. 12#1-11,13 (2008)	各号	¥2,808
	Vol. 12#12 (2008)		¥5,184
	Vol. 13#1-6,8-11,13 (2009)	各号	¥2,592
236	**平和研究 Peace studies (日本平和学会)**		
	Vol. 19-23 (1995-1998) 各1号	各号	¥3,456
237	**皮膚病診療 Practical Dermatology (協和企画通信)**		
	Vol. 31#2-5,8-12 (2009)		¥2,484
	Vol. 31#Supplement (2009)		¥5,184

238 皮膚科の臨床（金原出版）

Vol. 29#11 (1987) 特集27号 臨時増刊「皮膚最近感染症」		¥6,264
Vol. 31#8 (1989) 特集29号 臨時増刊「日常診療における小児の皮膚病		¥6,291
Vol. 33#8 (1991) 特集31号 臨時増刊「治りにくい皮膚病 最近の知見と		¥6,501
Vol. 34#9 (1992) 特集32号 臨時増刊「話題の皮膚病」		¥6,501
Vol. 35#8 (1993) 特集33号 臨時増刊「皮膚のはたらきと皮膚病」		¥6,501
Vol. 36#7 (1994) 特集34号 臨時増刊「顔の皮膚病」		¥6,501
Vol. 37#7 (1995) 特集35号 臨時増刊「皮膚科治療の最前線」		¥7,025
Vol. 38#8 (1996) 特集36号 臨時増刊「薬剤と皮膚疾患」		¥7,025
Vol. 39#7 (1997) 特集37号 臨時増刊「遺伝と皮膚病-最近の知見と対応		¥7,025
Vol. 40#6 (1998) 特集38号 臨時増刊「アトピー性皮膚炎のトピックス-病		¥7,344
Vol. 42#2-9,11-13 (2000)	各号	¥2,700
Vol. 43#2-10,12,13 (2001)	各号	¥2,700
Vol. 44#1,2,4-10,12,13 (2002)	各号	¥2,700
Vol. 45#1,2,4-10,12,13 (2003)	各号	¥2,700
Vol. 46#1,2,4-9,12,13 (2004)	各号	¥2,700
Vol. 47#2,4-9,12 (2005)	各号	¥2,700
Vol. 48#1,2,4-9,11-13 (2005)	各号	¥2,700
Vol. 49#1,2,4-9,11-13 (2005)	各号	¥2,700
Vol. 42#1; 43#1; 44#3; 45#3; 46#3; 47#3; 48#3; 49#3 (2000-2007)	各号	¥4,752
Vol. 42#10; 43#11; 44#11; 45#11; 47#11 (2000-2005)	各号	¥7,344
Vol. 50#1,2,4-10,12,13 (2008)	各号	¥2,916
Vol. 50#3 (2008)		¥4,752
Vol. 50#11 (2008)		¥7,560
Vol. 51#1,2,4-10,12,13 (2009)	各号	¥2,916
Vol. 51#3 (2009)		¥4,752
Vol. 51#11 (2009)		¥7,776
Vol. 52#1,2,4-10,12,13 (2010)	各号	¥2,916
Vol. 52#3 (2010)		¥4,752
Vol. 52#11 (2010)		¥7,776
Vol. 53#1,2,4-10,12,13 (2011)	各号	¥2,916
Vol. 53#3 (2011)		¥4,752
Vol. 54#1 (2012)		¥2,916
Vol. 54#11 (2012)		¥7,776

239 皮膚の科学（日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方会）

Vol. 1#1-6,Supplement1,2 (2002)	各号	¥2,160
Vol. 2#1-6,Supplement3 (2003)	各号	¥2,160
Vol. 3#1-6,Supplement4 (2004)	各号	¥2,160
Vol. 4#2,4-6 (2005)	各号	¥2,160
Vol. 5#1-6,Supplement6,7 (2006)	各号	¥2,160
Vol. 6#1-6,Supplement9 (2007)	各号	¥2,160
Vol. 7#1-6,Supplement10 (2008)	各号	¥2,160
Vol. 8#1-6,Supplement11,12 (2009)	各号	¥2,160
Vol. 9#1-4,Supplement13-15 (2010)	各号	¥2,160
Vol. 10#1-6,Supplement16 (2011)	各号	¥2,160
Vol. 11#1-6,Supplement18,19 (2012)	各号	¥2,160

240 東日本整形災害外科学会雑誌（東日本整形災害外科学会）

Vol. 1#1 (1989)		¥2,160
Vol. 2#1-4 (1990)	各号	¥2,160
Vol. 3#1-3 (1991)	各号	¥2,160
Vol. 4-25 (1992-2013) 各1-4号	各号	¥2,160

241	**光化学 Photochemistry**		
	Vol. 15-18 (1991-1994) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 30-33 (1999-2002) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 34-36 (2003-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
242	**泌尿器ケア (メディカ出版)**		
	Vol. 5#2,3,5,6,7,8,10,11,13 (2000)	各号	¥1,944
	Vol. 6#1,3-8 (2001)	各号	¥1,944
	Vol. 10#8-10 (2005)	各号	¥1,944
	Vol. 11#1-12 (2006)	各号	¥1,944
	Vol. 12#2,3,4,8,9 (2007)	各号	¥1,944
243	**泌尿器外科 (医学図書出版)**		
	Vol. 13#1-7,9 (2000)	各号	¥3,132
	Vol. 14#1-7,9-12,臨時増刊号 (2001)	各号	¥2,700
	Vol. 13#8; 14#8 (2000-2001)	各号	¥4,860
	Vol. 15#1-7,9-12,臨時増刊号 (2002)	各号	¥2,916
	Vol. 16#1-8,10-12,臨時増刊号 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 17#1-7,9-12,臨時増刊号 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 18#1-7,9-12 (2005)	各号	¥2,916
	Vol. 19#1-8,10-12,臨時増刊号 (2006)	各号	¥2,916
	Vol. 15#8; 16#9; 17#8; 18#8; 19#9 (2002-2006)	各号	¥5,076
	Vol. 20#1-7,9-12,臨時増刊号 (2007)	各号	¥3,132
	Vol. 21#1-7,9-12 (2008)	各号	¥3,132
	Vol. 20#8; 21#8 (2007-2008)	各号	¥5,292
	Vol. 22#8 (2009)		¥5,292
244	**泌尿器科紀要 (泌尿器科紀要刊行会)**		
	Vol. 46-51 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 53-57 (2007-2011) 各1-12号	各号	¥2,160
245	**Hip Joint (日本股関節学会)**		
	Vol. 1-5,7,8 (1975-1982)	各巻	¥6,480
	Vol. 10/11 (1984/1985)		¥6,480
	Vol. 13-27,29-39 (1987-2013)	各巻	¥6,480
	Vol. 20 総索引Vol.1/20 (1994)		¥3,240
	Vol. 28#Supplement (2002)		¥3,240
	Vol. 29#Supplement (2003)		¥3,240
	Vol. 30#Supplement (2004)		¥3,240
	Vol. 34#Supplement (2008)		¥3,240
	Vol. 35#Supplement (2009)		¥3,240
	Vol. 36#Supplement (2010)		¥3,240
	Vol. 37#Supplement (2011)		¥3,240
	Vol. 39#Supplement (2013)		¥3,240
246	**膝 (日本膝関節学会)**		
	Vol. 31#1 (2006)		¥3,240
	Vol. 32-33 (2007-2008) 各1-2号	各号	¥3,240
247	**保安衛生 (保安衛生学会)**		
	Vol. 5#1-10,12 (1958)	各号	¥864
248	**法中毒 Japanese Journal of Forensic Toxicology (日本法中毒学会)**		
	法中毒学ニュース (日本法中毒研究会)		
	Vol. 1-7 (1983-1989)	各号	¥3,240
	法中毒 (日本法中毒研究会)		
	Vol. 8-23 (1990-2005) 各1-3号	各号	¥3,240
	※Vol. 24#1 (2006)→Forensic Toxicology (日本法中毒学会)		

249	**法学教室（有斐閣）**		
	No. 1-231 (1980-1999)	各号	¥864
	No. 232-279 (2000-2003)	各号	¥1,080
	No. 280-303 (2004-2005)	各号	¥1,234
	No. 304-339 (2006-2008)	各号	¥1,337
	No. 340-399 (2009-2013)	各号	¥1,440
250	**包括システムによる日本ロールシャッハ学会誌（包括システムによる日本ロールシャッハ学会）**		
	Vol. 6-11 (2002-2007) 各1号	各号	¥3,240

251 保健婦雑誌（医学書院）

Vol. 5,6,9-12 (1953-1956) 各1-6号	各号	¥1,350
Vol. 13-23 (1957-1967) 各1-12号	各号	¥1,350
Vol. 24#1-13 (1968)	各号	¥1,350
Vol. 25-44 (1969-1988) 各1-12号	各号	¥1,350
Vol. 45-48 (1989-1992) 各1-13号	各号	¥1,350
Vol. 49#1-10,12,13 (1993)	各号	¥1,350
Vol. 49#11 (1993) 公衆衛生はどう変わるか		¥1,944
Vol. 50#1-11,13 (1994)	各号	¥1,350
Vol. 50#12 (1994) これからの地域保健を語ろう		¥1,944
Vol. 51#1 (1995) 保健婦こそ施策への参画を		¥1,350
Vol. 51#2 (1995) 生活圏に注目しよう		¥1,350
Vol. 51#3 (1995) 母子保健の新たな風		¥1,350
Vol. 51#4 (1995) 精神障害者のリハビリテーション		¥1,350
Vol. 51#5 (1995) 保健活動とブレイクスルー		¥1,350
Vol. 51#6 (1995) 市町村長と語ろう		¥1,350
Vol. 51#7 (1995) 老人の虐待		¥1,350
Vol. 51#8 (1995) 保健所の役割		¥1,350
Vol. 51#9 (1995) 大規模災害対策における保健婦の役割		¥1,350
Vol. 51#10 (1995) 保健婦批判-あなたはどう思う		¥1,350
Vol. 51#11 (1995) 在宅介護支援センターに注目しよう		¥1,350
Vol. 51#12 (1995) 何のための健康教育なのか		¥1,350
Vol. 51#13 (1995) 保健所の機能強化を考える		¥1,944
Vol. 52#1 (1996) 福祉領域で保健婦がめざすもの		¥1,350
Vol. 52#2 (1996) 伝えたい情報・知りたい情報		¥1,350
Vol. 52#3 (1996) 保健婦活動研究論文集		¥1,350
Vol. 52#4 (1996) これからの実習とは		¥1,350
Vol. 52#5 (1996) 母子保健の明日		¥1,350
Vol. 52#6 (1996) ソーシャル・マーケティングと公衆衛生		¥1,350
Vol. 52#7 (1996) カリキュラム改正に伴う保健婦の基礎教育		¥1,350
Vol. 52#8 (1996) 災害時における公衆衛生		¥1,350
Vol. 52#9 (1996) いま,医療に何が起こっているのか		¥1,350
Vol. 52#10 (1996) 精神保健福祉法を生かす活動		¥1,350
Vol. 52#11 (1996) さまざまな人事交流		¥1,350
Vol. 52#12 (1996) 保健活動のパラダイム・シフト		¥1,944
Vol. 52#13 (1996) いま保健活動を伝えたい		¥1,350
Vol. 53#1 (1997) ノーマライゼーションのまちづくり		¥1,296
Vol. 53#2 (1997) 地域保健と地域医療		¥1,296
Vol. 53#3 (1997) 保健婦活動研究論文集		¥1,296
Vol. 53#4 (1997) 保健活動と公共性-公的責任の現代性		¥1,296
Vol. 53#5 (1997) 保健の視点を生かすまちづくり		¥1,296
Vol. 53#6 (1997) 新しい高齢者観と保健婦活動		¥1,296
Vol. 53#7 (1997) 働く人の健康と地域保健		¥1,296
Vol. 53#8 (1997) 職種を超えて職場全体のレベルアップ		¥1,296
Vol. 53#9 (1997) 揺れ動く社会規範と保健活動		¥1,296
Vol. 53#10 (1997) 地域リハビリテーション		¥1,296
Vol. 53#11 (1997) 保健婦活動とボランティア		¥1,296
Vol. 53#12 (1997) 増刊号 ケアマネジメント		¥1,944
Vol. 53#13 (1997) 感染症対策のパラダイムシフト		¥1,296
Vol. 54#1 (1998) 女性の健康と地域保健		¥1,296
Vol. 54#2 (1998) 評価について考える		¥1,296
Vol. 54#3 (1998) 地域における保健と医療の連携		¥1,296
Vol. 54#4 (1998) ヘルスプロモーションと口腔保健		¥1,296
Vol. 54#5 (1998) 大都市での活動を模索する		¥1,296
Vol. 54#6 (1998) 思春期の健康-現代の抱える心の問題		¥1,296
Vol. 54#7 (1998) 企画調整機能とは		¥1,296

Vol. 54#8 (1998) 児童虐待−保健婦の役割	¥1,296
Vol. 54#9 (1998)「成人病」から「生活習慣病」への転換をチャンスに	¥1,296
Vol. 54#10 (1998) 増刊号 保健婦にとっての研究	¥1,944
Vol. 54#11 (1998) 痴呆性老人対策を見直す	¥1,296
Vol. 54#12 (1998) 母子保健計画を活動にどう生かすか	¥1,296
Vol. 54#13 (1998) 健康な暮らしを守る住まい	¥1,296
Vol. 55#1 (1999) 移植医療と保険活動の接点を求めて	¥1,296
Vol. 55#2 (1999) 介護保険時代を前に、これからの地域保健..	¥1,296
Vol. 55#3 (1999) 保健婦活動論文集	¥1,296
Vol. 55#4 (1999) 健康文化都市づくり事業のいま	¥1,296
Vol. 55#5 (1999) 保健婦の教育を考える－基礎教育と現場を..	¥1,296
Vol. 55#6 (1999) いまどきの子供の健康－養護教諭を..	¥1,296
Vol. 55#7 (1999) NPOが住民参加を超えるとき	¥1,296
Vol. 55#8 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－地区とはなにか	¥1,296
Vol. 55#9 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－ニーズ把握と..	¥1,296
Vol. 55#10 (1999) 保健婦の地区活動を再考..－ニーズ把握事例	¥1,296
Vol. 55#11 (1999) 公衆衛生活動の過去・現在・未来	¥1,296
Vol. 55#12 (1999) 増刊号 地域保健活動の焦点－21世紀を..	¥1,944
Vol. 55#13 (1999)「民」の視点からの保健婦活動	¥1,296
Vol. 56#1 (2000) 気になる「閉じこもり」.. 改めて「老い」を考える	¥1,296
Vol. 56#2 (2000) ひきこもりとその対策	¥1,296
Vol. 56#3 (2000) 先輩からのメッセージ	¥1,296
Vol. 56#4 (2000) 大学における地域看護教育　臨地実習を中心	¥1,296
Vol. 56#5 (2000)「健康日本21」の地方計画をつくろう	¥1,296
Vol. 56#6 (2000) 今求められる結核対策（1）　知っておきたい..	¥1,296
Vol. 56#7 (2000) 今求められる結核対策（2）　事例集	¥1,296
Vol. 56#8 (2000) 精神保健福祉にどう取り組むか	¥1,296
Vol. 56#9 (2000) 他職種から見た保健婦の連携	¥1,296
Vol. 56#10 (2000) 介護保険が始まって	¥1,296
Vol. 56#11 (2000) 母子保健活動で「心の問題」を予防する	¥1,296
Vol. 56#12 (2000) 増刊号 今を読み解くキーワード集	¥1,944
Vol. 56#13 (2000) エンパワメントに着目した活動を	¥1,296
Vol. 57#1 (2001) 施策を生む研究と実践	¥1,296
Vol. 57#2 (2001) 女性の自己実現を支援する	¥1,296
Vol. 57#3 (2001) 個別健康教育を考える	¥1,296
Vol. 57#4 (2001) 保健所機能としての研修	¥1,296
Vol. 57#5 (2001) 住民とともにつくる「健康日本21」地方計画	¥1,296
Vol. 57#6 (2001) ″介護予防″で保健活動を広げよう	¥1,296
Vol. 57#7 (2001)「地区組織への支援活動」の徹底理解を目指す	¥1,296
Vol. 57#8 (2001)「地区診断ができない」を克服する	¥1,296
Vol. 57#9 (2001) 思春期保健のこれからのカタチ	¥1,296
Vol. 57#10 (2001) 健康なまちづくりに「環境」は欠かせない	¥1,296
Vol. 57#11 (2001) 精神保健福祉業務の市町村移管−保健所と市町村の	¥1,296
Vol. 57#12 (2001) 増刊号 保健婦活動「私のコツ」	¥1,944
Vol. 57#13 (2001) 児童虐待に介入するための視野と技術	¥1,296
Vol. 58#1 (2002) 住民とともに進める母子保健計画の見直し	¥1,350
Vol. 58#2 (2002) 働く人を支える「地域」と「産業」の連携	¥1,350
Vol. 58#3 (2002) 法律がわかれば対策が見える	¥1,350
Vol. 58#4 (2002) 家族との出会い方	¥1,350
Vol. 58#5 (2002) 疫学なんてこわくない	¥1,350
Vol. 58#6 (2002)「健康マイノリティ」への支援	¥1,350
Vol. 58#7 (2002) 職場マネジメントの技術	¥1,350
Vol. 58#8 (2002)「グループづくり」から「地域づくり」へのプロセス	¥1,350
Vol. 58#9 (2002) 保健所とともにつくる「健康日本21」地方計画	¥1,350
Vol. 58#10 (2002) 新人とベテランの育ち合い	¥1,350
Vol. 58#11 (2002)「健康づくり」がパスポート	¥1,350
Vol. 58#12 (2002) 介護保険時代の難病対策	¥1,350

	Vol. 59#1 (2003) もう, 家庭訪問で悩まない		¥1,350
	Vol. 59#2 (2003) コミュニケーション・スキルを磨こう!「社会心理」の窓から		¥1,350
	Vol. 59#3 (2003) 市町村合併はこうやる！		¥1,350
	Vol. 59#4 (2003) 健診の100％活用法―ヘルスプロモーション時代の基		¥1,350
	Vol. 59#5 (2003) 働く人のメンタルヘルス		¥1,350
	Vol. 59#6 (2003) わたしは住民のパートナー		¥1,350
	Vol. 59#7 (2003) 健康日本21地方計画にはユニーク事業がいっぱい！		¥1,350
	Vol. 59#8 (2003)『保健婦雑誌』52年の軌跡		¥1,350
	Vol. 59#9 (2003) HIV/AIDSとのつきあい方		¥1,350
	Vol. 59#10 (2003) 精神障害者への初期支援・緊急対応		¥1,350
	Vol. 59#11 (2003) 適用事例で学ぶ活動モデルの使い方		¥1,350
	Vol. 59#12 (2003) 保健師　基礎教育の現在		¥1,350
	※Vol. 60#1 (2004)→保健師ジャーナル		
252	**保健医療科学（国立保健医療科学院）**		
	Vol. 51-56 (2002-2007) 各1-4号	各号	¥3,240
253	**保健の科学（杏林書院）**		
	Vol. 9#6-12 (1967)	各号	¥1,080
	Vol. 10-28 (1968-1986) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 32#1-12 (1990)	各号	¥1,080
	Vol. 33#9 (1991)		¥1,080
	Vol. 34#1-2,4-8,10-11 (1992)	各号	¥1,080
	Vol. 35-39 (1993-1997) 各1-12号	各号	¥1,080

254　保健師ジャーナル（医学書院）

※Vol.1-59 (1945-2003)→保健婦雑誌

	Vol. 60#1 (2004) 高齢者の活動性を支える筋力トレーニング・転倒予防	¥1,350
	Vol. 60#2 (2004) 行政に働く保健師の腕の磨きどころと磨き方	¥1,350
	Vol. 60#3 (2004)「行政経営」で保健現場はどう変わる？ニュー・パブリッ	¥1,350
	Vol. 60#4 (2004) 災害・被害を受けた住民への支援―暮らしとコミュニテ	¥1,350
品切	Vol. 60#5 (2004) 乳幼児健診のキホンを確認！子どもの成長・発達と検	¥1,350
	Vol. 60#6 (2004) 更年期へのストラテジー―更年期を人生の素敵な季節	¥1,350
	Vol. 60#7 (2004) 特集　新たな職場へのチャレンジ―保健師の魅力・スキ	¥1,350
	Vol. 60#8 (2004) 懸賞論文結果発表―コミュニティ活性化に保健師の技	¥1,350
	Vol. 60#9 (2004) 高齢者へのリハビリを見直そう―もう「リハビリもどき」とは	¥1,350
	Vol. 60#10 (2004) 地域ネットワークはこう作る！　実践例に学ぶ連携のノ	¥1,350
	Vol. 60#11 (2004) プレゼンテーション上手になろう	¥1,350
	Vol. 60#12 (2004) 自殺予防―年間3万人のいのちを無為にしないため	¥1,350
	Vol. 61#1 (2005) 事例でみる保健師活動の評価	¥1,350
	Vol. 61#2 (2005) 明日の「地域精神保健モデル」を探せ	¥1,350
	Vol. 61#3 (2005) 連携相手としての産業保健を知る	¥1,350
	Vol. 61#4 (2005) 市町村と保健所 それぞれの事情	¥1,350
	Vol. 61#5 (2005) 保健師が育てる「地域防災力」	¥1,350
	Vol. 61#6 (2005) 健康日本21の中間評価―事例から学ぶ策定・評価の	¥1,350
	Vol. 61#7 (2005) 保健活動のためのコーチング入門―「どうせ言っても…	¥1,350
	Vol. 61#8 (2005) 障害のある子どもと家族への支援―保健師が知ってお	¥1,350
	Vol. 61#9 (2005) 周産期からの児童虐待予防	¥1,350
	Vol. 61#10 (2005) 保健事業の業務委託　委託の実際と適切な活用をめ	¥1,350
	Vol. 61#11 (2005) 事例で学ぶ「個別のマネジメント」／高齢者虐待には,	¥1,350
	Vol. 61#12 (2005)「ひきこもり」ケースには, こう対応する！―保健師がで	¥1,350
	Vol. 62#1 (2006) コミュニティエンパワメント地域住民が動き出す保健師	¥1,350
	Vol. 62#2 (2006) 予算獲得のテクニック調査研究や保健事業を成功させ	¥1,350
	Vol. 62#3 (2006) 保健活動の対象を捉えなおす	¥1,350
	Vol. 62#4 (2006) 学びの場に身を置いて,5年後の自分を描く!	¥1,350
	Vol. 62#5 (2006)「ライフスキル」は健康教育に使える！	¥1,350
	Vol. 62#6 (2006) 保健師ライセンスの現在	¥1,350
	Vol. 62#7 (2006) 市町村合併, その後　新自治体の挑戦	¥1,350
	Vol. 62#8 (2006) 医療費を理解する!保健活動の指標としての効用と留意	¥1,350
	Vol. 62#9 (2006)「この時代」の現任教育のすすめ	¥1,350
	Vol. 62#10 (2006) これからの生活習慣病対策	¥1,350
	Vol. 62#11 (2006) 動きだした「介護予防」戦略の現在	¥1,350
	Vol. 62#12 (2006) 国際化時代の保健活動を考える	¥1,350
	Vol. 63#1 (2007) 医療機関との連携 医師の本音を知り協働へいかす	¥1,350
	Vol. 63#2 (2007)「2007年問題」に向けた保健活動	¥1,350
	Vol. 63#3 (2007) 市町村の保健活動体制を見つめ直す／教室活動をリ	¥1,350
	Vol. 63#4 (2007) 保健師の視点で医療制度改革を読み解く	¥1,350
	Vol. 63#5 (2007) いま, 改めて「コミュニティ」を考える	¥1,350
	Vol. 63#6 (2007)「これからの保健指導」ここがポイント！	¥1,350
	Vol. 63#7 (2007)「健康日本21」のゴールへ向けて	¥1,350
	Vol. 63#8 (2007) 高齢者保健のパラダイムシフト	¥1,350
	Vol. 63#9 (2007) 母子保健活動におけるポピュレーションアプローチ	¥1,350
	Vol. 63#10 (2007)「頼れる先輩」になる 現任教育における指導者の役割	¥1,350
	Vol. 63#11 (2007) 男心をつかむ保健師活動 男性へのアプローチポイン	¥1,350
	Vol. 63#12 (2007) 住民が求める安全・安心のまちづくり セーフコミュニテ	¥1,350
	Vol. 64#1 (2008) ITを活用した保健活動	¥1,404
	Vol. 64#2 (2008) 苦情・トラブル対応の力を磨く 現場のジレンマと向き合	¥1,404
	Vol. 64#3 (2008) 在宅ターミナル 逝く人の支援を考える	¥1,404
	Vol. 64#4 (2008) あなたのまちに地震が来たら？2度の災害を乗り越えた	¥1,404
	Vol. 64#5 (2008) このままでいいのか臨地実習 現場の課題と、そこでの	¥1,404
	Vol. 64#6 (2008) 事例で学ぶ！ 調査・研究を保健師活動に活かすコツ	¥1,404
	Vol. 64#7 (2008) 産後うつを抱えた母親を死なせない　精神障害者ととも	¥1,404

Vol. 64#8 (2008) 家庭訪問 現代の保健師活動における意味を問い直す	¥1,404
Vol. 64#9 (2008) 認知症対策 保健師は何をすべきか	¥1,404
Vol. 64#10 (2008) 発達障害 本当に求められる支援とは	¥1,404
Vol. 64#11 (2008) 保健師活動と「食」	¥1,404
Vol. 64#12 (2008) 対象者の「見極め」で健診実施率を上げる！	¥1,404
Vol. 65#1 (2009) 地域包括支援センターと保健部門の連携 地域包括ケ	¥1,404
Vol. 65#2 (2009) 保健師の「ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑ」を考える 「障害調整健康	¥1,404
Vol. 65#3 (2009) 事前検討会 保健師にとっての意義を改めて考える	¥1,404
Vol. 65#4 (2009) 「相談対応」の技術 こんな相談にどう対応する？	¥1,404
Vol. 65#5 (2009) 「こんにちは赤ちゃん事業」を成功させるために 先進事	¥1,404
Vol. 65#6 (2009) 人を育てる・育ちあい 保健師魂の継承	¥1,404
Vol. 65#7 (2009) 保健師活動と「コミュニケーション」	¥1,404
Vol. 65#8 (2009) 保健師を成長させたターニングポイント	¥1,404
Vol. 65#9 (2009) 待ったなしの感染症対策	¥1,404
Vol. 65#10 (2009) 地区活動のあり方を新たな視点で	¥1,404
Vol. 65#11 (2009) 地域に暮らすHIV陽性者の療養支援	¥1,404
Vol. 65#12 (2009) 心身障害児者の生活を支える地域の役割	¥1,404
Vol. 66#1 (2010) 妊娠期から産後まで，地域でつなぐ母子の支援	¥1,404
Vol. 66#2 (2010) 復職支援 メンタルヘルス対策における産業保健師の	¥1,404
Vol. 66#3 (2010) 女性の健康新時代 心と社会に注目して 「地域づくり」	¥1,404
Vol. 66#4 (2010) 特定健診・特定保健指導の3年目を迎えて―得たもの，	¥1,404
Vol. 66#5 (2010) 孤立させない自殺予防対策	¥1,404
Vol. 66#6 (2010) 地区活動を生きいきと―協働の豊かさを実感する保健	¥1,404
Vol. 66#7 (2010) 現場を支える保健師の「わざ」	¥1,404
Vol. 66#8 (2010) 市町村合併で変化した保健師の思いと活動	¥1,404
Vol. 66#9 (2010) 保健師の採用と就職を考える	¥1,404
Vol. 66#10 (2010) 弱者への暴力にどう挑む？	¥1,404
Vol. 66#11 (2010) 保健師の仕事を外から見ると	¥1,404
Vol. 66#12 (2010) 保険事業の保険サービス化と公的責任	¥1,404
Vol. 67#1 (2011) 動き出した保健師の人材育成―専門性を育てる体制づ	¥1,404
Vol. 67#2 (2011) ソーシャル・キャピタル―保健活動へのヒント	¥1,404
Vol. 67#3 (2011) 健康危機管理における保健師の役割	¥1,404
Vol. 67#4 (2011) 保健師はどこまで入れるか	¥1,404
Vol. 67#5 (2011) たばこ対策の今	¥1,404
Vol. 67#6 (2011) 管理的立場にある保健師の役割	¥1,404
Vol. 67#7 (2011) 睡眠公衆衛生と保健師―眠れていますか？の一言から	¥1,404
Vol. 67#8 (2011) 介護予防を地域づくり・まちづくりの視点で	¥1,404
Vol. 67#9 (2011) 初動―東日本大震災の被災地支援	¥1,404
Vol. 67#10 (2011) 保健師の分散配置をどう活かす？	¥1,404
Vol. 67#11 (2011) 危機介入事例における人権保護	¥1,404
Vol. 67#12 (2011) 予防接種のいま	¥1,404
Vol. 68#1 (2012) 保健師「魂」が熱くなる瞬間	¥1,404
Vol. 68#2 (2012) 特定健診・特定保健指導の到達点	¥1,404
Vol. 68#3 (2012) 東日本大震災から1年 保健師が受け止めたもの	¥1,404
Vol. 68#4 (2012) 精神障害者の地域移行からアウトリーチまで	¥1,404
Vol. 68#5 (2012) PDCAサイクルを回そう！	¥1,404
Vol. 68#6 (2012) 健康増進計画の評価と「その次」 次期計画に向けて何	¥1,404
Vol. 68#7 (2012) 「あきらめる」「もえつきる」その前に ジレンマから学ぶ保	¥1,404
Vol. 68#8 (2012) 「生活習慣病」から「生活環境病」へ	¥1,404
Vol. 68#9 (2012) 地域への愛着を育むために 「知らないまち」に住む人	¥1,404
Vol. 68#10 (2012) 災害時活動マニュアルをどうする?	¥1,404
Vol. 68#11 (2012) 親子保健・母子保健の重点課題	¥1,404
Vol. 68#12 (2012) がん検診の新たな取り組み	¥1,404

Vol. 69#1 (2013) プロとして成長するための振り返り		¥1,404
Vol. 69#2 (2013) 地区診断から始まる,見える保健師活動		¥1,404
Vol. 69#3 (2013) 虐待対応も地域づくりの視点で―高齢者虐待・障害者		¥1,404
Vol. 69#4 (2013) 住民の底力（ソーシャル・キャピタル）を支援する保健師		¥1,404
Vol. 69#5 (2013) こうすれば伝わる! サービスとしての「説明」		¥1,404
Vol. 69#6 (2013) 啓発活動や健康教室にも役立つ! 熱中症対策2013		¥1,404
Vol. 69#7 (2013)「地域における保健師の保健活動に関する指針」見直		¥1,404
Vol. 69#8 (2013) 新たな難病対策を求めて		¥1,404
Vol. 69#9 (2013) 過渡期にある保健師教育		¥1,404
Vol. 69#10 (2013) 母子保健のバージョンアップ		¥1,404
Vol. 69#11 (2013) わがまちの認知症対策		¥1,404
Vol. 69#12 (2013) 発達障害児支援の「みる」「つなぐ」「動かす」		¥1,404
Vol. 70#1 (2014) 中堅期の育成と成長		¥1,512
Vol. 70#2 (2014) 予防接種新時代　保健師に期待される役割とは		¥1,512
Vol. 70#3 (2014) 東日本大震災から3年　福島からの報告		¥1,512
Vol. 70#4 (2014) 地域で支える精神障害者の暮らし　法改正と新たな指		¥1,512
Vol. 70#5 (2014) 精神面が気になる母親への子育て支援		¥1,512
Vol. 70#6 (2014) 統括保健師はなぜ必要か　市町村での役割を中心に		¥1,512
Vol. 70#7 (2014) 日常業務の中でデータを活かす		¥1,512
Vol. 70#8 (2014) 子どもとメディア　インターネット, ソーシャルメディア対		¥1,512
Vol. 70#9 (2014) 平時からの災害時要援護者支援		¥1,512
Vol. 70#10 (2014) 保健師を成長させる家庭訪問		¥1,512
Vol. 70#11 (2014) 地域包括ケア 見えてきた保健師の関わり		¥1,512
Vol. 70#12 (2014) 不当な暴言・暴力から組織的に身を守る		¥1,512
Vol. 71#1 (2015) 最新の感染症対策		¥1,512
Vol. 71#2 (2015) 新たな段階を迎えた　歯科口腔保健		¥1,512
Vol. 71#3 (2015) アルコールと健康障害		¥1,512
Vol. 71#4 (2015) 地域診断のチカラをつける　基礎教育から現任教育へ		¥1,512
Vol. 71#5 (2015) 日常の危険を防ぐ　保健師活動に活かす「危険学」		¥1,512
Vol. 71#6 (2015) 健康日本21（第2次）の初期評価		¥1,512
Vol. 71#7 (2015) 先進事例に学ぶ　在宅医療・介護連携推進事業		¥1,512
Vol. 71#8 (2015) がんとともに生きる社会―働き盛り世代への支援を中心		¥1,512
Vol. 71#9 (2015)「健康無関心層」に向けた健康づくり あの人を振り向か		¥1,512
Vol. 71#10 (2015) データヘルス計画をどう活かすか		¥1,512
Vol. 71#11 (2015) この時代の「地区担当制」を考える		¥1,512
Vol. 71#12 (2015) 認知症対策の成果と未来		¥1,512
Vol. 72#1 (2016) 地域でつくる包括的母子保健の未来―“切れ目ない”妊		¥1,512
Vol. 72#2 (2016) 生活困窮者・生活保護受給者の健康支援		¥1,512
Vol. 72#3 (2016) 東日本大震災から5年―被災地のいまと, これから		¥1,512
Vol. 72#4 (2016) コホート研究と保健師活動		¥1,512
Vol. 72#5 (2016) 保健師がつなぐ地域医療―「地域医療構想」を見据えて		¥1,512
Vol. 72#6 (2016) 保健師実習の今		¥1,512

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

255　保育と保健 Japanese Journal of Well-being of Nursery-schoolers（日本保育園保健協議会）

Vol. 9#2 (2003)		¥2,160
Vol. 12#2 (2006)		¥2,160
Vol. 13#1,2 (2007)	各号	¥2,160
Vol. 14#1 (2008)		¥2,160

256　北海道医療大学看護福祉学部学会誌

Vol. 1-5,7 (2005-2011) 各1号	各号	¥3,240

257	**北海道脳神経疾患研究所医誌 Journal of Hokkaido Brain Research Foundation**		
	Vol. 8/9#1 (1997)		¥5,400
	Vol. 10#1 (1999)		¥5,400
	Vol. 11/12#1 (1999)		¥5,400
	Vol. 13-19 (2002-2008) 各1号	各号	¥5,400
258	**北海道プライマリ・ケア研究会会報（北海道プライマリ・ケア研究会）**		
	No. 18-25 (2000-2007)	各号	¥2,160
	No. 28 (2010)		¥2,160
259	**北海道理学療法 The Hokkaido Journal of Physical Therapy（北海道理学療法士会）**		
	Vol. 19-21 (2002-2004)	各巻	¥1,620
260	**北海道整形災害外科学会雑誌（北海道整形外科学会）**		
	Vol. 48#1,2 (2006-2007)	各号	¥4,320
	Vol. 49#1,2 (2007-2008)	各号	¥4,320
	Vol. 50#1 (2008)		¥4,320
261	**ホメオパシー医学（日本ホメオパシー医学会）**		
	Vol. 1-3 (2008-2010)	各巻	¥3,240

262　訪問看護と介護（医学書院）

Vol. 1#1 (1996) 訪問看護は看護を変える	¥1,080
Vol. 1#2 (1996) 24時間対応の模索と成果	¥1,080
Vol. 1#3 (1996) 公的介護保険と訪問介護(後編)	¥1,080
Vol. 1#4 (1996) 事例検討のススメ	¥1,080
Vol. 1#5 (1996) 利用者が望むケアマネジメントとは	¥1,080
Vol. 1#6 (1996) 在宅ホスピスと訪問看護	¥1,080
Vol. 2#1 (1997) 介護保険が導入されると訪問看護と..	¥1,080
Vol. 2#2 (1997) 訪問看護の質を考える	¥1,080
Vol. 2#3 (1997) 在宅看護論臨地実習にどう対応するか	¥1,080
Vol. 2#4 (1997) 高齢者のアセスメントツールを整理する	¥1,080
Vol. 2#5 (1997) 訪問看護とリハビリテーション	¥1,080
Vol. 2#6 (1997) 訪問看護ステーションにおける情報化戦略	¥1,080
Vol. 2#7 (1997) 訪問看護・介護と法律	¥1,080
Vol. 2#8 (1997) 要介護者の評価技法をめぐって	¥1,080
Vol. 2#9 (1997) 利用者の声を聞く	¥1,080
Vol. 2#10 (1997) ケアマネジメントの理論と実際	¥1,080
Vol. 2#11 (1997) 痴呆ケアを考える	¥1,080
Vol. 2#12 (1997) 対人援助に困難を感じるとき	¥1,080
Vol. 3#1 (1998) これからの在宅介護支援センター	¥1,188
Vol. 3#2 (1998) 訪問看護婦に何が求められているか	¥1,188
Vol. 3#3 (1998) 感染症の予防と管理	¥1,188
Vol. 3#4 (1998) 第2回要介護認定ﾓﾃﾞﾙ事業体験速報	¥1,188
Vol. 3#5 (1998) 利用者に満足される「看取りのケア」	¥1,188
Vol. 3#6 (1998) 在宅での排泄ケアを見直す	¥1,188
Vol. 3#7 (1998)「対人援助困難」を克服する	¥1,188
Vol. 3#8 (1998) ちょっと気になる関連他職種	¥1,188
Vol. 3#9 (1998) 病院と連携する	¥1,188
Vol. 3#10 (1998) 訪問看護婦のアセスメント能力の向上を目指して	¥1,188
Vol. 3#11 (1998) 電話による健康指導と訪問看護	¥1,188
Vol. 3#12 (1998) 介護保険制度導入に向けての課題	¥1,188
Vol. 4#1 (1999) 高齢の糖尿病患者への訪問看護	¥1,188
Vol. 4#2 (1999) 訪問看護のスキルアップ情報	¥1,188
Vol. 4#3 (1999) 抑うつのある高齢者への訪問看護	¥1,188
Vol. 4#4 (1999) 看取りのケアのノウハウ	¥1,188
Vol. 4#5 (1999) 新任職員の採用	¥1,188
Vol. 4#6 (1999) 新人研修・現任教育をどうするか	¥1,188
Vol. 4#7 (1999) 在宅医療にふさわしい「物」と「技術」	¥1,188
Vol. 4#8 (1999) 訪問看護と倫理	¥1,188
Vol. 4#9 (1999) 日々の「記録」を再考する	¥1,188
Vol. 4#10 (1999) PTと連携する	¥1,188
Vol. 4#11 (1999) 訪問看護と栄養管理①	¥1,188
Vol. 4#12 (1999) 訪問看護と栄養管理②	¥1,188
Vol. 5#1 (2000) 訪問看護ステーションを核にした在宅ケアサービス	¥1,188
Vol. 5#2 (2000) 介護保険がやってくる！　訪問看護ステーションの	¥1,188
Vol. 5#3 (2000)「契約」 その考え方と結び方	¥1,188
Vol. 5#4 (2000) その実践に学ぶ「ヘルパーの質の確保」	¥1,188
Vol. 5#5 (2000)「給付管理業務」 介護支援専門員の役割を..	¥1,188
Vol. 5#6 (2000) 新たな課題「ケアマネジャーとの連携」	¥1,188
Vol. 5#7 (2000) 在宅における人工呼吸器の管理について	¥1,188
Vol. 5#8 (2000) 重すぎませんか？　ケアマネの負担　事務職..	¥1,188
Vol. 5#9 (2000) 介護保険で何がどう変わったかー現状の問題を	¥1,188
Vol. 5#10 (2000) 事業者地図は変わるのか	¥1,188
Vol. 5#11 (2000) 短期入所と通所サービスをめぐる問題	¥1,188
Vol. 5#12 (2000) 終末期にできること	¥1,188
Vol. 6#1 (2001) 介護保険をめぐる地域のネットワークとルールづくり	¥1,296
Vol. 6#2 (2001) 現任教育に本腰を入れる	¥1,296

Vol. 6#3 (2001) 契約になじまないケース あなたならどうする？	¥1,296
Vol. 6#4 (2001) 在宅ケアも”ちょっと”IT-電子機器活用のコスト＆ベネフ	¥1,296
Vol. 6#5 (2001) 高齢者虐待への対応を学ぶ	¥1,296
Vol. 6#6 (2001) 在宅リスクマネジメント	¥1,296
Vol. 6#7 (2001) 介護保険外サービスに注目	¥1,296
Vol. 6#8 (2001) 在宅看護論臨地実習の現状と課題	¥1,296
Vol. 6#9 (2001) 在宅ケアにおける感染症対策-押さえておきたいポイント	¥1,296
Vol. 6#10 (2001) 在宅での急変とその対応	¥1,296
Vol. 6#11 (2001) いま求められる在宅栄養管理とは	¥1,296
Vol. 6#12 (2001) 居宅介護支援事業者の現在	¥1,296
Vol. 7#1 (2002) 精神訪問看護の基本を学ぶ	¥1,296
Vol. 7#2 (2002) 慢性呼吸不全を考える	¥1,296
Vol. 7#3 (2002) 在宅ケアにおける医療廃棄物問題	¥1,296
Vol. 7#4 (2002) 連携と利用者を意識した「記録」	¥1,296
Vol. 7#5 (2002) 痴呆ケアについて知っておきたいこと	¥1,296
Vol. 7#6 (2002) ’’家族を支援する’’ということ	¥1,296
Vol. 7#7 (2002) 訪問看護師の住環境整備支援	¥1,296
Vol. 7#8 (2002) 褥瘡ケアUp to Date [1]	¥1,296
Vol. 7#9 (2002) 褥瘡ケアUp to Date[2]在宅に焦点を合わせて	¥1,296
Vol. 7#10 (2002) 訪問看護・居宅介護支援事業の採算を問う	¥1,296
Vol. 7#11 (2002) 在宅における効果的な口腔ケアを目指して	¥1,296
Vol. 7#12 (2002) 介護保険制度施行3年目を振り返る	¥1,296
Vol. 8#1 (2003) 訪問看護への応援歌	¥1,296
Vol. 8#2 (2003) サービス評価への取り組み	¥1,296
Vol. 8#3 (2003) 入退院をめぐる病院との連携	¥1,296
Vol. 8#4 (2003) 在宅神経難病療養者の意思決定を支える	¥1,296
Vol. 8#5 (2003) 小児訪問看護の基本を学ぶ	¥1,296
Vol. 8#6 (2003) ターミナルケア再考	¥1,296
Vol. 8#7 (2003) ステーションを活性化させる管理者とは	¥1,296
Vol. 8#8 (2003) 在宅要介護高齢者の排尿管理	¥1,296
Vol. 8#9 (2003) 進化する入浴ケア[1]　安心で安全な介助とは？	¥1,296
Vol. 8#10 (2003) 進化する入浴ケア[2]在宅でのくふう	¥1,296
Vol. 8#11 (2003) こんな生き方もある　地域に根づくナースたち	¥1,296
Vol. 8#12 (2003) 2003年を振り返って　在宅ケアサービスの現状と展望	¥1,296
Vol. 9#1 (2004) マンネリ化しないための継続教育	¥1,296
Vol. 9#2 (2004) 訪問看護の新たな展望	¥1,296
Vol. 9#3 (2004) 在宅リハと訪問看護の連携を探る	¥1,296
Vol. 9#4 (2004) 在宅ALS療養者ケアのコツを知る	¥1,296
Vol. 9#5 (2004) 介護保険の苦情相談－どんな苦情があり、どのように対	¥1,296
Vol. 9#6 (2004) 在宅高齢者の皮膚トラブルへの対応	¥1,296
Vol. 9#7 (2004) 介護支援専門員の守備範囲－困難事例への対応を考	¥1,296
Vol. 9#8 (2004) 在宅で必要な薬の知識と服薬のコツ	¥1,296
Vol. 9#9 (2004) 訪問介護に役立つコミュニケーション技術	¥1,296
Vol. 9#10 (2004) 精神訪問看護のコツを学ぶ	¥1,296
Vol. 9#11 (2004) 特集1精神訪問看護のコツを学ぶ・2 特集2	¥1,296
Vol. 9#12 (2004) 在宅をめぐる「食」の話題	¥1,296
Vol. 10#1 (2005) 中と外から見た訪問看護の魅力	¥1,296
Vol. 10#2 (2005) 災害時，在宅療養者をどう守るのか	¥1,296
Vol. 10#3 (2005) 特集1小児訪問看護への期待/特集2災害時，在宅療	¥1,296
Vol. 10#4 (2005) 医療依存度の低い高齢者への訪問看護	¥1,296
Vol. 10#5 (2005) 言語障害をもつ人とのコミュニケーション	¥1,296
Vol. 10#6 (2005) 認知症の人と家族をどうサポートするのか	¥1,296
Vol. 10#7 (2005) 個人情報保護法への対応	¥1,296
Vol. 10#8 (2005) 訪問ナースのための皮膚アセスメント入門	¥1,296
Vol. 10#9 (2005)「痰の吸引」を考える	¥1,296
Vol. 10#10 (2005)「介護サービス情報の公表」制度の実施を前に	¥1,296
Vol. 10#11 (2005) 在宅ターミナルケアと看護の役割	¥1,296

Vol. 10#12 (2005) 在宅からみた地域連携とパス	¥1,296
Vol. 11#1 (2006) 改正介護保険と訪問看護事業	¥1,296
Vol. 11#2 (2006) 小児の在宅生活を支援する	¥1,296
Vol. 11#3 (2006) 在宅における褥瘡ケア	¥1,296
Vol. 11#4 (2006) 排泄ケアを見直す	¥1,296
Vol. 11#5 (2006) 歩くこと，足元を確かなものに	¥1,296
Vol. 11#6 (2006) 在宅療養の継続と訪問看護の役割	¥1,296
Vol. 11#7 (2006) 在宅医療への追い風に乗る-訪問看護の新たな事業展	¥1,296
Vol. 11#8 (2006) 療養通所介護を始める	¥1,296
Vol. 11#9 (2006) 口腔ケアに目を向ける	¥1,296
Vol. 11#10 (2006) 生きることを支えるターミナルケア	¥1,296
Vol. 11#11 (2006) 在宅経腸栄養－PEG利用者の支援	¥1,296
Vol. 11#12 (2006) 職業としてのケアマネジャー	¥1,296
Vol. 12#1 (2007) 認知症を正しく理解する	¥1,296
Vol. 12#2 (2007) 長時間滞在型訪問看護の可能性	¥1,296
Vol. 12#3 (2007) アロマセラピーを取り入れた看護実践	¥1,296
Vol. 12#4 (2007) 改正介護保険から一年	¥1,296
Vol. 12#5 (2007) 訪問看護の仕事の魅力を伝えよう	¥1,296
Vol. 12#6 (2007) 訪問看護に必要な感染管理を学ぶ	¥1,296
Vol. 12#7 (2007) 介護職と医療職の連携「医行為外」問題から考える	¥1,296
Vol. 12#8 (2007) 高齢者虐待を考える	¥1,296
Vol. 12#9 (2007) 認知症の人のターミナルケア	¥1,296
Vol. 12#10 (2007) 糖尿病の療養支援 知っておきたい最新知識	¥1,296
Vol. 12#11 (2007) 糖尿病の自己管理をサポートする	¥1,296
Vol. 12#12 (2007) 医療と福祉はこう変わった	¥1,296
Vol. 13#1 (2008) これからの「在宅」を担う人を育てる	¥1,296
Vol. 13#2 (2008) 収支からマネジメントを読む	¥1,296
Vol. 13#3 (2008) 自己決定を支える排泄ケア 相談員育成による取り組み	¥1,296
Vol. 13#4 (2008) 病棟から在宅へのスムーズな移行	¥1,296
Vol. 13#5 (2008) HIV陽性者を受け入れる	¥1,296
Vol. 13#6 (2008) 2008年度診療報酬改定を読む 医療福祉の倫理を考え	¥1,296
Vol. 13#7 (2008) 医行為外とされるケアの実践	¥1,296
Vol. 13#8 (2008) 住宅で褥瘡をつくらない	¥1,296
Vol. 13#9 (2008) 成人の「発達障害」を理解する	¥1,296
Vol. 13#10 (2008) 訪問看護・介護のこれからの制度設計	¥1,296
Vol. 13#11 (2008) がんターミナルにおけるQOLの維持・向上	¥1,296
Vol. 13#12 (2008) ネットワークが地域を支える	¥1,296
Vol. 14#1 (2009) 精神科訪問看護の実際	¥1,296
Vol. 14#2 (2009) 小児訪問看護の可能性	¥1,296
Vol. 14#3 (2009) あたたかな認知症ケア	¥1,296
Vol. 14#4 (2009) 在宅での薬の服用・管理を考える	¥1,296
Vol. 14#5 (2009) 命を伝える	¥1,296
Vol. 14#6 (2009) 地域にもっと訪問リハを！	¥1,296
Vol. 14#7 (2009) 認定看護師教育課程「訪問看護」のすべて	¥1,296
Vol. 14#8 (2009) 在宅NPPVを知る	¥1,296
Vol. 14#9 (2009) 訪問入浴サービスへの思い	¥1,296
Vol. 14#10 (2009) 療養通所介護を切り拓く	¥1,296
Vol. 14#11 (2009) 口腔ケア 在宅でここまでできる	¥1,296
Vol. 14#12 (2009) スタッフを定着させるために	¥1,296
Vol. 15#1 (2010) 豊かな在宅ケアの実現に向けて　いま，できることを！	¥1,296
Vol. 15#2 (2010) 廃用症候群を予防する	¥1,296
Vol. 15#3 (2010) 退院調整のパートナーシップをどう構築するか	¥1,296
Vol. 15#4 (2010) 多様なニーズに応える訪問看護	¥1,296
Vol. 15#5 (2010) 胃ろうを選ぶことの意味	¥1,296
Vol. 15#6 (2010) 2010年診療報酬改定を理解する	¥1,296
Vol. 15#7 (2010) たんの吸引、医行為をめぐる連携	¥1,296
Vol. 15#8 (2010) 小児訪問看護に取り組もう	¥1,296

	Vol. 15#9 (2010) 訪問看護推進への新しいステップ	¥1,296
	Vol. 15#10 (2010) 在宅ケアで必要な感染対策	¥1,296
	Vol. 15#11 (2010) ホスピス発祥のイギリスから日本へ　在宅・地域緩和ケ	¥1,296
	Vol. 15#12 (2010) ICF(国際生活機能分類)を訪問看護に活かす	¥1,296
	Vol. 16#1 (2011) “はじめて”の在宅緩和ケア　準備編	¥1,296
	Vol. 16#2 (2011) ”はじめて”の在宅緩和ケア　実践編	¥1,296
	Vol. 16#3 (2011) 在宅だからこそ！のラップ療法	¥1,296
	Vol. 16#4 (2011) 私を変えた！認定看護師教育課程	¥1,296
	Vol. 16#5 (2011) 特集　自律しながら支え合う！私たちのスタッフ教育	¥1,296
	Vol. 16#6 (2011) 訪問歯科と連携しよう！高齢者の歯と口腔をケアする	¥1,296
	Vol. 16#7 (2011) 2012年診療報酬・介護報酬同時改定に向けて	¥1,296
	Vol. 16#8 (2011) つながる、拡げる、ネットワークする これからのステーシ	¥1,296
	Vol. 16#9 (2011) 災害と地域ケア	¥1,296
	Vol. 16#10 (2011) 高齢者栄養-在宅・地域栄養サポートへの第一歩	¥1,296
	Vol. 16#11 (2011) わが家で看取る	¥1,296
	Vol. 16#12 (2011) 認知症こそ在宅・地域で	¥1,296
	Vol. 17#1 (2012) 地域包括ケアシステムの展望	¥1,404
	Vol. 17#2 (2012) ″時代のキーワード″で読み解く「超高齢社会」「多死時	¥1,404
	Vol. 17#3 (2012) 小児在宅ケアが変わる	¥1,404
	Vol. 17#4 (2012) がん患者さんの退院支援・外来治療支援	¥1,404
	Vol. 17#5 (2012) 地域拠点としての「大学」と「ステーション」	¥1,404
	Vol. 17#6 (2012) 在宅看取りのエンゼルケア-「死後のケア」の意味・方法	¥1,404
	Vol. 17#7 (2012) 2025年へ“はじめの一歩″ 同時改定で「在宅現場」はど	¥1,404
	Vol. 17#8 (2012) 吸引・胃ろう等をどう行なうか これからの“医療的ケア”【	¥1,404
	Vol. 17#9 (2012) 吸引・胃ろう等をどう行なうか　これからの“医療的ケア”	¥1,404
	Vol. 17#10 (2012) 「訪問看護支援事業」からの発展－訪問看護の“プラ	¥1,404
	Vol. 17#11 (2012) 海外の在宅ケアに学びたい	¥1,404
	Vol. 17#12 (2012) これからの訪問看護に必要な「人材」とは	¥1,404
	Vol. 18#1 (2013) 認知症の地域医療が変わる！/「成年後見制度」を知る	¥1,404
	Vol. 18#2 (2013) 住まいで医療も最期まで　いろんなかたちの「24時間」	¥1,404
	Vol. 18#3 (2013) あれから2年　災害対策の「変えた」「変わった」	¥1,404
	Vol. 18#4 (2013) ご家族も一緒に! 在宅フィジカルアセスメント	¥1,404
	Vol. 18#5 (2013) 制度の枠も飛び越えて“夢″を叶える起業・経営	¥1,404
	Vol. 18#6 (2013) 高齢者虐待を防止する そのとき医療・介護にできること	¥1,404
	Vol. 18#7 (2013) 「緩和ケア訪問看護」の“実践力”を育てる	¥1,404
	Vol. 18#8 (2013) 来たれ! 新卒訪問看護師!-千葉県訪問看護実践センタ	¥1,404
	Vol. 18#9 (2013) 「胃ろう」をつけた“あの人”のこと－懸賞論文大賞発表!	¥1,404
	Vol. 18#10 (2013) 訪問看護の胃ろうケア－迷いながらも寄り添って	¥1,404
	Vol. 18#11 (2013) 他専門職のワザがわかる「在宅リハ」の可能性	¥1,404
	Vol. 18#12 (2013) 訪問看護の“プラットホーム”戦略II-「訪問看護支援事	¥1,404
	Vol. 19#1 (2014) 「新生在宅医療・介護元年」の成果と展望―“つなぐ機	¥1,404
	Vol. 19#2 (2014) 在宅だから ICF！-「生活を支える」を具現化する	¥1,404
	Vol. 19#3 (2014) 特集1　知っておきたい「社会保障・税一体改革」 特集2	¥1,404
	Vol. 19#4 (2014) 在宅ケアの質を高めるICT	¥1,404
	Vol. 19#5 (2014) 在宅で「肺炎」を予防・改善・治療する！ －「それでも食	¥1,404
品切	Vol. 19#6 (2014) Buurtzorg（ビュートゾルフ）との邂逅-何を学び、どう活	¥1,404
	Vol. 19#7 (2014) 2014年度診療報酬改定からの展望 「ときどき入院、ほ	¥1,404
	Vol. 19#8 (2014) 精神科訪問看護を始めよう！　深めよう！-特化型／非	¥1,404
	Vol. 19#9 (2014) 人材育成をネットワーク化する	¥1,404
	Vol. 19#10 (2014) 機能強化型ステーションの“未来予想図” 地域拠点と	¥1,404
	Vol. 19#11 (2014) これが私の訪問看護だ。-実践にみる「在宅看護学」の	¥1,404
	Vol. 19#12 (2014) 高齢者に効く漢方-知っておきたい効き方・使い方・副	¥1,404
	Vol. 20#1 (2015) 訪問看護の“あと10年″ 2025年までにやっておきたい○	¥1,404
	Vol. 20#2 (2015) 訪問看護の意思決定支援-いつ何をどう行なうことなの	¥1,404
	Vol. 20#3 (2015) 「ノーリフト」で苦痛のない身体介助ー腰痛予防とケアの	¥1,404
品切	Vol. 20#4 (2015) ユマニチュードは何が違うかⅠ －その有効性と可能性	¥1,404
	Vol. 20#5 (2015) ユマニチュードは何が違うかⅡ －在宅・地域での活用	¥1,404

	Vol. 20#6 (2015) 在宅・地域で行なう特定行為-意義と実践のイメージを		¥1,404
	Vol. 20#7 (2015) 在宅チームケアならできる！　サルコペニア、フレイル		¥1,404
品切	Vol. 20#8 (2015) 看護小規模多機能型居宅介護の見取り図-看護が行な		¥1,404
	Vol. 20#9 (2015) 第2回懸賞論文　大賞発表！　家(うち)で看取った“あ		¥1,404
	Vol. 20#10 (2015)「老衰」で家で最期まで―超高齢社会における在宅終		¥1,404
	Vol. 20#11 (2015)「在宅看護」ってなんだろう？―実践に新たな光をあて		¥1,404
	Vol. 20#12 (2015) 病院看護師が訪問看護をやってみた！―訪問看護体		¥1,404
	Vol. 21#1 (2016) がん在宅チームケア―多職種で持ち寄る知恵とワザ		¥1,512
	Vol. 21#2 (2016) 在宅褥瘡ケア―在宅で活きる新たな技と関わり		¥1,512
	Vol. 21#3 (2016) 認知症当事者とともに学ぶ		¥1,512
	Vol. 21#4 (2016) 認知症当事者のニーズから始める		¥1,512
	Vol. 21#5 (2016) 日本版ビュートゾルフ始動！		¥1,512
	Vol. 21#6 (2016) 2016年度診療報酬改定を現場で読む		¥1,512
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
263	**哺乳動物卵子学会誌 Journal of Mammalian Ova Research**		
	Vol. 4-11 (1987-1994) 各1-2号	各号	¥2,160
264	**哺乳動物学雑誌（日本哺乳動物学会）**		
	Vol. 6-9 (1974/76-1982/83) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 10-11 (1984/85-1986) 各1-4号	各号	¥2,160
265	**哺乳類科学（日本哺乳類学会）**		
	No. 32-53 (1976-1986)	各号	¥2,160
	Vol. 27-48 (1987-2008) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 49#1 (2009); 50#2 (2010)	各号	¥2,160

266 ホルモンと臨床（医学の世界社）

Vol. 28-49 (1980-2001) 各1-12号	各号	¥2,160
Vol. 50-53 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥2,225
Vol. 54#1-12 (2006)	各号	¥2,376
Vol. 55-57 (2007-2009) 各1-12号	各号	¥2,592
Vol. 58#1-12 (2010)	各号	¥2,592
Vol. 59#1-8 (2011)	各号	¥2,592
Vol. 28#夏季増刊号 (1980) 新 図解ホルモンのすべて		¥5,400
Vol. 29#増刊号 (1981) 内分泌 興味ある症例		¥5,400
Vol. 30#秋季増刊号 (1982) 内分泌・代謝学の進歩 '82		¥2,916
Vol. 30#増刊号 (1982) 内分泌 興味ある症例 第二集		¥5,400
Vol. 31#夏季増刊号 (1983) 内分泌 興味ある症例 第三集		¥4,860
Vol. 31#秋季増刊号 (1983) 内分泌 興味ある症例 第四集		¥4,860
Vol. 31#増刊号 (1983) 新内分泌負荷試験		¥4,320
Vol. 32#春季増刊号 (1984) 内分泌 興味ある症例 第五集		¥5,184
Vol. 32#秋季増刊号 (1984) 内分泌腺の腫瘍		¥5,400
Vol. 33#増刊症例特集 (1985) 内分泌 興味ある症例 第六集		¥5,400
Vol. 33#秋季増刊号 (1985) 甲状腺学の進歩 '85		¥4,860
Vol. 33#増刊号 (1985) 内分泌・代謝学の進歩 '84		¥4,860
Vol. 34#春季増刊号 (1986) アンドロロジー 最近の進歩		¥5,400
Vol. 34#夏季増刊号 (1986) 内分泌と画像診断		¥5,400
Vol. 34#秋季増刊号 (1986) 甲状腺学の進歩 '86		¥5,400
Vol. 34#増刊症例特集 (1986) 内分泌 興味ある症例 第七集		¥5,400
Vol. 35#春季増刊号 (1987) 内分泌 興味ある症例 第八集		¥5,400
Vol. 35#夏季増刊号 (1987) 内分泌・代謝学の進歩 '87		¥5,184
Vol. 35#秋季増刊号 (1987) 甲状腺学の進歩 '87		¥5,400
Vol. 35#増刊症例特集 (1987) 内分泌 興味ある症例 第九集		¥5,400
Vol. 36#夏季増刊号 (1988) 内分泌 興味ある症例 第十集		¥5,400
Vol. 36#秋季増刊号 (1988) 内分泌学 60年のあゆみ		¥5,400
Vol. 36#臨時増刊号 (1988) 内分泌学の最近の動向		¥3,024
Vol. 37#春季増刊号 (1989) 内分泌 興味ある症例 第11集		¥5,400
Vol. 37#夏季増刊号 (1989) 内分泌学の現状と将来		¥5,400
Vol. 37#秋季増刊号 (1989) 甲状腺学の進歩 '89		¥5,400
Vol. 37#冬季増刊号 (1989) 甲状腺学の進歩 '88		¥5,400
Vol. 37#増刊症例特集 (1989) 内分泌 興味ある症例 第12集		¥5,400
Vol. 37#増刊症例特集 (1989) 内分泌 興味ある症例 第13集		¥5,400
Vol. 38#春季増刊号 (1990) 内分泌 興味ある症例 第14集		¥5,400
Vol. 38#初夏増刊号 (1990) マクロのアンドロロジー		¥5,400
Vol. 38#夏季増刊号 (1990) 肥満症-診断・病態・治療-		¥5,400
Vol. 39#冬季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第15集		¥5,400
Vol. 39#夏季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第16集		¥5,400
Vol. 39#秋季増刊号 (1991) 内分泌 興味ある症例 第17集		¥5,400
Vol. 40#冬季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第18集		¥5,400
Vol. 40#春季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第19集		¥5,400
Vol. 40#夏季増刊号 (1992) 間脳下垂体腫瘍		¥5,400
Vol. 40#秋季増刊号 (1992) 内分泌 興味ある症例 第20集		¥5,400
Vol. 41#冬季増刊号 (1993) 間脳下垂体腫瘍 II		¥5,400
Vol. 41#春季増刊号 (1993) 内分泌 興味ある症例 第21集		¥5,400
Vol. 41#夏季増刊号 (1993) 臨床家のための遺伝子技術解説		¥5,400
Vol. 41#秋季増刊号 (1993) 内分泌 興味ある症例 第22集		¥5,400
Vol. 41#臨時増刊号 (1993) 間脳下垂体腫瘍 III		¥5,400
Vol. 42#春季増刊号 (1994) 内分泌 興味ある症例 第23集		¥5,400
Vol. 42#夏季増刊号 (1994) 内分泌 興味ある症例 第24集		¥5,400
Vol. 42#臨時増刊号 (1994) ホルモンレセプター		¥5,400
Vol. 43#冬季増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第25集		¥5,400
Vol. 43#春季増刊号 (1995) 間脳下垂体腫瘍 IV		¥5,400

	Vol. 43#夏季増刊号 (1995) 内分泌機能検査の実際		¥5,400
	Vol. 43#秋季増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第26集		¥5,400
	Vol. 43#臨時増刊号 (1995) 内分泌 興味ある症例 第27集		¥5,400
	Vol. 44#春季増刊号 (1996) 間脳下垂体腫瘍 V		¥5,400
	Vol. 44#夏季増刊号 (1996) 内分泌 興味ある症例 第28集		¥5,400
	Vol. 44#冬季増刊号 (1996) 内分泌 興味ある症例 第29集		¥5,400
	Vol. 45#臨時増刊号 (1997) 間脳下垂体腫瘍 VI		¥5,400
	Vol. 45#春季増刊号 (1997) 臨床に役立つ 内分泌疾患診療マニュアル ’		¥5,400
	Vol. 45#夏季増刊号 (1997) 内分泌 興味ある症例 第30集		¥5,400
	Vol. 45#秋季増刊号 (1997) 内分泌 興味ある症例 第31集		¥5,400
	Vol. 45#冬季増刊号 (1997) 間脳下垂体腫瘍 VII		¥5,400
	Vol. 46#春季増刊号 (1998) 図解 ホルモンのすべて		¥5,400
	Vol. 46#夏季増刊号 (1998) 内分泌 興味ある症例 第32集		¥5,400
	Vol. 46#秋季増刊号 (1998) 内分泌病理学 最近の進歩 ’98		¥5,400
	Vol. 46#冬季増刊号 (1998) 内分泌 興味ある症例 第33集		¥5,400
	Vol. 46#臨時増刊号 (1998) ステロイドホルモン研究の進歩 ’98		¥5,400
	Vol. 46#特別増刊号 (1998) 間脳下垂体腫瘍 VIII		¥5,400
	Vol. 47#初夏増刊号 (1999) 内分泌 興味ある症例 第34集		¥5,400
	Vol. 47#夏季増刊号 (1999) 糖尿病の臨床		¥5,400
	Vol. 47#秋季増刊号 (1999) ステロイドホルモン研究の進歩 ’99		¥5,400
	Vol. 47#冬季増刊号 (1999) 内分泌 興味ある症例 第35集		¥5,400
	Vol. 47#臨時増刊号 (1999) 間脳下垂体腫瘍 IX		¥5,400
	Vol. 47#特別増刊号 (1999) 内分泌病理学 最近の進歩 ’99		¥5,400
	Vol. 48#春季増刊号 (2000) 骨粗鬆症のマネジメントのすべて		¥9,288
	Vol. 48#夏季増刊号 (2000) 内分泌 興味ある症例 第36集		¥9,720
	Vol. 48#秋季増刊号 (2000) 内分泌 興味ある症例 第37集		¥9,720
	Vol. 48#冬季増刊号 (2000) ステロイドホルモン研究の進歩 2000		¥10,800
	Vol. 48#臨時増刊号 (2000) 内分泌病理学 最近の進歩 2000		¥8,208
	Vol. 49#特別増刊号 (2001) 臨床に役立つ 内分泌疾患診療マニュアル		¥7,560
	Vol. 49#夏季増刊号 (2001) 内分泌病理学 最近の進歩 2001		¥8,640
	Vol. 49#秋季増刊号 (2001) 内分泌 興味ある症例 第38集		¥8,856
	Vol. 50#臨時増刊号 (2002) 内分泌病理学 最近の進歩 ’02		¥9,288
	Vol. 50#夏季増刊号 (2002) 内分泌 興味ある症例 第40集		¥8,856
	Vol. 50#冬季増刊号 (2002) 内分泌 興味ある症例 第41集		¥9,504
	Vol. 51#春季増刊号 (2003) ステロイドホルモン研究の進歩’02		¥11,880
	Vol. 51#夏季増刊号 (2003) 内分泌 興味ある症例 第42集		¥9,720
	Vol. 51#臨時増刊号 (2003) 内分泌病理学 最近の進歩 ’03		¥9,288
	Vol. 51#秋季増刊号 (2003) 内分泌 興味ある症例 第43集		¥9,720
	Vol. 52#冬季増刊号 (2004) ステロイドホルモン研究の進歩 ’03		¥9,720
	Vol. 52#夏季増刊号 (2004) 内分泌 興味ある症例 第44集		¥9,720
	Vol. 52#臨時増刊号 (2004) 内分泌病理学 最近の進歩 ’04		¥9,720
	Vol. 52#冬季増刊号 (2004) 内分泌 興味ある症例 第45集		¥9,720
	Vol. 53#秋季増刊号 (2005) 糖尿病診療のクリニカルパス		¥7,560
	Vol. 56#冬季増刊号 (2008) 内分泌病理学 最近の進歩 2007		¥10,800
	Vol. 56#春季増刊号 (2008) 内分泌クリニカル・カンファランス48		¥10,800
	Vol. 56#臨時増刊号 (2008) 内分泌クリニカル・カンファランス49		¥10,800
267	**ホスピスケア（ホスピスケア研究会）**		
	Vol. 15#2 (2004)		¥1,080
	Vol. 16#1,2 (2005)	各号	¥1,080
	Vol. 17#1,2,特別号 (2006/2007)	各号	¥1,080
	Vol. 18#1,2 (2007/2008)	各号	¥1,080
	Vol. 19#1,2 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 20#1,2 (2009)	各号	¥1,080
	Vol. 21#1,2 (2010)	各号	¥1,080
	Vol. 22#1,2 (2011)	各号	¥1,080
	Vol. 23#1 (2012)		¥1,080

268	**Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery（日本病院歯科口腔外科協議会）**		
	Vol. 15-17 (2003-2005) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 18#2; 19#1; 20#2 (2006-2008)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1,2; 22#1 (2009-2010)	各号	¥3,240
269	**放射光（日本放射光学会）**		
	Vol. 17-19 (2004-2006) 各1-6号	各号	¥2,160
270	**保全生態学研究（日本生態学会）**		
	Vol. 4#2;5#1,2;7#1 (1999-2002)	各号	¥2,700
	Vol. 8-21 (2003-2016) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 22#1 (2017)		¥2,700
271	**表面（広信社）**		
	Vol. 38-41 (2000-2003) 各1-12号	各号	¥2,160
272	**Hyper Space（高次元科学会）**		
	Vol. 1-5 (1992-1996) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 8#1 (1999); 9#1 (2000)	各号	¥2,160
273	**遺伝学雑誌（日本遺伝学会）**		
	Vol. 1-2 (1921/22-1923) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 3-10 (1924/25-1935) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 11-76 (1935-2001) 各1-6号	各号	¥2,160
274	**医学検査 Japanese Journal of Medical Technology（日本臨床衛生検査技師会）**		
	Vol. 50#2,3,5-9 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 51#3-9 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 52#4 (2003)		¥2,160
	Vol. 53#5,7 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 54#2-5,7-9,11,12 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 55#1,2,8,11 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 56#5,8-12 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 57#1-12 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 58#6,8-12 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 59#1-12 (2010)	各号	¥2,160
275	**医学教育 Medical Education（日本医学教育学会）**		
	Vol. 38-44 (2007-2013) 各1-6号,Supplement	各号	¥1,814

276 医学のあゆみ（医歯薬出版）

Vol. 210 #5 (2005) 消化性潰瘍UPDATE	¥5,184
Vol. 212#1 (2005) G蛋白質共役受容体研究の新展開－疾患メカニズム	¥864
Vol. 212#2 (2005) 骨粗鬆症のEBM	¥864
Vol. 212#3 (2005) 高齢医学の最前線	¥864
Vol. 212#4 (2005) 環境汚染と乳幼児の発達－そのリスクの評価法	¥864
Vol. 212#5 (2005) 悪性リンパ腫up-to-date	¥5,184
Vol. 212#6 (2005) 脳卒中－基礎研究と臨床の最前線	¥2,160
Vol. 212#7 (2005) 腎不全進行の主座：尿細管間質病変の成因	¥864
Vol. 212#8 (2005) PETの進歩	¥864
Vol. 212#9 (2005) スタチン研究の新展開	¥864
Vol. 212#10 (2005) 脳科学の先端的研究―遺伝子から高次機能まで	¥2,160
Vol. 212#11 (2005) Immunonutritionの新展開	¥864
Vol. 212#12 (2005) 前立腺癌治療の最近の進歩－とくに放射線療法	¥864
Vol. 212#13 (2005) ストレス性精神障害の臨床と基礎：Up－to－Date	¥864
Vol. 213#1 (2005) 自己免疫疾患研究の最先端	¥2,160
Vol. 213#2 (2005) 生活の質（QOL）測定の現在	¥864
Vol. 213#3 (2005) 生殖補助医療	¥864
Vol. 213#4 (2005) 環境生体応答－Toxicogenomics	¥864
Vol. 213#5 (2005) 内分泌疾患UPDATE	¥5,184
Vol. 213#6 (2005) 肥満症・メタボリックシンドローム―最新診療コンセン	¥2,160
Vol. 213#7 (2005) 新規抗精神病薬の評価	¥864
Vol. 213#8 (2005) 褥瘡をめぐる最近の動向―ガイドライン策定に向けて	¥864
Vol. 213#9 (2005) 小児外科疾患に対する新しい治療・手術のスタンダー	¥864
Vol. 213#10 (2005) AIDS治療：2005－2006	¥2,160
Vol. 213#11 (2005) リンパ球ホーミングの分子機構―最近の展開	¥864
Vol. 213#12 (2005) 整形外科疾患でのヒストンデアセチラーゼ阻害剤の	¥864
Vol. 213#13 (2005) 核内オーファン受容体―最新トピックス	¥864
Vol. 214#1 (2005) 血管炎の基礎と臨床	¥2,160
Vol. 214#2 (2005) アンチエイジング医療と再生医療	¥864
Vol. 214#3 (2005) 色素性乾皮症	¥864
Vol. 214#4 (2005) 新しい膵腫瘍の概念：IPMT	¥864
Vol. 214#5 (2005) 高血圧UPDATE	¥5,184
Vol. 214#6 (2005) 睡眠時無呼吸症候群	¥2,160
Vol. 214#7/8 (2005) 疾患感受性をさぐる－遺伝子変異と分子進化	¥864
Vol. 214#9 (2005) Drug－Eluting Stent―最新情報	¥864
Vol. 214#10 (2005) 薬物性肝障害をめぐって	¥2,160
Vol. 214#11 (2005) 酸化ストレスと疾患	¥864
Vol. 214#12 (2005) H.pylori－トピックス2005	¥864
Vol. 214#13 (2005) 血液浄化療法―課題と展望	¥864
Vol. 215#1 (2005) Behcet病－病因の解明と難治性病態の克服に向けて	¥2,160
Vol. 215#2 (2005) エピジェネティクスと疾患	¥864
Vol. 215#3 (2005) 睡眠障害の基礎と臨床 UPDATE	¥864
Vol. 215#4 (2005) 個人情報保護法と医学・医療	¥864
Vol. 215#5 (2005) がんの化学療法	¥5,184
Vol. 215#6 (2005) 薬物性腎障害	¥2,160
Vol. 215#7 (2005) がん分子標的薬－開発から臨床への最新動向	¥864
Vol. 215#8 (2005) RNA編集	¥864
Vol. 215#9 (2005) PDDとPDT－消化器領域における光線力学的診断と	¥864
Vol. 215#10 (2005) 神経保護・再生　医療研究の最前線	¥2,160
Vol. 215#11 (2005) プリオン病－最新トピックス	¥864
Vol. 215#12/13 (2005) 血液病理学の進歩と診断システム	¥864
Vol. 215#14 (2005) 頭痛のすべて	¥5,184
Vol. 216#1 (2006) 循環器診療における画像診断法の選択－ベストな診	¥2,160
Vol. 216#2 (2006) 医療におけるスピリチュアリティ	¥864
Vol. 216#3 (2006) 時計遺伝子	¥864
Vol. 216#4 (2006) 腸内細菌と疾患	¥864

Vol. 216#5 (2006) 上気道アレルギー疾患研究－最近の進歩から	¥2,160
Vol. 216#6 (2006) 関節軟骨の再生	¥864
Vol. 216#7 (2006) オートファジーと疾患	¥864
Vol. 216#8 (2006) 肝星細胞のバイオロジー	¥864
Vol. 216#9 (2006) 水・電解質異常の新展開	¥2,160
Vol. 216#10 (2006) 次世代の遺伝子治療	¥864
Vol. 216#11 (2006) Wilson病－最新の概念と治療戦略	¥864
Vol. 216#12 (2006) 小胞体ストレスと疾患	¥864
Vol. 217#1 (2006) メタボリックシンドローム　2006-2007：REVISIT	¥2,160
Vol. 217#2 (2006) 新しい市中肺炎ガイドライン	¥864
Vol. 217#3 (2006) 肝移植－あきらめてはならない重症肝疾患	¥864
Vol. 217#4 (2006) 大学発バイオベンチャー	¥864
Vol. 217#5 (2006) 再生医学	¥5,184
Vol. 217#6 (2006) 不整脈研究の最新動向	¥2,160
Vol. 217#7 (2006) エイジング研究の最前線	¥864
Vol. 217#8 (2006) 特発性心筋症－病因解明の最前線	¥864
Vol. 217#9 (2006) 抗癌剤感受性試験の進歩	¥864
Vol. 217#10 (2006) 児童精神医学－臨床の最前線	¥2,160
Vol. 217#11 (2006) スポーツ医学の新展開	¥864
Vol. 217#12 (2006) Notchシグナル－研究の最前線	¥864
Vol. 217#13 (2006) 薬物依存の神経科学－違法ドラッグと覚せい剤によ	¥864
Vol. 218#1 (2006) 酸化ストレスと心血管疾患	¥2,160
Vol. 218#2 (2006) ナノバイオ・メディカルデバイス－表面ナノ制御による	¥864
Vol. 218#3 (2006) 治験とCRC	¥864
Vol. 218#4 (2006) 造血幹細胞移植の現況	¥864
Vol. 218#5 (2006) 臨床栄養のあらたな潮流を求めて	¥5,184
Vol. 218#6 (2006) 輸血医療・医学の新展開	¥2,160
Vol. 218#7/8 (2006) セカンドオピニオン	¥864
Vol. 218#9 (2006) 新しい肺線維症治療法とその可能性	¥864
Vol. 218#10 (2006) ウイルス感染症－研究と臨床の最前線	¥2,160
Vol. 218#11 (2006) 自己免疫性水疱症－最新の話題	¥864
Vol. 218#12 (2006) COPD（慢性閉塞性肺疾患）	¥864
Vol. 218#13 (2006) 感染制御におけるパラダイムシフト－感染制御に	¥864
Vol. 218#14 (2006)	¥864
Vol. 219#1 (2006) 癌抗体療法	¥2,160
Vol. 219#2 (2006) 多発性硬化症－最近の進歩	¥864
Vol. 219#3 (2006) 癌幹細胞	¥864
Vol. 219#4 (2006) トリプレットリピート病UPDATE	¥864
Vol. 219#5 (2006) 性差医学－性差の背景を探る：遺伝子・ホルモン	¥2,160
Vol. 219#6 (2006) アディポカイン	¥864
Vol. 219#7 (2006) 血管新生と創傷治癒	¥864
Vol. 219#8 (2006) 腎病理診断標準化－その現状と将来への展望	¥864
Vol. 219#9 (2006) システム生物医学	¥2,160
Vol. 219#10 (2006) 新型インフルエンザからどう守るか	¥864
Vol. 219 #11/12 (2006) アスベスト関連疾患	¥864
Vol. 219 #13 (2006) うつ病のすべて	¥5,184
Vol. 220 #1 (2007) PPARと疾患	¥2,160
Vol. 220 #2 (2007) ヒトES細胞研究のネクストステージ	¥972
Vol. 220 #3 (2007) カプセル内視鏡－小腸用カプセル内視鏡検査の現	¥972
Vol. 220 #4 (2007) 眠りの科学－動物モデルによる睡眠覚醒研究	¥972
Vol. 220 #5 (2007) Alzheimer病－基礎・臨床研究の最新動向	¥2,160
Vol. 220 #6 (2007) 腎の再生医学	¥972
Vol. 220 #7 (2007) 細胞シート工学による再生医療	¥972
Vol. 220 #8 (2007) 内視鏡外科の現況と評価	¥972
Vol. 220 #9 (2007) 造血器腫瘍の分子標的療法	¥2,160
Vol. 220 #10 (2007) ヒト生体試料バンク－現状と課題	¥972
Vol. 220 #11 (2007) 広がる薬疹の世界－最新の概念・病態・治療	¥972

Vol. 220 #12 (2007) アレルギー研究の最先端	¥972
Vol. 220 #13 (2007) メタボリックシンドローム時代の糖尿病研究の最前線	¥5,184
Vol. 221 #1 (2007) 骨粗鬆症－臨床と研究の最新動向	¥2,160
Vol. 221 #2 (2007) 乳癌のホルモン療法－最新動向	¥972
Vol. 221 #3 (2007) “自殺”最前線	¥972
Vol. 221 #4 (2007) Neoadjuvant Chemotherapy/Chemoradiotherapy	¥972
Vol. 221 #5 (2007) 関節リウマチのパラダイムシフト－生物学的製剤	¥2,160
Vol. 221 #6 (2007) 耐性菌感染症の現状と対策	¥972
Vol. 221 #7 (2007) 幹細胞とニッチ	¥972
Vol. 221 #8 (2007) 癌免疫制御法の進歩と展望－細胞性免疫による癌	¥972
Vol. 221 #9 (2007) アルドステロン研究の新展開	¥2,160
Vol. 221 #10 (2007) 医師主導型臨床研究・治験をいかに進めるか－そ	¥972
Vol. 221 #11 (2007) 粘膜免疫研究の最先端	¥972
Vol. 221 #12 (2007) Drug eluting stent－その再評価	¥972
Vol. 221 #13 (2007) 動脈硬化学UPDATE	¥5,184
Vol. 222 #1 (2007) 膵癌早期診断・治療の新展開	¥2,160
Vol. 222 #2 (2007) 人体試料の研究・教育・医療での利用－その現状	¥972
Vol. 222 #3 (2007) 造血幹細胞移植後のGVHD	¥972
Vol. 222 #4 (2007) 糖尿病網膜症－基礎と臨床の最新動向	¥972
Vol. 222 #5 (2007) 老化と疾患－病態の理解と診断・治療の進歩	¥2,160
Vol. 222 #6/7 (2007) 病院はどう生き残るか	¥972
Vol. 222 #8 (2007) 機能性ディスペプシアの臨床	¥972
Vol. 222 #9 (2007) アルコール医学・医療の最前線	¥2,160
Vol. 222 #10 (2007) CKD（慢性腎臓病）－日本人の新しいGFR推算式へ	¥972
Vol. 222 #11 (2007) 川崎病40年―研究の最新動向	¥972
Vol. 222 #12 (2007) メディア・ドクター－医療とメディアのいま	¥972
Vol. 222 #13 (2007) がん外来化学療法コンセプトシート	¥5,184
Vol. 223 #1 (2007) 不妊症－臨床と研究の最前線	¥2,160
Vol. 223 #2 (2007) ウイルス性肝炎－最新治療コンセンサス	¥972
Vol. 223 #3 (2007) microRNAと癌	¥972
Vol. 223 #4 (2007) 自己抗体が関与する急性脳炎・脳症	¥972
Vol. 223 #5 (2007) 脳卒中のパラダイムシフト－Brain Attack時代の最新	¥2,160
Vol. 223 #6 (2007) イオンチャネル創薬－現状とその可能性	¥972
Vol. 223 #7 (2007) 脳腸ペプチド	¥972
Vol. 223 #8 (2007) 変貌する細菌感染症	¥972
Vol. 223 #9 (2007) 難治性疼痛と闘う－研究と治療の最前線	¥2,160
Vol. 223 #10 (2007) 睡眠とメタボリックシンドローム	¥972
Vol. 223 #11/12 (2007) Quantitative Biology－定量的生物学	¥972
Vol. 223 #13 (2007) Vascular Biology Update	¥5,184
Vol. 224 #1 (2008) がん分子標的治療の最先端	¥2,160
Vol. 224 #2 (2008) 世界に誇る日本のコホート研究	¥972
Vol. 224 #3 (2008) 周術期輸血療法UPDATE	¥972
Vol. 224 #4 (2008) 毛髪疾患の最前線－最新の概念・病態・治療	¥972
Vol. 224 #5 (2008) 心血管マルチバイオマーカー・ストラテジー	¥2,160
Vol. 224 #6 (2008) 異状死問題をこえて－法医学からの提言	¥972
Vol. 224 #7 (2008) 再生医療とアンチエイジング	¥972
Vol. 224 #8 (2008) 眼底イメージング	¥972
Vol. 224 #9 (2008) 感染症と発癌の分子メカニズム	¥2,160
Vol. 224 #10 (2008) NET（神経内分泌腫瘍）－新しい概念・診断・治療	¥972
Vol. 224 #11 (2008) ARDSとインフルエンザ－呼吸器不全の病態と発症	¥972
Vol. 224 #12 (2008) 睡眠呼吸障害の合併症－Multiple risk factorとして	¥972
Vol. 224 #13 (2008) 肺癌UPDATE	¥5,616
Vol. 225 #1 (2008) 大腸癌治療UPDATE	¥2,160
Vol. 225 #2 (2008) NKT細胞研究の新展開	¥972
Vol. 225 #3 (2008) 深在性真菌症－新ガイドラインと最新知見	¥972
Vol. 225 #4 (2008) 尿細管間質障害	¥972
Vol. 225 #5 (2008) ここまでわかったパーキンソン病研究	¥2,160

Vol. 225 #6 (2008) 細胞死をみる	¥972
Vol. 225 #7 (2008) 広がる“エピジェネティック疾患”研究の世界	¥972
Vol. 225 #8 (2008) グライコミクスの世界	¥972
Vol. 225 #9 (2008) 臨床ゲノム研究	¥972
Vol. 225 #10 (2008) 麻酔科学UPDATE－学術の進歩と臨床麻酔の安全	¥2,160
Vol. 225 #11 (2008) 慢性咳嗽の診断と治療UPDATE	¥972
Vol. 225 #12 (2008) 前立腺癌－診断・治療の最新動向	¥972
Vol. 225 #13 (2008) ハイポキシア生物学酸素代謝からみる生命現象の	¥972
Vol. 226 #1 (2008) 心筋症－基礎と臨床: Up to Date	¥2,160
Vol. 226 #2 (2008) ギラン・バレー症候群	¥972
Vol. 226 #3 (2008) 皮膚悪性腫瘍－診療ガイドラインとトピックス	¥972
Vol. 226 #4 (2008) Th17細胞	¥972
Vol. 226 #5 (2008) ミオパチー－臨床と治療研究の最前線	¥2,160
Vol. 226 #6/7 (2008) 禁煙科学の新展開	¥972
Vol. 226 #8 (2008) ポドサイトの生物学	¥972
Vol. 226 #9 (2008) 救急医療UPDATE	¥5,616
Vol. 226 #10 (2008) 大動脈瘤―基礎と臨床	¥2,160
Vol. 226 #11 (2008) 感覚器の再生医療	¥972
Vol. 226 #12 (2008) エリスロポエチンの臓器・血管保護作用	¥972
Vol. 226 #13 (2008) 頸椎症－その考え方と治療の現在	¥972
Vol. 227 #1 (2008) 癌幹細胞－癌研究のパラダイムシフト	¥2,160
Vol. 227 #2 (2008) 医師のストレス	¥972
Vol. 227 #3 (2008) 高齢者医療と介護－最新エビデンス	¥972
Vol. 227 #4 (2008) ROCK阻害薬の臨床応用	¥972
Vol. 227 #5 (2008) 最新免疫研究Update－免疫システム研究から免疫	¥2,160
Vol. 227 #6 (2008) 維持透析療法－治療・管理の進歩	¥972
Vol. 227 #7 (2008) 第二世代抗精神病薬による精神医療の進展	¥972
Vol. 227 #8 (2008) 老年医学研究の最前線	¥972
Vol. 227 #9 (2008) がん放射線治療UPDATE	¥5,616
Vol. 227 #10 (2008) Surviving Sepsis Campaign Guidelines 2008	¥2,160
Vol. 227 #11 (2008) 生理活性ペプチド研究の新展開機能解析から治療	¥972
Vol. 227 #12/13 (2008) Brugada症候群－臨床と研究の最新動向	¥972
Vol. 228 #1 (2009) アトピー性皮膚炎	¥2,376
Vol. 228 #2 (2009) 色素性乾皮症	¥972
Vol. 228 #3 (2009) プロバイオティクスと疾患	¥972
Vol. 228 #4 (2009) 久山町研究 2009 Update	¥972
Vol. 228 #5 (2009) レニン・アンジオテンシン系のすべて	¥5,616
Vol. 228 #6 (2009) 最新・疲労の科学－日本発:抗疲労・抗過労への提	¥2,376
Vol. 228 #7 (2009) “ケミレス”環境医学－化学物質を削減した社会	¥972
Vol. 228 #8 (2009) 頸動脈狭窄の血管内治療	¥972
Vol. 228 #9 (2009) 自己免疫性肝胆膵疾患－最新知見	¥972
Vol. 228 #10 (2009) 抗凝固・抗血小板療法Update	¥2,376
Vol. 228 #11 (2009) CTC（末梢循環腫瘍細胞）	¥972
Vol. 228 #12 (2009) 心房細動の非薬物治療－カテーテルアブレーション	¥972
Vol. 228 #13 (2009) 大腸癌KRAS遺伝子変異ガイダンス－抗EGFR抗体	¥972
Vol. 229 #1 (2009) ウイルス性肝炎－最新治療コンセンサス	¥2,376
Vol. 229 #2 (2009) 320列CT－新しい診断の可能性	¥972
Vol. 229 #3 (2009) 精神疾患ゲノム研究	¥972
Vol. 229 #4 (2009) “熱帯病”研究の最前線	¥972
Vol. 229 #5 (2009) アミロイドーシスUPDATE	¥2,376
Vol. 229 #6 (2009) 難治性顔面痛では何を考えるか	¥972
Vol. 229 #7 (2009) 炎症と糖尿病・メタボリックシンドローム	¥972
Vol. 229 #8 (2009) 間質性肺炎と合併症－肺癌からメタボリック症候	¥972
Vol. 229 #9 (2009) 細胞医療Update	¥5,616
Vol. 229 #10 (2009) がん分子病理診断の新展開	¥2,376
Vol. 229 #11 (2009) 細胞内ウイルスセンサー－ウイルス感染認識機構	¥972
Vol. 229 #12 (2009) 糖尿病（耐糖能異常）と肝疾患のクロストーク	¥972

Vol. 229 #13 (2009) 炎症性腸疾患－病態・診断・治療の最新知見	¥972
Vol. 230 #1 (2009) 乳癌治療Update―最新診療コンセンサス	¥2,376
Vol. 230 #2 (2009) “光る動物”の医学への応用	¥972
Vol. 230 #3 (2009) 睡眠時無呼吸と循環器疾患	¥972
Vol. 230 #4 (2009) “ミッドカイン”－機能解析から臨床応用へ	¥972
Vol. 230 #5 (2009) 最新・高血圧診療Update―JSH2009のより深い理解	¥2,376
Vol. 230 #6/7 (2009) ファーマコゲノミクス－個別化医療と薬剤感受	¥972
Vol. 230 #8 (2009) ナノ粒子メディスン	¥972
Vol. 230 #9 (2009) 最新・自己免疫疾患Update	¥5,616
Vol. 230 #10 (2009) 消化管癌Update―研究・診断・治療・予防の進歩	¥2,376
Vol. 230 #11 (2009) 皮膚科領域の特定疾患	¥972
Vol. 230 #12 (2009) NOTES（経管腔的内視鏡手術）－体表面に創を作	¥972
Vol. 230 #13 (2009) ここまで進んだ心臓超音波の最新動向	¥972
Vol. 231 #1 (2009) 感染症と感染制御Update－診断・治療から地域ネット	¥2,376
Vol. 231 #2 (2009) AKI（急性腎障害）新しい疾患概念	¥972
Vol. 231 #3 (2009) ラジオ波焼灼療法（RFA）－低侵襲治療の現状と今	¥972
Vol. 231 #4 (2009) 最新のCOPD治療－大規模臨床試験の結果から	¥972
Vol. 231 #5 (2009) 最新・脳血管疾患Update	¥5,616
Vol. 231 #6 (2009) Drug-eluting Stent－PCI 最新動向	¥2,376
Vol. 231 #7 (2009) 新しい糖尿病治療－インクレチン療法の可能性をさぐ	¥972
Vol. 231 #8 (2009) 拡張不全－得られた知見，残された疑問	¥972
Vol. 231 #9 (2009) Autopsy Imaging－その長所と限界	¥972
Vol. 231 #10 (2009) 精神医学Update－最新研究動向	¥2,376
Vol. 231 #11 (2009) 組織幹細胞のあらたな発見とその臨床応用	¥972
Vol. 231 #12/13 (2009) メタボロミクス－網羅的代謝物質解析の医学	¥972
Vol. 232 #1 (2010) 原始感覚と情動－生体防御系としての情動機構とそ	¥2,376
Vol. 232 #2 (2010) ヒト幹細胞による薬物代謝・トランスポート・副作用予	¥1,080
Vol. 232 #3 (2010) 歯周医学（Periodontal Medicine）－歯周病と全身疾	¥1,080
Vol. 232 #4 (2010) 閉塞性細気管支炎をめぐって	¥1,080
Vol. 232 #5 (2010) 心不全－研究と臨床の最前線	¥5,616
Vol. 232 #6 (2010) ここまでわかったミトコンドリア研究の新展開	¥2,376
Vol. 232 #7 (2010) 成人先天性心疾患－最新動向	¥1,080
Vol. 232 #8 (2010) ここまで進んだ心臓リハビリテーション	¥1,080
Vol. 232 #9 (2010) 副腎皮質疾患とメタボリック症候群	¥1,080
Vol. 232 #10 (2010) てんかん治療Update－研究と臨床の最前線	¥2,376
Vol. 232 #11 (2010) IgA腎症－最新動向	¥1,080
Vol. 232 #12 (2010) 糖尿病関連遺伝子の現在	¥1,080
Vol. 232 #13 (2010) 免疫in vivoイメージング－免疫疾患のダイナミクス研	¥1,080
Vol. 233 #1 (2010) 気管支喘息Update	¥2,376
Vol. 233 #2 (2010) 妊娠免疫Update-子宮内膜局所免疫と妊娠	¥1,080
Vol. 233 #3 (2010) 高血圧の発症機序にせまる	¥1,080
Vol. 233 #4 (2010) “高安病”発見から1世紀-研究と診療のあゆみ	¥1,080
Vol. 233 #5 (2010) インクレチンのすべて-膵β細胞研究から新たな糖	¥2,376
Vol. 233 #6 (2010) 血小板機能検査による抗血小板療法の個別化	¥1,080
Vol. 233 #7 (2010) “肺高血圧”内科的治療の最前線-この難治性疾患	¥1,080
Vol. 233 #8 (2010) 食道癌治療の最前線	¥1,080
Vol. 233 #9 (2010) G蛋白質共役受容体研究-疾患解明とシグナル制御	¥5,616
Vol. 233 #10 (2010) 生体システムとしてのWntシグナル・ネットワーク研究	¥2,376
Vol. 233 #11 (2010) ネフローゼ症候群-最新動向	¥1,080
Vol. 233 #12 (2010) アルコール・薬物関連障害	¥1,080
Vol. 233 #13 (2010) HLAと疾患-最新トピックス	¥1,080
Vol. 234 #1 (2010) 関節リウマチ－“治癒をめざす”最新治療コンセンサ	¥2,376
Vol. 234 #2 (2010) 麻酔の質と手術患者の覚醒	¥1,080
Vol. 234 #3 (2010) 最近話題のワクチン	¥1,080
Vol. 234 #4 (2010) 閉塞隅角緑内障-最新動向	¥1,080
Vol. 234 #5 (2010) サイトカインと疾患-あらたな病態モデルから治療	¥5,616
Vol. 234 #6 (2010) ここまで進んだ不整脈研究の最新動向	¥2,376

	Vol. 234 #7/8 (2010) コレステロール吸収・リポ蛋白代謝研究から新たな		¥1,080
	Vol. 234 #9 (2010) 日本版FDAへの道のり		¥1,080
	Vol. 234 #10 (2010) TGFーβシグナル研究ーメカニズムの解明から新た		¥2,376
	Vol. 234 #11 (2010) 心臓移植Update		¥1,080
	Vol. 234 #12 (2010) CKD-MBD（慢性腎臓病にともなう骨ミネラル代謝		¥1,080
	Vol. 234 #13 (2010) エビデンスに基づくアフェレシス療法		¥1,080
	Vol. 235 #1 (2010) 輸血医療・細胞療法-現状と課題		¥2,376
	Vol. 235 #2 (2010) 口唇口蓋裂診療Update		¥1,080
	Vol. 235 #3 (2010) ALS Update		¥1,080
	Vol. 235 #4 (2010) 重粒子線治療-最新治療エビデンス		¥1,080
	Vol. 235 #5 (2010) 悪性リンパ腫Update		¥5,616
	Vol. 235 #6 (2010) 認知症-研究・臨床の最前線		¥2,376
	Vol. 235 #7 (2010) 低髄液圧症候群（脳脊髄液減少症）		¥1,080
	Vol. 235 #8 (2010) 胎生期環境と生活習慣病		¥1,080
	Vol. 235 #9 (2010) 耳鼻咽喉科の低侵襲治療-外来処置、日帰り・短期		¥1,080
	Vol. 235 #10 (2010) エピゲノム 研究最前線		¥2,376
	Vol. 235 #11 (2010) 動き出した“エコチル調査”ー環境省「子どもの健康		¥1,080
	Vol. 235 #12/13 (2010) 自己炎症性疾患-発熱性疾患にあける認知		¥1,080
277	**医学と薬学（自然科学社）**		
	Vol. 43-66 (2000-2011) 各1-6号	各号	¥2,160
278	**生きいきジャーナル（医学書院）**		
	Vol. 2#4 (1992) 言葉の海を越えて		¥1,296
	Vol. 3#1 (1993) 障害老人と旅に出よう		¥1,620
	Vol. 4#2 (1994) 手づくりのデイサービス[1]		¥1,620
	Vol. 4#4 (1994) 病院での生活ケア		¥1,620
	Vol. 5#2 (1995) 模索する在宅介護支援ｾﾝﾀｰ[2]		¥1,620
	Vol. 5#3 (1995) 新しい入浴ｹｱ		¥1,620
	Vol. 5#4 (1995) グループホームケアの試み[1]		¥1,620
	Vol. 6#1 (1996) グループホームケアの試み[2]		¥1,620
	Vol. 6#2 (1996) 老いの言葉[1] ケアのなかの言葉		¥1,620
	Vol. 6#3 (1996) 老いの言葉[1] 言葉にみる同時代の老い		¥1,620
	Vol. 6#4 (1996) ホームヘルパーの世界		¥1,620
	Vol. 7#1 (1997) 介護ボランティア[1]		¥1,836
	Vol. 7#2 (1997) 介護ボランティア[2]		¥1,836
	Vol. 7#3 (1997) 民間デイサービスの挑戦[1]		¥1,836
	Vol. 7#4 (1997) 民間デイサービスの挑戦[2]		¥1,836
279	**医工学治療（日本医工学治療学会）**		
	Vol. 10#1,2,supplement1 (1998)	各号	¥2,160
	Vol. 11#2,3 (1999)	各号	¥2,160
	Vol. 12#1 (2000)		¥2,160
	Vol. 13#supplement1 (2001)		¥2,160
	Vol. 15#supplement (2003)		¥2,160
	Vol. 19#2 (2007)		¥2,160
	Vol. 20#3,supplement (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 21#1,supplement (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 22#2,supplement (2010)	各号	¥2,160
280	**育種学研究（日本育種学会）**		
	Vol. 8-12 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥2,160
281	**育種学雑誌（日本育種学会）**		
	Vol. 1-17 (1951/1952-1967) 各1-4号	各号	¥2,376
	Vol. 18-25 (1968-1975) 各1-6号	各号	¥2,376
	Vol. 26-44 (1976-1994) 各1-4号	各号	¥2,376
282	**I'm Home（商店建築社）**		
	No. 9,10,12,14,17-22,26,28-30,32-41 (2002-2009)	各号	¥1,440

283	**INDUST いんだすと（全国産業廃棄物連合会）**		
	Vol. 19-22 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,337
	Vol. 23#1,2,4-10 (2008)	各号	¥1,337
284	**Interface　インターフェース（CQ出版社）**		
	Vol. 22#1-3,5-11 (1996)	各号	¥864
	Vol. 23-31 (1997-2005) 各1-12号	各号	¥864
	Vol. 32#1-5,7-12 (2006)	各号	¥1,008
	Vol. 32#6 (2006)		¥1,533
	Vol. 33#1-4,9-11 (2007)	各号	¥1,008
	Vol. 33#5 (2007)		¥1,728
	Vol. 33#6-8,12 (2007)	各号	¥1,111
	Vol. 34#2-4,6,8,10-12 (2008)	各号	¥1,008
	Vol. 34#1,7 (2008)	各号	¥1,111
	Vol. 34#5 (2008)		¥2,047
	Vol. 34#9 (2008)		¥2,037
	Vol. 35#1-4,7-9,11,12 (2009)	各号	¥1,008
	Vol. 35#5 (2009)		¥2,037
	Vol. 35#6,10 (2008)	各号	¥1,111
	Vol. 36#1-4,7-9,11 (2010)	各号	¥1,008
	Vol. 36#5 (2010)		¥1,111
	Vol. 36#6 (2010)		¥2,376
	Vol. 36#10,12 (2010)	各号	¥1,162
	Vol. 37#1,3,4,7-9,11 (2011)	各号	¥1,008
	Vol. 37#2,6,10,12 (2011)	各号	¥1,162
	Vol. 37#5 (2011)		¥2,376
	Vol. 38#1-3 (2012)	各号	¥1,008
285	**International Heart Journal (The International Heart Journal Association)**		
	Vol. 46-49 (2005-2008) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 50#1,2,5,6 (2009)	各号	¥4,320
286	**International Journal of Oral-Medical Sciences**		
	Vol. 1#1,2; 2#1; 3#1-3; 4#1-3; 5#2 (2002/2003-2007)	各号	¥3,240
	Vol. 6#1,3; 7#2,3; 8#1-3; 9#1 (2007/2008-2010)	各号	¥3,240
287	**International Journal of Sports Dentistry（日本スポーツ歯科医学会）**		
	Vol. 2-10 (2009-2017) 各1号	各号	¥2,376

288 インターナショナルナーシングレビュー INR（日本看護協会出版会）

INR International Nursing Review（日本版）

	Vol. 1-9 (1978-1986) 各1-4号	各号	¥1,296
	Vol. 10#1-4 (1987)	各号	¥1,080
	Vol. 11#1-4 (1988)	各号	¥1,080
	Vol. 12#1-4 (1989)	各号	¥1,080
	Vol. 13#1-4 (1990)	各号	¥864
	Vol. 14#1-4 (1991)	各号	¥864
	Vol. 15#1-4 (1992)	各号	¥864
	Vol. 16#1-4 (1993)	各号	¥1,049
	Vol. 17#1-4 (1994)	各号	¥1,049
	Vol. 18#1,2,4 (1995)	各号	¥1,049
	Vol. 18#3 (1995) 臨時増刊号 看護ケアの質評価		¥1,572
	Vol. 19#1,2,4,5 (1996)	各号	¥1,049
	Vol. 19#3 (1996) 臨時増刊号 看護診断論争		¥1,572
品切	Vol. 20#1 (1997) 研究におけるモラルと倫理		¥1,049
	Vol. 20#2 (1997) 看護の影響力 チェンジ/エージェントとしての役割		¥1,049
	Vol. 20#3 (1997) 臨時増刊号 看護の共通言語を構築する		¥1,572
	Vol. 20#4 (1997) 新しい症状マネジメントの概念と実践		¥1,049
	Vol. 20#5 (1997) 患者への教育と支援		¥1,049
	Vol. 21#1 (1998) 在宅ケアにおける質の確保		¥1,049
	Vol. 21#2 (1998) キャリアとアイデンティティ		¥1,049
	Vol. 21#3 (1998) マネジド・ケア		¥1,572
	Vol. 21#4 (1998) 政策を動かす看護職		¥1,049
品切	Vol. 21#5 (1998)		¥1,049
	Vol. 22#1 (1999) 看護の「価格」経済的評価の意義とリスク		¥1,080
	Vol. 22#2 (1999) 看護援助の効果		¥1,080
	Vol. 22#3 (1999) 臨時増刊号 看護の効果を証明する		¥1,620
	Vol. 22#4 (1999) クリティカル・ケアにおける看護の専門性		¥1,080
	Vol. 22#5 (1999) チーム医療 看護職の役割と責任の変化		¥1,080
	Vol. 23#1 (2000) 臨床研究再考		¥1,080
	Vol. 23#2 (2000) 家族へのアプローチ		¥1,080
	Vol. 23#3 (2000) 臨時増刊号 情報開示と患者の権利		¥1,620
	Vol. 23#4 (2000) ナースは何を判断するのか？		¥1,080
	Vol. 23#5 (2000) 臨床実習の方法論		¥1,080
	Vol. 24#1 (2001) 看護管理者がもつべき技術		¥1,080
	Vol. 24#2 (2001) 21世紀,看護は何を目指すか		¥1,080
	Vol. 24#3 (2001) 臨時増刊号 臨床で直面する倫理的諸問題		¥1,620
	Vol. 24#4 (2001) クリニカル・ガバナンス-経営優先の医療への反省		¥1,080
	Vol. 24#5 (2001) アクションリサーチ-実践を変える研究		¥1,080
	Vol. 25#1 (2002) 看護記録はどうあるべきか		¥1,080
	Vol. 25#2 (2002) 看護技術教育のゆくえ		¥1,080
	Vol. 25#3 (2002) 臨時増刊号 ICNP(R)ベータバージョン〈日本語版〉		¥1,620
	Vol. 25#4 (2002) 事故後サポートの実際		¥1,080
	Vol. 25#5 (2002) 政策を動かす看護研究		¥1,080
	Vol. 26#1 (2003) 看護研究のグローバル化		¥1,080
	Vol. 26#2 (2003) 看護職へのストレスマネジメント		¥1,080
	Vol. 26#3 (2003) 臨時増刊号 スペシャリストの役割拡大		¥1,620
	Vol. 26#4 (2003) 医療安全文化の確立へ		¥1,080
	Vol. 26#5 (2003) アドボケイトとしての看護職		¥1,080
	Vol. 27#1 (2004) 在宅看護と社会保障		¥1,080
	Vol. 27#2 (2004) 看護研究を倫理的に進めるために		¥1,080
品切	Vol. 27#3 (2004) 臨時増刊号 看護職が考える経済		¥1,620
品切	Vol. 27#4 (2004) 看護ガイドラインとは何か		¥1,080
	Vol. 27#5 (2004) 看護情報学が看護・医療の何を変えるのか		¥1,080
	Vol. 28#1 (2005) 変わりつつある外来看護へのニーズ		¥1,080

品切	Vol. 28#2 (2005) 結果の信頼性を高めるためのトライアンギュレーション		¥1,080
品切	Vol. 28#3 (2005) 臨時増刊号 自然災害・事故・テロ時の看護		¥1,620
品切	Vol. 28#4 (2005) 外国人看護師受け入れの影響		¥1,080
	Vol. 28#5 (2005) 看護と個人情報保護		¥1,080
	Vol. 29#1 (2006) 臨床看護研究に今求められるもの		¥1,296
	Vol. 29#2 (2006) 病院機能評価再考		¥1,296
品切	Vol. 29#3 (2006) 臨時増刊号 アメリカ看護師協会「看護実践の範囲と基		¥1,728
	Vol. 29#4 (2006) 国際看護 国境を越える看護の役割		¥1,296
	Vol. 29#5 (2006) 看護教育の構造改革 看護師・助産師・保健師それぞ		¥1,296
	Vol. 30#1 (2007) 看護におけるナラティブの活用―臨床・研究・教育での		¥1,296
	Vol. 30#2 (2007) 看護教育におけるファカルティ・ディベロップメント		¥1,296
	Vol. 30#3 (2007) 臨時増刊号 医療制度改革と看護―看護職はどのよう		¥1,728
	Vol. 30#4 (2007) がん医療の今と看護の役割		¥1,296
	Vol. 30#5 (2007) 看護のアウトカム評価を臨床で活用する		¥1,296
	Vol. 31#1 (2008)「根拠あるケア」に必要なマインドとスキル		¥1,296
	Vol. 31#2 (2008) エンド・オブ・ライフの意思決定		¥1,296
品切	Vol. 31#3 (2008) 臨時増刊号 各分野のCNSが注目する 臨床看護を変え		¥1,728
	Vol. 31#4 (2008) シミュレーション教育の目標と評価		¥1,296
品切	Vol. 31#5 (2008) 状況論がひらく看護		¥1,296
	Vol. 32#1 (2009) 拡大する看護の役割		¥1,296
	Vol. 32#2 (2009) 国際看護学・災害看護学の教え方―学生はどのように		¥1,296
	Vol. 32#3 (2009) 臨時増刊号 研究者を育てる―大学院における研究法		¥1,728
品切	Vol. 32#4 (2009) 言葉にならない技術の共有・伝達・創発―暗黙知の学		¥1,296
	Vol. 32#5 (2009) 小児医療におけるトータルケアと子どもへの教育		¥1,296
	Vol. 33#1 (2010) 看護におけるケアとキュア、そして看護の役割　裁量権		¥1,296
	Vol. 33#2 (2010) 科学としての看護学の基盤は何か～現象学と言葉に基		¥1,296
	Vol. 33#3 (2010) 臨時増刊号 看護におけるイノベーションの現在 日本		¥1,728
	Vol. 33#4 (2010) “Patient Safety”の概念に基づく 医療安全対策への道		¥1,296
	Vol. 33#5 (2010) 社会格差と健康 看護からのアプローチ		¥1,296
	Vol. 34#1 (2011) 看護補助者との今日的なワークシェアを考える		¥1,296
	Vol. 34#2 (2011) 越境する看護学 学際性の新しい価値		¥1,296
	Vol. 34#3 (2011) 臨時増刊号 アカデミック・ライティング 論文ツールとし		¥1,728
	Vol. 34#4 (2011) エビデンスに基づく看護実践のための システマティック		¥1,296
	Vol. 34#5 (2011) 災害と情報		¥1,296
	Vol. 35#1,2 (2012)	各号	¥1,512
	Vol. 35#3 (2012) 臨時増刊号 看護における社会学的アプローチと実践		¥2,160
	Vol. 35#4,5 (2012)	各号	¥1,512
	★2012年10月号(Vol.35#5・通巻158号)で休刊となりました。		
289	**Intestine（日本メディカルセンター）**		
	Vol. 1-12 (1997-2008)→早期大腸癌（日本メディカルセンター）		
	Vol. 13-16 (2009-2012) 各1-6号	各号	¥2,808
	Vol. 19#2-6 (2015)	各号	¥3,078
290	**IOL & RS 日本白内障屈折矯正手術学会雑誌（日本白内障屈折矯正手術学会）**		
	Vol. 8-15 (1994-2001) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 18-20 (2004-2006) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 21#1,3,4 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 22-24 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 27#4 (2013)		¥3,240

291	**医療廃棄物研究（医療廃棄物研究会）**		
	Vol. 7#2 (1995)		¥2,700
	Vol. 8#1,2 (1996)	各号	¥2,700
	Vol. 9#1,2 (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 10#2 (1998)		¥2,700
	Vol. 11#1,2 (1999)	各号	¥2,700
	Vol. 12#1 (2000)		¥2,700
	Vol. 13#1/2 (2000)		¥2,700
	Vol. 14#1,2 (2001/2002)	各号	¥2,700
	Vol. 15#1,2 (2002/2003)	各号	¥2,700
	Vol. 16#1 (2003)		¥2,700
	Vol. 16#2/17#1 (2004)		¥2,700
	Vol. 18#1,2 (2005/2006)	各号	¥2,700
	Vol. 19#1/2 (2006)		¥2,700
292	**医療経済研究（医療経済研究機構）**		
	Vol. 2,3,6-12,14,17 (1995-2005)	各号	¥3,240
	Vol. 18#1,2; 19#1 (2006-2007)	各号	¥3,240
293	**医療薬学（日本医療薬学会）**		
	Vol. 27-29 (2001-2003) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 37#1-12 (2011)	各号	¥2,160
294	**移植（日本移植学会）**		
	Vol. 39#2-6 (2005)	各号	¥1,296
	Vol. 40-42 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥1,296
	Vol. 43#1,3,4,5 (2008)	各号	¥1,296
	Vol. 44#特別号 (20009)		¥4,320
	Vol. 39-45 (2005-2010) 各 総会臨時号	各号	¥4,320
295	**Isotope news アイソトープニュース（日本放射性同位元素協会）**		
	No. 642-716 (2007-2013)	各号	¥515
296	**イスラム世界（日本イスラム協会）**		
	No.42-76 (1993-2011)	各号	¥2,160
297	**痛みと漢方 Pain and Kampo Medicine（病院資料センター）**		
	Vol. 8-12 (1998-2002)	各巻	¥3,240
	Vol. 16-17 (2006-2007)	各巻	¥3,240

298　胃と腸（医学書院）

	Vol. 1#1-9 (1966)	各号	¥2,592
	Vol. 2#1-12 (1967)	各号	¥2,592
	Vol. 3#1-13 (1968)	各号	¥2,592
	Vol. 4#1-12 (1969)	各号	¥2,592
	Vol. 5#1-13 (1970)	各号	¥2,592
	第1巻～第5巻　総索引 (1971)		¥2,160
	Vol. 6#1-13 (1971)	各号	¥2,592
	Vol. 7#1-12 (1972)	各号	¥2,592
	Vol. 8#1-12 (1973)	各号	¥2,592
	Vol. 9#1-12 (1974)	各号	¥2,592
	Vol. 10#1-12 (1975)	各号	¥2,592
	Vol. 11#1-12 (1976)	各号	¥2,592
	Vol. 12#1-12 (1977)	各号	¥2,592
	Vol. 12#13 (1977) 第6巻～第11巻　総索引		¥2,160
	Vol. 13#1-12 (1978)	各号	¥2,592
	Vol. 14#1-12 (1979)	各号	¥2,592
	Vol. 15#1-12 (1980)	各号	¥2,592
	Vol. 16#1-12 (1981)	各号	¥2,592
	Vol. 16#13 (1981) 第12巻～第15巻　総索引		¥2,160
	Vol. 17#1-12 (1982)	各号	¥2,592
	Vol. 18#1-12 (1983)	各号	¥2,592
	Vol. 19#1-12 (1984)	各号	¥2,592
	Vol. 20#1-12 (1985)	各号	¥2,592
	Vol. 20#13 (1985) 第16巻～第20巻 総索引		¥2,160
	Vol. 21#1-12 (1986)	各号	¥2,592
	Vol. 22#1-12 (1987)	各号	¥2,592
	Vol. 23#1-12 (1988)	各号	¥2,592
	Vol. 24#1-12 (1989)	各号	¥2,592
	Vol. 25#1-12 (1990)	各号	¥2,592
	Vol. 25#13 (1990) 第21巻～第25巻 総索引		¥2,160
品切	Vol. 26#1 (1991) 早期胃癌-診断の基本と方法		¥2,592
	Vol. 26#2 (1991) 食道dysplasiaの存在を問う		¥2,592
	Vol. 26#3 (1991) 早期胃癌の内視鏡切除(1)		¥2,592
	Vol. 26#4 (1991) 早期胃癌の内視鏡切除(2)		¥2,592
	Vol. 26#5 (1991) 潰瘍性大腸炎の長期経過		¥2,592
	Vol. 26#6 (1991) Crohon病の長期経過		¥2,592
	Vol. 26#7 (1991) 大腸sm癌の診断		¥2,592
	Vol. 26#8 (1991) 大腸sm癌の治療		¥2,592
	Vol. 26#9 (1991) Ⅲ型早期胃癌の診断に迫る		¥2,592
	Vol. 26#10 (1991) 胃癌の組織型分類とその臨床的意義		¥2,592
	Vol. 26#11 (1991) 膠原病と腸病変		¥2,592
	Vol. 26#12 (1991) 集検発見胃癌の特徴		¥2,592
	Vol. 27#1 (1992) 胃癌の自然史を追う-経過追跡症例		¥2,592
	Vol. 27#2 (1992) 食道表在癌の深達度を読む		¥2,592
	Vol. 27#3 (1992) 腸型Behcet病・simple ulcerの経過		¥2,592
	Vol. 27#4 (1992) 大腸のいわゆる結節集簇様病変		¥2,592
	Vol. 27#5 (1992) linitis plastica型胃癌診断の現状		¥2,592
	Vol. 27#6 (1992) 早期大腸癌腫瘍の病理診断の諸問題		¥2,592
	Vol. 27#7 (1992) 出血を来した小腸病変の画像診断		¥2,592
	Vol. 27#8 (1992) 表面型大腸腫瘍の臨床診断の諸問題		¥2,592
	Vol. 27#9 (1992) 逆流性食道炎を見直す		¥2,592
	Vol. 27#10 (1992) 胃癌の深達度診断mとsmの鑑別 内視鏡的		¥2,592
	Vol. 27#11 (1992) 大腸pm癌		¥2,592

Vol. 27#12 (1992) 難治性胃潰瘍(1) 治癒予測を中心に	¥2,592
Vol. 28#1 (1993) 胃癌は変わったか-その時代的変遷	¥2,592
Vol. 28#2 (1993) 内視鏡的食道粘膜切除術	¥2,592
Vol. 28#3 (1993) 増刊号 早期胃癌1993	¥5,940
Vol. 28#4 (1993) 難治性胃潰瘍(2) 臨床経過と難治化	¥2,592
Vol. 28#5 (1993) 腸管ｱﾌﾀ様病変	¥2,592
Vol. 28#6 (1993) 早期大腸癌の病理診断の諸問題	¥2,592
Vol. 28#7 (1993) 十二指腸腫瘍	¥2,592
Vol. 28#8 (1993) 大腸癌存在診断の実態-m癌を除く	¥2,592
Vol. 28#9 (1993) 虚血性腸病変の新しい捉え方	¥2,592
Vol. 28#10 (1993) 胃悪性ﾘﾝﾊﾟ種-診断の変遷	¥2,592
Vol. 28#11 (1993) 大腸癌の深達度診断	¥2,592
Vol. 28#12 (1993) 消化管ﾎﾟﾘﾎﾟｰｼｽ-最近の知見	¥2,592
Vol. 28#13 (1993) 早期胃癌の内視鏡根治切除	¥2,592
Vol. 29#1 (1994) 表面型大腸腫瘍-肉眼分類を考える	¥2,592
Vol. 29#2 (1994) 胃良・悪性境界病変の生検診断と治療	¥2,592
Vol. 29#3 (1994) 増刊号 早期大腸癌 1994	¥5,940
Vol. 29#4 (1994) 食道粘膜癌-新しい病型分類と	¥2,592
Vol. 29#5 (1994) 大腸Crohn病-非定型例の診断を中心に	¥2,592
Vol. 29#6 (1994) ｱﾌﾀ様病変のみのCrohn病	¥2,592
Vol. 29#7 (1994) 多発胃癌	¥2,592
Vol. 29#8 (1994) 胆管癌の画像と病理	¥2,592
Vol. 29#9 (1994) 食道のﾖｰﾄﾞ不染帯	¥2,592
Vol. 29#10 (1994) 胃底腺領域の分化型癌	¥2,592
Vol. 29#11 (1994) 大腸sm癌の細分類とその意義	¥2,592
Vol. 29#12 (1994) 大腸sm癌の細分類とその臨床	¥2,592
Vol. 29#13 (1994) 上部消化管病変の特徴からみた	¥2,592
Vol. 30#1 (1995) 胃癌の診断と治療-最近の動向	¥2,592
Vol. 30#2 (1995) 表面型大腸癌の発育と経過	¥2,592
Vol. 30#3 (1995) 増刊号 早期食道癌 1995	¥5,940
Vol. 30#4 (1995) 腸結核	¥2,592
Vol. 30#5 (1995) colitic cancer-微細診断をめざして	¥2,592
Vol. 30#6 (1995) 粘膜下腫瘍の形態を示した胃癌	¥2,592
Vol. 30#7 (1995) 大腸の悪性ﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,592
Vol. 30#8 (1995) 表層拡大型食道表在癌	¥2,592
Vol. 30#9 (1995) 胃の平滑筋腫と平滑筋肉種	¥2,592
Vol. 30#10 (1995) 微小胃癌	¥2,592
Vol. 30#11 (1995) 食道表在癌の発育進展	¥2,592
Vol. 30#12 (1995) 大腸腺腫の診断と取り扱い	¥2,592
Vol. 30#13 (1995) 小腸画像診断の新しい展開	¥2,592
Vol. 30#14 (1995) 第26巻～第30巻 総索引	¥2,160
Vol. 31#1 (1996) 胃MALTﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,592
Vol. 31#2 (1996) いわゆる表層拡大型大腸腫瘍とは	¥2,592
Vol. 31#3 (1996) 増刊号 図説形態用語の使い方・使われ方	¥5,940
Vol. 31#4 (1996) 新しいCrohn病診断基準(案)	¥2,592
Vol. 31#5 (1996) 表層拡大型早期胃癌	¥2,592
Vol. 31#6 (1996) 食道dysplasia-経過観察例の検討	¥2,592
Vol. 31#7 (1996) 遺伝性非ﾎﾟﾘﾎﾟｰｼｽ大腸癌(HNPCC)	¥2,592
Vol. 31#8 (1996) Helicobactor pyloriと胃ﾘﾝﾊﾟ腫	¥2,592
Vol. 31#9 (1996) 早期胃癌の内視鏡的粘膜切除	¥2,592
Vol. 31#10 (1996) 内視鏡的食道粘膜切除後の経過	¥2,592
Vol. 31#11 (1996) 微細表面化構造からみた大腸腫瘍	¥2,592
Vol. 31#12 (1996) 未分化型小胃癌はなぜ少ないか	¥2,592
Vol. 31#13 (1996) 大腸腫瘍の自然史	¥2,592
Vol. 32#1 (1997) 胃sm癌の細分類-治療法選択の指標	¥2,268
Vol. 32#2 (1997) 十二指腸乳頭部癌-縮小手術	¥2,268
Vol. 32#3 (1997) 増刊号 炎症性腸疾患 1997	¥4,752

Vol. 32#4 (1997) 大腸線腫症-最近の知見	¥2,268
Vol. 32#5 (1997) 粘膜下腫瘍様の食道表在癌	¥2,268
Vol. 32#6 (1997) 早期胃癌から進行癌への進展	¥2,268
Vol. 32#7 (1997) 感染性腸炎(腸結核を除く)	¥2,268
Vol. 32#8 (1997) 胃噴門部領域の病変 (1) 癌	¥2,268
Vol. 32#9 (1997) 胃噴門部領域の病変 (2) 癌以外の病変	¥2,268
Vol. 32#10 (1997) 早期食道癌-X線診断の進歩	¥2,268
Vol. 32#11 (1997) Is型大腸sm癌を考える	¥2,268
Vol. 32#12 (1997) 腺領域からみた胃病変	¥2,268
Vol. 32#13 (1997) 胃sm癌の臨床	¥2,268
Vol. 33#1 (1998)「胃と腸」33年間の歩みからみた早期癌	¥2,268
Vol. 33#2 (1998) 消化管病変の三次元画像診断-現状と展望	¥2,268
Vol. 33#3 (1998) 増刊号 消化管悪性ﾘﾝﾊﾟ腫1998	¥4,752
Vol. 33#4 (1998) 胃癌の診断にX線検査は必要か	¥2,268
Vol. 33#5 (1998) 大腸疾患の診断に注腸X線検査は必要か	¥2,268
Vol. 33#6 (1998) 鋸歯状腺腫(serrated adenoma) とその周辺	¥2,268
Vol. 33#7 (1998) m3・sm1食堂癌	¥2,268
Vol. 33#8 (1998) 胃炎-Sydney SystemとHelicobacter pylori	¥2,268
Vol. 33#9 (1998) 潰瘍性大腸炎-最近の話題	¥2,268
Vol. 33#10 (1998) 腸管子宮内膜症	¥2,268
Vol. 33#11 (1998) 早期大腸癌の組織診断-諸問題は..	¥2,268
Vol. 33#12 (1998) 胃癌EMRの完全除去の判定基準を求めて	¥2,268
Vol. 33#13 (1998) 胃癌EMR後の遺残再発-診断と治療	¥2,268
Vol. 34#1 (1999) Ⅱ型早期大腸癌肉眼分類の問題点	¥2,268
Vol. 34#2 (1999) Barrett上皮と食堂腺癌	¥2,268
Vol. 34#3 (1999) 増刊号 消化管の画像診断-US,CT,MRIの役割	¥4,968
Vol. 34#4 (1999) 胃型の分化型胃癌－病理診断とその特徴	¥2,268
Vol. 34#5 (1999) 大腸腫瘍内視鏡的切除後の局所再発－腺種・	¥2,268
Vol. 34#6 (1999) 大腸sm癌の内視鏡的切除をめぐって	¥2,268
Vol. 34#7 (1999) AIDSとALTの消化管病変	¥2,268
Vol. 34#8 (1999) 逆流性食道炎－分類・診断・治療	¥2,268
Vol. 34#9 (1999) 早期胃癌のEUS診断	¥2,268
Vol. 34#10 (1999) Crohn病の長期経過－10年以上の症例..	¥2,268
Vol. 34#11 (1999) 胃MALTﾘﾝﾊﾟ腫-Helicobacter pylori除菌後	¥2,268
Vol. 34#12 (1999) 胃癌診断における生険の現状と問題点	¥2,268
Vol. 34#13 (1999) 大腸腫瘍の内視鏡診断は病理診断に..	¥2,268
Vol. 35#1 (2000) 早期胃癌診断の基本所見とピットフォール	¥2,484
Vol. 35#2 (2000) 炎症性腸疾患における生険の役割	¥2,484
Vol. 35#3 (2000) 増刊号 消化管ポリポーシス2000	¥5,400
Vol. 35#4 (2000) 食道癌の発育進展－初期病巣から粘膜下層	¥2,484
Vol. 35#5 (2000) Helicobacter pylori除菌後の消化性潰瘍の..	¥2,484
Vol. 35#6 (2000) 腸管の血管性病変－限局性腫瘍状病変を..	¥2,484
Vol. 35#7 (2000) 胃の”pre-linitis plastica”型癌	¥2,484
Vol. 35#8 (2000) 多発大腸癌	¥2,484
Vol. 35#9 (2000) 薬剤性腸炎－最近の話題	¥2,484
Vol. 35#10 (2000) 食道アカラシア	¥2,484
Vol. 35#11 (2000) 胃カルチノイド－新しい考え方	¥2,484
Vol. 35#12 (2000) 早期大腸癌肉眼分類－統一をめざして	¥2,484
Vol. 35#13 (2000) 21世紀への消化管画像診断学－歩みと展望	¥2,484
Vol. 35#14 (2000) 第31巻～第35巻 総索引 CD-ROM付	¥1,944
Vol. 36#1 (2001) 表層型胃悪性ﾘﾝﾊﾟ腫の鑑別診断-治療法選択のため	¥2,484
Vol. 36#2 (2001) Crohn 病診断基準の問題点	¥2,484
Vol. 36#3 (2001) 増刊号 消化管癌の深達度診断	¥5,940
Vol. 36#4 (2001) 潰瘍性大腸炎診断基準の問題点	¥2,484
Vol. 36#5 (2001) 早期の食道胃接合部癌	¥2,484
Vol. 36#6 (2001) 早期大腸癌の深達度診断に EUS と拡大内視鏡は必要	¥2,484
Vol. 36#7 (2001) 小腸腫瘍-分類と画像所見	¥2,484

	Vol. 36#9 (2001) GIST（gastrointestinal stromal tumor）概念と臨床的取り	¥2,484
	Vol. 36#8 (2001) 多発食道癌	¥2,484
	Vol. 36#10 (2001) 縮小治療のための胃癌の粘膜内浸潤範囲診断	¥2,484
	Vol. 36#11 (2001) sm massive以深に浸潤した10mm 以下の大腸癌	¥2,484
	Vol. 36#12 (2001) 十二指腸の小病変	¥2,484
	Vol. 36#13 (2001) 早期胃癌診療の実態と問題点	¥2,484
	Vol. 37#1 (2002) 食道 m3・sm1 癌の診断と遠隔成績	¥2,484
	Vol. 37#2 (2002) 4型大腸癌とその鑑別診断	¥2,484
	Vol. 37#3 (2002) 増刊号 消化管感染症2002	¥5,940
	Vol. 37#4 (2002) Helicobacter pylori 除菌に伴う問題点	¥2,484
品切	Vol. 37#5 (2002) cap polyposis と粘膜脱症候群	¥2,484
	Vol. 37#6 (2002) 十二指腸の非腫瘍性びまん性病変	¥2,484
	Vol. 37#7 (2002) 炎症性腸疾患と腫瘍（1）潰瘍性大腸炎	¥2,484
	Vol. 37#8 (2002) 炎症性腸疾患と腫瘍（2）潰瘍性大腸炎以外	¥2,484
	Vol. 37#9 (2002) 胃粘膜内癌EMRの適応拡大と限界	¥2,484
	Vol. 37#10 (2002) 食道 sm 癌の再評価-食道温存治療の可能性を求め	¥2,484
	Vol. 37#11 (2002) 消化管の virtual endoscopy	¥2,484
	Vol. 37#12 (2002) Ip・Isp 型大腸 sm 癌	¥2,484
	Vol. 37#13 (2002) 胃癌と鑑別を要する炎症性疾患	¥2,484
	Vol. 38#1 (2003) 胃癌―診断と治療の最先端	¥2,592
	Vol. 38#2 (2003) 腸型 Behcet 病と単純性潰瘍の長期経過	¥2,592
	Vol. 38#3 (2003) 食道癌と他臓器重複癌 ー EMR 時代を迎えて	¥2,592
	Vol. 38#4 (2003) 増刊号 全身性疾患と消化管病変	¥5,940
	Vol. 38#5 (2003) 胃型早期胃癌の病理学的特徴と臨床像ー分化型癌を	¥2,592
	Vol. 38#6 (2003) 消化管腫瘍診断における X 線検査の有用性	¥2,592
	Vol. 38#7 (2003) 消化管炎症性疾患診断におけるX線検査の有用性	¥2,592
	Vol. 38#8 (2003) 経過観察からみた大腸癌の発育・進展sm癌を中心に	¥2,592
	Vol. 38#9 (2003) 直腸肛門部病変の鑑別診断	¥2,592
	Vol. 38#10 (2003) 胃腺腫の診断と治療方針	¥2,592
	Vol. 38#11 (2003) 粘膜下腫瘍様の形態を示した消化管癌	¥2,592
	Vol. 38#12 (2003) 上部消化管拡大観察の意義	¥2,592
	Vol. 38#13 (2003) 消化管への転移性腫瘍	¥2,592
	Vol. 39#1 (2004) 最新の早期胃癌EMRー切開・剥離法	¥2,592
	Vol. 39#2 (2004) Crohn病経過例における新しい治療の位置づけ	¥2,592
	Vol. 39#3 (2004) 胃MALTリンパ腫―除菌治療後の経過と予後	¥2,592
	Vol. 39#4 (2004) 増刊号 消化管の粘膜下腫瘍2004	¥5,940
	Vol. 39#5 (2004) 大腸腫瘍に対する拡大内視鏡観察 V型pit pattern診	¥2,592
	Vol. 39#6 (2004) 深達度診断を迷わせる食道表在癌 その原因と画像の	¥2,592
	Vol. 39#7 (2004) 胃癌術後の残胃癌	¥2,592
	Vol. 39#8 (2004) 家族性大腸腺腫症 最近の話題	¥2,592
	Vol. 39#9 (2004) Barrett 食道癌 表在癌の境界・深達度診断	¥2,592
	Vol. 39#10 (2004) 大腸 sm 癌の深達度診断 垂直浸潤 1,000μm	¥2,592
	Vol. 39#11 (2004) 胃生検診断の意義 Group分類を考える	¥2,592
	Vol. 39#12 (2004) 消化管の画像診断―21世紀の展開	¥2,592
	Vol. 39#13 (2004) 大腸 sm 癌の内視鏡治療後の長期経過	¥2,592
	Vol. 40#1 (2005) 胃癌の時代的変遷と将来展望	¥2,592
品切	Vol. 40#2 (2005) 大腸カルチノイド腫瘍―転移例と非転移例の比較を中	¥2,592
	Vol. 40#3 (2005) 特殊組織型の食道癌	¥2,592
	Vol. 40#4 (2005) 増刊号 消化管の出血性疾患2005	¥5,940
	Vol. 40#5 (2005) 切開剥離法（ESD）時代の胃癌術前診断	¥2,592
	Vol. 40#6 (2005) Crohn 病の初期病変―診断と長期経過	¥2,592
	Vol. 40#7 (2005) 胃癌化学療法の進歩と課題	¥2,592
	Vol. 40#8 (2005) 免疫異常と消化管病変	¥2,592
	Vol. 40#9 (2005) 表在性の中・下咽頭癌	¥2,592
	Vol. 40#10 (2005) 難治性潰瘍性大腸炎―診断と治療の新知見	¥2,592
	Vol. 40#11 (2005) 小腸内視鏡検査法の進歩	¥2,592
	Vol. 40#12 (2005) 胃癌 EMR 後の異時性多発を考える	¥2,592

	Vol. 40#13 (2005) いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療法を問う	¥2,592
	Vol. 40#14 (2005) 第36巻～第40巻 総索引 CD-ROM付	¥2,160
	Vol. 41#1 (2006) 早期胃癌に対する ESD の適応の現状と今後の展望	¥2,700
	Vol. 41#2 (2006) 食道表在癌の内視鏡診断―最近の進歩	¥2,700
	Vol. 41#3 (2006) 腸管悪性リンパ腫―最近の知見	¥2,700
	Vol. 41#4 (2006) 増刊号 消化管内視鏡治療 2006	¥6,156
	Vol. 41#5 (2006) 陥凹性小胃癌の診断―基本から最先端まで	¥2,700
	Vol. 41#6 (2006) 非定型的炎症性腸疾患―診断と経過	¥2,700
	Vol. 41#7 (2006) Helicobacter pylori に起因しないとされる良性胃粘膜	¥2,700
	Vol. 41#8 (2006) 転移陽性胃粘膜内癌の特徴と取り扱い	¥2,700
	Vol. 41#9 (2006) 通常内視鏡による大腸 sm 癌の深達度診断―垂直浸	¥2,700
	Vol. 41#10 (2006) 食道m3・sm癌の最新の診断と治療戦略	¥2,700
	Vol. 41#11 (2006) 早期胃癌に対する ESD と腹腔鏡下手術の接点	¥2,700
	Vol. 41#12 (2006) 小腸疾患診療の新たな展開	¥2,700
	Vol. 41#13 (2006) 大腸腫瘍に対する拡大内視鏡診断の最先端	¥2,700
	Vol. 42#1 (2007) 胃分化型SM1癌の診断―垂直浸潤500μm	¥2,700
	Vol. 42#2 (2007) 食道扁平上皮dysplasia―診断と取り扱いをめぐって	¥2,700
	Vol. 42#3 (2007) 大腸鋸歯状病変の発育進展と診断・取り扱い	¥2,700
	Vol. 42#4 (2007) 炎症性腸疾患(IBD)の上部消化管病変	¥2,700
	Vol. 42#5 (2007) 増刊号 消化管の拡大内視鏡観察2007	¥6,156
	Vol. 42#6 (2007) Helicobacter pyloriと胃癌	¥2,700
	Vol. 42#7 (2007) 大腸ESDの現況と将来展望	¥2,700
	Vol. 42#8 (2007) 胃MALTリンパ腫-除菌無効例の特徴と治療戦略	¥2,700
	Vol. 42#9 (2007) 食道表在癌内視鏡切除後の長期成績	¥2,700
	Vol. 42#10 (2007) 大腸腫瘍内視鏡切除後のサーベイランスに向けて	¥2,700
	Vol. 42#11 (2007) ESD時代における未分化型混在早期胃癌の取扱い	¥2,700
	Vol. 42#12 (2007) 非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)起因性消化管病変	¥2,700
	Vol. 42#13 (2007) 新しい治療による炎症性腸疾患(IBD)の経過-粘膜治	¥2,700
	Vol. 43#1 (2008) 早期胃癌ESD 適応拡大を求めて	¥2,700
	Vol. 43#2 (2008) 消化管GIST 診断・治療の新展開	¥2,700
	Vol. 43#3 (2008) まれな食道良性腫瘍および腫瘍様病変	¥2,700
	Vol. 43#4 (2008) 増刊号 小腸疾患2008	¥6,156
	Vol. 43#5 (2008) linitis plastica型胃癌-病態と診断・治療の最前線	¥2,700
	Vol. 43#6 (2008) 大腸の新しい画像診断	¥2,700
	Vol. 43#7 (2008) 消化管 follicular lymphoma-診断と治療戦略	¥2,700
	Vol. 43#8 (2008) 胃癌に対する内視鏡スクリーニングの現状と将来	¥2,700
	Vol. 43#9 (2008) colitic cancer/dysplasia の早期診断 病理組織診断の	¥2,700
	Vol. 43#10 (2008) 早期食道癌の診断-最近の進歩	¥2,700
	Vol. 43#11 (2008) 感染性腸炎-最近の動向と知見	¥2,700
	Vol. 43#12 (2008) 早期胃癌発育の新たな分析-内視鏡経過例の遡及的	¥2,700
	Vol. 43#13 (2008) 大腸癌の発生・発育進展	¥2,700
	Vol. 44#1 (2009) 未分化型胃粘膜内癌のESD-適応拡大の可能性	¥2,700
	Vol. 44#2 (2009) 特発性腸間膜静脈硬化症-概念と臨床的取り扱い	¥2,700
	Vol. 44#3 (2009) 食道扁平上皮癌に対するESDの適応と実際	¥2,700
	Vol. 44#4 (2009) 増刊号 早期胃癌2009	¥6,156
	Vol. 44#5 (2009) 癌や炎症と鑑別が困難な消化管悪性リンパ腫	¥2,700
	Vol. 44#6 (2009) 小腸疾患-小病変の診断と治療の進歩	¥2,700
	Vol. 44#7 (2009) 食道胃接合部腺癌の診断	¥2,700
	Vol. 44#8 (2009) 大腸SM内視鏡治療の根治基準をめぐって	¥2,700
	Vol. 44#9 (2009) 背景粘膜からみた胃癌ハイリスクグループ	¥2,700
	Vol. 44#10 (2009) 潰瘍性大腸炎の初期病変とその進展・経過	¥2,700
	Vol. 44#11 (2009) 食道小扁平上皮癌の診断	¥2,700
	Vol. 44#12 (2009) 消化管癌の化学・放射線療法の効果判定と問題点	¥2,700
品切	Vol. 44#13 (2009) collagenous colitisの現況と新知見	¥2,700
	Vol. 45#1 (2010) 早期胃癌のIib進展範囲診断	¥2,916
	Vol. 45#2 (2010) 中・下咽頭表在癌の診断と治療	¥2,916
	Vol. 45#3 (2010) 出血性小腸疾患―内視鏡診断・治療の最前線	¥2,916

	Vol. 45#4 (2010) スキルス胃癌と鑑別を要する疾患	¥2,916
	Vol. 45#5 (2010) 増刊号 早期大腸癌2010	¥6,156
	Vol. 45#6 (2010) 側方発育型大腸腫瘍（laterally spreading tumor ; LST）	¥2,916
	Vol. 45#7 (2010) 低異型度分化型胃癌の診断	¥2,916
	Vol. 45#8 (2010) 直腸肛門部病変の鑑別診断―最新の知見を含めて	¥2,916
	Vol. 45#9 (2010) 食道表在癌の深達度診断	¥2,916
	Vol. 45#10 (2010) Crohn病小腸病変に対する診断と治療の進歩	¥2,916
	Vol. 45#11 (2010) 大腸低分化腺癌の初期像とその進展	¥2,916
	Vol. 45#12 (2010) 特殊型胃癌の病理像と臨床的特徴	¥2,916
	Vol. 45#13 (2010) 遺伝性消化管疾患の特徴と長期経過	¥2,916
	Vol. 45#14 (2010) 第41巻～第45巻　総索引	¥2,160
	Vol. 46#1 (2011) 多発胃癌　最新の知見を含めて	¥3,132
	Vol. 46#2 (2011) NSAID起因性小腸病変	¥3,132
	Vol. 46#3 (2011) 免疫不全状態における消化管病変	¥3,132
	Vol. 46#4 (2011) 大腸鋸歯状病変と癌化	¥3,132
	Vol. 46#5 (2011) 増刊号 食道表在癌2011	¥6,372
	Vol. 46#6 (2011) 胃腫瘍の拡大内視鏡診断	¥3,132
	Vol. 46#7 (2011) 腸管Behcet病と単純性潰瘍―診断と治療の進歩	¥3,132
	Vol. 46#8 (2011) 食道の炎症性疾患	¥3,132
	Vol. 46#9 (2011) 若年者の胃・十二指腸病変の特徴	¥3,132
	Vol. 46#10 (2011) 大腸SM癌に対する内視鏡治療の適応拡大	¥3,132
	Vol. 46#11 (2011) 十二指腸の腫瘍性病変	¥3,132
	Vol. 46#12 (2011) Barrett食道癌の診断	¥3,132
	Vol. 46#13 (2011) 難治性潰瘍性大腸炎-診療・治療の新たな展開	¥3,132
	Vol. 47#1 (2012) 腸管三次元CT 診断の現状	¥3,240
	Vol. 47#2 (2012) 改訂された胃生検Group分類の現状	¥3,240
	Vol. 47#3 (2012) 咽頭・頸部食道癌の鑑別診断	¥3,240
品切	Vol. 47#4 (2012) 消化管EUS診断の現状と新たな展開	¥3,240
	Vol. 47#5 (2012) 増刊号 胃と腸用語集 2012	¥7,776
	Vol. 47#6 (2012) 経鼻内視鏡によるスクリーニング	¥3,240
品切	Vol. 47#7 (2012) 大腸憩室疾患	¥3,240
	Vol. 47#8 (2012) 胃ポリープの意義と鑑別	¥3,240
	Vol. 47#9 (2012) 食道癌の発育進展―初期浸潤の病態と診断	¥3,240
	Vol. 47#10 (2012) 難治性Crohn病の特徴と治療戦略	¥3,240
	Vol. 47#11 (2012) Helicobacter pylori 除菌後の胃癌	¥3,240
	Vol. 47#12 (2012) 高齢者消化管疾患の特徴	¥3,240
	Vol. 47#13 (2012) 右側大腸腫瘍の臨床病理学的特徴	¥3,240
	Vol. 48#1 (2013) 潰瘍合併早期胃癌の診断と治療	¥3,240
	Vol. 48#2 (2013) 大腸ESDの適応と実際	¥3,240
	Vol. 48#3 (2013) 隆起型食道癌の特徴と鑑別診断	¥3,240
	Vol. 48#4 (2013) カプセル内視鏡の現状と展望	¥3,240
	Vol. 48#5 (2013) 増刊号 炎症性腸疾患2013	¥7,776
	Vol. 48#6 (2013) 微小胃癌の診断限界に迫る	¥3,240
	Vol. 48#7 (2013) 消化管内分泌細胞腫瘍の診断と治療－WHO分類との	¥3,240
	Vol. 48#8 (2013) 非腫瘍性大腸ポリープのすべて	¥3,240
	Vol. 48#9 (2013) 食道表在癌治療の最先端	¥3,240
	Vol. 48#10 (2013) 小腸の悪性腫瘍	¥3,240
	Vol. 48#11 (2013) 組織混在型粘膜内胃癌の診断	¥3,240
	Vol. 48#12 (2013) 虚血性腸病変	¥3,240
	Vol. 48#13 (2013) 好酸球性消化管疾患の概念と取り扱い	¥3,240
	Vol. 49#1 (2014) ESD時代の早期胃癌深達度診断	¥3,240
	Vol. 49#2 (2014) 日本食道学会拡大内視鏡分類	¥3,240
	Vol. 49#3 (2014) 消化管アミロイドーシスを見直す	¥3,240
	Vol. 49#4 (2014) 虫垂病変のすべて－非腫瘍から腫瘍まで	¥3,240
	Vol. 49#5 (2014)　増刊号 消化管悪性リンパ腫2014	¥7,776
	Vol. 49#6 (2014) Helicobacter pylori 陰性胃癌	¥3,240
	Vol. 49#7 (2014) 大腸T1（SM）癌に対する内視鏡治療の適応拡大-完全	¥3,240

	Vol. 49#8 (2014) 表面型表層拡大型食道癌の診断と治療戦略		¥3,240
	Vol. 49#9 (2014) 小腸潰瘍の鑑別診断		¥3,240
	Vol. 49#10 (2014) colitic cancerの初期病変－遡及例の検討を含めて		¥3,240
	Vol. 49#11 (2014) 胃癌ESD適応拡大病変の経過と予後		¥3,240
	Vol. 49#12 (2014) 大腸LSTの診断と意義-拡大内視鏡を中心に		¥3,240
	Vol. 49#13 (2014) 胃の腺腫?診断と治療方針		¥3,240
	Vol. 50#1 (2015) 消化管早期癌診断学の時代変遷－50年の歩みと展望		¥3,456
	Vol. 50#2 (2015) 食道のびらん・潰瘍性病変		¥3,456
	Vol. 50#3 (2015) 胃癌範囲診断における拡大観察のピットフォール		¥3,456
	Vol. 50#4 (2015) 早期大腸癌内視鏡治療後の中・長期経過		¥3,456
	Vol. 50#5 (2015) 増刊号 早期消化管癌の深達度診断 2015		¥7,776
	Vol. 50#6 (2015) 知っておきたいまれな胃疾患		¥3,456
	Vol. 50#7 (2015) 診断困難な炎症性腸疾患		¥3,456
	Vol. 50#8 (2015) 胃がん検診に未来はあるのか		¥3,456
	Vol. 50#9 (2015) 食道胃接合部腺癌		¥3,456
	Vol. 50#10 (2015) 狭窄を来す大腸疾患―診断のプロセスを含めて		¥3,456
	Vol. 50#11 (2015) 血管炎による消化管病変		¥3,456
	Vol. 50#12 (2015) 胃底腺型胃癌		¥3,456
	Vol. 50#13 (2015) 大腸鋸歯状病変の取り扱い		¥3,456
	Vol. 51#1 (2016) 慢性胃炎を見直す		¥3,456
	Vol. 51#2 (2016) まれな食道疾患の鑑別診断		¥3,456
	Vol. 51#3 (2016) 知っておきたいまれな大腸悪性腫瘍		¥3,456
	Vol. 51#4 (2016) 薬剤関連消化管病変		¥3,456
	Vol. 51#6 (2016) Helicobacter pylori除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴		¥3,456
	Vol. 51#7 (2016) 新しい小腸・大腸画像診断―現状と将来展望		¥3,456
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
299	**IVR Interventional Radiology（日本IVR学会）**		
	Vol. 21-24 (2006-2009) 各1-4号	各号	¥2,376
300	**医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス（日本公定書協会）**		
	Vol. 41#1-12 (2010)	各号	¥2,621
301	**医薬品研究（日本公定書協会）**		
	Vol. 31-40 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥2,621
302	**医薬品相互作用研究 Journal of Drug Interaction Research（医薬品相互作用研究会）**		
	Vol. 25-29 (2001/2002-2005/2006) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 30#1-3 (2006)	各号	¥1,620
	Vol. 31#1-3 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 32#1-3 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 33#1,2 (2009/2010)	各号	¥1,620
303	**医薬ジャーナル（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 42-45 (2006-2009) 各1-12号	各号	¥2,700
304	**JABTS : New Wave of Breast and Thyroid Sonology (The Japan Association of Breast and Thyroid Sonology)**		
	Vol. 4#1 (2001)		¥3,240
	Vol. 8#2 (2005)		¥3,240
	Vol. 10-12 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥3,240
305	**Japan Echo (Japan Echo)**		
	Vol. 20-23 (1993-1996) 各1-4,Supplement	各号	¥1,620
	Vol. 24-25 (1997-1998) 各1-5.Supplement	各号	¥1,620

306	**Japanese Journal of Antibiotics（日本抗生物質学術協議会）**		
	Vol. 53-54 (2000-2001) 各1-12号	各号	¥1,512
	Vol. 55-64 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥1,728
	Vol. 66#2-6 (2013)	各号	¥1,728
	Vol. 67#1 (2014)		¥1,728
307	**Japanese Journal of Endourology and ESWL（日本Endourology・ESWL学会）**		
	Vol. 17-18,20,23 (2004-2010) 各1-3号	各号	¥5,400
	Vol. 21#1-4 (2008); 24#1 (2011)	各号	¥5,400
308	**The Japanese Journal of Orthodontics 日本矯正歯科協会学術雑誌（日本矯正歯科協会）**		
	Vol. 1-6,8 (2004-2010)	各巻	¥3,240
309	**Japanese Journal of Sports Sciences（日本バイオメカニクス学会）**		
	Vol. 1#1,4-6 (1982)	各号	¥1,574
	Vol. 2#1,2,4-8,10-12 (1983)	各号	¥1,574
	Vol. 3#1,2,4,7,9-11 (1984)	各号	¥1,574
	Vol. 4#1-4,6,7,11 (1985)	各号	¥1,574
	Vol. 5#2,3,6,7,10-12 (1986)	各号	¥1,574
	Vol. 6#1-10 (1987)	各号	¥1,574
	Vol. 7#1-9,11,12 (1988)	各号	¥1,574
	Vol. 8#1-6,9-12 (1989)	各号	¥1,574
	Vol. 9#1-6,9-12 (1990)	各号	¥1,574
	Vol. 10#2-4,6-8,10 (1991)	各号	¥1,574
	Vol. 11#1,3,5,8,10,11 (1992)	各号	¥1,574
	Vol. 12#1,2,4,5,7,9,11,12 (1993)	各号	¥1,574
	Vol. 13#1,2,4 (1994)	各号	¥1,574
	Vol. 14#1-3,5,6 (1995)	各号	¥1,574
	Vol. 15#2-5 (1996)	各号	¥1,574
310	**JARMAM 臨床微生物迅速診断研究会誌（臨床微生物迅速診断研究会）**		
	Vol. 11-16 (2000-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
311	**Java World 月刊ジャバワールド**		
	Vol. 3#2-11 (1999)	各号	¥1,620
	Vol. 4#3,4,6 (2000)	各号	¥1,620
	Vol. 6#1-12 (2002)	各号	¥1,620
312	**JHAC 日本病院会病院管理者協議会会誌**		
	Vol. 8-11 (2002-2006) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 14#2 (2009)		¥2,160
313	**耳鼻咽喉科展望（耳鼻咽喉科展望会）**		
	Vol. 1-10 (1958-1967) 各1-4号 & Supplements	各号	¥3,240
	Vol. 11-55 (1968-2012) 各1-6号 & Supplements	各号	¥3,240
	Vol. 56 (2013) 1,4,6,Supplements1,2	各号	¥3,240
	Vol. 57#1-6 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 58#1,6 (2015)	各号	¥3,240
	Vol. 59#1 (2016)		¥3,240

314　耳鼻咽喉科・頭頸部外科（医学書院）

	Vol. 1-16 (1928-1943) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 17#1,2,5,6 (1944)	各号	¥2,808
	Vol. 18#1 (1945)		¥2,808
	Vol. 20#1-6 (1948)	各号	¥2,808
	Vol. 21#1,2,4-8 (1949)	各号	¥2,808
	Vol. 22#2,6-12 (1950)	各号	¥2,808
	Vol. 23#1-12 (1951)	各号	¥2,808
	Vol. 24-30 (1952-1958) 各1-13号	各号	¥2,808
	Vol. 31-61 (1959-1989) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 62#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,376
	Vol. 62#10 (1990) 増刊号 頭頸部腫瘍		¥4,536
	Vol. 63#1-10,12-13 (1991)	各号	¥2,376
	Vol. 63#11 (1991) 増刊号 外来診療マニュアル-私はこうしている-		¥4,860
	Vol. 64#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,376
	Vol. 64#11 (1992) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 症候群事典		¥5,184
	Vol. 65#1-10,12-13 (1993)	各号	¥2,484
	Vol. 66#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,484
	Vol. 66#11 (1994) 耳鼻・頭頸部外科領域 腫脹の診断		¥5,184
	Vol. 67#1 (1995) 耳鼻咽喉・頭頸部領域のスポーツ外傷		¥2,592
	Vol. 67#2,4-6,8,9,12,13 (1995)	各号	¥2,592
	Vol. 67#3 (1995) 日帰り手術		¥2,592
	Vol. 67#7 (1995) 下咽頭・頸部食道癌の治療とその成績		¥2,592
	Vol. 67#10 (1995) ウェゲナー肉芽腫症		¥2,592
	Vol. 67#11 (1995) 耳鼻・頭頸部外科領域の画像診断		¥6,480
	Vol. 68#1-7,9,10,12,13 (1996)	各号	¥2,592
	Vol. 68#8 (1996) 聴神経腫瘍		¥2,592
	Vol. 68#11 (1996) 耳鼻・頭頸部外科 手術マニュアル		¥7,344
	Vol. 69#1,3-5,7-11,13 (1997)	各号	¥2,592
	Vol. 69#2 (1997) 口腔疾患の診断と治療		¥2,592
	Vol. 69#6 (1997) 増刊号 外傷と耳鼻咽喉科		¥7,344
	Vol. 69#12 (1997) 頭頸部領域の乳頭腫		¥2,592
	Vol. 70#1-4,7,9,11,13 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 70#5 (1998) 増刊号 高齢者の耳鼻咽喉科・頭頸部疾患		¥7,344
品切	Vol. 70#6 (1998) ベル麻酔の診断と治療-最近の知見-		¥2,700
	Vol. 70#8 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その1)		¥2,700
	Vol. 70#10 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その2)		¥2,700
	Vol. 70#12 (1998) 頭頸部癌-私の治療方針と成績(その3)		¥2,700
	Vol. 71#1-4,6-9,11,13 (1999)	各号	¥2,700
品切	Vol. 71#5 (1999) 増刊号 再建外科		¥7,560
	Vol. 71#10 (1999) めまいー私の考え方ー		¥2,700
	Vol. 71#12 (1999) ことばの障害と耳鼻咽喉科		¥2,700
	Vol. 72#1 (2000) 耳鼻咽喉科と奇形		¥2,700
	Vol. 72#2,4,6-10,13 (2000)	各号	¥2,700
	Vol. 72#3 (2000) 結核と耳鼻咽喉科		¥2,700
	Vol. 72#5 (2000) 増刊号 全身疾患と耳鼻咽喉科		¥7,560
	Vol. 72#11 (2000) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域のレーザー..		¥2,700
	Vol. 72#12 (2000) 補聴器とその適合		¥2,700
	Vol. 73#1,3,7-9,11,13 (2001)	各号	¥2,808
	Vol. 73#2 (2001) 今話題の花粉症		¥2,808
	Vol. 73#4 (2001) クリニカルパスとその周辺		¥2,808
	Vol. 73#5 (2001) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の新しい機械’器		¥7,776
	Vol. 73#6 (2001) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科と遺伝子解析		¥2,808
	Vol. 73#10 (2001) 嚥下障害		¥2,808
	Vol. 73#12 (2001) 心身医学と耳鼻咽喉科		¥2,808

			税込価格
	Vol. 74#1 (2002) 院内感染の現況とその取り扱い		¥2,808
	Vol. 74#2 (2002) めまいの治療		¥2,808
	Vol. 74#3,4,7,8,10 (2002)	各号	¥2,808
	Vol. 74#5 (2002) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科における手術の危険		¥7,776
	Vol. 74#6 (2002) 私のクリニック		¥2,808
	Vol. 74#9 (2002) 難治性副鼻腔炎の治療		¥2,808
	Vol. 74#11 (2002) 小児の人口内耳		¥2,808
	Vol. 74#12 (2002) 急性感音難聴		¥2,808
	Vol. 74#13 (2002) 身体障害者福祉法と耳鼻咽喉科		¥2,808
	Vol. 75#1,3,4,6,7,10,12 (2003)		¥2,808
	Vol. 75#2 (2003) 薬物による聴覚障害		¥2,808
	Vol. 75#5 (2003) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の機能検査―何がど		¥8,208
	Vol. 75#8 (2003) 耳鼻咽喉科領域の皮膚・粘膜疾患		¥2,808
	Vol. 75#9 (2003) いびきの治療		¥2,808
	Vol. 75#11 (2003) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科におけるナビゲーション手術		¥2,808
	Vol. 75#13 (2003) 電子カルテの現在と将来		¥2,808
	Vol. 76#1,11,12 (2004)	各号	¥2,808
	Vol. 76#2 (2004) 人工聴覚手術の現況		¥2,808
	Vol. 76#3 (2004) 好酸球性中耳炎		¥2,808
	Vol. 76#4 (2004) 画像・動画の保存とプレゼンテーション		¥2,808
	Vol. 76#5 (2004) 増刊号 上気道アレルギーを診る		¥8,640
	Vol. 76#6 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている1		¥2,808
	Vol. 76#7 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている2,3		¥2,808
	Vol. 76#8 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている4,5		¥2,808
	Vol. 76#9 (2004) 頭頸部癌の治療指針 私たちはこうしている6		¥2,808
	Vol. 76#10 (2004) 頭頸部癌の治療指針私たちはこうしている7		¥2,808
	Vol. 76#13 (2004) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の癌化学療法レジメン		¥2,808
	Vol. 77#1 (2005) 顔面神経麻痺		¥2,808
	Vol. 77#2,9,13 (2005)	各号	¥2,808
	Vol. 77#3 (2005) 味覚・嗅覚障害		¥2,808
	Vol. 77#4 (2005) 耳鼻咽喉科領域の異物とその摘出法		¥2,808
	Vol. 77#5 (2005) 増刊号 聴力改善手術		¥8,640
	Vol. 77#6 (2005) 嚢胞性疾患		¥2,808
	Vol. 77#7 (2005) 補聴器に関する最近の変化		¥2,808
品切	Vol. 77#8 (2005) 頸部リンパ節腫脹		¥2,808
	Vol. 77#10 (2005) 嗄声の診断と治療		¥2,808
	Vol. 77#11 (2005) 副鼻腔炎		¥2,808
品切	Vol. 77#12 (2005) 耳管機能検査		¥2,808
	Vol. 78#1 (2006) 耳鼻咽喉科とウイルス		¥2,808
	Vol. 78#2 (2006) 耳鼻咽喉科領域の疼痛		¥2,808
	Vol. 78#3 (2006) 突発性難聴の今		¥2,808
	Vol. 78#4 (2006) 甲状腺疾患の診断と治療		¥2,808
	Vol. 78#5 (2006) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科症候群事典		¥8,640
	Vol. 78#6,8,10,12 (2006)	各号	¥2,808
	Vol. 78#7 (2006) 知っておきたい耳鼻咽喉科疾患の病理		¥2,808
	Vol. 78#9 (2006) 耳鼻咽喉科疾患と高齢者（65 歳以上）への対応		¥2,808
	Vol. 78#11 (2006) スポーツと耳鼻咽喉科疾患		¥2,808
	Vol. 78#13 (2006) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―手術手技と		¥2,808
	Vol. 79#1 (2007) 頭頸部領域の温度外傷・化学的腐食の取り扱い		¥2,808
	Vol. 79#2 (2007) 抗菌薬のファースト・チョイス		¥2,808
	Vol. 79#3,6,10,12,13 (2007)	各号	¥2,808
	Vol. 79#4 (2007) 耳鼻咽喉科領域の真菌感染の治療		¥2,808
	Vol. 79#5 (2007) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科のリハビリテーション		¥8,640
	Vol. 79#7 (2007) 新生児聴覚検診の役割		¥2,808
	Vol. 79#8 (2007) 内耳障害に対する新しい治療法(蛋白治療)		¥2,808
	Vol. 79#9 (2007) 耳鼻咽喉科関連の資格等の取得について		¥2,808
	Vol. 79#11 (2007) 頭頸部癌に対する超選択的動注化学放射線治療法		¥2,808

Vol. 80#1 (2008) 耳鼻咽喉科専門研修を始める医師へ 症例報告発表・		¥2,808
Vol. 80#2,3,6,7,9,11 (2008)	各号	¥2,808
Vol. 80#4 (2008) 女性と耳鼻咽喉科疾患		¥2,808
Vol. 80#5 (2008) 増刊号 オフィスサージャリー・ショートステイサージャリ		¥8,640
Vol. 80#8 (2008) 嚥下障害手術のコツ		¥2,808
Vol. 80#10 (2008) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ-疾患とその処		¥2,808
Vol. 80#12 (2008) 耳鼻咽喉科とチーム医療の実践(1)小児難聴児への		¥2,808
Vol. 80#13 (2008) 聴神経腫瘍の治療:症例呈示と治療原則		¥2,808
Vol. 81#1 (2009) 耳鼻咽喉科チーム医療の実践(2)糖尿病合併症者のス		¥2,808
Vol. 81#2 (2009)		¥2,808
Vol. 81#3 (2009) 診療所で必要な救急処置		¥2,808
Vol. 81#4 (2009) 耳鼻咽喉科チーム医療の実践(3) ①頭頸部腫瘍術後		¥2,808
Vol. 81#5 (2009) 増刊号 頭頸部再建外科 日常臨床から理論まで		¥8,640
Vol. 81#6 (2009) リスクマネジメント		¥2,808
Vol. 81#7 (2009) 最近の頭頸部癌治療		¥2,808
Vol. 81#8,9 (2009)	各号	¥2,808
Vol. 81#10 (2009) 放射線治療における有害事象		¥2,808
Vol. 81#11 (2009) 聴覚障害を生じる薬物		¥2,808
Vol. 81#12 (2009) 外来手技とインシデント・アクシデント		¥2,808
Vol. 81#13 (2009) 知っておきたい臨床解剖		¥2,808
Vol. 82#1 (2010) 急性感音難聴の取り扱い		¥2,808
Vol. 82#2 (2010) 経過中に自己免疫性膵炎を合併したIgG4関連硬化症		¥2,808
Vol. 82#3 (2010) 診療ガイドライン・診療の手引き概要		¥2,808
Vol. 82#4 (2010) 人工内耳医療の動向―両側人工内耳と補聴器併用型		¥2,808
Vol. 82#5 (2010) 増刊号 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の検査マニュアル―		¥8,640
Vol. 82#6 (2010) 耳鼻咽喉科領域の術後機能評価		¥2,808
Vol. 82#7 (2010) 耳鼻咽喉科領域と感染症		¥2,808
Vol. 82#8 (2010) 急激に骨導閾値上昇を示した外リンパ瘻の症例		¥2,808
Vol. 82#9 (2010) 耳介から耳前部に生じた動静脈奇形の1例		¥2,808
Vol. 82#10 (2010) 好酸球関連の病変		¥2,808
Vol. 82#11 (2010) 表在癌の新しい対応		¥2,808
Vol. 82#12 (2010) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―書類作成と		¥2,808
Vol. 82#13 (2010) 耳鼻咽喉科における心因性疾患とその対応		¥2,808
Vol. 83#1 (2011) めまい 最近のトピックス		¥2,808
Vol. 83#2 (2011) 診療所における工夫 私はこうしている		¥2,808
Vol. 83#3 (2011) 耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へ―疼痛への対		¥2,808
Vol. 83#4 (2011) 特殊疾患への対応		¥2,808
Vol. 83#5 (2011) 増刊号 耳鼻咽喉科感染症の完全マスター		¥8,640
Vol. 83#6 (2011) 最新技術―補聴器と人工中耳・人工内耳		¥2,808
Vol. 83#7 (2011) こんなときどうする？―頭頸部外科編		¥2,808
Vol. 83#8 (2011) 知っておきたい唾液腺疾患		¥2,808
Vol. 83#9 (2011) こんなときどうする？―耳科手術編		¥2,808
Vol. 83#10 (2011) これを読めばPETがわかる		¥2,808
Vol. 83#11 (2011) こんなときどうする？-鼻科手術編		¥2,808
Vol. 83#12 (2011) 知っておきたい皮膚科の知識-専門医の診方・治し方		¥2,808
Vol. 83#13 (2011) 治りにくい症状への対応		¥2,808
Vol. 84#1 (2012) 日常診療で遭遇するトラブルへの対応		¥2,808
Vol. 84#2 (2012) ワクチン		¥2,808
Vol. 84#3 (2012) 知っておきたい精神神経科の知識-専門医の診方・治		¥2,808
Vol. 84#4 (2012) 最新の漢方診療		¥2,808
Vol. 84#5 (2012) 増刊号 最新の診療NAVI 日常診療必携		¥8,640
Vol. 84#6 (2012) 耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング		¥2,808
Vol. 84#7 (2012) 診療ガイドラインのエッセンスとその活用法		¥2,808
Vol. 84#8 (2012) 耳鼻咽喉科領域のアンチエイジング		¥2,808
Vol. 84#9 (2012) HPV・EBVと頭頸部腫瘍		¥2,808
Vol. 84#10 (2012) 睡眠医学と耳鼻咽喉科／知っておきたい眼科の知識		¥2,808
Vol. 84#11 (2012) 扁桃とアデノイドUpdate		¥2,808

Vol. 84#12 (2012) 耳鼻咽喉科疾患と遺伝子/知っておきたい小児科の		¥2,808
Vol. 84#13 (2012) メニエール病Update		¥2,808
Vol. 85#1 (2013) 花粉症の治療－新たな展開		¥2,808
Vol. 85#2 (2013) ここまでできる外来手術		¥2,808
Vol. 85#3 (2013) 知っておきたい放射線治療の新しい知識／コンビーム		¥2,808
Vol. 85#4 (2013) 身につけたいリハビリテーションの最新スキル		¥2,808
Vol. 85#5 (2013) 増刊号 急患・急変　対応マニュアル		¥8,640
Vol. 85#6 (2013) 耳管機能障害Update／知っておきたい神経内科の知		¥2,808
Vol. 85#7 (2013) 分子標的薬時代の耳鼻咽喉科診療－処方するとき、服		¥2,808
Vol. 85#8 (2013) 甲状腺・副甲状腺診療Update／知っておきたい呼吸器		¥2,808
Vol. 85#9 (2013) 局所副腎皮質ステロイドの正しい使い方		¥2,808
Vol. 85#10 (2013) 院内感染を防ぐ／知っておきたい消化管疾患の知識		¥2,808
Vol. 85#11 (2013) 帰してはいけない耳鼻咽喉科外来患者		¥2,808
Vol. 85#12 (2013) においと嗅覚障害／耳鼻咽喉科領域のジェネリック医		¥2,808
Vol. 85#13 (2013) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域疾患の最新疫学		¥2,808
Vol. 86#1 (2014) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の最新トピックス		¥2,808
Vol. 86#2 (2014) 小児難聴Update		¥2,808
Vol. 86#3 (2014) アレルギー用薬の上手な使い方/知っておきたい血液		¥2,808
Vol. 86#4 (2014) 音声外科Update		¥2,808
Vol. 86#5 (2014) 増刊号 画像診断パーフェクトガイド 読影のポイントとピ		¥8,640
Vol. 86#6 (2014) 学校保健と耳鼻咽喉科／歯科口腔外科の話題		¥2,808
Vol. 86#7 (2014) 鼻副鼻腔内視鏡手術Update		¥2,808
Vol. 86#8 (2014) 特殊な外耳・中耳炎の治療／特集2　緩和医療・支持		¥2,808
Vol. 86#9 (2014) 前庭機能検査の新展開		¥2,808
Vol. 86#10 (2014) 咽頭癌・頸部食道癌の治療戦略Update		¥2,808
Vol. 86#11 (2014) インフルエンザ		¥2,808
Vol. 86#12 (2014) 良性発作性頭位めまい症Update/創管理の最前線?		¥2,808
Vol. 86#13 (2014) 口腔粘膜の難治疾患への対応法		¥2,808
Vol. 87#1 (2015) 新しい治療機器		¥2,808
Vol. 87#2 (2015) 膿瘍-マネジメントとピットフォール		¥2,808
Vol. 87#3 (2015) 痛みの鑑別診断		¥2,808
Vol. 87#4 (2015) 最新の補聴器診療－補聴器による聴覚リハビリテーショ		¥2,808
Vol. 87#5 (2015) 増刊号 こんなときの対応法がわかる 耳鼻咽喉科手術		¥8,640
Vol. 87#6 (2015) 注意すべき真菌症診療の落とし穴		¥2,808
Vol. 87#7 (2015) All　about頭頸部再建-多彩な皮弁を使いこなす！		¥2,808
Vol. 87#8 (2015) 突発性難聴とその周辺疾患/味と味覚障害の最前線		¥2,808
Vol. 87#9 (2015) 外来で要注意！ アレルギー周辺疾患／今また結核を		¥2,808
Vol. 87#10 (2015) 長引く咳を診る		¥2,808
Vol. 87#11 (2015) 心へのアプローチ―心療耳鼻咽喉科外来		¥2,808
Vol. 87#12 (2015) これだけは知っておこう―鼻出血への対応法		¥2,808
Vol. 87#13 (2015) 漢方薬を使いこなす		¥2,808
Vol. 88#1 (2016) 小児の中耳炎を究める		¥2,916
Vol. 88#2 (2016) 特集①走り出した舌下免疫療法―現況と展望 特集②が		¥2,916
Vol. 88#3 (2016) 新しい指定難病制度を理解する		¥2,916
Vol. 88#4 (2016) 嚥下障害の完全マスター		¥2,916
Vol. 88#6 (2016) いまさら聞けない聴覚検査のABC		¥2,916
Vol. 88#7 (2016) 顔面神経麻痺―新たな展開		¥2,916

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

315　耳鼻と臨床（耳鼻と臨床会）

Vol. 1-17 (1955-1971)　各1-4号 & supplements	各号	¥3,240
Vol. 18-58 (1972-2012)　各1-6号 & supplements	各号	¥3,240
文献集号　Vol. 19-58 (1973-2012)	各号	¥3,240

316　児童文学研究（日本児童文学学会）

No. 38-43 (2005-2010)	各号	¥2,160

317	**児童青年精神医学とその近接領域（日本児童青年精神医学会）**		
	Vol. 24-28 (1983-1987) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 29#1-6 (1988)	各号	¥3,240
	Vol. 30-40 (1989-1999) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 41-54 (2000-2013) 各1-5号,Supplement	各号	¥3,240
	Vol. 55-57 (2014-2016) 各1-5号	各号	¥3,240
318	**児童精神医学とその近接領域**		
	Vol. 1-3 (1960-1962) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 4#1,4 (1963)	各号	¥3,240
	Vol. 4#2/3 (1963)		¥6,480
	Vol. 5-7 (1964-1966) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 8,10-23 (1967-1982) 各1-5号	各号	¥3,240
319	**自動車技術 Journal of Society of Automotive Engineeris of Japan（自動車技術会）**		
	Vol. 54#3-12 (2000)	各号	¥2,700
	Vol. 55-57 (2001-2003) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 58#1,2,10-12 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 59-65 (2005-2011) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 66#1-3 (2012)	各号	¥2,700
320	**実験動物 Experimental Animals（日本実験動物学会）**		
	Vol. 1-10 (1952-1961) 各1-6号	各号	¥1,080
	Vol. 11-47 (1962-1998) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 48-50 (1999-2001) 各1-5号	各号	¥2,160
	Vol. 52-57 (2003-2008) 各1-5号	各号	¥2,160

321	**実験医学 Experimental Medicine (羊土社)**		
	Vol. 3#1,3; 4#1-12; 5#1-8,10,12,13 (1985-1987)	各号	¥1,944
	Vol. 6#1-13; 7#1-17; 8#1,2,4,6-8,10,12,13,15-17 (1988-1990)	各号	¥1,944
	Vol. 9#1-17; 10#1-19; 11#1-20 (1992-1993)	各号	¥1,944
	Vol. 12#1,3-5,7-19;13#1-7,9-12,14,16-18 (1994-1995)	各号	¥1,944
	Vol. 12#6 (1994)		¥5,832
	Vol. 14#1,3-5,7,9,11,12,13,15,16,18 (1996)	各号	¥1,944
	Vol. 14#2,6,8,10,14,17 (1996)	各号	¥5,832
	Vol. 15#1-3,5-8,10,12,14,15,17,18 (1997)	各号	¥1,944
	Vol. 16#1-4,6-10,12-19; 17#1-4,6-8,10,11,13-15,17-19 (1998-1999)	各号	¥1,944
	Vol. 17#5 (1999)		¥5,832
	Vol. 18#1,3,4,6,8,10,11,13,14,16,17,19 (2000)	各号	¥1,944
	Vol. 19#1,3,4,6-8,10,12,14,16-18 (2001)	各号	¥1,944
	Vol. 19#2,5,9,11,13,15,19 (2001)	各号	¥5,832
	Vol. 20#1,3,4,6-9,10,12,13,15,16,18 (2002)	各号	¥1,944
	Vol. 20#2,5,11,14,17 (2002)	各号	¥5,832
	Vol. 21#1,3,4,6,7,9,10,12,13,15,16,18 (2003)	各号	¥1,944
	Vol. 21#2,5,8,11,14,17 (20)	各号	¥5,832
	Vol. 22#1,3,6,7,9,10,12,1315,16,18 (2004)	各号	¥1,944
	Vol. 22#5,8,11,14,17 (2004)	各号	¥5,832
	Vol. 23#2,3,5,7,8,10,12-14,16,19 (2005)	各号	¥1,944
	Vol. 23#1,4,9,15,20 (2005)	各号	¥5,832
	Vol. 24#1,3,4,6,7,9,12,14,16,17,19 (2006)	各号	¥1,944
	Vol. 24#2,13 (2006)	各号	¥5,832
	Vol. 25#1,3,4,6,8,9,11,12,16,18,19 (2007)	各号	¥1,944
	Vol. 26#1,3,4,8,9,11,13,14,16,18,19 (2008)	各号	¥1,944
	Vol. 27#1,8,13,16,19 (2009)	各号	¥1,944
	Vol. 27#7,12,17 (2009)	各号	¥5,832
	Vol. 28#1,3,4,6,8,9,11,13,14,16,18 (2010)	各号	¥1,944
	Vol. 28#5,7,10,15,17,20 (2010)	各号	¥5,832
	Vol. 29#1,4,6,8,9,11,13,14,16,19 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 29#2,5,7,17 (2011)	各号	¥5,832
	Vol. 30#1,3,4,6,9,11,12,14,16,18,19 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 30#2,5,7,10,13,15,17,20 (2012)	各号	¥5,832
	Vol. 31#1,4,6,8,11,13,14,16,19 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 31#2 (2013)	各号	¥5,832
	Vol. 32#1,3,6,8,11,13,14,16,18,19 (2014)	各号	¥2,160
	Vol. 32#2,10,12,15,20 (2014)	各号	¥5,832
322	**実験力学 Journal of JSEM (日本実験力学会)**		
	Vol. 1-7 (2001-2007) 各1-4号	各号	¥2,700
323	**実験社会心理学研究 (日本グループ・ダイナミックス学会)**		
	Vol. 33-35 (1993/1994-1995/96) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 36-54 (1996-2014/2015) 各1-2号	各号	¥3,240

324 JIM: Journal of Integrated Medicine (医学書院)

	Vol. 2#3 (1992) 医師の考え・患者の考え	¥2,376
	Vol. 2#5 (1992) 癌患者の症状を緩和する	¥2,376
	Vol. 2#7 (1992) 外来診療のcontroversies	¥2,376
	Vol. 2#10 (1992) 臨床医のコモンセンス1	¥2,376
	Vol. 3#2 (1993)「シマウマ探し」に陥らない	¥2,376
	Vol. 3#3 (1993) 内科的治療か外科的治療か	¥2,376
	Vol. 3#6 (1993) 作業関連疾患への対応	¥2,376
	Vol. 3#7 (1993) 見逃させている軽い意識障害	¥2,376
	Vol. 3#10 (1993) 一般医が知っておきたい先端医療	¥2,376
	Vol. 3#11 (1993) 肥満の総合診療	¥2,376
	Vol. 4#1 (1994) 日常医薬品の上手な使い方(1)	¥2,376
	Vol. 4#2 (1994) 日常医薬品の上手な使い方(2)	¥2,376
	Vol. 4#3 (1994) 直腸診を見直す	¥2,376
	Vol. 4#5 (1994) スポーツ医学を外来で利用する	¥2,376
	Vol. 4#6 (1994) 動機の全体像を把握する	¥2,376
	Vol. 4#7 (1994) 隠されたアルコール問題を発見する	¥2,376
	Vol. 4#8 (1994) 診察の守備範囲をひろげる	¥2,376
	Vol. 4#9 (1994) 外来のコモンセンス	¥2,376
	Vol. 4#10 (1994) 抗菌薬選択の基準を確立する	¥2,376
	Vol. 4#11 (1994) 高齢者の総合診療	¥2,376
	Vol. 4#12 (1994) 消化器症状へのアプローチ	¥2,376
	Vol. 5#1 (1995) 内科治療のスタンダード	¥2,376
	Vol. 5#2 (1995) 更年期外来	¥2,376
	Vol. 5#3 (1995) 生検ガイドライン	¥2,376
	Vol. 5#4 (1995) 神経疾患エマージェンシー	¥2,376
	Vol. 5#5 (1995) 癌検診のメリット・デメリット	¥2,376
	Vol. 5#6 (1995) 脱水を見逃していないか	¥2,376
	Vol. 5#7 (1995) 在宅医療を成功させる	¥2,376
	Vol. 5#8 (1995) ショック症状への対応	¥2,376
	Vol. 5#9 (1995) コミュニケーション上手な医師になる	¥2,376
品切	Vol. 5#10 (1995) かぜ診療のクオリティを高める	¥2,376
	Vol. 5#11 (1995) 外来診療における画像診断	¥2,376
	Vol. 5#12 (1995) 痴呆の外来診療	¥2,376
品切	Vol. 6#1 (1996) 妊婦が一般外来に来たとき	¥2,376
	Vol. 6#2 (1996) 印象に残る身体所見	¥2,376
	Vol. 6#3 (1996) 治せるけが・うちみ・ねんざ	¥2,376
	Vol. 6#4 (1996) 効果的な食事療法ｶﾞｲﾄﾞ	¥2,376
	Vol. 6#5 (1996) 腹痛診療のガイドラインを求めて	¥2,376
	Vol. 6#6 (1996) 海外渡航者の診療マニュアル	¥2,376
	Vol. 6#7 (1996) 卒後臨床研修へのアドバイス	¥2,376
	Vol. 6#8 (1996) ふるえとけいれん	¥2,376
	Vol. 6#9 (1996) 中毒-一般医はこうして対応する	¥2,376
	Vol. 6#10 (1996) 口の中を診る	¥2,376
品切	Vol. 6#11 (1996) 子供を上手に診るための15ヵ条	¥2,376
	Vol. 6#12 (1996) 診断の難しい体重減少	¥2,376
	Vol. 7#1 (1997) 外来治療のTopics & Evidence '97	¥1,944
	Vol. 7#2 (1997) ポスト急性期ケアの質を高める	¥1,944
品切	Vol. 7#3 (1997) 外来での抗菌薬のベストチョイス	¥1,944
品切	Vol. 7#4 (1997) 貧血診療の疑問に答えて	¥1,944
	Vol. 52#9 (2010) ホスピタリストと病院総合医	¥2,700
	Vol. 7#5 (1997) 診療ガイドラインをガイドする	¥1,944
	Vol. 7#6 (1997) 手・肘・肩の訴えで困ったら	¥1,944
	Vol. 7#7 (1997) 倦怠感(だるさ) への対応	¥1,944
	Vol. 7#8 (1997) 対論 病診連携	¥1,944
	Vol. 7#9 (1997) 気管支喘息治療のガイドラインを活かす	¥1,944
	Vol. 7#10 (1997) 眠れない患者へのアプローチ	¥1,944

品切	Vol. 7#11 (1997) かぜ治療の最前線	¥1,944
	Vol. 7#12 (1997) 死をみとる1週間	¥1,944
品切	Vol. 8#1 (1998) 腰痛診療アップグレード10ヵ条	¥2,052
	Vol. 8#2 (1998) 外来でできる運動処方 最新ｶﾞｲﾄﾞ	¥2,052
	Vol. 8#3 (1998) ひと目でわかる視診所見	¥2,052
	Vol. 8#4 (1998) (胸痛+α) から何を考える	¥2,052
	Vol. 8#5 (1998) いま処方を見直す	¥2,052
	Vol. 8#6 (1998) 夜間診療でみる感染症	¥2,052
品切	Vol. 8#7 (1998) 救急症状への対応10ヵ条	¥2,052
	Vol. 8#8 (1998) 困っている食欲不振	¥2,052
	Vol. 8#9 (1998) 診断室でできる禁煙指導	¥2,052
	Vol. 8#10 (1998) 最新・糖尿病対策	¥2,052
	Vol. 8#11 (1998) 微熱を見分ける	¥2,052
品切	Vol. 8#12 (1998) 誤嚥をどうする	¥2,052
	Vol. 9#1 (1999) 最新・診療ガイドライン	¥2,052
	Vol. 9#2 (1999) 今、なぜ産業医なのか	¥2,052
品切	Vol. 9#3 (1999) 便秘と下痢	¥2,052
	Vol. 9#4 (1999) 必見・総合診療のリーダーたち	¥2,052
	Vol. 9#5 (1999) 在宅高齢者の医療と介護－医師の役割	¥2,052
	Vol. 9#6 (1999) いつ膠原病を疑うか	¥2,052
品切	Vol. 9#7 (1999) リンパ節腫脹を正しく診よう	¥2,052
	Vol. 9#8 (1999) 女の更年期／男の更年期	¥2,052
	Vol. 9#9 (1999) めまいにどう対応するか	¥2,052
	Vol. 9#10 (1999) 日常診断／救急外来で役立つ診断機器・キット	¥2,052
	Vol. 9#11 (1999) インフルエンザに備える	¥2,052
	Vol. 9#12 (1999) 目・耳・鼻・口を診る	¥2,052
	Vol. 10#1 (2000) 診療ガイドライン2000	¥2,160
品切	Vol. 10#2 (2000) 頭痛百科	¥2,160
	Vol. 10#3 (2000) 卒後臨床研修医必必携	¥2,160
	Vol. 10#4 (2000) いつ内分泌疾患を疑うか	¥2,160
	Vol. 10#5 (2000) 背骨に目を向けよう	¥2,160
	Vol. 10#6 (2000) 無敵のダイエット	¥2,160
	Vol. 10#7 (2000) やってみて覚えよう救急医療	¥2,160
	Vol. 10#8 (2000) 夏のスポーツ・メディスン	¥2,160
	Vol. 10#9 (2000) プライマリ・ケアにおける精神症状とその対応	¥2,160
	Vol. 10#10 (2000) 正しい入浴法のすすめ	¥2,160
	Vol. 10#11 (2000) ここまで進んだ自己管理	¥2,160
	Vol. 10#12 (2000) 症例から学ぶ”息苦しさ”への対応	¥2,160
	Vol. 11#1 (2001) めざせ新世紀-20世紀のエビデンスはどうなる	¥2,160
	Vol. 11#2 (2001) プライマリケアで診る脳血管障害	¥2,160
	Vol. 11#3 (2001) 今のままで良いか-日常診療でのコミュニケー	¥2,160
品切	Vol. 11#4 (2001) 浮腫からのクイックアプローチ	¥2,160
	Vol. 11#5 (2001) 今、求められる尿閉・尿失禁への対応	¥2,160
品切	Vol. 11#6 (2001) 外来での子供への薬の使い方	¥2,160
	Vol. 11#7 (2001) 自律神経症状に強くなる	¥2,160
	Vol. 11#8 (2001) プライマリ・ケアにおける性をめぐる問題	¥2,160
	Vol. 11#9 (2001) コモンディジーズとしてのうつ病	¥2,160
	Vol. 11#10 (2001) 高脂血症をどうする	¥2,160
	Vol. 11#11 (2001) 新世紀のかぜ診療	¥2,160
	Vol. 11#12 (2001) プライマリ・ケアにおけるアルコール問題	¥2,160
	Vol. 12#1 (2002) 症例から学ぶクリニカル・ルール	¥2,268
	Vol. 12#2 (2002) 外来診療実習・研修の心得	¥2,268
	Vol. 12#3 (2002) 痴呆患者と患者家族-今日からできる支援を考える	¥2,268
	Vol. 12#4 (2002) 最新・感染症事情	¥2,268
	Vol. 12#5 (2002) プライマリ・ケアで役立つ整形外科的診療	¥2,268
	Vol. 12#6 (2002) 保険診療の心得	¥2,268
	Vol. 12#7 (2002) 意識障害への迅速な対応	¥2,268

Vol. 12#8 (2002) チーム医療を実践する	¥2,268
Vol. 12#9 (2002) 症例が明かす腹痛診療のコツ	¥2,268
Vol. 12#10 (2002) いつ専門医にコンサルトするか-心血管疾患の場合	¥2,268
Vol. 12#11 (2002) 抗菌薬の特徴と使い方のコツ	¥2,268
Vol. 12#12 (2002) Generalist に必要な皮膚科の知識	¥2,268
Vol. 13#1 (2003) 診療ガイドライン－わが国における現状と使い方	¥2,268
Vol. 13#2 (2003) アレルギーの臨床―第一線での診断と治療	¥2,268
Vol. 13#3 (2003) いま日常診療で注目すべき原虫症・寄生虫症	¥2,268
Vol. 13#4 (2003) 健診で異常を指摘された人へのベストガイド	¥2,268
Vol. 13#5 (2003) 卒後臨床研修の必修化を控えて	¥2,268
Vol. 13#6 (2003) 悪心・嘔吐へのアプローチ	¥2,268
Vol. 13#7 (2003) Generalistのための糖尿病診療10カ条	¥2,268
Vol. 13#8 (2003) いま求められる肝炎の知識	¥2,268
Vol. 13#9 (2003) 小児の救急－これがminimum	¥2,268
Vol. 13#10 (2003) 医療における“物語”―Narrative-Based Medicine（NB	¥2,268
Vol. 13#11 (2003) 高齢者と薬	¥2,268
Vol. 13#12 (2003) 長引く咳	¥2,268
Vol. 14#1 (2004) 診断過程を解き明かすEvidence-based Diagnosis	¥2,268
Vol. 14#2 (2004) 知っておきたいゲノムの知識	¥2,268
Vol. 14#3 (2004) Generalist必携 睡眠障害へのアプローチ	¥2,268
Vol. 14#4 (2004) 開業医の魅力に迫る	¥2,268
Vol. 14#5 (2004) 地域で医師を育てる 地域保健・医療研修で何をするか	¥2,268
Vol. 14#6 (2004)トラベルメディスンのすすめ	¥2,268
Vol. 14#7 (2004) 真夏の総合診療	¥2,268
Vol. 14#8 (2004) Common Diseaseの診断・治療の新しい常識	¥2,268
Vol. 14#9 (2004) 今そこにあるHIV感染症	¥2,268
Vol. 14#10 (2004) せん妄・妄想・幻覚へのアプローチ	¥2,268
Vol. 14#11 (2004) 足を診る	¥2,268
Vol. 14#12 (2004) 高齢者のQOLを高める	¥2,268
Vol. 15#1 (2005) 眼のみかた	¥2,376
Vol. 15#2 (2005) MRIの使い方	¥2,376
Vol. 15#3 (2005) 外来診療の質を評価する	¥2,376
Vol. 15#4 (2005) 失神診療をきわめる	¥2,376
Vol. 15#5 (2005) 結核を見逃すな！	¥2,376
Vol. 15#6 (2005) 外科系疾患に遭遇した時	¥2,376
Vol. 15#7 (2005) 一般診療の薬　Essential Medicine 80	¥2,376
Vol. 15#8 (2005) 災害被災地におけるプライマリ・ケア	¥2,376
Vol. 15#9 (2005) ケーススタディ 不明熱	¥2,376
Vol. 15#10 (2005) 腰痛診療　サイエンスとアート	¥2,376
Vol. 15#11 (2005) 学校医をたのまれたら	¥2,376
Vol. 15#12 (2005) 日常診療に求められるリハビリテーション	¥2,376
Vol. 16#1 (2006) 副作用を見逃すな！	¥2,376
Vol. 16#2 (2006) 増える超高齢者への医療	¥2,376
Vol. 16#3 (2006) 胸痛患者をみたら	¥2,376
Vol. 16#4 (2006) 行動変容を促そう	¥2,376
Vol. 16#5 (2006) プライマリ・ケア医／危機一髪　日常診療で困ったら	¥2,376
Vol. 16#6 (2006) プライマリ・ケアにおける精神疾患―generalistと精神科	¥2,376
Vol. 16#7 (2006) ジェネラリストのキャリアパス―“初期研修”から“後期研	¥2,376
Vol. 16#8 (2006) 診療所での上手な抗菌薬の使い方	¥2,376
Vol. 16#9 (2006) しびれにご用心	¥2,376
Vol. 16#10 (2006) 臨床検査の達人になる！	¥2,376
Vol. 16#11 (2006) ズバッと答える臨床知識―学生・患者に説明できます	¥2,376
Vol. 16#12 (2006) Clinical preventive service－外来で行う予防医療	¥2,376
Vol. 17#1 (2007) 帰してはいけない外来患者	¥2,376
Vol. 17#2 (2007) クリニカル・リサーチはおもしろい	¥2,376
Vol. 17#3 (2007) 顔の総合診療 顔をみればわかること	¥2,376
Vol. 17#4 (2007) 家庭医のためのウイメンズ・ヘルス読本	¥2,376

Vol. 17#5 (2007) 医師と法律 トラブル防止の心得と対策	¥2,376
Vol. 17#6 (2007) 片頭痛だけが頭痛じゃない	¥2,376
Vol. 17#7 (2007) 体重減少へのスーパー・アプローチ	¥2,376
Vol. 17#8 (2007) 疾患・治療概念の最近の変化	¥2,376
Vol. 17#9 (2007) 子どものミカタ！	¥2,376
Vol. 17#10 (2007) 在宅医療のスキルアップ	¥2,376
Vol. 17#11 (2007) ストップ・ザ・医原性疾患	¥2,376
Vol. 17#12 (2007) 論争の現場を見にいく	¥2,376
Vol. 18#1 (2008) 特定健診時代の生活習慣病対策	¥2,376
Vol. 18#2 (2008) 家庭医のためのメンズ・ヘルス読本	¥2,376
Vol. 18#3 (2008) 妊婦が外来に来たら	¥2,376
Vol. 18#3 (2008) 妊婦が外来に来たら	¥2,376
Vol. 18#4 (2008) ホームレスを診る	¥2,376
Vol. 18#5 (2008) 急変に備える 予防処置から緊急対応まで	¥2,376
Vol. 18#6 (2008) 手をみせて	¥2,376
Vol. 18#7 (2008) 変貌する感染症	¥2,376
Vol. 18#8 (2008) 高齢社会の看取りのサイエンスとアート	¥2,376
Vol. 18#9 (2008) 不整脈診療ステップアップ	¥2,376
Vol. 18#10 (2008) 真夜中の総合診療	¥2,376
Vol. 18#11 (2008) 医師に必要な臨床栄養学	¥2,376
Vol. 18#12 (2008) 医師のためのビジネス・スキル	¥2,376
Vol. 19#1 (2009) からむ痰、うっとうしい咳	¥2,376
Vol. 19#2 (2009) 医療シミュレーション教育 21世紀の医学教育の潮流	¥2,376
Vol. 19#3 (2009) プロの技としての身体診察	¥2,376
Vol. 19#4 (2009) 肩こりを解きほぐす	¥2,376
Vol. 19#5 (2009) 診療所診療とIT	¥2,376
Vol. 19#6 (2009) 昆虫などによる健康問題	¥2,376
Vol. 19#7 (2009) 非専門医のための糖尿病診療 最新のエビデンスととも	¥2,376
Vol. 19#8 (2009) マイナー・エマージェンシー 診療所外来の救急疾患	¥2,376
Vol. 19#9 (2009) 診療現場での倫理 Case Study	¥2,376
Vol. 19#10 (2009) 今日の代替医療	¥2,376
Vol. 19#11 (2009) BPSDを診ていく	¥2,376
Vol. 19#12 (2009) ジェネラリストのためのがん診療エッセンス	¥2,376
Vol. 20#1 (2010) 診療の終わりにこの質問！ライフサイクルの視点から	¥2,376
Vol. 20#2 (2010) 高齢者の誤嚥	¥2,376
Vol. 20#3 (2010) 腹痛診療の達人になる	¥2,376
Vol. 20#4 (2010) 診療を変える新しい薬2010	¥2,376
Vol. 20#5 (2010) ヘルシー・シティ, ヘルシー・コミュニティ	¥2,376
Vol. 20#6 (2010) 診療ガイドライン盛り合わせ	¥2,376
Vol. 20#7 (2010) 看護学を知りたい！―医師のための看護学入門	¥2,376
Vol. 20#8 (2010) 病理診断に親しもう！	¥2,376
Vol. 20#9 (2010) ホスピタリストと病院総合医	¥2,376
Vol. 20#10 (2010) プライマリー・ケア医のための関節リウマチ診療のすべ	¥2,376
Vol. 20#11 (2010) 疲れとだるさ	¥2,376
Vol. 20#12 (2010) めまいがするんです	¥2,376
Vol. 21#1 (2011) 歯科口腔外科との連携	¥2,376
Vol. 21#2 (2011) 精神疾患と誤診してはならない器質的疾患	¥2,376
Vol. 21#3 (2011) Systems-based Practice	¥2,376
Vol. 21#4 (2011) 家庭医のための循環器診療レベルアップ	¥2,376
Vol. 21#5 (2011) 症状別副作用逆引き事典	¥2,376
Vol. 21#6 (2011) すべては地域医療に	¥2,376
Vol. 21#7 (2011) EBMアップデード	¥2,376
Vol. 21#8 (2011) 病院総合医 免許皆伝	¥2,376
Vol. 21#9 (2011) エクストリーム困難事例への挑戦	¥2,376
Vol. 21#10 (2011) 思春期女子への診療	¥2,376
Vol. 21#11 (2011) 知っておくべき高齢者の評価法	¥2,376
Vol. 21#12 (2011) 痛みで困ったとき	¥2,376

	Vol. 22#1 (2012) グローバル時代のジェネラリスト		¥2,376
	Vol. 22#2 (2012) One step up 水・電解質・体液管理		¥2,376
	Vol. 22#3 (2012) チームを動かすコンサルテーション		¥2,376
	Vol. 22#4 (2012) 高齢者の皮膚トラブル		¥2,376
品切	Vol. 22#5 (2012) 健診データで困ったら 検査値異常への対応策		¥2,376
品切	Vol. 22#6 (2012) Prediction rule 診療に役立つ臨床予測ルール		¥2,376
	Vol. 22#7 (2012) 耳・鼻・のどのトラブル対応 耳鼻咽喉科コンサルテーシ		¥2,376
	Vol. 22#8 (2012) ジェネラリストのためのクリニカル・パール		¥2,376
	Vol. 22#9 (2012) 家庭医のためのワクチン・プラクティス		¥2,376
	Vol. 22#10 (2012)「…血が出たんです」肛門・会陰部出血へのアプロー		¥2,376
	Vol. 22#11 (2012) 実践! 家族アプローチ		¥2,376
	Vol. 22#12 (2012) 高齢者診療アップグレード コツとピットフォール		¥2,376
	Vol. 23#1 (2013) 2023年のプライマリ・ケアを夢想する—新世代の挑戦		¥2,376
	Vol. 23#2 (2013) かゆみ大全		¥2,376
	Vol. 23#3 (2013) 血液疾患ブラッシュアップ		¥2,376
	Vol. 23#4 (2013) 今日の外科—連携のための最新知識		¥2,376
	Vol. 23#5 (2013) この組み合わせに注意!日常診療で陥りやすいpitfall		¥2,376
	Vol. 23#6 (2013) 不明熱診療 最前線 基本アプローチから「横綱級」困難		¥2,376
品切	Vol. 23#7 (2013) 症候別“見逃してはならない”疾患の除外ポイント		¥2,376
	Vol. 23#8 (2013) 完全解説 ロコモティブシンドローム		¥2,376
	Vol. 23#9 (2013)「息苦しい」が主訴の時		¥2,376
	Vol. 23#10 (2013) 高齢者「主治医」事典		¥2,376
	Vol. 23#11 (2013) 見逃してはいけない! アルコール関連問題		¥2,376
	Vol. 23#12 (2013) あなたの臨床能力をチェックする Quick Assessment		¥2,376
	Vol. 24#1 (2014) 気絶するほど悩ましい－危険な失神の見分け方		¥2,376
	Vol. 24#2 (2014) むくんでいるんです－浮腫とむくみ感の間に		¥2,376
	Vol. 24#3 (2014) 足をみせて－靴下に隠れた重要所見		¥2,376
	Vol. 24#4 (2014) 帰してはいけない「こども」を見逃さないために		¥2,376
	Vol. 24#5 (2014) 見える！わかる！できる！プライマリ・ケア手技/処置		¥2,376
	Vol. 24#6 (2014)「それは古い！」と言われない 診療スタンダード Up to		¥2,376
	Vol. 24#7 (2014) 症候別“見逃してはならない”疾患の除外ポイント Part I		¥2,376
	Vol. 24#8 (2014) 感染症を病歴と診察だけで診断する！		¥2,376
	Vol. 24#9 (2014) 臨床医のための産業医マニュアル		¥2,376
	Vol. 24#10 (2014) 帰してはいけない疾患を除外した後の外来診療		¥2,376
	Vol. 24#11 (2014) 症候別“見逃してはならない”疾患の除外ポイント Part		¥2,376
	Vol. 24#12 (2014) 総合診療医のための結核診療 Update		¥2,376
	※Vol.25#1(2015)→総合診療(医学書院)		
325	**人文地理 Japanese Journal of Human Geography**		
	Vol. 32-58 (1980-2006) 各1-6号	各号	¥1,296
	Vol. 59-65 (2007-2013) 各1-6号	各号	¥2,098
	Vol. 66#1,2,4,5,6 (2014)	各号	¥2,098
	Vol. 67#1-6 (2015)	各号	¥2,098
	Vol. 68#1,2 (2016)	各号	¥2,098
326	**腎移植・血管外科 Rental Transplantation Vascular Surgery (腎移植・血管外科研究会)**		
	Vol. 10#2; 13#2; 14#2; 15#1,2; 16#2 (1999-2004)	各号	¥3,240
327	**人工知能学会誌 (人工知能学会)**		
	Vol. 1#1-2 (1986)	各号	¥2,571
	Vol. 2#1-4 (1987)	各号	¥2,571
	Vol. 3-19 (1988-2004) 各1-6号	各号	¥2,571

328	**人工血液 日本血液代替物学会会誌（日本血液代替物学会）**		
	Vol. 6-10 (1998-2002) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 11#3,4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 12#1-4 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 13#1-4 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 14#1,2 (2006)	各号	¥2,160
329	**腎と透析（東京医学社）**		
	Vol. 48-77 (2000-2014) 各1-6号,増刊号		
	※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。		
	（Webショップでもご確認いただけます。）		
330	**自律訓練研究（日本自律訓練学会）**		
	Vol. 7-28 (1987-2008) 各1-2号	各号	¥2,057
	Vol. 33#1/2 (2013)		¥4,115
331	**自律神経 Autonomic Nervous System（日本自律神経学会）**		
	Vol. 29-48 (1992-2011) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 49-51 (2012-2014) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 52#1-2 (2015)	各号	¥3,240
332	**地震（地震学会）**		
	Vol. 1-16 (1929-1944) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 17-18 (1945) 各1/4号	各巻	¥8,640
333	**地震 2輯（日本地震学会）**		
	Vol. 1-4 (1948-1951) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 5-48 (1952-1995) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 34#Special (1981)		¥2,700
	Vol. 44#Supplement (1991)		¥2,700
334	**地震予知連絡会会報 Report of the Coordinationg Committee for Earthquake Prediction（国土地理院）**		
	Vol. 1-43,45-75 (1969-2006) 各1号	各号	¥5,400
335	**地すべり（Journal of the Japan Landslide Society）**		
	Vol. 20#1-4 (1983/1984)	各号	¥2,160
	Vol. 21#1-4 (1984/1985)	各号	¥2,160
	Vol. 22#1-4 (1985/1986)	各号	¥2,160
	Vol. 23#1-4 (1986/1987)	各号	¥2,160
	Vol. 24#1-4 (1987/1988)	各号	¥2,160
	Vol. 25#1-4 (1988/1989)	各号	¥2,160
	Vol. 26#1-4 (1989/1990)	各号	¥2,160
	Vol. 27#1-4 (1990/1991)	各号	¥2,160
	Vol. 28#1-4 (1991/1992)	各号	¥2,160
	Vol. 29#1-4 (1992/1993)	各号	¥2,160
	Vol. 30#1-4 (1993/1994)	各号	¥2,160
	Vol. 31#1-3 (1994)	各号	¥2,160
	Vol. 32#1-4 (1995/1996)	各号	¥2,160
	Vol. 33#1-4 (1996/1997)	各号	¥2,160
	Vol. 34#1-4 (1997/1998)	各号	¥2,160
	Vol. 35#1-4 (1998/1999)	各号	¥2,160
	Vol. 36#1-4 (1999/2000)	各号	¥2,160
	Vol. 37#1-4 (2000/2001)	各号	¥2,160
	Vol. 38#1,2,4 (2001/2002)	各号	¥2,160
	Vol. 39#1-4 (2002/2003)	各号	¥2,160

336	**JJNスペシャル（医学書院）**		
	No. 1 (1986)		¥1,296
	No. 2-18 (1986-1990)	各号	¥1,620
	No. 19-30 (1991-1992)	各号	¥1,836
	No. 31,35,38,41,43,44,47,48,51-55,57,59,66 (1993-2000)	各号	¥2,160
	No. 32-34,40,42 (1993-1994)	各号	¥1,836
	No. 36,37,39,46,49,57,58,60-62,65,68 (1994-2000)	各号	¥2,376
	No. 67 (2000)		¥2,592
	No. 72 (2002)		¥2,808
	No. 74 (2003)		¥3,024
337	**J.M.E.F. Japan Medical Education Foundation（医学教育振興財団）**		
	No. 15-23,25 (1996-2005)	各号	¥2,160
338	**JNET : Journal of Neuroendovascular Therapy : 脳神経血管内治療**		
	Vol. 2#2; 3#1-3,supplement; 4#1,2 (2008-2010)	各号	¥2,160
	Vol. 3#4; 4#4 (2009-2010)	各号	¥4,320
339	**JOHNS Journal of Otolarygology, Head and Neck Surgery（東京医学社）**		
	Vol. 1#10 (1985)		¥1,836
	Vol. 2#2,3,6; 3#11 (1986-1987)	各号	¥1,944
	Vol. 4#2 (1988)		¥4,320
	Vol. 5#12 (1989)		¥2,052
	Vol. 6#1-8,10,12 (1990)	各号	¥2,202
	Vol. 7#8;8#1,3,6-8,10 (1992-1991)	各号	¥2,307
	Vol. 9#6 (1993)		¥3,146
	Vol. 9#11 (1993)		¥2,466
	Vol. 10#1,2,4-12 (1994)	各号	¥2,674
	Vol. 10#3 (1994)		¥4,320
	Vol. 11#1,2,4-12 (1995)	各号	¥2,674
	Vol. 11#3 (1995)		¥4,320
	Vol. 12#1,2,4-12 (1996)	各号	¥2,674
	Vol. 12#3 (1996)		¥4,320
	Vol. 13#1,2,4-9,11,12 (1997)	各号	¥2,746
	Vol. 13#3,10 (1997)	各号	¥4,320
	Vol. 14#1,2,4,7-9,11,12 (1998)	各号	¥2,746
	Vol. 14#3,10 (1998)	各号	¥4,320
	Vol. 15#1,2,4-9,11,12 (1999)	各号	¥2,746
	Vol. 15#3,10 (1999)	各号	¥4,320
	Vol. 16#9 (2000)		¥4,752
	Vol. 17#11,12; 18#12; 19#1,2,4-8,10-12 (2001-2003)	各号	¥2,674
	Vol. 18#3 (2002) 増大号 お母さんへの回答マニュアル 耳鼻咽喉科Q&A		¥5,400
	Vol. 19#3,9 (2003)	各号	¥4,320
	Vol. 20#1,2,4-7,10-12; 21#1,2,4-8,10-12 (2004-2005)	各号	¥2,695
	Vol. 20#3; 21#3,9 (2004-2005)	各号	¥4,886
	Vol. 20#9 (2004)		¥5,348
	Vol. 22#1,2,4-8,10-12; 23#1,2,4-8,10-12 (2006-2007)	各号	¥2,746
	Vol. 22#3,9; 23#3,9 (2006-2007)	各号	¥4,937
	Vol. 24#1,2,4-8,10,12; 25#1,2,4-8,10-12 (2008-2009)	各号	¥2,767
	Vol. 24#3,9; 25#3,9 (2008-2009)	各号	¥4,937
	Vol. 28#5 (2012)		¥2,808
340	**情報知識学会誌**		
	Vol. 19#2,4 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 20#1,3,4 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 21#2,4 (2011)	各号	¥2,700

341	**情報地質（日本情報地質学会）**		
	Vol. 14#1,2,4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 15-16 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 17#2,3 (2006); 18#2-4 (2007); 19#1,3,4 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1 (2009); 21#2 (2010); 22#3 (2011)	各号	¥2,160
342	**情報管理 Journal of information Processing and Management（日本科学技術情報センター）**		
	Vol. 3-7,9-42,45-48 (1960-2005/2006) 各1-12号	各号	¥1,188
	Vol. 8#1-15 (1965/1966)	各号	¥1,188
343	**情報の科学と技術（情報科学技術協会）**		
	Vol. 11,13-17 (1961-1967) 各1-6号	各号	¥1,793
	Vol. 12#1-4 (1962)	各号	¥1,793
	Vol. 18-50,57-61 (1968-2011) 各1-12号	各号	¥1,793
344	**情報処理 Journal of Information Processing Society of Japan（情報処理学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1960)	各号	¥1,728
	Vol. 2-10 (1961-1969) 各1-6号	各号	¥1,728
	Vol. 11-53 (1970-2012) 各1-12号	各号	¥1,728
345	**情報処理学会論文誌（情報処理学会）**		
	Vol. 20-26 (1979-1985) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 27-49 (1986-2008) 各1-12号	各号	¥2,700
346	**助産婦 日本助産婦会雑誌（日本助産婦会）**		
	Vol. 12-15 (1958-1961) 各1-12号	各号	¥1,728
	Vol. 17#12 (1963)		¥1,728
	Vol. 18#1,2 (1964)	各号	¥1,728
	Vol. 26#11,12 (1972)	各号	¥1,728
	Vol. 27#1-12 (1973)	各号	¥1,728
	Vol. 28-29 (1974-1975) 各1-10号	各号	¥1,728
	Vol. 32#10 (1978)		¥1,728
	Vol. 33#7-9 (1979)	各号	¥1,728
	Vol. 47#1,3,4 (1993)	各号	¥1,728
	Vol. 48#1-4 (1994)	各号	¥1,728
	Vol. 49#1-3 (1995)	各号	¥1,728
	Vol. 50-54 (1996-2000) 各1-4号	各号	¥1,728
	Vol. 55#2 (2001)		¥1,728

347 助産婦雑誌（医学書院）

	Vol. 4#4,6 (1953)	各号	¥1,404
	Vol. 9#5,6 (1956)	各号	¥1,404
	Vol. 10#1,4,5,6 (1956)	各号	¥1,404
	Vol. 11-18 (1957-1964) 各1-12号	各号	¥1,404
	Vol. 19#2,5-12 (1965)	各号	¥1,404
	Vol. 20-48 (1966-1994) 各1-12号	各号	¥1,404
	Vol. 49#1 (1995) ゆらぐ「家族」		¥1,404
	Vol. 49#2 (1995) 救急搬送とケア		¥1,404
	Vol. 49#3 (1995) 新しい時代を見すえた分娩実習		¥1,404
	Vol. 49#4 (1995) ルチーンの医療処置を見直す		¥1,404
	Vol. 49#5 (1995) 出生前診断の倫理的問題を問う		¥1,404
	Vol. 49#6 (1995) 切迫早産長期入院妊婦の看護		¥1,404
	Vol. 49#7 (1995) 父親への保健指導とサポート		¥1,404
	Vol. 49#8 (1995) 性暴力被害と向き合う		¥1,404
	Vol. 49#9 (1995) NST		¥1,404
	Vol. 49#10 (1995) 助産診断-共通概念の探究		¥1,404
	Vol. 49#11 (1995) 先輩たちの助産術		¥1,404
	Vol. 49#12 (1995) 性科学の水準-第12回性科学学会		¥1,404
	Vol. 50#1 (1996) がんばれ中堅助産婦		¥1,404
	Vol. 50#2 (1996) 今日の助産婦外来		¥1,404
	Vol. 50#3 (1996) 低用量ピルのすべて 女性が避妊の主人公に		¥1,404
	Vol. 50#4 (1996) 助産婦トコウ・カウンセリング		¥1,404
	Vol. 50#5 (1996) 難産のとらえ方と対応		¥1,404
	Vol. 50#6 (1996) 母乳トラブルの解決		¥1,404
	Vol. 50#7 (1996)「助産士」を考えよう		¥1,404
	Vol. 50#8 (1996) 自由な分娩体位-寝ないお産の達人になる		¥1,404
	Vol. 50#9 (1996) 第24回ICM大会		¥1,404
	Vol. 50#10(1996) 1か月健診までの赤ちゃんの成長・生活		¥1,404
	Vol. 50#11(1996) 1か月健診までのお母さんの成長・生活		¥1,404
	Vol. 50#12 (1996) 助産婦と「専門看護師・認定看護師」		¥1,404
	Vol. 51#1 (1997) 助産婦たちの勉強会		¥1,404
	Vol. 51#2 (1997) 尿失禁ケア-女性のQOL改善		¥1,404
	Vol. 51#3 (1997) STDの理解とケア		¥1,404
	Vol. 51#4 (1997) 異常分娩をめぐる最新マネージメント		¥1,404
	Vol. 51#5 (1997) 助産婦とパソコンネットワーキング		¥1,404
	Vol. 51#6 (1997) 先駆的産科ケア活動		¥1,404
	Vol. 51#7 (1997) 妊婦の体重コントロール,どう考える		¥1,404
	Vol. 51#8 (1997) 助産診断の実際-診断名確立に向けて		¥1,404
	Vol. 51#9 (1997) 産痛の解明とケア		¥1,404
	Vol. 51#10 (1997) 変わります変えます地域母子保健(上)		¥1,404
	Vol. 51#11 (1997) 変わります変えます地域母子保健(下)		¥1,404
	Vol. 51#12 (1997)「ハイリスク」にも強くなる		¥1,404
	Vol. 52#1 (1998) 助産婦のキャリア開発		¥1,404
	Vol. 52#2 (1998) 双子のお母さん		¥1,404
	Vol. 52#3 (1998) CTGに強くなる		¥1,404
	Vol. 52#4 (1998) 証拠にもとづく助産ケア		¥1,404
	Vol. 52#5 (1998) 周産期ケアの地域システム化		¥1,404
	Vol. 52#6 (1998) 基本・周産期の薬剤		¥1,404
	Vol. 52#7 (1998) 切迫早産-最近の治療とケア-		¥1,404
	Vol. 52#8 (1998) こどもの虐待を防ごう		¥1,404
品切	Vol. 52#9 (1998) 母乳育児成功のコンセプト（上）		¥1,404
	Vol. 52#10 (1998) 母乳育児成功のコンセプト（下）		¥1,404
	Vol. 52#11 (1998) フィットネス出産準備教育		¥1,404
	Vol. 52#12 (1998) 必修.周産期の心のケア		¥1,404
	Vol. 53#1 (1999) もっとコミット. 助産婦をめぐる法律と行政		¥1,404

	Vol. 53#2 (1999) 周産期のアロマテラピー		¥1,404
	Vol. 53#3 (1999) 知らないではすまされない不妊治療		¥1,404
	Vol. 53#4 (1999) 助産婦教育．どこで行うかー質と量の確保		¥1,404
	Vol. 53#5 (1999) 出産前診断と助産婦		¥1,404
	Vol. 53#6 (1999) 周産期の「食」		¥1,404
	Vol. 53#7 (1999) 女性HIV感染者を援助する		¥1,404
	Vol. 53#8 (1999) 助産診断名の開発［Ｉ］		¥1,404
	Vol. 53#9 (1999) 第25回ICMマニラ大会		¥1,404
	Vol. 53#10 (1999) 深谷赤十字病院の、これが助産婦の仕事だ		¥1,404
	Vol. 53#11 (1999) ピル解禁．避妊法のエキスパートになろう		¥1,404
	Vol. 53#12 (1999) EBMにもとづく周産期ケア		¥1,404
	Vol. 54#1 (2000) 助産婦たちのグループ・プラクティス		¥1,404
	Vol. 54#2 (2000) 生同一性障害とインターセックス		¥1,404
	Vol. 54#3 (2000) 周産期医療事故－母と子を守る助産婦になる		¥1,404
	Vol. 54#4 (2000) クオリティーの高いマタニティクラス		¥1,404
	Vol. 54#5 (2000) 周産期ホリスティック・ケア		¥1,404
品切	Vol. 54#6 (2000) 国際認定ラクテーション・コンサルタント(IBCLC)による		¥1,404
	Vol. 54#7 (2000) DVは女性の健康問題である		¥1,404
	Vol. 54#8 (2000) どう援助してますか．外国人妊産婦		¥1,404
	Vol. 54#9 (2000) 母性・父性から「育児性」へ		¥1,404
	Vol. 54#10 (2000) どう考える．硬膜外麻酔分娩		¥1,404
	Vol. 54#11 (2000) 周産期クリニカルパス		¥1,404
	Vol. 54#12 (2000) 助産婦の100年－世紀を超えるもの		¥1,404
	Vol. 55#1 (2001) 21世紀のいのち		¥1,404
	Vol. 55#2 (2001) タッチケア(上)		¥1,404
	Vol. 55#3 (2001) タッチケア(下)		¥1,404
	Vol. 55#4 (2001) 出産のヒューマニゼーション ブラジルJICA家族計画母		¥1,404
	Vol. 55#5 (2001) ウィメンズヘルスケア		¥1,404
	Vol. 55#6 (2001) 進化する助産診断		¥1,404
	Vol. 55#7 (2001) 妊娠中毒症		¥1,404
	Vol. 55#8 (2001) 助産婦のになう性教育		¥1,404
	Vol. 55#9 (2001)「三歳児神話」の検証		¥1,404
	Vol. 55#10 (2001) 女性の産む力を引き出すケア		¥1,404
	Vol. 55#11 (2001) 婦人科がん患者のケア		¥1,404
	Vol. 55#12 (2001) 周産期の記録		¥1,404
	Vol. 56#1 (2002) もっともっと助産婦に		¥1,404
	Vol. 56#2 (2002) 生殖補助医療		¥1,404
	Vol. 56#3 (2002) 新生児黄疸．母と子のケア		¥1,404
	Vol. 56#4 (2002) ダイナミック助産婦外来		¥1,404
	Vol. 56#5 (2002) 障害児のノーマライゼーション		¥1,404
	Vol. 56#6 (2002) スタンダードとしての母乳育児を科学的効果的に(上)		¥1,404
	Vol. 56#7 (2002) スタンダードとしての母乳育児を科学的効果的に(下)		¥1,404
	Vol. 56#8 (2002) 第26回ICMウィーン大会		¥1,404
	Vol. 56#9 (2002) 死産・流産のケア		¥1,404
	Vol. 56#10 (2002) 周産期の糖尿病ケア		¥1,404
	Vol. 56#11 (2002) 知っておきたい歯と口の健康		¥1,404
	Vol. 56#12 (2002) 子ども虐待防止支援ネットワーキング		¥1,404
	※Vol. 57#1 (2003)→助産雑誌		
348	**助産師 日本助産師会機関誌（日本助産師会）**		
	Vol. 56#3,4 (2002)	各号	¥1,728
	Vol. 57#1,4 (2003)	各号	¥1,728
	Vol. 58#2-4 (2004)	各号	¥1,728
	Vol. 59-64 (2005-2010) 各1-4号	各号	¥1,728
	Vol. 65#1-4 (2011)	各号	¥1,851

349 助産雑誌（医学書院）

※Vol.1-56 (1947-2002)→助産婦雑誌

Vol. 57#1 (2003) 日本の助産師づくり-最高の助産ケア提供のための	¥1,404
Vol. 57#2 (2003) 精神疾患をもつ女性の周産期ケア	¥1,404
Vol. 57#3 (2003) 中絶のケア	¥1,404
Vol. 57#4 (2003) 周産期のナラティヴ-助産師の語りの世界から	¥1,404
Vol. 57#5 (2003) インターネットが助産を変える	¥1,404
Vol. 57#6 (2003) 「対話」がひらくリスクを超えた関係	¥1,404
Vol. 57#7 (2003) 骨盤位外回転術	¥1,404
Vol. 57#8 (2003) 「成育医療」がめざす周産期ケア	¥1,404
Vol. 57#9 (2003) 妊娠期の新・臨床栄養 成人病は胎児期につくられる	¥1,404
Vol. 57#10 (2003) 「ナラティヴ」を読む	¥1,404
Vol. 57#11 (2003) 分娩監視装置をどう使っていますか？	¥1,404
Vol. 57#12 (2003) 地域と施設を結ぶコラボレーションシステム	¥1,404
Vol. 58#1 (2004) なぜ参加型なのか助産に必要なファシリテーターの	¥1,404
Vol. 58#2 (2004) 知っておきたい「アレルギー」の話	¥1,404
Vol. 58#3 (2004) 「技術教育」のあり方を考える	¥1,404
Vol. 58#4 (2004) 助産師による性教育を実現するために	¥1,404
Vol. 58#5 (2004) 母乳育児成功のための10ヵ条	¥1,404
Vol. 58#6 (2004) 命をめぐる「話し合い」のガイドライン	¥1,404
Vol. 58#7 (2004) 育児グループへの支援と助産師のかかわり	¥1,404
Vol. 58#8 (2004) 混合化する産科病棟 地域格差と時代の要請を超える「	¥1,404
Vol. 58#9 (2004) 理想の分娩第1期のケア	¥1,404
Vol. 58#10 (2004) やっぱり開業助産師になろう!開業への一歩を踏み出	¥1,404
Vol. 58#11 (2004) 妊娠と放射線	¥1,404
Vol. 58#12 (2004) 「転換点」を迎える助産師に送る7のメッセージ	¥1,404
Vol. 59#1 (2005) 集まれ!元気印助産師	¥1,404
Vol. 59#2 (2005) わかること・わからないことの間にある遺伝の話	¥1,404
Vol. 59#3 (2005) 母乳外来からみる“お金とケア”の関係	¥1,404
Vol. 59#4 (2005) 実録!正常出産カンファレンス	¥1,404
Vol. 59#5 (2005) 産後のかかわりもっと気にしませんか?	¥1,404
Vol. 59#6 (2005) 「陣痛」と「麻酔」	¥1,404
Vol. 59#7 (2005) 緊急帝王切開,事前・事後にできること	¥1,404
Vol. 59#8 (2005) 現場の疑問に答えますアロマ実践のための「あれ」「こ	¥1,404
Vol. 59#9 (2005) 胎児の心地よい環境に必要なこと妊娠と高血圧のメカ	¥1,404
Vol. 59#10 (2005) 当事者に学ぶ不妊治療を受ける人々の声	¥1,404
Vol. 59#11 (2005) 食事指導に加えたいスローフードの視点	¥1,404
Vol. 59#12 (2005) 第27回ICMブリスベン大会レポート	¥1,404
Vol. 60#1 (2006) 病院でできる，産婦にやさしい分娩体位	¥1,404
Vol. 60#2 (2006) チームで育つ助産のチカラ	¥1,404
Vol. 60#3 (2006) 障害のある子どもの母親を支える	¥1,404
Vol. 60#4 (2006) 満足で安全なお産 「院内助産院」をめざそう	¥1,404
Vol. 60#5 (2006) 助産ケアで大活躍の自然療法	¥1,404
Vol. 60#6 (2006) 母乳育児支援の基本のき	¥1,404
Vol. 60#7 (2006) 海外を通して見る，日本の産科の医療安全	¥1,404
Vol. 60#8 (2006) 診療所に助産師を	¥1,404
Vol. 60#9 (2006) 開業助産院からの報告　わたしが実践する，助産ケア	¥1,404
Vol. 60#10 (2006) 助産師とメンタルヘルス	¥1,404
Vol. 60#11 (2006) 周産期に子どもを亡くした家族に寄り添う	¥1,404
Vol. 60#12 (2006) 助産を学ぶということ	¥1,404
Vol. 61#1 (2007) 産科閉鎖の危機に際してすべきこと　助産師の力でお	¥1,404
Vol. 61#2 (2007) 新生児の蘇生 アメリカNRP2006ガイドラインの紹介	¥1,404
Vol. 61#3 (2007) お腹の「張り」に強くなる	¥1,404
Vol. 61#4 (2007) 参加型マタニティクラスのつくり方	¥1,404
Vol. 61#5 (2007) ケースレポートで学ぶ母乳育児支援	¥1,404
Vol. 61#6 (2007) モデル事例で学ぶ「根拠にもとづく助産ケア」の進め方	¥1,404
Vol. 61#7 (2007) 周産期のアロマテラピー基本のき	¥1,404

Vol. 61#8 (2007) 分娩進行のアセスメント	¥1,404
Vol. 61#9 (2007) 助産倫理とは何か	¥1,404
Vol. 61#10 (2007) エビデンスと楽しさを両立させよう 妊産婦への食育指	¥1,404
Vol. 61#11 (2007) 周産期の「うつ」への対応法	¥1,404
Vol. 61#12 (2007) 助産師外来解説のストラテジー	¥1,404
Vol. 62#1 (2008) 医師・勤務助産師・開業助産師の理想的な「連携」を求	¥1,404
Vol. 62#2 (2008) 妊婦が主体的に産むということ 助産外来のかかわり	¥1,404
Vol. 62#3 (2008) 実践！助産外来 いつ、何をすれば、「大丈夫！」と言	¥1,404
Vol. 62#4 (2008) 糖代謝異常のサインをどうキャッチするか	¥1,404
Vol. 62#5 (2008) 私のキャリアデザイン 語ることでみえてくるもの	¥1,404
Vol. 62#6 (2008) 母乳育児支援のニュー・トレンド	¥1,404
Vol. 62#7 (2008) 助産実習が好きになる	¥1,404
Vol. 62#8 (2008) 助産師が伝える性教育	¥1,404
Vol. 62#9 (2008) 産後も頼られる助産師になろう	¥1,404
Vol. 62#10 (2008) 誕生の環境 豊かな出産経験がもたらすもの/ICMグラ	¥1,404
Vol. 62#11 (2008) このCTGをどう読むか	¥1,404
Vol. 62#12 (2008) あらためて出産前診断を勉強してみませんか	¥1,404
Vol. 63#1 (2009) いいお産・再考	¥1,404
Vol. 63#2 (2009) 周産期からの子どもの虐待予防	¥1,404
Vol. 63#3 (2009) 災害時の母子支援を考える	¥1,404
Vol. 63#4 (2009) わかる！ フリースタイル分娩の介助技術	¥1,404
Vol. 63#5 (2009) 救急搬送 助産師のスキルと施設間連携のポイントとは	¥1,404
Vol. 63#6 (2009) 妊産婦の身体づくり	¥1,404
Vol. 63#7 (2009) ケースレポートで学ぶ乳腺炎への対応	¥1,404
Vol. 63#8 (2009) 女性の排泄ケア	¥1,404
Vol. 63#9 (2009) 助産師を続ける・もう一度はじめる	¥1,404
Vol. 63#10 (2009) 産む力を育てる周産期のアロマテラピー	¥1,404
Vol. 63#11 (2009) 産科の医療安全と助産師	¥1,404
Vol. 63#12 (2009) 早期退院時代の黄疸管理	¥1,404
Vol. 64#1 (2010) 先輩が語る　私が歩んできた道	¥1,404
Vol. 64#2 (2010) 行動変容をうながす！食事指導のアプローチ	¥1,404
Vol. 64#3 (2010) NICUで働くということ	¥1,404
Vol. 64#4 (2010) 産後早期退院と地域における母子の支援	¥1,404
Vol. 64#5 (2010) 多問題家族の妊娠・出産・子育てに寄り添う	¥1,404
Vol. 64#6 (2010) 離島・へき地のお産を支援する	¥1,404
Vol. 64#7 (2010) 産科におけるアメニティ	¥1,404
Vol. 64#8 (2010) 周産期救急の人材を育成する	¥1,404
Vol. 64#9 (2010) 女性の健康と暴力	¥1,404
Vol. 64#10 (2010) 母性・父性をはぐくむ	¥1,404
Vol. 64#11 (2010) 母乳育児を成功に導くために	¥1,404
Vol. 64#12 (2010) 大学院で助産を学ぼう	¥1,404
Vol. 65#1 (2011) 分娩時出血への対応	¥1,404
Vol. 65#2 (2011) 分娩時の胎児心拍数モニタリングをマスターしよう	¥1,404
Vol. 65#3 (2011) 助産外来のための超音波検査の基本のき	¥1,404
Vol. 65#4 (2011) 女性の健康と性を考える―緊急避妊の基礎知識	¥1,404
Vol. 65#5 (2011) 硬膜外麻酔分娩について知ろう	¥1,404
Vol. 65#6 (2011) お産の痛みのケア	¥1,404
Vol. 65#7 (2011) 予防接種について，いま知っておきたいこと	¥1,404
Vol. 65#8 (2011) 妊娠と糖尿病	¥1,404
Vol. 65#9 (2011) 現場からの変革	¥1,404
Vol. 65#10 (2011) 女性と乳がん ブレスト・アウェアネスを助産実践に活	¥1,404
Vol. 65#11 (2011) ICM大会2011レポート/母子の健康と環境影響	¥1,404
Vol. 65#12 (2011) 感染対策どうしていますか	¥1,404
Vol. 66#1 (2012) 入院の短期化に伴う母乳育児支援	¥1,404
Vol. 66#2 (2012) 分娩時の"いきみ"について考える	¥1,404
Vol. 66#3 (2012) 周産期ハイリスクケアの構築	¥1,404
Vol. 66#4 (2012) 働くお母さんの妊娠・出産・母乳育児を支援する	¥1,404

	Vol. 66#5 (2012) 正しい情報を得て、続けよう 出生直後のカンガルーケ	¥1,404
	Vol. 66#6 (2012) 東日本大震災の記録	¥1,404
	Vol. 66#7 (2012) 助産師と会陰裂傷縫合	¥1,404
	Vol. 66#8 (2012) 混合病棟でもモチベーションを保つ!	¥1,404
	Vol. 66#9 (2012) 事例検討から学び,活かす	¥1,404
	Vol. 66#10 (2012) 不育症を知る	¥1,404
	Vol. 66#11 (2012)「冷え」と妊娠・出産	¥1,404
	Vol. 66#12 (2012) 分娩中のもしもに備える	¥1,404
	Vol. 67#1 (2013) 母乳育児推進の「壁」とその解決方法	¥1,404
	Vol. 67#2 (2013) 開業助産師を応援したい!	¥1,404
	Vol. 67#3 (2013) 助産師と産科医師の“ちょっといい関係″	¥1,404
	Vol. 67#4 (2013) “なんだか気になる妊婦さん″への対応	¥1,404
	Vol. 67#5 (2013) 女性と出生前診断 助産師の役割	¥1,404
	Vol. 67#6 (2013) 予防接種の最新知識2013	¥1,404
	Vol. 67#7 (2013) いま知りたい!母子感染対策 トキソプラズマ,サイトメガロ	¥1,404
	Vol. 67#8 (2013) 実習，どうしていますか？ 臨床・教育それぞれの立場	¥1,404
	Vol. 67#9 (2013) 高齢期妊娠・出産を支える	¥1,404
	Vol. 67#10 (2013) 産後ケアを始めましょう	¥1,404
	Vol. 67#11 (2013) 懸賞論文「私を変えたお産」受賞作発表	¥1,404
	Vol. 67#12 (2013) 産科超音波をよんでみよう	¥1,404
	Vol. 68#1 (2014) HTLV-1と母乳育児	¥1,512
	Vol. 68#2 (2014) 帝王切開のお産をケアしよう	¥1,512
	Vol. 68#3 (2014) 助産ケアって，やっぱりすごい！	¥1,512
	Vol. 68#4 (2014) 多胎の支援－妊娠中から育児まで	¥1,512
	Vol. 68#5 (2014) 科学的根拠からみなおす助産技術	¥1,512
	Vol. 68#6 (2014) 母乳不足と補足を考える	¥1,512
	Vol. 68#7 (2014) タッチケアの新たな時代	¥1,512
	Vol. 68#8 (2014) 知っておきたい，新生児・乳児のこと－病気の不安から	¥1,512
	Vol. 68#9 (2014) お父さんの「父親力」を高める	¥1,512
	Vol. 68#10 (2014) コミュニケーション術をみがいて，いいお産をめざす	¥1,512
	Vol. 68#11 (2014)『産婦人科診療ガイドライン-産科編2014』の改訂ポイ	¥1,512
	Vol. 68#12 (2014) キャリアを積むということ-助産師としての私の働き方	¥1,512
	Vol. 69#1 (2015) 少子化,分娩施設の集約,就業場所の偏在etc.から 助	¥1,512
	Vol. 69#2 (2015) 助産師がしっかり実施したい　新生児蘇生法（NCPR）	¥1,512
	Vol. 69#3 (2015) ペリネイタル・ロスのケアを考える	¥1,512
	Vol. 69#4 (2015) 産婦の身体の声をきく　アセスメント能力を高めよう	¥1,512
	Vol. 69#5 (2015) 女性が主体的に産むための助産ケア	¥1,512
品切	Vol. 69#6 (2015) 地域でつくる妊娠から育児までの切れ目ない支援　今	¥1,512
	Vol. 69#7 (2015) 助産師が専門職としてかかわるべき母乳育児支援 「寄	¥1,512
	Vol. 69#8 (2015) 妊娠高血圧症候群2015　知識と支援をアップデートしよ	¥1,512
	Vol. 69#9 (2015) 効果的な実習指導をしよう！―学校とともに学生を支援	¥1,512
	Vol. 69#10 (2015)「特定妊婦」にどうかかわる？―助産師ができる支援と	¥1,512
	Vol. 69#11 (2015) 新しい視点で保健指導を変えよう！	¥1,512
	Vol. 69#12 (2015) バースレビューの心得	
	Vol. 70#1 (2016) 70巻記念号 『助産雑誌』と私の歩み	¥1,512
	Vol. 70#2 (2016) 新生児の疾患とその徴候―見逃してはいけない異常徴	¥1,512
	Vol. 70#3 (2016) 遺伝カウンセラーとは異なる　出生前検査における助産	¥1,512
	Vol. 70#4 (2016) 制度の根底にあるもの・期待されること　アドバンス助産	¥1,512
	Vol. 70#5 (2016) 胎児心拍数モニタリングを極める 見逃してはいけない	¥1,512
	Vol. 70#6 (2016) 次世代につなげる妊婦の栄養指導　厳しい体重増加制	¥1,512

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

350	**女性心身医学（日本女性心身医学会）**		
	Vol. 5-7 (2000-2002) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 8#1-3 (2003)	各号	¥4,320
	Vol. 12#3 (2007)		¥4,320
	Vol. 13#3 (2008)		¥4,320
	Vol. 14#1-3 (2009)	各号	¥4,320
	Vol. 15#1 (2010)		¥4,320
351	**JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌（日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会）**		
	Vol. 39#1-3 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 40#1 (2015)	各号	¥3,240
	Vol. 41#1-4 (2016)	各号	¥3,240
352	**Journal of Biochemistry（日本生化学会）**		
	Vol. 117-150 (1995-2011) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 151-154 (2012-2013) 各1-6号	各号	¥5,400
353	**Journal of Bone and Mineral Metabolism（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 6#1-3 (1988)	各号	¥4,320
	Vol. 7#1-3 (1989)	各号	¥4,320
	Vol. 8#1-2 (1990)	各号	¥4,320
	Vol. 9#1-3,supplement (1991)	各号	¥4,320
	Vol. 10#1-2 (1992)	各号	¥4,320
	Vol. 11#supplement 1 (1993)		¥4,320
	Vol. 11#1/supplement 2 (1993)		¥4,320
	Vol. 11#2/supplement 3 (1993)		¥4,320
	Vol. 12#supplement 1 (1994)		¥4,320
	Vol. 12#1 (1994)		¥4,320
	Vol. 12#2/supplement 2 (1994)		¥4,320
	Vol. 13#1-2 (1995)	各号	¥4,320
	Vol. 14-17 (1996-1999) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 18-31 (2000-2013) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 23#supplement (2005)		¥4,320
354	**Journal of Brain Science 日本脳科学会会誌（日本脳科学会）**		
	Vol. 1-5 (1975-1979/1980) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-3,Supplement1 (1980)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1-3,Supplement2 (1981)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-3,Supplement3 (1982)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1-3,Supplement5,Supplement6 (1983)	各号	¥2,160
	Vol. 10#1-2,Supplement7,Supplement8 (1984)	各号	¥2,160
	Vol. 11-17 (1985-1991) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 18#1-4,Supplement,Supplement2 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1-4,Supplement1 (1993)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1-4,Supplement (1994)	各号	¥2,160
355	**Journal of Clinical Rehabilitation クリニカルリハビリテーション（医歯薬出版）**		
	Vol. 1#4 (1992)		¥2,160
	Vol. 3-13 (1994-2004) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 14-17 (2005-2008) 各1-12号	各号	¥2,268
	Vol. 18-19 (2009-2010) 各1-12号	各号	¥2,376
	Vol. 20#3 (2011)		¥2,376
	別冊 (1994-2004) →お問い合わせ下さい。		

356	**Journal of General and Applied Microbiology（応用微生物学研究奨励会）**		
	Vol. 1-6 (1954/1960) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 7#1-4,Supplement (1961)	各号	¥2,160
	Vol. 8-10 (1962-1964) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 11#1-4,Supplement (1965)	各号	¥2,160
	Vol. 12-15 (1966-1969) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 16-52 (1970-2006) 各1-6号	各号	¥2,160
357	**Journal of Health Science (Pharmaceutical Society of Japan 日本薬学会)**		
	Vol. 45-55 (1999-2009) 各1-6号	各号	¥2,376
358	**Journal of Insect Biotechnology and Sericology (Japanese Society of Sericultural Science)**		
	Vol. 70#1-3 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 71#1-3 (2002)	各号	¥2,160
359	**Journal of Mammalian Ova Research (哺乳動物卵子学会)**		
	Vol. 12-14 (1995-1997) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 15-20 (1998-2003) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 21-28 (2004-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
360	**Journal of Natural Disaster Science (日本自然災害学会)**		
	Vol. 20-30 (1998-2009) 各1-2号	各号	¥3,240
361	**Journal of Neurosciences for Pain Research (痛みの神経科学研究会)**		
	Vol. 2-8 (2000-2006) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 9 (2007)		¥3,240
362	**Journal of Occupational Health (産業衛生学会)**		
	Vol. 38-41 (1996-1999) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 42-53 (2000-2011) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 54#1 (2012)		¥2,160
	Vol. 55-56 (2013-2014) 各1-6号	各号	¥2,160
363	**Journal of Oceanography (日本海洋学会)**		
	Vol. 17-19 (1961-1963/64) 各1-4号	各号	¥6,480
	Vol. 20-27 (1964/65-1971) 各1-6号	各号	¥6,480
	Vol. 48#1-4 (1992)	各号	¥6,480
	Vol. 49-64 (1993-2008) 各1-6号	各号	¥6,480
	Vol. 65#1,2 (2009)		¥6,480
364	**Journal of Oral Biosciences (歯科基礎医学会)**		
	Vol. 46#1-6 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 47-53 (2005-2011) 各1-4号,supplement	各号	¥2,700
365	**Journal of Oral Science (Nihon University School of Dentistry)**		
	Vol. 40-47 (1998-2005) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 48#1-3 (2006)	各号	¥2,160
366	**Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (日本体力医学会)**		
	Vol. 1-2 (2012-2013) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 3#1-5 (2014)	各号	¥2,700
	Vol. 4#1-4 (2015)	各号	¥2,700
367	**Journal of Physical Therapy Science (理学療法科学学会)**		
	Vol. 7#1 (1995)		¥2,700
	Vol. 8-18 (1996-2006) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 19#1-4 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,700

368	**Journal of Radiation Research (日本放射線影響学会)**		
	Vol. 48#1-6,SupplementA (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 49#2-6 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 50#1-6,SupplementA (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 51#1-6 (2010)	各号	¥3,240
369	**Journal of Reproduction and Development (日本繁殖生物学会)**		
	Vol. 50#1-6 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 51#1-6 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 52#1-6, Supplement August (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 53#1-6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 54#1-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 55#1-6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 56#1-6, Suppl January, Suppl August (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 57#1-6, Suppl August (2011)	各号	¥2,160
370	**Journal of Rural Medicine : JRM (Japanese Association of Rural Medicine 日本農村医学会)**		
	Vol. 1#1,2 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1,2 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1,2 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1,2 (2008)	各号	¥2,160
371	**Journal of Signal Processing : 信号処理 (信号処理研究会)**		
	Vol. 1-9 (1997-2005) 各1-6号	各号	¥1,620
	Vol. 10#1,2 (2006)	各号	¥1,620
372	**Journal of Spine Research (日本脊椎脊髄病学会)**		
	Vol. 1#1,2,6 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 1#3,4,8 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 2#2,3 (2011)	各号	¥4,320
	Vol. 2#4-10,12 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1,2,5-12 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1,2,4-12 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 4#3 (2013)		¥4,320
	Vol. 5#1,2,4-12 (2014)	各号	¥2,160
	Vol. 5#3 (2014)		¥4,320
	Vol. 6#1,2,4-12 (2015)		¥2,160
	Vol. 6#3 (2015)		¥4,320
	Vol. 7#1,2,4-10 (2016)		¥2,160
	Vol. 7#3 (2016)		¥4,320
373	**Journal of The Ceramic Society of Japan (日本セラミックス協会)**		
	Vol. 114#1328-1336 (2006)	各号	¥3,087
	Vol. 115#1337-1348 (2007)	各号	¥3,087
	Vol. 116#1349-1360 (2008)	各号	¥3,087
	Vol. 117#1361-1372 (2009)	各号	¥3,087
	Vol. 118#1373-1375,1377-1384 (2010)	各号	¥3,087
	Vol. 119#1385-1389 (2011)	各号	¥3,087
374	**Journal of the Japanese Society for Horticultural Science (園芸学会)**		
	Vol. 76-80 (2007-2011) 各1-4号	各号	¥4,320
375	**Journal of the Japanese Society of Computational Statistics (日本計算機統計学会)**		
	Vol. 8-24 (1995-2011) 各No.1	各号	¥2,700
	Vol. 15#2 Special Issue (2003)		¥2,700

376	**Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan (無機マテリアル学会)**		
	Vol. 13#323 (2000)		¥1,620
	Vol. 14#327,331 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 15#333-337 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 16#338-343 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 17#344-349 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 18#350-352 (2011)	各号	¥1,620
377	**Journal of Veterinary Medical Science (日本獣医学会)**		
	Vol. 57#1-6 (1995)	各号	¥1,620
	Vol. 58-66 (1996-2004) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 67#1-12 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 68#5,7,9 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 69#4,5,7-12 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 70#1-12 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 71#1-6,11-12 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 72#1-8,11 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 73#1-12 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 74#1-12 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 75#1,2 (2013)	各号	¥2,160
378	**JSES 内視鏡外科 (医学書院)**		
	Vol. 1#1 (1996) 大腸癌に対する腹腔鏡下手術のcontroversy		¥2,916
	Vol. 1#2 (1996) 腹腔鏡下手術-肺癌手術のフロンティア		¥2,916
	Vol. 1#3 (1996) 腹腔鏡下手術における腹壁吊り上げ法		¥2,916
	Vol. 1#4 (1996) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術		¥2,916
	Vol. 1#5 (1996) 内視鏡下食道手術 胸腔鏡下縦隔腫瘍摘除術		¥2,916
	Vol. 1#6 (1996) 腹腔鏡下虫垂炎手術 産婦人腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 2#1 (1997) 腹腔鏡下胃癌手術をめぐるcontroversy		¥2,916
	Vol. 2#2 (1997) 直腸病変に対するEMRおよびTEM		¥2,916
	Vol. 2#3 (1997) 肺気腫・肺嚢胞に対する腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 2#4 (1997) 小児における腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 2#5 (1997) 肝疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 2#6 (1997) 腹部急性疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 3#1 (1998) 整形外科領域における内視鏡下手術		¥2,916
	Vol. 3#2 (1998) 腹腔鏡下脾臓摘出術の適応と工夫		¥2,916
	Vol. 3#3 (1998) 形成外科領域における内視鏡下手術		¥2,916
	Vol. 3#4 (1998) 心臓血管外科領域における内視鏡下手術		¥2,916
	Vol. 3#5 (1998) 総胆管結石に対する腹腔鏡下手術		¥2,916
	Vol. 3#6 (1998) 胸腔鏡・腹腔鏡による新しい診断へのアプローチ		¥2,916
	※Vol.4#1 (1999)→日本内視鏡外科学会雑誌		
379	**循環器科 Cardioangiology (科学評論社)**		
	Vol. 48#1 (2000)		¥2,916
	Vol. 49#3 (2001)		¥2,916
	Vol. 50#2,4-6 (2001)	各号	¥2,916
	Vol. 51-52 (2002) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 53#1-3,5,6 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 54#1-6 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 55#5,6 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 56-60 (2004-2006)	各号	¥2,916
	Vol. 61#1,2,4-6 (2007)	各号	¥2,916
	Vol. 62-66 (2007-2009) 各1-6号	各号	¥2,916
380	**循環器内科 (科学評論社)**		
	Vol. 62-70 (2010-2011) 各1-6号	各巻	¥2,916

381	**Jurist ジュリスト（有斐閣）**		
	No. 1099-1448 (1996-2012)		
	※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。		
382	**JWE 日本風工学会誌 日本風工学会論文集（日本風工学会）**		
	Vol. 24#78,80 (1999)	各号	¥3,240
	Vol. 25#84,85 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 26#86-30#105 (2001-2005)	各号	¥3,240
	Vol. 31#106,107,109 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 32#110-33#117 (2007-2008)	各号	¥3,240
383	**科学（岩波書店）**		
	Vol. 2#1-3,5,11 (1932)	各号	¥1,440
	Vol. 8#1-14 (1938)	各号	¥1,440
	Vol. 14#1,2,5,7 (1944)	各号	¥1,440
	Vol. 16#6 (1946)		¥1,440
	Vol. 31-32 (1961-1962) 各1-12号	各号	¥1,440
	Vol. 34#2 (1964)		¥1,440
	Vol. 35#1-3,5-12 (1965)	各号	¥1,440
	Vol. 37-82 (1967-2012) 各1-12号	各号	¥1,440
	Vol. 83#1,3 (2013)	各号	¥1,440
384	**科学基礎論研究（科学基礎論学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1954/1955)	各号	¥864
	Vol. 2#5-8 (1955/1956)	各号	¥864
	Vol. 3#9-12 (1956/1957)	各号	¥864
	Vol. 4#13-15 (1958/1960)	各号	¥864
	Vol. 5#16-19 (19601962)	各号	¥864
	Vol. 6#20-22 (1962/1964)	各号	¥864
	Vol. 8#28-31 (1966/1968)	各号	¥864
	Vol. 7#24-27 (1964/1966)	各号	¥864
	Vol. 9#32-35 (1968-1970)	各号	¥864
	Vol. 10#36-39 (1970/1972)	各号	¥864
	Vol. 11#40-43 (1972/1974)	各号	¥864
	Vol. 12#44-15#59 (1974-1982)	各号	¥864
	Vol. 16#60 (1982)		¥1,728
	Vol. 16#61-18#70 (1982/1984-1988)	各号	¥864
	Vol. 19#72 (1988/1990)		¥864
	Vol. 20#75,76,78 (1990/1992)	各号	¥864
	Vol. 21#79 (1992)		¥864
	Vol. 22#83-23#86 (1994-1996)	各号	¥864
	Vol. 25#89-90 (1997-1998)	各号	¥864
	Vol. 27#93-94 (1999-2000)	各号	¥864
385	**化学工学 Chemical Engineering（化学機械協会）**		
	Vol. 64-69 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,890
386	**化学光学論文集（化学工学協会）**		
	Vol. 26-27 (2000-2001) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 28#1-3 (2002)	各号	¥4,320
	Vol. 29-31 (2003-2008) 各1-6号	各号	¥4,320

387	**科学教育研究（日本科学教育学会）**		
	Vol. 14#3,4 (1990)	各号	¥2,700
	Vol. 15-18 (1991-1994) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 19-22 (1995-1998) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-5 (1999)	各号	¥3,240
	Vol. 24#1-4; 25#1-5 (2000-2001)	各号	¥3,240
	Vol. 26-30 (2002-2006) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 31#1-4; 32#1-3; 33#1-4 (2007-2009)	各号	¥3,240
388	**化学療法の領域 Antibiotics & Chemotherapy**		
	Vol. 16-23 (2000-2007) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 24#1-12 (2008)	各号	¥2,484
	Vol. 25#1-12 (2009)	各号	¥2,484
	Vol. 16#増刊号-25#増刊号 (2000-2009)	各号	¥3,996
389	**科学史研究 Journal of History of Science, Japan（日本科学史学会）**		
	No. 1-60 (1941-1961)	各号	¥1,440
	No. 61-189,191,193-195,197-214 (1962-2000)	各号	¥1,440
	No. 243-248,252-264 (2007-2012)	各号	¥1,440
390	**化学と工業（日本化学会）**		
	Vol. 63-65 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 66#1,2 (2013)	各号	¥2,160
391	**化学と生物（日本農芸化学会）**		
	Vol. 38-42 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 43#1-12 (2005)	各号	¥1,080
	Vol. 44#1-4,6-11 (2006)	各号	¥1,080
	Vol. 46#1-12 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 47#1-12 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 48#1,3-12 (2010)	各号	¥1,080
	Vol. 49#1-10,12 (2011)	各号	¥1,080
	Vol. 50#1,2,4-12 (2012)	各号	¥1,080

392	**解剖学雑誌（日本解剖学会）**		
	Vol. 1#1/4 (1928/1929) 製本		¥30,240
	Vol. 2#1/6 (1929/1930) 製本		¥36,720
	Vol. 3#1/12 (1930/1931) 製本		¥56,160
	Vol. 4#1/12 (1931/1932) 製本		¥63,720
	Vol. 5#1/12 (1932/1933) 製本		¥55,080
	Vol. 6#1/12 (1933/1934) 製本		¥49,680
	Vol. 7#1/12 (1934/1935) 製本		¥60,480
	Vol. 8#1/12 (1935/1936) 製本		¥70,200
	Vol. 9#1/12 (1936/1937) 製本		¥58,320
	Vol. 10#1/9 (1937) 製本		¥36,720
	Vol. 11#1/6 (1938) 製本		¥21,600
	Vol. 12#1/6 (1938) 製本		¥30,240
	Vol. 13#1/6 (1939) 製本		¥43,200
	Vol. 14#1/6 (1939) 製本		¥36,720
	Vol. 15#1/6 (1940) 製本		¥20,520
	Vol. 16#1/6 (1940) 製本		¥14,040
	Vol. 17#1/6 (1941) 製本		¥21,600
	Vol. 18#1/6 (1941) 製本		¥18,360
	Vol. 19#1/6 (1942) 製本		¥19,440
	Vol. 20#1/6 (1942) 製本		¥19,440
	Vol. 21#1/12 (1943) 製本		¥31,320
	Vol. 22#1/8 (1944) 製本		¥19,440
	Vol. 23-27 (1946-1952) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 28#1-6 (1953)	各号	¥2,700
	Vol. 29#1-4 (1954)	各号	¥2,700
	Vol. 30-76 (1955-2001)　各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 77#1-4,supplement (2002)	各号	¥2,700
	Vol. 78-80 (2003-2005)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 81-87 (2006-2012)　各1-4号,supplement	各号	¥2,700
	Vol. 88#1/2,3,4 (2013)	各号	¥2,700
	Vol. 89#1/2,3,4 (2014)	各号	¥2,700
	Vol. 90#1/2,3,4,supplement (2015)	各号	¥2,700
	Vol. 91#1/2,3,4,supplement (2016)	各号	¥2,700
	Vol. 92 (2017)		¥2,700
393	**海岸（全国海岸協会）**		
	No. 26,31 (1986-1991)	各号	¥2,052
	Vol. 31-42 (1991-2002) 各1-2号	各号	¥2,052
394	**会計・監査ジャーナル（日本公認会計士協会）**		
	Vol. 24#1-12 (2012)	各号	¥1,697
	Vol. 25#1-10 (2013)	各号	¥1,697
395	**海洋地質（海洋地質研究会）**		
	Vol. 1-8 (1962/63-1972) 各1-2号	各号	¥2,160
396	**核医学（日本核医学会）**		
	Vol. 42#4 (2005)		¥1,944
	Vol. 43#1,4 (2006)	各号	¥1,944
	Vol. 44-45 (2007-2008) 各1-4号	各号	¥1,944
	Vol. 46#2-4 (2009): 47#1 (2010); 48#4 (2011); 49#1-4 (2012)	各号	¥1,944
	Vol. 49-50 (2012-2013) 各1-4号	各号	¥1,944
397	**神奈川母性衛生学会誌 Kanagawa Journal of Maternal Health（神奈川母性衛生学会）**		
	Vol. 2-7 (1999-2004) 各1号	各号	¥3,240
398	**神奈川県温泉地学研究所報告**		
	Vol. 24-26,29-31,33-36,39-41 (1992/93-2009)	各号	¥3,240

399	**神奈川県精神医学会誌（神奈川県精神医学会）**		
	No. 45-52 (1995-2002)	各号	¥2,160
400	**神奈川整形災害外科医会雑誌（神奈川整形災害外科医会）**		
	Vol. 8-14 (1995-2001) 各1-5号	各号	¥1,620
	Vol. 15#1,2,4 (2002)	各号	¥1,620
	Vol. 16#2-5 (2003)	各号	¥1,620
	Vol. 17#1-5 (2004)	各号	¥1,620
	Vol. 18#1-5 (2005)	各号	¥1,620
	Vol. 19#1-4 (2006)	各号	¥1,620
401	**環動昆（日本環境動物昆虫学会）**		
	Vol. 2-3 (1990-1991) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 4-9 (1992-1998) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1/2,3,4 (1999)	各号	¥2,160
	Vol. 11-18 (2000-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 19#1,2,3/4 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1-4 (2009)	各号	¥2,160

402　看護（日本看護協会出版会）

Vol. 2#4,8 (1950)	各号	¥1,188
Vol. 3-11 (1951-1959) 各1-12号	各号	¥1,188
Vol. 12#1-13 (1960)	各号	¥1,188
Vol. 13#1-12 (1961)	各号	¥1,188
Vol. 14#2,9 (1962)	各号	¥1,188
Vol. 15#8-12 (1963)	各号	¥1,188
Vol. 16#1,2,4-11 (1964)	各号	¥1,188
Vol. 17-42 (1965-1990) 各1-14号	各号	¥1,188
Vol. 43#1-14 (1991)	各号	¥1,188
Vol. 44#1-14 (1992)	各号	¥1,188
Vol. 45#1-15 (1993)	各号	¥1,188
Vol. 46#1-3,5-15 (1994)	各号	¥1,188
Vol. 46#4 (1994)		¥1,620
Vol. 47#1-3,5-15 (1995)	各号	¥1,188
Vol. 47#4 (1995)		¥1,620
Vol. 48#1-3,5-15 (1996)	各号	¥1,188
Vol. 48#4 (1996)		¥1,620
Vol. 49#1 (1997) 看護職能団体の可能性を探る		¥1,188
Vol. 49#2 (1997) 准看護婦問題に決着！		¥1,188
Vol. 49#3 (1997) ジョイス・クリフォード-世界最高の看護部組織を..		¥1,188
Vol. 49#4 (1997) 第27回日本看護学会特別講演・シンポジウム集録		¥1,620
Vol. 49#5 (1997) 4月の職場をどう過ごすか		¥1,188
Vol. 49#6 (1997) [1]看護サービスを拡充させる診療報酬活用		¥1,188
Vol. 49#7 (1997) 改革の時を迎えた看護制度		¥1,188
Vol. 49#8 (1997) 訪問看護ステーションの現状と課題		¥1,188
Vol. 49#9 (1997) 認定看護師誕生！		¥1,188
Vol. 49#10 (1997) 看護の第三者評価と質改善		¥1,188
Vol. 49#11 (1997) 第21回ICN大会リポート		¥1,188
Vol. 49#12 (1997) 早期退院を可能にするケアシステム		¥1,188
Vol. 49#13 (1997) 臨床実践能力の評価と適用		¥1,188
Vol. 49#14 (1997) 病院看護部の未来		¥1,188
Vol. 49#15 (1997) ケアマネジメントへの取り組み		¥1,620
Vol. 50#1 (1998) 看護管理者が取り組むべき課題		¥1,188
Vol. 50#2 (1998) 第三者評価による質改善		¥1,188
Vol. 50#3 (1998)「患者中心のケア」の新しい試み		¥1,188
Vol. 50#4 (1998) 第28回日本看護学会特別講座・シンポジウム		¥1,620
Vol. 50#5 (1998) 入院期間短縮への取り組み		¥1,188
Vol. 50#6 (1998) Q&A看護職が知っておくべき介護保険法チェック		¥1,188
Vol. 50#7 (1998) 専門看護師たちの事例報告		¥1,188
Vol. 50#8 (1998) 外来におけるプライマリー・ナーシング		¥1,188
Vol. 50#9 (1998) 創刊50周年記念企画 看護の価値が問われ..		¥1,188
Vol. 50#10 (1998) 選択の時代を迎えた交代制勤務		¥1,188
Vol. 50#11 (1998) 部門間の「壁」を破る		¥1,188
Vol. 50#12 (1998) 驚かされる「ケアのタペストリー」		¥1,188
Vol. 50#13 (1998) 世界の看護職規定法		¥1,188
Vol. 50#14 (1998) 看護を改善する第三者評価		¥1,188
Vol. 50#15 (1998) 看護教育の質を問う		¥1,188
Vol. 51#1 (1999) 未来を切り開くリーダーシップ		¥1,080
Vol. 51#2 (1999) 倫理的感受性		¥1,080
Vol. 51#3 (1999) 増加する緩和ケア病棟		¥1,080
Vol. 51#4 (1999) 臨時増刊号 第29回学会特別講演・シンポジウム集録		¥1,620
Vol. 51#5 (1999) 看護を「語る」ことの力		¥1,080
Vol. 51#6 (1999) 看護職の政治的戦略		¥1,080
Vol. 51#7 (1999) 臨時増刊号 「ライフサポート」の世界		¥1,080

Vol. 51#8 (1999) 脚光をあびるグループホームケア	¥1,080
Vol. 51#9 (1999) 抑制廃止に向けて/平成11年度通常総会レポート	¥1,080
Vol. 51#10 (1999) リスク・マネジメント	¥1,080
Vol. 51#11 (1999) 看護の未来へ	¥1,080
Vol. 51#12 (1999) 看護職の社会経済福祉に関する指針 医療事故編	¥1,080
Vol. 51#13 (1999) 「診療情報開示」はなぜ大切か？	¥1,080
Vol. 51#14 (1999) 臨時増刊号 「抑制廃止」をめぐる神話と真実	¥1,080
Vol. 51#15 (1999) 「医学」の進歩と「看護」の変化	¥1,080
Vol. 52#1 (2000) ''ケアの標準化''の時代	¥1,080
Vol. 52#2 (2000) 根拠に基づいた看護とは？	¥1,080
Vol. 52#3 (2000) 「看護必要度」の意味	¥1,080
Vol. 52#4 (2000) 臨時増刊号 第30回日本看護学会	¥1,620
Vol. 52#5 (2000) 生涯学習 自らが選び取る「資質向上」	¥1,080
Vol. 52#6 (2000) もう一つのリスクマネジメント	¥1,080
Vol. 52#7 (2000) 臨時増刊号 看護記録のゆくえ	¥1,080
Vol. 52#8 (2000) 認定看護師導入の効果 現場の何が変わったか	¥1,080
Vol. 52#9 (2000) 施設内結核対策Q&A	¥1,080
Vol. 52#10 (2000) ''患者満足''を追求する看護部	¥1,080
Vol. 52#11 (2000) ベットサイドにおける情報収集の極意	¥1,080
Vol. 52#12 (2000) ナーシング・マインドを活かす広がる看護職の活躍の	¥1,080
Vol. 52#13 (2000) リスクマネージャー活動報告	¥1,080
Vol. 52#14 (2000) 臨時増刊号 診療報酬を使いこなす	¥1,080
Vol. 52#15 (2000) 21世紀の日本へ看護のアピール	¥1,080
Vol. 53#1 (2001) あなたに送る一通の手紙	¥1,080
Vol. 53#2 (2001) プリセプターへの支援	¥1,080
Vol. 53#3 (2001) 転換期における病いと癒し	¥1,080
Vol. 53#4 (2001) 3月臨増 第31回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,620
Vol. 53#5 (2001) 看護のネットワークづくり	¥1,080
Vol. 53#6 (2001) 看護管理のエキスパートを目指す	¥1,080
Vol. 53#7 (2001) 5月臨増 日本看護協会5つの看護業務基準	¥1,620
Vol. 53#8 (2001) IT革命と看護の未来	¥1,080
Vol. 53#9 (2001) ICN「2001年国際看護婦の日」資料	¥1,080
Vol. 53#10 (2001) 看護職のストレスマネジメント	¥1,080
Vol. 53#11 (2001) 第22回ICN4年毎大会リポート	¥1,080
Vol. 53#12 (2001) 医療・看護ケアの質を保証する4つのツール	¥1,080
Vol. 53#13 (2001) 病棟を変えた婦長たち	¥1,080
Vol. 53#14 (2001) 11月臨増 患者のための情報開示	¥1,620
Vol. 53#15 (2001) 「まちの保健室」始動!	¥1,080
Vol. 54#1 (2002) 日本の医療制度改革と看護	¥1,080
Vol. 54#2 (2002) 「災害看護」の可能性を考える	¥1,080
Vol. 54#3 (2002) 看護実践に役立つ基礎医学の現状とこれから	¥1,080
Vol. 54#4 (2002) 3月臨増 日本看護学会特別講演・シンポジウム集録号	¥1,620
Vol. 54#5 (2002) 看護におけつ「卒後臨床研修」必修化	¥1,080
Vol. 54#6 (2002) 看護の共通言語を探求する	¥1,080
Vol. 54#7 (2002) 5月臨増 21世紀の看護をリードする「家族看護」	¥1,620
Vol. 54#8 (2002) 看護のアートを追及する	¥1,080
Vol. 54#9 (2002) 平成14年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,080
Vol. 54#10 (2002) 経営的視点から考える看護とモノの管理	¥1,080
Vol. 54#11 (2002) ''包括評価''を考える	¥1,080
Vol. 54#12 (2002) 広告規制緩和	¥1,080
Vol. 54#13 (2002) ''機能する''リスクマネジメント	¥1,080
Vol. 54#14 (2002) 11月臨増 今こそ,感染管理体制整備を	¥1,620
Vol. 54#15 (2002) 看護職が読んでおくべき重要報告2001-2002	¥1,080
Vol. 55#1 (2003) 外国人看護職が語る心に響く日本の看護	¥1,080
Vol. 55#2 (2003) 沈黙から発言へ	¥1,080
Vol. 55#3 (2003) 改めて「病院機能評価」を考える	¥1,080
Vol. 55#4 (2003) 3月臨増第33回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,620

	Vol. 55#5 (2003) 地域連携における患者中心の情報共有	¥1,080
	Vol. 55#6 (2003) 組織刷新で何を変えるか	¥1,080
	Vol. 55#7 (2003) 5月臨増専門看護師を活用する	¥1,620
	Vol. 55#8 (2003) 新卒看護師の''看護基本技術''を支える	¥1,080
	Vol. 55#9 (2003) H15年度日本看護協会通常総会ﾘﾎﾟｰﾄ	¥1,080
	Vol. 55#10 (2003) 苦情マネジメント	¥1,080
	Vol. 55#11 (2003) 雇用の多様化を考える	¥1,080
	Vol. 55#12 (2003) 臨床の看護研究	¥1,080
	Vol. 55#13 (2003) 職務満足をどう引き出すか	¥1,080
	Vol. 55#14 (2003) 11月臨増いま専門職看護の真価が問われる	¥1,620
	Vol. 55#15 (2003) 看護理論の臨床活用	¥1,080
	Vol. 56#1 (2004) キャリア開発を支える	¥1,080
	Vol. 56#2 (2004) 医療事故を防ぐために	¥1,080
	Vol. 56#3 (2004) 新人に教えたいこと	¥1,080
	Vol. 56#4 (2004) 3月臨増 第34回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,620
	Vol. 56#5 (2004) “在院日数短縮”の光と影	¥1,080
	Vol. 56#6 (2004) DPC（診断群分類別包括評価）の看護への影響	¥1,080
	Vol. 56#7 (2004) 5月臨増「個人情報保護法」と看護	¥1,620
	Vol. 56#8 (2004) 看護職は“説明責任”を果たしているか	¥1,080
	Vol. 56#9 (2004) 平成16年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,080
	Vol. 56#10 (2004) 脱・安静の弊害	¥1,080
	Vol. 56#11 (2004) チームで展開する褥瘡ケア	¥1,080
	Vol. 56#12 (2004) 人が人を評価する	¥1,080
	Vol. 56#13 (2004) 成果の出せる転倒・転落事故防止対策	¥1,080
品切	Vol. 56#14 (2004) 11月臨増 電子カルテ時代の看護記録	¥1,620
	Vol. 56#15 (2004) 院内ルールを見直す	¥1,080
	Vol. 57#1 (2005) 適正な看護職員配置の工夫	¥1,080
	Vol. 57#2 (2005) 勤務異動を成功させるために	¥1,080
	Vol. 57#3 (2005)「リスク感性」を育てる、磨く	¥1,080
	Vol. 57#4 (2005) 3月臨増 第35回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,620
	Vol. 57#5 (2005) 看護管理者の倫理的感受性	¥1,080
	Vol. 57#6 (2005) 目指そう、認定看護管理者	¥1,080
	Vol. 57#7 (2005) 5月臨増 目標管理のコツとルール	¥1,620
	Vol. 57#8 (2005) 看護手順のつくり方・見直し方	¥1,080
	Vol. 57#9 (2005) 平成17年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,080
	Vol. 57#10 (2005) 第23回ICN4年毎大会リポート	¥1,080
	Vol. 57#11 (2005)「患者参加」で、何が変わったか	¥1,080
	Vol. 57#12 (2005) ジェネラリストの能力開発を考える	¥1,080
	Vol. 57#13 (2005) なぜ、あなたは部下とうまくいかないのか？	¥1,080
	Vol. 57#14 (2005) 11月臨増 ストレスや危険な労働環境への対策	¥1,620
	Vol. 57#15 (2005) 暴力に対して看護管理者ができること	¥1,080
	Vol. 58#1 (2006) 地域医療連携体制はこう構築する	¥1,188
	Vol. 58#2 (2006) あなたのコーチングは”コーチング未満”になっていま	¥1,188
	Vol. 58#3 (2006) 看護管理者は病院経営にどう関わるべきか	¥1,188
	Vol. 58#4 (2006) 3月臨増 第36回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,728
	Vol. 58#5 (2006) 新任師長ナビ 師長になったらまず何をしなければなら	¥1,188
	Vol. 58#6 (2006) スムーズな地域医療連携を実現する地域連携クリティカ	¥1,188
	Vol. 58#7 (2006) 5月臨増 こうすれば成功する バランスト・スコア・カード(	¥1,728
	Vol. 58#8 (2006) 実例に学ぶ ナースのメンタルヘルスケア	¥1,188
	Vol. 58#9 (2006) 平成18年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,188
	Vol. 58#10 (2006) 患者中心の情報論理 CNSのさらなる活用を考える	¥1,188
	Vol. 58#11 (2006) 新卒ナースが辞める理由、辞めさせない工夫 療養通	¥1,188
	Vol. 58#12 (2006) 看護管理者の腕の見せ所”7対1”実現のためのマネジ	¥1,188
	Vol. 58#13 (2006) 看護記録の法的整備に向けて	¥1,188
	Vol. 58#14 (2006) 11月臨増 知っておくべき薬物療法と看護の役割	¥1,728
	Vol. 58#15 (2006) スタッフマネジメント 私のスタイル 未就業看護者の再	¥1,188
	Vol. 59#1 (2007) 看護職員配置を適正化する 看護必要度の導入と活用	¥1,188

	Vol. 59#2 (2007) 意思表示のできない患者への倫理的な関わり方	¥1,188
	Vol. 59#3 (2007) 実践！患者満足度向上のために	¥1,188
	Vol. 59#4 (2007) 3月臨増 第37回日本看護学会特別講演・シンポジウム	¥1,728
	Vol. 59#5 (2007) 新任師長ナビ2 新人看護職員を伸ばす関わり	¥1,188
	Vol. 59#6 (2007) 中堅ナース定着への環境づくり 現場でできる創意工夫	¥1,188
	Vol. 59#7 (2007) 5月臨増 看護管理者が知っておきたい経営参画ポイン	¥1,728
	Vol. 59#8 (2007) やり甲斐がスタッフを支える ナースの職務継続に向け	¥1,188
	Vol. 59#9 (2007) 平成19年度日本看護協会通常総会リポート	¥1,188
	Vol. 59#10 (2007) 2007年CNR・ICN学術集会リポート	¥1,188
	Vol. 59#11 (2007) どうしていますか？ 人工呼吸器・栄養チューブの事故	¥1,188
	Vol. 59#12 (2007) 先進事例に学ぶ 地域連携 各地の取り組みと看護の	¥1,188
	Vol. 59#13 (2007) ワーク・ライフ・バランスを実現する中小病院	¥1,188
	Vol. 59#14 (2007) 11月臨増 看護師臨床研修制度 制度化に向けて	¥1,728
	Vol. 59#15 (2007) スタッフにどうアプローチするか？ 退職をマネジメント	¥1,188
	Vol. 60#1 (2008) 看護を社会に発信する 実践したいアピール法	¥1,188
	Vol. 60#2 (2008) 医療の見える化と標準化 質マネジメントシステムの構築	¥1,188
	Vol. 60#3 (2008) 急増! 看護職副院長 その役割と展望	¥1,188
	Vol. 60#4 (2008) 第38回日本看護学会特別講演・シンポジウム集録号	¥1,728
	Vol. 60#5 (2008) 外来の未来に向けて 看護の質向上とシステム改革	¥1,188
	Vol. 60#6 (2008) 47都道府県庁全調査！ 活用したい確保定着支援事業	¥1,188
	Vol. 60#7 (2008) この1冊で導入できる！ フィッシュ！哲学による活き活	¥1,728
	Vol. 60#8 (2008) 新卒・中途応募者を惹き付ける！ 魅力ある看護部HP	¥1,188
	Vol. 60#9 (2008) 平成20年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,188
	Vol. 60#10 (2008) 電子カルテで看護はこう変わる 導入病院の現状と成	¥1,188
	Vol. 60#11 (2008) 退院調整看護師（ディスチャージ ナース）の活躍と退	¥1,188
	Vol. 60#12 (2008) 患者の暴言・暴力 その実態と対処	¥1,188
	Vol. 60#13 (2008) 院内のがん看護実践力を底上げする！ がん看護のス	¥1,188
品切	Vol. 60#14 (2008) Shift The Healthcare Safety Education 医療安全教育	¥1,728
	Vol. 60#15 (2008) 看護必要度活用の手引き	¥1,188
	Vol. 61#1 (2009) 看護職医療メディエーターへの期待と実践	¥1,188
	Vol. 61#2 (2009) 問題を共有しサポートし合う 看護管理者のネットワーク	¥1,188
	Vol. 61#3 (2009) リフレクションとは? 看護のやり甲斐を支える	¥1,188
	Vol. 61#4 (2009) 臨時増刊号 第39回日本看護学会特別講演・シンポジ	¥1,728
	Vol. 61#5 (2009) 相乗効果で組織力アップ! 新人看護師研修と教育担当	¥1,188
	Vol. 61#6 (2009) 日本のマグネット・ホスピタル　平成21年度介護報酬改	¥1,188
	Vol. 61#7 (2009) 臨時増刊号 働き続けられる職場づくりへ 短時間正職	¥1,728
	Vol. 61#8 (2009) 地域連携で支援する これからの糖尿病患者のセルフ	¥1,188
	Vol. 61#9 (2009) 院内助産システムの推進 安全で満足度の高い出産環	¥1,188
	Vol. 61#10 (2009) 看護の役割　今、何が問われているのか?	¥1,188
	Vol. 61#11 (2009) 施設の変化(チェンジ)をチャンスにかえよう 転換期の	¥1,188
	Vol. 61#12 (2009) 時間外勤務を見直そう 患者と職員のための労働時間	¥1,188
	Vol. 61#13 (2009) 救急患者のニーズに応えるトリアージナース その体制	¥1,188
	Vol. 61#14 (2009) 臨時増刊号 eラーニングに舵を切れ! 教育から学習へ	¥1,728
	Vol. 61#15 (2009) エビデンスを活用する 労働環境改善	¥1,188
	Vol. 62#1 (2010) 看護基礎教育の新たな時代に向けて	¥1,188
	Vol. 62#2 (2010) 多職種チームで取り組む高齢患者の転倒・転落防止	¥1,188
	Vol. 62#3 (2010) どう受け入れる? 平成生まれの新卒看護職	¥1,188
	Vol. 62#4 (2010) 臨時増刊号 第40回日本看護学会特別講演・シンポジ	¥1,728
	Vol. 62#5 (2010) ここがポイント! 病院機能評価Ver.6.0	¥1,188
	Vol. 62#6 (2010) 20代中堅看護師を支え、育む	¥1,188
	Vol. 62#7 (2010) 臨時増刊号 新人看護職員研修の手引き ガイドライン	¥1,728
	Vol. 62#8 (2010) 平成22年度診療報酬改定 専門性の高い看護師の評	¥1,188
	Vol. 62#9 (2010)「チーム医療の推進に関する検討会」報告書を読み解	¥1,188
	Vol. 62#10 (2010) 平成22年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,188
	Vol. 62#11 (2010) WLBを実現する夜勤体制	¥1,188
	Vol. 62#12 (2010) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が取り組む	¥1,188
	Vol. 62#13 (2010) 実例から学ぶ! 教育担当者研修のポイント	¥1,188

	Vol. 62#14 (2010) 臨時増刊号 事例から学ぶWLB実現プロセス 魅力あ	¥1,728
	Vol. 62#15 (2010) これからのキャリア支援 看護師として働き続けるため	¥1,188
	Vol. 63#1 (2011) 看護管理者のよりよい意思決定のために	¥1,188
	Vol. 63#2 (2011) 中小医療機関の医療安全研修 その研究と実例を役立	¥1,188
	Vol. 63#3 (2011) 師長さんの疑問にお答えします! 目標管理のお悩み解	¥1,188
	Vol. 63#4 (2011) 臨時増刊号 最新 看護師長ナビ 人と組織が成長する	¥1,728
	Vol. 63#5 (2011) 不安を軽減! 新人看護師サポートの工夫	¥1,188
	Vol. 63#6 (2011) 時間外勤務を短縮する 現場の対策と看護管理者の役	¥1,188
品切	Vol. 63#7 (2011) 臨時増刊号 看護師長を育てる、支える マネジメントラ	¥1,728
	Vol. 63#8 (2011) 看護の評価に根拠が求められる時代に! 看護必要度導	¥1,188
	Vol. 63#9 (2011) ナースのWLBを推進しよう 平成22年度「看護職のWLB	¥1,188
	Vol. 63#10 (2011) 平成23年度 日本看護協会通常総会リポート	¥1,188
	Vol. 63#11 (2011) 新人看護職員研修体制を検証する 継続することと、	¥1,188
	Vol. 63#12 (2011) 看護師長のためのタイムマネジメント	¥1,188
	Vol. 63#13 (2011) 新人ナース採用大作戦	¥1,188
	Vol. 63#14 (2011) 臨時増刊号 チーム医療・看護を変える! 対話と共感を	¥1,728
	Vol. 63#15 (2011) 新しい交代制勤務の時代に向けて 健康・安全に働き	¥1,188
	Vol. 64#1 (2012) つながる看護 病院から在宅へ 急性期病院のケアの視	¥1,296
	Vol. 64#2 (2012) 看護師特定能力認証制度(仮称)法制化に向けて「特	¥1,296
	Vol. 64#3 (2012) 看護管理者に求められる災害への備え 災害時のマネ	¥1,296
	Vol. 64#4 (2012) 臨時増刊号「チーム医療」実践的事例集	¥1,944
	Vol. 64#5 (2012) 新人のコミュニケーション力をどう育てるか／新人助産	¥1,296
	Vol. 64#6 (2012) 看護職が辞めない職場づくり 私の病棟マネジメント／	¥1,296
	Vol. 64#7 (2012) 臨時増刊号 成長と自律を促す 中堅看護師サポート体	¥1,944
	Vol. 64#8 (2012) 患者と看護職の安全・健康を守る 夜勤・交代制勤務の	¥1,296
	Vol. 64#9 (2012) “つなげる看護”を考える 病院の看護師に在宅療養支	¥1,296
	Vol. 64#10 (2012) 平成24年度日本看護協会通常総会リポート／「中堅	¥1,296
	Vol. 64#11 (2012)「看護職のWLBインデックス調査」を活用しよう 現状分	¥1,296
	Vol. 64#12 (2012) 看護職の勤務負担軽減に向けて看護補助者とどう連	¥1,296
	Vol. 64#13 (2012) 看護師特定能力認証制度モデル事業リポート／病院	¥1,296
	Vol. 64#14 (2012) 臨時増刊号 夜勤・交代制勤務改善のためのマネジメ	¥1,944
	Vol. 64#15 (2012) 労働環境改善の支援体制を活用しよう！さらなる「雇	¥1,296
	Vol. 65#1 (2013) 2025年問題を見すえた“これからの看護”を語る/看護	¥1,296
	Vol. 65#2 (2013) “ともに歩む”東日本大震災復興支援/よりよい看護職	¥1,296
	Vol. 65#3 (2013) 推進しよう! 助産師出向システム 安全・安心な妊娠・出	¥1,296
品切	Vol. 65#4 (2013) 臨時増刊号 これからの新人看護職員研修 努力義務	¥1,944
	Vol. 65#5 (2013) 注目したい! 看護師職能委員会2 介護・福祉関係施設	¥1,296
	Vol. 65#6 (2013) 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン/“JCI	¥1,296
	Vol. 65#7 (2013)「看護師特定行為・業務試行事業」から見えてくるもの/	¥1,296
	Vol. 65#8 (2013) 臨時増刊号 地域に溶け込む 47都道府県の“看護”	¥1,944
	Vol. 65#9 (2013) 労働と看護の質向上のためのデータベース事業/「201	¥1,296
	Vol. 65#10 (2013) 平成25年度　日本看護協会通常総会リポート/「ICN4	¥1,296
	Vol. 65#11 (2013) 都道府県ナースセンターをこう活用する!/「保健師活	¥1,296
	Vol. 65#12 (2013) 活用しよう! “看護補助者”の力/“在宅医療支援病棟”	¥1,296
	Vol. 65#13 (2013) 本人・家族の“想い”がかなう「複合型サービス」/WLB	¥1,296
	Vol. 65#14 (2013) 臨時増刊号 “専門看護師”活用で病院が変わる! —	¥1,944
	Vol. 65#15 (2013) 組織で取り組む“医療安全”管理/看護の専門性を発	¥1,296
	Vol. 66#1(2014) 安全・安心なお産を実現! “助産師出向システム”/より	¥1,512
	Vol. 66#2(2014)「専門性の高い看護師」と訪問看護師による“同一日訪	¥1,512
	Vol. 66#3(2014) [日本看護協会重点政策・重点事業関連企画] 看護職	¥1,512
	Vol. 66#4(2014) 臨時増刊号「医療安全推進のための標準テキスト」	¥1,944
	Vol. 66#5(2014)「被災地の看護は、いま」を考える/看護職だからこそで	¥1,512
	Vol. 66#6(2014) 平成26年度診療報酬改定/ポートフォリオ“活用・定着”	¥1,512
	Vol. 66#7(2014) “地域包括ケアシステム”に 保健師はどうかかわるか/マ	¥1,512
	Vol. 66#8(2014) 臨時増刊号 ベンチマーク評価で“看護”を変える!	¥1,944
	Vol. 66#9(2014) 助産師のためのキャリアパスとクリニカルラダーに注目/“	¥1,512
	Vol. 66#10(2014) 平成26年度　日本看護協会通常総会リポート/2013年	¥1,512

Vol. 66#11(2014) よりよい“在宅復帰”をめざす看看連携/急性期病院で	¥1,512
Vol. 66#12(2014)「夜勤・交代制勤務」の負担軽減で実現した看護職の“	¥1,512
Vol. 66#13(2014) もっと上げたい! 看護職の賃金/中小病院での“新人看	¥1,512
Vol. 66#14(2014) 臨時増刊号 生き生き働き続けるための 看護職のキャリ	¥1,944
Vol. 66#15(2014) 患者の“在宅療養支援”を病院看護職が担う!/“地域包	¥1,512

403　看護学雑誌（医学書院）

	Vol. 1#1,6 (1946/47)	各号	¥1,296
	Vol. 2#2 (1947)		¥1,296
	Vol. 3#1-4,6 (1948)	各号	¥1,296
	Vol. 4#1-7 (1948)	各号	¥1,296
	Vol. 5#1-6 (1949)	各号	¥1,296
	Vol. 6#2-5 (1950)	各号	¥1,296
	Vol. 7#1-6 (1950)	各号	¥1,296
	Vol. 8#1,2,6 (1950)	各号	¥1,296
	Vol. 9#1,3,5,6 (1951)	各号	¥1,296
	Vol. 10-20 (1951-1956) 各1-6号	各号	¥1,296
	Vol. 21-54 (1957-1990) 各1-12号	各号	¥1,296
	Vol. 55#1-12 (1991)	各号	¥1,296
	Vol. 56#1-12 (1992)	各号	¥1,296
	Vol. 57#1-12 (1993)	各号	¥1,296
	Vol. 58#1-12 (1994)	各号	¥1,296
	Vol. 59#1 (1995) 看護学生を迎える病棟の若い友へ		¥1,296
	Vol. 59#2 (1995) 看護診断-臨床との接点		¥1,296
	Vol. 59#3 (1995) 見直しすすむ交代制勤務		¥1,296
	Vol. 59#4 (1995) 図書室へ行こう!		¥1,296
	Vol. 59#5 (1995) 日本的看護提供方式を探る		¥1,296
	Vol. 59#6 (1995) 変化の時代に入った看護労働市場		¥1,296
	Vol. 59#7 (1995) がん患者への継続看護		¥1,296
	Vol. 59#8 (1995) 精神科的問題をもつ患者と向き合う		¥1,296
	Vol. 59#9 (1995) いま,癒し手としての看護について		¥1,296
	Vol. 59#10 (1995) 看護のレベルアップと看護補助者導入		¥1,296
	Vol. 59#11 (1995) 医療の壁・医療者の壁		¥1,296
	Vol. 59#12 (1995) 使って便利な看護用品		¥1,296
	Vol. 60#1 (1996) 海外看護事情-日本人看護婦からの		¥1,296
	Vol. 60#2 (1996) ケアマネジャーとしての看護婦		¥1,296
	Vol. 60#3 (1996) がん患者の症状マネジメント		¥1,296
	Vol. 60#4 (1996) 高齢患者のせん妄へのアプローチ		¥1,296
	Vol. 60#5 (1996) フォーカスチャーティング 看護の中身が見える記録1		¥1,296
	Vol. 60#6 (1996) フォーカスチャーティング 看護の中身が見える記録2		¥1,296
	Vol. 60#7 (1996) 看護婦がつくった入院案内		¥1,296
	Vol. 60#8 (1996) 看護婦に生かす経済感覚		¥1,296
	Vol. 60#9 (1996) 動きはじめた外来		¥1,296
	Vol. 60#10 (1996) 口腔ケアに注目を		¥1,296
	Vol. 60#11 (1996) 退院改革に取り組む		¥1,296
	Vol. 60#12 (1996) 情報の開示・共有について考える		¥1,296
	Vol. 61#1 (1997) 家族にどうかかわるか		¥1,080
	Vol. 61#2 (1997) 褥創は予防し,治すことができる		¥1,080
	Vol. 61#3 (1997) 退院後に目くばりを		¥1,080
品切	Vol. 61#4 (1997) 人とのかかわりを職業とする意味		¥1,080
	Vol. 61#5 (1997) 看護が好きでたまらない		¥1,080
	Vol. 61#6 (1997) 今,子どもを看護する悩み		¥1,080
	Vol. 61#7 (1997) 現場から語る准看問題		¥1,080
	Vol. 61#8 (1997) 個を支えるグループ,グループで生きる個		¥1,080
	Vol. 61#9 (1997) 臨床で生活をみるということ		¥1,080
	Vol. 61#10 (1997) 脳死・臓器移植が問うもの		¥1,080
	Vol. 61#11 (1997) 在院日数短縮と看護の関係		¥1,080
	Vol. 61#12 (1997) 進歩する医療技術と看護		¥1,080
	Vol. 62#1 (1998) 看護系大学の今		¥1,080
	Vol. 62#2 (1998) 院内感染のなぜが知りたい		¥1,080
	Vol. 62#3 (1998) 急性期包括化の流れを追う-医療保険改革..		¥1,080

	Vol. 62#4 (1998) 情報ネットワークを活用する	¥1,080
	Vol. 62#5 (1998) 看護管理者って何だろう	¥1,080
	Vol. 62#6 (1998) 臨床シナリオで学ぶ−急性期呼吸理学療法	¥1,080
品切	Vol. 62#7 (1998) 患者とともに進める痛みのケア	¥1,080
	Vol. 62#8 (1998) 入力をみなおす	¥1,080
	Vol. 62#9 (1998) 快適排泄ケアのためのワンポイントアドバイス	¥1,080
	Vol. 62#10 (1998) 異なる職種との対話−その時互いに何を考え..	¥1,080
	Vol. 62#11 (1998) 服薬の行動科学−「指導」から「援助」へ	¥1,080
	Vol. 62#12 (1998) 変わる医療事故の概念とその対策	¥1,080
	Vol. 63#1 (1999) 食と栄養の可能性を探る	¥1,188
	Vol. 63#2 (1999) 訪室を避けたいと思おうとき−一般病棟での	¥1,188
	Vol. 63#3 (1999) ズバリ答えます！−放射線をめぐる看護の疑問	¥1,188
	Vol. 63#4 (1999) 変わる糖尿病患者教育−効果的な心理的	¥1,188
	Vol. 63#5 (1999) ケアビジネス時代に広がるナース活躍の場	¥1,188
	Vol. 63#6 (1999) こうして変えたベッドサイドの環境	¥1,188
	Vol. 63#7 (1999) ここまでできる外来看護	¥1,188
	Vol. 63#8 (1999) ベッドサイドでの疑問に答える薬・輸液のＱ＆Ａ	¥1,188
	Vol. 63#9 (1999) 何が”縛らない”看護を支えるのか	¥1,188
	Vol. 63#10 (1999) はじめての脳死・臓器移植−そのとき看護は	¥1,188
品切	Vol. 63#11 (1999) 生ある限りいきいきと−腹臥位療法のすすめ	¥1,188
	Vol. 63#12 (1999) 「ヒヤリ・ハット」報告を看護事故防止に役立..	¥1,188
	Vol. 64#1 (2000) 新しい排泄ケアの視点から尿道留置カテーテル	¥1,188
	Vol. 64#2 (2000) 結核はナースが防ぐ	¥1,188
	Vol. 64#3 (2000) 嚥下訓練に踏み切るとき−ナースが切り開く..	¥1,188
	Vol. 64#4 (2000) 病・障害と生きる−患者からのメッセージ	¥1,188
	Vol. 64#5 (2000) 疾患・外傷のある顔−知っておきたい「見た目」	¥1,188
	Vol. 64#6 (2000) 家族のみつめ方・支え方	¥1,188
	Vol. 64#7 (2000) 看護介入技法としての代替・補完療法	¥1,188
	Vol. 64#8 (2000) 精神症状に強くなる	¥1,188
	Vol. 64#9 (2000) 病みの奇跡と回復	¥1,188
	Vol. 64#10 (2000) その病状は薬の副作用！？	¥1,188
	Vol. 64#11 (2000) 現代の病める子供−こころとからだ、社会	¥1,188
	Vol. 64#12 (2000) 新世紀前夜　いまこそ21世紀の看護を語ろう	¥1,188
	Vol. 65#1 (2001) 安静苦痛を緩和する 安全性とQOLの両立をめざして	¥1,188
	Vol. 65#2 (2001) 死後のケア 基本技術と家族への配慮	¥1,188
	Vol. 65#3 (2001) 臨床にEBNはどう貢献するのか	¥1,188
	Vol. 65#4 (2001) チームで取り込む 脳卒中患者のADL拡大作戦	¥1,188
	Vol. 65#5 (2001) ナースも患者も気持ちいい 臨床看護の用具と工夫	¥1,188
	Vol. 65#6 (2001) 病院枕を分析する	¥1,188
	Vol. 65#7 (2001) 住環境と看護 ナイチンゲールを在宅に生かす	¥1,188
	Vol. 65#8 (2001) 呼吸ケアのエビデンスを探せ	¥1,188
	Vol. 65#9 (2001) ストーマリハビリテーション最前線	¥1,188
	Vol. 65#10 (2001) 第22回ICNコペンハーゲン大会	¥1,188
	Vol. 65#11 (2001) 性暴力被害者の支援 看護婦だからできること	¥1,188
	Vol. 65#12 (2001) 痴呆のスケール きめこまかなケアのための客観的評	¥1,188
	Vol. 66#1 (2002) 臨床の「なぜ」に答える がん化学療法Q&A	¥1,188
	Vol. 66#2 (2002) ベンチレータと生きる人々	¥1,188
	Vol. 66#3 (2002) 最新情報でわかる褥瘡ケアの根拠	¥1,188
	Vol. 66#4 (2002) 進化する経腸栄養法	¥1,188
	Vol. 66#5 (2002) がん化学療法症状マネジメント15のQ	¥1,188
	Vol. 66#6 (2002) 看護の仕事って何だろう？	¥1,188
	Vol. 66#7 (2002) 危険な画像所見ぬかりはないか？[1]呼吸器編	¥1,188
	Vol. 66#8 (2002) 危険な画像所見ぬかりはないか？[1]循環器・頭頸部編	¥1,188
	Vol. 66#9 (2002) 患者に説明できる 検査の話	¥1,188
	Vol. 66#10 (2002) 意識障害者の介護教室 家族に自身と安心を	¥1,188
	Vol. 66#11 (2002) 女性看護師の皆さんへ ケアする男の物語	¥1,188
	Vol. 66#12 (2002) 「寝たきり」の芽は急性期に摘む！	¥1,188

Vol. 67#1 (2003) くじけてばかりはいられない　糖尿病看護の知恵袋	¥1,188
Vol. 67#2 (2003) 結果の出せる褥瘡対策チームを作ろう	¥1,188
Vol. 67#3 (2003) 発生リスクをみきわめる！　褥瘡予防の知恵とワザ	¥1,188
Vol. 67#4 (2003) 1どうする？静脈注射―たしかめたい安全と安心,2 排	¥1,188
Vol. 67#5 (2003) 基本から見直そう！　感染予防6つのポイント	¥1,188
Vol. 67#6 (2003) 実例に学ぶ患者アドボカシー	¥1,188
Vol. 67#7 (2003) これでは子どもが守れない!?小児看護の“危機”とは何	¥1,188
Vol. 67#8 (2003) バイタルサインから読む!薬のリスクマネジメント	¥1,188
Vol. 67#9 (2003) 急性期で行なう退院後の安心づくり	¥1,188
Vol. 67#10 (2003) がん化学療法 セルフケア支援のABC前編	¥1,188
Vol. 67#11 (2003) がん化学療法 セルフケア支援のABC後編	¥1,188
Vol. 67#12 (2003) 口腔乾燥症のWhy＆How	¥1,188
Vol. 68#1 (2004) 痴呆高齢者の転倒・転落事故は防げるか？	¥1,188
Vol. 68#2 (2004) 糖尿病看護とバーンアウト「挫折」を宝に!	¥1,188
Vol. 68#3 (2004) 原因から見直す「ストーマ管理困難症」	¥1,188
Vol. 68#4 (2004) そこが知りたい!ポジショニングと褥瘡ケア	¥1,188
Vol. 68#5 (2004) 博士と5ナースの「心電図道場」	¥1,188
Vol. 68#6 (2004) 腹臥位療法のいま―実践・研究・根拠	¥1,188
Vol. 68#7 (2004) 女性がん患者のリンパ浮腫ケア	¥1,188
Vol. 68#8 (2004) ナースが病棟で行なう呼吸リハの理論と実践	¥1,188
Vol. 68#9 (2004) 患者を守る!自分も守る!感染予防の“2つ”の基本	¥1,188
Vol. 68#10 (2004) ここまでできる！外来看護 知恵を絞って成果につな	¥1,188
Vol. 68#11 (2004) 乳がん看護はトータルケアへ	¥1,188
Vol. 68#12 (2004) キャッチアップ!進化するがん性疼痛治療/透析の苦痛	¥1,188
Vol. 69#1 (2005) 患者さんの治る力を引き出すリラクセーション法のススメ	¥1,296
Vol. 69#2 (2005) こうすればうまくいく糖尿病エンパワーメント実践講座	¥1,296
Vol. 69#3 (2005) 看護師として働くことをあきらめないために	¥1,296
Vol. 69#4 (2005) 安全な車いすトランスファー/代理決定をめぐる看護の	¥1,296
Vol. 69#5 (2005) 患者もあなたもよく眠れる睡眠をケアする知恵と技	¥1,296
Vol. 69#6 (2005) 行動変容プログラムを用いた透析患者のセルフケア支	¥1,296
Vol. 69#7 (2005) 患者を不安にさせないインターフェロン療法新情報C型	¥1,296
Vol. 69#8 (2005) 看護が支える「安全」「確実」「安楽」ながん化学療法	¥1,296
Vol. 69#9 (2005) エキスパートに聞く　嚥下障害ケアの極意	¥1,296
Vol. 69#10 (2005) 今そこにいる認知症の人たち-病院内で困らないため	¥1,296
Vol. 69#11 (2005) ドキドキしない心臓リハビリテーション/子どもを虐待か	¥1,296
Vol. 69#12 (2005) 感染防止に効くリンクナースが何かを変える	¥1,296
Vol. 70#1 (2006) からだのメカニズムから看護技術を見直そう	¥1,296
Vol. 70#2 (2006) 不安な患者さんはあなたのすぐそばに　じつは身近な	¥1,296
Vol. 70#3 (2006) 「コーチング」で失敗しないために知っておくこと―患者	¥1,296
Vol. 70#4 (2006) 人工呼吸器のアラームなんてこわくない！	¥1,296
Vol. 70#5 (2006) 専門・認定看護師を活用して　深まるがん看護	¥1,296
Vol. 70#6 (2006) 無理しない委員会活動　私たちそれぞれのやり方	¥1,296
Vol. 70#7 (2006) その人らしい生活を実現するための退院支援	¥1,296
Vol. 70#8 (2006) 根拠あるケアで患者の苦痛を減らすために　手術の疑	¥1,296
Vol. 70#9 (2006) 「臨床の知」ってなんだろう	¥1,296
Vol. 70#10 (2006) インスリン注射で事故を起こさない　糖尿病ケアのセー	¥1,296
Vol. 70#11 (2006) 「自分で決める」を支えるために	¥1,296
Vol. 70#12 (2006) 困難をバネにする　WOCケアのアレンジ術	¥1,296
Vol. 71#1 (2007) ナース危機一髪！　日常にある「危機」への対処の仕方	¥1,296
Vol. 71#2 (2007) ナースにしかできない！臨床栄養管理	¥1,296
Vol. 71#3 (2007) ここまでできる！摂食・嚥下リハビリテーション	¥1,296
Vol. 71#4 (2007) モチベーションが上がる看護研究の始めかた	¥1,296
Vol. 71#5 (2007) 小児看護は大丈夫か？	¥1,296
Vol. 71#6 (2007) 知識が安心につながる　ケアに役立つ薬のはなし	¥1,296
Vol. 71#7 (2007) 東洋医学を看護に生かす 鍼灸の思想で西と東を結ぼ	¥1,296
Vol. 71#8 (2007) 医療現場で「わかりあう」ための原理 構造構成主義の	¥1,296
Vol. 71#9 (2007) 眠らなくては始まらない！　睡眠と看護師の健康につい	¥1,296

	Vol. 71#10 (2007) 腹臥位は特別なことじゃない 導入と継続のやめの道し		¥1,296
	Vol. 71#11 (2007) スピリチュアルケアとは何か？		¥1,296
	Vol. 71#12 (2007)「病とともに生きる」を援助する クロニックイルネスの視		¥1,296
	Vol. 72#1 (2008) クレーマーを”つくらない”患者対応の極意		¥1,296
	Vol. 72#2 (2008) ナースが患者の性に向き合うとき		¥1,296
	Vol. 72#3 (2008) 自己治癒力を高める技法とエビデンス		¥1,296
	Vol. 72#4 (2008) 専門看護師がいる日常 協働の立場から考える		¥1,296
	Vol. 72#5 (2008) 新人が聞けないこと 先輩が言えないこと		¥1,296
	Vol. 72#6 (2008) ケア×ケア 看護と介護が協働するとき		¥1,296
	Vol. 72#7 (2008) 看取りを語る		¥1,296
	Vol. 72#8 (2008) いい運動、悪い運動「疾患と運動」にまつわる不安に		¥1,296
	Vol. 72#9 (2008) 仕事熱心もいいけれど働きすぎは法律違反です！		¥1,296
	Vol. 72#10 (2008) 病棟でこれをやれば退院はうまくいく		¥1,296
	Vol. 72#11 (2008) 触れる 皮膚感覚とケア		¥1,296
	Vol. 72#12 (2008) ついつい無理をしてしまう看護師に提案 看護研究は		¥1,296
	Vol. 73#1 (2009) ロングインタビュー 看護師の「自律」		¥1,296
	Vol. 73#2 (2009)「悩む力」の育て方		¥1,296
	Vol. 73#3 (2009) 中途・新卒採用看護師を受け入れるコツ		¥1,296
	Vol. 73#4 (2009) わたしは「同僚ストレス」とこうやってつきあう		¥1,296
	Vol. 73#5 (2009) 私たちのワーク・ライフ・バランス		¥1,296
	Vol. 73#6 (2009) 看護師さんが話す医療用語の意味がわかりません！		¥1,296
	Vol. 73#7 (2009) 古武術介護にできること		¥1,296
	Vol. 73#8 (2009) リンパ浮腫を見逃さない		¥1,296
	Vol. 73#9 (2009) 鼎談 農と脳 りんごのストレングスモデル		¥1,296
	Vol. 73#10 (2009) 糖尿病セルフケア支援		¥1,296
	Vol. 73#11 (2009) 病棟で緩和ケア		¥1,296
	Vol. 73#12 (2009) 無理と無駄のない看護研究		¥1,296
	Vol. 74#1 (2010) 政権交代！看護は変わる？		¥1,296
	Vol. 74#2 (2010) 師長・主任のためのExcel講座		¥1,296
	Vol. 74#3 (2010) 短時間正職員のいる病院		¥1,296
	Vol. 74#4 (2010) 認知症で困らない BPSDケアの新機軸		¥1,296
	Vol. 74#5 (2010) 1冊まるごと退院支援		¥1,296
	Vol. 74#6 (2010) 日本のナースプラクティショナー教育の実際		¥1,296
	Vol. 74#7 (2010) がん看護の潮流		¥1,296
	Vol. 74#8 (2010) カラー写真でわかる 褥瘡ラップ療法		¥1,296
	Vol. 74#9 (2010) 全身疾患と口腔ケア		¥1,296
	Vol. 74#10 (2010) せん妄であわてない		¥1,296
	Vol. 74#11 (2010) ストーマ長期管理		¥1,296
	Vol. 74#12 (2010) 医療を変えるiPhone/iPad　（最終号、休刊です）		¥1,296
404	**看護実践の科学（看護の科学社）**		
	Vol. 30#1,4,5,12 (2005)	各号	¥1,080
	Vol. 30#7 (2005) 臨時増刊号		¥1,620
	Vol. 31#1-6,8-13 (2006)	各号	¥1,080
	Vol. 31#7 (2006) 臨時増刊号		¥1,620
	Vol. 32#1,2,6,8,10-13 (2007)	各号	¥1,080
	Vol. 32#7 (2007) 臨時増刊号		¥1,620

405　看護管理（医学書院）

Vol. 1#1-6 (1991)	各号	¥1,512
Vol. 2#1-6 (1992)	各号	¥1,512
Vol. 3#1-7 (1993)	各号	¥1,512
Vol. 4#1-7 (1994)	各号	¥1,512
Vol. 5#1 (1995) 外来看護の評価		¥1,512
Vol. 5#2 (1995) 看護体制変革期の課題と取り組み		¥1,512
Vol. 5#3 (1995) 増刊号 固定チームナーシング(継続受持ち式)		¥1,512
Vol. 5#4 (1995) 阪神・淡路大震災が看護に問うもの		¥1,512
Vol. 5#5 (1995) 看護とセクシュアリティ		¥1,512
Vol. 5#6 (1995) モジュール型継続受持方式		¥1,512
Vol. 5#7 (1995) 専門職看護の新たな視点		¥1,782
Vol. 5#8 (1995) 臨床看護実践能力を考える		¥1,512
Vol. 6#1 (1996) 看護ケアの質改善と評価		¥1,512
Vol. 6#2 (1996) 固定チームナーシング(継続受持ち式)の展開		¥1,512
Vol. 6#3 (1996) 阪神・淡路大震災から1年-看護会の対応		¥1,512
Vol. 6#4 (1996) 看護部がつくる病棟の環境		¥1,512
Vol. 6#5 (1996) 二交替制勤務と管理者の課題		¥1,512
Vol. 6#6 (1996) 看護診断導入により変わったこと		¥1,512
Vol. 6#7 (1996) 看護診断導入は看護記録を変えたか		¥1,512
Vol. 6#8 (1996) 抑制をしない看護		¥1,512
Vol. 6#9 (1996) CNS/専門看護師の教育		¥1,512
Vol. 6#10 (1996) 緩和ケア病棟における看護管理上の悩み		¥1,512
Vol. 6#11 (1996) 後輩を育てる-臨床の教育的環境		¥1,512
Vol. 6#12 (1996) 婦長登用の基準と条件		¥1,512
Vol. 7#1 (1997) 看護のエンパワーメント		¥1,296
Vol. 7#2 (1997) 発展する固定チームナーシング		¥1,296
Vol. 7#3 (1997) あなたの病院の感染管理		¥1,296
Vol. 7#4 (1997) 二交替制導入を前に		¥1,296
Vol. 7#5 (1997) 専門看護婦の導入は病院を変える		¥1,296
Vol. 7#6 (1997) ケアの質の保証とクリティカルパス		¥1,296
Vol. 7#7 (1997) 魅力的な婦長		¥1,296
Vol. 7#8 (1997) 婦長研修担当者が期待する婦長像		¥1,296
Vol. 7#9 (1997) 看護におけるケースマネジメント		¥1,296
Vol. 7#10 (1997) それぞれのプライマリ・ナーシング		¥1,296
Vol. 7#11 (1997) 管理実践に役立つ研究		¥1,296
Vol. 7#12 (1997) 看護における質の評価		¥1,296
Vol. 8#1 (1998) 緩和ケア病棟オープン-そのとき看護は		¥1,404
Vol. 8#2 (1998) 看護の継続と看護チームの育成		¥1,404
Vol. 8#3 (1998) スタッフの評価とその活用		¥1,404
Vol. 8#4 (1998) 事務部門と組む		¥1,404
Vol. 8#5 (1998) 看護職をいかす組織-鳥取市立病院の看護		¥1,404
Vol. 8#6 (1998) 病院機能評価事業が病院にもたらすもの		¥1,404
Vol. 8#7 (1998) プリセクター制度成功のために		¥1,404
Vol. 8#8 (1998) 研修医を病院に迎える		¥1,404
Vol. 8#9 (1998) 変革期に看護の未来を見据える		¥1,404
Vol. 8#10 (1998)「わざ」と「知恵」を伝える-現場での人材育成		¥1,404
Vol. 8#11 (1998) 看護補助者との協働		¥1,404
Vol. 8#12 (1998) 医療界の動きと看護の対応		¥1,404
Vol. 9#1 (1999) 1年目ナースの危機		¥1,404
Vol. 9#2 (1999) 地域とのネットワークづくり		¥1,404
Vol. 9#3 (1999) 病院における死後の看護		¥1,404
Vol. 9#4 (1999) 患者にとっての退院を考える		¥1,404
Vol. 9#5 (1999) チーム医療のための環境づくり-浦添総合病院		¥1,404
Vol. 9#6 (1999) 日帰り手術の現在		¥1,404
Vol. 9#7 (1999) カルテ開示時代の看護記録		¥1,404

	Vol. 9#8 (1999) 医療事故は防げるか	¥1,404
	Vol. 9#9 (1999) 婦長・主任のための看護過程と看護診断	¥1,404
	Vol. 9#10 (1999) 抑制・隔離は本当になくせるのか	¥1,404
	Vol. 9#11 (1999) リスクマネジメント/患者になって分かったケア	¥1,404
	Vol. 9#12 (1999) 緊急医療の現在	¥1,404
	Vol. 10#1 (2000) 院内感染管理システムの再構築	¥1,404
	Vol. 10#2 (2000) 滝川市立病院看護職と行政との人事交流..	¥1,404
	Vol. 10#3 (2000) 誌上フォーラム・当院のリスクマネジメント	¥1,404
	Vol. 10#4 (2000) クリティカルパスの管理	¥1,404
	Vol. 10#5 (2000) 第4字医療法改正と看護	¥1,404
	Vol. 10#6 (2000) 医療材料の適正使用に向けて	¥1,404
	Vol. 10#7 (2000) 2000年診療報酬改定で何が変わる？	¥1,404
	Vol. 10#8 (2000) ある看護チームの挑戦-「脳治療革命の朝」の	¥1,404
	Vol. 10#9 (2000) 外来看護の新しい取り組み	¥1,404
	Vol. 10#10 (2000) 患者中心の面会を実践する	¥1,404
	Vol. 10#11 (2000) 専門看護師の導入と定着のために	¥1,404
	Vol. 10#12 (2000) 薬剤部と連携して事故を防止する	¥1,404
	Vol. 11#1 (2001) 21世紀における看護制度のあり方を問う	¥1,404
	Vol. 11#2 (2001) ニ交代勤務のいま	¥1,404
	Vol. 11#3 (2001) 新しい時代の新人教育システム	¥1,404
	Vol. 11#4 (2001) 手術室から見える看護の専門性と認定制度へ	¥1,404
	Vol. 11#5 (2001) 企業に学ぶ病院経営	¥1,404
	Vol. 11#6 (2001) 医療従事者を針刺し事故から守る	¥1,404
	Vol. 11#8 (2001) ケアの質を支える記録	¥1,404
	Vol. 11#7 (2001) 看護倫理が医療を変える	¥1,404
	Vol. 11#9 (2001) 医療連携は看護から	¥1,404
	Vol. 11#10 (2001) 看護の視点を生かすコーディネーター	¥1,404
	Vol. 11#11 (2001) 顧客満足が変える・支える医療と看護	¥1,404
	Vol. 11#12 (2001) 小集団活動による現場の活性化	¥1,404
	Vol. 12#1 (2002) これからの看護管理者がもつべき視点と発想	¥1,404
	Vol. 12#2 (2002) 実践能力の向上を支援するプログラム	¥1,404
	Vol. 12#3 (2002) ひとが育つ組織をつくるコーチングとカウンセリング	¥1,404
	Vol. 12#4 (2002) どんな看護方式を選ぶ？	¥1,404
	Vol. 12#5 (2002) 激変期に求められる看護管理者のリーダーシップ考	¥1,404
品切	Vol. 12#6 (2002) 看護の質を評価する指標開発の動向	¥1,404
	Vol. 12#7 (2002) 看護管理のナレッジマネジメント 現場に活かす知とワザ	¥1,404
	Vol. 12#8 (2002) 安全管理の視点から看護業務を見直す	¥1,404
	Vol. 12#9 (2002) 看護組織の人材マネジメントストラテジー	¥1,404
	Vol. 12#10 (2002) 明日に備える組織をめざして 聖マリアンナ医科大学	¥1,404
	Vol. 12#11 (2002) エラーを防止できるチーム体制めざして	¥1,404
	Vol. 12#12 (2002) 組織運営の悩み・人間関係マネジメント	¥1,404
	Vol. 13#1 (2003) トータル・クオリティ・マネジメントを目指し支える組織づ	¥1,404
	Vol. 13#2 (2003) 安全な看護を支える設備やモノの再点検	¥1,404
	Vol. 13#3 (2003) 医療事故と情報管理	¥1,404
	Vol. 13#4 (2003) 倫理的問題への対応を個人の悩みとしないために	¥1,404
	Vol. 13#5 (2003) 看護職副院長の役割と業務の実際	¥1,404
	Vol. 13#6 (2003) ITの導入で看護業務をどう変えるか	¥1,404
	Vol. 13#7 (2003) 大卒看護師をどう活用し育成するか	¥1,404
	Vol. 13#8 (2003) 経済学を看護の味方に	¥1,404
	Vol. 13#9 (2003) 横浜市立大学病院患者取り違え手術事件から何を学	¥1,404
	Vol. 13#10 (2003) 人材マネジメントとして産休・育休を考える	¥1,404
	Vol. 13#11 (2003) 療養病床・回復期リハにおける看護の役割—機能分	¥1,404
	Vol. 13#12 (2003) 現場が力を発揮できる組織づくり	¥1,404
	Vol. 14#1 (2004) 医療現場をカイゼンする力を育てる	¥1,512
	Vol. 14#2 (2004) 感染管理の担当者を専任にする理由と戦略	¥1,512
	Vol. 14#3 (2004) 人材育成プログラム 企画・運営の着想と工夫	¥1,512
	Vol. 14#4 (2004) 「何が大切か」を問い続ける看護管理実践	¥1,512

	Vol. 14#5 (2004) ケーススタディ 看護管理者が問題解決能力を発揮する	¥1,512
	Vol. 14#6 (2004) 看護提供者を支えるためにすべきこと	¥1,512
	Vol. 14#7 (2004) 目標管理で看護組織は進化したか 臨床と教育の現場	¥1,512
	Vol. 14#8 (2004) キャリアカウンセリング技術を磨く	¥1,512
	Vol. 14#9 (2004) 規律ある組織風土構築で医療安全に取り組む	¥1,512
	Vol. 14#10 (2004) 人材確保策としての看護師派遣労働のゆくえ	¥1,512
	Vol. 14#11 (2004) 第三者評価を活用した継続的な質改善への取り組み	¥1,512
	Vol. 14#12 (2004) 院内暴力にどう対処するか	¥1,512
	Vol. 15#1 (2005) 看護管理をクリエイティブに展開する方法	¥1,512
	Vol. 15#2 (2005) 新潟県中越地震・台風23号災害への救援活動―阪神・	¥1,512
	Vol. 15#3 (2005) プリセプターシップの光と影-管理者の役割と責任	¥1,512
	Vol. 15#4 (2005) 地域におけるネットワーク医療・看護の取り組みのいま-	¥1,512
	Vol. 15#5 (2005) バランスト・スコアカードで看護部組織を変革する	¥1,512
	Vol. 15#6 (2005) 看護管理者に必要な地域連携スキル-都市・地域を支	¥1,512
	Vol. 15#7 (2005) 看護業務を支える病院システム-医療情報としての看護	¥1,512
	Vol. 15#8 (2005) 個人情報と患者の安全をどう守るか	¥1,512
	Vol. 15#9 (2005) 高齢者ケアの質をどうマネジメントするか-老人看護CN	¥1,512
	Vol. 15#10 (2005) 患者と医療者が満足できる療養環境を構築するため	¥1,512
品切	Vol. 15#11 (2005) 医療安全と質を保証する　患者状態適応型パス統合	¥1,512
	Vol. 15#12 (2005) 緩和ケアの質マネジメントとその評価を考える	¥1,512
	Vol. 16#1 (2006) NSTとクリニカルVEで考える医療・看護の機能を向上さ	¥1,512
	Vol. 16#2 (2006) 院内教育支援システムの構築と実際	¥1,512
	Vol. 16#3 (2006) 医療安全トレーニングをどう進めるかーKYTの実際と今	¥1,512
	Vol. 16#4 (2006) 看護管理者に求められる役割・能力―実力をつけるた	¥1,512
	Vol. 16#5 (2006) 看護現場のストレスマネジメント考―職場環境の活性化	¥1,512
	Vol. 16#6 (2006) 2006年診療報酬改定と医療制度改革を読む	¥1,512
	Vol. 16#7 (2006) 看護師に選ばれる病院の「新規採用」と「教育システム」	¥1,512
	Vol. 16#8 (2006)「手厚い看護」をどう実践するか―7対1入院基本料新	¥1,512
	Vol. 16#9 (2006) 看護必要度を看護管理に活用する―手厚い看護をより	¥1,512
	Vol. 16#10 (2006) 患者・医療職を“暴力”から守る環境をどうつくるか	¥1,512
	Vol. 16#11 (2006) よりスムーズな退院調整に向けたネットワークづくり	¥1,512
	Vol. 16#12 (2006) 医療安全研修で何を学ぶか現場でどう活かすか-研	¥1,512
	Vol. 17#1 (2007) 中堅看護師から組織の活性化を導く	¥1,512
	Vol. 17#2 (2007) 事故後の対応を考える 安全・安心・納得の医療をふま	¥1,512
	Vol. 17#3 (2007) 新人をいかに支えるか サポートシステムとシャドウ研修	¥1,512
	Vol. 17#4 (2007) 地域を支え、地域とともに生きる 連携施設とめざす患	¥1,512
	Vol. 17#5 (2007) バランスト・スコアカードで看護管理のPDCAサイクルを	¥1,512
	Vol. 17#6 (2007)「キャリア中期看護師」をいかに育てるか	¥1,512
	Vol. 17#7 (2007) 急性期病院におけるせん妄ケアの改善とシステム化	¥1,512
	Vol. 17#8 (2007) 外来看護に今求められていること	¥1,512
	Vol. 17#9 (2007) 新人教育を見直す 派遣指導者によるコンサルテーショ	¥1,512
	Vol. 17#10 (2007) 看護師長はどう選ばれ育てられるか	¥1,512
	Vol. 17#11 (2007) 超高齢社会の病院でどんな看護を提供するか 専門	¥1,512
	Vol. 17#12 (2007) 質向上のための安全管理者の知識とスキル	¥1,512
	Vol. 18#1 (2008) 看護のプロフェッショナルとその育成	¥1,620
	Vol. 18#2 (2008) 経験者の受入と定着	¥1,620
	Vol. 18#3 (2008) 論理的実勢を支える看護管理者の役割	¥1,620
	Vol. 18#4 (2008) 看護記録の質向上のために何ができるか	¥1,620
	Vol. 18#5 (2008) 新人教育担当者の支援に向けて	¥1,620
	Vol. 18#6 (2008) 2008年度診療報酬改定は現場にどのような影響をもた	¥1,620
	Vol. 18#7 (2008) 緩和ケアに求められる役割と質保証	¥1,620
	Vol. 18#8 (2008) 増刊号 ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽを実現し、成果を上げるﾏﾈｼﾞ	¥2,376
	Vol. 18#9 (2008) 産科医療の充実と看護管理	¥1,620
	Vol. 18#10 (2008) 地域医療を守る「10対1」病院は何をめざすか	¥1,620
	Vol. 18#11 (2008) よりよい医療サービス提供に向けた看護情報の活用	¥1,620
	Vol. 18#12 (2008) 自治体病院をめぐる課題と活性化への道	¥1,620
	Vol. 18#13 (2008) 医療安全管理者の働き方とその支援	¥1,620

	Vol. 19#1 (2009) 看護業務の拡大による可能性を探る	¥1,620
	Vol. 19#2 (2009) 新卒者の採用活動とフォロー	¥1,620
	Vol. 19#3 (2009) eラーニングで看護の質をどう確保するか	¥1,620
	Vol. 19#4 (2009) リソースナースの活用	¥1,620
	Vol. 19#5 (2009) 患者を受け入れるための病床管理の工夫−地域の安心	¥1,620
	Vol. 19#6 (2009) 高度看護実践者の技能と教育的効果	¥1,620
	Vol. 19#7 (2009) 職員を守り，安心・安全の医療を守るための院内暴力	¥1,620
	Vol. 19#8 (2009) 増刊号 行動する看護師長−これからの臨床看護マネジ	¥2,376
	Vol. 19#9 (2009) 地域が連携して行なう看護の質向上	¥1,620
	Vol. 19#10 (2009) 長期ケア施設における看護管理の魅力とその実際	¥1,620
	Vol. 19#11 (2009) 指導者の想像力・教育観で進化するシミュレーション	¥1,620
	Vol. 19#12 (2009) 退院支援で看護が見える	¥1,620
	Vol. 19#13 (2009) チームで取り組む医療安全	¥1,620
	Vol. 20#1 (2010) 医療体制の危機における看護の役割	¥1,620
	Vol. 20#2 (2010) 周術期看護を取り巻く諸問題	¥1,620
	Vol. 20#3 (2010) 看護現場に経営学的視点を	¥1,620
	Vol. 20#4 (2010) よりよい現任教育システムの構築をめざして	¥1,620
	Vol. 20#5 (2010) キャリアビジョンを描ける組織づくり	¥1,620
	Vol. 20#6 (2010) がん患者のシームレスな療養支援体制づくりに向けて	¥1,620
	Vol. 20#7 (2010) NSTが実現する医療の質向上	¥1,620
	Vol. 20#8 (2010) 増刊号 2010年度診療報酬改定から何を読みとるかほ	¥2,376
	Vol. 20#9 (2010) 看護部のマネジメントは病院移転でどう機能したか	¥1,620
	Vol. 20#10 (2010) フェア・マネジメント　健全で持続可能な組織をめざし	¥1,620
	Vol. 20#11 (2010) 看護管理者のネットワークが支える地域医療再生	¥1,620
	Vol. 20#12 (2010) 患者相談・クレーム対応の質向上をめざして	¥1,620
品切	Vol. 20#13 (2010) 医療安全管理者として働くということ	¥1,620
	Vol. 21#1 (2011) 社会からのニーズに応える看護管理の役割を再考する	¥1,620
	Vol. 21#2 (2011) 看護師として幸せに働き続けられる組織をめざして	¥1,620
	Vol. 21#3 (2011) 高齢者看護の質向上に向けて	¥1,620
	Vol. 21#4 (2011) 新任看護師長がぶつかる壁　それをどう乗り越えるか	¥1,620
	Vol. 21#5 (2011) 病棟の“新人を育てる力”を支援する	¥1,620
	Vol. 21#6 (2011) 引き継ぎ時間短縮から労働環境の改善につなげる	¥1,620
	Vol. 21#7 (2011) 東日本大震災への災害支援	¥1,620
	Vol. 21#8 (2011) 増刊号 東日本大震災への医療支援の記録	¥2,376
	Vol. 21#9 (2011) ちょっと気楽に！　みんなで支える臨床看護研究	¥1,620
	Vol. 21#10 (2011) 業務改善と標準化に向かってパスを見直そう	¥1,620
	Vol. 21#11 (2011) 看護師のための身体介護技能実力養成法 アムナス・	¥1,620
	Vol. 21#12 (2011) JCI受審の決断から組織が変化するまでのプロセス	¥1,620
	Vol. 21#13 (2011) 活動を評価し改善するプロジェクトマネジメント	¥1,620
	Vol. 22#1 (2012) 看護師長のための実践的マネジメント論	¥1,620
	Vol. 22#2 (2012) 戦略的に実施する人事考課のしくみ	¥1,620
	Vol. 22#3 (2012) 今、求められているのは「激しさ」−未来へのアクションを	¥1,620
	Vol. 22#4 (2012) 2012年度介護報酬との同時改定で診療報酬はどう変	¥1,620
	Vol. 22#5 (2012) 診療報酬・介護報酬同時改定2025年に向けた流れを	¥1,620
	Vol. 22#6 (2012) 多職種協働で推進する医療の力−先進的かつ効果を	¥1,620
	Vol. 22#7 (2012) 多職種協働時代におけるITの活用－看護職が専門性	¥1,620
	Vol. 22#8 (2012) 増刊号 特集1 組織の“医療安全力”を高める人材育成	¥2,376
	Vol. 22#9 (2012) みんなで支える! 業務実践への視野を広げる臨床看護	¥1,620
	Vol. 22#10 (2012) みんなで支える! 業務実践への視野を広げる臨床看	¥1,620
	Vol. 22#11 (2012) マネジメントリフレクションで管理の質向上をめざす	¥1,620
	Vol. 22#12 (2012) 看護管理の実力をつける マインド・スキル・ツールメソ	¥1,620
	Vol. 22#13 (2012) 助産師出向システム−地域・施設間偏在の是正とキャ	¥1,620
	Vol. 23#1 (2013) 病院の倫理リーダー養成講座/看護師“特定能力”の養	¥1,620
	Vol. 23#2 (2013) 有害事象をめぐる組織としての対応	¥1,620
	Vol. 23#3 (2013) 相互に学び合う教育と臨床―東邦大学看護キャリア支	¥1,620
	Vol. 23#4 (2013) ELNEC−J研修を振り返る	¥1,620
	Vol. 23#5 (2013) 組織内“医療安全ネットワーク”の強化!/アクションリサ	¥1,620

	Vol. 23#6 (2013) クリニカルコーチ育成研修/タイダルモデルで行なう院	¥1,620
	Vol. 23#7 (2013) 評価項目の見直しが進む看護必要度と記録の考え方	¥1,620
	Vol. 23#8 (2013) 増刊号　マインド・スキル・ツールメソッドの成果－組織	¥2,376
	Vol. 23#9 (2013) 看護師が働く環境を改善する/看護補助者の活用	¥1,620
	Vol. 23#10 (2013) ポジティブ・マネジメント入門/人口減少時代の人的資	¥1,620
品切	Vol. 23#11 (2013) チームで取り組む認知症ケアメソッド「ユマニチュード」	¥1,620
	Vol. 23#12 (2013) 地域包括ケア本格化！－退院支援・外来機能を再強	¥1,620
	Vol. 23#13 (2013) 看護師の業務整理・再編に向けた取り組み/看護部の	¥1,620
品切	Vol. 24#1 (2014) 「対話」が現場を変える！ファシリテーター型リーダーシ	¥1,620
品切	Vol. 24#2 (2014) 病院機能評価の新体系-ケアプロセスの評価を看護に	¥1,620
	Vol. 24#3 (2014) 病院のリソースナースを地域で活用する-在宅療養の質	¥1,620
	Vol. 24#4 (2014) 育て上手のリーダーシップ-スタッフの学びを促すリフレ	¥1,620
品切	Vol. 24#5 (2014) 真に効果的なダブルチェック体制とは－与薬インシデ	¥1,620
	Vol. 24#6 (2014) 特集1　新人看護職員研修の質向上に向けて／特集2	¥1,620
	Vol. 24#7 (2014) いよいよ制度化！　「特定行為に係る看護師」研修制度	¥1,620
	Vol. 24#8 (2014) あなたの病院はどうしますか？　2014年診療報酬改定	¥1,620
品切	Vol. 24#9 (2014) 新しい看護提供方式PNSを組織文化に－見えてきたア	¥1,620
	Vol. 24#10 (2014) 職場適応に困難を抱えるスタッフへの支援-“こぼれ落	¥1,620
	Vol. 24#11 (2014) 指導者間の連携で基礎と臨床のギャップを埋める	¥1,620
	Vol. 24#12 (2014) 決して後悔しない! 新病院プロジェクトの合意形成プロ	¥1,620
品切	Vol. 25#1 (2015) 最期まであなたらしく生きることを支える「アドバンス・ケ	¥1,620
	Vol. 25#2 (2015) がん患者への意思決定支援の質を高める－診断時か	¥1,620
品切	Vol. 25#3 (2015) 「変化」に対応し看護の質を保証する　看護提供方式の	¥1,620
品切	Vol. 25#4 (2015) 新任看護師長必読！　実践　チーム・ビルディング　ス	¥1,620
	Vol. 25#5 (2015) 災害対応力の高い柔軟な組織へ　指示と行動を明確に	¥1,620
	Vol. 25#6 (2015) 新人看護職員研修努力義務化から5年　今こそ育てる「	¥1,620
	Vol. 25#7 (2015) 看護管理者のコンピテンシー　広がる取り組みと進化	¥1,620
	Vol. 25#8 (2015) 地域包括的視点を重視した看護マネジメント“知識編”	¥1,620
	Vol. 25#9 (2015) 地域包括的視点を重視した看護マネジメント“実践編”	¥1,620
	Vol. 25#10 (2015) 真に現場で機能するeラーニング　主体的な学びやキ	¥1,620
	Vol. 25#11 (2015) 看護師長のための　実践！「データマネジメント」	¥1,620
	Vol.　25#12 (2015) クリニカルナースリーダー　ケアプロセスの質を保証	¥1,620
	Vol. 26#1 (2016) 看護管理者としての意思決定　新たな看護ケアの創出	¥1,620
	Vol. 26#2 (2016) 地域で暮らすがん患者への包括的支援　病期の進展	¥1,620
	Vol. 26#3 (2016) 採用活動を変えると組織が変わる　組織開発と人材育	¥1,620
	Vol. 26#4 (2016) 「承認」が持つ力　相互に認め合える環境が，組織と個	¥1,620
	Vol. 26#5 (2016) 臨床看護師だからこそできる被験者ケア　臨床試験・治	¥1,620
	Vol. 26#6 (2016) 医療安全対策はここまで変わる！　ヒューマンエラーの	¥1,620

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

406　看護研究（医学書院）

Vol. 1-9 (1968-1976) 各1-4号	各号	¥1,944
Vol. 10#1-5 (1977)	各号	¥1,944
Vol. 11-14 (1978-1981) 各1-4号	各号	¥1,944
Vol. 15#1-5 (1982)	各号	¥1,944
Vol. 16-17 (1983-1984) 各1-4号	各号	¥1,944
Vol. 18-23 (1985-1990) 各1-5号	各号	¥1,944
Vol. 24#1 (1991) ロイ看護適応モデル		¥1,944
Vol. 24#2 (1991) 病院内外の環境をめぐる研究		¥1,944
Vol. 24#3 (1991) 国際看護理論家会議		¥1,944
Vol. 24#4 (1991) 臨時増刊 看護教育における教育方法		¥2,376
Vol. 24#5 (1991) 人間-環境系の看護研究[1]		¥1,944
Vol. 24#6 (1991) 人間-環境系の看護研究[2]		¥1,944
Vol. 25#1 (1992) 日本看護診断研究会・第1回学術集会報告		¥1,944
Vol. 25#2 (1992) 看護におけるQOLの研究[1]		¥1,944
Vol. 25#3 (1992) 看護におけるQOLの研究[2]		¥1,944
Vol. 25#4 (1992) 寝たきり老人の看護に関する研究[1]		¥1,944
Vol. 25#5 (1992) フェミニスト・セオリーから看護を見直す		¥2,376
Vol. 25#6 (1992) 寝たきり老人の看護に関する研究[2]		¥1,944
Vol. 26#1 (1993) 看護におけるケアリングの概念		¥1,944
Vol. 26#2 (1993) 日本看護診断研究会・第2回学術集会		¥2,376
Vol. 26#3 (1993) 臨床看護の概念化に向けて		¥1,944
Vol. 26#4 (1993) 看護における質的研究 質的研究で何が見える		¥2,376
Vol. 26#5 (1993) ヒューマンセンサー（感性）に関する看護研究		¥1,944
Vol. 26#6 (1993) 研究論文集		¥1,944
Vol. 26#7 (1993) 看護大学教育の理念とｶﾘｷｭﾗﾑ		¥1,944
Vol. 27#1 (1994) 集中治療室における看護ｹｱ		¥1,944
Vol. 27#2-3合併号 (1994) 家族看護学研究の動向		¥3,888
Vol. 27#4 (1994) 感染予防に関する看護研究		¥1,944
Vol. 27#5 (1994) 看護の専門分化とクリニカルナーススペシャリスト		¥2,376
Vol. 27#6 (1994) 老人ケアの教育とカリキュラム		¥1,944
Vol. 28#1 (1995) 医療における女性の意思決定		¥1,944
Vol. 28#2 (1995) 看護研究の活性化とネットワーキング		¥1,944
Vol. 28#3 (1995) 痴呆老人の家族介護に関する研究ほか		¥1,944
Vol. 28#4 (1995) 看護ケアの質の評価に関する研究		¥1,944
Vol. 28#5 (1995) 看護管理と情報テクノロジー		¥1,944
Vol. 28#6 (1995) 精神科看護者の境界性人格障害		¥1,944
Vol. 29#1 (1996) 看護ｹｱの質を構成する要素に関する質的研究		¥1,944
Vol. 29#2 (1996) 日本人妊婦における時間感覚母性課題		¥1,944
Vol. 29#3 (1996) 痴呆性老人の看護に関する研究		¥1,944
Vol. 29#4 (1996) 続・痴呆性老人の看護に関する研究		¥1,944
Vol. 29#5 (1996) 尿失禁患者の看護に関する研究		¥1,944
Vol. 29#6 (1996) 看護ケアパラダイムの変換をめぐって		¥1,944
Vol. 30#1 (1997) 在宅ケアに関する研究と課題		¥1,944
Vol. 30#2 (1997) レイニンガーの看護論と研究方法		¥1,944
Vol. 30#3 (1997) ヘルスプロモーションに関する研究		¥1,944
Vol. 30#4 (1997) 入院患者の環境認知特性の把握		¥1,944
Vol. 30#5 (1997) 在宅ケアのアウトカム		¥1,944
Vol. 30#6 (1997) 健康教育とヘルスプロモーション		¥1,944
Vol. 31#1 (1998) ヘルスプロモーション活動の実践と課題		¥1,944
Vol. 31#2 (1998) 看護ケアの質の評価指標と評価方法の開発		¥1,944
Vol. 31#3 (1998) がん患者用自己効力感尺度作成の試み・ほか		¥1,944
Vol. 31#4 (1998) 災害看護学の構築に向けて(I)		¥1,944
Vol. 31#5 (1998) 臨床看護実習プログラム鼓モデルの開発・ほか		¥1,944
Vol. 31#6 (1998) 看護診断に関する研究と今後の課題		¥1,944
Vol. 32#1 (1999) 家庭訪問/訪問看護の意味を見いだす質的..		¥1,944

	Vol. 32#2 (1999) 看護専門職における自律性と職場環境および	¥1,944
	Vol. 32#3 (1999) 災害看護学の構築に向けて(II)	¥1,944
	Vol. 32#4 (1999) 感染看護に関する研究と実践	¥1,944
	Vol. 32#5 (1999) 看護学の枠組みと学術用語としての看護用語	¥1,944
	Vol. 32#6 (1999) セクシュアリティに対する看護者の知識/態度..	¥1,944
	Vol. 33#1 (2000) 看護学における先端科学の推進	¥1,944
	Vol. 33#2 (2000) 続・看護学における先端科学の推進	¥1,944
	Vol. 33#3 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題	¥1,944
	Vol. 33#4 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後..(II)	¥1,944
品切	Vol. 33#5 (2000) 研究の枠組みと研究方法のクリティーク	¥1,944
	Vol. 33#6 (2000) 臨床看護に関する研究の動向と今後..(III)	¥1,944
	Vol. 34#1 (2001) 看護研究方法としての疫学的研究方法	¥1,944
	Vol. 34#2 (2001) 看護研究と倫理	¥1,944
	Vol. 34#3 (2001) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題(IV)	¥1,944
	Vol. 34#4 (2001) IT時代における看護研究の取り組み	¥1,944
	Vol. 34#5 (2001) 臨床看護に関する研究の動向と今後の課題(V)	¥1,944
品切	Vol. 34#6 (2001) 看護実践・理論・研究をつなぐアクションリサーチ	¥1,944
	Vol. 35#1 (2002) 訪問看護の現状とグランドデザイン	¥1,944
	Vol. 35#2 (2002) Evidence Based Nursing-その基本と実践・研究・教育	¥1,944
	Vol. 35#3 (2002) 論文集 看護師の職業的アイデンティティに関する中範	¥1,944
	Vol. 35#4 (2002) 慢性性(Chronicity)と生活史に焦点を当てた看護学的	¥1,944
	Vol. 35#5 (2002) 実践に向けた高齢者ケア研究の方向性と課題	¥1,944
	Vol. 35#6 (2002) 看護継続教育論-3領域への研究的アプローチ	¥1,944
	Vol. 36#1 (2003) ロイ適応看護モデルを用いた看護研究	¥1,944
	Vol. 36#2 (2003) 看護における学術集会―意義・歩み・運営の実際	¥1,944
	Vol. 36#3 (2003) 患者教育のための「看護実践モデル」開発の試み	¥1,944
	Vol. 36#4 (2003) 看護の知の発展に向けた東アジア博士後期課程の協	¥1,944
	Vol. 36#5 (2003) 増刊号 質的アプローチが変える臨床研究	¥1,944
	Vol. 36#6 (2003) 小児の「痛み」に関する研究	¥1,944
品切	Vol. 36#7 (2003) グループ支援のための理論・技術・評価－地域看護に	¥1,944
	Vol. 37#1 (2004) 看護実践につながる実験研究	¥1,944
	Vol. 37#2 (2004) 看護安全への認知的アプローチ	¥1,944
	Vol. 37#3 (2004) 看護教育学における理論開発	¥1,944
	Vol. 37#4 (2004) 看護・医療の研究におけるタイムスタディ	¥1,944
品切	Vol. 37#5 (2004) 増刊号 看護研究と現象学的アプローチの動向	¥1,944
	Vol. 37#6 (2004) 糖尿病自己管理のアウトカム指標(I)―ナショナルスタン	¥1,944
	Vol. 37#7 (2004) 糖尿病自己管理のアウトカム指標(II) ナショナルスタン	¥1,944
品切	Vol. 38#1 (2005) 参加観察法トレーニング―データの収集・分析の実践	¥1,944
	Vol. 38#2 (2005) クリティカルケア看護領域における研究の動向と課題	¥1,944
	Vol. 38#3 (2005) 看護研究におけるメタアナリシス	¥1,944
	Vol. 38#4 (2005) 看護経済学の構築とその枠組み	¥1,944
品切	Vol. 38#5 (2005) 増刊号 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチをめ	¥1,944
	Vol. 38#6 (2005) 目的重視型保健師活動モデルの開発過程とその成果	¥1,944
	Vol. 38#7 (2005) 高度専門看護実践の可視化とアルゴリズムの抽出	¥1,944
	Vol. 39#1 (2006) 介入研究―理論とデータに結びついたケアプログラム	¥1,944
	Vol. 39#2 (2006) Community-Based Participatory Research-	¥1,944
	Vol. 39#3 (2006) 新しいケアの創造に向けたがん患者・家族の理解	¥1,944
	Vol. 39#4 (2006) 認知症高齢者の尊厳を維持する看護研究	¥1,944
	Vol. 39#5 (2006) 増刊号 看護学における「生活者」という視点「生活」の	¥1,944
	Vol. 39#6 (2006) 補完代替医療における看護療法の検証	¥1,944
	Vol. 39#7 (2006) 研究方法論セミナー	¥1,944
	Vol. 40#1 (2007) 看護学教育における方法論の探求と研究的視座	¥1,944
	Vol. 40#2 (2007) 国家試験問題の作成能力とブラッシュアップ能力の向	¥1,944
	Vol. 40#3 (2007) 増刊号 博士課程院生のための研究法特別講義	¥1,944
	Vol. 40#4 (2007) 高齢者訪問看護の質指標の開発	¥1,944
	Vol. 40#5 (2007) 看護研究における倫理を再考する	¥1,944
	Vol. 40#6 (2007) 予防看護学研究の進展	¥1,944

	Vol. 40#7 (2007) 日本の看護師の労働環境の実態 リンダ・エイケンとの	¥1,944
品切	Vol. 41#1 (2008) 科学的な質的研究のための質的統合法(KJ法)と考察	¥1,944
品切	Vol. 41#2 (2008) 科学的な質的研究のための質的統合法(KJ法)と考察	¥1,944
品切	Vol. 41#3 (2008) 増刊号 理論・研究・実践を総合するリフレクション	¥1,944
	Vol. 41#4 (2008) アリゾナ大学大学院博士課程におけるオンライン教育	¥1,944
	Vol. 41#5 (2008) 看護学の基盤形成にいかすメタ統合 質的研究の蓄積	¥1,944
	Vol. 41#6 (2008) 看護におけるeffectiveness research RCTを超えて	¥1,944
	Vol. 41#7 (2008) 看護研究におけるアフォーダンスの可能性	¥1,944
品切	Vol. 42#1 (2009) 看護に活用するレジリエンスの概念と研究	¥1,944
品切	Vol. 42#2 (2009) 研究の質を高めるコツと工夫	¥1,944
	Vol. 42#3 (2009) 超高齢社会における転倒予防のための看護研究(I)	¥1,944
	Vol. 42#4 (2009) 超高齢社会における転倒予防のための看護研究(II)	¥1,944
	Vol. 42#5 (2009) 増刊号 質的研究方法を用いた看護学の学位論文評価	¥1,944
	Vol. 42#6 (2009) translational researchとしての小児の疼痛緩和方法の	¥1,944
	Vol. 42#7 (2009) 看護にSOCをどう活用するのか	¥1,944
	Vol. 43#1 (2010) 国際的に活躍できる研究者をどう育てるか	¥1,944
	Vol. 43#2 (2010) 理論の開発・活用のための中範囲理論	¥1,944
	Vol. 43#3 (2010) EBPを根づかせていくための概念モデルと方略(I)―〈	¥1,944
	Vol. 43#4 (2010) EBPを根づかせていくための概念モデルと方略(II)環	¥1,944
品切	Vol. 43#5 (2010) 増刊号 看護ケアの質評価と改善―研究の成果と今後	¥1,944
	Vol. 43#6 (2010) 看護科におけるTranslational Research	¥1,944
	Vol. 43#7 (2010) 新たな創造に向けた看護研究	¥1,944
品切	Vol. 44#1 (2011) 現象学的研究における「方法」を問う	¥1,944
	Vol. 44#2 (2011) 看護学におけるケアリングの現在	¥1,944
	Vol. 44#3 (2011) 慢性の病いにおける他者への「言いづらさ」―ライフスト	¥1,944
	Vol. 44#4 (2011) 増刊号 CT.Beck氏の研究から考える看護における研	¥1,944
	Vol. 44#5 (2011) 看護学研究発展の軌跡 研究方法論に着眼して	¥1,944
	Vol. 44#6 (2011) 看護と工学の連携 加速度センサの開発を出発点として	¥1,944
	Vol. 44#7 (2011) Good Nurse 研究にみる東アジア国際共同研究の意義	¥1,944
	Vol. 45#1 (2012) 研究者育成のための質保証におけるグローバルスタン	¥1,944
	Vol. 45#2 (2012) 研究の普及を支える基盤としての論文執筆	¥1,944
	Vol. 45#3 (2012) 質的研究を学び合う JRC-NQRの実践	¥1,944
品切	Vol. 45#4 (2012) 増刊号 経験を記述する 現象学と質的研究	¥1,944
	Vol. 45#5 (2012) 北欧ケアとは何か 看護研究への示唆	¥1,944
	Vol. 45#6 (2012) ケアリングが築く未来 国際ケアリング学会の成果	¥1,944
	Vol. 45#7 (2012) 臨床看護師が取り組む研究モデルの探究	¥1,944
	Vol. 46#1 (2013) 被ばく医療における看護の人材育成と研究	¥1,944
品切	Vol. 46#2 (2013) 看護学における事例研究法 新たな研究デザインへの	¥1,944
	Vol. 46#3 (2013) 認知症の当事者研究のために 老年看護学の新たな視	¥1,944
	Vol. 46#5 (2013) 看護研究におけるテキストマイニング（Ⅰ）	¥1,944
	Vol. 46#4 (2013) 増刊号 質的研究方法を用いた博士論文作成指導の技	¥1,944
	Vol. 46#6 (2013) 看護研究におけるテキストマイニング（Ⅱ）	¥1,944
	Vol. 46#7 (2013) Person-centred Care の理論の現状と看護研究として	¥1,944
	Vol. 47#1 (2014) 看護学において若手研究者をどう育てるか？(I)	¥1,944
	Vol. 47#2 (2014) 看護学において若手研究者をどう育てるか？(II)	¥1,944
	Vol. 47#3 (2014) Mixed Methods Research　その意義と可能性	¥1,944
	Vol. 47#4 (2014) 増刊号 博士論文を書くということ　あのときの問いといま	¥1,944
	Vol. 47#5 (2014) 知的財産としての看護研究　研究成果の特許化	¥1,944
	Vol. 47#6 (2014) 看護ケアプログラムの体系化に向けて 看護研究と行動	¥1,944
	Vol. 47#7 (2014) 看護を語る 看護を創る	¥1,944
	Vol. 48#1 (2015) 看護研究から政策をうみだすために	¥2,052
	Vol. 48#2 (2015) 遠隔看護とイノベーション　在宅医療の新展開	¥2,052
	Vol. 48#3 (2015) 医療権力論　看護界・医療界はいま	¥2,052
	Vol. 48#5 (2015) NP教育の成果を探る―自律したHealth Care Provider	¥2,052
	Vol. 48#6 (2015) 現象学を語る	¥2,052
	Vol. 48#7 (2015) 査読を考える―査読ガイドラインの構築に向けて	¥2,052
	Vol. 49#1 (2016) 混合研究法が創る未来―第1回日本混合研究法学会	¥2,052

Vol. 49#2 (2016) 看護学の発展にとっての理論構築―Transitions Theor	¥2,052
Vol. 49#3 (2016) 看護におけるシステマティックレビュー	¥2,052

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

407 看護教育（医学書院）

Vol. 1#1-2 (1960)	各号	¥1,512
Vol. 2-8 (1961-1967) 各1-12号	各号	¥1,512
Vol. 9#1-13 (1968)	各号	¥1,512
Vol. 10-14 (1969-1973) 各1-12号	各号	¥1,512
Vol. 15#1-9,12 (1974)	各号	¥1,512
Vol. 15#10/11 (1974)		¥3,024
Vol. 16-18 (1975-1977) 各1-12号	各号	¥1,512
Vol. 19#1-13 (1978)	各号	¥1,512
Vol. 20#1-12 (1979)	各号	¥1,512
Vol. 21#1-12 (1980)	各号	¥1,512
Vol. 22-25 (1981-1984) 各1-13号	各号	¥1,512
Vol. 26#1-12 (1985)	各号	¥1,512
Vol. 27#1-14 (1986)	各号	¥1,512
Vol. 28-32 (1987-1991) 各1-13号	各号	¥1,512
Vol. 33#1-11,13 (1992)	各号	¥1,512
Vol. 33#12 (1992) 臨時増刊 チーム医療の中のPOS		¥2,268
Vol. 34#1-11,13 (1993)	各号	¥1,512
Vol. 34#12 (1993) 増刊号 医療の多様化とPOS		¥2,268
Vol. 35#1-11,13 (1994)	各号	¥1,512
Vol. 35#12 (1994) 増刊号 クオリティオブライフとPOS		¥2,268
Vol. 36#1 (1995) ナイティンゲール再考		¥1,512
Vol. 36#2 (1995) 看護と福祉新時代-教育に期待される		¥2,268
Vol. 36#3 (1995) よりよい臨床実習を目指して		¥1,512
Vol. 36#4 (1995) 看護教育をより豊かに		¥1,512
Vol. 36#5 (1995) やさしさと思いやりの育成		¥1,512
Vol. 36#6 (1995) 教員に必要な経営的感覚Part1		¥1,512
Vol. 36#7 (1995) 教員に必要な経営的感覚Part2		¥1,512
Vol. 36#8 (1995) 看護教育50年の評価		¥2,268
Vol. 36#9 (1995) 転換期における人材育成		¥1,512
Vol. 36#10 (1995) 教育・研究のための図書室の充実		¥1,512
Vol. 36#11 (1995) 患者経験を通して看護教育を考える		¥1,512
Vol. 36#12 (1995) POSの輪を広げよう		¥2,268
Vol. 36#13 (1995)「抑制」の重さと看護教育		¥1,512
Vol. 37#1 (1996) 看護における倫理教育		¥1,512
Vol. 37#2 (1996) 授業としての臨地実習		¥1,512
Vol. 37#3 (1996) 私学における看護教育の課題と展望		¥1,512
Vol. 37#4 (1996) 学生の心をとらえる授業の工夫		¥1,512
Vol. 37#5 (1996) 新カリキュラム中間報告書全文掲載		¥1,512
Vol. 37#6 (1996) 人間関係を学ぶワークショップ		¥1,512
Vol. 37#7 (1996) 看護の大学教育の死角		¥1,512
Vol. 37#8 (1996) 人権/インフォームド・コンセント		¥1,512
Vol. 37#9 (1996) 開かれた看護教育となるための転部編入学..		¥1,512
Vol. 37#10 (1996) 改定後の「指定規則」全文		¥1,512
Vol. 37#11 (1996) 試験問題の作り方		¥1,512
Vol. 37#12 (1996) 新しい在宅看護論・精神看護学		¥2,268
Vol. 37#13 (1996) ケーススタディ:試験問題の作り方		¥1,512
Vol. 38#1 (1997)「看護婦(士) 国家試験」問題		¥1,404
Vol. 38#2 (1997)「在宅看護論」私論		¥1,404
Vol. 38#3 (1997) 精神看護学実習の展開		¥1,404
Vol. 38#4 (1997) 在宅看護論実習の展開		¥1,404
Vol. 38#5 (1997) 大学院急増時代新設された6修士課程		¥1,404
Vol. 38#6 (1997) 看護学生と喫煙の問題		¥1,404
Vol. 38#7 (1997) 研究に必要な視点と戦略		¥1,404
Vol. 38#8 (1997) ナースのための健康スポーツ学		¥2,106

	Vol. 38#9 (1997) 学生が経験したICN大会	¥1,404
	Vol. 38#10 (1997) いま,ケアとは何かを問う	¥1,404
	Vol. 38#11 (1997) 増刊号 看護基礎教育改革への助走	¥2,106
	Vol. 38#12 (1997) 看護の国際協力と国看護学	¥1,404
	Vol. 39#1 (1998) 国家試験対策-わが校はこうしている	¥1,512
	Vol. 39#2 (1998) 入試に小論文を	¥1,512
	Vol. 39#3 (1998) 学生の声を聴く	¥1,512
	Vol. 39#4 (1998) 教員として育つために	¥1,512
	Vol. 39#5 (1998) 在宅看護論・精神看護学の実習をめぐって	¥1,512
	Vol. 39#6 (1998) 学生の主体性を読み取る-行動姿勢の視点..	¥1,512
	Vol. 39#7 (1998) 国家試験対策とその評価	¥1,512
	Vol. 39#8 (1998) 生涯人間発達学入門	¥2,268
	Vol. 39#9 (1998) 未来を見据えた看護教育を-いま、何を準備..	¥1,512
	Vol. 39#10 (1998) エイズを考える授業	¥1,512
	Vol. 39#11 (1998) 臨床に資する看護研究-私の研究指導	¥2,268
	Vol. 39#12 (1998) 看護教育をとりまくこの1年の動き	¥1,512
	Vol. 40#1 (1999) 育ち・教える	¥1,512
	Vol. 40#2 (1999) 現場に身を置く	¥1,512
	Vol. 40#3 (1999) 学生指導	¥1,512
	Vol. 40#4 (1999) ボランティア	¥1,512
	Vol. 40#5 (1999) 看護教育学研究20年の軌跡	¥1,512
	Vol. 40#6 (1999) 教育環境を整える	¥1,512
	Vol. 40#7 (1999) 国家試験の評価	¥1,512
	Vol. 40#8 (1999) 増刊号 看護婦国家試験出題基準	¥2,268
	Vol. 40#9 (1999) わかる授業の技術	¥1,512
	Vol. 40#10 (1999) 医療事故と看護教育	¥1,512
	Vol. 40#11 (1999) 増刊号 フィジカルアセスメント	¥2,268
	Vol. 40#12 (1999) 看護教育をとりまく1年の動き	¥1,512
	Vol. 41#1 (2000) 看護-生命にかかわる仕事	¥1,512
	Vol. 41#2 (2000) 看護教育における記録の問題	¥1,512
	Vol. 41#3 (2000) おとなの学びを支援する	¥1,512
	Vol. 41#4 (2000) 倫理的意思決定能力を育む	¥1,512
	Vol. 41#5 (2000) 臨床教育に「イチロー君」活躍する	¥1,512
	Vol. 41#6 (2000) 変容する家族と小児病棟の現在	¥1,512
	Vol. 41#7 (2000) 教育と臨床の実践的連携をめざして	¥1,512
品切	Vol. 41#8 (2000) 増刊号 日本の看護.. 私にとっての20世紀	¥2,268
	Vol. 41#9 (2000) 4年制大学における看護技術教育	¥1,512
	Vol. 41#10 (2000) 21世紀の看護教育に向けて	¥1,512
	Vol. 41#11 (2000) 増刊号 医療倫理.. 21世紀における看護者	¥2,268
	Vol. 41#12 (2000) 21世紀を歩むナースたちへ	¥1,512
	Vol. 42#1 (2001) 男子学生の現在	¥1,512
	Vol. 42#2 (2001) 臨地実習指導	¥1,512
	Vol. 42#3 (2001) 援助とは何か	¥1,512
	Vol. 42#4 (2001) 「主体的に学ぶ」授業	¥1,512
	Vol. 42#5 (2001) 精神科看護に求められること	¥1,512
	Vol. 42#6 (2001) 問いなおす看護教育	¥1,512
	Vol. 42#7 (2001) 病態生理学・成人看護論・老人看護論の連結講義を試	¥1,512
	Vol. 42#8 (2001) 知識と実践を結ぶ 看護過程セミナー	¥2,268
	Vol. 42#9 (2001) 学生とともに学ぶ医療事故防止	¥1,512
	Vol. 42#10 (2001) 操作される生と死を前にして	¥1,512
	Vol. 42#11 (2001) 増刊号 看護技術教育のこれから	¥2,268
	Vol. 42#12 (2001) 医療事故の実態と基礎教育	¥1,512
	Vol. 43#1 (2002) 自己学習を中心としたフィジカルアセスメント教育の実	¥1,512
	Vol. 43#2 (2002) 著作権の利用・引用のルール	¥1,512
	Vol. 43#3 (2002) 看護視と看護実践	¥1,512
	Vol. 43#4 (2002) 教育の自己点検・自己評価	¥1,512
	Vol. 43#5 (2002) 第91回看護師国家試験を終えて	¥1,512

Vol. 43#6 (2002) 臨地実習のあり方を考える	¥1,512
Vol. 43#7 (2002) 人間の環でつくる精神看護学実習	¥1,512
Vol. 43#8 (2002) 8月9月合併増大号 現代の家族神話を超えて	¥2,268
Vol. 43#9 (2002) 米国コロラド大学保健科学センター看護学部の小児看	¥1,512
Vol. 43#10 (2002) 臨床能力を高める教育の試み	¥1,512
Vol. 43#11 (2002) 増刊号 クリティカルシンキングのスキルを育てる	¥2,268
Vol. 43#12 (2002) 学外学習の最新の取り組み	¥1,512
Vol. 44#1 (2003)「静脈注射」をめぐって	¥1,512
Vol. 44#2 (2003) 臨地実習の成果	¥1,512
Vol. 44#3 (2003) 学生の問題にどう対応するか	¥1,512
Vol. 44#4 (2003) 口と食べることとの関係―QOL向上を目指して	¥1,512
Vol. 44#5 (2003) 学生に国家試験の受験資格を与えることの意味	¥1,512
Vol. 44#6 (2003)「看護倫理」教育―国立相模原病院附属看護学校の実	¥1,512
Vol. 44#7 (2003) 学生をめぐる今日的な問題―その法的な対処について	¥1,512
Vol. 44#8 (2003) 8・9合併増大号看護学生の論文－大賞・入選論文の	¥2,268
Vol. 44#9 (2003) 教師に求められるもの－新たな授業実践	¥1,512
Vol. 44#10 (2003) 看護師国家試験出題基準の改定	¥1,512
Vol. 44#11 (2003) 増刊号ペーパーペイシェントによる教育方法・教育評	¥2,268
Vol. 44#12 (2003) 看護実践能力育成への取り組み	¥1,512
Vol. 45#1 (2004) 新春対談：生涯人間発達論からみた思春期、そして青	¥1,512
Vol. 45#2 (2004) 看護事故防止カリキュラムの構築	¥1,512
Vol. 45#3 (2004) 卒直前の事故防止演習	¥1,512
Vol. 45#4 (2004) 看護師学校養成所「2年課程通信制」実施へ	¥1,512
Vol. 45#5 (2004) 当事者に学ぶ	¥1,512
Vol. 45#6 (2004) 看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達	¥1,512
Vol. 45#7 (2004) 3校の新しいカリキュラム紹介	¥1,512
Vol. 44#8 (2004) 8・9合併増大号 看護学生の論文 大賞・入選論文の発	¥2,268
Vol. 45#9 (2004) 臨地実習 学生を大切に育てたい	¥1,512
Vol. 45#10 (2004) 模擬患者（SP）参加の看護教育	¥1,512
Vol. 45#11 (2004) 増刊号 在宅看護論の授業展開	¥2,268
Vol. 45#12 (2004) 授業展開マトリックスの構築	¥1,512
Vol. 46#1 (2005) 看護技術チェックプログラム	¥1,512
Vol. 46#2 (2005) 臨地実習指導に問われるもの	¥1,512
Vol. 46#3 (2005) 地域に育てられる	¥1,512
Vol. 46#4 (2005) ユニフィケーションシステムを導入した神奈川県立の看	¥1,512
Vol. 46#5 (2005) 2000-2005年表で見るわが国の看護・看護教育の動向	¥1,512
Vol. 46#6 (2005) 看護学校の危機管理	¥1,512
Vol. 46#7 (2005) 卒業生のフォローをどうしていますか？	¥1,512
Vol. 46#8 (2005) 8・9合併増大号看護学生の論文優秀賞・入選論文の発	¥2,268
Vol. 46#9 (2005) 10年を迎えた認定看護師教育	¥1,512
Vol. 46#10 (2005) 高等教育機関の自己評価はなぜ必要か	¥1,512
Vol. 46#11 (2005) 増刊号 看護学実習-教員・指導者・学生，三者の体験	¥2,268
Vol. 46#12 (2005) 学生が臨床で暴力に遭遇したとき	¥1,512
Vol. 47#1 (2006) KJ法の思想と技術を学ぶ	¥1,512
Vol. 47#2 (2006) 災害看護の現場から-災害看護学構築に向けて・1	¥1,512
Vol. 47#3 (2006) 災害看護学構築に向けて・2	¥1,512
Vol. 47#4 (2006) 看護技術教育プログラムの改善―山梨県立看護大学	¥1,512
Vol. 47#5 (2006) 教員だからこそできる地域貢献	¥1,512
Vol. 47#6 (2006) 医療者と患者のパートナーシップ	¥1,512
Vol. 47#7 (2006) 看護の学びを問い直す 専門職の成長を促すものは何	¥1,512
Vol. 47#8 (2006) 8・9合併増大号特集1看護学生の論文入選エッセイ・論	¥2,268
Vol. 47#9 (2006) 射水市民病院の人工呼吸器取り外し問題が提起したこ	¥1,512
Vol. 47#10 (2006) 臨床との連携で効果をあげる看護教育	¥1,512
Vol. 47#11 (2006) 増刊号 看護の歴史はおもしろい語り継がれる人と時	¥2,268
Vol. 47#12 (2006)「看護師2年課程通信制」発足から3年	¥1,512
Vol. 48#1 (2007) いまなぜポートフォリオなのか 学生評価・教員評価の新	¥1,512
Vol. 48#2 (2007) 新人職員研修で人はどう育っているか	¥1,512

	Vol. 48#3 (2007) 教育の改善をめざして	¥1,512
	Vol. 48#4 (2007) 教育活動とe-learning	¥1,512
	Vol. 48#5 (2007) コミュニケーション技術の習得	¥1,512
	Vol. 48#6 (2007) フィジカルアセスメント教育―どこを強化するのか	¥1,512
	Vol. 48#7 (2007) カリキュラム改正案 詳細	¥1,512
	Vol. 48#8 (2007) 増大号 看護学生の論文 補完代替医療の基礎教育へ	¥2,268
	Vol. 48#9 (2007) 医療安全教育 カリキュラム改正をにらんで	¥1,512
	Vol. 48#10 (2007) 学生のヒヤリ・ハットから学ぶ看護技術テキストの作成	¥1,512
	Vol. 48#11 (2007) 看護教員養成とは何か	¥1,512
	Vol. 48#12 (2007) 新卒1年生の居る病院	¥1,512
品切	Vol. 49#1 (2008) カリキュラム改正手続きをスムーズに行う 看護教育の質	¥1,512
	Vol. 49#2 (2008) コミュニケーション能力と倫理	¥1,512
	Vol. 49#3 (2008) 臨床につなげる専門基礎科目	¥1,512
	Vol. 49#4 (2008) 看護の統合力を筆記試験で評価する	¥1,512
	Vol. 49#5 (2008) 専門職の実践的力量を形成していくために	¥1,512
	Vol. 49#6 (2008) 都立看護学校7校の新カリキュラムへの取り組み 課題	¥1,512
	Vol. 49#7 (2008) 精神「科」看護を教えるということ	¥1,512
	Vol. 49#8 (2008) 国家試験問題プール制 再考/看護学生論文	¥2,268
	Vol. 49#9 (2008) 看護教育がチーム医療にできること	¥1,512
	Vol. 49#10 (2008)「看護教育の大学化」提言のインパクト 実現に向けて	¥1,512
	Vol. 49#11 (2008)「いのちの授業」を学生に贈る	¥1,512
	Vol. 49#12 (2008) 災害看護論の定着に向けて	¥1,512
	Vol. 50#1 (2009) 教育に国際的視野を 国際看護学への道	¥1,512
	Vol. 50#2 (2009) 社会人入学者のいる教室 より適した教育を目指して	¥1,512
	Vol. 50#3 (2009) カリキュラム改正に対応した教育方法・1	¥1,512
	Vol. 50#4 (2009) カリキュラム改正に対応した教育方法・2	¥1,512
	Vol. 50#5 (2009)「学び方」を学ぶ 広まる初年次教育への取り組み	¥1,512
	Vol. 50#6 (2009) 医療安全カリキュラム 構築のためのキーポイント	¥1,512
	Vol. 50#7 (2009) 学習支援で学生を変える 取り組みの必要性と効果	¥1,512
	Vol. 50#8 (2009) 増大号 難しくない「経営と管理」 看護学生論文	¥2,268
	Vol. 50#9 (2009) シミュレーション教材は進化する	¥1,512
	Vol. 50#10 (2009) 思い込みと偏見	¥1,512
	Vol. 50#11 (2009) 授業の関係性を考えるマトリックス	¥1,512
	Vol. 50#12 (2009) PBLは報われる	¥1,512
	Vol. 51#1 (2010) 2010年看護教育の課題	¥1,512
	Vol. 51#2 (2010) ポートフォリオが花ひらくとき	¥1,512
	Vol. 51#3 (2010) 看護教育の臨床への継続	¥1,512
	Vol. 51#4 (2010) 看護倫理を教育のベースラインに	¥1,512
	Vol. 51#5 (2010) 地域に根ざした教育の実践	¥1,512
	Vol. 51#6 (2010) 学びは越境する―異領域の導き手から看護	¥1,512
	Vol. 51#7 (2010) 夜間実習に挑む	¥1,512
	Vol. 51#8 (2010) 増大号 当事者に聞く　障害をもつ学生をいかに育てる	¥2,268
	Vol. 51#9 (2010) 看護学生に本当に必要な教育学を探して	¥1,512
	Vol. 51#10 (2010) 生活機能・目標志向からみた老年看護	¥1,512
	Vol. 51#11 (2010)「教員を辞めたくなるとき」に学校で向き合う	¥1,512
品切	Vol. 51#12 (2010) 実践力向上の実習評価へ	¥1,512
	Vol. 52#1 (2011)「看護教員が教える形態機能学」への道	¥1,512
	Vol. 52#2 (2011) これからの看護教員養成―講習会ガイドライン活用と発	¥1,512
	Vol. 52#3 (2011) 中小病院や施設に実習を求めて	¥1,512
	Vol. 52#4 (2011) 男が看護を学ぶこと	¥1,512
	Vol. 52#5 (2011) 循環型教育の確立をめざして	¥1,512
	Vol. 52#6 (2011) チーム医療を培うIPE	¥1,512
	Vol. 52#7 (2011) 模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 1　模擬患者	¥1,512
	Vol. 52#8 (2011) 増大号 模擬患者を取り入れた教育を見直す Part 2	¥2,268
	Vol. 52#9(2011) 専任教員の新たな継続教育プラン	¥1,512
	Vol. 52#10 (2011) 准看,進学コースでの教育はいま	¥1,512
	Vol. 52#11 (2011) さまざまな立場からの国試対策	¥1,512

Vol. 52#12 (2011) 今、学生と共にいのちを考える	¥1,512
Vol. 53#1 (2012) 看護教育の現場にプレゼンテーション力を活かす！	¥1,512
Vol. 53#2 (2012) 私はこうして学生と向き合ってきた 日々出会うさまざま	¥1,512
Vol. 53#3 (2012) 災害看護教育に生きたシミュレーションを 震災に焦点	¥1,512
Vol. 53#4 (2012) 平成23年度教務主任養成講習会を振り返る	¥1,512
Vol. 53#5 (2012) 看護学生が学ぶ地域看護学再考	¥1,512
Vol. 53#6 (2012) 地域看護学と公衆衛生看護学 Part2 保健師学生が学	¥1,512
Vol. 53#7 (2012) 学校をアピールする! 学生確保のためにできること	¥1,512
Vol. 53#8 (2012) 増大号 教務主任養成講習会での学びを活かす	¥2,268
Vol. 53#9 (2012) 学問としての在宅看護論の確立へ	¥1,512
Vol. 53#10 (2012) コミュニケーション力を育む　実習前に教員としてでき	¥1,512
Vol. 53#11 (2012)「複数受け持ち」実習をより効果的に	¥1,512
Vol. 53#12 (2012) “特定能力”をもつ看護師の新たな役割とその人材育	¥1,512
Vol. 54#1 (2013) 基礎看護学を再構成する・1 看護の「基礎」とは何か?	¥1,512
Vol. 54#2 (2013) 基礎看護学を再構成する・2 看護の「基礎」を教えると	¥1,512
Vol. 54#3 (2013) 看護師国家試験 合格率100%の秘密	¥1,512
Vol. 54#4 (2013) 授業設計再入門	¥1,512
Vol. 54#5 (2013)「狙い」に合わせたシミュレーション教育の方法	¥1,512
Vol. 54#6 (2013) クリティカルシンキングは終わらない	¥1,512
Vol. 54#7 (2013) スマホ時代のリスク管理 情報リテラシーを育みトラブル	¥1,512
Vol. 54#8 (2013) 増大号 教育の質を高める学習方法 いまから始める協	¥2,268
Vol. 54#9 (2013) 2014年の国試に向けてできること	¥1,512
Vol. 54#10 (2013) 対話のスキルを教育に活かす!	¥1,512
Vol. 54#11 (2013) 助産師教育の現状と課題	¥1,512
Vol. 54#12 (2013) 移動介助技術の指導方法-ボディメカニクスを実践に	¥1,512
Vol. 55#1 (2014) 授業研究のすすめ	¥1,512
Vol. 55#2 (2014) 効果的な授業の工夫としてのeラーニング	¥1,512
Vol. 55#3 (2014) さまざまなアプローチによるリフレクション	¥1,512
Vol. 55#4 (2014)「おかしいな」と思ったときの学生指導	¥1,512
Vol. 55#5 (2014) ピアの力を信じよう　学生同士で教え合うしくみの活用	¥1,512
Vol. 55#6 (2014) 学生から看護師へのホップ！ステップ！を支える教育	¥1,512
Vol. 55#7 (2014) 精神看護教育に改めて向き合う	¥1,512
Vol. 55#8 (2014) 学習の「質」を高めるパフォーマンス評価	¥2,268
Vol. 55#9 (2014) 求める学生確保のための方策　面接をめぐる課題を中	¥1,512
Vol. 55#10 (2014) 論文執筆のススメ　実例から学ぶ良い論文の書き方	¥1,512
Vol. 55#11 (2014) 基礎と臨床がともに学ぶ場をつくる 自治体が協力する	¥1,512
Vol. 55#12 (2014) 理想的な「入学前学習」を求めて	¥1,512
Vol. 56#1 (2015) 看護教員の教育力をUPする!	¥1,620
Vol. 56#2 (2015) IPEの達成とこれから 「地域で学ぶ」を中心に	¥1,620
Vol. 56#3 (2015) コースポートフォリオで授業改善！	¥1,620
Vol. 56#4 (2015) 本当に伸ばすためのコミュニケーション教育	¥1,620
Vol. 56#5 (2015)「やってくる」事前課題をつくろう！	¥1,620
Vol. 56#6 (2015)「つまらない」授業よ，さらば！	¥1,620
Vol. 56#7 (2015) 看護過程再考	¥1,620
Vol. 56#8 (2015) 増大号 グループワークを「本物」にしよう！/看護学生・	¥2,376
Vol. 56#9 (2015)「看護研究」で実践力を鍛える	¥1,620
Vol. 56#10 (2015) あらためてHow toロールプレイ！	¥1,620
Vol. 56#11 (2015) 学生の答え，ちゃんと待てますか　今こそ知りたいファ	¥1,620
Vol. 56#12 (2015) グラフィック・シラバスとカリキュラム・マップ　授業とカリ	¥1,620
Vol. 57#1 (2016) 形・型・可で技術教育の「安楽」を考えよう！	¥1,620
Vol. 57#2 (2016) 看護観の伝承	¥1,620
Vol. 57#3 (2016) カリキュラムを「拡張」しよう！	¥1,620
Vol. 57#4 (2016) あなたの「見方」に現象学を	¥1,620
Vol. 57#5 (2016)「気持ちのいい」ケアを教えよう！	¥1,620
Vol. 57#6 (2016) 看護過程再再考	¥1,620

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

408	**看護mook（金原出版）**		
	No. 1-39 (1982-1992)	各号	¥3,240
409	**看護診断（日本看護診断学会）**		
	Vol. 1#1 (1996)		¥3,024
	Vol. 2#1,2 (1997)	各号	¥3,024
	Vol. 3#1,2 (1998)	各号	¥3,024
	Vol. 4#1 (1999)		¥3,024
	Vol. 5#1 (2000)		¥3,024
	Vol. 6#1 (2001)		¥3,024
	Vol. 7#1 (2002)		¥3,456
	Vol. 7#2 (2002)		¥3,024
410	**看護展望（メヂカルフレンド社）**		
	Vol. 29#1,3-7,9-13 (2004)	各号	¥1,404
	Vol. 30#1,3,4,6-8,10-13 (2005)	各号	¥1,404
	Vol. 31#1,3,4,6-13 (2006)	各号	¥1,404
	Vol. 32#1,4-13 (2007)	各号	¥1,404
	Vol. 33#1,3-10,12,13 (2008)	各号	¥1,512
	Vol. 34#1,3-13 (2009)	各号	¥1,512
	Vol. 35#10,11 (2010)	各号	¥1,512
	Vol. 36#1,3-8,11 (2011)	各号	¥1,512
411	**感覚統合障害研究（日本感覚統合障害研究会）**		
	Vol. 1#1 (1988)		¥3,240
	Vol. 2#1 (1991)		¥3,240
	Vol. 3#1 (1993)		¥3,240
	Vol. 4#1,2 (1994)	各号	¥3,240
	Vol. 5#1,2 (1994/1995)	各号	¥3,240
	Vol. 6#1/2 (1998)		¥3,240
	Vol. 7#1/2 (1999)		¥3,240
	Vol. 8 (2002)		¥3,240
	Vol. 9 (2002)		¥3,240
	Vol. 10 (2004)		¥3,240
	Vol. 11 (2006)		¥3,240

412	**関係学研究（日本関係学会）**		
	Vol. 1 (1972)		¥540
	Vol. 2 (1974)		¥1,080
	Vol. 3 (1975)		¥1,080
	Vol. 4 (1976)		¥1,080
	Vol. 5 (1977)		¥2,160
	Vol. 6 (1978)		¥1,080
	Vol. 7 (1979)		¥1,080
	Vol. 8 (1980)		¥1,080
	Vol. 9 (1981)		¥1,080
	Vol. 10 (1982)		¥1,080
	Vol. 11 (1983)		¥1,080
	Vol. 12 (1984)		¥1,080
	Vol. 13 (1985)		¥2,160
	Vol. 14 (1986)		¥2,160
	Vol. 15 (1987)		¥5,400
	Vol. 16 (1988)		¥2,160
	Vol. 17 (1989)		¥2,160
	Vol. 18 (1990)		¥2,160
	Vol. 19 (1991)		¥2,160
	Vol. 20 (1992)		¥2,160
	Vol. 21 (1993)		¥2,160
	Vol. 22 (1994)		¥2,160
	Vol. 23 (1995)		¥2,160
	Vol. 24 (1996)		¥2,160
	Vol. 25 (1997)		¥2,160
	Vol. 26 (1998)		¥2,160
413	**観光ホスピタリティ教育（日本観光ホスピタリティ教育学会）**		
	No. 1,2,3 (2006-2008)	各号	¥3,240
414	**環境アセスメント学会誌 The Japan Society for Impact Assessment（環境アセスメント学会）**		
	Vol. 1-6 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 7#1 (2009)		¥2,160
415	**環境毒性学会誌 Japanese Journal of Environmental Toxicology（日本環境毒性学会）**		
	Vol. 1-5 (1998-2002) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 6#1 (2003)		¥2,160
416	**環境技術会誌（日本廃棄物処理施設技術管理者協議会）**		
	No. 115-132 (2004-2008)	各号	¥2,057

417	**環境変異原研究（日本環境変異原学会）**		
	Vol. 1#1 (1978)		¥5,400
	Vol. 3#1 (1981)		¥5,400
	Vol. 4#1 (1982)		¥5,400
	Vol. 5#1,2 (1983)	各号	¥5,400
	Vol. 6#1/2 (1984)		¥10,800
	Vol. 7#1 (1985)		¥5,400
	Vol. 8#1,3 (1986)	各号	¥5,400
	Vol. 9#1 (1987)		¥5,400
	Vol. 10#1,2 (1988)	各号	¥5,400
	Vol. 11#1,2 (1989)	各号	¥5,400
	Vol. 12#1-3 (1990)	各号	¥5,400
	Vol. 13#1 (1991)		¥5,400
	Vol. 15#1 (1993)		¥5,400
	Vol. 16#2-3 (1994)	各号	¥5,400
	Vol. 17#1,3 (1995/1996)	各号	¥5,400
	Vol. 18#1-3 (1996)	各号	¥5,400
	Vol. 19#1-3 (1997)	各号	¥5,400
	Vol. 20#1-3,第27回大会プログラム要旨集 (1998)	各号	¥5,400
	Vol. 21＃1-3 (1999)	各号	¥5,400
	Vol. 22#1-3 (2000)	各号	¥5,400
	Vol. 23#2 (2001)		¥5,400
	Vol. 24#1,3 (2002)	各号	¥5,400
	Vol. 25第32回大会プログラム要旨集 (2003)		¥5,400
418	**環境情報科学（環境情報科学センター）**		
	Vol. 1-27 (1972-1998) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 28#2,3,4 (1999)	各号	¥2,700
	Vol. 29-41 (2000-2012/13) 各1-4号	各号	¥2,700
419	**環境情報科学 別冊 環境情報科学論文集**		
	No. 7-20,22-25 (1994-2011)	各号	¥3,456
420	**環境化学 Journal of Environmental Chemistry（日本環境化学会）**		
	Vol. 4#2-4 (1994)	各号	¥2,700
	Vol. 5#1,3,4 (1995)	各号	¥2,700
	Vol. 6#1-4 (1996)	各号	¥2,700
	Vol. 7#1 (1997)		¥2,700
	Vol. 8#2 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 9-16 (1999-2006) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 17#4 (2007)		¥2,700
	Vol. 18#1-4 (2008)	各号	¥2,700
421	**環境科学会誌 Environmental Science**		
	Vol. 1#1-2 (1988)	各号	¥3,240
	Vol. 2-12 (1989-1999) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 13#1-5 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 14#1-6 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 15#-3,5,6 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 16#1-6 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 18-20 (2003-2007) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 21#1,3-6 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 22#3-6 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 24#1-4,6 (2011)	各号	¥3,240

422	**環境管理 Environmental Management (産業環境管理協会)**		
	Vol. 36#1-7,9-12 (2000)	各号	¥1,080
	Vol. 39#8-12 (2003)	各号	¥1,080
	Vol. 40-43 (2004-2007) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 44#1,3-12 (2008)	各号	¥1,080
	Vol. 45#1-12 (2009)	各号	¥1,080
	Vol. 46#1-5 (2010)	各号	¥1,080
423	**環境感染 (日本環境感染学会)**		
	Vol. 8#1-2 (1993)	各号	¥2,700
	Vol. 9#1-3 (1994)	各号	¥2,700
	Vol. 10-12 (1995-1997) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 13#1,4 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 14-16 (1999-2001) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 15#Supplement (2000)		¥2,700
	Vol. 17#2,3,4 (2002)	各号	¥2,700
	Vol. 18-22 (2003-2007) 各1-4号	各号	¥2,700
424	**環境経済・政策学会年報 (環境経済・政策学会)**		
	No. 6-7 (2001-2002)	各号	¥2,700
	No. 9 (2004)		¥2,700
	No. 11 (2006)		¥3,240
425	**環境教育 Environmental Education**		
	Vol. 10-13 (2000/2001-2003/2004) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 14-15 (2004/2005-2005/2006) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,2 (2006/2007)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1-3 (2007/2008)	各号	¥2,160
426	**環境施設 (公共投資ジャーナル社)**		
	No. 95-113 (2004-2008)	各号	¥2,376
427	**環境システム研究 (土木学会環境システム委員会)**		
	Vol. 24-28 (1996-2000)	各号	¥6,480
428	**関西大学哲学 (関西大学哲学会)**		
	No. 12-14,16-19,21-26,28,29 (1986-2011)	各号	¥3,240
429	**感染症学雑誌 (日本感染症学会)**		
	Vol. 74#1-12,増刊3月 (2000)	各号	¥1,543
	Vol. 75#1-12,増刊2月 (2001)	各号	¥1,543
	Vol. 76#1-12,増刊3月 (2002)	各号	¥1,543
	Vol. 77#1-12 (2003)	各号	¥1,543
	Vol. 78#2-12,増刊3月 (2004)	各号	¥1,543
	Vol. 79#1-12,増刊3月 (2005)	各号	¥1,543
	Vol. 80-82 (2006-2008) 各1-6号	各号	¥2,571
	Vol. 82#臨時増刊号 (2008)		¥2,571
	Vol. 84-85 (2010-2011) 各1-6,臨時増刊号	各号	¥2,571
430	**感染対策ICTジャーナル (ヴァンメディカル)**		
	Vol. 3-5 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,160

431	**関節外科 Journal of Joint Surgery (メジカルビュー社)**		
	Vol. 2-3 (1983-1984) 各1-4号	各号	¥1,944
	Vol. 3#臨時増刊号no.1 (1984)		¥5,184
	Vol. 3#臨時増刊号no.2 (1984) スポーツによる関節障害・外傷		¥3,888
	Vol. 4#1,2,4,5 (1985)	各号	¥1,944
	Vol. 4#3,6 (1985)	各号	¥3,888
	Vol. 5#1,2,4,5 (1986)	各号	¥1,944
	Vol. 5#3,6 (1986)	各号	¥3,888
	Vol. 7#1-6 (1988)	各号	¥3,888
	Vol. 8#1-5,7-12 (1989)		¥1,944
	Vol. 9#1-12 (1990)		¥1,944
	Vol. 10#1-7,9-12 (1991)	各号	¥2,097
	Vol. 11#10 (1992)		¥2,097
	Vol. 11#増刊号 (1992)		¥5,242
	Vol. 12#9-12 (1993)	各号	¥2,097
	Vol. 12#増刊号 (1993)		¥4,719
	Vol. 13#7,9 (1994)	各号	¥2,097
	Vol. 13#6月増刊号 (1994)		¥5,242
	Vol. 20#1,3-10 (2001)	各号	¥2,376
	Vol. 20#10月増刊 (2001)		¥5,400
	Vol. 21#10 (2002)		¥2,376
	Vol. 23#2,3,5,6,8,10-12 (2004)		¥2,376
	Vol. 23#4月増刊 (2004)		¥5,400
	Vol. 23#10月増刊 (2004)		¥5,400
	Vol. 24#1-12 (2005)	各号	¥2,376
	Vol. 24#4月増刊 (2005)		¥5,400
432	**関節鏡 (日本関節鏡学会)**		
	Vol. 30#1-3; 31#1-3; 32#1,2; 33#1,2 (2005-2008)	各号	¥5,400
	第25回関節鏡セミナー (2007)		¥5,400
433	**関節の外科 Surgery of Joints (リウマチの外科研究会)**		
	Vol. 18#2-4 (1991)	各号	¥1,620
	Vol. 19#1,2 (1992)	各号	¥1,620
	Vol. 21#2-4 (1994)	各号	¥1,620
	Vol. 22#1 (1995)		¥1,620
	Vol. 25-26 (1998-1999) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 27#1,3,4 (2000)	各号	¥1,620
	Vol. 28-29 (2001-2002) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 30#1,3,4 (2003)	各号	¥1,620
	Vol. 31-32 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 35#2,4 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 36#1-4 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 37#1,4 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 39#2,3,4 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 40#1,2,3 (2013)z	各号	¥1,620
	Vol. 41#4 (2014)		¥1,620
	Vol. 42#2 (2015)		¥1,620
	Vol. 43#2 (2016)		¥1,620
434	**肝胆膵 (アークメディア)**		
	Vol. 48-62 (2004-2011) 各1-6号	各号	¥3,024
	Vol. 48-62 (2004-2011) 特大6号	各号	¥6,789

435 肝胆膵画像（医学書院）

※Vol.1-9 (1999-2007)→消化器画像

Vol. 10#1 (2008) 肝脂肪沈着の病態と画像		¥3,780
Vol. 10#2 (2008) MDCTは膵・胆道癌の診断にどこまで迫れるか		¥3,780
Vol. 10#3 (2008) Interventional US　CD-ROM(動画)付		¥4,320
Vol. 10#4 (2008) 胆嚢腺筋腫症の画像を見直す-癌との鑑別を中心に		¥3,780
Vol. 10#5 (2008) いま、胆道鏡検査 PTCS・POCSを見直す		¥3,780
Vol. 10#6 (2008) 早期膵癌-Stage I へのアプローチ		¥3,780
Vol. 11#1 (2009) CTHA/CTAPの今日的意義を考える		¥3,780
Vol. 11#2 (2009) 肝胆膵のIntervention ｴｷｽﾊﾟｰﾄからのﾒｯｾｰｼﾞ CD-RO		¥4,320
Vol. 11#3 (2009) 肛門部胆管癌に対する術前ドレナージ		¥3,780
Vol. 11#4 (2009) SPNのすべて-典型例から非典型例まで		¥3,780
Vol. 11#5 (2009) 肝細胞胆道系MRI造影剤のインパクト		¥3,780
Vol. 11#6 (2009) 自己免疫性膵炎の最前線		¥3,780
Vol. 12#1 (2010) 肝移植の画像診断		¥3,780
Vol. 12#2 (2010) 肝胆膵の悪性腫瘍の早期診断をめざして―ハイリスク		¥3,780
Vol. 12#3 (2010) 胆管狭窄に迫る―悪性との鑑別が問題となる良性胆管		¥3,780
Vol. 12#4 (2010) 肝胆膵の転移性腫瘍		¥3,780
Vol. 12#5 (2010) 肝胆膵の転移性腫瘍		¥3,780
Vol. 12#6 (2010) 膵の漿液性嚢胞腫瘍(SCN)と粘液性嚢胞腫瘍(MCN)―		¥3,780
Vol. 13#1 (2011) 肝画像診断―US・CT・MRIのNext Stage		¥4,104
Vol. 13#2 (2011) 肝門部胆管癌の進展度と手術術式		¥4,104
Vol. 13#3 (2011) 経過を追えた小膵癌―この所見に気をつけろ！		¥4,104
Vol. 13#4 (2011) 増刊号 肝区域と画像診断update		¥4,644
Vol. 13#5 (2011) 膵・胆管合流異常と胆嚢病変		¥4,104
Vol. 13#6 (2011) 肝細胞癌の化学療法-分子標的治療の進歩と効果判		¥4,104
Vol. 13#7 (2011) 膵炎-診断と治療の最前線		¥4,104
Vol. 14#1 (2012) 進行胆嚢癌の診断と治療		¥4,212
Vol. 14#2 (2012) 膵画像診断の最新動向		¥4,212
Vol. 14#3 (2012) 肝癌－治療計画・支援のための画像診断		¥4,212
Vol. 14#4 (2012) 増刊号 早期肝細胞癌の画像診断update		¥4,644
Vol. 14#5 (2012) 肝細胞癌と鑑別を要する多血性腫瘤		¥4,212
Vol. 14#6 (2012) 十二指腸主乳頭と副乳頭の病態に迫る		¥4,212
Vol. 14#7 (2012) 肝胆膵疾患に挑む―次世代へのメッセージ		¥4,212

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

436 関東近世史研究（関東近世史研究会）

No. 59 (2005); 60 (2006); 62,63 (2007); 64,65 (2008)	各号	¥2,160
No. 66,67 (2009); 68,69 (2010); 70 (2011)	各号	¥2,160

437 関東整形災害外科学会雑誌（関東整形災害外科学会）

Vol. 22-34 (1991-2003) 各1-6号,増刊号外	各号	¥2,160
Vol. 35-37 (2004-2009) 各1-6,臨時増刊号	各号	¥2,160
Vol. 38#1-6,臨時増刊号外3月 (2007)	各号	¥2,160
Vol. 39#1-6,臨時増刊号外2月 (2008)	各号	¥2,160
Vol. 40-41 (2009-2010) 各1-6号,臨時増刊号外3月	各号	¥2,160
Vol. 42#1-6,臨時増刊号外9月 (2011)	各号	¥2,160
Vol. 43#1-6 (2012)	各号	¥2,700
Vol. 44#1-6,臨時増刊号外 (2013)	各号	¥2,700
Vol. 45#1-6,臨時増刊号外 (2014)	各号	¥2,700
Vol. 46#1 (2015)		¥2,700
Vol. 47#3-5 (2016)	各号	¥2,700

438	**緩和ケア（青梅社）**		
	Vol. 15#1-4,6 (2005)	各号	¥1,620
	Vol. 15#5 (2005)		¥3,240
	Vol. 16#1-6 (2006)	各号	¥1,620
	Vol. 16#増刊号 (2006)		¥3,240
	Vol. 17#1-6 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 18#1-6 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 18#増刊号 (2008)		¥3,240
	Vol. 19#1-6 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 19#増刊号 (2009)		¥3,240
	Vol. 20#1-6 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 20#増刊号 (2010)		¥3,240
	Vol. 21#1-6 (2011)	各号	¥1,620
	Vol. 21#増刊号 (2011)		¥3,240
	Vol. 22#1-3,5,6 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 22#増刊号 (2012)		¥3,240
439	**緩和医療学：Japanese Journal of Palliative Medicine（先端医学社）**		
	Vol. 3#1,2,4 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 4#3 (2002)		¥2,160
	Vol. 5#1,3,4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1,3,4 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1,4 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 8-9 (2006-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1-3 (2008)	各号	¥2,160
440	**からだの科学 Popular Medicine（日本評論社）**		
	No. 1-155 (1965-1990)	各号	¥1,153
	No. 156-185 (1990-1995)	各号	¥1,153
	No. 186-191 (1996-1996)	各号	¥1,153
	No. 192-203 (1997-1998)	各号	¥1,296
	No. 205-216,218 (1999-2001)	各号	¥1,296
	No. 229,231,232 (2003)	各号	¥1,285
	No. 234,239 (2004)	各号	¥1,440
	No. 237 (2004)		¥1,389
	No. 240 (2004)		¥1,285
	No. 241 (2005)		¥1,440
	No. 242 (2005)		¥1,389
	No. 243,245 (2005)	各号	¥1,285
	No. 245 (2005)		¥1,285
	No. 246-248(2006)	各号	¥1,285
	No. 249 (2006)		¥1,440
	No. 250 (2006)		¥1,646
	No. 251-252 (2006-2007)	各号	¥1,851
	No. 253 (2007)		¥2,263
	No. 254 (2007)		¥1,851
	No. 256,258,259 (2008-2009)		¥1,851
	No. 257 (2008)		¥2,263
	No. 260-263 (2009)	各号	¥2,160

441	**からだの科学 臨時増刊（日本評論社）**		
	戦後医療の30年 (1975), 難病の事典 (1977), 東洋の医学 (1978)	各号	¥2,057
	ライフサイエンス入門 (1979), 現代の性 (1981)	各号	¥2,057
	学童の保健 (1980), からだの事典 (1982), 成人病の事典 (1983)	各号	¥2,057
	プライマリ・ケア (1983), 現代の生と死 (1984), 医療とコンピューター (198	各号	¥2,057
	交通と人間 (1986), 新版難病の事典 (1986), 新版東洋の医学 (1987)	各号	¥2,057
	エイズ戦略,患者学ガイダンス (1989), がんの事典 (1990)	各号	¥2,057
	環境保健入門 (1990), 看護とリハビリテーション (1992)	各号	¥2,057
	医療改革 (1997), 事例から学ぶ医療事故防止 (2000)	各号	¥1,646
	介護保険NOW (2000)		¥1,543
	小児科医が変わる (2002)		¥1,851
442	**からだの科学 増刊 Popular Medicine（日本評論社）**		
	Year 1974-1982 (1974-1982)	各号	¥2,057
	Year 1983 保育学,新栄養学 (1983)	各号	¥2,057
	Year 1984 分子生物学,新生理学 (1984)	各号	¥2,057
	特別増刊 精神医学入門シリーズ No.1-3 (1984)	各号	¥2,057
	Year 1985 周産期医学,新育児学 (1985)	各号	¥2,057
	Year 1986 老年学 (1986)		¥2,057
	Year 1987 スポーツ医学,新薬学 (1987)	各号	¥2,057
	Year 1988 ウイルス学,新病態生理学 (1988)	各号	¥2,057
	Year 1989 中毒医学,新医療心理学 (1989)	各号	¥2,057
	Year 1990 遺伝医学,新臨床検査 (1990)	各号	¥2,057
	Year 1991 新免疫学 (1991)		¥2,057
	Year 1992 心臓病,肝臓病,糖尿病,アルツハイマー病 (1992)	各号	¥2,307
	Year 1993 高血圧 (1993)		¥2,097
	Year 1993 腎臓病,リウマチ・膠原病 (1993)	各号	¥2,307
	Year 1994 脳卒中 (1994)		¥2,097
	Year 1994 女性の病気 (1994)		¥2,057
	Year 1994 エイズ (1994)		¥2,307
	Year 1995 スポーツ療法の新知識,漢方医学の新知識,栄養療法の新知	各号	¥2,057
	Year 1998 人間ドックの新知識 (1998)		¥2,057
	Year 2001 糖尿病2001 (2001)		¥2,571
443	**軽石学雑誌（万国軽石学会）**		
	No. 11,14,18 (2004-2010)	各号	¥3,240
444	**家庭医療 The Japanese Journal of Family Practice（家庭医療学研究会）**		
	Vol. 3#1,2 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 4-8 (1996-2001) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 6#supplement (1999)		¥2,160
	Vol. 10#2 (2003)		¥2,160
	Vol. 11#1 (2004)		¥2,160
	Vol. 15#1,2 (2009)	各号	¥2,160
445	**活断層研究（活断層研究会）**		
	No. 1 (1986); 4 (1987); 5 (1988); 7-10 (1989-1992); 13 (1995)	各号	¥2,160
446	**火山（日本火山学会）**		
	Vol. 1-3 (1932-1936) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 4#1-2 (1938/1940)	各号	¥2,700

447	**火山 第2集（日本火山学会）**		
	Vol. 1#1 (1957)		¥2,700
	Vol. 2#1-2 (1957)	各号	¥2,700
	Vol. 3#1-2,Supplement (1958/1959)	各号	¥2,700
	Vol. 4-9 (1959/1960-1964) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 10#1 (1965)		¥2,700
	Vol. 11-19 (1966-1974/1975) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 20#1-3,Supplement (1975)	各号	¥2,700
	Vol. 21#1-3 (1976)	各号	¥2,700
	Vol. 22-33 (1977-1988) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 34#1-4,Supplement (1989)	各号	¥2,700
	Vol. 35-36 (1990-1991) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 37-56 (1992-2011) 各1-6号	各号	¥2,700
448	**家族看護学研究（日本家族看護学会）**		
	Vol. 1#1 (1995)		¥2,700
	Vol. 2#1 (1996)		¥2,700
	Vol. 3#1 (1997)		¥2,700
	Vol. 4-5 (1998-2000) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 6#2 (2001)		¥2,700
	Vol. 7#1-2 (2001/2002)	各号	¥2,700
	Vol. 8#2 (2002)		¥2,700
	Vol. 9#1,3 (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 10#1,3 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 11#1-3 (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 12#1,2 (2006)	各号	¥2,700
449	**家族療法研究 Japanese Journal of Family Therapy**		
	Vol. 13#1-2 (1996)	各号	¥2,160
	Vol. 15#2 (1998)		¥2,160
	Vol. 18-25 (2001-2008) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 26#1-2 (2009); 27#2 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 28#1-3 (2011); 29#1,2 (2012)	各号	¥2,160
450	**家族性腫瘍（日本家族性腫瘍学会）**		
	Vol. 1-10 (2001-2010) 各1-2号	各号	¥2,160
451	**家族社会学研究（日本家族社会学会）**		
	Vol. 1-8 (1989-1996) 各1号	各号	¥2,365
	Vol. 10#1-2 (1998)	各号	¥2,365
	Vol. 11#1 (1999)		¥2,365
	Vol. 12-19 (2000/2001-2007) 各1-2号	各号	¥2,365
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,365
452	**家族心理学研究（日本家族心理学会）**		
	Vol. 6#2,特別号 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 7-26 (1993-2012) 各1-2号	各号	¥2,160
453	**家族研究年報（家族問題研究会）**		
	No. 19,22-32,34-36,38 (1994-2013)	各号	¥2,700
454	**京浜歴科研年報（京浜歴史科学研究会）**		
	No. 19 (2007); 20 (2008); 21 (2009); 22 (2010); 23 (2011)	各号	¥1,296

455	**景観生態学 旧国際景観生態学会日本支部会報**		
	Vol. 9#1,2 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 10#1,2 (2005/06)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1,2 (2006/07)	各号	¥3,240
	Vol. 12#1,2 (2007/08)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1/2 (2009)		¥6,480
	Vol. 14#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 15#1,2 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 16#1,2 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1,2 (2012)	各号	¥3,240
456	**軽金属学会春期大会講演概要 (軽金属学会)**		
	第88回-第93回 (1995-1997)	各冊	¥10,800
457	**計量生物学. Japanese Journal of Biometrics (日本計量生物学会)**		
	Vol. 16#1/2; 17#supplement; 18#1/2; 19#1/2,special issue (1995-1998)	各冊	¥2,160
	Vol. 20#1,2 (1999/2000)	各号	¥2,160
	Vol. 21#1,2,特集号 (2000/2001)	各号	¥2,160
	Vol. 22#1/2 (2001)		¥2,160
	Vol. 23#2 (2003)		¥2,160
	Vol. 24#2,特別号 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 25#1,2 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 26#1,2 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 27#1,2,特別号 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 28#1,2,特別号1 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 29#1,特別号1 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 31#1 (2010)		¥2,160
458	**計算機統計学 (日本計算機統計学会)**		
	Vol. 8#1,2 (1995)		¥2,700
	Vol. 9-12 (1996-1999) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 13-19 (2000-2005) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 20#1/2 (2007)		¥2,700
	Vol. 21#1/2 (2008)		¥2,700
	Vol. 22-23 (2009-2010) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 24#1 (2011)		¥2,700
459	**形成外科 (克誠堂出版)**		
	Vol. 1-5 (1958-1962) 各1-4号	各号	¥2,484
	Vol. 7-12 (1964-1969)	各号	¥2,484
	Vol. 13-15 (1970-1972) 各1-6号	各号	¥2,484
	Vol. 17#11-6 (1974)	各号	¥2,484
	Vol. 18#1-7 (1975)	各号	¥2,484
	Vol. 19-25 (1976-1982) 各1-6号	各号	¥2,484
	Vol. 26-30 (1983-1987) 各1-7号	各号	¥2,484
	Vol. 31-34 (1988-1991) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 35#1-13 (1992)	各号	¥2,484
	Vol. 36-39 (1993-1996) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 37#増刊号 (1994); 39#増刊号 (1996)	各号	¥5,767
	Vol. 38#増刊号 (1995)		¥4,719
	Vol. 40#1-6,8-12 (1997)	各号	¥2,484
	Vol. 41#1-3,5-12 (1998)	各号	¥2,484
	Vol. 42#1-10,12,Supplement (1999)	各号	¥2,484
	Vol. 43#1-3,5-12 (2000)	各号	¥2,484

460	**経済地理学年報（経済地理学会）**		
	Vol. 20#2 (1974); 21#2 (1975); 22#1 (1976); 24#1 (1978); 25#4(1979); 26#1,3 (1980); 27#1 (1981); 29#2,4 (1983); 30#4 (1984); 31#2 (1985); 34#2 (1988); 36#1 (1990) 39#2,4 (1993); 41#3 (1995); 42#1,3 (1996); 43#4 (1997); 44#1,3 (1998); 45#2,3,4 (1999); 46#2,3 (2000); 47#1-3 (2001)	各号	¥2,700
	Vol. 50#1-4 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 51#1-5 (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 52#1-4 (2006)	各号	¥2,700
	Vol. 53#1-5 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 54-56 (2008-2010) 各1-4号	各号	¥2,700
461	**経済学史学会年報（経済学史学会）**		
	No. 31 (1993)		¥3,240
	No. 38-46 (2000-2004)	各号	¥3,240
462	**経済学史研究（経済学史学会）**		
	Vol. 47-50 (2005-2008) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 51#1 (2009)		¥3,240
463	**結核（日本結核病学会）**		
	Vol. 86#1-12 (2011)	各号	¥1,285
464	**建築文化（彰国社）**		
	Vol. 18#195-Vol. 59#674 (1963-2004)	各号	¥3,240
465	**建築雑誌（建築学会）**		
	Vol. 120#1-12 (2005)	各号	¥1,404
	Vol. 121#1-7,12 (2006)	各号	¥1,404
	Vol. 122-123 (2007-2008) 各1-12号	各号	¥1,404
	Vol. 124#1,3-8,10-12 (2009)		¥1,404
	Vol. 125#3,5,6,10 (2010)		¥1,404
	Vol. 126#1-5,7-12 (2011)		¥1,404
	Vol. 127#1-12 (2012)		¥1,404
466	**健康文化（明治生命厚生事業団）**		
	No. 1-6 (1995-2000)	各号	¥2,160
467	**健康医学（日本人間ドック学会）**		
	Vol. 17#1 (2002)		¥3,240
	Vol. 17#4; 18#1,2 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 19#1-4 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 19#5 (2005)		¥3,240
468	**健康医科学（明治生命厚生事業団）**		
	No. 12-15,17,25 (1997-2010)	各号	¥3,240
469	**健康心理学研究（日本健康心理学会）**		
	Vol. 16-17,19-21,23-24 (2003-2011) 各1-2号	各号	¥3,240

470　検査と技術（医学書院）

	Vol. 12#1-12 (1984)	各号	¥1,242
	Vol. 13#1-12 (1985)	各号	¥1,242
	Vol. 14#1-13 (1986)	各号	¥1,242
品切	Vol. 18#6 (1990) 増刊号 血液・尿以外の体液検査法		¥3,240
	Vol. 19#1-2,4-6,8-13 (1991)	各号	¥1,242
	Vol. 20#1-2,4-5,7-13 (1992)	各号	¥1,242
品切	Vol. 20#6 (1992) 増刊号 尿検査法		¥4,968
	Vol. 21#1,2,4,6-13 (1993)	各号	¥1,242
	Vol. 22#1,2,4,6-13 (1994)	各号	¥1,242
品切	Vol. 22#5 (1994) 増刊号 免疫検査実践マニュアル		¥4,968
	Vol. 23#1,2,4,7-13 (1995)	各号	¥1,242
品切	Vol. 23#3 (1995) 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,242
	Vol. 23#5 (1995) 増刊号 臨床生理検査実践マニュアル		¥4,968
	Vol. 23#6 (1995) 第41回臨床検査技師国家試験問題		¥1,242
	Vol. 24#1 (1996) 病気のはなし・出血熱		¥1,242
	Vol. 24#2 (1996) 病気のはなし・肥大型心筋症		¥1,242
	Vol. 24#3 (1996) 異常ヘモグロビン 二級臨床病理技術士資格認定..		¥1,242
	Vol. 24#4 (1996) 病気のはなし・脳腫瘍		¥1,242
	Vol. 24#5 (1996) 病気のはなし・前立腺癌		¥1,242
	Vol. 24#6 (1996) 第42回臨床検査技師国家試験問題		¥1,242
	Vol. 24#7 (1996) 増刊号 感染症検査実践マニュアル		¥4,968
	Vol. 24#8 (1996) 病気のはなし・悪性リンパ腫		¥1,242
	Vol. 24#9 (1996) 病気のはなし・痛風		¥1,242
	Vol. 24#10 (1996) 病気のはなし・習慣流産と免疫		¥1,242
	Vol. 24#11 (1996) 病気のはなし・食中毒		¥1,242
	Vol. 24#12 (1996) 病気のはなし・ヘルペス		¥1,242
	Vol. 24#13 (1996) 病気のはなし・肺アスペルギルス症		¥1,242
	Vol. 25#1 (1997) RS ウィルス呼吸器感染症		¥1,134
	Vol. 25#2 (1997) アトピー性皮膚炎		¥1,134
	Vol. 25#3 (1997) 筋ジストロフィ 二級臨床病理技術士資格認定..		¥1,134
	Vol. 25#4 (1997) 出血性大腸菌感染症		¥1,134
	Vol. 25#5 (1997) めまい		¥1,134
	Vol. 25#6 (1997) 第43回臨床検査技師国家試験問題		¥1,134
品切	Vol. 25#7 (1997) 増刊号 輸血検査実践マニュアル		¥3,780
	Vol. 25#8 (1997) 骨髄異形成症候群		¥1,134
	Vol. 25#9 (1997) ファロー四徴症		¥1,134
	Vol. 25#10 (1997) IgA腎症		¥1,134
	Vol. 25#11 (1997) 肺癌		¥1,134
	Vol. 25#12 (1997) 敗血症		¥1,134
	Vol. 25#13 (1997) 成人T細胞白血病(ATL)		¥1,134
	Vol. 26#1 (1998) 肝細胞癌		¥1,134
	Vol. 26#2 (1998) 更年期障害		¥1,134
品切	Vol. 26#3 (1998) BOOP 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,134
	Vol. 26#4 (1998) 原発性胆汁性肝硬変(PBC)		¥1,134
	Vol. 26#5 (1998) 溶血性尿毒症症候群		¥1,134
	Vol. 26#6 (1998) 第44回臨床検査技師国家試験問題		¥1,134
品切	Vol. 26#7 (1998) 増刊号 病理組織・細胞診実践マニュアル		¥4,320
	Vol. 26#8 (1998) ヘリコバクター感染症		¥1,134
	Vol. 26#9 (1998) 心不全		¥1,134
	Vol. 26#10 (1998) 自己免疫性肝炎		¥1,134
	Vol. 26#11 (1998) 急性肺血栓塞栓症		¥1,134
	Vol. 26#12 (1998) 先天性血栓傾向		¥1,134
	Vol. 26#13 (1998) 家族性高コレステロール血症		¥1,134
	Vol. 27#1 (1999) 川崎病		¥1,188
	Vol. 27#2 (1999) 筋萎縮性側索硬化症		¥1,188

	Vol. 27#3 (1999) 血友病 二級臨床病理技術士資格認定試験		¥1,188
	Vol. 27#4 (1999) ウイルス性髄膜炎		¥1,188
	Vol. 27#5 (1999) クッシング症候群		¥1,188
	Vol. 27#6 (1999) 全身性強皮症		¥1,188
品切	Vol. 27#7 (1999) 増刊号　緊急検査実践マニュアル		¥5,400
	Vol. 27#8 (1999) 多発性硬化症		¥1,188
	Vol. 27#9 (1999) 遺伝性黄疸		¥1,188
	Vol. 27#10 (1999) 手足口病		¥1,188
	Vol. 27#11 (1999) MGUS		¥1,188
	Vol. 27#12 (1999) 老人の貧血		¥1,188
	Vol. 27#13 (1999) インフルエンザ		¥1,188
	Vol. 28#1 (2000) 家族性アミロイドーシス		¥1,188
品切	Vol. 28#2 (2000) クリプトスポリジウム症(二級臨床病理技術士・・問題と回		¥1,188
	Vol. 28#3 (2000) 原発性硬化性胆肝炎		¥1,188
	Vol. 28#4 (2000) 結核		¥1,188
	Vol. 28#5 (2000) 潰瘍性大腸炎		¥1,188
	Vol. 28#6 (2000) 突発性血小板減少性紫斑病		¥1,188
	Vol. 28#7 (2000) 増刊号　血液検査実践マニュアル		¥5,400
	Vol. 28#8 (2000) ヘモクロマトーシス		¥1,188
	Vol. 28#9 (2000) IgA腎症		¥1,188
	Vol. 28#10 (2000) ヒトパピローマウイルス感染症		¥1,188
	Vol. 28#11 (2000) ANCA関連血管炎		¥1,188
	Vol. 28#12 (2000) 高脂血症-血漿リポ蛋白質代謝から		¥1,188
	Vol. 28#13 (2000) 市中肺炎		¥1,188
	Vol. 29#1 (2001) 全身性炎症反応症候群(SIRS)		¥1,188
品切	Vol. 29#2 (2001) 赤白血病（二級臨床病理技術士・・問題と回答）		¥1,188
	Vol. 29#3 (2001) 麻疹(はしか)		¥1,188
	Vol. 29#4 (2001) 骨髄線維症		¥1,188
	Vol. 29#5 (2001) 急性冠症候群（第47回臨床検査・・回答速報）		¥1,188
	Vol. 29#6 (2001) 巨赤芽球性貧血（第47回臨床・・回答と解説）		¥1,188
	Vol. 29#7 (2001) 増刊号 病理組織・細胞診のための日常染色法ガイダ		¥5,400
	Vol. 29#8 (2001) 間質性肺炎		¥1,188
	Vol. 29#9 (2001) 劇症肝炎		¥1,188
	Vol. 29#10 (2001) グッドパスチャー症候群		¥1,188
	Vol. 29#11 (2001) 下肢深部静脈血栓症		¥1,188
	Vol. 29#12 (2001) 原発性アルドステロン症		¥1,188
	Vol. 29#13 (2001) ビタミンK欠乏症		¥1,188
	Vol. 30#1 (2002) 糞線虫症		¥1,188
	Vol. 30#2 (2002) 急速進行腎炎（二級臨床病理技術士・・・問題と回答）		¥1,188
	Vol. 30#3 (2002) 胆道閉鎖症		¥1,188
	Vol. 30#4 (2002) 糖尿病		¥1,188
	Vol. 30#5 (2002) 脳下垂体腫瘍		¥1,188
	Vol. 30#6 (2002) フォンウィルブランド病		¥1,188
	Vol. 30#7 (2002) 細菌性髄膜炎		¥1,188
	Vol. 30#8 (2002) 甲状腺ペルオキシダーゼ異常によるクレチン症		¥1,188
	Vol. 30#9 (2002) 播種性血管内凝固症候群		¥1,188
	Vol. 30#10 (2002) 増刊号 誰でもわかる遺伝子検査		¥4,968
	Vol. 30#11 (2002) Q熱		¥1,188
	Vol. 30#12 (2002) 梅毒		¥1,188
	Vol. 30#13 (2002) 僧帽弁逸脱症		¥1,188
	Vol. 31#1,3,4,7-9,11,12 (2003)	各号	¥1,188
	Vol. 31#2 (2003) 発生性夜間血色素尿症／平成14年度二級臨床病理		¥1,188
	Vol. 31#5 (2003) クロイツフェルト・ヤコブ病／第49回臨床検査技術国家		¥1,188
	Vol. 31#6 (2003) 第49回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,188
	Vol. 31#10 (2003) 増刊号 包括医療と臨床検査		¥4,968
	Vol. 32#1,3,5,7-9,11-13 (2004)	各号	¥1,242
	Vol. 32#2 (2004) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験 問題と回答		¥1,242

	Vol. 32#4 (2004) 第50回臨床検査技師国家試験・回答速報		¥1,242
	Vol. 32#6 (2004) 第50回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,242
	Vol. 32#10 (2004) 増刊号 細胞像の見かた 病理・血液・尿沈渣		¥4,968
	Vol. 33#1,3,5,7-10,12,13 (2005)	各号	¥1,242
	Vol. 33#2 (2005) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験 問題と回答		¥1,242
	Vol. 33#4 (2005) 第51回臨床検査技師国家試験 解答速報		¥1,242
	Vol. 33#6 (2005) 第51回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,242
	Vol. 33#11 (2005) 増刊号 一線診療のための臨床検査		¥4,968
	Vol. 34#1,3,4,7-10,12,13 (2006)	各号	¥1,242
	Vol. 34#2 (2006) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験　問題と回答		¥1,242
	Vol. 34#5 (2006) 第52回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,242
	Vol. 34#6 (2006) 第52回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,242
	Vol. 34#11 (2006) 増刊号新しい臨床検査・未来の臨床検査		¥4,968
	Vol. 35#1,3,4,10,13 (2007)	各号	¥1,242
	Vol. 35#2 (2007) 二級臨床検査士・緊急臨床検査士・・試験　問題と回答		¥1,242
	Vol. 35#5 (2007) 第53回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,242
	Vol. 35#6 (2007) 第53回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,242
	Vol. 35#7 (2007) 消化管悪性リンパ腫 赤血球増加症 制度管理図の書き		¥1,242
	Vol. 35#8 (2007) 下垂体腺腫 糖尿病 髄液一般検査法 糖尿病検査の標		¥1,242
	Vol. 35#9 (2007) リヒター症候群 甲状腺機能低下症 管状臓器の断端迅		¥1,242
	Vol. 35#11 (2007) 増刊号 メタボリックシンドローム健診検査技術マニュア		¥4,968
	Vol. 35#12 (2007) 精巣腫瘍(セミノーマ)・ネフローゼ症候群ほか		¥1,242
	Vol. 36#1,3,4,7-9,11-13 (2008)	各号	¥1,296
	Vol. 36#2 (2008) 2007年度二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定		¥1,296
	Vol. 36#5 (2008) 第54回臨床検査技師国家試験・解答速報		¥1,296
	Vol. 36#6 (2008) 第54回臨床検査技師国家試験・解答と解説		¥1,296
	Vol. 36#10 (2008) 増刊号 これから広がる生理検査・新たにはじまる生理		¥4,968
	Vol. 37#1,3-9,11-13 (2009)	各号	¥1,296
	Vol. 37#2 (2009) 2008年度二級臨床検査士・緊急臨床検査士認定試験		¥1,296
	Vol. 37#10 (2009) 増刊号 顕微鏡検査のコツ		¥4,968
	Vol. 38#1 (2010) マクログロブリン血症		¥1,296
	Vol. 38#2 (2010) 2009年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試		¥1,296
	Vol. 38#3 (2010) 新型インフルエンザ(A/H1N1)		¥1,296
	Vol. 38#4 (2010) 原発性胆汁性肝硬変		¥1,296
	Vol. 38#5 (2010) 病気のはなし 口腔咽頭梅毒 第56回臨床検査技師国		¥1,296
	Vol. 38#6 (2010) 心不全 第56回臨床検査技師国家試験―解答と解説		¥1,296
	Vol. 38#7 (2010) 日本脳炎と新しい日本脳炎ワクチン		¥1,296
	Vol. 38#8 (2010)		¥1,296
	Vol. 38#9 (2010) CADASIL		¥1,296
	Vol. 38#10 (2010) 増刊号 免疫反応と臨床検査2010		¥4,968
	Vol. 38#12 (2010) Q熱		¥1,296
	Vol. 38#12 (2010) 子宮の肉腫		¥1,296
	Vol. 38#13 (2010) 肺炎球菌性肺炎		¥1,296
	Vol. 39#1 (2011) ハンチントン病		¥1,512
	Vol. 39#2 (2011) 高安病		¥1,512
	Vol. 39#3 (2011) 2010年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試		¥1,512
	Vol. 39#4 (2011) 最近のリケッチア症		¥1,512
	Vol. 39#5 (2011)　タンジール病　第57回臨床検査技師国家試験―解答		¥1,512
	Vol. 39#6 (2011)　病気のはなし 輸血関連急性肺障害		¥1,512
	Vol. 39#7 (2011)　アルツハイマー病		¥1,512
	Vol. 39#8 (2011)　子宮内膜癌		¥1,512
	Vol. 39#9 (2011)　マルファン症候群		¥1,512
品切	Vol. 39#10 (2011) 増刊号 緊急報告すべき検査結果のすべて		¥4,968
	Vol. 39#11 (2011) 子宮頸部腺癌		¥1,512
	Vol. 39#12 (2011) 皮膚の悪性リンパ腫		¥1,512
	Vol. 39#13 (2011) 解離性大動脈瘤		¥1,512
	Vol. 40#1 (2012) ギラン・バレー症候群		¥1,620

Vol. 40#2 (2012) 慢性膵炎	¥1,620
Vol. 40#3 (2012) 化膿性脊椎炎	¥1,620
Vol. 40#4 (2012) 2011年二級臨床検査士・緊急臨床検査士資格認定試	¥1,620
Vol. 40#5 (2012) 急性虫垂炎	¥1,620
Vol. 40#6 (2012) 狭心症・心筋梗塞／第58回臨床検査技師国家試験－	¥1,620
Vol. 40#7 (2012) 子宮内膜症	¥1,620
Vol. 40#8 (2012) 血管炎	¥1,620
Vol. 40#9 (2012) 川崎病	¥1,620
Vol. 40#10 (2012) 増刊号 この検査データを読めますか? 検査値から病	¥4,968
Vol. 40#11 (2012) 大腸癌の発生と遺伝子異常	¥1,620
Vol. 40#12 (2012) 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	¥1,620
Vol. 40#13 (2012) 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	¥1,620
Vol. 41#1 (2013) POEMS症候群	¥1,620
Vol. 41#2 (2013) 風疹	¥1,620
Vol. 41#3 (2013) 先天性心疾患－大血管転位	¥1,620
Vol. 41#4 (2013) 関節リウマチ／平成24年(2012年)二級臨床検査士・緊	¥1,620
Vol. 41#5 (2013) 播種性血管内凝固症候群（DIC）／第59回臨床検査技	¥1,620
Vol. 41#6 (2013) 筋ジストロフィー／第59回臨床検査技師国家試験問題	¥1,620
Vol. 41#7 (2013) Gastrointestinal stromal tumor（GIST）	¥1,620
Vol. 41#8 (2013) 甲状腺髄様癌	¥1,620
Vol. 41#9 (2013) ファブリ病	¥1,620
Vol. 41#10 (2013) 増刊号 解剖と正常像がわかる！　エコーの撮り方完	¥4,968
Vol. 41#11 (2013) 骨肉腫	¥1,620
Vol. 41#12 (2013) 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)	¥1,620
Vol. 41#13 (2013) 尿路結石	¥1,620
Vol. 42#1 (2014) ノロウイルス胃腸炎	¥1,620
Vol. 42#2 (2014) 先天性血小板機能異常症―ベルナール・スーリエ症候	¥1,620
Vol. 42#3 (2014) てんかん	¥1,620
Vol. 42#4 (2014) シェーグレン症候群／平成25年(2013年)二級臨床検査	¥1,620
Vol. 42#5 (2014)	¥1,620
Vol. 42#6 (2014) 小児の腎疾患/第60回臨床検査技師国家試験問題―	¥1,620
Vol. 42#7 (2014) リンチ症候群（遺伝性非ポリポーシス大腸癌：HNPCC）	¥1,620
Vol. 42#8 (2014) 熱中症	¥1,620
Vol. 42#9 (2014) 水痘・帯状疱疹ウイルス感染症	¥1,620
Vol. 42#11 (2014) 病気のはなし ハイド症候群	¥1,620
Vol. 42#12 (2014) 多発性キャッスルマン病	¥1,620
Vol. 42#13 (2014) 成人T細胞白血病（ATL）	¥1,620
Vol. 43#1 (2015) ヘリコバクター・ピロリ感染症	¥1,620
Vol. 43#2 (2015) 卵円孔開存（PFO）	¥1,620
Vol. 43#3 (2015) 人工関節感染症	¥1,620
Vol. 43#4 (2015) 肝癌・肝細胞癌	¥1,620
Vol. 43#5 (2015) 多発性骨髄腫	¥1,620
Vol. 43#6 (2015) 卵巣腫瘍／第61回臨床検査技師国家試験―解答と解	¥1,620
Vol. 43#7 (2015) デング熱	¥1,620
Vol. 43#8 (2015) 鉄欠乏性貧血	¥1,620
Vol. 43#9 (2015) 慢性閉塞性肺疾患	¥1,620
Vol. 43#11 (2015) 膵臓癌	¥1,620
Vol. 43#12 (2015) 関節リウマチ	¥1,620
Vol. 43#13 (2015) 急性糸球体腎炎（A群溶連菌感染後）	¥1,620
Vol. 44#1 (2016) 糖尿病	¥1,620
Vol. 44#2 (2016) 前立腺癌	¥1,620
Vol. 44#3 (2016) 甲状腺機能亢進症・低下症	¥1,620
Vol. 44#4 (2016) 血友病	¥1,620
Vol. 44#5 (2016) 気管支喘息	¥1,620
Vol. 44#6 (2016) 大腸癌	¥1,620

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

471	**血栓と循環（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 17#1 (2009)		¥2,052
	Vol. 19#2,4 (2011)	各号	¥2,052
	Vol. 20#2 (2012)		¥2,052
472	**血圧 Journal of Blood Pressure（先端医学社）**		
	Vol. 8-9 (2001-2002) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1-6,8-12 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 11-12 (2004-2005) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 13#1-6,8-12 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 14#2-12 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 15#1-12 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,4-12 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1-12 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 18#1-8,11,12 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1-5,7,8,11 (2012)	各号	¥2,160
473	**血液フロンティア Hematology Frontier（医薬ジャーナル社）**		
	Vol. 7#1,2,4-12 (1997)	各号	¥2,376
	Vol. 8#1-12 (1998)	各号	¥2,376
	Vol. 11#1-3,9-12 (2001)	各号	¥2,376
	Vol. 12-14 (202002-2004) 各1-12号	各号	¥2,376
	Vol. 14#Supplement1 (2004)		¥2,376
	Vol. 18#1,3,4,9,10,12 (2008)	各号	¥2,376
474	**血液内科 Hematology（科学評論社）**		
	Vol. 62-63 (2011) 各1-6号	各号	¥2,916
475	**血液・腫瘍科 Hematology & Oncology（科学評論社）**		
	Vol. 40#1,2,5,6; 41#2,5,6; 42#1-6 (2000-2001)	各号	¥2,376
	Vol. 43-53 (2001-2006) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 54-61 (2007-2010) 各1-6号	各号	¥2,916
476	**季刊地理学 Quarterly Journal of Geography（東北地理学会）**		
	Vol. 44-45 (1992-1993) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 46#1,2 (1994)	各号	¥1,620
	Vol. 47-57 (1995-2005) 各1-4号	各号	¥1,620
	Vol. 58#1,2 (2006)	各号	¥1,620
477	**危険と管理（日本リスクマネジメント学会）**		
	No. 34-46 (RM双書第22-34集) (2003-2015)	各号	¥3,240
478	**近畿小児整形外科**		
	Vol. 19-22 (2006-2009)	各巻	¥2,160
479	**近畿東海矯正歯科学会雑誌（近畿東海矯正歯科学会）**		
	Vol. 11-14,16,18-30,32,39-49,51 (1976-2016) 各1号	各号	¥3,240

480	**機能的脳神経外科 Functional Neurosurgery（日本定位・機能神経外科学会）**		
	Vol. 28 (1989); 29 (1990); 33-37 (1994-1998)	各号	¥3,240
	Vol. 38#1 (1999)		¥3,240
	Vol. 40#1,2 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 41#2 (2002)		¥3,240
	Vol. 42#1,2 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 43#1,2 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 44#2,第44回プログラム抄録集 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 45#1,2 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 46#2 (2007)		¥3,240
	Vol. 47#1,2 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 48#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 49#1,2 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 50#1 (2011)		¥3,240
481	**旬刊金融法務事情（金融財政事情研究会）**		
	No. 1272-1286,1288-1296,1298-1308 (1991)	各号	¥1,080
	No. 1309-1318,1320-1341 (1992)	各号	¥1,080
	No. 1342-1374 (1993)	各号	¥1,080
	No. 1375-1406 (1994)	各号	¥1,080
	No. 1407-1438 (1995)	各号	¥1,080
	No. 1439-1470 (1996)	各号	¥1,080
	No. 1471-1502 (1997)	各号	¥1,080
	No. 1503-1534 (1998)	各号	¥1,080
	No. 1535-1566 (1999)	各号	¥1,080
	No. 1567-1598 (2000)	各号	¥1,080
	No. 1599-1630 (2001)	各号	¥1,080
	No. 1631-1662 (2002)	各号	¥1,080
	No. 1663-1694 (2003)	各号	¥1,080
	No. 1695-1726 (2004)	各号	¥1,080
	No. 1727-1758 (2005)	各号	¥1,080
	No. 1759-1784,1786-1790 (2006)	各号	¥1,080
	No. 1791-1800,1802,1803,1805-1822 (2007)	各号	¥1,080
	No. 1823-1836,1838-1854 (2008)	各号	¥1,080
	No. 1855-1879,1881-1886 (2009)	各号	¥1,080
	No. 1887-1894 (2010)	各号	¥1,080
	No. 1895-1897,1902-1912 (2010)	各号	¥1,296
	No. 1913-1915,1918-1929,1931-1936 (2011)	各号	¥1,296
	No. 1937-1960 (2012)	各号	¥1,296
	No. 1961-1976 (2013)	各号	¥1,296

482	**週刊金融財政事情（金融財政事情研究会）**		
	Vol. 41#1-31,33-47 (1990)	各号	¥648
	Vol. 42#1-16,18-30,32-47 (1991)	各号	¥648
	Vol. 43#1-48 (1992)	各号	¥648
	Vol. 44#1-47 (1993)	各号	¥648
	Vol. 45#1-47 (1994)	各号	¥648
	Vol. 46#1-47 (1995)	各号	¥648
	Vol. 47#1-47 (1996)	各号	¥648
	Vol. 48#1-47 (1997)	各号	¥648
	Vol. 49#1-48 (1998)	各号	¥648
	Vol. 50#1-47 (1999)	各号	¥648
	Vol. 51#1-7,9-47 (2000)	各号	¥648
	Vol. 52#1-47 (2001)	各号	¥648
	Vol. 53#1-47 (2002)	各号	¥648
	Vol. 54#1-33,35-48 (2003)	各号	¥648
	Vol. 55#1-48 (2004)	各号	¥648
	Vol. 56#1-47 (2005)	各号	¥648
	Vol. 57#1-47 (2006)	各号	¥648
	Vol. 58#1-47 (2007)	各号	¥648
	Vol. 59#1-47 (2008)	各号	¥648
	Vol. 60#1-48 (2009)	各号	¥648
	Vol. 61#創刊60周年特別号:自由化行政苦闘の軌跡 (2010)		¥648
	Vol. 61#1-47 (2010)	各号	¥648
	Vol. 62#1-47 (2011)	各号	¥648
	Vol. 63#1-47 (2012)	各号	¥648
	Vol. 64#1-36 (2013)	各号	¥648
483	**基礎心理学研究（日本基礎心理学会）**		
	Vol. 1#2 (1982)		¥2,160
	Vol. 2-13 (1983-1995) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 16-17 (1997-1999) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 18-30 (1999-2012) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 31#1 (2012)		¥2,700
	Vol. 32-33 (2013-2015) 各1-2号	各号	¥2,700
484	**Kitakanto Medical Journal 北関東医学（北関東医学会）**		
	Vol. 60#1-4 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 61#1,2,4 (2011)	各号	¥1,620
	Vol. 62#1-4 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 63#1-3 (2013)	各号	¥1,620
485	**高分子（高分子学会）**		
	Vol. 59-61 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,057
	Vol. 62#1,2 (2013)	各号	¥2,057
	Vol. 42#1-12 (1993)	各号	¥2,057
	Vol. 43#1-11 (1994)	各号	¥2,057
	Vol. 44#1-3,5-7,9-12 (1995)	各号	¥2,057
	Vol. 45#1,3-12 (1996)	各号	¥2,057
	Vol. 46#1-12 (1997)	各号	¥2,057
	Vol. 47#1-6 (1998)	各号	¥2,057
486	**高分子論文集（高分子学会）**		
	Vol. 57#1-12 (2000)	各号	¥4,629
	Vol. 58#1,4-12 (2001)	各号	¥4,629
	Vol. 59-61 (2002-2004) 各1-12号	各号	¥4,629
	Vol. 62#1-9,11 (2005)	各号	¥4,629

487	**鉱物学雑誌（日本鉱物学会）**		
	Vol. 1-19 (1952-1990)　各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 20-28 (1991-1999)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 29#1 (2000)		¥2,700
	Vol. 10 supplement 2 (1971)		¥4,320
	Vol. 11 supplement 1-2 (1974)	各号	¥4,320
	Vol. 12 supplement (1976)		¥5,400
	Vol. 13 supplement (1977)		¥5,400
	Vol. 16 supplement 1 (1983)		¥7,560
	All other supplements	各号	¥2,700
488	**甲虫ニュース Coleopterists' News（日本鞘翅学会）**		
	No. 145-155, 157 (2004-2007)	各号	¥540
489	**古代文化（古代学協会）**		
	Vol. 43-57 (1991-2005) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 58-66 (2006/2007-2014/2015) 各1-4号	各号	¥2,700
490	**古代学研究（古代学研究会）**		
	Vol. 43#3 (1996)		¥2,700
	Vol. 44-57 (1997/1998-2010/2011) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 58#1 (2011)		¥2,700
491	**光弾性学論文集（日本光弾性学会）**		
	Vol. 1#1/2 (1979)		¥6,480
	Vol. 2#1; 3#1 (1980-1981)	各号	¥3,240
	Vol. 4-21 (1982-2001) 各1/2号	各号	¥6,480
492	**行動分析学研究（日本行動分析学会）**		
	Vol. 1-4 (1986-1989)	各巻	¥2,160
	Vol. 5-10 各1-2号 (1990-1996)	各号	¥2,160
	Vol. 11#1/2 (1997)		¥2,160
	Vol. 12#1/2 (1998)		¥2,160
	Vol. 13-29 各1-2号 (1998-2014/2015)	各号	¥2,160
493	**行動医学研究（日本行動医学会）**		
	Vol. 5#1; 6#1; 7#1,2; 8#1; 9#1; 10#2 (1999-2004)	各号	¥2,160
494	**行動計量学（日本行動計量学会）**		
	Vol. 25-37 (1998-2010) 各1-12号	各号	¥2,160
	日本行動計量学会35周年記念誌 (2008)		¥2,160
495	**子ども家庭福祉情報（日本子ども家庭総合研究所）**		
	Vol. 10-16 (1995-2000)	各号	¥2,160
496	**子どもの虐待とネグレクト（日本子ども虐待防止学会）**		
	Vol.1#1-Vol.18#2 (通巻第1号-通巻第47号) (1999-2016)	各号	¥2,160
497	**子ども社会研究（日本子ども社会学会）**		
	No. 12-16 (2006-2010)	各号	¥2,160
498	**行動療法研究（日本行動療法学会）**		
	Vol. 1#1 (1976)		¥2,700
	Vol. 2-4 (1976/1977-1979) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 5#1/2 (1980)		¥2,700
	Vol. 6-12 (1980/1981-1986/1987) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 13#1-2 (1987/1988)	各号	¥2,700
	Vol. 13#H.J.アイゼンク特集号 (1988)		¥2,700
	Vol. 14-33 (1988/1989-2007) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 34-42 (2008-2016) 各1-3号	各号	¥2,700

499	**光学（日本光学会）**		
	Vol. 18-23 (1989-1994) 各1-12号	各号	¥1,543
	Vol. 24#1-6,10-12 (1995)	各号	¥1,543
	Vol. 25-27 (1996-1998) 各1-12号	各号	¥1,543
	Vol. 28#1-8,12 (1999)	各号	¥1,543
	Vol. 29-33 (2000-2004) 各1-12号	各号	¥1,543
	Vol. 34#1-7,9-12 (2005)	各号	¥1,543
	Vol. 35-40 (2006-2011) 各1-12号	各号	¥1,543
500	**工学教育（日本工学教育協会）**		
	Vol. 54#1,2,5,6 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 55-56 (2007-2008) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 57#1-4,6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 58#1-6 (2010)	各号	¥2,160
501	**甲北信越矯正歯科学会雑誌（甲北信越矯正歯科学会）**		
	Vol. 7#1 (1999)		¥2,700
	Vol. 8#1 (2000)		¥2,700
	Vol. 9#1 (2001)		¥2,700
	Vol. 11#1 (2003)		¥2,700
	Vol. 12#1 (2004)		¥2,700
	Vol. 13#1 (2005)		¥2,700
	Vol. 14#1 (2006)		¥2,700
	Vol. 15#1 (2007)		¥2,700
	Vol. 16#1 (2008)		¥2,700
	Vol. 17#1 (2009)		¥2,700
	Vol. 18#1 (2010)		¥2,700
	Vol. 19#1 (2011)		¥2,700
	Vol. 20#1 (2012)		¥2,700
	Vol. 21#1 (2013)		¥2,700
	Vol. 22#1 (2014)		¥2,700
	Vol. 23#1 (2015)		¥2,700
502	**高次脳機能研究（日本高次脳機能障害学会）**		
	※Vol. 1-22 (1981-2002) →失語症研究		
	Vol. 23-32 (2003-2012) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 33#1,2,4 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 34#1-4 (2014)	各号	¥2,160
	Vol. 35#1,2,4 (2014)	各号	¥2,160
503	**考古学と自然科学（日本文化財科学会）**		
	Vol. 1-14,21-29,33-39,42-66 (1968-2014)	各冊	¥3,240
	Vol. 31/32 (1995)		¥4,320
	Vol. 40/41 (2000)		¥5,400
504	**こころの看護学（星和書店）**		
	Vol. 1-3 (1997-1999) 各1-4号	各号	¥1,728
505	**こころの科学 Human Mind（日本評論社）**		
	No. 2,3,5-81 (1985-1998)	各号	¥1,234
	No. 83,84,86,88-96 (1999-2001)	各号	¥1,234
	No. 97,103,104 (2001-2002)		¥1,337
506	**こころの健康（日本精神衛生学会）**		
	Vol. 1-29 (1986-2014) 各1-2号	各号	¥1,620

507	**こころの臨床ア・ラ・カルト（星和書店）**		
	No. 1-6,8-10,12-13 (1982-1985)	各号	¥648
	No. 14-21 (1986-1987)	各号	¥1,296
	Vol. 7#1-4 (1988) 通巻22-25号	各号	¥1,296
	Vol. 8#1-4 (1989) 通巻26-29号	各号	¥1,296
	Vol. 9#1 (1990) 通巻30号		¥1,512
	Vol. 10#1-4 (1991) 通巻34-37号	各号	¥1,782
	Vol. 11#2,3 (1992) 通巻38-41号	各号	¥1,961
	Vol. 12#2-4,増刊号 (1993) 通巻43-46号	各号	¥2,087
	Vol. 13#1,3,増刊号 (1994) 通巻47,49,51号	各号	¥2,087
	Vol. 14#増刊号 (1995) 通巻56号		¥2,087
	Vol. 15#1,3,4 (1996) 通巻57,59,60号	各号	¥2,087
	Vol. 16#1,2,4 (1997) 通巻62,64号	各号	¥2,087
	Vol. 17#1,4 (1998) 通巻65,68号	各号	¥2,052
	Vol. 18#1,2 (1999) 通巻70,71号	各号	¥2,160
	Vol. 19#1-4 (2000) 通巻74-77号	各号	¥2,160
	Vol. 20#3 (2001) 通巻81号		¥2,160
	Vol. 22#1,4 (2003)	各号	¥2,376
	Vol. 22 増刊号 (2003年2月) ほんとうに困った症例集：神経内科編		¥4,860
	Vol. 22 増刊号 (2003年5月) 精神科臨床のための必読100文献		¥6,264
	Vol. 22 増刊号 (2003年7月) ほんとうに困った症例集：心療内科編		¥4,860
	Vol. 23-24 (2004-2005) 各1-4号	各号	¥2,484
	Vol. 25-30 (2006-2011) 各1-4号	各号	¥1,728
	以降休刊		
508	**こころと文化（多文化間精神医学会）**		
	Vol. 1-5 (2002-2006) 各no.1-2	各号	¥2,365
509	**口腔病学会雑誌（口腔病学会）**		
	Vol. 37-39,41-52 (1970-1985) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 53-70 (1986-2003) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 71#1-3 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 71#4/72#1 (2004-2005) 合併号		¥4,320
	Vol. 72#2-4 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 73#1-2 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 73#3/74#1 (2006-2007) 合併号		¥4,320
	Vol. 74#2-3 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 75-80 (2008-2013) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 81#1,2 (2014)	各号	¥2,160
	Vol. 81#3 (2014)/82#1 (2015) 合併号		¥2,160
	Vol. 82#2,3 (2015)	各号	¥2,160
	Vol. 83#1,2 (2016)	各号	¥2,160
510	**口腔衛生学会雑誌（日本口腔衛生学会）**		
	Vol. 1-5 (1952-1955) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 6-10 (1956-1960) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 11#1 (1961)		¥3,240
	Vol. 12-29 (1962-1979) 各1-4号	各号	¥3,240
	Supplement v.21,22,24 (1971,1972,1974)	各号	¥5,400
	Vol. 30-47 (1980-1997) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 48-52 (1998-2002) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 53#2-5 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 54-60 (2004-2010) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 61#1-5,増刊号 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 62-66 (2012-2016) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 67#1-4,増刊号 (2017)	各号	¥3,240

511	**口腔顎顔面外傷（日本口腔顎顔面外傷学会）**		
	Vol. 1#1 (2002)		¥3,240
	Vol. 2-7 (2003-2008) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 8#1 (2009)		¥3,240
	Vol. 9-11 (2010-2012) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 12#1 (2013)		¥3,240
	Vol. 13-14 (2014/2015-2015/2016) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 15#1/2 (2016)		¥3,240
512	**口腔・咽頭科（日本口腔・咽頭科学会）**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥4,320
	Vol. 2-4 (1989/1990-1991/1992) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 5#2 (1993)		¥4,320
	Vol. 6-16 (1993/1994-2003/2004) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 18#2,3 (2006)	各号	¥4,320
	Vol. 19-20 (2006/2007-2007/2008) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 21#1 (2008)		¥4,320
	Vol. 22-29 (2009-2016) 各1-3号	各号	¥4,320
513	**国立民族学博物館研究報告（国立民族学博物館）**		
	Vol. 2#1 ;6#2; 7#4; 8#4; 9#3; 10#1-3; 11#2,4; 12#1; 13#1,3 (1978-198	各号	¥2,160
	Vol. 14#1,2,4; 15#3,4; 16#1,3,4; 17#1-4; 18#4 (1989-1993)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1-4; 20#1-4; 21#1,3; 23#1; 24#1; 25#3; 27#1,2 (1994-2002)	各号	¥2,160
	Vol. 35#1 (2010)		¥2,160
514	**国立民族学博物館研究報告 別冊（国立民族学博物館）**		
	No. 1 (1983); 4 (1987); 7 (1989)	各号	¥2,160
	No. 9 (1989); 13,15 (1991); 17 (1992)	各号	¥3,240
	No. 11,12 (1990); 20 (1999)	各号	¥5,400
515	**国立天文台報**		
	Vol. 1#1-4 (1990/1993)	各号	¥8,640
	Vol. 2#1-4 (1993/1995)		¥8,640
	Vol. 3#1-4 (1996/1998)		¥8,640
	Vol. 4#1-4 (1998/2000)		¥8,640
	Vol. 5#1-4 (2000/2002)		¥8,640
	Vol. 6#1,2,3/4 (2002/2004)		¥8,640
	Vol. 7#1/2,3/4 (2004)		¥8,640
	Vol. 8#1/2,3/4 (2005)		¥8,640
	Vol. 9#1/2,3/4 (2006)		¥8,640
	Vol. 10#1/2,3/4 (2007)		¥8,640
	Vol. 11#1/2,3/4 (2008)		¥8,640
	Vol. 13#1/2 (2010)		¥4,320
516	**国際安全保障 Journal of International Security（国際安全保障学会）**		
	Vol. 29#1-4 (2001/02); 30#3,4 (2002/03); 31#1/2,3,4 (2003/04)	各号	¥1,080
	Vol. 32#1-3 (2004); 33#1-4 (2005/06); 34#1-4 (2006/07)	各号	¥1,080
	Vol. 35#1-4 (2007/08); 36#1-4 (2008/09); 37#1-4 (2009/10)	各号	¥1,080
	Vol. 38#1-4 (2010/11); 39#1-3 (2011); 40#1-4 (2012/13)	各号	¥1,080
	Vol. 41#2 (2012)		¥1,080

517	**国際服飾学会誌**		
	No. 16 (1999)		¥3,240
	No. 17,18 (2000)	各号	¥3,240
	No. 19,20 (2001)	各号	¥3,240
	No. 21 (2002)		¥3,240
	No. 24 (2003)		¥3,240
	No. 26 (2004)		¥3,240
	No. 28 (2005)		¥3,240
	No. 29,30 (2006)	各号	¥3,240
	No. 31,32 (2007)	各号	¥3,240
	No. 33,34 (2008)	各号	¥3,240
	No. 35,36 (2009)	各号	¥3,240
	No. 37,38 (2010)	各号	¥3,240
	No. 39,40 (2011)	各号	¥3,240
	No. 41 (2012)		¥3,240
518	**国際保健医療（日本国際保健医療学会）**		
	Vol. 19#1; 20#1,2; 21#1-3; 22#1,2,4; 23#1-4; 24#3 (2004-2009)	各号	¥2,160
519	**国際景観生態学会日本支部会報 IALE-Japan**		
	Vol. 5#1-3 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-3 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1-3 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-3 (2003)	各号	¥2,160
520	**国際問題（日本国際問題研究所）**		
	No. 255-263,265-355,357 (1981-1989)	各号	¥679
	No. 358-400,402-476 (1990-1999)	各号	¥679
	No. 478-482,484-496,498-549 (2000-2005)	各号	¥679
	No. 555 (2006)		¥679
	No. 588-602,604-611 (2010-2012)	各号	¥679
	総目次 No.1-465 (1960-1998)		¥1,080
	国際問題年表 (1999-2004)	各号	¥1,080
521	**国際政治（日本国際政治学会）**		
	Vol. 16,31-35,37,38,41-46 (1960-1971)	各号	¥756
	Vol. 48-50 (1971-1973)	各号	¥1,296
	Vol. 54-60,63-68,70 (1975-1982)	各号	¥1,620
	Vol. 71-73,75-99,101 (1983-1992)	各号	¥1,944
	30周年記念号 (1986)		¥1,944
	Vol.100 (1992)「国際政治」第100号記念特別号		¥2,700
	Vol.102,104-122,124-163,165,166,170 (1993-2012)	各号	¥2,160
	内戦をめぐる政治学的考察 (2000)		¥4,104
	20世紀ドイツ政治理論 (2002)		¥4,104
522	**国際政治と文化研究（日本国際政治学会）**		
	No.16,31-35,37,38,41-46,48-50,54-60,63-102, 104-122,124-163,165,166,170 (1960-2012)	各号	¥2,160
523	**国際歯科学士会日本部会雑誌（国際歯科学士会日本部会）**		
	Vol. 31-44 (2000-2013) 各1号	各号	¥3,240
524	**口腔腫瘍研究会誌（口腔腫瘍研究会）**		
	第5号 (1987)		¥2,700
	第6巻 (1988)		¥2,700
525	**口腔腫瘍懇話会記録（口腔腫瘍懇話会）**		
	第1回 (1983)		¥2,700
	第2回 (1984)		¥2,700
	第3回 (1985)		¥2,700
	第4回 (1986)		¥2,700

526	**呼吸器ケア Respiratory care (メディカ出版)**		
	Vol. 1#6 (2003)		¥1,944
	Vol. 2#3,7-9,11,12 (2004)	各号	¥1,944
	Vol. 5#1,5,6,9 (2007)	各号	¥1,944
527	**呼吸器科 Respiratory Medicine (科学評論社)**		
	Vol. 1#1,5,6; 2#4-6 (2002)	各号	¥2,916
	Vol. 3#1,3,4; 4#1-6 (2003)	各号	¥2,916
	Vol. 5#1-5; 6#3-6 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 7#1-6; 8#1,3-6 (2005)	各号	¥2,916
	Vol. 11#2,6; 12#1,2,4 (2007)	各号	¥2,916

528 呼吸と循環（医学書院）

Vol. 1#1-5 (1953)	各号	¥2,808
Vol. 2#1-6 (1954)	各号	¥2,808
Vol. 3-4 (1955-1956) 各1-12号	各号	¥2,808
Vol. 5-6 (1957-1958) 各1-13号	各号	¥2,808
Vol. 7-43 (1959-1995) 各1-12号	各号	¥2,808
Vol. 44#1 (1996) 自律神経と心肺疾患-最近の知見		¥2,808
Vol. 44#2 (1996) NOと循環調節		¥2,808
Vol. 44#3 (1996) 気腫化病変の早期診断をめぐって		¥2,808
Vol. 44#4 (1996) 呼吸循環領域の運動負荷		¥2,808
Vol. 44#5 (1996) Angiotensin Converting Enzyme		¥2,808
Vol. 44#6 (1996) 肺機能検査による病変部位診断		¥2,808
Vol. 44#7 (1996) 肺における水の動態		¥2,808
Vol. 44#8 (1996) 呼吸循環器治療薬の狙いと効果の現実		¥2,808
Vol. 44#9 (1996) 手法が確立するまで		¥2,808
Vol. 44#10 (1996) エンドセリンの研究の新展開		¥2,808
Vol. 44#11 (1996) 不整脈のカテーテルアブレーション療法		¥2,808
Vol. 44#12 (1996) 気管支喘息重積発作をめぐって		¥2,808
Vol. 45#1 (1997) 心不全と気道閉塞		¥2,592
Vol. 45#2 (1997) KチャネルとQT延長症候群		¥2,592
Vol. 45#3 (1997) 呼吸困難の病態と対策		¥2,592
Vol. 45#4 (1997) 肺動脈血栓塞栓症の基礎と臨床		¥2,592
Vol. 45#5 (1997) 僧帽弁弁膜症治療の現況		¥2,592
Vol. 45#6 (1997) サーファクタント-最近の知見		¥2,592
Vol. 45#7 (1997) 制御からみる呼吸と循環		¥2,592
Vol. 45#8 (1997) 血小板と心疾患-その新展開		¥2,592
Vol. 45#9 (1997) volume Reduction Surgery(VRS)		¥2,592
Vol. 45#10 (1997) 呼吸循環系の順応と適応		¥2,592
Vol. 45#11 (1997) 循環器の大規模臨床研究-臨床治験		¥2,592
Vol. 45#12 (1997) 気管支喘息と受容体		¥2,592
Vol. 46#1 (1998) サルコイドーシス		¥2,700
Vol. 46#2 (1998) 圧受容体反射異常の病態		¥2,700
Vol. 46#3 (1998) 手術はどう呼吸を損なうか		¥2,700
Vol. 46#4 (1998) 蘇生をめぐる新しい展開と問題点		¥2,700
Vol. 46#5 (1998) 慢性心筋炎-診断のｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ提示とその後..		¥2,700
Vol. 46#6 (1998) 好酸球と肺疾患-最新の知見		¥2,700
Vol. 46#7 (1998) 最近話題の薬物誘起性心肺障害		¥2,700
Vol. 46#8 (1998) 心肺疾患における抗血栓療法		¥2,700
Vol. 46#9 (1998) 吸入療法の基礎と臨床		¥2,700
Vol. 46#10 (1998) 冠動脈血行再建術に関するcontroversy		¥2,700
Vol. 46#11 (1998) 好中球と肺疾患		¥2,700
Vol. 46#12 (1998) 睡眠呼吸障害-生活習慣病の危険因子として		¥2,700
Vol. 47#1 (1999) 慢性心不全治療の新しい可能性を探る		¥2,700
Vol. 47#2 (1999) 肺疾患とレドックス		¥2,700
Vol. 47#3 (1999) 心房細動をめぐって		¥2,700
Vol. 47#4 (1999) 肺癌-診断と治療の最前線		¥2,700
Vol. 47#5 (1999) 血管新生と臨床医学		¥2,700
Vol. 47#6 (1999) ハイポキシアへの耐性		¥2,700
Vol. 47#7 (1999) 肺結核臨床の現場から		¥2,700
Vol. 47#8 (1999) 急性心筋梗塞とその発症メカニズム		¥2,700
Vol. 47#9 (1999) 肺疾患と細胞内シグナル		¥2,700
Vol. 47#10 (1999) 循環器系薬剤を見直す-薬剤選択と用量を..		¥2,700
Vol. 47#11 (1999) 気管支喘息と気道リモデリング		¥2,700
Vol. 47#12 (1999) 循環器疾患の遺伝子診断と遺伝子治療		¥2,700
Vol. 48#1 (2000) 非侵襲的陽圧換気法(NPPV)の汎用性を..		¥2,700
Vol. 48#2 (2000) 心不全例の不整脈管理		¥2,700

	Vol. 48#3 (2000) 呼吸筋不全	¥2,700
	Vol. 48#4 (2000) 血圧の調整機構を再考する	¥2,700
	Vol. 48#5 (2000) 特殊な環境における呼吸と循環	¥2,700
	Vol. 48#6 (2000) わが国に心臓移植が定着するには何が必要か	¥2,700
	Vol. 48#7 (2000) 大気環境と肺疾患	¥2,700
	Vol. 48#8 (2000) 酸化ストレスと心血管病態	¥2,700
	Vol. 48#9 (2000) 手術と肺塞栓	¥2,700
	Vol. 48#10 (2000) 右心不全をめぐって	¥2,700
	Vol. 48#11 (2000) インフルエンザウイルス感染	¥2,700
	Vol. 48#12 (2000) 不整脈−診断と治療のトピックス2000	¥2,700
	Vol. 49#1 (2001) 虚血再灌流と臓器障害	¥2,808
	Vol. 49#2 (2001) ポスト・ゲノム時代における呼吸器疾患への・・	¥2,808
	Vol. 49#3 (2001) 感染症心内膜炎	¥2,808
	Vol. 49#4 (2001) 急性肺傷害の発症因子をめぐって	¥2,808
品切	Vol. 49#5 (2001) Brugada症候群	¥2,808
	Vol. 49#6 (2001) 気管支喘息とその周辺	¥2,808
	Vol. 49#7 (2001) 突然死をめぐって	¥2,808
	Vol. 49#8 (2001) 耐性菌呼吸器感染症の現状と治療	¥2,808
	Vol. 49#9 (2001) 急性心筋梗塞治療の新展開−心筋保護の観点	¥2,808
	Vol. 49#10 (2001) 呼吸と循環のパソコンソフトウェア	¥2,808
	Vol. 49#11 (2001) 睡眠呼吸障害をめぐって	¥2,808
	Vol. 49#12 (2001) 循環器疾患とQOL	¥2,808
	Vol. 50#1 (2002) 神経活性物質と呼吸	¥2,808
	Vol. 50#2 (2002) 循環器系薬剤の新しい視点−検証と展望	¥2,808
	Vol. 50#3 (2002) 呼吸器疾患のQOL	¥2,808
	Vol. 50#4 (2002) 心疾患系における再生医療・遺伝子治療	¥2,808
	Vol. 50#5 (2002) 慢性細気管支炎−間質性肺炎との接点をめぐって	¥2,808
	Vol. 50#6 (2002) セロトニンと循環器疾患	¥2,808
	Vol. 50#7 (2002) 加齢と肺	¥2,808
	Vol. 50#8 (2002) 心エコー図の最前線	¥2,808
	Vol. 50#9 (2002) 特発性間質性肺炎の治療	¥2,808
	Vol. 50#10 (2002) 21世紀の心不全治療の展望	¥2,808
	Vol. 50#11 (2002)「結核緊急事態宣言」と対策	¥2,808
	Vol. 50#12 (2002) 心筋モデリング	¥2,808
	Vol. 51#1 (2003) 非侵襲的換気療法・ガイドライン作成に向けて	¥2,808
	Vol. 51#2 (2003) 心房細動治療の新展開	¥2,808
	Vol. 51#2 (2003) 新しいテクノロジーによる肺末梢病変の解析	¥2,808
	Vol. 51#3 (2003) 新しいテクノロジーによる肺末梢病変の解析	¥2,808
	Vol. 51#4 (2003) 循環器診療と医療経済学	¥2,808
	Vol. 51#5 (2003) 肺気腫—最新の研究成果と今後の方向性	¥2,808
	Vol. 51#6 (2003) 動脈硬化の臨床	¥2,808
	Vol. 51#7 (2003) 肺構造の変性と修復	¥2,808
	Vol. 51#8 (2003) スタチンのプレイオトロピック効果と心血管疾患	¥2,808
	Vol. 51#9 (2003) 肺高血圧症の最近の治療	¥2,808
	Vol. 51#10 (2003) 肺疾患の最新画像診断	¥2,808
	Vol. 51#11 (2003) AHA心肺蘇生国際ガイドライン2000の普及に向けて	¥2,808
	Vol. 51#12 (2003) 難治性喘息－その機序の解明と対策	¥2,808
	Vol. 51#13 (2003) 総目次・著者索引第1巻～第51巻CD-ROM（検索機	¥4,536
	Vol. 52#1 (2004) 循環器疾患の予防医学	¥2,808
	Vol. 52#2 (2004) 呼吸器感染症・最新の話題	¥2,808
	Vol. 52#3 (2004) 低侵襲心臓外科手術	¥2,808
	Vol. 52#4 (2004) 睡眠呼吸障害の新展開と展望	¥2,808
	Vol. 52#5 (2004) 高血圧と心血管病	¥2,808
	Vol. 52#6 (2004) 非結核性抗酸菌症の病態と治療	¥2,808
	Vol. 52#7 (2004) 冠動脈病変の画像診断－CT、MRIは冠動脈造影にど	¥2,808
	Vol. 52#8 (2004) ARDS/ALIの薬物療法	¥2,808
	Vol. 52#9 (2004) 強心薬のコントロバーシー急性心不全に使うべきか、避	¥2,808

Vol. 52#10 (2004) 呼吸器疾患のガイドラインをめぐって	¥2,808
Vol. 52#11 (2004) 心血管病の薬物療法－ACEIとARBをどう使い分ける	¥2,808
Vol. 52#12 (2004) COPD診断・治療概念のup-to-date	¥2,808
Vol. 53#1 (2005) Acute Coronary Syndromeの病態を解明する	¥2,808
Vol. 53#2 (2005) 肺の再生医療―現状と展望	¥2,808
Vol. 53#3 (2005) 糖尿病と心疾患	¥2,808
Vol. 53#4 (2005) 自然免疫と肺	¥2,808
Vol. 53#5 (2005) 急性冠症候群(ACS)におけるPCIの現況	¥2,808
Vol. 53#6 (2005) 咳喘息と周辺疾患	¥2,808
Vol. 53#7 (2005) 急性肺塞栓症の最新の知見	¥2,808
Vol. 53#8 (2005) レニン・アンジオテンシン系と臓器保護	¥2,808
Vol. 53#9 (2005) 機能異常からみた呼吸器疾患	¥2,808
Vol. 53#10 (2005) 心臓画像の三次元化-その到達点と問題点	¥2,808
Vol. 53#11 (2005) 低酸素と生体	¥2,808
Vol. 53#12 (2005) 循環器疾患治療の新たなアプローチ：アルドステロン	¥2,808
Vol. 54#1 (2006) 呼吸器疾患におけるアポトーシスの最新知見	¥2,808
Vol. 54#2 (2006) レニン・アンジオテンシン系薬剤の最近のトピックス	¥2,808
Vol. 54#3 (2006) 肺疾患の炎症メカニズムとその制御	¥2,808
Vol. 54#4 (2006) ACE阻害薬を見直す	¥2,808
Vol. 54#5 (2006) 循環器用薬剤の他臓器作用，非循環器用薬剤の循環	¥2,808
Vol. 54#6 (2006) 呼吸器疾患のバイオマーカー	¥2,808
Vol. 54#7 (2006) 僧帽弁疾患の新しい治療戦略	¥2,808
Vol. 54#8 (2006) 呼吸器疾患と遺伝子多型	¥2,808
Vol. 54#9 (2006) 心臓サルコイドーシス診療の新しい展開	¥2,808
Vol. 54#10 (2006) 間質性肺炎の病態と治療	¥2,808
Vol. 54#11 (2006) 心臓リハビリテーションの最前線	¥2,808
Vol. 54#12 (2006) 呼吸器疾患におけるプロテオミクス解析の現状と将来	¥2,808
Vol. 55#1 (2007) 不整脈非薬物療法の現況と5年後の展望	¥2,808
Vol. 55#2 (2007) 気管支鏡手技を用いた医療の最新動向	¥2,808
Vol. 55#3 (2007) 臨床研究・大規模研究の進め方	¥2,808
Vol. 55#4 (2007) COPDの急性増悪をめぐって	¥2,808
Vol. 55#5 (2007) Drug-Eluting Stent-その問題点と展望	¥2,808
Vol. 55#6 (2007) ALI/ARDSの病態と治療	¥2,808
Vol. 55#7 (2007) 心筋再生と心筋保護	¥2,808
Vol. 55#8 (2007) 在宅呼吸管理をめぐって	¥2,808
Vol. 55#9 (2007) メタボリックシンドロームと循環器疾患	¥2,808
Vol. 55#10 (2007) 人工呼吸管理をめぐって	¥2,808
Vol. 55#11 (2007) 心血管疾患とエージング	¥2,808
Vol. 55#12 (2007) 呼吸器疾患ガイドラインの課題	¥2,808
Vol. 56#1 (2008) 呼吸困難からみた呼吸器・循環器疾患	¥2,808
Vol. 56#2 (2008) 循環器疾患のリスク管理	¥2,808
Vol. 56#3 (2008) 呼吸機能を考える	¥2,808
Vol. 56#4 (2008) 重症心不全治療戦略の新展開	¥2,808
Vol. 56#5 (2008) 低線量CT検診の現状と展望	¥2,808
Vol. 56#6 (2008) 循環器医からみた糖尿病治療薬の考え方・使い方	¥2,808
Vol. 56#7 (2008) 結核対策の現状を考える	¥2,808
Vol. 56#8 (2008) 心房細動における脳卒中の発症予防	¥2,808
Vol. 56#9 (2008) 肺疾患動物実験モデルの意義と展開	¥2,808
Vol. 56#10 (2008) 肺高血圧症治療の現状と展望	¥2,808
Vol. 56#11 (2008) 脂質異常症治療の展望と課題	¥2,808
Vol. 56#12 (2008) 肺癌診療の進歩	¥2,808
Vol. 57#1 (2009) 循環器疾患と地域連携	¥2,808
Vol. 57#2 (2009) 喘息とCOPDの増悪をめぐって	¥2,808
Vol. 57#3 (2009) 拡張期心不全をめぐって	¥2,808
Vol. 57#4 (2009) 呼吸器疾患診断の進歩-形態と機能の系統的評価	¥2,808
Vol. 57#5 (2009) ARBの選び方・使い方	¥2,808
Vol. 57#6 (2009) 呼吸器疾患治療の進歩：薬物療法と非薬物療法	¥2,808

Vol. 57#7 (2009) 睡眠時無呼吸症候群(SAS)と心血管障害	¥2,808
Vol. 57#8 (2009) COPD 大規模臨床研究からわかるもの	¥2,808
Vol. 57#9 (2009) 循環器診療における放射線防護	¥2,808
Vol. 57#10 (2009) 喫煙の呼吸器・循環器に及ぼす影響―エビデンスに	¥2,808
Vol. 57#11 (2009) マルファン症候群	¥2,808
Vol. 57#12 (2009) コンピュータを用いた呼吸器病態解析の進歩と展望	¥2,808
Vol. 58#1 (2010) 特発性心室細動―病態から治療まで	¥2,808
Vol. 58#2 (2010) COPDの依存症・合併症	¥2,808
Vol. 58#3 (2010) プロレニン―レニン・アンジオテンシン系(RAS)の最近の	¥2,808
Vol. 58#4 (2010) 間質性肺炎治療法の新展開	¥2,808
Vol. 58#5 (2010) 冠動脈画像診断の進歩―冠動脈CTの現状と将来	¥2,808
Vol. 58#6 (2010) ALI/ARDS治療の新展開	¥2,808
Vol. 58#7 (2010) 循環器疾患の逆リモデリング	¥2,808
Vol. 58#8 (2010) 呼吸器診療のリスク管理	¥2,808
Vol. 58#9 (2010) 血管の非侵襲的な評価法のインパクト　その意義と最	¥2,808
Vol. 58#10 (2010) 呼吸器疾患と分子標的治療	¥2,808
Vol. 58#11 (2010) AEDを検証する	¥2,808
Vol. 58#12 (2010) リンパ脈管筋腫症(LAM)の新展開	¥2,808
Vol. 59#1 (2011) 冠攣縮性狭心症	¥2,808
Vol. 59#2 (2011) 呼吸不全を来す難治性呼吸器疾患克服への取り組み	¥2,808
Vol. 59#3 (2011) 心血管治療としての心臓リハビリテーション	¥2,808
Vol. 59#4 (2011) 最新の呼吸器疾患のガイドライン	¥2,808
Vol. 59#5 (2011) 冠血行再建術のエビデンスをどうみるか―PCIとCABG	¥2,808
Vol. 59#6 (2011) 呼吸器疾患とエイジング	¥2,808
Vol. 59#7 (2011) 再灌流療法をめぐる諸問題	¥2,808
Vol. 59#8 (2011) 生活習慣と呼吸器疾患	¥2,808
Vol. 59#9 (2011) 慢性炎症と循環器疾患	¥2,808
Vol. 59#10 (2011) インフルエンザウイルス感染症の最新の話題	¥2,808
Vol. 59#11 (2011) テネイシンCと心臓・血管病変	¥2,808
Vol. 59#12 (2011) 呼吸器における画像診断の最新の動向	¥2,808
Vol. 60#1 (2012) 肺高血圧症の新しい展開	¥2,916
Vol. 60#2 (2012) 気管支喘息の最新の話題	¥2,916
Vol. 60#3 (2012) 自律神経系と循環器疾患	¥2,916
Vol. 60#4 (2012) 難治性びまん性肺疾患克服への取り組み	¥2,916
Vol. 60#5 (2012) ips細胞を用いた心臓病の診断と治療	¥2,916
Vol. 60#6 (2012) 新しい肺炎の概念：医療・介護関連肺炎	¥2,916
Vol. 60#7 (2012) 生活習慣と心腎連関	¥2,916
Vol. 60#8 (2012) 全身性疾患としての睡眠時無呼吸症候群(SAS)	¥2,916
Vol. 60#9 (2012) 大震災と循環器・呼吸器疾患	¥2,916
Vol. 60#10 (2012) COPDの最新の話題	¥2,916
Vol. 60#11 (2012) 心血管病における免疫機構の関わり―循環器医が知	¥2,916
Vol. 60#12 (2012) 肺癌個別化治療におけるバイオマーカー	¥2,916
Vol. 61#1 (2013) 糖尿病と心血管疾患:インクレチン導入後を検証する	¥2,916
Vol. 61#2 (2013) 特発性間質性肺炎を見直すー特発性間質性肺炎臨床	¥2,916
Vol. 61#2 (2013) 特発性間質性肺炎を見直すー特発性間質性肺炎臨床	¥2,916
Vol. 61#3 (2013) 内科医が診る 大人になった先天性心疾患―Adult Con	¥2,916
Vol. 61#4 (2013) 薬剤性肺障害の臨床	¥2,916
Vol. 61#5 (2013) 抗凝固薬の新展開	¥2,916
Vol. 61#6 (2013) 喘息病態の修飾因子・難治化因子	¥2,916
Vol. 61#7 (2013) 血管内イメージングを再考する	¥2,916
Vol. 61#8 (2013) 急性呼吸不全の呼吸管理	¥2,916
Vol. 61#9 (2013) 末梢動脈疾患	¥2,916
Vol. 61#10 (2013) 疾患感受性遺伝子解析による呼吸器疾患の病態解析	¥2,916
Vol. 61#11 (2013) 心臓病における核医学検査の進歩	¥2,916
Vol. 61#12 (2013) 多方面からの肺高血圧症へのアプローチ	¥2,916
Vol. 62#1 (2014) Structural Heart Diseaseに対するカテーテルインター	¥2,916
Vol. 62#2 (2014) COPD治療のさらなる展開を目指す-ガイドライン第4版	¥2,916

	Vol. 62#3 (2014) 最新の心房細動治療戦略－長期持続性心房細動に対		¥2,916
	Vol. 62#4 (2014) 呼吸器領域の新しい薬物療法		¥2,916
	Vol. 62#5 (2014) 利尿薬をめぐる諸問題		¥2,916
	Vol. 62#6 (2014) 疾患と運動時低酸素血症		¥2,916
	Vol. 62#7 (2014) 高血圧治療ガイドライン2014を考える		¥2,916
	Vol. 62#8 (2014) 呼吸器感染症診療の変貌		¥2,916
	Vol. 62#9 (2014) 遺伝性不整脈		¥2,916
	Vol. 62#10 (2014) 環境因子と呼吸器疾患		¥2,916
	Vol. 62#11 (2014) CABGを科学する		¥2,916
	Vol. 62#12 (2014) 気管支喘息 最新の話題		¥2,916
	Vol. 63#1 (2015) 川崎病		¥2,916
	Vol. 63#2 (2015) IPF治療の最新の話題		¥2,916
	Vol. 63#3 (2015) 急性心筋炎をめぐる最近の話題		¥2,916
	Vol. 63#4 (2015) 呼吸器疾患治療の標的分子		¥2,916
	Vol. 63#5 (2015) ペースメーカ治療の合併症への対応		¥2,916
	Vol. 63#6 (2015) 創薬を視野に入れた呼吸器疾患の病態解明		¥2,916
	Vol. 63#7 (2015) 肥大型心筋症の基礎と臨床		¥2,916
	Vol. 63#8 (2015) 睡眠時無呼吸症候群（SAS）－臨床に役立つ最新知識		¥2,916
	Vol. 63#9 (2015) スタチン投与後のレジデュアル・リスク		¥2,916
	Vol. 63#10 (2015) アレルギー疾患モデルからの最新知見		¥2,916
	Vol. 63#11 (2015) 膠原病に伴う循環器疾患		¥2,916
	Vol. 63#12 (2015) LAMに対するシロリムス療法の実用化時代を迎えて		¥2,916
	Vol. 64#1 (2016) わが国における脳・心血管疾患予防のための疫学研究		¥2,916
	Vol. 64#2 (2016) 呼吸器疾患における慢性炎症を考える		¥2,916
	Vol. 64#3 (2016) 症状別・疾患別にみた注意を要する心電図所見		¥2,916
	Vol. 64#4 (2016) 呼吸器病学 黎明期から現在		¥2,916
	Vol. 64#5 (2016) Acute Aortic Syndrome－最新の話題と今後の展望		¥2,916
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
529	**昆蟲（日本昆虫学会）**		
	Vol. 44#2,4 (1976)	各号	¥3,240
	Vol. 45-56 (1977-1988) 各1-4号	各号	¥3,240
530	**昆蟲. ニューシリーズ（日本昆虫学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1998)	各号	¥3,240
	Vol. 2-11 (1999-2008)	各号	¥3,240
531	**混相流（日本混相流学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1987)	各号	¥2,700
	Vol. 2-19 (1988-2005) 各1-4号	各号	¥2,700
532	**高齢者安心安全ケア 実践と記録（日総研出版）**		
	Vol. 10#3-6 (2013)	各号	¥2,700
	Vol. 11#1-6 (2013/2014)	各号	¥2,700
	Vol. 12#1-2 (2014)	各号	¥2,700
533	**高齢者問題研究（北海道高齢者問題研究協会）**		
	No. 1-23 (1985-2007)	各号	¥2,160
534	**交流分析研究（日本交流分析学会）**		
	Vol. 17#1/2 (1992); 19#1/2 (1994)	各冊	¥1,620
	Vol. 18, 20-40 (1993,1995-2015) 各1-2号	各号	¥1,620

535 厚生の指標（厚生統計協会）

Vol. 1-6,8 (1954-1959,1961) 各1-8,10,12,14-15号	各号	¥926
Vol. 1-6,8 (1954-1959,1961) 各9,11,13号	各号	¥2,160
Vol. 7,9 (1960,1962) 各1-9,12,14-15号	各号	¥926
Vol. 7,9 (1960,1962) 各10,11,13号	各号	¥2,160
Vol. 10,14 (1963,1967) 各1-8,10,14-16号	各号	¥926
Vol. 10,14 (1963,1967) 各9,11-13号	各号	¥2,160
Vol. 11-13,15-19 (196-1966,1968-1972) 各1-8,210,12,14-16号	各号	¥926
Vol. 11-13,15-19 (1964-1966,1968-1972) 各9,11,13号	各号	¥2,160
Vol. 20#1-8,10-11,14-16 (1973)	各号	¥926
Vol. 20#9,12,13 (1973)	各号	¥2,160
Vol. 21-23 (1974-1976) 各9,12,14号	各号	¥2,160
Vol. 24-30,32 (1977-1983,1985) 各1-8,10,13-16号	各号	¥926
Vol. 21-23 (1974-1976) 各1-8,10-11,13,15-16号	各号	¥926
Vol. 24-30,32 (1977-1983,1985) 各9,11,12号	各号	¥2,160
Vol. 31#1-8,10,12-16 (1984)	各号	¥926
Vol. 31#9,11 (1984)	各号	¥2,160
Vol. 33-35,37-38,46 (1986-1988,1990-1991,1996) 各1-8,11,13-16号	各号	¥926
Vol. 33-35,37-38,46 (1986-1988,1990-1991,1996) 各9,12号	各号	¥2,160
Vol. 36,39 (1989,1992) 各1-8,10-11,13,15-16号	各号	¥926
Vol. 36,39 (1989,1992) 各9,12,14号	各号	¥2,160
Vol. 40-42 (1993-1995) 各1-8,11,13,15号	各号	¥926
Vol. 40-42 (1993-1995) 各9,12,14,16号	各号	¥2,160
Vol. 43-44 (1996-1998) 各1-8,10-11,13-15号	各号	¥926
Vol. 43-44 (1996-1998) 各9,12,16号	各号	¥2,160
Vol. 45#1-8,10,11,13,15 (1998)	各号	¥926
Vol. 46#1-8,10,13,15 (1999)	各号	¥926
Vol. 47#4,6 (2000)	各号	¥926
Vol. 49 (2002) 各1-8,10-11,13,15-16号	各号	¥926
Vol. 46#12 (19999); 49#9 (2002)	各号	¥2,160
Vol. 51#1-8,10,11,13,15 (2004)	各号	¥926
Vol. 52#1-4,6-8,10,13,15 (2005)	各号	¥926
Vol. 53#1-8,10,11,13,15 (2006)	各号	¥926
Vol. 54#1-8,10,11,13,15 (2007)	各号	¥926
Vol. 55#1-8,10,11,13,15 (2008)	各号	¥926
Vol. 56#1-8,10,11,13,15 (2009)	各号	¥926
Vol. 57#1-8,10,12,13,15 (2009)	各号	¥926
国民衛生の動向 Year 1960-2010/2011 (1960-2011)	各冊	¥2,469
国民福祉の動向 Year 1967-2007 (1967-2007)	各冊	¥2,469
保険と年金の動向 Year 1998-2008 (1998-2008)	各冊	¥2,469

536 公衆衛生（医学書院）

Vol. 1#1-6 (1946/47)	各号	¥2,484
Vol. 2#1-5 (1947)	各号	¥2,484
Vol. 3#1-6 (1947/48)	各号	¥2,484
Vol. 4#1-6 (1948)	各号	¥2,484
Vol. 5#1-8 (1948/49)	各号	¥2,484
Vol. 6#1-6 (1949)	各号	¥2,484
Vol. 7#1-6 (1950)	各号	¥2,484
Vol. 8#1-4 (1950)	各号	¥2,484
Vol. 9-20 (1951-1956) 各1-6号	各号	¥2,484
Vol. 21-58 (1957-1994) 各1-12号	各号	¥2,484
Vol. 59#1 (1995) 公衆衛生の新たな地平		¥2,484
Vol. 59#2 (1995) 労働によるストレスと健康		¥2,484
Vol. 59#3 (1995) 医療の機能分化と連携		¥2,484
Vol. 59#4 (1995) 地方自治体はどのように地域保健を推進..		¥2,484
Vol. 59#5 (1995) 水銀汚染-水俣病よりグローバルな環境問題へ		¥2,484
Vol. 59#6 (1995) 少子化時代への対応		¥2,484
Vol. 59#7 (1995) 阪神・淡路大震災時における保健医療活動		¥2,484
Vol. 59#8 (1995) 現代の予防接種-その意義と課題		¥2,484
Vol. 59#9 (1995) 地域リハビリテーション		¥2,484
Vol. 59#10 (1995) 高齢者介護と公的介護保険		¥2,484
Vol. 59#11 (1995) 高度化された食品・栄養システムの現状と課題		¥2,484
Vol. 59#12 (1995) 公衆衛生/予防医学と分子生物学		¥2,484
Vol. 60#1 (1996) 市町村における母子保健活動の推進		¥2,484
Vol. 60#2 (1996) 精神保健福祉法と精神保健活動の新たな視点		¥2,484
Vol. 60#3 (1996) 産業保健の国際動向		¥2,484
Vol. 60#4 (1996) 生活をささえる防災計画		¥2,484
Vol. 60#5 (1996) マルチメディアの保健活動への活用を考える		¥2,484
Vol. 60#6 (1996) 感染症の新たな動向		¥2,484
Vol. 60#7 (1996) 交通事故の予防医学		¥2,484
Vol. 60#8 (1996) 保健所の組織改革と機能強化		¥2,484
Vol. 60#9 (1996) 歯周疾患の予防-8020運動の達成に向けて		¥2,484
Vol. 60#10 (1996) 女性の健康づくり		¥2,484
Vol. 60#11 (1996) 産業精神保健		¥2,484
Vol. 60#12 (1996) 小児期の成人病		¥2,484
Vol. 61#1 (1997) 地域保健元年		¥2,268
Vol. 61#2 (1997) 病原性大腸菌O157の脅威		¥2,268
Vol. 61#3 (1997) コミュニティヘルス・アプローチの昨日,今日,明日		¥2,268
Vol. 61#4 (1997) 検診を検診する		¥2,268
Vol. 61#5 (1997) 介護保険制度の特質と論点		¥2,268
Vol. 61#6 (1997) ノーマライゼーションの実現へ		¥2,268
Vol. 61#7 (1997) 大学の公衆衛生50年		¥2,268
Vol. 61#8 (1997) 新しい地域保健体制における保健婦活動		¥2,268
Vol. 61#9 (1997) 今,WHOの歩みから学ぶもの		¥2,268
Vol. 61#10 (1997) 公衆衛生をささえるもの-情報		¥2,268
Vol. 61#11 (1997) 現場における研究のすすめ		¥2,268
Vol. 61#12 (1997) 現場の危機管理		¥2,268
Vol. 62#1 (1998) 新しい地域保健の視点-実践例に学ぶ方法論		¥2,376
Vol. 62#2 (1998) 成人病から生活習慣病へ		¥2,376
Vol. 62#3 (1998) 海外の公衆衛生専門教育-日本と比較して		¥2,376
Vol. 62#4 (1998) 公衆衛生の視点から見た事故予防		¥2,376
Vol. 62#5 (1998) 産業医の新たな体制と活動		¥2,376
Vol. 62#6 (1998) エイズ対策の再検証-人権の視点から		¥2,376
Vol. 62#7 (1998) 環境保健のトピックス		¥2,376
Vol. 62#8 (1998) 公衆衛生の現地訓練		¥2,376
Vol. 62#9 (1998) 地方分権の推進について考える		¥2,376

	Vol. 62#10 (1998) 計画づくりの理念と方法	¥2,376
	Vol. 62#11 (1998) 21世紀へ向けての産業看護活動	¥2,376
	Vol. 62#12 (1998)「感染症新法」下における予防活動	¥2,376
	Vol. 63#1 (1999) 公衆衛生の経済学	¥2,376
	Vol. 63#2 (1999) 依存症の公衆衛生	¥2,376
	Vol. 63#3 (1999) 結核とハンセン病について考える	¥2,376
	Vol. 63#4 (1999) 飲酒の行動医学	¥2,376
	Vol. 63#5 (1999) 地域保健の財政基盤	¥2,376
	Vol. 63#6 (1999) 産業歯科保健	¥2,376
	Vol. 63#7 (1999) 思春期を支える公衆衛生	¥2,376
	Vol. 63#8 (1999) 女性への暴力	¥2,376
	Vol. 63#9 (1999) 21世紀に向けての老人保健事業	¥2,376
	Vol. 63#10 (1999) 地域保健法で保健所は変わった？	¥2,376
	Vol. 63#11 (1999) 地域におけるたばこ対策の取り組み	¥2,376
	Vol. 63#12 (1999) 地域保健活動とボランティア	¥2,376
	Vol. 64#1 (2000) 大都市における地域保健サービス−その体制と	¥2,484
	Vol. 64#2 (2000) 公衆衛生におけるリスクの管理	¥2,484
	Vol. 64#3 (2000) 性の公衆衛生	¥2,484
	Vol. 64#4 (2000) 地域における生活廃棄物対策	¥2,484
	Vol. 64#5 (2000) 児童虐待の防止に向けて	¥2,484
	Vol. 64#6 (2000) 地研における公衆衛生情報ネットワーク	¥2,484
	Vol. 64#7 (2000) 大学の公衆衛生教育	¥2,484
	Vol. 64#8 (2000) 公衆衛生と個人情報保護	¥2,484
	Vol. 64#9 (2000) マスコミュニケーション公衆衛生	¥2,484
	Vol. 64#10 (2000) 新エンゼルプランの推進と展望	¥2,484
	Vol. 64#11 (2000) 現代の保健婦−その課題と展望	¥2,484
	Vol. 64#12 (2000) 難病と共に生きる	¥2,484
	Vol. 65#1 (2001) 根拠に基づく公衆衛生の展開	¥2,484
	Vol. 65#2 (2001) 公衆栄養のトピックス	¥2,484
	Vol. 65#3 (2001) 地域保健の危機管理	¥2,484
品切	Vol. 65#4 (2001) ヘルスプロモーションの実践・1	¥2,484
品切	Vol. 65#5 (2001) ヘルスプロモーションの実践・2	¥2,484
	Vol. 65#6 (2001) 放射線被爆のアセスメント	¥2,484
	Vol. 65#7 (2001) 21世紀の地域歯科保健の展開	¥2,484
	Vol. 65#8 (2001) 市町村の保健と福祉の専門職	¥2,484
	Vol. 65#9 (2001) 精神障害者が暮らしやすい地域づくり	¥2,484
	Vol. 65#10 (2001) 公衆衛生の新しい世紀	¥2,484
	Vol. 65#11 (2001) 青少年暴力・1	¥2,484
	Vol. 65#12 (2001) 青少年暴力・2	¥2,484
	Vol. 66#1 (2002) 健康日本21と職場の健康管理	¥2,484
	Vol. 66#2 (2002) 思春期の薬物乱用予防−生きる力をやしなう活動を求	¥2,484
	Vol. 66#3 (2002) 国立保健医療科学院への期待・提言	¥2,484
	Vol. 66#4 (2002) これからの国際保健医療協力	¥2,484
	Vol. 66#5 (2002) 若者にはびこる性感染症	¥2,484
	Vol. 66#6 (2002) 食品の安全について考える	¥2,484
	Vol. 66#7 (2002) 改めて問う保健事業はどれだけの成果をあげてきたか	¥2,484
	Vol. 66#8 (2002) 老人保健法20周年−新たな展開を目指して	¥2,484
	Vol. 66#9 (2002) 文化と健康生態・1	¥2,484
	Vol. 66#10 (2002) 文化と健康生態・2	¥2,484
	Vol. 66#11 (2002) 公衆衛生におけるNPOの役割	¥2,484
	Vol. 66#12 (2002) 公衆衛生における医療	¥2,484
	Vol. 67#1 (2003) 今日の学校保健	¥2,484
	Vol. 67#2 (2003) 公衆衛生が進めるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	¥2,484
	Vol. 67#3 (2003) 地域から取り組むリプロダクティブ・ヘルスー新しい出産	¥2,484
	Vol. 67#4 (2003) 感染症法の成果と提言	¥2,484
	Vol. 67#5 (2003) 現代の保健所論・1	¥2,484
	Vol. 67#6 (2003) 現代の保健所論・2	¥2,484

Vol. 67#7 (2003) 健康危機における情報ネットワーク	¥2,484
Vol. 67#8 (2003) 公衆衛生とプライマリ・ケア	¥2,484
Vol. 67#9 (2003) 自殺予防	¥2,484
Vol. 67#10 (2003) 新医師臨床研修「地域保健・医療」研修の使命	¥2,484
Vol. 67#11 (2003) 検証「SARS」	¥2,484
Vol. 67#12 (2003) エイズ対策は成功したか	¥2,484
Vol. 68#1 (2004) 公衆衛生の構造改革	¥2,484
Vol. 68#2 (2004) 地域精神保健活動―医療の質とその周辺	¥2,484
Vol. 68#3 (2004) 結核対策のリフォーム	¥2,484
Vol. 68#4 (2004) 保健師を考える・1　保健師のニュービジョン	¥2,484
Vol. 68#5 (2004) 保健師を考える・2市町村保健師のアイデンティティ	¥2,484
Vol. 68#6 (2004) 転換期のリーダーシップ	¥2,484
Vol. 68#7 (2004) 公衆衛生対策におけるリスクコミュニケーション	¥2,484
Vol. 68#8 (2004) 公衆衛生対策における クライシスコミュニケーション	¥2,484
Vol. 68#9 (2004) 各方面で進む「ヘルスプロモーション」	¥2,484
Vol. 68#10 (2004) 人と動物の共通感染症・1鳥インフルエンザ	¥2,484
Vol. 68#11 (2004) 人と動物の共通感染症・2BSEを中心に	¥2,484
Vol. 68#12 (2004) 喫煙対策はどこまで進んだか	¥2,484
Vol. 69#1 (2005) 子ども虐待予防	¥2,484
Vol. 69#2 (2005) 地域保健法10年	¥2,484
Vol. 69#3 (2005) 結核対策新時代―結核予防法のリビジョン	¥2,484
Vol. 69#4 (2005) 公衆衛生と監察医制度	¥2,484
Vol. 69#5 (2005) こころの健康問題への挑戦	¥2,484
Vol. 69#6 (2005) 自然災害と公衆衛生活動	¥2,484
Vol. 69#7 (2005) 地域医療のトピック「救急医療」を考えよう	¥2,484
Vol. 69#8 (2005) 介護予防をどうすすめる？老人保健，介護保険制度の	¥2,484
Vol. 69#9 (2005) 介護予防をどうすすめる？2介護予防事業の多角的取	¥2,484
Vol. 69#10 (2005) ウイルス肝炎	¥2,484
Vol. 69#11 (2005) 感染症情報	¥2,484
Vol. 69#12 (2005) アニマルセラピー	¥2,484
Vol. 70#1 (2006) コミュニティと関係性の再構築	¥2,484
Vol. 70#2 (2006)「健康格差社会」とセーフティネット	¥2,484
Vol. 70#3 (2006) 健康危機管理	¥2,484
Vol. 70#4 (2006) 予防接種	¥2,484
Vol. 70#5 (2006)「食育」の時代へ	¥2,484
Vol. 70#6 (2006) 越境！公衆衛生	¥2,484
Vol. 70#7 (2006) 市町村合併後の保健師活動	¥2,484
Vol. 70#8 (2006) 子どもを守る	¥2,484
Vol. 70#9 (2006) 認知症―予防とケアの最前線	¥2,484
Vol. 70#10 (2006) インフルエンザ	¥2,484
Vol. 70#11 (2006) 医療制度改革と疾病予防活動	¥2,484
Vol. 70#12 (2006) クスリと公衆衛生	¥2,484
Vol. 71#1 (2007) がん対策・1	¥2,484
Vol. 71#2 (2007) がん対策・2	¥2,484
Vol. 71#3 (2007) メタボリックシンドローム 現状とその課題	¥2,484
Vol. 71#4 (2007) 過労死・過労自死	¥2,484
Vol. 71#5 (2007) 歯周病予防からのヘルスプロモーション	¥2,484
Vol. 71#6 (2007) 環境問題の多様性	¥2,484
Vol. 71#7 (2007) 狂犬病・デング熱・マラリア・コクシジオイデス症・海外で	¥2,484
Vol. 71#8 (2007) スポーツと公衆衛生−地域の関係性の構築	¥2,484
Vol. 71#9 (2007) 性差医療から考える 患者の望む医療とは？	¥2,484
Vol. 71#10 (2007) 感染症の危機管理 関連法規改正後の新たな展開	¥2,484
Vol. 71#11 (2007) 超高齢社会の地域医療制度の展望	¥2,484
Vol. 71#12 (2007) ノロウイルス ウイルス性下痢症	¥2,484
Vol. 72#1 (2008) 憲法と公衆衛生	¥2,484
Vol. 72#2 (2008) 総合医療への期待 21世紀の予防医学と健康づくり	¥2,484
Vol. 72#3 (2008) アレルギー対策 花粉症・食物アレルギー・アトピー等へ	¥2,484

Vol. 72#4 (2008) 自閉症・アスペルガー症候群・LD・ADHD 母子保健事	¥2,484
Vol. 72#5 (2008) うつの時代 うつ病を改めて理解する	¥2,484
Vol. 72#6 (2008) 若者を性感染症から守る	¥2,484
Vol. 72#7 (2008) たばこ研究	¥2,484
Vol. 72#8 (2008) 地域における医師職のあり方	¥2,484
Vol. 72#9 (2008) 現代の貧困と健康	¥2,484
Vol. 72#10 (2008) 揺らぐ食品への信頼	¥2,484
Vol. 72#11 (2008) 日本の食を守れるか？	¥2,484
Vol. 72#12 (2008) 地球温暖化対策−京都の約束	¥2,484
Vol. 73#1 (2009) 健康食品をめぐって	¥2,484
Vol. 73#2 (2009) 公衆衛生の人づくり・1 変わりゆく地域保健の人材育成	¥2,484
Vol. 73#3 (2009) 公衆衛生の人づくり・2 専門性を支える公衆衛生人教	¥2,484
Vol. 73#4 (2009) 介護予防 3年間の検証から	¥2,484
Vol. 73#5 (2009) 自然毒食中毒	¥2,484
Vol. 73#6 (2009) 地域精神保健・医療の今日的課題	¥2,484
Vol. 73#7 (2009) 自治体中心の新たな健康政策 Health Impact Assessm	¥2,484
Vol. 73#8 (2009) 超少子化と向き合う	¥2,484
Vol. 73#9 (2009) 弱者への暴力	¥2,484
Vol. 73#10 (2009) これからの予防接種	¥2,484
Vol. 73#11 (2009) 薬物乱用	¥2,484
Vol. 73#12 (2009) がん予防	¥2,484
Vol. 74#1 (2010) 感染症再見	¥2,484
Vol. 74#2 (2010) 現代の更年期	¥2,484
Vol. 74#3 (2010) 公衆衛生再考	¥2,484
Vol. 74#4 (2010) 環境リスク	¥2,484
Vol. 74#5 (2010) 自然毒　刺傷・咬傷―野外危険生物	¥2,484
Vol. 74#6 (2010) 肥満とやせ	¥2,484
Vol. 74#7 (2010) 現場が求める保健師教育	¥2,484
Vol. 74#8 (2010) 検証「パンデミックインフルエンザ2009」	¥2,484
Vol. 74#9 (2010) 分子遺伝疫学	¥2,484
Vol. 74#10 (2010) 母子保健をめぐる今日的課題	¥2,484
Vol. 74#11 (2010) 再考：HIV/AIDS予防対策	¥2,484
Vol. 74#12 (2010) 救急医療を救う	¥2,484
Vol. 75#1 (2011) ヒトと家畜・ペット・野生動物の感染症―口蹄疫から学ぶ	¥2,484
Vol. 75#2 (2011) 医薬品・ワクチン開発をめぐる諸課題	¥2,484
Vol. 75#3 (2011) 子どもを護る　社会的不利への介入と支援	¥2,484
Vol. 75#4 (2011) 超高齢社会に備える	¥2,484
Vol. 75#5 (2011) 基礎から学ぶ食品衛生	¥2,484
Vol. 75#6 (2011) 基礎から学ぶ環境衛生	¥2,484
Vol. 75#7 (2011) 健康危機兆候のモニタリング	¥2,484
Vol. 75#8 (2011) 高齢者の事故	¥2,484
Vol. 75#9 (2011) 分権型社会における公衆衛生の課題	¥2,484
Vol. 75#10 (2011) 睡眠と健康	¥2,484
Vol. 75#11 (2011) 放射線と向き合う	¥2,484
Vol. 75#12 (2011) 広域・複合災害に備える 自治体の公衆衛生活動	¥2,484
Vol. 76#1 (2012) 生食のリスク	¥2,592
Vol. 76#2 (2012) セルフケアを支援する	¥2,592
Vol. 76#3 (2012) アルコール関連問題	¥2,592
Vol. 76#4 (2012) 地域医療の現状と将来展望	¥2,592
Vol. 76#5 (2012) 高齢者の身近な疾患	¥2,592
Vol. 76#6 (2012) 運動とは何か	¥2,592
Vol. 76#7 (2012) 在宅医療・地域包括ケア	¥2,592
Vol. 76#8 (2012) 国際感染症対策の現状と課題	¥2,592
Vol. 76#9 (2012) 独居高齢者と健康	¥2,592
Vol. 76#10 (2012) 糖尿病の今	¥2,592
Vol. 76#11 (2012) スクリーニング その進化と課題	¥2,592
Vol. 76#12 (2012) 原子力災害と公衆衛生	¥2,592

	Vol. 77#1 (2013) 公衆衛生の危機		¥2,592
	Vol. 77#2 (2013) 歯科口腔保健を巡る話題		¥2,592
	Vol. 77#3 (2013) 慢性腎臓病～CKD		¥2,592
	Vol. 77#4 (2013) 転換期の結核対策 医療と予防		¥2,592
	Vol. 77#5 (2013) 若者の精神保健①		¥2,592
	Vol. 77#6 (2013) 若者の精神保健②		¥2,592
	Vol. 77#7 (2013) 医療安全のさらなる推進に向けて		¥2,592
	Vol. 77#8 (2013) 血液事業のトピックス 身近な献血からiPS細胞の活用ま		¥2,592
	Vol. 77#9 (2013) 衛生行政を担う人材 獣医師・薬剤師		¥2,592
	Vol. 77#10 (2013) 日常生活とアレルギー		¥2,592
	Vol. 77#11 (2013) 院内感染対策		¥2,592
	Vol. 77#12 (2013) がん対策の強化		¥2,592
	Vol. 78#1 (2014) 公衆衛生の原点を学ぶ　イギリスの挑戦		¥2,592
	Vol. 78#2 (2014) 予防接種		¥2,592
	Vol. 78#3 (2014) 出生前診断		¥2,592
	Vol. 78#4 (2014) 自殺・自死対策		¥2,592
	Vol. 78#5 (2014) NCD（非感染性疾患）対策		¥2,592
	Vol. 78#6 (2014) 発達障害		¥2,592
	Vol. 78#7 (2014) 行為への依存症　スマホ・ネット・ギャンブル		¥2,592
	Vol. 78#8 (2014) 公害・環境問題の変貌と新展開		¥2,592
	Vol. 78#9 (2014) 超高齢社会―大都市の高齢者支援の課題		¥2,592
	Vol. 78#10 (2014) 認知症のケア		¥2,592
	Vol. 78#11 (2014) 脳血管疾患最前線		¥2,592
	Vol. 78#12 (2014) 医療・介護の制度改革		¥2,592
	Vol. 79#1 (2015) 公衆衛生のリーダーシップ		¥2,592
	Vol. 79#2 (2015) 女性の健康を考える		¥2,592
	Vol. 79#3 (2015) 男性の健康を考える		¥2,592
	Vol. 79#4 (2015) 危険ドラッグ対策		¥2,592
	Vol. 79#5 (2015) 死因究明制度の現状と将来展望		¥2,592
	Vol. 79#6 (2015) 熱中症		¥2,592
	Vol. 79#7 (2015) 感染症の新たな脅威		¥2,592
	Vol. 79#8 (2015) 公衆栄養への期待		¥2,592
	Vol. 79#9 (2015) 医療情報の利活用		¥2,592
	Vol. 79#10 (2015) たばこ対策		¥2,592
	Vol. 79#11 (2015) 食品の安全と安心をめぐる話題		¥2,592
	Vol. 79#12 (2015) 進めよう！ COPD対策		¥2,592
	Vol. 80#1 (2016) 自治体行政と公衆衛生		¥2,592
	Vol. 80#2 (2016) 子どもへのがん教育		¥2,592
	Vol. 80#3 (2016) 心疾患最前線		¥2,592
	Vol. 80#4 (2016) 産業保健のトピックス		¥2,592
	Vol. 80#5 (2016) 専門医制度の確立と地域医療		¥2,592
	Vol. 80#6 (2016) 難病対策		¥2,592
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
537	**公衆衛生研究（国立公衆衛生院）**		
	Vol. 40#3,4 (1991)	各号	¥3,240
	Vol. 41-50 (1992-2001) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 51#1,Supecial Issue (2002)	各号	¥3,240
538	**骨折（日本骨折治療学会）**		
	Vol. 20-21 (1998-1999) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 22#2 (2000); 23#2 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 24-26 (2002-2004) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-2,Supplement (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 28-38 (2006-2016) 各1-4号,Supplement	各号	¥3,240
	Vol. 39#1 (2017)		¥3,240

539	**個体群生態学会会報（個体群生態学会）**		
	No. 52-63,65-67 (1995-2010)	各号	¥864
540	**喉頭（日本喉頭科学会）**		
	Vol. 1-3 (1989-1991) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 5-6 (1993-1994) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 8-9 (1996-1997) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 10#1 (1998)		¥4,320
	Vol. 11-13 (1999-2001) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 14#1 (2002)		¥4,320
	Vol. 15#1-2 (2003)	各号	¥4,320
	Vol. 16#1 (2004)		¥4,320
	Vol. 17-27 (2005-2015) 各1-2号	各号	¥4,320
541	**骨・関節・靭帯（アークメディア）**		
	Vol. 1#1-3; 2#1-12; 3#1-12; 4#1-12 (1988-1991)	各号	¥2,916
	Vol. 5#1-10; 6#2-12; 7#2-4,6-7,9,12 (1992-1994)	各号	¥2,916
	Vol. 8-20 (1995-2007) 各1-12号	各号	¥2,916
542	**骨粗鬆症治療（先端医学社）**		
	Vol. 8#1-4 (2009)	各号	¥2,160
543	**骨代謝（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 1#1 (1967)		¥2,160
	Vol. 2#1 (1968)		¥2,160
	Vol. 3#1 (1970)		¥2,160
	Vol. 4#1 (1971)		¥2,160
	Vol. 5#1-2 (1971/72)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1 (1972)		¥2,160
	Vol. 7#1-2 (1973/74)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-2 (1974/75)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1 (1976)		¥2,160
	Vol. 10#1 (1977)		¥2,160
	Vol. 11#1 (1978)		¥2,160
	Vol. 12#1 (1979)		¥2,160
	Vol. 13#1 (1980)		¥2,160
	Vol. 14#1-4 (1981)	各号	¥2,160
	Vol. 15#1-4 (1982)	各号	¥2,160
	Vol. 14 抄録号 (1981)		¥3,240
	Vol. 15 抄録号 (1982)		¥3,240
	[日本骨代謝学会雑誌 Vol. 1 (1983) へ続く]		
544	**骨転移-病態・診断・治療**		
	Vol. 13-17 (1995-2001/2002) 各1号	各号	¥3,240
545	**鉱山地質（日本鉱山地質学会）**		
	Vol. 20-41 (1970-1991) 各1-6号	各号	¥2,700
546	**教育心理学研究（日本教育心理学会）**		
	Vol. 2#2 (1954/1955); 3#1,2,4 (1955/1956); 4#2,3 (1956/1957)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1-4 (1957/1958); 6#1,2 (1958/1959); 7#2,3 (1959/1960)	各号	¥2,160
	Vol. 8-62 (1960-2014) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 63#1-3 (2015)	各号	¥2,160
547	**教育心理学年報（日本教育心理学会）**		
	第40集 (2000年度)-第54集 (2014年度) (2001-2015)	各号	¥2,160
548	**教授学習心理学研究（日本教授学習心理学会）**		
	Vol. 1-7 (2005-2011) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 8#1 (2012)		¥3,240

549	**教育学研究（日本教育学会）**		
	Vol. 20#4,6 (1953); 22#1-6; 23#2,3; 24#2,4-6; 25#1-6 (1955-1958)	各号	¥2,700
	Vol. 26-35 (1959-1968) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 37-60 (1970-1993) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 78#1-4 (2011)	各号	¥2,700
550	**教育医学（日本教育医学会）**		
	Vol. 24-32 (1978-1987) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 34-37 (1988-1992) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 38#1-5 (1992/1993)	各号	¥2,160
	Vol. 39-44 (1993-1999) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 45-49 (1999-2004) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 50#1-4 (2004/2005)	各号	¥2,160
	Vol. 51#1,2 (2005/2006)	各号	¥2,160
	Vol. 54#1-4 (2008/2009)	各号	¥2,160
551	**教育と医学（教育と医学の会）**		
	Vol. 55#1-10,12 (2007)	各号	¥741
	Vol. 56#1-8 (2008)	各号	¥741
	Vol. 57#1-12 (2009)	各号	¥741
552	**矯正臨床ジャーナル（東京臨床出版株式会社）**		
	Vol. 1#1 (1985)		¥3,240
	Vol. 2-17 (1986-2001) 各1-12号	各号	¥3,240
	Vol. 18#1-5 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 19#8-12 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 21#4,11,12 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 22#1-7,9-12 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-7,9-12 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 24#5 (2008)		¥3,240
	Vol. 26#1-12 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-12 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 28#1-6,8,10-12 (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 29#1,3-12 (2013)	各号	¥3,240
	Vol. 30#1,4-12 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 31#1-8,12 (2014)	各号	¥3,240
553	**救急医学（へるす出版）**		
	Vol. 28#1,3,4,6,7,11-13 (2003-2004)	各号	¥2,160
	Vol. 29#3-7,9,11-13; 30#2,4,6,11-13; 31#4-6,12,13 (2005-2007)	各号	¥2,376
	Vol. 31#10 (2007) 9月臨時増刊号 救急医療領域における感染症		¥8,208
	Vol. 32#1-3,5,7-9,11-13; 33#1-9,11-12 (2008-2009)	各号	¥2,376
	Vol. 32#10 (2008) 9月臨時増刊号 救急診療ガイドライン		¥8,208
	Vol. 34#1-9,11-13 (2010)	各号	¥2,592
554	**救急・集中治療（総合医学社）**		
	Vol. 13-14 (2001-2002) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 15#1,2,4-9,11; 16#1-10,12; 17#1,2,6,8-10 (2003-2005)	各号	¥2,700
	Vol. 18#1/2,3/4,9/10,11/12; 19#3/4,5/6,9/10; 20#3/4,5/6(2006-200	各冊	¥6,048
	Vol. 21#1/2,3/4,9/10,11/12 (2009)	各冊	¥6,048
	Vol. 18#5/6; 20#7/8,9/10 (2006,2008)	各冊	¥7,020
	Vol. 18#7/8; 19#1/2 (2006-2007)	各冊	¥6,696
	Vol. 20#1/2; 21#5/6 (2007-2009)	各冊	¥6,480
	Vol. 20#11/12 (2008)		¥6,264
555	**九州病害虫研究会報（九州病害虫研究会）**		
	Vol. 1-16,18,19 (1955-1970,1972,1973)	各号	¥2,160
	Vol. 21-27,29,30 (1975-1981,1983,1984)	各号	¥2,160

556	**LD研究（日本LD学会）**		
	Vol. 12#2,3 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1,2 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 14#1,3 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 15-19 (2006-2010) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 20#1 (2011)		¥3,240
557	**The Lipid（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 19-22 (2008-2011) 各1-4号	各号	¥2,484
	Vol. 24-27 (2013-2016) 各1-4号	各号	¥2,484
558	**Liver Cancer（癌と化学療法社）**		
	Vol. 4#2 (1998)		¥3,240
	Vol. 5-9 (1999-2003) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 15#1,2 (2009) 各1-2号	各号	¥3,240
559	**慢性疼痛（日本慢性疼痛学会）**		
	Vol. 14,15,17 (1995-1998) 各1号	各号	¥4,115
	Vol. 22,24,25,26 (2003-2007) 各1号	各号	¥4,115
560	**マンガ研究（日本マンガ学会）**		
	Vol. 8-17 (2005-2011)	各号	¥1,944
561	**マルチェッロ　マルピーギ　マルピーギ全著作集　ロンドン 1686年版**		
	Malpighii Marcelli		
	Philofophi & Medici Bononienfis, e Regia Societate Opera Omnia,		
	Figuris elegantiffimis in aes incifis Illustrata		
	Londini 1686 Bound Reprint 574 page		
	Saikon Publishing Tokyo 1979		¥54,000
562	**マス・コミュニケーション研究（日本マス・コミュニケーション学会）**		
	No. 69-72 (2006-2008); 75-76 (2009-2010)	各号	¥3,240
563	**麻酔（克誠堂出版）**		
	Vol. 49-58 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 50#増刊号,記念号; 51#増刊号; 53#増刊号 (2001-2002,2004)	各号	¥4,752
564	**まてりあ 日本金属学会会報（日本金属学会）**		
	Vol. 39-44 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 45#1,2,5-12 (2006)	各号	¥2,700
565	**Mebio メビオ Graphic Medical Magazine（メジカルビュー社）**		
	Vol. 22-24 (2005-2007) 各1-12号	各号	¥2,592
566	**メディカル朝日 Asahi Monthly Journal of Medicine（朝日新聞社）**		
	Vol. 43#8-12 (2014)	各号	¥1,050
	Vol. 44#1-12 (2015)	各号	¥1,050
567	**メディカル朝日（朝日新聞社）**		
	Vol. 25#7,8,10-12; 26#1-10,12; 27#1-12 (1996-1998)	各号	¥1,049
	Vol. 28#1-6,8-12,6; 29#1-4,7,8 (1999-2000)	各号	¥1,049
	Vol. 30-32 (2001-2003) 各1-12号	各号	¥1,049
	Vol. 33#1-8,10-12 (2004)	各号	¥1,049
	Vol. 34-35 (2005-2006) 各1-12号	各号	¥1,049
	Vol. 38-39 (2009-2010) 各1-12号	各号	¥1,049
	Vol. 40#2-4,6-12 (2011)	各号	¥1,049
	Vol. 41#1-5,8,10-12 (2012)	各号	¥1,049
	Vol. 42#2,4-7 (2013)	各号	¥1,049
568	**Medical Practice M.P.(文光堂)**		
	Vol. 22#1-6,8-11; 23#1-12; 24#1-4,6,8-12 (2005-2007)	各号	¥2,592
	Vol. 25-26 (2008-2009) 各1-12号	各号	¥2,592
	Vol. 26#臨時増刊号 (2009)		¥8,640

569 Medicina メディチーナ（医学書院）

	Vol. 10#9-11,13 (1973)	各号	¥2,484
	Vol. 11#1,3-12 (1974)	各号	¥2,484
	Vol. 12#1-3,5,6,9-13 (1975)	各号	¥2,484
	Vol. 13#1-4,6-8,10,11,13 (1976)	各号	¥2,484
	Vol. 14#1-11,13 (1977)	各号	¥2,484
	Vol. 15#1-3,5,6,8-11,13 (1978)	各号	¥2,484
	Vol. 16#1-9,12,13 (1979)	各号	¥2,484
	Vol. 17#1-11,13 (1980)	各号	¥2,484
	Vol. 18#1-11,13 (1981)	各号	¥2,484
	Vol. 19#1-11,13 (1982)	各号	¥2,484
	Vol. 19#12 (1982)		¥7,776
	Vol. 20#1-11,13 (1983)	各号	¥2,484
	Vol. 21#1-11,13 (1984)	各号	¥2,484
	Vol. 22#1-11,13 (1985)	各号	¥2,484
	Vol. 23#1-7,10-12 (1986)	各号	¥2,484
	Vol. 24#1-9,11-13 (1987)	各号	¥2,484
	Vol. 25#1-9,11-13 (1988)	各号	¥2,484
	Vol. 25#10 (1988)		¥7,776
	Vol. 26#1-9,11-13 (1989)	各号	¥2,484
	Vol. 26#10 (1989)		¥7,776
	Vol. 27#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,484
	Vol. 27#10 (1990) 増刊号 内科ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰと救急手技		¥7,776
	Vol. 28#1-10,12,13 (1991)	各号	¥2,484
	Vol. 28#11 (1991) 増刊号 わかりやすいｴｺｰの臨床		¥7,776
	Vol. 29#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,484
	Vol. 29#11 (1992) 増刊号 図解 診療基本手技 第2集		¥7,776
	Vol. 30#1-9,11-13 (1993)	各号	¥2,484
	Vol. 30#10 (1993) 増刊号 これだけは知っておきたいX線写真		¥7,776
	Vol. 31#1-10,12,13 (1994)	各号	¥2,484
	Vol. 31#11 (1994) 増刊号これだけは知っておきたい検査のポイント		¥7,776
	Vol. 32#1 (1995) 消化器疾患の画像診断		¥2,484
	Vol. 32#2 (1995) 小児疾患とｷｬﾘｰｵｰﾊﾞｰ診療		¥2,484
	Vol. 32#3 (1995) 免疫学の理解とその臨床		¥2,484
品切	Vol. 32#4 (1995) 脂質代謝と動脈硬化		¥2,484
	Vol. 32#5 (1995) 不整脈診療のための心電図の見方		¥2,484
	Vol. 32#6 (1995) 内科臨床における心身医療		¥2,484
	Vol. 32#7 (1995) 高齢者医療の新しい視点		¥2,484
	Vol. 32#8 (1995) 急性心筋梗塞Q&A		¥2,484
	Vol. 32#9 (1995) 呼吸器疾患の画像診断		¥2,484
	Vol. 32#10 (1995) 見えてきた腎疾患		¥2,484
	Vol. 32#11 (1995) 脳卒中		¥2,484
	Vol. 32#12 (1995) 増刊号 Common Diseases 200の治療戦略		¥7,776
	Vol. 32#13 (1995) 慢性関節ﾘｳﾏﾁとﾘｳﾏﾁ周辺疾患		¥2,484
	Vol. 33#1 (1996) 抗生物質をどう使うか		¥2,484
	Vol. 33#2 (1996) 糖尿病臨床の最先端		¥2,484
	Vol. 33#3 (1996) 肝疾患Q&A		¥2,484
	Vol. 33#4 (1996) 皮膚科から内科医へのｱﾄﾞﾊﾞｲｽ		¥2,484
	Vol. 33#5 (1996) 心不全を見直す		¥2,484
	Vol. 33#6 (1996) 内科医のためのInterventional Radiology		¥2,484
	Vol. 33#7 (1996) 血栓症とDIC		¥2,484
	Vol. 33#8 (1996) 炎症性腸疾患治療のｼﾞｬｲｱﾝﾄ・ｽﾃｯﾌﾟ		¥2,484
	Vol. 33#9 (1996) ﾚﾃﾞｨｰｽｸﾘﾆｯｸ		¥2,484
	Vol. 33#10 (1996) 内科医のための痴呆の最新知識		¥2,484
	Vol. 33#11 (1996) 心ｴｺｰToday		¥2,484

Vol. 33#12 (1996) 増刊号 Common Drugs 350の投与戦略	¥7,776
Vol. 33#13 (1996) 内分泌疾患の検査	¥2,484
Vol. 34#1 (1997) 臓器感染症へのｱﾌﾟﾛｰﾁ	¥2,160
Vol. 34#2 (1997) ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患の最近の考え方と治療	¥2,160
Vol. 34#3 (1997) 消化器疾患の低侵襲治療手技	¥2,160
Vol. 34#4 (1997) 高血圧の治療-新しい時代を迎えて	¥2,160
Vol. 34#5 (1997) 日常臨床にみる水・電解質と酸塩基平衡	¥2,160
Vol. 34#6 (1997) 白血病-日常の診療に必要な知識	¥2,160
Vol. 34#7 (1997) 頭痛とめまいの外来診療	¥2,160
Vol. 34#8 (1997) 循環器薬の使い方 1997	¥2,160
Vol. 34#9 (1997) 外来診療でここまでできる	¥2,160
Vol. 34#10 (1997) 肺炎と肺臓炎	¥2,160
Vol. 34#11 (1997) 増刊号 内科医のMRIとのつきあいかた	¥7,506
Vol. 34#12 (1997) 臨床医のための遺伝子工学	¥2,160
Vol. 34#13 (1997) 脳卒中ﾌﾟﾗｸﾃｨｽ	¥2,160
Vol. 35#1 (1998) 自己免疫性感疾患のNew Wave	¥2,268
Vol. 35#2 (1998) 経静脈・経腸栄養療法のｽﾄﾗﾃｼﾞｰ	¥2,268
Vol. 35#3 (1998) 内科医に必要な癌のﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	¥2,268
Vol. 35#4 (1998) 狭心症-日常臨床へのExpertise	¥2,268
Vol. 35#5 (1998) 内科医がよく遭遇する血管疾患	¥2,268
Vol. 35#6 (1998) ｶﾙｼｳﾑ・骨代謝異常症と骨粗鬆症	¥2,268
Vol. 35#7 (1998) 腎・尿路系の問題とﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	¥2,268
Vol. 35#8 (1998) 循環器疾患の低侵襲治療	¥2,268
Vol. 35#9 (1998) 腹部ｴｺｰToday	¥2,268
Vol. 35#10 (1998) 膠原病・ﾘｳﾏﾁ性疾患	¥2,268
Vol. 35#11 (1998) 増刊号 内科ｴﾏｰｼﾞｪﾝｼｰと救急手技	¥7,776
Vol. 35#12 (1998) 糖尿病の患者を受け持ったら	¥2,268
Vol. 35#13 (1998) 内科evidenceは果たしてあるのか	¥2,268
Vol. 36#1 (1999) 抗菌薬の適切な使い方	¥2,376
Vol. 36#2 (1999) 肝疾患診療1999	¥2,376
Vol. 36#3 (1999) 高脂結晶と動脈硬化	¥2,376
Vol. 36#4 (1999) 検査異常から考える血液疾患	¥2,376
Vol. 36#5 (1999) 高齢者医療-現状と展望	¥2,376
Vol. 36#6 (1999) 慢性呼吸不全に必要な基礎知識	¥2,376
Vol. 36#7 (1999) 不整脈患者のマネジメント	¥2,376
Vol. 36#8 (1999) ニューロパチーとミオパチー	¥2,376
Vol. 36#9 (1999) 下痢と便秘	¥2,376
Vol. 36#10 (1999) 見逃しやすい内分泌疾患	¥2,376
Vol. 36#11 (1999) 増刊号　これだけは　検査のポイント	¥7,884
Vol. 36#12 (1999) 内科医のためのCT	¥2,376
Vol. 36#13 (1999) Evidenceに基づいた内科疾患の予防	¥2,376
Vol. 37#1 (2000) 急性冠症候群	¥2,484
Vol. 37#2 (2000) アレルギー診断の実際	¥2,484
Vol. 37#3 (2000) 高血圧の診療-新しい話題	¥2,484
Vol. 37#4 (2000) 内科医のための皮膚所見の見方	¥2,484
Vol. 37#5 (2000) 血栓症と抗血栓薬	¥2,484
Vol. 37#6 (2000) 症例から学ぶ水電解質・酸塩基平衡異常	¥2,484
Vol. 37#7 (2000) ブレイン アタック　Brain attack	¥2,484
Vol. 37#8 (2000) 循環器薬の使い方2000	¥2,484
Vol. 37#9 (2000)「考える」診断学-病歴と診断のEBM	¥2,484
Vol. 37#10 (2000) 肺炎-市中感染と院内感染	¥2,484
Vol. 37#11 (2000) 増刊号　臨床医のための最新エコー法	¥8,100
Vol. 37#12 (2000) 消火器薬の使い方2001	¥2,484
Vol. 37#13 (2000) 糖尿病と合併症へのアプローチ	¥2,484
Vol. 38#1 (2001) 抗菌薬マネジメント-細菌感染症治療の基礎と実践	¥2,484
Vol. 38#2 (2001) Hematological malignancy	¥2,484
Vol. 38#3 (2001) 内科医が診るﾘｳﾏﾁ	¥2,484

	Vol. 38#4 (2001) Geriatrics-高齢者のQOLをみる医療	¥2,484
	Vol. 38#5 (2001) 動きながら考える 内科エマージェンシー	¥2,484
	Vol. 38#6 (2001) 臨床に活かす免疫学	¥2,484
	Vol. 38#7 (2001) 内科医が知っておきたい 外科的治療のUpdate	¥2,484
	Vol. 38#8 (2001) Cognitive Disorder-内科医が知っておくべき認知機能	¥2,484
	Vol. 38#9 (2001) 内科医ができる癌患者への対応	¥2,484
	Vol. 38#10 (2001) 新しい概念に基づいた慢性心不全診療	¥2,484
品切	Vol. 38#11 (2001) 増刊号 CT・MRIアトラス 正常解剖と読影のポイント	¥8,100
	Vol. 38#12 (2001) 腎・尿路系疾患を診る	¥2,484
	Vol. 38#13 (2001) 内科医のための レディース・クリニックⅡ	¥2,484
	Vol. 39#1 (2002) 呼吸器薬の使い方2002	¥2,484
	Vol. 39#2 (2002) 臨床栄養Update	¥2,484
	Vol. 39#3 (2002) わかりやすいゲノム・再生医療の基礎・現状・展望	¥2,484
	Vol. 39#4 (2002) 動脈硬化と高脂血症	¥2,484
	Vol. 39#5 (2002) 腸疾患診療のノウハウ	¥2,484
	Vol. 39#6 (2002) 頭痛とめまい	¥2,484
	Vol. 39#7 (2002) わかりやすい不整脈診療	¥2,484
	Vol. 39#8 (2002) 内分泌疾患の拾い上げとマネジメント	¥2,484
	Vol. 39#9 (2002) 内科医に必要な血管疾患診療の知識	¥2,484
品切	Vol. 39#10 (2002) 一般医も診なければならないB型・C型肝炎	¥2,484
	Vol. 39#11 (2002) 増刊号 内科医が使う薬の副作用・相互作用	¥7,344
品切	Vol. 39#12 (2002) 画像でせまる呼吸器疾患	¥2,484
	Vol. 39#13 (2002) 内科臨床における''こころ''と''からだ''	¥2,484
	Vol. 40#1 (2003) 内科医と虚血性心疾患	¥2,484
	Vol. 40#2 (2003) 臓器感染と抗菌薬のえらび方	¥2,484
	Vol. 40#3 (2003) 糖尿病にどう対処するか	¥2,484
	Vol. 40#4 (2003) 緊急時に画像診断を使いこなす	¥2,484
	Vol. 40#5 (2003) 一般医も診る血液疾患	¥2,484
	Vol. 40#6 (2003) 内科医のための皮膚科的スキル	¥2,484
品切	Vol. 40#7 (2003) ブレイン アタック超急性期から維持期まで	¥2,484
	Vol. 40#8 (2003) 循環器薬の使い方2003	¥2,484
	Vol. 40#9 (2003) 消化器疾患のエビデンスとエキスパート・オピニオン	¥2,484
	Vol. 40#10 (2003) 前期高齢者・後期高齢者を診る	¥2,484
	Vol. 40#11 (2003) 水・電解質と輸液	¥2,484
	Vol. 40#12 (2003) 増刊号臨床研修 コアスキル	¥7,560
	Vol. 40#13 (2003) 肺炎	¥2,484
	Vol. 41#1 (2004) 高血圧診療のエビデンスと個別的治療 主治医の役割	¥2,484
	Vol. 41#2 (2004) 腹部疾患をエコーで診る	¥2,484
	Vol. 41#3 (2004) アレルギー診療Update	¥2,484
	Vol. 41#4 (2004) 内科コモンプロブレム	¥2,484
	Vol. 41#5 (2004) 臨床行動に結びつく検査戦略	¥2,484
	Vol. 41#6 (2004) 血栓症の予防と治療	¥2,484
	Vol. 41#7 (2004) 臨床医のための呼吸調節と障害	¥2,484
	Vol. 41#8 (2004) 内科医が診るしびれと痛み	¥2,484
	Vol. 41#9 (2004) 内科レッド・フラッグサイン よくある症候から危険を見抜	¥2,484
	Vol. 41#10 (2004) 肝疾患の疑問に答える―研修医と内科医のために	¥2,484
	Vol. 41#11 (2004) 慢性心不全を最近の知見から整理する－病態生理か	¥2,484
	Vol. 41#12 (2004) 増刊号 臨床医必携　単純X線写真の読み方・使い方	¥7,776
	Vol. 41#13 (2004) ミネラルと骨代謝異常と骨粗鬆症	¥2,484
	Vol. 42#1 (2005) 日常診療で診るGERD(胃食道逆流症)	¥2,484
	Vol. 42#2 (2005) 肥満症―診断・治療の新展開	¥2,484
	Vol. 42#3 (2005) Digital時代の脳神経画像診断	¥2,484
	Vol. 42#4 (2005) これだけは知っておきたい不整脈の診かたと治療のポ	¥2,484
	Vol. 42#5 (2005) 内科医が診る関節リウマチ	¥2,484
	Vol. 42#6 (2005) 内科emergency―爆弾を踏まない！	¥2,484
	Vol. 42#7 (2005) 臨床で出遭う内分泌疾患	¥2,484
	Vol. 42#8 (2005) 胆膵疾患はこう診る―緊急処置からフォローアップまで	¥2,484

	Vol. 42#9 (2005) アルコールと内科疾患	¥2,484
	Vol. 42#10 (2005) これだけは知っておきたい呼吸器薬の使い方	¥2,484
	Vol. 42#11 (2005) 内科医が知っておくべき がん治療	¥2,484
	Vol. 42#12 (2005) 増刊号 これだけは検査のポイント第7集	¥7,776
	Vol. 42#13 (2005) 急性冠症候群へのアプローチ	¥2,484
	Vol. 43#1 (2006) 糖尿病の臨床-基礎知識を実践に生かす	¥2,484
	Vol. 43#2 (2006) ブレインアタック2006- t-PA時代の診断と治療	¥2,484
	Vol. 43#3 (2006) 腎・尿路疾患・一般診療から専門診療へ	¥2,484
品切	Vol. 43#4 (2006) 抗菌薬を使いこなそう!-実地臨床での正しい選択と投	¥2,484
	Vol. 43#5 (2006) 経静脈・経腸栄養―プランニングとその実践	¥2,484
	Vol. 43#6 (2006) ベッドサイドの免疫学-免疫疾患に強くなるために	¥2,484
	Vol. 43#7 (2006) 血液腫瘍はどこまで治し得るのか	¥2,484
	Vol. 43#8 (2006) 消化器内視鏡治療の現在	¥2,484
	Vol. 43#9 (2006) 循環器薬の使い方2006	¥2,484
	Vol. 43#10 (2006) 皮膚から見つける内科疾患	¥2,484
	Vol. 43#11 (2006) 頭痛治療の疑問を解決する	¥2,484
	Vol. 43#12 (2006) 増刊号 Common Diseaseインストラクションマニュアル-	¥7,776
	Vol. 43#13 (2006) 理解しよう!下痢と便秘	¥2,484
	Vol. 44#1 (2007) 高血圧の臨床	¥2,484
	Vol. 44#2 (2007) 症例からみる肺疾患のCT画像	¥2,484
品切	Vol. 44#3 (2007) 日常診療・当直のための酸塩基平衡、水・電解質、輸	¥2,484
	Vol. 44#4 (2007) 内科エマージェンシー2007鬼門を克服する	¥2,484
	Vol. 44#5 (2007) ウイルス肝炎 実地診療A to Z	¥2,484
	Vol. 44#6 (2007) 認知症のプライマリケア	¥2,484
	Vol. 44#7 (2007) 内科医が診る睡眠障害	¥2,484
	Vol. 44#8 (2007) 動脈硬化のトータルマネジメント	¥2,484
	Vol. 44#9 (2007) 消化器薬の使い方Update	¥2,484
	Vol. 44#10 (2007) 最新ガイドラインに基づく喘息とCOPDの診療	¥2,484
	Vol. 44#11 (2007) 内科臨床に役立つ心療内科的アプローチ	¥2,484
	Vol. 44#12 (2007) 増刊号 一般医のためのエコー活用法	¥7,776
	Vol. 44#13 (2007) 内科外科でみるウィメンズ・ヘルス	¥2,484
品切	Vol. 45#1 (2008) 膠原病・関節リウマチの早期診断・早期治療	¥2,592
	Vol. 45#2 (2008) しびれと痛み	¥2,592
	Vol. 45#3 (2008) 内科医が診る骨粗鬆症	¥2,592
	Vol. 45#4 (2008) 一般内科医が診る循環器疾患	¥2,592
	Vol. 45#5 (2008) 炎症性腸疾患と機能性腸疾患	¥2,592
	Vol. 45#6 (2008) 実践！ 糖尿病診療	¥2,592
	Vol. 45#7 (2008) 主治医として診る後期高齢者	¥2,592
	Vol. 45#8 (2008) 内科医のためのがん診療Update	¥2,592
	Vol. 45#9 (2008) Multiple problemsの治療戦略	¥2,592
	Vol. 45#10 (2008) 内科の基本 肺炎をきわめる	¥2,592
	Vol. 45#11 (2008) 浮腫をどう診るか	¥2,592
	Vol. 45#12 (2008) 抹消血検査異常	¥2,592
	Vol. 45#13 (2008) 増刊号 目でみる診療基本手技	¥7,776
	Vol. 46#1 (2009) 循環器薬の使い方2009	¥2,592
	Vol. 46#2 (2009) 訴え・症状から考える神経所見のとり方	¥2,592
	Vol. 46#3 (2009) 膵炎のマネジメント-急性膵炎・慢性膵炎・自己免疫性	¥2,592
	Vol. 46#4 (2009) 苦手感染症の克服	¥2,592
	Vol. 46#5 (2009) 肺血栓塞栓症	¥2,592
	Vol. 46#6 (2009) 内分泌疾患を診るこつ	¥2,592
	Vol. 46#7 (2009) 一般内科診療に役立つ消化器内視鏡ガイド	¥2,592
	Vol. 46#8 (2009) 心不全の個別診療	¥2,592
品切	Vol. 46#9 (2009) 内科医のためのクリニカル・パール	¥2,592
	Vol. 46#10 (2009) 一般内科診療における呼吸器薬の使い方	¥2,592
	Vol. 46#11 (2009) 脳卒中の征圧をめざして	¥2,592
	Vol. 46#12 (2009) 増刊号 CT・MRIアトラスUpdate	¥7,776
	Vol. 46#13 (2009) 腎臓病診療のエッセンス	¥2,592

	Vol. 47#1 (2010) ズバリ！見えてくる不整脈	¥2,592
	Vol. 47#2 (2010) アレルギー患者を疑ったら、こう診る！	¥2,592
	Vol. 47#3 (2010) ウイルス肝炎	¥2,592
品切	Vol. 47#4 (2010) 抗菌薬の使い方を究める	¥2,592
	Vol. 47#5 (2010) ワンランク上の内科エマージェンシー	¥2,592
	Vol. 47#6 (2010) 酸塩基・電解質―日常で出くわす異常の診かた	¥2,592
	Vol. 47#7 (2010) 高血圧診療―わかっていること・わからないこと	¥2,592
	Vol. 47#8 (2010) 呼吸不全の診療	¥2,592
	Vol. 47#9 (2010) 虚血性心疾患	¥2,592
	Vol. 47#10 (2010) Helicobacter pylori	¥2,592
	Vol. 47#11 (2010) 増刊号 これだけは知っておきたい検査のポイント第8	¥7,776
	Vol. 47#12 (2010) 糖尿病診療Update―いま何が変わりつつあるのか	¥2,592
	Vol. 47#13 (2010) これ血液悪性疾患？自分の守備範囲？―非専門医	¥2,592
	Vol. 48#1 (2011) 皮膚から内科疾患を疑う	¥2,592
	Vol. 48#2 (2011) 関節リウマチを疑ったら	¥2,592
	Vol. 48#3 (2011) 臨床栄養Update2011	¥2,592
	Vol. 48#4 (2011) 緊急画像トラブルシューティング―内科医のためのPear	¥2,592
	Vol. 48#5 (2011) 脂質異常症―動脈硬化症を予防するためのStrategy	¥2,592
	Vol. 48#6 (2011) 睡眠呼吸障害の克服―内科医が知っておきたい病態・	¥2,592
	Vol. 48#7 (2011) 内科疾患の予防戦略	¥2,592
	Vol. 48#8 (2011) common diseaseの診かた―内科医のためのminimum re	¥2,592
	Vol. 48#9 (2011) 視ないで診る消化器疾患	¥2,592
	Vol. 48#10 (2011) 一般内科医がみる血液疾患	¥2,592
	Vol. 48#11 (2011) 増刊号 内科疾患インストラクションガイド	¥7,776
	Vol. 48#12 (2011) 内科診療に役立つメンズヘルス	¥2,592
	Vol. 48#13 (2011) "がん診療"を内科医が担う時代	¥2,592
	Vol. 49#1 (2012) 外してならない循環器薬の使い方2012	¥2,700
	Vol. 49#2 (2012) 下痢と便秘	¥2,700
	Vol. 49#3 (2012) 内科医のための気管支喘息とCOPD診療	¥2,700
	Vol. 49#4 (2012) 神経内科エマージェンシー	¥2,700
	Vol. 49#5 (2012) 糖尿病治療薬2012	¥2,700
	Vol. 49#6 (2012) 新規経口抗凝固薬の光と影	¥2,700
	Vol. 49#7 (2012) 肝硬変update より良き診療のために	¥2,700
	Vol. 49#8 (2012) 痛風・高尿酸血症診療の新展開	¥2,700
	Vol. 49#9 (2012) 内科診断の本道―病歴と身体診察情報からどこまでわ	¥2,700
	Vol. 49#10 (2012) 外来・病棟でのプライマリケアに必要な感染症の知識	¥2,700
	Vol. 49#11 (2012) 増刊号　いま、内科薬はこう使う	¥7,776
	Vol. 49#12 (2012) 連携して診る腎疾患 タイムリーな紹介から患者マネジ	¥2,700
	Vol. 49#13 (2012) 急性心不全への挑戦	¥2,700
	Vol. 50#1 (2013) 進化し続ける内科診療 世界が認めたブレイクスルー	¥2,700
	Vol. 50#2 (2013) 大きく変貌した脳梗塞の診断と治療	¥2,700
	Vol. 50#3 (2013) 免疫反応と疾患	¥2,700
	Vol. 50#4 (2013) エマージェンシーの予兆を察知する―リスクを評価して	¥2,700
	Vol. 50#5 (2013) 胃食道逆流症(GERD) "胸焼け"を診療する	¥2,700
	Vol. 50#6 (2013) 最新の動脈硬化診療 どう診断し,どう治療するか?	¥2,700
	Vol. 50#7 (2013) "実践的"抗菌薬の使い方 その本質を理解する	¥2,700
	Vol. 50#8 (2013) 今日から役立つ高血圧診療のノウハウ	¥2,700
	Vol. 50#9 (2013) 内科医のためのクリニカル・パール2	¥2,700
	Vol. 50#10 (2013) 内分泌疾患に強くなる	¥2,700
	Vol. 50#11 (2013) 増刊号 内科診療にガイドラインを生かす	¥7,776
	Vol. 50#12 (2013) 新時代の肺炎診療	¥2,700
	Vol. 50#13 (2013) 不整脈の診断と治療―ポイントをおさえよう	¥2,700
	Vol. 51#1 (2014) 消化器薬―新時代の治療指針	¥2,700
	Vol. 51#2 (2014) 水・電解質管理と輸液	¥2,700
	Vol. 51#3 (2014) 非血液専門医のための血液診療	¥2,700
	Vol. 51#4 (2014) 虚血性心疾患 up to date	¥2,700
	Vol. 51#5 (2014) 内科医のための皮疹の診かたのロジック	¥2,700

	Vol. 51#6 (2014) 炎症性腸疾患攻略の手引きーこれだけは知っておきた		¥2,700
	Vol. 51#7 (2014) 神経診察　そのポイントと次の一手		¥2,700
	Vol. 51#8 (2014) 糖尿病患者を診る　治療と兼科のポイント		¥2,700
	Vol. 51#9 (2014) ここが知りたい循環器診療　パールとピットフォール		¥2,700
	Vol. 51#10 (2014) すぐ役に立つ　呼吸器薬の標準的使い方		¥2,700
	Vol. 51#12 (2014) 関節リウマチ・膠原病 症例で学ぶ診断と治療		¥2,700
	Vol. 51#13 (2014) 最新情報をおさえる! 臨床栄養の活用ガイド		¥2,700
	Vol. 52#1 (2015) 循環器薬 up to date 2015		¥2,700
	Vol. 52#2 (2015) ウイルス肝炎の薬物治療　変わりゆく治療戦略		¥2,700
	Vol. 52#3 (2015) がんを診る		¥2,700
	Vol. 52#4 (2015) 増刊号 これだけは知っておきたい検査のポイントー第9		¥7,776
	Vol. 52#5 (2015) 救急疾患，重症はこうして見極める　いつまでもヤブと		¥2,700
	Vol. 52#6 (2015) 感染症診療　それ，ホント？		¥2,700
	Vol. 52#7 (2015) 心不全クロニクル　患者の人生に寄り添いながら診る		¥2,700
	Vol. 52#8 (2015) 自信がもてる頭痛診療		¥2,700
	Vol. 52#9 (2015) 外来で出会う呼吸器common疾患		¥2,700
	Vol. 52#10 (2015) 内科プライマリケアのための消化器診療Update		¥2,700
	Vol. 52#11 (2015) いまアレルギー外来がおもしろいー安全で効果の高い		¥2,700
	Vol. 52#12 (2015) 外来で診るリンパ腫・骨髄腫ー治癒または長期共存を		¥2,700
	Vol. 52#13 (2015) 抗血栓療法ーおさえておきたい最新のエッセンス		¥2,700
	Vol. 53#1 (2016) 糖尿病治療薬Updateー適正使用に向けて		¥2,700
	Vol. 53#2 (2016) 脳卒中はこう診るー新ガイドラインで何が変わったか		¥2,700
	Vol. 53#3 (2016) 内科医がになう骨粗鬆症ー診療と生活指導の最新情報		¥2,700
	Vol. 53#5 (2016) 心電図を詠むー心に残る24症例から		¥2,700
	Vol. 53#6 (2016)　内科救急サバイバルブックー院内救急＆地域でのマネ		¥2,700
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
570	**明治維新史研究（明治維新史学会）**		
	No. 3 (2006); 4 (2007); 5,6 (2009); 7 (2011)	各号	¥1,296
571	**明海歯科医学（明海歯科医学会）**		
	Vol. 35#1/2 (2006)		¥6,480
	Vol. 36#1,2 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 37#1,2 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 38#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 39#1,2 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 40#1,2 (2011)	各号	¥3,240
572	**明治鍼灸医学（明治鍼灸大学）**		
	No. 16-30,32,33,36 (1995-2005)	各号	¥3,240
573	**メタボリックシンドローム**		
	Vol. 2#1; 3#1; 4#1 (2005-2007)	各号	¥3,240
574	**Microbes and Environments（日本微生物生態学会）**		
	Vol. 11#3 (1996)		¥4,320
	Vol. 12-13 (1997-1998) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 14#1,4 (1999)	各号	¥4,320
	Vol. 15-19 (2000-2004) 各1-4号	各号	¥4,320
575	**Mineralogical Journal（日本鉱物学会）**		
	Vol. 1-7 (1953-1975)　各1-6号	各号	¥1,836
	Vol. 8-17 (1975-1995)　各1-8号	各号	¥1,836
	Vol. 18-21 (1996-1999)　各1-4号	各号	¥1,836
576	**未来医学 Future Medicine**		
	No. 3-7 (1987-1991)	各号	¥1,620
	No. 10 (1994)		¥1,620
	No. 18-22 (2003-2007)	各号	¥1,620

577	**もくはちニュース**		
	No. 3,4,7-12,13/15,20/24 (1994-2006)	各号	¥1,080
578	**木材学会誌（日本木材学会）**		
	Vol. 18-24 (1972-1978) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 25#8,9 (1979)	各号	¥1,620
	Vol. 26-30 (1980-1984) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 31#1-4,8-12 (1985)	各号	¥1,620
	Vol. 32-43 (1986-1997) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 44-48 (1998-2002) 各1-6号	各号	¥1,620
	Vol. 49#1-3,6 (2003); 50#1,2 (2004)	各号	¥1,620
579	**Monthly Book Derma. デルマ（全日本病院出版会）**		
	No. 30 (1999)		¥2,571
	No. 95 (2004)		¥2,571
	No. 102,103,105,108 (2005)	各号	¥2,571
	No. 112,115,120 (2006)	各号	¥2,571
	No. 125 (2007)	各号	¥2,592

580 **Monthly Book Orthopaedics オルソペディクス（全日本病院出版会）**

	Vol. 1#1-8 (1988)	各号	¥2,160
	Vol. 2#9-20 (1989)	各号	¥2,160
	Vol. 3#21-32 (1990)	各号	¥2,160
	Vol. 4#33,34,36-45 (1991)	各号	¥2,160
	Vol. 4#35 (1991) 最新薬物療法マニュアル		¥5,075
	Vol. 5#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,254
	Vol. 6#1-8,11-13 (1993)	各号	¥2,254
	Vol. 6#9 (1993) 最新頸部椎間板ヘルニア診療マニュアル		¥5,033
	Vol. 6#10 (1993) 有痛性疾患に対する整形外科的保存療法のコツ		¥3,670
	Vol. 7#1-8,10,12,13 (1994)	各号	¥2,254
	Vol. 7#9 (1994) 整形外科先端医療マニュアル		¥3,775
	Vol. 7#11 (1994) 整形外科MRI診断マニュアル		¥6,186
	Vol. 8#1-5,7-9,11-13 (1995)	各号	¥2,254
	Vol. 8#6 (1995) 整形外科神経ブロック実践マニュアル		¥5,767
	Vol. 8#10 (1995) 整形外科医用材料臨床応用実践マニュアル		¥4,195
	Vol. 9#1-3,5-9,11-13 (1996)	各号	¥2,254
	Vol. 9#4 (1996) スポーツによる運動器過労性障害診療マニュアル		¥4,404
	Vol. 9#10 (1996) 最新スポーツ障害・外傷診療マニュアル		¥6,081
	Vol. 10#1-5,8-10,12,13 (1997)	各号	¥2,257
	Vol. 10#6 (1997) 最新頸椎症診療実践マニュアル		¥5,962
	Vol. 10#11 (1997) 最新腰椎分離・すべり症診療マニュアル		¥4,644
	Vol. 11#1-4,6-10,12,13 (1998)	各号	¥2,263
	Vol. 11#11 (1998) 最新関節周辺骨折診療マニュアル		¥4,454
	Vol. 12#1-3,5-8,10-13 (1999)	各号	¥2,263
	Vol. 12#4 (1999) 四肢疾患MRIマニュアル		¥4,454
	Vol. 12#9 (1999) 整形外科計測・評価法実践マニュアル		¥5,966
	Vol. 13#1-3,5-8,10-13 (2000)	各号	¥2,263
	Vol. 13#4 (2000) 成長期のスポーツ障害		¥4,454
	Vol. 13#9 (2000) 整形外科リハビリテーション実践マニュアル		¥5,966
	Vol. 14#1-4,6-8,10-13 (2001)	各号	¥2,263
	Vol. 14#5 (2001) 四肢新鮮解放骨折治療実践マニュアル		¥4,454
	Vol. 15#1-3,5-8,10-13 (2002)	各号	¥2,263
	Vol. 15#4 (2002) 膝靭帯損傷の診断治療マニュアル		¥4,454
	Vol. 15#9 (2002) 脊椎・脊髄画像診断マニュアル		¥5,966
	Vol. 16#1-4,6-8,10-13 (2003)	各号	¥2,263
	Vol. 16#5 (2003) 外傷性肩関節障害診療マニュアル		¥4,454
	Vol. 16#9 (2003) 実践腰部椎間板ヘルニア診療テクニックマニュアル		¥5,966
	Vol. 17#1-4,6-9,11-13 (2004)		¥2,263
	Vol. 17#5 (2004) 最新腰部脊柱管狭窄症診療マニュアル		¥4,454
	Vol. 17#10 (2004) 整形外科手術侵入路-私の工夫-		¥5,966
	Vol. 18#1-4,6-9,11-13 (2005)	各号	¥2,263
	Vol. 18#5 (2005) 股関節疾患外来診療マニュアル		¥4,454
	Vol. 18#10 (2005) 最新関節リウマチ診断・治療マニュアル		¥5,966
	Vol. 19#1-4,6-10,12,13 (2006)	各号	¥2,263
	Vol. 19#5 (2006) 高齢者の骨折治療実践マニュアル		¥5,966
	Vol. 19#11 (2006) 外来診療に必要な超音波診断マニュアル		¥4,454
	Vol. 20#1-4,6-10,12,13 (2007)	各号	¥2,268
	Vol. 20#5 (2007) 膝関節疾患保存療法マニュアル		¥6,048
	Vol. 20#11(2007) 足の疾患―私の外来診療のコツ-		¥4,428
	Vol. 21#1-4,6-10,12,13 (2008)	各号	¥2,268
品切	Vol. 21#5 (2008) 整形外科手術に役立つ皮弁とそのコツ		¥6,048
	Vol. 22#1-4,6-11,13 (2009)	各号	¥2,376
	Vol. 22#5 (2009) すぐに役立つ日常整形外科診療に対する私の工夫		¥6,156
	Vol. 22#12 (2009) 見落としやすい整形外科疾患-診かた治しかたのコツ		¥4,536

	Vol. 23#6,13 (2010)	各号	¥2,376
	Vol. 24#1-4,6 (2011)	各号	¥2,376
	Vol. 25#4 (2012)		¥2,376
581	**Monthlyミクス : Medical Information Express（エルゼビア・ジャパン）**		
	Vol. 38#1-3,5-10,12-14 (2010)	各号	¥4,372
	Vol. 39#2,3,5-9,12,13 (2011)	各号	¥4,372
	Vol. 41#1-4,6,7,9,10,12-14 (2013)	各号	¥4,372
	Vol. 42#3,5-10,12-14 (2014)	各号	¥4,372
582	**無菌生物（日本無菌生物ノートバイオロジー学会）**		
	Vol. 25-26 (1995-1996) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 28-29 (1998-1999) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 30#1 (2000); 31#1 (2001)	各号	¥2,700
583	**Museum ミューゼアム 国立博物館美術誌**		
	No. 212-227,229,230,232,236,266,268,272,278,279,285 (1968-1974)	各号	¥540
	No. 286,288-290,292,293,302,304-306,309 (1975-1976)	各号	¥540
	No. 312-318,321-327,336,337,340,342,345-381,393 (1977-1983)	各号	¥540
	No. 398,402,403,413,415,416,431-466,468-485,500 (1984-1992)	各号	¥540
584	**脈管学（日本脈管学会）**		
	Vol. 40-45 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,296
	Vol. 46-51 (2006-2011) 各1-6号,Supplement	各号	¥1,296
585	**ながれ 日本流体力学会誌（日本流体力学会）**		
	Vol. 1-12 (1982-1993) 各1-4号	各号	¥2,571
	Vol. 13-19 (1994-2000) 各1-6号	各号	¥2,571
	Vol. 20#1-4,6 (2001); 21#1-3,5,6 (2002)	各号	¥2,571
	Vol. 22-23 (2003-2004) 各1-6号	各号	¥2,571
	Vol. 24#1-4,6 (2005)	各号	¥2,571
586	**内分泌外科（インターメルク）**		
	Vol. 18-26 (2001-2009) 各1-4号		¥2,700
587	**内分泌・糖尿病科 Endocrinology & diabetology（科学評論社）**		
	Vol. 10-11 (2000) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 12#2; 13#2 (2001); 17#2,6 (2003); 18#3 (2004)	各号	¥2,916
	Vol. 20-24 (2005-2007) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 25#1-4,6 (2007)	各号	¥2,916
	Vol. 26-29 (2008-2009) 各1-6号	各号	¥2,916
588	**内分泌・糖尿病・代謝内科（科学評論社）**		
	Vol. 30-37 (2010-2013) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 36#特別増刊号 (2013) 内分泌ホルモンのすべて		¥16,200
	Vol. 38-39 (2014) 各1-6号	各号	¥3,240
589	**内科（南江堂）**		
	Vol. 93#6 (2004)		¥7,560
	Vol. 94#1-3,5,6 (2004); 95#2-5 (2005); 96#1-6 (2005); 97#2 (2006)	各号	¥2,484
	Vol. 95#6 (2005)		¥9,180
	Vol. 97#6 (2006)		¥8,640
	Vol. 98#1,2,4,5,6 (2006); 99#1,2,3,5 (2007); 100#1,2,5 (2007)	各号	¥2,484
	Vol. 100#6 (2007)		¥4,320
	Vol. 101#1-5 (2008); 102#1-5 (2008)	各号	¥2,484
	Vol. 102#6 (2008)		¥5,940
	Vol. 103#1-5 (2009); 104#1-5 (2009); 105#1,3,4,5 (2010)	各号	¥2,592
	Vol. 104#6 (2009)		¥4,860
	Vol. 106#1-4 (2010); 107#2-5 (2011); 108#1-3 (2011)	各号	¥2,592
	Vol. 107#6 (2011)		¥8,640

590	**内観医学（内観医学会）**		
	Vol. 1-7,10-11 (1999-2009) 各1号	各号	¥2,700
591	**内観研究（日本内観学会）**		
	Vol. 7-12,14,15 (2001-2009) 各1号	各号	¥1,620
592	**NBL New Business Law 取引実務の法律ガイド（商事法務）**		
	別冊 No. 38 (1996) 会社法務部		¥2,935
	No. 640-655 (1998)	各号	¥1,426
	別冊 No. 51 (1998)		¥4,104
	No. 656-679 (1999)	各号	¥1,426
	No. 680-703 (2000)	各号	¥1,426
	No. 704-727 (2001)	各号	¥1,426
	No. 728-751 (2002)	各号	¥1,426
	No. 752-775 (2003)	各号	¥1,426
	No. 776-799 (2004)	各号	¥1,426
	No. 800-823 (2005)	各号	¥1,426
	No. 824-847 (2006)	各号	¥1,426
	No. 848-871 (2007)	各号	¥1,426
	No. 872-895 (2008)	各号	¥1,426
	No. 896-919 (2009)	各号	¥1,426
	No. 920-943 (2010)	各号	¥1,426
	No. 944-967 (2011)	各号	¥1,426
	No. 953 付録 (2011)		¥1,426
	No. 968-991 (2012)	各号	¥1,426
	No. 992-1012 (2013)	各号	¥1,426
593	**根の研究 Root Research（根研究会）**		
	Vol. 2-14 (1993-2005) 各1-4号	各号	¥3,240
594	**ネオネイタルケア Neonatal care 新生児医療と看護専門誌（メディカ出版）**		
	Vol. 1#7 (1988); 3#1,3,4,6-12 (1990)	各号	¥1,944
	Vol. 4-6 (1991-1993) 各1-12号	各号	¥1,944
	Vol. 4#春増刊 (1991); 5#冬増刊 (1992); 6#春増刊,秋増刊 (1993)	各号	¥1,944
	Vol. 7#1,3-12,春増刊,秋増刊 (1994)	各号	¥1,944
	Vol. 8#1-8,10-12,春増刊,秋増刊 (1995)	各号	¥1,944
	Vol. 9#1,3-12,春増刊,秋増刊 (1996)	各号	¥1,944
	Vol. 10-11 (1997-1998) 各1-12,春増刊,秋増刊	各号	¥1,944
	Vol. 12#5-12; 13#6; 14#5; 15#4,5; 16#2; 17#5 (1999-2004)	各号	¥1,944
	Vol. 17#11 (2004)		¥1,944
595	**熱傷 Japanese Journal of Burn Injuries（日本熱傷学会）**		
	Vol. 28#4,5 (2002); 29#1 (2003); 31#2,3,5 (2005); 32#3,5 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 33-37 (2007-2011) 各1-5号	各号	¥2,160
596	**熱物性（日本熱物性学会）**		
	Vol. 1-2 (1987-1988) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 3-4 (1989-1990) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 5-25 (1991-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
597	**熱帯（日本熱帯医学協会）**		
	Vol. 28-34 (1995-2001) 各1-4号	各号	¥2,160

598	**Neurological Surgery 脳神経外科（医学書院）**		
	Vol. 1#1-6 (1973)	各号	¥2,808
	Vol. 2-4 (1974-1976) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 5#1-13 (1977)	各号	¥2,808
	Vol. 6-8 (1978-1980) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 9#1-13 (1981)	各号	¥2,808
	Vol. 10#1-12 (1982)	各号	¥2,808
	Vol. 11#1-12 (1983)	各号	¥2,808
	Vol. 12#1-13 (1984)	各号	¥2,808
	Vol. 13#1-12 (1985)	各号	¥2,808
	Vol. 14#1-13 (1986)	各号	¥2,808
	Vol. 15#1-12 (1987)	各号	¥2,808
	Vol. 16#1-13 (1988)	各号	¥2,808
	Vol. 17#1-12 (1989)	各号	¥2,808
	Vol. 18#1-12 (1990)	各号	¥2,808
	Vol. 19#1-12 (1991)	各号	¥2,808
	Vol. 20#1-3,5-12 (1992)	各号	¥2,808
	Vol. 20#4 (1992) 特別増大号		¥4,536
	Vol. 21#1-12 (1993)	各号	¥2,808
	Vol. 22#1-12 (1994)	各号	¥2,808
	Vol. 23#1-12 (1995)	各号	¥2,808
	Vol. 24#1-12 (1996)	各号	¥2,808
	Vol. 25#1-12 (1997)	各号	¥2,592
	Vol. 26#1-12 (1998)	各号	¥2,592
	Vol. 27#1-12 (1999)	各号	¥2,700
	Vol. 28#1-12 (2000)	各号	¥2,700
	Vol. 29#1-12 (2001)	各号	¥2,700
	Vol. 30#1-12 (2002)	各号	¥2,700
	Vol. 30#13 (2002) 増刊号 総目次・著者索引 第1巻～第30巻		¥4,320
	Vol. 31#1-12 (2003)	各号	¥2,808
	Vol. 32#1-12 (2004)	各号	¥2,808
	Vol. 33#1-12 (2005)	各号	¥2,808
	Vol. 34#1-12 (2006)	各号	¥2,808
	Vol. 35#1-12 (2007)	各号	¥2,808
	Vol. 36#1-12 (2008)	各号	¥2,808
	Vol. 37#1-12 (2009)	各号	¥2,808
	Vol. 38#1-12 (2010)	各号	¥2,808
	Vol. 39#1-12 (2011)	各号	¥2,808
	Vol. 40#1-12 (2012)	各号	¥2,808
	Vol. 41#1-12 (2013)	各号	¥2,808
	Vol. 42#1-12 (2014)	各号	¥2,808
	Vol. 43#1-12 (2015)	各号	¥2,808
	Vol. 44#1-5 (2016)	各号	¥2,808
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
599	**Neurotrauma Research**		
	Vol. 11-18 (1999-2006)	各巻	¥5,400
600	**New Mook 整形外科 New Mook of Orthopaedics（金原出版）**		
	Vol. 1-9,11-18 (1997-2005)	各巻	¥7,560
601	**News of Osaka Micropaleontologist（大阪微化石研究会）**		
	No. 1-10,13,14 (1974-1986)	各号	¥2,160

602	**Newton ニュートン（教育社→ニュートンプレス）**		
	Vol. 1#0,1-6 (1981)	各号	¥1,080
	Vol. 2#1-12 (1982)	各号	¥1,080
	Vol. 3#1-3,8-12 (1983)	各号	¥1,080
	Vol. 4#1-7,12 (1984)	各号	¥1,080
	Vol. 5#3-5,7-11,13 (1985) ※3-10,12月号	各号	¥1,080
	Vol. 6-7 (1986-1987) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 8-12 (1988-1992) 各1,2,4-13号 ※1-12月号	各号	¥1,080
	Vol. 13#1-5,7-13 (1993) ※1-12月号	各号	¥1,080
	Vol. 14#1-12 (1994)	各号	¥1,080
	Vol. 15#1-3,5-12 (1995)	各号	¥1,080
	Vol. 16#1-9 (1996) ※#8→附録付き	各号	¥1,080
603	**日中文化研究（勉誠社）**		
	No. 1-6 (1991-1994)	各号	¥3,240
	No. 8-9 (1995-1996)	各号	¥3,240
	別冊1 中国東海の文化と日本 (1993)		¥1,944
604	**日大口腔科学（日本大学松戸歯学部口腔科学研究所）**		
	Vol. 24#4; 25#1-4; 26#1-4 (1998-2000)	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-4; 28#2,4; 29#1,2 (2001-2003)	各号	¥3,240
	Vol. 30#3; 33#3; 36#2 (2004-2010)	各号	¥3,240
605	**日本法科学技術学会誌（日本法科学技術学会）**		
	※Vol. 1-9 (1996-2004)→日本鑑識科学技術学会誌（日本鑑識科学技		
	Vol. 1#1 (1996)		¥2,700
	Vol. 2#1,2 (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 3#1,2 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 4#1,2 (1999/2000)	各号	¥2,700
	Vol. 5#1,2 (2000/2001)	各号	¥2,700
	Vol. 6#1,2,別冊号 (2001/2002)	各号	¥2,700
	Vol. 7#1,2,別冊号 (2002/2003)	各号	¥2,700
	Vol. 8#1,別冊号 (2003/2004)	各号	¥2,700
	Vol. 9#1,2,別冊号 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 10#1,2, (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 11#1,2,別冊号 (2006)	各号	¥2,700
	Vol. 12#1,2 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 13#1,2,別冊号 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 14#1,2,別冊号 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 15#1,2,別冊号 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 16#1 (2011)		¥2,700
	Vol. 18#別冊号 (2013)		¥2,700
606	**日本エイズ学会誌 The Journal of Aids Research**		
	Vol. 1#4 (1999)		¥7,020
	Vol. 11#3 (2009)		¥3,780
	Vol. 11#4 (2009)		¥6,480
	Vol. 13#4 (2011)		¥6,480
607	**日本アルコール精神医学雑誌（日本アルコール精神医学会）**		
	Vol. 1-12 (1994-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
608	**日本アルコール・薬物医学会雑誌（日本アルコール・薬物医学会）**		
	Vol. 1-23 (1966-1988) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 24-47 (1989-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
609	**日本アフェレシス学会雑誌 Japanese Journal of Apheresis**		
	Vol. 15-28 (1996-2009) 各1-3号,Supplement	各号	¥3,240
	Vol. 29#1 (2010)		¥3,240

610	**日本アロマセラピー学会誌（日本アロマセラピー学会）**		
	Vol. 3#2; 5#1; 6#1; 7#2; 8#1; 9#1; 10#1 (2004-2011)	各号	¥1,620
	Vol. 11#2,Supplement (2012)	各号	¥1,620
611	**日本足の外科学会雑誌**		
	Vol. 28#2 (2007); 29#2 (2008); 31#2 (2010); 32#1 (2011)	各号	¥5,400
612	**日本ベントス学会誌 Benthos research**		
	No. 1-56 (1970-2001)	各号	¥3,240
613	**日本バイオマテリアル学会シンポジウム予稿集（日本バイオマテリアル学会）**		
	Year 2008 (2008)		¥5,400
614	**日本バイオマテリアル学会大会予稿集（日本バイオマテリアル学会）**		
	第28回,第29回 (2006-2007)	各冊	¥5,400
615	**日本バイオミュージック学会誌（日本バイオミュージック学会）**		
	Vol. 1,6,8,9,11-18 (1987-2000) 各1-2号	各号	¥3,240
616	**日本美容外科学会会報（日本美容外科学会）**		
	Vol. 1-28 (1979-2006) 各1-4号	各号	¥3,240
617	**日本美容医療テクノロジー学会誌（日本美容医療テクノロジー学会）**		
	No. 1-3 (2006-2008)	各号	¥2,160
618	**日本母乳哺育学会雑誌**		
	Vol. 1#2 (2007)		¥2,160
	Vol. 3#2 (2009)		¥2,160
	Vol. 4#1,2 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1 (2011)		¥2,160
619	**日本文学（日本文学協会）**		
	Vol. 49#3-12 (2000) No. 561-570	各号	¥977
	Vol. 50#1-12 (2001) No. 571-582	各号	¥977
	Vol. 51#1-12 (2002) No. 583-594	各号	¥977
	Vol. 52#1-12 (2003) No. 595-606	各号	¥977
	Vol. 53#1-12 (2004) No. 607-618	各号	¥977
	Vol. 54#1-12 (2005) No. 619-630	各号	¥977
	Vol. 55#1-12 (2006) No. 631-642	各号	¥977
	Vol. 56#1-12 (2007) No. 643-654	各号	¥977
	Vol. 57#1-12 (2008) No. 655-666	各号	¥977
	Vol. 58#1-12 (2009) No. 678-678	各号	¥977
	Vol. 59#1-12 (2010) No. 679-690	各号	¥977
	Vol. 60#1-12 (2011) No. 691-702	各号	¥977
620	**日本病態栄養学会誌**		
	Vol. 11#3,4 ; 12#4; 13#1,3,4; 14#1-4 (2008-2011)	各号	¥2,160
	Vol. 12#5 (2009); 13#5 (2010); 15#Supplement (2012)	各号	¥4,320
621	**日本地域看護学会誌（日本地域看護学会）**		
	Vol. 4-11 (2002-2008/09) 各1-2号 通常号	各号	¥1,944
	Vol. 4-11 (2002-2008/09) 増刊号	各号	¥4,104
622	**日本畜産学会報**		
	Vol. 80#4 (2009)		¥2,700
	Vol. 81#1,2,4 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 82#1-4 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 83#1-4 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 84#1 (2013)		¥2,700
623	**日本地理学会予稿集（日本地理学会）**		
	Vol. 16,17,20,27,29-31,34,35,37-40,42-46,49 (1979-1996)	各冊	¥5,400
	Vol. 51-65,67-70,73 (1997-2008)	各冊	¥5,400

624	**日本鳥学会誌（日本鳥学会）**		
	Vol. 18-60 (1968-2011) 各1-2号	各号	¥3,240
625	**日本聴能言語学会学術講演会予稿集**		
	第25回, 第26回, 第27回 (1999-2001)	各号	¥3,024
626	**日本中国学会報（日本中国学会）**		
	No. 24-67 (1972-2015)	各号	¥2,700
	日本中国学会資料 (1999-2008) DISK付き		¥2,700
	日本中国学会　第一回若手シンポジウム論文集　中国学の新局面 (2011		¥2,700
627	**日本中東学会年報（日本中東学会）**		
	No.8,9,11-16 (1993-2001)	各号	¥3,240
	No.17(1,2)-19(1,2),20(1),21(1),22(2),23(1,2)-28(1,2) (2002-2012)	各号	¥3,240
628	**日本クリニカルパス学会誌（日本クリニカルパス学会）**		
	Vol. 5#2,3 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1,3 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 7#2 (2005)		¥2,160
	Vol. 8#2,3,4 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1-4 (2007)		¥2,160
	Vol. 10#1,3,4 (2008)		¥2,160
	Vol. 11#1-4 (2009)		¥2,160
	Vol. 12#1-4 (2010)		¥2,160
629	**日本コミュニケーション障害学会学術講演会予稿集**		
	第30回, 第32回 (2004,2006)	各号	¥3,024
630	**日本コンピュータ外科学会誌 Journal of Japan Society of Computer Aided Surgery（日本コンピュータ外科学会）**		
	Vol. 5#3; 6#3; 7#3; 8#2,3 (2003-2006)	各号	¥3,240
	Vol. 9#2; 10#1,2,4 (2007-2008)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1-3; 12#1,2 (2009-2010)	各号	¥3,240
631	**日本クリティカルケア看護学会誌（日本クリティカルケア看護学会）**		
	Vol. 7#2 (2011) 第7回日本クリティカルケア看護学会学術集会 プログラ		¥2,700
	Vol. 8#2 (2012) 第8回日本クリティカルケア看護学会学術集会 プログラ		¥2,700
632	**日本デザイン学会誌 デザイン学研究特集号（日本デザイン学会）**		
	No. 41-64 (2004-2009)	各号	¥2,592
633	**日本栄養・食糧学会誌（日本栄養・食糧学会）**		
	Vol. 36-62 (2001-2009) 各1-6号	各号	¥1,620
634	**日本沿岸域学会論文集 Journal of JACZS（日本沿岸域学会）**		
	No. 12-16 (2000-2004)	各号	¥3,240
635	**日本婦人科腫瘍学会雑誌（日本婦人科腫瘍学会）**		
	Vol. 16#2; 17#1,2; 18#2; 19#2 (1998-2001)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1,3,4; 21#1,4; 22#1 (2002-2004)	各号	¥3,240
	Vol. 23#3,4; 24#2,3; 25#1,3 (2005-2007)	各号	¥3,240
	Vol. 26#4; 27#1-4; 28#1-4 (2008-2010)	各号	¥3,240
636	**日本腹部救急医学会雑誌**		
	Vol. 30#7 (2010); 31#3-7 (2011); 32#1,5 (2012); 33#1-4 (2013)	各号	¥2,160

637	**日本ファジィ学会誌（日本ファジィ学会）**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥2,160
	Vol. 2#1-4 (1990)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1-4 (1991)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1-6 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1-6 (1993)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-6 (1994)	各号	¥2,160
	Vol. 7#2-6 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-6 (1996)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1,2,4,5,6 (1997)	各号	¥2,160
	Vol. 10#1-6 (1998)	各号	¥2,160
	Vol. 11#1 (1999)		¥2,160
638	**日本外傷歯学会雑誌（日本外傷歯学会）**		
	Vol. 1#1 (2005)		¥3,240
639	**日本顎顔面インプラント学会誌（日本顎顔面インプラント学会）**		
	Vol. 5#1 (2006)		¥3,240
	Vol. 6#1 (2007)		¥3,240
	Vol. 7#3 (2008)		¥3,240
	Vol. 8#3 (2009)		¥3,240
	Vol. 9#1 (2010)		¥3,240
	Vol. 10#4 (2011)		¥3,240
640	**日本顎変形症学会雑誌（日本顎変形症学会）**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥2,700
	Vol. 2#1 (1992)		¥2,700
	Vol. 3#1,2 (1993)	各号	¥2,700
	Vol. 5#1 (1995)		¥2,700
	Vol. 6#1,2 (1996)	各号	¥2,700
	Vol. 7#1,2 (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 8#1-3 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 10-12 (2000-2002) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 13#1,3 (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 14-15 (2004-2005) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 16-20 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 21#1-3 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 22#2-4,Supplement (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 23-25 (2013-2015) 各1-4号	各号	¥2,700
641	**日本顎関節学会雑誌（日本顎関節学会）**		
	Vol. 3#2 (1991)		¥4,320
	Vol. 7#1 (1995)		¥4,320
	Vol. 8#3 (1996)		¥4,320
	Vol. 9#1,2 (1997)	各号	¥4,320
	Vol. 11#1,3 (1999)	各号	¥4,320
	Vol. 12-19 (2000-2007) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 20-26 (2008-2014) 各1-3号,大会特別号	各号	¥4,320
	Vol. 22#30周年記念号 (2010)		¥4,320
	Vol. 27#1,2,大会特別号 (2015)	各号	¥4,320
	Vol. 28#1,2,大会特別号 (2016)	各号	¥4,320

642	**日本顎咬合学会誌：咬み合わせの科学（日本顎咬合学会）**		
	The journal of Asian gnathology (International Academy of Gnathology.		
	Vol. 1#1 (1979)		¥3,240
	Vol. 2#1 (1980)		¥3,240
	日本顎咬合学会誌（日本顎咬合学会）02892030		
	Vol. 3#1/2,3,4 (1982)	各号	¥3,240
	Vol. 4#1,2,3/4 (1983)	各号	¥3,240
	Vol. 5-8 (1984-1987) 各1/2,3/4号	各号	¥3,240
	Vol. 9#1/2,3 (1988)	各号	¥3,240
	Vol. 10-11 (1989-1990) 各1,2/3,4号	各号	¥3,240
	Vol. 12-15 (1991-1994) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 16-17 (1995-1996) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 18#1-4 (1997)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1 (1998)		¥3,240
	日本口腔健康医学会誌：咬み合わせの科学（日本口腔健康医学会）		
品切	Vol. 21#1,2 (2000)	各号	¥3,240
品切	Vol. 21#3,4 (2001)	各号	¥3,240
	日本顎咬合学会誌：咬み合わせの科学（日本顎咬合学会）13468111		
	Vol. 22#3,4 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1 (2003)		¥3,240
	Vol. 24#1,2/3 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 25#1/2 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 27#3 (2007)		¥3,240
	Vol. 29#3,4 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 30#1/2 (2010)		¥3,240
643	**日本顎頭蓋機能学会誌（日本顎頭蓋機能学会）**		
	Vol. 17-23 (2004-2010) 各1号	各号	¥3,240
644	**日本眼炎症学会誌（日本眼炎症学会）**		
	Vol. 1-4,7,10,12 (1999-2010)	各巻	¥3,240
645	**日本眼科学会雑誌（日本眼科学会）**		
	Vol. 112#3,9,11,12,臨時増刊号 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 113#1-12,臨時増刊号 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 114#1-9,11,12,臨時増刊号 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 115#1-12 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 116#1-7,9-12 (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 117#1-5,7,9-12 (2013)	各号	¥3,240
	Vol. 118#1-12,,臨時増刊号 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 119#1,2,8,9,12 (2015)	各号	¥3,240
	Vol. 120#1-12 (2016)	各号	¥3,240
646	**日本がん看護学会誌（日本がん看護学会）**		
	Vol. 2,4,5,7,9-11 (1988-1997) 各1号	各号	¥2,700
	Vol. 12-22 (1998/1999-2008) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 17#特別号 (2003)		¥2,700
	Vol. 23-29 (2009-2015) 各1-3号	各号	¥2,700
647	**日本眼感染症学会誌（日本眼感染症学会）**		
	Vol. 2-4 (2007-2009)	各巻	¥3,240
648	**日本外科感染症学会雑誌（日本外科感染症学会）**		
	Vol. 1-10 (2004-2013) 各1-6,Supplement	各号	¥2,160

649	**日本外科系連合学会誌**		
	Vol. 34#5 (2009)		¥2,160
	Vol. 35#1,6 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 36#1-6 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 37#1-5 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 38#1,2 (2013)	各号	¥2,160
650	**日本原子力学会誌**		
	Vol. 34#4-12 (1992)	各号	¥1,620
	Vol. 35-43 (1993-2001) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 44#1,2,4,6,7,9-12 (2002)	各号	¥1,620
	Vol. 45#1-12 (2003)	各号	¥1,620
	Vol. 46#1-3 (2004)	各号	¥1,620
651	**日本ゴム協会誌 Journal of the Society of Rubber Industry, Japan**		
	Vol. 38#5,6,8,11,12; 39#1,3,4; 40#3,5,7,9; 41#3,6,12 (1965-1968)	各号	¥1,296
	Vol. 42#1-12; 43#1-4,6-12; 44#1-5,7-12; 45#1-3,5-12 (1969-1972)	各号	¥1,296
	Vol. 46#1-12; 47#1-12; 48#1-3,5,12 (1973-1975)	各号	¥1,296
	Vol. 49#1-9,12; 50#1,2,4-7,9-12; 51#1-6,8-12 (1976-1978)	各号	¥1,296
	Vol. 52#1,39,11,12; 53#1-12; 54#1-4,6-12; 55#1-11 (1979-1982)	各号	¥1,296
	Vol. 56#2-7,9-12; 57#1-9,11,12; 58#1-12; 59#1-10,12 (1983-1986)	各号	¥1,296
	Vol. 60#1-9,11,12; 61#1-12; 62#1,2,4-12; 63#1-12 (1987-1990)	各号	¥1,296
	Vol. 64#1-12; 65#1,2,4,5,7-12; 66#1-4,6-12; 67#1-12 (1991-1994)	各号	¥1,296
	Vol. 68#1-12; 70#1-12; 71＃1-7,9-12 (1995-1998)	各号	¥1,296
652	**日本排尿機能学会誌（日本排尿機能学会）**		
	Vol. 13#1,2 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 14#1,2 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 16#2 (2005)		¥2,160
	Vol. 17#2 (2006)		¥2,160
	Vol. 19#2 (2008)		¥2,160
	Vol. 20#2 (2009)		¥2,160
653	**日本ヘリコバクター学会誌 Japanese Journal of Helicobacter Research**		
	Vol. 4#2,3,Supplement (2002/2003)	各号	¥2,160
	Vol. 5-10 (2003/2004-2008/2009) 各1-2号	各号	¥2,160
654	**日本皮膚アレルギー学会雑誌（日本皮膚アレルギー学会）**		
	Vol. 5#4; 6#4; 8#2-4 (1997-2000)	各号	¥1,080
	Vol. 9#1-4; 10#1-4; 11#1,2,4 (2001-2003)	各号	¥1,080
	Vol. 12#1,2,3/4; 14#1,2 (2004-2006)	各号	¥1,080
655	**日本皮膚外科学会誌（日本皮膚外科学会）**		
	No. 5,6,7,8 (2001-2004)	各号	¥3,240
	Vol. 10#2; 11#1,2; 12#1,2; 13#1,2; 14#1,2 (2006-2010)	各号	¥3,240
656	**日本皮膚科学会雑誌（日本皮膚科学会）**		
	Vol. 115#1,7,12,13; 116#1,2,7,8,10-14; 117#1-14 (2005-2007)	各号	¥1,620
	Vol. 118#1-14; 119#4,6,8-14 (2008-2009)	各号	¥1,620
	Vol. 120#1-4,6-14 (2010); 121#1,3,4,9-11 (2011)	各号	¥1,620
657	**日本肘関節学会雑誌（日本肘関節学会）**		
	Vol. 1-9 (1994-2002) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 12#2 (2005)		¥3,240
	Vol. 13-17 (2006-2010) 各1-2号	各号	¥3,240
658	**日本泌尿器科学会雑誌（日本泌尿器科学会）**		
	Vol. 98-103 (2007-2012) 各1-7号	各号	¥2,160

659	**日本法医学雑誌（日本法医学会）**		
	Vol. 37-38,41-52 (1983-1998) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 53-56 (1999-2002) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 57-69 (2003-2015) 各1-2号	各号	¥2,700
660	**日本補完代替医療学会誌（日本補完代替医療学会）**		
	Vol. 1#1; 2#1,2; 3#1,2; 6#1-3; 7#1,2 (2004-2010)	各号	¥3,240
661	**日本放射線技師会雑誌 JART**		
	Vol. 55#672-674 (2008)	各号	¥1,620
	Vol. 56#676-678,680-696 (2009)	各号	¥1,620
	Vol. 57#687-697 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 58#699-710 (2011)	各号	¥1,620
	Vol. 59#711 (2012)		¥1,620
662	**日本補綴歯科学会誌（日本補綴歯科学会）**		
	Vol. 1#1-4 (2009)	各号	¥4,320
	Vol. 1#118回学術大会プログラム・抄録集 (2009)		¥4,320
	Vol. 2#1-4 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 3#1-3 (2011)	各号	¥4,320
	Vol. 3#120回学術大会プログラム・抄録集 (2011)		¥4,320
	Vol. 6#3 (2014)		¥4,320
663	**日本補綴歯科学会雑誌（日本補綴歯科学会）**		
	Vol. 1#1 (1957)		¥4,320
	Vol. 2-15 (1958-1971) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 16#1-3 (1972)	各号	¥4,320
	Vol. 17-20 (1973-1976) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 21#1-3 (1977)	各号	¥4,320
	Vol. 22-25 (1978-1981) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 26-27 (1982-1983) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 28#1-7 (1984)	各号	¥4,320
	Vol. 29-45 (1985-2001) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 46-49 (2002-2005) 各1-5号	各号	¥4,320
	Vol. 50-52 (2006-2008) 各1-4号	各号	¥4,320
	Supplement nos. 77-117 (1987-2008)	各号	¥4,320
664	**日本遺伝カウンセリング学会誌（日本遺伝カウンセリング学会）**		
	Vol. 25#2 (2004)		¥3,240
	Vol. 27#1,2 (2006/2007)	各号	¥3,240
	Vol. 28#2 (2008)		¥3,240
	Vol. 30#3 (2010)		¥4,320
	Vol. 31#1 (2010)		¥4,320
665	**日本医事新報（日本医事新報社）**		
	No. 4523-4575 (2011)	各号	¥799
666	**日本医療・病院管理学会誌（日本医療・病院管理学会）**		
	Vol. 45-49 (2008-2012) 各1-4号,Supplement	各号	¥1,620
667	**日本医療マネジメント学会雑誌（日本医療マネジメント学会）**		
	Vol. 5#3,4 (2004/05)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-4 (2005/06)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1-4 (2006/07)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1-4 (2007/08)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1-4 (2008/09)	各号	¥2,160
	Vol. 10#2-4 (2009/10)	各号	¥2,160
	Vol. 11#1-3,Supplement (2010)	各号	¥2,160
668	**日本医史学雑誌（日本医史学会）**		
	Vol. 1-4 (1941-1944) 各1-12号	各号	¥2,160

669	**日本医師会雑誌（日本医師会）**		
	Vol. 135-145 (2006/2007-2016/17) 各1-12号	各号	¥1,620
	医師の職業倫理指針 第3版 平成28年10月 (2016)		¥1,620
	Vol. 146#1-5 (2017)	各号	¥1,620
	別冊	各号	¥1,296
670	**日本医師会雑誌 付録 生涯教育シリーズ（日本医師会）**		
	No. 13-78 (1987-2010)	各号	¥3,240
671	**日本医真菌学会雑誌（日本医真菌学会）**		
	Vol. 1-36,39,42,44-51 (1960-2010) 各1-4号	各号	¥2,700
672	**日本弱視斜視学会報 The Bulletin of the Japanese Association of Strabismus and Amblyopia（日本弱視斜視学会）**		
	Vol. 42#3; 43#1-3; 44#1-3; 45#1 (2006-2009)	各号	¥1,620
673	**日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌（日本耳鼻咽喉科感染症研究会）**		
	Vol. 24#1; 25#1 (2006-2007)	各号	¥3,240
674	**日本磁気共鳴医学会雑誌（日本磁気共鳴医学会）**		
	Vol. 17#6; 18#7; 19#2-8 (1997-1999)	各号	¥2,365
	Vol. 20#1-4,6-8; 21#1-4; 23#2,4 (2000-2003)	各号	¥2,365
	Vol. 25#4; 26#1-4; 27#1-4 (2005-2007)	各号	¥2,365
	Vol. 27#Supplement (2007)		¥4,114
	Vol. 28#1-4; 29#1-4; 30#1 (2008-2010)	各号	¥2,365
675	**日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌（日本腎泌尿器疾患予防医学研究会）**		
	Vol. 14,15,17,18 (2006-2010) 各1号	各号	¥2,160
676	**日本人工関節学会誌（日本人工関節学会誌）**		
	Vol. 26,29 (1996-1999)	各巻	¥6,480
	Vol. 37-39 (2007-2009)	各巻	¥6,480
677	**日本地すべり学会誌（Journal of the Japan Landslide Society）**		
	Vol. 40#1-6 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 41#1-6 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 42#1-6 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 43#1-6 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 44#1-6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 45#1-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 46#1-4 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 47#1-6 (2010)	各号	¥2,160
678	**日本褥瘡学会誌（日本褥瘡学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1999)	各号	¥3,240
	Vol. 2-4 (2000-2002) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 5#1(1),1(2),2,3 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 6-14 (2004-2012) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 15#1-3 (2013)	各号	¥3,240
679	**日本助産学会誌（日本助産学会）**		
	Vol. 2-4,7-24 (1988-2010/11) 各1-3号	各号	¥3,240
680	**日本女性骨盤底医学会誌**		
	Vol. 3-7 (2006-2010) 各1号	各号	¥5,400
681	**日本重症心身障害学会誌（日本重症心身障害学会）**		
	Vol. 16-19,21,22 (1991-1997) 各1-2号	各号	¥3,240
682	**日本化学療法学会雑誌**		
	Vol. 59#1-6 (2011)	各号	¥2,160
683	**日本角膜学会誌 Journal of Japan Cornea Society（日本眼科紀要会）**		
	Vol. 3-12 (1998-2007)	各号	¥3,240
	角膜カンファランス30周年記念号 (2006)		¥3,240

684	**日本看護学会論文集 母性看護（日本看護学会）**		
	Vol. 5-20,22-26,28 (1974-1997)	各巻	¥3,394
685	**日本看護学会論文集 地域看護（日本看護協会）**		
	Vol. 5,7,9,10,12-28 (1974-1997)	各巻	¥3,394
686	**日本看護学会論文集 看護管理（日本看護協会）**		
	Vol. 11-28 (1980-1997)	各巻	¥3,394
687	**日本看護学会論文集 看護教育（日本看護協会）**		
	Vol. 5-7,9-20,22,24-27 (1974-1997)	各巻	¥3,394
688	**日本看護学会論文集 看護総合（日本看護協会）**		
	Vol. 11-28,39 (1981-1997,2008)	各巻	¥3,394
689	**日本看護学会論文集 老人看護（日本看護協会）**		
	Vol. 20-28 (1989-1997)	各巻	¥3,394
690	**日本看護学会論文集 成人看護（日本看護協会）**		
	Vol. 5-9,11-28 (1974-1997)	各冊	¥3,394
	Vol. 40#II (2009)		¥4,104
691	**日本看護学会論文集 小児看護（日本看護協会）**		
	Vol. 11-27 (1980-1996)	各巻	¥3,394
692	**日本看護学会誌（日本看護協会）**		
	Vol. 1-3,7-16 (1991-2006) 各1-2号	各号	¥1,296
693	**日本看護学校協議会雑誌（日本看護学校協議会）**		
	Vol. 1-20 (1970-1989) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 21-25 (1990-1994) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 30-35 (1999-2004) 各1-4号	各号	¥2,700
694	**日本看護学教育学会誌（日本看護学教育学会）**		
	Vol. 1-22 (1991-2012/2013) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-2 (2013)	各号	¥3,240
695	**日本看護技術学会誌（日本看護技術学会）**		
	Vol. 1#1 (2002)		¥2,700
696	**日本看護科学会誌（日本看護科学学会）**		
	Vol. 1-33 (1981-2013) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 34 (2014)		¥8,640
697	**日本看護科学学会学術集会講演集（日本看護科学学会）**		
	19回(1999); 25回(2005); 27回(2007)	各号	¥2,700
698	**日本看護管理学会誌（日本看護管理学会）**		
	Vol. 1-6,8,9 (1997-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
699	**日本看護研究学会雑誌（日本看護研究学会）**		
	Vol. 1-6,8-35 (1978-2012) 各1-5号	各号	¥3,240
700	**日本看護協会調査研究報告（日本看護協会）**		
	No. 1-6,20,21-25,29-32,34-40,42,43,45-48, 50-52,54,60,80 (	各号	¥1,543
701	**日本看護歴史学会誌（日本看護歴史学会）**		
	No. 20-25 (2007-2012)	各号	¥1,620
702	**日本環境感染学会誌（日本環境感染学会）**		
	Vol. 23-26 (2008-2011) 各1-6,Supplement	各号	¥2,700
703	**日本関節病学会誌（日本関節病学会）**		
	Vol. 27#1-3; 28#1,3,4; 29#1-4 (2008-2010)	各号	¥5,400
704	**日本建築学会技術報告集**		
	No.1-12 (1995-2001)	各号	¥2,160
705	**日本建築学会環境系論文集（日本建築学会）**		
	No. 566-661 (2003-2011)	各号	¥1,543
706	**日本建築学会計画系論文集（日本建築学会）**		
	No. 347-673 (1985-2012)	各号	¥1,543

707	**日本建築学会構造系論文集（日本建築学会）**		
	No. 347-682 (1985-2012)	各号	¥1,543
708	**日本建築学会大会学術講演梗概集**		
	東北 2009年8月 F-2 建築歴史・意匠		¥3,086
	北陸 2010年9月 F-2 建築歴史・意匠		¥3,086
	関東 2011年8月 F-2 建築歴史・意匠		¥3,086
709	**日本健康教育学会誌（日本健康教育学会）**		
	Vol. 9-16 (2001-2008) 各1-2,Supplement	各号	¥1,080
	Vol. 20#2,3,4,Supplement (2012)	各号	¥1,080
	Vol. 21#1,2 (2013)	各号	¥1,080
710	**日本血栓止血学会誌 Japanese Journal of Thrombosis and Hemostasis**		
	Vol. 18#1,4 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 19#3,5 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1-6 (2009)	各号	¥2,160
711	**日本結晶成長学会誌（日本結晶成長学会）**		
	Vol. 11-34,37-38 (1984-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
712	**日本菌学会会報（日本菌学会）**		
	Vol. 1-34 (1956/59-1993) 各1-4号	各号	¥2,160
713	**日本気象学会講演予稿集（日本気象学会）**		
	No. 67-68 (1995)	各号	¥5,400
	No. 69-70 (1996)	各号	¥5,400
	No. 71-72 (1997)	各号	¥5,400
	No. 73-74 (1998)	各号	¥5,400
	No. 75-76 (1999)	各号	¥5,400
	No. 77-78 (2000)	各号	¥5,400
	No. 79-80 (2001)	各号	¥5,400
	No. 81-82 (2002)	各号	¥5,400
	No. 83-84 (2003)	各号	¥5,400
	No. 85-86 (2004)	各号	¥5,400
	No. 87-88 (2005)	各号	¥5,400
	No. 89 (2006)		¥5,400

714	**日本口蓋裂学会雑誌（日本口蓋裂学会）**		
	Vol. 1#1 (1976)		¥4,320
	Vol. 2#2 (1977)		¥4,320
	Vol. 3-13 (1978-1988) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 14-15 (1989-1990) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 16#1,2,増刊 (1991)	各号	¥4,320
	Vol. 17#1-4 (1992)	各号	¥4,320
	Vol. 18#1,3,4 (1993)	各号	¥4,320
	Vol. 19#4 (1994)		¥4,320
	Vol. 20#1,2,4 (1995)	各号	¥4,320
	Vol. 21#2,3 (1996)	各号	¥4,320
	Vol. 22#2-4 (1997)	各号	¥4,320
	Vol. 23#1,3,4 (1998)	各号	¥4,320
	Vol. 24#1-3 (1999)	各号	¥4,320
	Vol. 25#1-3 (2000)	各号	¥4,320
	Vol. 26#1,3 (2001)	各号	¥4,320
	Vol. 27-30 (2002-2005) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 31#2,3 (2006)	各号	¥4,320
	Vol. 32-34 (2007-2009) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 35#2,3 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 36#1-3 (2011)	各号	¥4,320
	Vol. 37#1,3 (2012)	各号	¥4,320
	Vol. 38-40 (2013-2015) 各1-3号	各号	¥4,320
715	**日本股関節学会学術集会プログラム・抄録集（日本股関節学会）**		
	第34回-第37回 (2007-2010)	各冊	¥6,480
716	**日本高気圧環境・潜水医学会雑誌**		
	Vol. 40#1,2,4 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 41#1-4 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 42#1-4 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 43#1-4 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 44#2,3 (2009)	各号	¥2,160
717	**日本口腔顔面痛学会雑誌（日本口腔顔面痛学会）**		
品切	Vol. 1#1 (2008)		¥3,240
品切	Vol. 2#1 (2009)		¥3,240
品切	Vol. 3#1 (2010)		¥3,240
品切	Vol. 4#1,2 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 7#1 (2014)		¥3,240
718	**日本口腔外科学会雑誌（日本口腔外科学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1955)	各号	¥2,160
	Vol. 2-15 (1956-1969) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 16#1-4 (1970)	各号	¥2,160
	Vol. 17-26 (1971-1980) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 27-60 (1981-2014) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 62#3-7,9-12 (2016)	各号	¥2,160
	Vol. 63#1 (2017)		¥2,160
719	**日本口腔インプラント学会誌（日本口腔インプラント学会）**		
	Vol. 13-20 (2000-2007)　各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 21-26 (2008-2013)　各1-4号,特別号	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-3,特別号 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 29#1,2 (2016)	各号	¥3,240

720	**日本航空医療学会雑誌（日本航空医療学会）**		
	Vol. 3#1; 5#2; 6#1; 7#2 (2002-2006)	各号	¥3,240
	Vol. 8-14 (2007-2013) 各1-3号	各号	¥3,240
721	**日本口腔科学会雑誌（日本口腔科学会）**		
	Vol. 1#2-4 (1952)	各号	¥2,160
	Vol. 2-36 (1953-1987) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 37-47 (1988-1998) 各1-5号	各号	¥2,160
	Vol. 48-52 (1999-2003) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 53-61 (2004-2012) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 62#1-4,増刊号 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 63-64 (2014-2015) 各1-4号	各号	¥2,160
722	**日本口腔内科学会雑誌（日本口腔内科学会）**		
	Vol. 18-22 (2012-2016) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 23#1 (2017)		¥3,240
723	**日本口腔粘膜学会雑誌（日本口腔粘膜学会）**		
	Vol. 2#1 (1996)		¥3,240
	Vol. 5-15 (1999-2009) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 16#1 (2010)		¥3,240
	Vol. 17#1-2 (2011)	各号	¥3,240
724	**日本口腔リハビリテーション学会雑誌（日本口腔リハビリテーション学会）**		
	Vol. 26#1 (2013)		¥3,240
725	**日本口腔診断学会雑誌（日本口腔診断学会）**		
	Vol. 1#1 (1988)		¥3,780
	Vol. 7#2 (1994)		¥3,780
	Vol. 12-21 (1999-2008) 各1-2号	各号	¥3,780
	Vol. 22#2: 23#2 (2009,2010)		¥3,780
	Vol. 24-29 (2011-2016) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 30#1,2 (2017)	各号	¥3,780
726	**日本口腔腫瘍学会誌（日本口腔腫瘍学会）**		
	Vol. 1-4 (1989-1992) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 5-6 (1993-1994) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 7-8 (1995-1996) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 9#1,3 (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 10-12 (1998-2000) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 13#1-4,Suppl. (2001)	各号	¥2,700
	Vol. 14-21 (2002-2009) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 22#2-4 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 23#1,3,4 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 24#1,4 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 25-27 (2013-2015) 各1-4号	各号	¥2,700
727	**日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌**		
	Vol. 16#2 (2006)		¥3,240
	Vol. 17#1,2,3,増刊号 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 18#1,2,増刊号 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 19#1,2,3,増刊号 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1,2,3,増刊号 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1,2,3,増刊号 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 22#1 (2012)	各号	¥3,240
728	**日本呼吸管理学会誌**		
	Vol. 15#1-4 (2005)	各号	¥3,240
729	**日本呼吸器学会雑誌 Journal of the Japanese Respiratory Society**		
	Vol. 47-49 (2009-2011) 各1-12号,増刊号 (2011)	各号	¥1,620

730	**日本更年期医学会雑誌（日本更年期医学会）**		
	Vol. 1#1,2 (1993)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1,2 (1994)	各号	¥2,160
	Vol. 5#1,2,増刊号 (1997)	各号	¥2,160
	Vol. 6#1,2,増刊号 (1998)	各号	¥2,160
	Vol. 7#1,2 (1999)	各号	¥2,160
	Vol. 8#1,2,増刊号 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 9#1,増刊号 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 10#2 (2002)		¥2,160
	Vol. 11#1 (2003)		¥2,160
	Vol. 12#1,2 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 13#1,増刊号 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 14#2,増刊号 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 15#1,2,増刊号 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,2 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1,2 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 18#1,2 (2010)	各号	¥2,160
731	**日本高齢消化器病学会誌（日本高齢消化器病学会）**		
	Vol. 12#1 (2009)		¥2,160
732	**日本高齢消化器医学会議会誌（日本高齢消化器医学会議）**		
	Vol. 2#2 (2000)		¥2,160
	Vol. 5#2 (2003)		¥2,160
	Vol. 6#1 (2004)		¥2,160
733	**日本古生物学会 報告・紀事 オールドシリーズ（日本古生物学会）**		
	No. 1-21 (1935-1941)	各号	¥2,160
734	**日本古生物学会 報告・紀事 新篇（日本古生物学会）**		
	No. 1-184 (1951-1996)	各号	¥2,160
735	**日本交通科学協議会誌 Journal of the Japanese Council of Traffic Science（日本交通科学協議会）**		
	Vol. 1#1; 2#1; 3#1 (2001-2003)	各号	¥2,160
	Vol. 4-9 (2004-2009) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 10#1 (2010)		¥2,160
736	**日本骨形態計測学会誌（日本骨形態計測学会）**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥5,400
	Vol. 2-5 (1992-1995) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 6#1-3 (1996)	各号	¥5,400
	Vol. 7#1-3 (1997)	各号	¥5,400
	Vol. 8#1-3 (1998)	各号	¥5,400
	Vol. 9#1-3 (1999)	各号	¥5,400
	Vol. 10#1,2 (2000)	各号	¥5,400
	Vol. 11#1,2 (2001)	各号	¥5,400
	Vol. 12#1-3 (2002)	各号	¥5,400
	Vol. 13#1-3 (2003)	各号	¥5,400
	Vol. 14#1,2 (2004)	各号	¥5,400
	Vol. 15#1 (2005)	各号	¥5,400
	Vol. 16#1-3 (2006)	各号	¥5,400
	Vol. 17#1-3 (2007)	各号	¥5,400
	Vol. 21#1-2 (2011)	各号	¥5,400

737	**日本骨代謝学会雑誌（日本骨代謝学会）**		
	Vol. 1#1-3 (1983)	各号	¥2,700
	Vol. 2#1-5 (1984)	各号	¥2,700
	Vol. 3#1-5 (1985)	各号	¥2,700
	Vol. 4#1-4 (1986)	各号	¥2,700
	Vol. 5#1-2 (1987)	各号	¥2,700
	Vol. 6-9 (1988-1991)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 10#1-3 (1992)	各号	¥2,700
	Vol. 10#4/11#1合併 (1993)		¥5,400
	Vol. 11#2,3 (1993)	各号	¥2,700
	Vol. 12-13 (1994-1995) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 14-17 (1996-1999)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 18#1-3(2000-2001)	各号	¥2,700
	Vol. 19#1,3 (2001)	各号	¥2,700
738	**日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集（日本骨代謝学会）**		
	第25回-第28回 (2007-2010)	各巻	¥5,400
739	**日本矯正歯科学会雑誌・Orthodontic Waves（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 1-3 (1932-1934) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 4-9 (1935-1941) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 10-15 (1942-1956) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 16-34 (1957-1975) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 35-47 (1976-1988) 各1-4号	各号	¥3,240
	総目次 vol. 1-40 (1932-1981)		¥3,240
	Vol. 48-62 (1989-2003) 各1-6号	各号	¥3,240
	第51回大会 (1992)		¥3,240
	第52回大会 (1993)		¥3,240
	第57回学会大会 プログラム・抄録集 (1998)		¥3,240
	第58回学会大会 プログラム・抄録集 (1999)		¥3,240
	第59回学会大会 プログラム・抄録集 (2000)		¥3,240
	＊Vol.63 no.1 (2004)から、Orthodontic Waves（英文誌）と Orthodontic Waves-Japanese Edition（日本語版）を別途発行		
740	**日本救急医学会雑誌 Journal of Japanese Association for Acute Medicine**		
	Vol. 19#1-7,9-12 (2008); 20#1-3 (2009); 21#1,11,12 (2010)	各号	¥1,543
	Vol. 19#8 (2008); 20#8 (2009); 21#8 (2010); 22#8 (2011)	各号	¥2,057
	Vol. 22#1-12 (2011)	各号	¥1,543
741	**日本救急医学会関東地方会雑誌（日本救急医学会関東地方会）**		
	Vol. 16#2; 17#1,2; 18#1 (1995-1997)	各号	¥4,320
	Vol. 22; 23 (2001-2002)	各巻	¥4,320
742	**日本救急看護学会雑誌（日本救急看護学会）**		
	Vol. 9#2 (2007)		¥4,320
	Vol. 10#1-3 (2008/2009)	各号	¥4,320
	Vol. 11#1-2 (2009)	各号	¥4,320
	Vol. 12#1 (2010)		¥4,320
743	**日本救命医療研究会雑誌**		
	Vol. 10,11,13,14 (1995-1999)	各巻	¥4,320
744	**日本LCA学会誌 Journal of Life Cycle Assessment, Japan**		
	Vol. 1#1-3 (2005)	各号	¥4,320
	Vol. 2-7 (2006-2011) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 8#1,2 (2012)	各号	¥4,320

745	**日本レーザー歯学会誌（日本レーザー歯学会）**		
	Vol. 1-10 (1990-1999) 各1号	各号	¥5,400
	Vol. 11-18 (2000-2007) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 19-21 (2008-2010) 各1-3号	各号	¥5,400
	Vol. 22#1 (2011)		¥5,400
	Vol. 22#2/3 (2011)		¥5,400
	Vol. 23#1-3 (2012)	各号	¥5,400
	Vol. 24#1,2 (2013)	各号	¥5,400
	Vol. 25-27 (2014-2016) 各1-3号	各号	¥5,400
746	**日本ロービジョン学会誌（日本眼科紀要会）**		
	Vol. 2-4 (2001-2003)	各巻	¥3,240
747	**日本免疫学会総会・学術集会記録（日本免疫学会）**		
	Vol. 35-40 (2005-2011)	各巻	¥5,400
748	**日本未病システム学会雑誌（日本未病システム学会）**		
	Vol. 9#1 (2003)		¥2,160
	Vol. 12#2 (2006)		¥2,160
	Vol. 13#1 (2007)		¥2,160
	Vol. 14#1 (2008)		¥2,160
	Vol. 15#1,2 (2008/2009)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1 (2010)		¥2,160
749	**日本マイクロサージャリー学会会誌 Journal of Japanese Society of Reconstructive Microsurgery**		
	Vol. 20-23 (2007-2010) 各1-4号	各号	¥1,620
750	**日本未熟児新生児学会雑誌 Journal of Japan Society for Premature and Newborn Medicine**		
	Vol. 20#2.; 21#1-3; 22#1-3; 23#1-3; 24#1,2 (2008-2012)	各号	¥3,240
751	**日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会雑誌**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥2,160
	Vol. 1#2; 2#2 (2009-2010)	各号	¥1,620
752	**日本水処理生物学会誌（日本水処理生物学会）**		
	Vol. 28-43 (1992-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
753	**日本水処理生物学会誌 別巻（日本水処理生物学会）**		
	No. 13-25 (1993-2005)	各号	¥2,160
754	**日本門脈圧亢進症学会雑誌 Japanese Journal of Portal Hypertension**		
	Vol. 3#2; 4#1-4; 5#1,3,4; 6#1-4; 7#1-3; 8#2,4; 9#2 (1997-2003)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1-4; 12#1,2,4; 13#1-3; 14#1-4; 15#1-4; 16#1-3 (2005-2010)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1-4 (2011)	各号	¥3,240
755	**日本内分泌学会雑誌（日本内分泌学会）**		
	Vol. 82-89 (2006-2013) 各1-4号,特集号,増刊号	各号	¥3,240
756	**日本内科学会雑誌（日本内科学会）**		
	Vol. 105#1,2,4-9,11,臨時増刊号 (2016)	各号	¥2,160
	Vol. 1065#1,2,4,臨時増刊号 (2017)	各号	¥2,160

757　日本内視鏡外科学会雑誌（医学書院）

※Vol.1-3 (1996-1998)→JSES 内視鏡外科

Vol. 4#1 (1999) いま、腹腔鏡下胆嚢摘出摘出術困難例を考える		¥2,808
Vol. 4#2 (1999) 泌尿器科領域の腹腔鏡下手術の新しい展開..		¥2,808
Vol. 4#3 (1999) HALS:Hand-assisted Laparoscopic Surgery		¥2,808
Vol. 4#4 (1999) 食道疾患に対する内視鏡下手術の進歩		¥2,808
Vol. 4#5 (1999) 超音波凝固切開装置による内視鏡下手術の..		¥2,808
Vol. 4#6 (1999) 小児悪性腫瘍に対する内視鏡下手術		¥2,808
Vol. 5#1 (2000) 21世紀の内視鏡下手術の展望		¥2,808
Vol. 5#3 (2000) 手術既往例における内視鏡下手術		¥2,808
Vol. 5#5 (2000) 内視鏡下手術のクリニカルパス		¥2,808
Vol. 5#2,4,6 (2000)	各号	¥2,808
Vol. 6#1 (2001) 乳腺内視鏡外科手術の最前線		¥2,916
Vol. 6#2 (2001) 内視鏡下手術における癌のリンパ節郭清		¥2,916
Vol. 6#3 (2001)		¥2,916
Vol. 6#4 (2001) 婦人科領域における内視鏡下手術のup to date		¥2,916
Vol. 6#5 (2001) 内視鏡下手術のトレーニング・システム		¥2,916
Vol. 6#6 (2001) 内視鏡下手術における血管損傷の予防と対処法		¥2,916
Vol. 7#1 (2002) 大腸癌の腹腔鏡下手術-問題点は解決されたか？-		¥2,916
Vol. 7#2 (2002) 胸腔鏡下肺癌手術の現況		¥2,916
Vol. 7#3 (2002)		¥2,916
Vol. 7#4 (2002) 進行癌に対する内視鏡下手術		¥2,916
Vol. 7#5 (2002) 肝疾患に対する内視鏡下手術のUp to Date		¥2,916
Vol. 7#6 (2002) 泌尿器科悪性腫瘍の腹腔鏡下手術		¥2,916
Vol. 8#1 (2003) Robotic Surgery		¥2,916
Vol. 8#2 (2003) 内視鏡外科手術における技術認定		¥2,916
Vol. 8#3 (2003) 内視鏡下甲状腺・副甲状腺手術		¥2,916
Vol. 8#4 (2003) 下肢静脈瘤に対する内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離		¥2,916
Vol. 8#5 (2003) LigaSureTM新しい血管シーリングシステム		¥2,916
Vol. 8#6 (2003)		¥2,916
Vol. 9#1 (2004) 胸腔鏡下交感神経遮断術の現況と展望		¥2,916
Vol. 9#2 (2004)		¥2,916
Vol. 9#3 (2004) 各科における内視鏡下手術のトレーニング		¥2,916
Vol. 9#4 (2004) 胃癌に対する内視鏡外科		¥2,916
Vol. 9#5 (2004) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査―第7回集計結		¥2,916
Vol. 9#6 (2004) 内視鏡下脊椎手術の進歩		¥2,916
Vol. 9#7 (2004) 第17回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
Vol. 10#1 (2005) 妊孕能温存と妊娠継続を考慮した内視鏡手術		¥2,916
Vol. 10#2 (2005) 乳腺内視鏡外科手術の適応とその限界		¥2,916
Vol. 10#3 (2005) 小児に対する内視鏡下手術-up to date-		¥2,916
Vol. 10#4 (2005)		¥2,916
Vol. 10#5 (2005) エピドラスコピー		¥2,916
Vol. 10#6 (2005) 食道内視鏡外科		¥2,916
Vol. 11#1 (2006) 消化器一般外科における技術認定-審査の実際と採点		¥2,916
Vol. 11#2 (2006) 泌尿器科，産婦人科，整形外科，呼吸器外科における		¥2,916
Vol. 11#3 (2006) 下肢静脈瘤に対する内視鏡手術の現状と進歩		¥2,916
Vol. 11#4 (2006)		¥2,916
Vol. 11#5 (2006) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査-第8回集計		¥2,916
Vol. 11#6 (2006) 呼吸器疾患を中心とした胸腔鏡下手術のPros and Con		¥2,916
Vol. 11#7 (2006) 第19回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
Vol. 12#1 (2007)		¥2,916
Vol. 12#2 (2007) 腹部救急疾患に対する腹腔鏡下手術		¥2,916
Vol. 12#3 (2007) 婦人科疾患に対する腹腔鏡下手術における関連科と		¥2,916
Vol. 12#4 (2007)		¥2,916
Vol. 12#5 (2007) 嚢胞性疾患と内視鏡下手術		¥2,916
Vol. 12#6 (2007)		¥2,916
Vol. 12#7 (2007) 第20回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400

	Vol. 13#1 (2008) 進行大腸癌に対する腹腔鏡下手術 新たなる展開		¥3,024
	Vol. 13#2 (2008) 腹腔鏡下胃癌手術における工夫		¥3,024
	Vol. 13#3 (2008) 甲状腺疾患に対する内視鏡下手術		¥3,024
	Vol. 13#4 (2008)		¥3,024
	Vol. 13#5 (2008)		¥3,024
	Vol. 13#6 (2008) 先端医療機器と内視鏡外科手術		¥3,024
	Vol. 13#7 (2008) 第21回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
	Vol. 14#1 (2009)		¥3,024
	Vol. 14#2 (2009) 臓器移植と内視鏡下手術		¥3,024
	Vol. 14#3 (2009)		¥3,024
	Vol. 14#4 (2009)		¥3,024
	Vol. 14#5 (2009)		¥3,024
	Vol. 14#6 (2009)		¥3,024
	Vol. 15#1 (2010)		¥3,024
	Vol. 15#2 (2010) 腹腔鏡補助下直腸癌手術症例の検討他		¥3,024
	Vol. 15#3 (2010)　腹腔鏡下胃手術における簡便で安全な肝挙上法		¥3,024
	Vol. 15#4 (2010)		¥3,024
	Vol. 15#5 (2010) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査		¥3,024
	Vol. 15#6 (2010)		¥3,024
	Vol. 15#7(2010) 第23回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
	Vol. 16#1-6 (2011)	各号	¥3,024
	Vol. 16#7 (2011) 第24回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
	Vol. 17#1-4 (2012)	各号	¥3,024
	Vol. 17#5 (2012) 内視鏡外科手術に関するアンケート調査―第11回集		¥3,024
	Vol. 17#6 (2012)		¥3,024
	Vol. 17#7 (2012) 第25回日本内視鏡外科学会総会抄録集		¥5,400
	Vol. 18#1-6 (2013)	各号	¥3,024
	Vol. 19#1-6 (2014)	各号	¥3,024
	Vol. 20#1-6 (2015)	各号	¥3,024
	Vol. 21#1-3 (2016)	各巻	¥3,024
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
758	**日本熱帯医学会雑誌（日本熱帯医学会）**		
	Vol. 16-31 (1988-2003) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,160
759	**日本認知症ケア学会誌（日本認知症ケア学会）**		
	Vol. 11-14 (2012/2013-2015/2016) 各1-4号	各号	¥2,777
760	**日本妊娠中毒症学会雑誌（日本妊娠中毒症学会）**		
	Vol. 2 (1994)		¥5,400
	Vol. 12-17 (2004-2009)	各巻	¥5,400
761	**日本の眼科（日本眼科医学）**		
	Vol. 68#1,2,4,6-8,10-12 (1997)	各号	¥2,160
	Vol. 69#1,3,5-12 (1998)	各号	¥2,160
	Vol. 70#1,2,4-12 (1999)	各号	¥2,160
	Vol. 71#1-8,10-12 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 72#1,3,4,6,9,11,12 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 73#2-5,7-9,11 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 74-87 (2003-2016) 各1-12号	各号	¥2,160
762	**日本農芸化学会誌（日本農芸化学会）**		
	Vol. 74-78 (2000-2004) 各1-12	各号	¥1,944

763	**日本農村医学会雑誌**		
	Vol. 30-43 (1981/1982-1994/1995) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 44#2-4 (1995/1996)	各号	¥2,160
	Vol. 46#1,2,4-6 (1997/1998)	各号	¥2,160
	Vol. 47-48 (1998/1999-1999/2000)	各号	¥2,160
	Vol. 49#1,3-6 (2000/2001)	各号	¥2,160
	Vol. 50#1-6,特別号 (2001/2002)	各号	¥2,160
	Vol. 51-54 (2002/2003-2005/2006) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 55#1-5 (2006/2007)	各号	¥2,160
	Vol. 56-57 (2007/2008-2008/2009) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 58#1-4 (2009)	各号	¥2,160
764	**日本尿路結石症学会誌 Japanese Society on Urolothiasis Research**		
	Vol. 2#1; 3#2; 4#2 (2003-2005)	各号	¥2,160
765	**日本音楽療法学会誌 Japanese Journal of Music Therapy**		
	Vol. 1#1 (2001)		¥3,240
	Vol. 4#2 (2004)		¥3,240
	Vol. 6#2 (2006)		¥3,240
	Vol. 7#1 (2007)		¥3,240
	Vol. 8#1,2 (2008)	各号	¥3,240
766	**日本音響学会誌（日本音響学会）**		
	Vol. 56-65 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥1,620
767	**日本温泉気候物理医学会雑誌**		
	Vol. 65#3,4; 66#2-4; 67#1-4;68#2-4 (2002-2005)	各号	¥2,700
	Vol. 69-71 (2005-2008) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 72#1,2; 73#2,4; 74#3; 75#1 (2008-2011)	各号	¥2,700
768	**日本応用動物昆虫学会誌（日本応用動物昆虫学会）**		
	Vol. 40-53 (1996-2009) 各1-4号	各号	¥1,080
769	**日本応用数理学会論文誌（日本応用数理学会）**		
	Vol. 1-13 (1991-2003) 各1-4号	各号	¥1,080
	Vol. 16-24 (2006-2012) 各1-4号	各号	¥1,080
770	**日本ペインクリニック学会誌 Journal of Japan Society of Pain Clinicians**		
	Vol. 15#2,3 (2008); 16#1,2,4 (2009); 17#1,4 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 18#3 (2011); 19#2,4 (2012); 20#1 (2013)	各号	¥2,160
771	**日本パラプレジア医学会雑誌（日本パラプレジア医学会）**		
	Vol. 8,9,11,12 (1995-1999) 各1号	各号	¥6,480
772	**日本プランクトン学会報（日本プランクトン学会）**		
	Bulletin of Plankton Society of Japan		
	Vol. 1-11 (1953-1964) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 12 (1965)		¥4,320
	Vol. 13 (1966)		¥5,400
	Vol. 14 (1967)		¥3,240
	Commemoration number of Dr. Y. Matsue (1967)		¥5,400
	Vol. 15-21 (1968-1974) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 22#1/2 (1975)		¥6,480
	Vol. 23-43 (1976-1996) 各1-2号	各号	¥3,240
	30th Anniversary volume (1984)		¥3,240
	Vol. 44#1/2 (1997)		¥6,480
	Vol. 45-49 (1998-2002) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 50#1 (2003)		¥3,240
	Vol. 51-54 (2004-2007) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 55#1 (2008)		¥3,240

773 **日本プライマリ・ケア連合学会誌（日本プライマリ・ケア連合学会）**

Vol. 33#2-4 (2010)	各号	¥2,700
Vol. 34#1-4 (2011)	各号	¥2,700
Vol. 35#1-3 (2012)	各号	¥2,700
Vol. 36#3 (2013)		¥2,700
Vol. 37#1-4 (2014)	各号	¥2,700
Vol. 38#2-4 (2015)	各号	¥2,700

774 **日本リモートセンシング学会誌 Journal of the Remote Sensing Society of Japan**

Vol. 7#1-3 (1987)	各号	¥2,700
Vol. 8-14 (1988-1994) 各1-4号	各号	¥2,700
Vol. 15-19 (1995-1999) 各1-5号	各号	¥2,700
Vol. 20#1-4 (2000)	各号	¥2,700
Vol. 21-23 (2001-2003) 各1-5号	各号	¥2,700
Vol. 24#1-4 (2004)	各号	¥2,700
Vol. 25-30 (2005-2010) 各1-5号	各号	¥2,700

775 **日本レオロジー学会誌（日本レオロジー学会）**

Vol. 1-29 (1973-2001) 各1-4号	各号	¥2,700

776 **日本臨床（日本臨牀社）**

Vol. 58-68 (2000-2010) 各1-12号	各号	¥2,700

777 **日本臨床バイオメカニクス学会誌（日本臨床バイオメカニクス学会）**

Vol. 22, 24-29 (2001-2008)	各巻	¥10,800

778 **日本臨床バイオメカニクス学会プログラム・抄録集（日本臨床バイオメカニクス学会）**

第34回,35回,36回,37回 (2007-2011)	各冊	¥6,480

779 **日本臨床微生物学雑誌（日本臨床微生物学会）**

Vol. 19#1-4; 20#1; 21#1-4 (2009-2011)	各号	¥1,296

780 **日本臨床外科学会雑誌（日本臨床外科学会）**

Vol. 61-73 (2000-2012) 各1-12号	各号	¥1,080
Vol. 61-71 (2000-2010) 各増刊号	各号	¥3,240

781 **日本臨床検査自動化学会会誌 Japanese Journal of Clinical Laboratory Automation**

Vol. 21#1-3,5,6 (1996)	各号	¥3,240
Vol. 22#1-3,5,6 (1997)	各号	¥3,240
Vol. 22#4 (1997)		¥5,400
Vol. 23#1-3,5,6,7 (1998)	各号	¥3,240
Vol. 23#4 (1998)		¥5,400
Vol. 24#1-3,5,6 (1999)	各号	¥3,240
Vol. 25#1,2 (2000)	各号	¥3,240
Vol. 33-34 (2008-2009) 各1-5号	各号	¥3,240
Vol. 35#1-3 (2010)	各号	¥3,240

782 **日本臨床矯正歯科医会雑誌（日本臨床矯正歯科医会）**

Vol. 1-11 (1989-1999) 各1号	各号	¥3,240
Vol. 12-26 (2000/01-2014/2015) 各1-2号	各号	¥3,240

783 **日本臨床救急医学会雑誌（日本臨床救急医学会）**

Vol. 1#2 (1998)		¥2,160
Vol. 2#1-4 (1999)	各号	¥2,160
Vol. 3-7 (2000-2004) 各1-5号	各号	¥2,160
Vol. 8-12 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥2,160
Vol. 13#1-6,増刊号 (2010)	各号	¥2,160
Vol. 14-16 (2011-2013) 各1-6号	各号	¥2,160
Vol. 17#1-3 (2014)	各号	¥2,160

784	**日本臨床麻酔学会誌（日本臨床麻酔学会）**		
	Vol. 29-30 (2009-2010) 各1-7号	各号	¥3,240
785	**日本臨床免疫学会会誌 Japanese Journal of Clinical Immunology（日本臨床免疫学会）**		
	Vol. 33#3,5,6 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 34-36 (2011-2013) 各1-6号	各号	¥1,620
786	**日本臨床内科医会会誌 The Journal of Japan Physicians Association（日本臨床内科医会）**		
	Vol. 11#1,2,4,5,7 (1996)	各号	¥2,160
	Vol. 12#1,4,7 (1997)	各号	¥2,160
	Vol. 14#1,2,5-7 (1999/2000)	各号	¥2,160
	Vol. 15#2,4 (2000)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,2,4,5 (2001/2002)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,2,4,5 (2001/2002)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1-5 (2002/2003)	各号	¥2,160
	Vol. 18#1,4,5 (2003/2004)	各号	¥2,160
	Vol. 19-20 (2004-2006) 各1-5号	各号	¥2,160
	Vol. 21#1-3 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 23#1 (2008)		¥2,160
	Vol. 25#2,3 (2010)	各号	¥2,160
787	**日本臨床細胞学会雑誌（日本臨床細胞学会）**		
	Vol. 43#補冊2 (2004)		¥2,700
	Vol. 44#5,補冊1,2 (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 45#3,4,補冊2 (2006)	各号	¥2,700
	Vol. 46#2-6,補冊1,2 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 47#1-6,補冊1,2 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 48#1-6,補冊1,2 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 49#1-6,補冊1,2 (2010)	各号	¥2,700
788	**日本臨床心理士会雑誌（日本臨床心理士会）**		
	No. 37-82 (2003-2017)	各号	¥2,160
789	**日本臨床歯周病学会会誌（日本臨床歯周病学会）**		
	Vol. 1-26 (1983-2008)	各巻	¥2,160
	Vol. 27-33 (2009-2015) 各1-2号	各号	¥2,160
790	**日本臨床スポーツ医学会誌（日本臨床スポーツ医学会）**		
	Vol. 2#4 (1994)		¥3,240
	Vol. 5#4 (1997)		¥3,240
	Vol. 11#4 (2003)		¥3,240
	Vol. 12#1,2,4 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 13-21 (2005-2013) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 22#1-3 (2014)	各号	¥3,240
	Vol. 23#3 (2015)		¥3,240
	Vol. 24#1,2,4 (2016)	各号	¥3,240
791	**日本ロボット学会誌（日本ロボット学会）**		
	Vol. 1-26 (1983-2008) 各1-8号	各号	¥2,700
	Vol. 29#1-10 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 30#1-10 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 32#1,2 (2012)	各号	¥2,700
792	**日本老年泌尿器科学会誌（日本老年泌尿器科学会）**		
	Vol. 17,18,20-23 (2004-2010)	各巻	¥2,160

793	**日本老年医学会雑誌（日本老年医学会）**		
	Vol. 48-51 (2011-2014) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,160
	Vol. 52#Supplement (2015)		¥2,160
	Vol. 53#2,3,Supplement (2016)	各号	¥2,160
794	**日本老年看護学会 学術集会抄録集（日本老年看護学会）**		
	第9回-第10回 (2004-2005)	各号	¥2,160
795	**日本旅行医学会学会誌（日本旅行医学会）**		
	Vol. 1#1 (2003)		¥3,240
	Vol. 3#1,2 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 4#1 (2006)		¥3,240
	Vol. 7#2 (2009)		¥3,240
796	**日本緑化工学会研究発表会 研究発表要旨集（日本緑化工学会）**		
	第28回 (1997)		¥5,400
	第30回 (1999)		¥5,400
797	**日本緑化工学会誌（日本緑化工学会）**		
	Vol. 20-36 (1994/95-2010/11) 各1-4号	各号	¥2,160
798	**日本災害医学会会誌（日本災害医学会）**		
	Vol. 28-47 (1980-1999) 各1-12号, 臨時増刊号	各号	¥2,160
799	**日本災害看護学会誌（日本災害看護学会）**		
	Vol. 1#1,2 (1999)	各号	¥2,052
	Vol. 2#1 (2000)		¥2,052
	Vol. 8-11 (2006/2007-2009/2010) 各1-3号	各号	¥2,052
	Vol. 12#1 (2010)		¥2,052
	Vol. 13#2,3 (2011/2012)	各号	¥2,052
	Vol. 14#1 (2012)		¥4,320
	Vol. 14#2,3 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 15#1 (2013)		¥4,320
	Vol. 15#2,3 (2013/2014)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1 (2014)		¥4,320
800	**日本細菌学雑誌（日本細菌学会）Japanese Journal of Bacteriology**		
	Vol. 32-49 (1977-1994) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 50-62 (1995-2007) 各1-4号	各号	¥4,860
	Vol. 63#1 (2008)		¥4,860
	Vol. 63#2/3/4 (2008)		¥4,860
	Vol. 64#1 (2009)		¥4,860
	Vol. 64#2/3/4 (2009)		¥4,860
	Vol. 65#1 (2010)		¥4,860
	Vol. 65#2/3/4 (2010)		¥4,860
	Vol. 66#1,2/3,4 (2011)	各号	¥4,860
	Vol. 67#1,2/3/4 (2012)	各号	¥4,860
	Vol. 68#1(2013)		¥4,860
	Vol. 69#1,3/4 (2014)	各号	¥4,860
	Vol. 70#1 (2015)	各号	¥4,860
	Vol. 71#第89回日本細菌学会総会プログラム集 (2016)	各号	¥4,860
801	**日本再生歯科医学会誌（日本再生歯科医学会）**		
	Vol. 1#1; 2#1,3; 3#1 (2003-2005)	各号	¥3,240
802	**日本作物学会記事（日本作物学会）**		
	Vol. 1-11,25-61,64-68,74 (197/29-2005) 各1-4号	各号	¥2,160
803	**日本産科婦人科内視鏡学会雑誌（日本産科婦人科内視鏡学会）**		
	Vol. 21-26 (2005-2010) 各1-2号	各号	¥3,240
804	**日本生物地理学会会報（日本生物地理学会）**		
	Vol. 1-29 (1929/30-1973)	各巻	¥5,400

805	**日本生物学的精神医学会誌（日本生物的精神医学会）**		
	Vol. 22-25 (2011-2014) 各1-4号	各号	¥3,024
806	**日本成人矯正歯科学会雑誌（日本成人矯正歯科学会）**		
	Vol. 11#2; 12#1; 13#2 (2004-2006)	各号	¥3,240
807	**日本整形外科超音波研究会会誌**		
	Vol. 7#1 (1995)		¥2,160
	Vol. 14#1 (2002)		¥2,160
	Vol. 19#1 (2007)		¥2,160
	Vol. 20#1 (2008)		¥2,160
808	**日本整形外科学会雑誌（日本整形外科学会）**		
	Vol. 86#1,4,5,7,9-12 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 86#2,3,6,8 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 87#4,5,9-12 (2013)	各号	¥1,620
	Vol. 87#2,3,6,8 (2013)	各号	¥2,700
	Vol. 88#1,4,5,7,9-12 (2014)	各号	¥1,620
	Vol. 88#2,3,6,8 (2014)	各号	¥2,700
	Vol. 89#1,4,5,7,9-12 (2015)	各号	¥1,620
	Vol. 89#2,3,6,8 (2015)	各号	¥2,700
	Vol. 90#1,4,5,7,9-12 (2016)	各号	¥1,620
	Vol. 90#2,3,6,8 (2016)	各号	¥2,700
	Vol. 91#1 (2017)		¥1,620
809	**日本整形外科スポーツ医学会雑誌（日本整形外科スポーツ医学会）**		
	Vol. 5#1 (1986)		¥3,240
	Vol. 8#1,第15回抄録集 (1989)	各号	¥3,240
	Vol. 9#1-2,第16回抄録集 (1990)	各号	¥3,240
	Vol. 10#1-2,第17回抄録集 (1991)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1-2,第18回抄録集 (1992)	各号	¥3,240
	Vol. 12#1-2 (1993)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1-3 (1994)	各号	¥3,240
	Vol. 14-33 (1995-2013) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 36#2,3 (2016)	各号	¥3,240
810	**日本性機能学会雑誌（日本性機能学会）**		
	Vol. 23#1-3; 24#1-3; 25#1,2; 26#1-3 (2008-2011)	各号	¥2,160
811	**日本生理学雑誌 Journal of the Physiological Society of Japan（日本生理学会）**		
	Vol. 63-73 (2001-2011) 各1-12号	各号	¥1,080
812	**日本生理人類学会誌**		
	Vol. 1#2-4 (1996)	各号	¥2,160
	Vol. 2-12 (1997-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 13#1 (2008)	各号	¥2,160
813	**日本精神保健看護学会誌（日本精神保健看護学会）**		
	Vol. 1-16 (1992-2007)	各号	¥2,160
814	**日本生殖外科学会雑誌（日本生殖外科学会）**		
	Vol. 15#1; 16#1; 17#1 (2002-2004)	各号	¥2,160
815	**日本生殖内分泌学会雑誌（日本生殖内分泌学会）**		
	Vol. 9,13-15 (2004-2010)	各号	¥2,160

816	**日本生態学会誌（日本生態学会）**		
	Vol. 1-8 (1951/1952-1958)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 9-23 (1959-1973)　各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 24-34 (1974-1984)　各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 35#1-5 (1985/1986)	各号	¥2,700
	Vol. 36-63 (1986-201391)　各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 64#2,3 (2014)	各号	¥2,700
	Vol. 65-67 (2015-2017)　各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 68#1 (2018)		¥2,700
817	**日本生体磁気学会誌（日本生体磁気学会）**		
	Vol. 16#2; 20#2; 21#2 (2003-2008)	各号	¥2,160
	Vol. 18#1; 19#1; 22#1; 23#1 (2005-2010)	各号	¥4,320
818	**日本赤十字看護学会誌（日本赤十字看護学会）**		
	Vol. 1#1; 5#1; 6#1; 11#1,2; 12#1 (2001-2012)	各号	¥2,160
819	**日本脊椎脊髄病学会雑誌 The Journal of the Japan Spine Research Society**		
	Vol. 15#1; 18#1,4; 19#1; 20#2 (2004-2009)	各号	¥5,400
820	**日本船舶海洋工学会論文集（日本船舶海洋工学会）**		
	No. 3-5,8-15 (2006-2012)	各号	¥4,320
821	**日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌（日本摂食・嚥下リハビリテーション学会）**		
	Vol. 2-8 (1999-2004) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 9-16 (2005-2012) 各1-3号	各号	¥3,240
822	**日本社会精神医学会雑誌（日本社会精神医学会）**		
	Vol. 1#1 (1993)		¥2,700
	Vol. 2-13 (1993/1994-2004/2005) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 14#1-3,supplement (2005/2006)	各号	¥2,700
	Vol. 16#3 (2008)		¥2,700
823	**日本歯科衛生教育学会雑誌（日本歯科衛生教育学会）**		
品切	Vol. 1#1 (2011)		¥3,240
	Vol. 2-3 (2011/2012-2012/2013) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 4-7 (2013-2016) 各1-2号	各号	¥3,240
824	**日本歯科技工学会雑誌（日本歯科技工士学会会誌）（日本歯科技工学会）**		
	Vol. 1#1 (1980)		¥4,320
	Vol. 2#1-2 (1981)	各号	¥4,320
	Vol. 3-13 (1982-1992)　各1号	各号	¥4,320
	Vol. 14#1(特集号), 2 (1993)	各号	¥4,320
	Vol. 15-21 (1994-2000)　各1号	各号	¥4,320
	Vol. 22-28 (2001-2007)　各1-2号	各号	¥4,320
	学術大会プログラム 第9-13,15-19,21-29回 (1987-2007)	各冊	¥4,320
	Vol. 29#1-2 (2008)	各号	¥4,320
	Vol. 29#特別号 学術大会プログラム 第30回 (2008)		¥4,320
	Vol. 30#1-2 (2009/2010)	各号	¥4,320
	Vol. 30#特別号 学術大会プログラム 第31回 (2009)		¥4,320
	Vol. 31#1-2 (2010/2011)	各号	¥4,320
	Vol. 31#特別号 学術大会プログラム 第32回 (2010)		¥4,320
	Vol. 32#1-2 (2011/2012)	各号	¥4,320
	Vol. 32#特別号 学術大会プログラム 第33回 (2011)		¥4,320
	Vol. 33#1-2 (2012/2013)	各号	¥4,320
	Vol. 34#1-2 (2013/2014)	各号	¥4,320
	Vol. 35#1-2 (2014)	各号	¥4,320
	Vol. 36#1,特別号 (2015)	各号	¥4,320
	Vol. 37#1,2,特別号 (2016)	各号	¥4,320

825	**日本歯科保存学雑誌（日本歯科保存学会）**		
	Vol. 1#1 (1958)		¥4,320
	Vol. 2-20 (1959-1977) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 21-26 (1978-1983) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 27-28 (1984-1985) 各1-4号	各号	¥4,320
	総目次 Vol. 1-28 (1958-1985)		¥4,320
	Vol. 29-50 (1986-2007) 各1-6号,春季特別号・秋季特別号	各号	¥4,320
	総目次およびキーワード集 Vol. 29/47 (1986-2004)		¥4,320
	Vol. 51#1-6,春季特別号 (2008)	各号	¥4,320
	Vol. 52-58 (2009-2015) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 59#1-5 (2016)	各号	¥4,320
826	**日本歯科医学教育学会雑誌（日本歯科医学教育学会）**		
	Vol. 1-5 (1986-1990) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 6-20 (1990-2004/2005) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 21-31 (2005-2015) 各1-3号	各号	¥3,240
827	**日本歯科医療福祉学会雑誌（日本歯科医療福祉学会）**		
	Vol. 1,3-8,10,11 (1996-2006) 各1号	各巻	¥3,240
828	**日本歯科医療管理学会雑誌（日本歯科医療管理学会）**		
	Vol. 1-22#2 通刊1-33号 (1966/1967-1987/1988)	各号	¥3,240
	Vol. 23-27 (1988/1889-1992/1993) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 28#1/2 (1993)		¥6,480
	Vol. 29-30 (1994-1995) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 31-35 (1996/1997-2000) 各1-3号	各号	¥3,240
	38回大会プログラム・特別講演・一般講演要旨 (1997)		¥3,240
	40回総会・学術大会プログラム・抄録集 (1999)		¥3,240
	Vol. 36-51 (2001/2002-2016/2017) 各1-4号	各号	¥3,240
829	**日本歯科麻酔学会雑誌（日本歯科麻酔学会）**		
	Vol. 1-3 (1973-1975) 各1-2号	各号	¥4,320
	Vol. 4-9 (1976-1981) 各1-3号	各号	¥4,320
	Vol. 10-12 (1982-1984) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 13-23 (1985-1995) 各1-4号,抄録号	各号	¥4,320
	Vol. 21#特別号 (1993) 総目次と索引		¥4,320
	Vol. 24-28 (1996-2000) 各1-5号	各号	¥4,320
	Vol. 29#2-5 (2001)	各号	¥4,320
	Vol. 30-45 (2002-2017)　各1-5号	各号	¥4,320
830	**日本歯科人間ドック学会誌（日本歯科人間ドック学会）**		
	Vol. 1#1 (1999)		¥3,240
	Vol. 2#1 (2000)		¥3,240
	Vol. 5#1 (2010)		¥3,240
	Vol. 7#1 (2012)		¥3,240
	Vol. 8#1 (2013)		¥3,240
	Vol. 9#1 (2014)		¥3,240
	Vol. 10#1 (2015)		¥3,240
	Vol. 11#1 (2016)		¥3,240
831	**日本歯科理工学会誌（日本歯科理工学会）**		
	Vol. 29-35 (2010-2016) 各1-6号	各号	¥3,240
832	**日本歯科心身医学会雑誌（日本歯科心身医学会）**		
	Vol. 1-5 (1986-1990)　各1号	各号	¥3,240
	Vol. 6-14 (1991-1999)　各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 17#1 (2002)		¥3,240
	Vol. 18#2 (2003)		¥3,240
	Vol. 20#1-2 (2005)	各号	¥3,240

833	**日本歯科東洋医学会誌（日本歯科東洋医学会）**		
	Vol. 1-8 (1983-1990) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 9#1-2 (1990)	各号	¥3,240
	Vol. 10#1-2 (1991)	各号	¥3,240
	Vol. 11#1/2 (1992)		¥6,480
	日本歯科東洋医学会十周年記念学術大会プログラム (1992)		¥1,080
	Vol. 12#1/2 (1993)		¥6,480
	日本歯科東洋医学会10年のあゆみ (1993)		¥1,080
	Vol. 13#1/2 (1994)		¥6,480
	Vol. 14#1/2 (1995)		¥6,480
	Vol. 15 (1996)		¥6,480
	Vol. 16-19 (1997-2000)　各1-2号	各号	¥3,240
	第16回学術大会 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ"生きる・癒す" (1998)		¥1,080
	Vol. 20-24 (2001-2005) 各1/2号		¥6,480
	日本歯科東洋医学会20年のあゆみ (2005)		¥1,080
	Vol. 25#1/2 (2006); 26#1/2 (2008)	各巻	¥6,480
	Vol. 30-33 (2011-2014) 各1/2号	各巻	¥6,480
	Vol. 35#1/2 (2016)		¥6,480
834	**日本史研究（日本史研究会）**		
	No. 17,22,23,54,58,59,71,81,90-498 (1952-2004)	各号	¥972
835	**日本色彩学会誌（日本色彩学会）**		
	Vol. 27#2-4,Supplement (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 28-31 (2004-2007) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,700
	Vol. 32#2 (2008)		¥2,700
836	**日本歯内療法学会雑誌（旧:日本臨床歯内療法学会雑誌）（日本歯内療法学会）**		
	Vol. 1-9 (1980-1988) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 11#1 (1990)		¥3,240
	Vol. 12-23 (1991-2002) 各1-2号	各号	¥3,240
	21回学術大会プログラム抄録集 (2000)		¥3,240
	Vol. 24#1/2 (2003)		¥6,480
	Vol. 24#3 (2003)		¥3,240
	Vol. 25-37 (2004-2016)　各1-3号	各号	¥3,240
837	**日本神経精神薬理学雑誌（日本神経精神薬理学会）**		
	Vol. 1-10 (1981-1990)	各号	¥2,160
	Vol. 11-17,20-37 (1991-2017) 各1-6号	各号	¥2,160
838	**日本心血管インターベンション学会誌（日本心血管インターベンション学会）**		
	Vol. 15-24 (2000-2009) 各1-6号	各号	¥3,240
839	**日本心理学会発表論文集（日本心理学会）**		
	第33回-36,38-40,42,43,45,47-49,52,56,61,68-69,72,74 (1969-2010)	各冊	¥8,640
840	**日本森林学会誌（日本森林学会）**		
	Vol. 87-91 (2005-2009) 各1-6号	各号	¥2,160
841	**日本心理臨床学会 大会発表論文集（広島大学）**		
	第3回-第9回 (1984-1990)	各回	¥6,480
	第13回-第14回 (1994-1996)	各回	¥6,480
842	**日本心療内科学会誌（日本心療内科学会）**		
	Vol. 18#1-4 (2014)	各号	¥2,160
843	**日本心臓病学会誌（日本心臓病学会）**		
	Vol. 1-6 (2008-2011) 各1-3,Supplement	各号	¥4,320

844	**日本歯周病学会会誌（日本歯周病学会）**		
	Vol. 1-4 (1959-1962)　各1号	各号	¥2,160
	Vol. 5-17 (1963-1975)　各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 18-24 (1976-1982)　各1-4号	各号	¥2,160
	総目次 Vol. 1-22 (1959-1980)		¥2,160
	Vol. 25-56 (1983-2014)　各1-4号	各号	¥3,240
	春季特別号・秋季特別号 Vol. 29-58 (1987-2016)	各号	¥3,240
845	**日本消化器病学会雑誌**		
	Vol. 107-109 (2010-2012) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥1,620
	Vol. 110#1-7,臨時増刊号 (2013)	各号	¥1,620
846	**日本消化器がん検診学会雑誌**		
	Vol. 49#2,5,6,Supplement (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 50#1,2,3,5,6 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 51#1,2,3,4 (2013)	各号	¥2,700
847	**日本消化器内視鏡学会雑誌 = Gastroenterological Endoscopy**		
	Vol. 54#4-12 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 54#Supplement2 第84回総会抄録集 (2012)		¥2,160
	Vol. 55#1-12 (2013)	各号	¥1,620
	Vol. 55#Supplement1 第85回総会抄録集 (2013)		¥2,160
	Vol. 55#Supplement2 第86回総会抄録集 (2013)		¥2,160
	Vol. 56#1-12 (2014)	各号	¥1,620
	Vol. 56#Supplement1 第87回総会抄録集 (2014)		¥2,160
	Vol. 56#Supplement2 第88回総会抄録集 (2014)		¥2,160
	Vol. 57#1-8 (2015)	各号	¥1,620
	Vol. 57#Supplement1 第89回総会抄録集 (2015)		¥2,160
	Vol. 57#Supplement2 第90回総会抄録集 (2015)		¥2,160
848	**日本職業アレルギー学会雑誌 Occupational and Environmental Allergy（日本職業アレルギー学会）**		
	Vol. 4#2; 5#2; 6#2; 7#1,2; 8#1; 10#2; 11#1 (1997-2003)	各号	¥2,160
849	**日本職業・災害医学会会誌（日本職業・災害医学会）**		
	Vol. 28-47 (1980-1999) 各1-12号,増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 48-51 (2000-2003) 各1-6号,増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 59-60 (2011-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
850	**日本食品保蔵科学会誌**		
	Vol. 1-27 (1975-2001) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 28-38 (2002-2012) 各1-6号	各号	¥2,700
851	**日本食品科学工学会誌**		
	Vol. 50-59 (2003-2012) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 60#1-2 (2013)	各号	¥2,160
852	**日本小児アレルギー学会誌（日本小児アレルギー学会）**		
	Vol. 18#3; 19#5; 20#1-3; 21#1,2,3,5; 22#5 (2004-2008)	各号	¥1,620
	Vol. 20#4; 21#4; 22#4 (2006-2008)	各号	¥3,240
	Vol. 24#2-5; 25#1,2; 26#1-5; 27#1-4 (2010-2013)	各号	¥3,240
853	**日本小児循環器学会雑誌 Pedoatric Cardiology and Cardiac Surgery**		
	Vol. 24#3 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 25#16 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 26#1-5,Supplement June, Supplement September (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 27#1-6,Supplement (2010)	各号	¥2,160

854	**日本小児科学会雑誌**		
	Vol. 112#1-12 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 113#1,2,4-12 (2009)	各号	¥2,700
	Vol. 114#1-12 (2010)	各号	¥2,700
	Vol. 115#1-12 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 116#1-12 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 117#1-8,11 (2013)	各号	¥2,700
855	**日本小児看護学会誌 (日本小児看護学会誌)**		
	Vol. 8-11 (1999-2002) 各1-2号,学術集会	各号	¥2,160
	Vol. 15-17 (2006-2008) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 18-21 (2009-2012) 各1-3号	各号	¥2,160
856	**日本小児救急医学会雑誌 (日本小児救急医学会)**		
	Vol. 1#2; 2#1,2; 3#1; 5#2; 8#3 (2003-2009)	各号	¥2,160
857	**日本小児臨床薬理学会雑誌 (日本小児臨床薬理学会)**		
	Vol. 10-13,15-18 (1997-2005) 各1号	各巻	¥3,240
	Vol. 14#2 (2001)		¥3,240
858	**日本集中治療医学会雑誌 (日本集中治療医学会)**		
	Vol. 13#2,3,4 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 14-17 (2007-2010) 各1-6,Supplement	各号	¥2,160
	Vol. 18#1,3,4,Supplement (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1,2,Supplement (2012)	各号	¥2,160
859	**日本周産期・新生児医学会雑誌 (日本周産期・新生児医学会)**		
	Vol. 43#1,別冊 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 43#2,4 (2007)	各号	¥6,480
	Vol. 44#1,3 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 44#2 (2008)		¥6,480
	Vol. 45#1,3,別冊 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 45#2,4 (2009)	各号	¥6,480
	Vol. 46#1,3,別冊 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 46#2,4 (2010)	各号	¥6,480
	Vol. 47#1,3,Supplement (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 47#2,4 (2011)	各号	¥6,480
	Vol. 48#1,3 (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 48#2 (2012)		¥6,480
860	**日本草地学会誌 (日本草地学会)**		
	Vol. 51-58 (2005-2012) 各1-4号	各号	¥2,160
861	**日本咀嚼学会雑誌　咀嚼と健康 (日本咀嚼学会)**		
	Vol. 11-15 (2001/2002-2005) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 16#1 (2006)		¥5,400
	Vol. 17-23 (2007-2013) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 25#1 (2015)		¥5,400
862	**日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 (日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会)**		
	Vol. 21 No.3 (2005)		¥3,240
863	**日本数値流体力学会誌 (日本数値流体力学会)**		
	Vol. 2-4 (1993/94-1995/96) 各1-4号	各号	¥1,620
864	**日本数学教育学会誌 (日本数学教育学会誌)**		
	Vol. 1-83 (1919-2001)	各巻	¥12,960
	Vol. 84-91 (2002-2009) 各1-12号	各号	¥1,620
865	**日本数学教育学会誌 臨時増刊 数学教育学論究 (日本数学教育学会誌)**		
	Vol. 45-78 (1986-2002)	各巻	¥1,728
	Vol. 83,86,93,94 (2004-2009)		¥1,728

866	**日本水産学会誌（日本水産学会）**		
	Vol. 1-14 (1932-1948)　各1-6号	各号	¥1,620
	Vol. 15-39 (1949-1973) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 40-51 (1974-1985) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 52-59 (1986-1993) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 60-67 (1994-2001) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 68-77 (2002-2011) 各1-6号	各号	¥4,320
	Vol. 78#1-5 (2012)	各号	¥4,320
	Vol. 79#4-6 (2013)	各号	¥4,320
	Vol. 80#1 (2014)		¥4,320
867	**日本水産学会秋季大会(日本農学大会水産部会)講演要旨集（日本水産学会）**		
	Year 2007, 2009, 2010	各年	¥8,640
868	**日本水産学会春季大会(日本農学大会水産部会)講演要旨集（日本水産学会）**		
	Year 2007-2010	各年	¥8,640
869	**日本小児循環器学会雑誌 Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery**		
	Vol. 24#3 (2008)		¥2,160
	Vol. 25#1-6 (2009)	各号	¥2,160
870	**日本集団災害医療研究会誌 Japanese Journal of Disaster Medicine**		
	Vol. 1#1; 2#1; 3#2; 4#1,2 (1996-2000)	各号	¥1,728
	Vol. 5-10 (2001-2006) 各1-3号	各号	¥1,728
	Vol. 11#1,2; 13#3; 14#1-3; 15#1 (2006-2010)	各号	¥1,728
871	**日本体育学会**		
	第37回大会号A,B (1986)	各号	¥5,400
	第41回大会号B (1990)		¥5,400
	第52回,54回,55回,56回 (2001-2005)	各号	¥5,400
872	**日本手の外科学会雑誌（日本手の外科学会雑誌）**		
	Vol. 1-27 (1984/85-2010) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,160
	Vol. 28#1 (2011)		¥2,160
873	**日本頭蓋顎顔面外科学会誌（日本頭蓋顎顔面外科学会）**		
	Vol. 19#2,3; 20#1-3; 23#4; 24#1-4; 25#1-4; 26#2 (2003-2010)	各号	¥2,160
874	**日本統計学会誌（日本統計学会）**		
	Vol. 1-39 (1970/71-2009) 各1-3号	各号	¥3,240
875	**日本統計年鑑（総務庁統計局）**		
	Vol. 4,9,11,13,15-53 (1952-2005)	各巻	¥5,400
876	**日本糖尿病教育・看護学会誌（日本糖尿病教育・看護学会）**		
	Vol. 3-8 (1999-2004) 各1-2号	各号	¥2,592
877	**日本糖尿病眼学会誌**		
	Vol. 11-14 (2005-2008)	各巻	¥4,320
878	**日本東洋医学雑誌（日本東洋医学会）**		
	Vol. 1-30,32-37,39-63 (1950-2012) 各1-6号,別冊	各号	¥3,240
	Vol. 64#1,2,別冊 (2013)		¥3,240
879	**日本東洋心身医学研究（日本東洋心身医学研究会）**		
	Vol. 9-11,13-17,19 (1994-2004) 各1/2号	各巻	¥3,240
	Vol. 24-28,30 (2009-2013,2015) 各1/2号	各巻	¥3,240
880	**日本運動生理学雑誌（日本運動生理学会）**		
	Vol. 1-20 (1994-2013) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 21#1 (2014)		¥3,240
881	**日本運動器疼痛研究会誌（日本運動器疼痛研究会）**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥3,240
882	**日本バーチャルリアリティ学会論文誌**		
	Vol. 10-12 (2005-2007) 各1-4号	各号	¥3,780

883	**日本バーチャルリアリティ学会誌（日本バーチャルリアリティ学会）**		
	Vol. 10-12 (2005-2007) 各1-4号	各号	¥4,860
884	**日本薬局方フォーラム（日本公定書協会）**		
	Vol. 10-12,17 (2001-2008) 各1-4号	各号	¥2,700
885	**日本薬物脳波学会雑誌（日本薬物脳波学会）**		
	Vol. 1-11 (1999-2010) 各1号	各号	¥2,160
886	**日本薬理学雑誌（日本薬理学会）**		
	Vol. 115-142 (2000-2013) 各1-6号	各号	¥972
887	**日本腰痛研究会雑誌（日本腰痛研究会）**		
	Vol. 2,5-8,10-11,13-15 (1996-2009) 各1号	各号	¥2,160
888	**日本在宅医学会雑誌（日本在宅医学会）**		
	Vol. 1#1 (2000)		¥3,240
	Vol. 2#1,2 (2000/2001)	各号	¥3,240
	Vol. 5#2 (2004)		¥3,240
	Vol. 6-8 (2004/2005-2006/2007) 各1-2号	各号	¥3,240
889	**日本全身咬合学会雑誌（日本全身咬合学会）**		
	Vol. 1-5 (1995-1999) 各1号	各号	¥5,400
	第2回学術大会プログラム (1994)		¥3,240
	第8回学術大会プログラム・抄録集 (1998)		¥3,240
	Vol. 6-12 (2000-2006) 各1-2号	各号	¥5,400
	第10回学術大会プログラム・抄録集 (2000)		¥3,240
	第11回学術大会プログラム・抄録集 (2001)		¥3,240
	第13回学術大会「咬合と脳活動」プログラム・抄録集 (2003)		¥3,240
	第16回学術大会プログラム・抄録集 (2006)		¥3,240
	Vol. 13#1 (2007)		¥5,400
	Vol. 14-16 (2008-2010) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 17#1/2 (2011)		¥5,400
	Vol. 18#1/2 (2012)		¥5,400
	Vol. 19-21 (2013-2015) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 22#1 (2016)		¥5,400
890	**新潟医療福祉学会誌**		
	Vol. 3#1,2 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 4#1 (2004); 5#1 (2005); 6#1 (2006); 7#1 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 8#1,2 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 9#2 (2009)		¥3,240
	Vol. 10-11 (2010-2011) 各1-2号	各号	¥3,240
891	**Niigata Journal of Health and Welfare**		
	Vol. 9-10 (2009-2010) 各1号	各号	¥3,240
892	**日経ヘルスケア21（日経BP社）**		
	No. 164-172,225-257 (2003-2011)	各号	¥2,160
893	**日経メディカル（日経BP社）**		
	No. 424,425,434-553 (2003-2013)	各号	¥823
	No. 554-565 (2014年1-12月)	各号	¥840
	No. 566-577 (2015年1-12月)	各号	¥840
	No. 578-589 (2016年1-12月)	各号	¥840
	No. 590-598 (2017年1-9月)	各号	¥840

894	**日経サイエンス（日経サイエンス社）**		
	Vol. 41#1 (2011)		¥1,543
	Vol. 41#2-12 (2011)	各号	¥1,440
	Vol. 42#1 (2012)		¥1,543
	Vol. 42#2-12 (2012)	各号	¥1,440
	Vol. 43#1 (2013)		¥1,543
	Vol. 43#2-12 (2013)	各号	¥1,440
	Vol. 44-46 (2014-2016) 各1-12号	各号	¥1,440
895	**認知科学（日本認知科学会）**		
	Vol. 1#1,2; 2#3; 9#2,3; 10#1,2,4; 11#1-3; 12#2,3 (1994-2005)	各号	¥2,700
	Vol. 13#1-3; 14#2,4; 15#1,2; 16#3; 18#2-4; 19#1,2,4 (2006-2012)	各号	¥2,700
896	**認知療法研究（日本認知療法学会）**		
	Vol. 1-3 (2008-2010)	各巻	¥2,160
	Vol. 4-7 (2011-2014) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 8#1 (2015)		¥2,160
897	**認知神経科学 Japanese Journal of Cognitive Neuroscience（認知神経科学会）**		
	Vol. 1#2 (1999)		¥3,240
	Vol. 2#1,2 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 3-9 (2001-2007) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 3#supplement (2001)		¥3,240
	Vol. 11#1,2,3/4 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 12#1,2 (2010)		¥3,240
	Vol. 13#1 (2011)		¥3,240
898	**認知症ケア事例ジャーナル（日本認知症ケア学会）**		
	Vol. 2#2 (2009)		¥1,851
	Vol. 3-8 (2010/2011-2015/2016) 各1-4号	各号	¥1,851
899	**認知運動療法研究（日本認知運動療法研究会）**		
	No. 3-8 (2003-2008)	各号	¥4,320
900	**人間ドッグ（日本人間ドック学会）**		
	Vol. 20#1-4 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 20#5; 21#1-4 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 21#5; 22#1-4 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 22#5-6; 23#1-4 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 23#5; 24#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 24#増刊号 (2010)		¥3,240
	Vol. 25#5,6 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 26#1-4 (2012)	各号	¥3,240
901	**人間性心理学研究**		
	No. 8-9 (1990-1991)	各号	¥3,240
	Vol. 10-11 (1992-1993) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 12#1 (1994)		¥3,240
	Vol. 13#1,2 (1995)	各号	¥3,240
	Vol. 14#1 (1996)		¥3,240
	Vol. 15#1,2 (1997)	各号	¥3,240
902	**人間総合科学会誌（人間総合科学大学人間総合科学会）**		
	Vol. 1#1 (2005)		¥2,160
	Vol. 2#2 (2006)		¥2,160
	Vol. 3-5 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥2,160
903	**西日本皮膚科（日本皮膚科学会西部支部）**		
	Vol. 69#1-6 (2007)	各号	¥1,620
	Vol. 70#1-6 (2008)	各号	¥1,620

904	**西日本泌尿器科（日本泌尿器科学会西日本連合地方会）**		
	Vol. 70#増刊号 (2008)		¥3,240
	Vol. 71#1-12 (2009)	各号	¥1,080
	Vol. 72#1-12 (2010)	各号	¥1,080
	Vol. 72#増刊号 (2010)		¥3,240
	Vol. 73#1-3,9-12 (2011)	各号	¥1,080
	Vol. 73#増刊号 (2011)		¥3,240
	Vol. 74#1-9 (2012)	各号	¥1,080
905	**脳波と筋電図（日本脳波・筋電図学会）**		
	Vol. 1#1-2 (1973)	各号	¥2,160
	Vol. 2-23 (1994-1995) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 24-27 (1996-1999) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 28-　→臨床神経生理学		
906	**脳循環代謝：日本脳循環代謝学会機関誌（日本脳循環代謝学会）**		
	Vol. 10#1,2 (1998)	各号	¥2,700
	Vol. 11#1-4,supplement (1999/2000)	各号	¥2,700
	Vol. 12-19 (2000-2007) 各1-4号,supplement	各号	¥2,700
	Vol. 20#1,2 (2008/2009)	各号	¥2,700
	Vol. 22#1 (2010)		¥2,700
907	**脳科学とリハビリテーション（脳機能とリハビリテーション研究会）**		
	Vol. 3,4,5,7 (2003-2007)	各巻	¥1,296
908	**脳卒中（日本脳卒中学会）**		
	Vol. 10-13 (1988-1991) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 14#1-7 (1992)	各号	¥3,240
	Vol. 15-20 (1993-1998) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 21-28 (1999-2006) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 29-31 (2007-2009) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 32#1-5 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 34#1 (2012)		¥3,240
	Vol. 35#2,5,6 (2013)	各号	¥3,240
	Vol. 36#2,3 (2014)	各号	¥3,240
909	**農村研究（東京農業大学農業経済学会）**		
	No. 90 (2000)		¥2,160
	No. 92-93 (2001)	各号	¥2,160
	No. 94 (2002)		¥2,160
	No. 99-100 (2004-2005)	各号	¥2,160
	No. 102-103 (2006)	各号	¥2,160
	No. 104-105 (2007)	各号	¥2,160
	No. 106-107 (2008)	各号	¥2,160
	No. 108-109 (2009)	各号	¥2,160
	No. 110 (2010)		¥2,160
910	**脳の科学（星和書店）**		
	Vol. 22,24-25 (2000-2003) 各1-12号	各号	¥2,160
911	**脳神経外科ジャーナル（日本脳神経外科コングレス）**		
	Vol. 1-21 (1992-2012) 各1-12,Supplement	各号	¥2,097
	Vol. 1-2 (1992-1993) 各1-4号	各号	¥2,097
	Vol. 3-5 (1994-1996) 各1-6号	各号	¥2,097
	Vol. 6-20 (1997-2011) 各1-12号	各号	¥2,097
	Vol. 21#2,3,Supplement (2012)	各号	¥2,097
	Vol. 17#s; 18#s; 19#s2; 20#s,s2; 21#s (2008-2012)	各号	¥2,097
	Vol. 17#Supplement1 (2008)		¥2,097

912	**脳卒中の外科（日本脳卒中の外科研究会）**		
	Vol. 15-24,26-38 (1987-2010) 各1-6号	各巻	¥2,365
913	**脳と発達（日本小児神経学会）**		
	Vol. 38-45 (1997-2013) 各1-6号,総会号	各号	¥1,620
914	**脳と循環（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 1-8 (1996-2003) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 9-18 (2004-2001) 各1-3号	各号	¥2,160
915	**Nurse Station ナースステーション（医学書院）**		
	Vol. 1#1-4 (1971)	各号	¥1,620
	Vol. 2#1-4 (1972)	各号	¥1,620
	Vol. 3#1-4 (1973)	各号	¥1,620
	Vol. 4#1-3 (1974)	各号	¥1,620
	Vol. 5#1,2,4 (1975)	各号	¥1,620
	Vol. 6#1-4 (1976)	各号	¥1,620
	Vol. 7#1-4 (1977)	各号	¥1,620
	Vol. 8#2-4 (1978)	各号	¥1,620
	Vol. 9#1,2,4 (1978)		¥1,620
	Vol. 10#1,2,4 (1980)		¥1,620
	Vol. 11-20 (1981-1990) 各1-4号	各号	¥1,620
916	**ナーシングカレッジ（医学芸術社）**		
	Vol. 1#0,1-9 (1997)	各号	¥1,080
	Vol. 2#1,2,4-13 (1998)	各号	¥1,080
	Vol. 3#1-13 (1999)	各号	¥1,080
	Vol. 4#1-14 (2000)	各号	¥1,080
	Vol. 5#1-15 (2001)	各号	¥1,080
	Vol. 6#1-3,5,6,8,10-12,14-19,21 (2002)	各号	¥1,080
	Vol. 7#1-7,9-16,18-21 (2003)	各号	¥1,080
	Vol. 8#1,3-14 (2004)	各号	¥1,080
	Vol. 9#1-3 (2005)	各号	¥1,080
	Vol. 9#4-14 (2005)	各号	¥946

917 Nursing Today ナーシング トゥデイ（日本看護協会出版会）

Vol. 1#1-9 (1986)	各号	¥972
Vol. 2-3 (1987-1988) 各1-12号	各号	¥972
Vol. 4#2-12 (1989)	各号	¥972
Vol. 5#1-6,8-12 (1990)	各号	¥972
Vol. 6-9 (1991-1994) 各1-12号	各号	¥972
Vol. 10#1-10,12,13 (1995)	各号	¥972
Vol. 10#11 (1995) ケアに生かせる新しい臨床看護研究		¥1,620
Vol. 11#1-10,12,13 (1996)	各号	¥972
Vol. 11#11 (1996) 最新「がん看護の知識と技術」		¥1,620
Vol. 12#1 (1997) 医療を社会へ開く『患者よ、がんと闘うな』		¥972
Vol. 12#2 (1997) 患者とともにつくる看護計画		¥972
Vol. 12#3 (1997) Q&A現場で困ったときの法律活用術 Part.3		¥972
Vol. 12#4 (1997) 効率的なカンファレンスの工夫		¥972
Vol. 12#5 (1997) あなたもなれる言葉遣いの達人		¥972
Vol. 12#6 (1997) 臨時増刊号 まるごと一冊勤務表！		¥1,620
Vol. 12#7 (1997) NT版 看護大学・大学院便覧		¥972
Vol. 12#8 (1997) 院内教育：有効活用へのアプローチ		¥972
Vol. 12#9 (1997) 褥創ケアの気になる疑問に答えます！		¥972
Vol. 12#10 (1997) ベテランナースのよりどころ ナースの法則200		¥972
Vol. 12#11 (1997) 腰痛 ナースのための予防と対策		¥972
Vol. 12#12 (1997) ナースの心をノックする”患者さん”の法則50		¥972
Vol. 12#13 (1997) 最新 がん患者のペインマネジメント		¥972
Vol. 12#14 (1997) 臨時増刊号 患者主体の症状マネジメント		¥1,620
Vol. 13#1 (1998) 看護アセスメントに使えるME機器活用法Part.1		¥972
Vol. 13#2 (1998) 看護アセスメントに使えるME機器活用法Part.2		¥972
Vol. 13#3 (1998) 宮子あずさ+森津純子の「癒し」をめぐる対話		¥972
Vol. 13#4 (1998) 誰もが気になる薬の疑問50		¥972
Vol. 13#5 (1998) 患者からの暴力		¥972
Vol. 13#6 (1998) 臨時増刊号 クリティカル・パスの使い方		¥1,620
Vol. 13#7 (1998) 看護に役立つ？インターネット		¥972
Vol. 13#8 (1998) こんな雑誌が. . 世界の看護雑誌総めぐり		¥972
Vol. 13#9 (1998) 看護技術..特別編 Part.1 安全な浣腸の技術		¥972
Vol. 13#10 (1998) 看護技術..特別編 Part.2 安全な吸引の技術		¥972
Vol. 13#11 (1998) せん妄患者対応マニュアル		¥972
Vol. 13#12 (1998) 臨時増刊号 CSマネジメント入門		¥1,620
Vol. 13#13 (1998) 自己決定 患者への情報開示と看護		¥972
Vol. 13#14 (1998) 看護と宗教		¥972
Vol. 14#1 (1999) 今年、看護界を賑わす19のテーマ		¥972
Vol. 14#2 (1999) 結核が怖い！増える感染症事故と患者への対応		¥972
Vol. 14#3 (1999) あなたは満足？いまの職場		¥972
Vol. 14#4 (1999) ナースのためのシネマ・ライブラリー		¥972
Vol. 14#5 (1999) 代替医療-西洋医学は万能か		¥972
Vol. 14#6 (1999) 臨時増刊号 気負わずに始めよう！How to「事例検討		¥1,620
Vol. 14#7 (1999)「看護必要度」って何？		¥972
Vol. 14#8 (1999) 知っておきたい「治験」のしくみ		¥972
Vol. 14#9 (1999) ケアマネジャーになろう！		¥972
Vol. 14#10 (1999) <保存版>外国人への看護		¥972
Vol. 14#11 (1999) どうしたらいい？ナースの子育て		¥972
Vol. 14#12 (1999) 臨時増刊号 先輩ナースから学ぶME機器の使い方		¥1,620
Vol. 14#13 (1999) 褥創スキャンダル		¥972
Vol. 14#14 (1999) 最終チェック2000年問題		¥972
Vol. 15#1 (2000) ナースが創る病院		¥972
Vol. 15#2 (2000)「事故報告書」の生かし方		¥972
Vol. 15#3 (2000)「知っ得!介護保険」最終回スペシャル介護保険が日本		¥972
Vol. 15#4 (2000) 創刊15周年記念特集 看護の''進化''		¥972

	税込価格
Vol. 15#5 (2000) 症状体験を聴く	¥972
Vol. 15#6 (2000) 臨時増刊号 学会の楽しみ方・活かし方・創り方	¥1,620
Vol. 15#7 (2000) クリティカル・パス作成に欠かせないもの	¥972
Vol. 15#8 (2000) 看護をめぐるデータ白書	¥972
Vol. 15#9 (2000) 転倒・転落を防ぐ	¥972
Vol. 15#10 (2000) 世代間ギャップを克服する	¥972
Vol. 15#11 (2000) チーム作りのためのレシピ	¥972
Vol. 15#12 (2000) 臨時増刊号 看護事故の教訓	¥1,620
Vol. 15#13 (2000) 告知を受ける''家族''への配慮	¥972
Vol. 15#14 (2000) 介護保険が変える!理想の入退院	¥972
Vol. 16#1 (2001) 21世紀を乗り切るために読んでおきたい-羅針盤として	¥972
Vol. 16#2 (2001) 患者のこころがわかる15話-ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞの基本を学ぶ	¥972
Vol. 16#3 (2001) 今年も新人がやってくる!-先輩ナースとして知っておき	¥972
Vol. 16#4 (2001) 「自己学習」成功への道-NT版・看護研究のすすめ方	¥972
Vol. 16#5 (2001) あなたの力になります!プリセプターへの応援歌	¥972
Vol. 16#6 (2001) 5月臨増 こうして防ぐ輸液事故	¥1,620
Vol. 16#7 (2001) ナースが「離職」を考えるとき-先輩たちの選択	¥972
Vol. 16#8 (2001) 「栄養サポートチーム(NST)」がもたらす8つの恩恵	¥972
Vol. 16#9 (2001) 在宅で本当に活かせる退院指導	¥972
Vol. 16#10 (2001) 知っておきたい「基本とコツ」安全な点滴管理	¥972
Vol. 16#11 (2001) 「副作用のない抗がん治療」を知っていますか？	¥972
Vol. 16#12 (2001) 10月臨増 バイタルサインの捉え方 34事例収録!	¥1,620
Vol. 16#13 (2001) 医療の質を見直せる患者用クリティカル・パス	¥972
Vol. 16#14 (2001) 2001年NTが選ぶ今年活躍したナースたち	¥972
Vol. 17#1 (2002) 小泉首相は,何を考えているの?	¥1,080
Vol. 17#2 (2002) 脳卒中の急性期リハビリ最前線	¥1,080
Vol. 17#3 (2002) 新人ナースのための予薬のルール	¥1,080
Vol. 17#4 (2002) Q&A輸血業務完全マスター	¥1,080
Vol. 17#5 (2002) 医療・看護の新しい常識	¥1,080
Vol. 17#6 (2002) 5月臨増 やってはいけない!人工呼吸管理50	¥1,620
Vol. 17#7 (2002) 一般病棟のナースはどこまで心電図が読めればいいの	¥1,080
Vol. 17#8 (2002) わかりやすさ・説得力をアップする書く,話すコツ	¥1,080
Vol. 17#9 (2002) <10月実施>「褥瘡対策未実施減算」って何?	¥1,080
Vol. 17#10 (2002) 医療行為との境界線	¥1,080
Vol. 17#11 (2002) 疾病予防・転等予防にも役立つメディカルフットケアの	¥1,080
Vol. 17#12 (2002) 10月臨増 きらりと光るケアの達人たち	¥1,620
Vol. 17#13 (2002) 日米比較・問題解決のヒントを探るこれが臨地実習の	¥1,080
Vol. 17#14 (2002) いまさら聞けない糖尿病インスリン治療の基礎	¥1,080
Vol. 18#1 (2003) ベットサイドから現在が見える	¥1,080
Vol. 18#2 (2003) 電子カルテで看護はこう変わる!	¥1,080
Vol. 18#3 (2003) かゆみのケア	¥1,080
Vol. 18#4 (2003) 4月から始める新人教育	¥1,080
Vol. 18#5 (2003) 教えて!他科のナースの得意技	¥1,080
Vol. 18#6 (2003) 5月臨増 糖尿病の患者さんによく聞かれる質問100	¥1,620
Vol. 18#7 (2003) ナースが対処すべき倫理的諸問題	¥1,080
Vol. 18#8 (2003) エッセンシャルメディシンとデビルピル	¥1,080
Vol. 18#9 (2003) ストレスと折り合いをつけるために	¥1,080
Vol. 18#10 (2003) 注射薬混合はナースの仕事か？	¥1,080
Vol. 18#11 (2003) 不眠への総合的アプローチ	¥1,080
Vol. 18#12 (2003) 10月臨増 ナースが本当に知りたいくすりの知識	¥1,620
Vol. 18#13 (2003) この冬に備える感染管理	¥1,080
Vol. 18#14 (2003) 院内研究の進め方	¥1,080
Vol. 19#1 (2004) 新しいチーム医療のあり方	¥1,080
Vol. 19#2 (2004) ケアとしてのエンゼルメイク（死化粧）	¥1,080
Vol. 19#3 (2004) 高齢患者を知るための60冊	¥1,080
Vol. 19#4 (2004) がんサバイバーへの看護	¥1,080
Vol. 19#5 (2004) 「看護必要度」で何が変わるの？	¥1,080

Vol. 19#6 (2004) 5月臨増 病棟でできる！痴呆ケア	¥1,620
Vol. 19#7 (2004) 在院日数短縮化の正しい常識	¥1,080
Vol. 19#8 (2004) CORD患者へのケア	¥1,080
Vol. 19#9 (2004) 海外文献からケアの根拠を探る	¥1,080
Vol. 19#10 (2004) 薬の相互作用	¥1,080
Vol. 19#11 (2004) 慢性疾患患者への新しい自己管理援助	¥1,080
Vol. 19#12 (2004) 10月臨増　急変の予測と回避	¥1,620
Vol. 19#13 (2004) 最近の経腸栄養をめぐるケア	¥1,080
Vol. 19#14 (2004) 痛みへのケア	¥1,080
Vol. 20#1 (2005)「患者のため」は患者のため？	¥1,080
Vol. 20#2 (2005)「起こす」看護を変える！	¥1,080
Vol. 20#3 (2005) 魅力的な病棟づくり	¥1,080
Vol. 20#4 (2005) ナースの基本ルール１ ～マナー編	¥1,080
Vol. 20#5 (2005) ナースの基本ルール２～ケア・業務編	¥1,080
Vol. 20#6 (2005) 5月臨増 一般病棟での緩和ケア	¥1,620
Vol. 20#7 (2005) 夜勤とうまくつき合おう	¥1,080
Vol. 20#8 (2005) 糖尿病患者のフットケア	¥1,080
Vol. 20#9 (2005) 急変サインを見抜く	¥1,080
Vol. 20#10 (2005) これからの臨地実習	¥1,080
Vol. 20#11 (2005) 入院中の患者のアレルギーへの対処	¥1,080
Vol. 20#12 (2005) 10月臨増 主訴・身体徴候と心電図	¥1,620
Vol. 20#13 (2005) ナースの健康・生活改善	¥1,080
Vol. 20#14 (2005) 認定看護師という選択	¥1,080
Vol. 21#1 (2006)「患者のみだしなみ」へのケア	¥1,188
Vol. 21#2 (2006) 感染対策に潜む感染リスク	¥1,188
Vol. 21#3 (2006) 自立への「排尿ケア」	¥1,188
Vol. 21#4 (2006) NSTに学ぶ患者の栄養サポート	¥1,188
Vol. 21#5 (2006) 口腔ケアのテクニック＆チームプレイ	¥1,188
Vol. 21#6 (2006) 5月臨増 がん看護専門看護師に聞く一般病棟でのが	¥1,944
Vol. 21#7 (2006) 培った経験を「トリアージ」に活かす	¥1,188
Vol. 21#8 (2006) ケースから考える夜間のケア	¥1,188
Vol. 21#9 (2006) ぜったい見逃せない、与薬のリスク	¥1,188
Vol. 21#10 (2006) みんなで考える転倒・転落防止	¥1,188
Vol. 21#11 (2006)「環境調整」の為の10のヒント	¥1,188
Vol. 21#12 (2006) 10月臨増 ケアの根拠100	¥1,944
Vol. 21#13 (2006)「不定愁訴」の落とし穴	¥1,188
Vol. 21#14 (2006)「スクイージング」の効果と目的	¥1,188
Vol. 22#1 (2007) はじめの一歩！リンパ浮腫のケア	¥1,188
Vol. 22#2 (2007) 経験いろいろ、研究いろいろ。 温めるケア	¥1,188
Vol. 22#3 (2007) ｸﾞﾘｰﾌｹｱとしてのｴﾝｾﾞﾙﾒｲｸ（死化粧）	¥1,188
Vol. 22#4 (2007) 看護形態機能学で納得！ バイタルサイン	¥1,188
Vol. 22#5 (2007) CPRの最新ガイドライン 心肺蘇生法を科学する	¥1,188
Vol. 22#6 (2007) 5月臨増 褥瘡予防・ｹｱのﾍﾞｽﾄﾌﾟﾗｸﾃｨｽ	¥1,944
Vol. 22#7 (2007) 最新！人工呼吸療法 一般病棟で必須の7つのﾄﾋﾟｯｸｽ	¥1,188
Vol. 22#8 (2007) だいじょうぶ？ 静脈注射 教わる新人・教える先輩	¥1,188
Vol. 22#9 (2007) 排液は語るドレーン管理のみどころ	¥1,188
Vol. 22#10 (2007) フットケア指導での対話 こう話せば伝わる 意識・行動	¥1,188
Vol. 22#11 (2007) 緩和ケアにおける意思決定支援	¥1,188
Vol. 22#12 (2007) 10月臨増 転倒・転落・骨折を防ごう！	¥1,944
Vol. 22#13 (2007) わかる！血液の病気とケア	¥1,188
Vol. 22#14 (2007) 入院患者のうつ 院内での予防と看護ケア	¥1,188
Vol. 23#1 (2008) これならできる！ 糖尿病患者へのケア 専門病棟でなく	¥1,188
Vol. 23#2 (2008) 脳卒中の初発症状を見逃さず、合併症を防ぐ 一般病	¥1,188
Vol. 23#3 (2008) リハビリ看護の今が知りたい！ 障害を抱えた患者を支	¥1,188
Vol. 23#4 (2008) エラー防止につなげる 新人ナースへの看護技術指導	¥1,188
Vol. 23#5 (2008) ここまではやってみよう！ 病棟での摂食・嚥下障害へ	¥1,188
Vol. 23#6 (2008) 5月臨増 急変の原因を見抜け その時ナースは何をす	¥1,944

	Vol. 23#7 (2008) “何かおかしい？”から始める せん妄「予測」と「予防」	¥1,188
	Vol. 23#8 (2008) 最新の治療に対応する 関節リウマチ患者の看護	¥1,188
	Vol. 23#9 (2008) お悩み解決！ PEGのカテーテル管理と退院時の患者	¥1,188
	Vol. 23#10 (2008) 早期対応と体制づくりで 廃用症候群は予防できる！	¥1,188
	Vol. 23#11 (2008) チームでやってみよう！ 効果を上げる退院支援	¥1,188
	Vol. 23#12 (2008) 10月臨増 チームで行うがん化学療法 安全・安楽な治	¥1,944
	Vol. 23#13 (2008) 不安に寄り添い、支援する C型肝炎患者の看護	¥1,188
	Vol. 23#14 (2008) 「いつもと違う！」に対応する 手術創・医療器具挿入	¥1,188
	Vol. 24#1 (2009) 基礎から学ぶ さまざまな患者への口腔ケア	¥1,188
	Vol. 24#2 (2009) こんな時どうする? がん性疼痛ケアQ&A	¥1,188
	Vol. 24#3 (2009) 虐待被害者へのケア 院内・院外連携の必要性	¥1,188
	Vol. 24#4 (2009) 新人の入ってくる春に見直す ナースの心構え	¥1,188
	Vol. 24#5 (2009) 一般病棟で行うクリティカルケア	¥1,188
	Vol. 24#6 (2009) 5月臨増 患者の選択を支えるために 最期まで考えるQ	¥1,944
	Vol. 24#7 (2009) ナースのケアでこれだけ変わるよ 心リハやってみよう!	¥1,188
	Vol. 24#8 (2009) 認定看護師が教える 栄養サポートと摂食・嚥下障害看	¥1,188
	Vol. 24#9 (2009) 災害時の実践看護 疾病・外傷の特徴とその対応	¥1,188
	Vol. 24#10 (2009) 学会資格でケアの技術向上を目指そう	¥1,188
	Vol. 24#11 (2009) 脳卒中看護から学ぶ “起きる”看護ケアプログラム	¥1,188
	Vol. 24#12 (2009) 10月臨増 病棟でもココまでできる 口腔ケア実践ガイド	¥1,944
	Vol. 24#13 (2009) 病棟でできる家族へのケア	¥1,188
	Vol. 24#14 (2009) これからの皮膚・排泄ケア	¥1,188
	Vol. 25#1 (2010) がん治療は最期まで緩和ケアは早期から	¥1,188
	Vol. 25#2 (2010) ここが知りたい、経腸栄養	¥1,188
	Vol. 25#3 (2010) 不要な吸引はするな! 危険性を再チェック	¥1,188
	Vol. 25#4 (2010) 3月臨増 認定看護17分野のトゥデイズ・ケア〈コレクショ	¥1,944
	Vol. 25#5 (2010) わかる! NPPV 導入時のケアと管理のポイント	¥1,188
	Vol. 25#6 (2010) “接遇”で患者・家族を癒す 知識や技術だけではない	¥1,188
	Vol. 25#7 (2010) 認定看護師から事例で学ぶ 認知症患者への対応方	¥1,188
	Vol. 25#8 (2010) “シナリオづくり”で学びを深める 急変対応のシミュレー	¥1,188
	Vol. 25#9 (2010) 事例でわかる! 創傷ケアの基本技術	¥1,188
品切	Vol. 25#10 (2010) セルフケア能力を高める看護 患者の生活が見える質	¥1,188
	Vol. 25#11 (2010) 9月臨増　ナースのための 臨床に生かせる薬の最	¥1,944
	Vol. 25#12 (2010) 日々の実践に生かす がん遺伝看護	¥1,188
	Vol. 25#13 (2010) “訪問看護”の魅力 患者・家族の“笑顔”に支えられて	¥1,188
	Vol. 25#14 (2010) 2011年の新人看護職員研修	¥1,188
	Vol. 26#1 (2011) 院内トリアージ 緊急度・重症度を見抜け!	¥1,512
	Vol. 26#2 (2011) 下肢救済 真のQOL向上をめざすフットケア	¥1,512
	Vol. 26#3 (2011) 成人科ナースに知ってほしい小児慢性疾患患者の移	¥1,512
	Vol. 26#4 (2011) 震災後を支える看護 心のケアを中心に	¥1,512
	Vol. 26#5 (2011) さまざまな形のエンドオブライフ 慢性疾患の最後を支え	¥1,512
品切	Vol. 26#6 (2011) ナースが変わる!患者教育改革　看護の教育的関わりモ	¥1,512
	Vol. 27#1 (2012) 一般病棟の認知症患者　日常生活と療養を支える	¥1,512
	Vol. 27#2 (2012) 高齢患者へのかかわり方ワンポイントアドバイス	¥1,512
	Vol. 27#3 (2012) 治療・ケア後に注意! 急変回避の法則	¥1,512
	Vol. 27#4 (2012) これからのストーマ管理 在宅・施設へ安全につなぐ	¥1,512
品切	Vol. 27#5 (2012) がん患者の意思決定支援入門	¥1,512
	Vol. 27#6 (2012) 糖尿病の併発 主疾患との相互性からアセスメントを深	¥1,512
	Vol. 28#1 (2013) 術中を知らなきゃわからない! 周術期ケア向上のコツ	¥1,512
	Vol. 28#2 (2013) 急変の“予測と対応”9つのポイント	¥1,512
	Vol. 28#3 (2013) 実践! エンド・オブ・ライフケア	¥1,512
	Vol. 28#4 (2013) 「つらくない」「痛くない」褥瘡ケア	¥1,512
	Vol. 28#5 (2013) 病院と在宅をつなぐ 高齢糖尿病患者への看護	¥1,512
	Vol. 28#6 (2013) がん患者への支持療法(supportive care)	¥1,512
	Vol. 29#1 (2014) 認知症をもつ入院患者へのケア　回復過程に応じた援	¥1,728
	Vol. 29#2 (2014) 見逃さない! 高齢者の急変	¥1,728
	Vol. 29#3 (2014) 病棟から在宅につなぐ緩和ケア	¥1,728

	Vol. 29#4 (2014) 疾患別「つらくない」「痛くない」褥瘡ケア		¥1,728
	Vol. 29#5 (2014) 糖尿病ケア　インシデント防止への取り組みと連携		¥1,728
	Vol. 29#6 (2014) がんの親と子どもをチームで支える		¥1,728
918	**乳癌の臨床（篠原出版新社）**		
	Vol. 1-4,11,12,14-25 (1986-2010) 各1-6号	各号	¥2,484
919	**乳幼児教育学研究（日本乳幼児教育学会）**		
	No. 2 (1993)		¥2,160
	No. 4-9 (1995-2000)	各号	¥2,160
	No. 11 (2002)		¥2,160
920	**お茶の水史学**		
	No. 49 (2005); 50 (2006); 51,52 (2008); 53 (2009); 54 (2010)	各号	¥1,296
921	**音楽知覚認知研究（日本音楽知覚認知学会）**		
	Vol. 4-6 (1998-2000) 各1-2号	各号	¥2,160
922	**音声言語医学（日本音声言語医学会）**		
	Vol. 3-48 (1962-2007) 各1-4号	各号	¥2,700
923	**温泉科学（日本温泉科学会）**		
	Vol. 4,7,9,12-44,51,53 (1949/51-2003/04) 各1-4号	各号	¥2,160
924	**オペナーシング（メディカ出版）**		
	Vol. 1#2-4 (1986)	各号	¥1,944
	Vol. 2-14 (1987-1999) 各1-12号	各号	¥1,944
	Vol. 15#1-14 (2000)	各号	¥1,944
	Vol. 17#4 (2002); 18#11,12 (2003); 19#12 (2004)	各号	¥1,944
	Vol. 20#1-3,5,6 (2005); 21#2,3,5 (2006)	各号	¥1,944
925	**オペレーションズ・リサーチ（日本オペレーションズ・リサーチ学会）**		
	Vol. 1-54 (1956/57-2009) 各1-12号	各号	¥998
926	**Oral Medicine and Pathology (The Japanese Society for Oral Pathology)**		
	Vol. 1-3 (1996-1998) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 4#2 (1999)		¥3,240
	Vol. 5#1 (2000)		¥3,240
	Vol. 9#3 (2004)		¥3,240
927	**Oral Radiology（日本歯科放射線学会）**		
	Vol. 1-7 (1985-1991) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 8#2 (1992)		¥2,160
	Vol. 9#1-2 (1993)	各号	¥2,160
	Vol. 10#1 (1994)		¥2,160
	Vol. 11#2 (1995)		¥2,160
	Vol. 12-23 (1996-2007) 各1-2号	各号	¥2,160
928	**Oral Science International（日本口腔科学会）**		
	Vol. 1-7 (2004-2010) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 8#1 (2011)		¥2,160
929	**Organ Biology（日本臓器保存生物医学会）**		
	Vol. 14#1,4 (2007)	各号	¥1,955
	Vol. 15#2,3,,4 (2008)	各号	¥1,955
	Vol. 16#1-4 (2009)	各号	¥1,955
	Vol. 17#1,2 (2010)	各号	¥1,955
930	**Orthodontic Waves（英文誌）（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 63-73 (2004-2014) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 74#1 (2015)		¥3,240

931	**Orthodontic Waves Japanese Edition・日本矯正歯科学会雑誌（日本矯正歯科学会）**		
	Vol. 63-73 (2004-2014) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 74-75 (2015-2016) 各1-2号	各号	¥3,240
	第65回学会大会プログラム・抄録集 (2006)		¥3,240
	第66回学会大会プログラム・抄録集 (2007)		¥3,240
	第67回学会大会プログラム・抄録集 (2008)		¥3,240
	第68回学会大会プログラム・抄録集 (2009)		¥3,240
	第69回学会大会プログラム・抄録集 (2010)		¥3,240
	第70回学会大会プログラム・抄録集 (2011)		¥3,240
	第71回学会大会プログラム・抄録集 (2012)		¥3,240
	第72回学会大会プログラム・抄録集 (2013)		¥3,240
	第73回学会大会プログラム・抄録集 (2014)		¥3,240
932	**大阪大学看護学雑誌（大阪大学医学部保健学科看護学専攻・大阪大学医学部附属病院看護部）**		
	Vol. 1-8 (1995-2002) 各1号	各号	¥3,240
933	**大阪府立看護大学紀要（大阪府立看護大学）**		
	Vol. 1-6 (1995-2000) 各1号	各号	¥3,240
934	**大阪透析研究会会誌（大阪透析研究会）**		
	Vol. 26#2; 27#1,2; 28#1,2 (2008-2010)	各号	¥2,160
935	**Osteoporosis Japan オステオポローシスジャパン 日本骨粗鬆症学会雑誌（ライフサイエンス出版）**		
	Vol. 2#3 (1994)		¥1,836
	Vol. 3#2,4 (1995)	各号	¥1,836
	Vol. 4#2,3,4 (1996)	各号	¥1,836
	Vol. 5#1,2,4 (1997)	各号	¥1,836
	Vol. 6#1-4 (1998)	各号	¥1,836
	Vol. 7#2,3,4 (1999)	各号	¥1,836
	Vol. 8#2,3,4 (2000)	各号	¥1,836
	Vol. 9#1-4,Supplement1 (2001)	各号	¥1,836
	Vol. 10#1-4 (2002)	各号	¥1,836
	Vol. 11#1-4,Supplement1, 別冊no.2 (2003)	各号	¥1,836
	Vol. 12#1-4,Supplement1 (2004)	各号	¥1,836
	Vol. 13#1,2,3,4,Supplement1 (2005)	各号	¥1,836
	Vol. 14#1-4,Supplement1 (2006)	各号	¥1,836
	Vol. 15#1-4,Supplement1 (2007)	各号	¥1,836
	Vol. 16#1-4 (2008)	各号	¥1,836
	Vol. 17#1-4,Supplement1 (2009)	各号	¥1,836
	Vol. 18#1-4,Supplement1 (2010)	各号	¥1,836
	Vol. 19#1-4 (2011)	各号	¥1,836
	Vol. 20#1-4 (2012)	各号	¥1,836
	Vol. 21#1-3 (2013)	各号	¥1,836
936	**Otology Japan（日本耳科学会）**		
	Vol. 1-22 (1991-2012) 各1-5号	各号	¥2,700
937	**奥羽大学歯学誌（奥羽大学歯学会）**		
	Vol. 25-28 (1998-2001) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 29#2,4 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 30#1,2; 31#4 (2003-2004)	各号	¥2,160
	Vol. 32#1-3 (2005)	各号	¥2,160
938	**応用地質（日本応用地質学会）**		
	Vol. 10-50 (1969-20090) 各1-6号	各号	¥2,160

939	**応用生態工学 Ecology and Civil Engineering (応用生態工学研究会)**		
	Vol. 1#1 (1998)		¥3,240
	Vol. 2-13 (1999-2010/2011) 各1-2号	各号	¥3,240
940	**応用心理学研究 (日本応用心理学会)**		
	Vol. 27-33 (2001-2007/2008) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 34#1,2,特集号 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 35-37 (2009/2010-2011/2012) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 38#1,2,特集号,3 (2012/2013)	各号	¥2,160
	Vol. 39-40 (2013/2014-2014/2015) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 41#1 (2015)		¥2,160
941	**応用数理 (日本応用数理学会)**		
	Vol. 16#3 (2006)	各号	¥1,892
	Vol. 17-21 (2007-2011) 各1-4号	各号	¥1,892
	Vol. 22#1-3 (2012)	各号	¥1,892
	Vol. 22#4 (2012)		¥1,440
	Vol. 23#1-4 (2013)	各号	¥1,440
	Vol. 24#1 (2014)	各号	¥1,440
942	**ペインクリニック (真興交易)**		
	Vol. 31-33 (20101-2012) 各1-12号	各号	¥2,469
	Vol. 34#5,6,7,9,11 (2013)	各号	¥2,469
	Vol. 35#1,2,6,7,9 (2014)	各号	¥2,469
	Vol. 37#1-12 (2016)	各号	¥2,469
	Vol. 28,29,31,33,37 (2007-2016) 別冊春号,別冊秋号	各号	¥5,143
943	**Pain Research 日本疼痛学会誌 (マイライフ社)**		
	Vol. 15#3 (2000)		¥2,700
	Vol. 16#1-3 (2001)	各号	¥2,700
	Vol. 17#3 (2002)		¥2,700
	Vol. 18#1,2,4 (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 19#2,5 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 23#4 (2008)		¥2,700
	Vol. 25#1 (2010)		¥2,700
944	**Palliative Care Research 日本緩和医療学会雑誌 (日本緩和医療学会)**		
	Vol. 2-4 (2007-2009)	各巻	¥3,240
945	**PDA Journal of GMP and Validation in Japan (日本PDA製薬学会)**		
	Vol. 1#1,2; 2#1; 3#1,2; 4#2; 7#2 (1999-2005)	各号	¥5,400
946	**Pediatric Dental Journal (International Journal of Japanese Society of Pediatric Dentistry)**		
	Vol. 1#1 (1991)		¥3,240
	Vol. 4#1 (1994)		¥3,240
	Vol. 5#1 (1995)		¥3,240
947	**ペドロジスト (日本ペドロジー学会)**		
	Vol. 1-38 (1957/58-1994) 各1-2号	各号	¥2,160
948	**ペリネイタルケア (メディカ出版)**		
	Vol. 20-22 (2001-2003) 各1-12号	各号	¥1,836
	Vol. 23-31 (2004-2012) 各1-12号	各号	¥1,944
	増刊号 Vol. 9,12,13,14,16,21,26 (1990-2007)	各号	¥4,320
949	**プチナース (照林社)**		
	Vol. 15#1-5,7-9,11-13,15 (2006)	各号	¥926
	Vol. 15#10,14 (2006)	各号	¥1,337
	Vol. 16#1-5,7-9,11-13,15 (2007)	各号	¥926
	Vol. 16#6 (2007)		¥1,337
	Vol. 17#,1,3,5 (2008)	各号	¥926

950	**Pharmacoanesthesiology (日本麻酔・薬理学会)**		
	Vol. 5-11 (1992-1998) 各1-2号	各号	¥3,240
	薬剤シンポジウム特集 第15回-19回総会編 (1994-1998)	各号	¥3,240
951	**Pharmstage ファームステージ (技術情報協会)**		
	Vol. 9#10,11 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 10#1-12 (2010)	各号	¥4,320
	Vol. 11#2-4,6-9 (2011)	各号	¥4,320
952	**Phosphorus Letter (日本無機リン化学会)**		
	No. 43 (2002)		¥4,320
	No. 59,60 (2007)	各号	¥4,320
	No. 69 (2010)		¥4,320
	No. 70 (2011)		¥4,320
953	**Plankton and Benthos Research (日本プランクトン学会・日本ベントス学会)**		
	Vol. 1-2 (2006-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 3#1 (2008)		¥2,160
954	**Plankton Biology and Ecology (日本プランクトン学会)**		
	Vol. 44#1/2 (1997)		¥6,480
	Vol. 45-52 (1998-2005) 各1-2号	各号	¥3,240
955	**Plant Biotechnology (日本植物細胞分子生物学会)**		
	Vol. 14#1-3 (1997)	各号	¥3,240
	Vol. 15#1-4 (1998)	各号	¥3,240
	Vol. 16#1-5 (1999)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1-4 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 18#1-4 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 19#1-5 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1-4 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1-5 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 22#1,2 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1-5 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 24#1-5 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 25#1-6 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 26#1-5 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-5 (2010)	各号	¥3,240
956	**Prosthodontic Research & Practice (日本補綴歯科学会)**		
	Vol. 1-4 (2002-2005) 各1号	各号	¥4,320
	Vol. 5-6 (2006-2007) 各1-4号	各号	¥4,320
	Vol. 7#1-2 (2008)	各号	¥4,320
957	**Pro-Vet (インターズー)**		
	No. 1-98 (1988-1996)	各号	¥2,160
	Vol. 7#臨時増刊号 (1994)		¥3,780
	Vol. 8#臨時増刊号 (1995)		¥5,400
958	**Quality nursing (文光堂)**		
	Vol. 1-10 (1995-2004) 各1-12号	各号	¥2,160
959	**レギュラトリーサイエンス学会誌 (レギュラトリーサイエンス学会)**		
	Vol. 1#1,2 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 2#3 (2012)		¥2,160
	Vol. 3#1,2 (2013)	各号	¥2,160

960 **リハビリテーション医学: The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (医学書院)**

Vol. 1#1,2 (1964)	各号	¥1,851
Vol. 2-13 (1965-1976) 各1-4号	各号	¥1,851
Vol. 2-13 (1965-1976) supplement 特別号	各号	¥3,086
Vol. 14#1-5 (1977)	各号	¥1,851
Vol. 14#supplement 特別号 (1977)		¥3,086
Vol. 15#1-4 (1978)	各号	¥1,851
Vol. 15#supplement 特別号 (1978)		¥3,086
Vol. 16-17 (1979-1980) 各1-5号	各号	¥1,851
Vol. 18-26 (1981-1989) 各1-6号	各号	¥1,851
Vol. 27#1-6 (1990)	各号	¥1,851
Vol. 27#7 (1990)		¥3,197
Vol. 28#1-10 (1991)	各号	¥1,572
Vol. 28#11-12 (1991)	各号	¥2,621
Vol. 29#1-10 (1992)	各号	¥1,572
Vol. 29#11-12 (1992)	各号	¥2,621
Vol. 30#1-10 (1993)	各号	¥1,572
Vol. 30#11-12 (1993)	各号	¥2,621
Vol. 31#1-10 (1994)	各号	¥1,572
Vol. 31#11-12 (1994)	各号	¥2,621
Vol. 32#1-10 (1995)	各号	¥1,888
Vol. 32#11-12 (1995)	各号	¥3,146
Vol. 33#1-10 (1996)	各号	¥1,888
Vol. 33#11-12 (1996)	各号	¥3,146
Vol. 34#1-3 (1997)	各号	¥1,888
Vol. 34#4-10 (1997)	各号	¥1,851
Vol. 34#11-12 (1997)	各号	¥3,086
Vol. 35#1-10 (1998)	各号	¥1,851
Vol. 35#11-12 (1998)	各号	¥3,086
Vol. 36#1-10 (1999)	各号	¥1,851
Vol. 36#11-12 (1999)	各号	¥3,086
Vol. 37#1-10 (2000)	各号	¥1,851
Vol. 37#11-12 (2000)	各号	¥3,086
Vol. 38#1-12 (2001)	各号	¥1,851
Vol. 38#Supplement (2001) 特別号 第38回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 39#1-12 (2002)	各号	¥1,851
Vol. 39#Supplement (2002) 特別号 第39回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 40#1-12 (2003)	各号	¥1,851
Vol. 40#Supplement (2003) 特別号 第40回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 41#1-12 (2004)	各号	¥1,851
Vol. 41#Supplement (2004) 特別号 第41回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 42#1-12 (2005)	各号	¥1,851
Vol. 42#Supplement (2005) 特別号 第42回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 43#1-12 (2006)	各号	¥1,851
Vol. 43#Supplement (2006) 特別号 第43回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 44#1-12 (2007)	各号	¥1,851
Vol. 44#Supplement (2007) 特別号 第44回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 45#1-12 (2008)	各号	¥1,851
Vol. 45#Supplement (2008) 特別号 第45回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 46#1-12 (2009)	各号	¥1,851
Vol. 46#Supplement (2009) 第46回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
Vol. 47#1-12 (2010)	各号	¥1,851

	Vol. 47#Supplement (2010) 第47回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
	Vol. 48#1-12 (2011)	各号	¥1,851
	Vol. 48#Supplement (2011) 第48回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
	Vol. 49#1-12 (2012)	各号	¥1,851
	Vol. 49#Supplement (2012) 第49回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
	Vol. 50#1-12 (2013)	各号	¥1,851
	Vol. 50#Supplement (2013) 第50回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,086
	Vol. 51#1-3 (2014)	各号	¥1,851
	Vol. 51#4/5 (2014)		¥3,801
	Vol. 51#6,7 (2014)	各号	¥1,900
	Vol. 51#8/9 (2014)		¥3,799
	Vol. 51#10-12 (2014)	各号	¥1,900
	Vol. 51#Supplement (2014) 第51回学術集会 プログラム・抄録集		¥3,100
	Vol. 52#1-3 (2015)	各号	¥1,900
	Vol. 52#4/5 (2015)		¥3,801
	Vol. 52#6,7 (2015)	各号	¥1,900
	Vol. 52#8/9 (2015)		¥3,801
	Vol. 52#10-12 (2015)	各号	¥1,900
	Vol. 52#Supplement (2015) 第52回日本リハビリテーション医学会学術集		¥3,100
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
961	**リハビリテイション心理学研究 (日本リハビリテイション心理学会)**		
	Vol. 27 (1999); 30 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 30#2 (2003); 33#1 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 34#1/2 (2007)		¥3,240
962	**霊長類研究 (日本霊長類学会)**		
	Vol. 1-8 (1985-1992) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 9-19 (1993-2003) 各1-3号	各号	¥5,400
	Vol. 20-23 (2004-2007) 各1-2号,Supplement	各号	¥5,400
	Vol. 27-28 (2011-2012) 各1-2号	各号	¥5,400
963	**歴史地理学 (歴史地理学会)**		
	Vol. 45-52 (2003-2010) 各1-5号	各号	¥2,160
964	**Reports of Faculty of Science, Shizuoka University (静岡大学理学部)**		
	Vol. 1-37,39,40 (1965/66-2006)	各号	¥4,320
	Special Volume, Special Volume 2 (1978,1988)	各号	¥4,320
965	**Reports of Liberal Arts and Science Faculty Shizuoka University (静岡大学文理学部研究報告. 自然科学)**		
	No. 2,5-10 (1951-1957)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1-5;3#1,3 (1957-1962)	各号	¥2,160
966	**Reproductive Immunology and Biology (日本生殖免疫学会)**		
	Vol. 18-20,22 (2003-2007) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 23#1 (2008)		¥3,240
967	**RESTEC (リモート・センシング技術センター)**		
	No. 29,35,36,38-54,56,57 (1992-2006)	各号	¥2,160

968　理学療法（メディカルプレス）

Vol. 1#1-4 (1984)	各号	¥1,620
Vol. 2-13 (1985-1996) 各1-6号	各号	¥1,620
Vol. 14-16 (1997-1999) 各1-12号	各号	¥1,620
Vol. 17#1 (2000)		¥3,024
Vol. 18#1 (2001)		¥3,240
Vol. 19#1 (2002)		¥4,320
Vol. 17-19 (2000-2002) 各2-12号	各号	¥1,620
Vol. 20#1 (2003)		¥3,240
Vol. 20#2-12 (2003)	各号	¥1,674
Vol. 21#1 (2004) ; Vol. 22#1 (2005)	各号	¥4,320
Vol. 21-22 (2004-2005) 各2-12号	各号	¥1,782
Vol. 23#1 (2006) ; Vol. 25#1 (2008)	各号	¥4,536
Vol. 24#1 (2007) ; Vol. 26#1 (2009) ; Vol. 27#1 (2010)	各号	¥4,320
Vol. 23-27 (2006-2010) 各2-12号	各号	¥1,836
Vol. 28-30 (2011-2013) 各1-12号	各号	¥1,836
Vol. 31-33 (2014-2016) 各1-12号	各号	¥1,890

969 理学療法ジャーナル・PTジャーナル（医学書院）理学療法と作業療法

Vol. 1#1-4 (1967)	各号	¥1,836
Vol. 2-4 (1968-1970) 各1-6号	各号	¥1,836
Vol. 5#1-7 (1971)	各号	¥1,836
Vol. 6#1-4,5/6,7 (1972)	各号	¥1,836
Vol. 7#1-12 (1973)	各号	¥1,836
Vol. 8#1-6,7/8,9-12 (1974)	各号	¥1,836
Vol. 9#1,2/3,4-12 (1975)	各号	¥1,836
Vol. 10-19 (1976-1985) 各1-12号	各号	¥1,836
Vol. 20#1-13 (1986)	各号	¥1,836
Vol. 21-28 (1987-1994) 各1-12号	各号	¥1,836
Vol. 29#1 (1995) 世界は今		¥1,836
Vol. 29#2 (1995) Duchenne型筋ジストロフィー		¥1,836
Vol. 29#3 (1995) 疼痛		¥1,836
Vol. 29#4 (1995) 脳卒中片麻痺に対する理学療法;15年の変遷		¥1,836
Vol. 29#5 (1995) 外来理学療法の再検討		¥1,836
Vol. 29#6 (1995) 運動発達障害;新生児からのアプローチ		¥1,836
Vol. 29#7 (1995) 関連領域-頭頸部の障害とリハビリテーション		¥1,836
Vol. 29#8 (1995) 骨・関節疾患のバイオメカにクスと理学療法		¥1,836
Vol. 29#9 (1995) カンファレンスの在り方		¥1,836
Vol. 29#10 (1995) 運動コントロールと運動学習		¥1,836
Vol. 29#11 (1995) 病棟訓練		¥1,836
Vol. 29#12 (1995) 廃用症候群と理学療法		¥1,836
Vol. 30#1 (1996) O2Kinetics		¥1,836
Vol. 30#2 (1996) 高齢脊髄損傷		¥1,836
Vol. 30#3 (1996) スポーツ外傷		¥1,836
Vol. 30#4 (1996) 脳卒中における実用歩行訓練		¥1,836
Vol. 30#5 (1996) 姿勢調節		¥1,836
Vol. 30#6 (1996) 高齢者と運動		¥1,836
Vol. 30#7 (1996) 地域リハと病院リハの連携-理学療法士の役割		¥1,836
Vol. 30#8 (1996) 理学療法における基礎研究		¥1,836
Vol. 30#9 (1996) 高次脳機能障害をもつ患者の理学療法		¥1,836
Vol. 30#10 (1996) 退院前指導とそのフォローアップ		¥1,836
Vol. 30#11 (1996) 特別養護老人ホームにおける理学療法		¥1,836
Vol. 30#12 (1996) 増大号 理学療法の展望		¥2,430
Vol. 30#13 (1996) 臨時増刊 総索引・総目次(第21～30巻)		¥1,080
Vol. 31#1 (1997) 整形外科系運動療法の新展開		¥1,728
Vol. 31#2 (1997) 4年制大学における理学療法教育		¥1,728
Vol. 31#3 (1997) チームワーク		¥1,728
Vol. 31#4 (1997) 脳卒中理学療法の効果		¥1,728
Vol. 31#5 (1997) 杖・歩行補助具		¥1,728
Vol. 31#6 (1997) 小児の理学療法		¥1,728
Vol. 31#7 (1997) 関連領域-腎障害と運動療法		¥1,728
Vol. 31#8 (1997) 急性期の理学療法		¥1,728
Vol. 31#9 (1997) 家屋改造とフォローアップ		¥1,728
Vol. 31#10 (1997) ひとり職場の運営		¥1,728
Vol. 31#11 (1997) 難病と理学療法		¥1,728
Vol. 31#12 (1997) プラトー?		¥1,728
Vol. 32#1 (1998) Welcome to the 13th WCPT Congress		¥1,728
Vol. 32#2 (1998) 合併障害をもつ片麻痺者の理学療法		¥1,728
Vol. 32#3 (1998) 転倒と骨折		¥1,728
Vol. 32#4 (1998) 動作分析		¥1,728
Vol. 32#5 (1998) ケアマネジメント		¥1,728
Vol. 32#6 (1998) 身体障害者スポーツ		¥1,728
Vol. 32#7 (1998) 臨床実習の課題と工夫		¥1,728
Vol. 32#8 (1998) 認知障害		¥1,728

	Vol. 32#9 (1998) 救急医療と理学療法	¥1,728
	Vol. 32#10 (1998) 産業理学療法	¥1,728
	Vol. 32#11 (1998) インフォームド・コンセント	¥1,728
	Vol. 32#12 (1998) 物理療法 今と昔	¥1,728
	Vol. 33#1 (1999) 脳卒中患者の体力	¥1,728
	Vol. 33#2 (1999) 最新・バイオフィードバック療法	¥1,728
	Vol. 33#3 (1999) 上肢帯機能障害と理学療法	¥1,728
	Vol. 33#4 (1999) 嚥下障害／熱傷	¥1,728
	Vol. 33#5 (1999) 学際的分野での理学療法士の研究活動	¥1,728
	Vol. 33#6 (1999) 最新・理学療法関連機器	¥1,728
	Vol. 33#7 (1999) 進行性疾患-QOL向上への取り組み	¥1,728
	Vol. 33#8 (1999) 中高年者のスポーツ障害	¥1,728
	Vol. 33#9 (1999) 脳科学の進歩と理学療法	¥1,728
	Vol. 33#10 (1999) 小児理学療法の動向	¥1,728
	Vol. 33#11 (1999) 関連領域-代謝疾患と理学療法	¥1,728
	Vol. 33#12 (1999) 予後予測	¥1,728
	Vol. 34#1 (2000) 理学療法士のアイデンティティー	¥1,782
	Vol. 34#2 (2000) ICUにおける理学療法	¥1,782
	Vol. 34#3 (2000) 臨床実習の課題と展望	¥1,782
	Vol. 34#4 (2000) 義足-新しい技術と適応	¥1,782
	Vol. 34#5 (2000) 認知と理学療法	¥1,782
	Vol. 34#6 (2000) 精神疾患をもつ患者の理学療法	¥1,782
	Vol. 34#7 (2000) 福祉機器の適用基準	¥1,782
	Vol. 34#8 (2000) 訪問リハビリテーションの実際	¥1,782
	Vol. 34#9 (2000) 早期理学療法-そのリスクと効果	¥1,782
	Vol. 34#10 (2000) 悪性腫瘍治療の進歩と理学療法	¥1,782
	Vol. 34#11 (2000) 脳卒中のバランス障害	¥1,782
	Vol. 34#12 (2000) 21世紀の理学療法教育	¥1,782
	Vol. 35#1 (2001) 整形外科疾患に対する外来運動療法	¥1,782
	Vol. 35#2 (2001) 公的介護保険	¥1,782
	Vol. 35#3 (2001) 回復期リハビリテーション病棟	¥1,782
	Vol. 35#4 (2001) 理学療法におけるパラダイム転換	¥1,782
	Vol. 35#5 (2001) EBP in Physical Therapy	¥1,782
	Vol. 35#6 (2001) 筋力再検討	¥1,782
	Vol. 35#7 (2001) 脊髄損傷-新しい下肢装具の活用	¥1,782
	Vol. 35#8 (2001) 病棟理学療法	¥1,782
	Vol. 35#9 (2001) 自営理学療法士の活動	¥1,782
品切	Vol. 35#10 (2001) リスクマネジメント	¥1,782
	Vol. 35#11 (2001) 症例報告	¥1,782
	Vol. 35#12 (2001) 理学療法の効果判定	¥1,782
	Vol. 35#13 (2001) 増刊号 総目次・著者索引(第21巻-35巻)CD附	¥2,700
	Vol. 36#1 (2002) 臨床現場にいかす障害構造・障害分類	¥1,782
	Vol. 36#2 (2002) 理学療法に関わる整形外科の最新知見	¥1,782
	Vol. 36#3 (2002) 介護保険制度下のリハビリテーション	¥1,782
	Vol. 36#4 (2002) バランス障害と理学療法	¥1,782
	Vol. 36#5 (2002) 高齢者の転倒	¥1,782
	Vol. 36#6 (2002) 低出生体重児の理学療法	¥1,782
	Vol. 36#7 (2002) 理学療法専門職の管理・運営とリーダーシップ	¥1,782
	Vol. 36#8 (2002) ファシリテーションは今	¥1,782
	Vol. 36#9 (2002) 新しい下肢装具	¥1,782
	Vol. 36#10 (2002) 医療事故管理	¥1,782
	Vol. 36#11 (2002) 超高齢者の骨・関節疾患の理学療法	¥1,782
	Vol. 36#12 (2002) 運動障害がある場合の内部障害への対応	¥1,782
	Vol. 37#1 (2003) 脳卒中片麻痺患者の歩行	¥1,836
	Vol. 37#2 (2003) 整形外科疾患のクリティカルパス	¥1,836
	Vol. 37#3 (2003) 医療保険・介護保険と理学療法	¥1,836
	Vol. 37#4 (2003) 理学療法教育施設の自己点検・評価	¥1,836

	Vol. 37#5 (2003) こどもの理学療法	¥1,836
	Vol. 37#6 (2003) “活動”水準を高める理学療法士の専門性	¥1,836
	Vol. 37#7 (2003) 物理療法の効果	¥1,836
	Vol. 37#8 (2003) 脳卒中の理学療法の展開	¥1,836
	Vol. 37#9 (2003) 早期理学療法	¥1,836
	Vol. 37#10 (2003) 身体と環境	¥1,836
	Vol. 37#11 (2003) 介護保険対応の理学療法	¥1,836
	Vol. 37#12 (2003)「注意」の障害に対する理学療法	¥1,836
	Vol. 38#1 (2004) 整形外科疾患に対する徒手的運動療法	¥1,836
	Vol. 38#2 (2004) 難病の理学療法	¥1,836
	Vol. 38#3 (2004) 物理療法の鎮痛作用	¥1,836
品切	Vol. 38#4 (2004) 脳血管障害による摂食・嚥下障害の理学療法	¥1,836
	Vol. 38#5 (2004) 理学療法モデル	¥1,836
	Vol. 38#6 (2004) ヘルスプロモーション	¥1,836
	Vol. 38#7 (2004) 生活機能向上のための理学療法	¥1,836
	Vol. 38#8 (2004) 移動動作（分析・介入・介助者への指導）	¥1,836
	Vol. 38#9 (2004) 運動療法の基礎	¥1,836
	Vol. 38#10 (2004) 診療報酬	¥1,836
	Vol. 38#11 (2004) 認知運動療法の適応と限界	¥1,836
	Vol. 38#12 (2004) 理学療法士の国際協力	¥1,836
	Vol. 39#1 (2005) 高齢者骨折の外科的治療と理学療法	¥1,836
	Vol. 39#2 (2005) 実践能力を高めるカリキュラム	¥1,836
	Vol. 39#3 (2005) 脳科学からみた理学療法の可能性と限界	¥1,836
品切	Vol. 39#4 (2005) 脳性麻痺	¥1,836
	Vol. 39#5 (2005) 回復期リハビリテーション病棟における理学療法	¥1,836
	Vol. 39#6 (2005) 介護老人保健施設における理学療法の課題	¥1,836
	Vol. 39#7 (2005) 介護予防動向―理学療法士はどうかかわるのか	¥1,836
	Vol. 39#8 (2005) 脳卒中の理学療法を再考する	¥1,836
	Vol. 39#9 (2005) 心臓外科治療の進歩と理学療法	¥1,836
	Vol. 39#10 (2005) 急性期に必要な薬物療法と理学療法	¥1,836
	Vol. 39#11 (2005) 精神障害者の理学療法	¥1,836
品切	Vol. 39#12 (2005) ボディイメージ	¥1,836
	Vol. 40#1 (2006) 臨床実習教育	¥1,836
	Vol. 40#2 (2006) 物理療法の有効性とリスク管理	¥1,836
品切	Vol. 40#3 (2006) 腰部・下肢関節疾患の理学療法−姿勢・動作の臨床的	¥1,836
	Vol. 40#4 (2006) 脳卒中治療ガイドラインと理学療法	¥1,836
	Vol. 40#5 (2006) 創傷治癒と理学療法	¥1,836
	Vol. 40#6 (2006) アスリートのための理学療法	¥1,836
	Vol. 40#7 (2006) 認知症へのアプローチ	¥1,836
	Vol. 40#8 (2006) 歩行練習	¥1,836
	Vol. 40#9 (2006) 理学療法と連携	¥1,836
	Vol. 40#10 (2006) 理学療法における運動療法と装具療法の融合	¥1,836
	Vol. 40#11 (2006) 緩和ケアとしての理学療法	¥1,836
	Vol. 40#12 (2006) 末梢循環障害と理学療法	¥1,836
	Vol. 40#13 (2006) 増刊号 理学療法の展望2006	¥2,700
	Vol. 41#1 (2007) 高齢者の運動療法の効果と限界	¥1,836
	Vol. 41#2 (2007)「腰痛症」の要因と理学療法	¥1,836
	Vol. 41#3 (2007) 臨床実習の具体的展開	¥1,836
	Vol. 41#4 (2007) 慢性期脳卒中者の理学療法	¥1,836
	Vol. 41#5 (2007) 実践理学療法のエビデンス	¥1,836
	Vol. 41#6 (2007) NST(nutrition support team)と理学療法	¥1,836
	Vol. 41#7 (2007) 脳性麻痺児の理学療法	¥1,836
	Vol. 41#8 (2007) 病棟理学療法の視点と実践	¥1,836
	Vol. 41#9 (2007) 理学療法士の卒後教育	¥1,836
	Vol. 41#10 (2007) 外来・通所理学療法	¥1,836
	Vol. 41#11 (2007) メタボリックシンドロームと理学療法	¥1,836
	Vol. 41#12 (2007) 大腿骨 整形外科的治療と理学療法	¥1,836

	Vol. 42#1 (2008) 地域リハビリテーションにおける理学療法	¥1,836
	Vol. 42#2 (2008) 痛みの病態生理と理学療法	¥1,836
	Vol. 42#3 (2008) WCPT(世界理学療法連盟)	¥1,836
	Vol. 42#4 (2008) 認知運動療法の臨床アプローチと効果	¥1,836
	Vol. 42#5 (2008) アジアの理学療法	¥1,836
	Vol. 42#6 (2008) Stroke Unitと理学療法	¥1,836
	Vol. 42#7 (2008) ヘルスプロモーションと理学療法	¥1,836
	Vol. 42#8 (2008) 介護保険下の理学療法	¥1,836
	Vol. 42#9 (2008) 褥瘡の予防と治療－理学療法の役割	¥1,836
	Vol. 42#10 (2008) 骨関節疾患の理学療法とバイオメカニクス	¥1,836
	Vol. 42#11 (2008) がん治療における理学療法の可能性と課題	¥1,836
	Vol. 42#12 (2008) ニューロリハビリテーションと理学療法	¥1,836
	Vol. 43#1 (2009) 大量養成時代に求められる教育	¥1,836
	Vol. 43#2 (2009) クリニカルリーズニング	¥1,836
	Vol. 43#3 (2009) 不全型脊髄損傷の病態と理学療法	¥1,836
	Vol. 43#4 (2009) 理学療法士による起業	¥1,836
	Vol. 43#5 (2009) 小児の地域理学療法	¥1,836
	Vol. 43#6 (2009) パーキンソン病の理学療法最前線	¥1,836
	Vol. 43#7 (2009) 筋再生と理学療法	¥1,836
	Vol. 43#8 (2009) ICFと理学療法	¥1,836
	Vol. 43#9 (2009) 膝関節疾患の理学療法	¥1,836
	Vol. 43#10 (2009) 老化による身体機能低下と理学療法	¥1,836
	Vol. 43#11 (2009) 地域の高齢者に対する理学療法士の視点	¥1,836
	Vol. 43#12 (2009) 連携教育	¥1,836
	Vol. 44#1 (2010) これからの理学療法	¥1,836
	Vol. 44#2 (2010) 脳卒中のゴール設定	¥1,836
	Vol. 44#3 (2010) 病期別理学療法モデル	¥1,836
	Vol. 44#4 (2010) 筋力増強―update	¥1,836
	Vol. 44#5 (2010) 新人教育	¥1,836
	Vol. 44#6 (2010) 呼吸機能障害とチーム医療	¥1,836
	Vol. 44#7 (2010) 在宅理学療法の実践	¥1,836
	Vol. 44#8 (2010) 徒手理学療法	¥1,836
	Vol. 44#9 (2010) 画像を活かした脳腫瘍のケーススタディ	¥1,836
	Vol. 44#10 (2010) 身体障害者スポーツと理学療法の関わり	¥1,836
	Vol. 44#11 (2010) 症例検討―脳血管障害患者を多側面から診る	¥1,836
	Vol. 44#12 (2010) 股関節疾患の理学療法―update	¥1,836
	Vol. 45#1 (2011) 自立支援	¥1,836
	Vol. 45#2 (2011) 通所サービスにおける理学療法	¥1,836
	Vol. 45#3 (2011) 脳卒中片麻痺患者の装具と運動療法	¥1,836
	Vol. 45#4 (2011) ロコモティブシンドローム	¥1,836
	Vol. 45#5 (2011) がん患者のリハビリテーションと理学療法	¥1,836
	Vol. 45#6 (2011) 小児理学療法の新たなる展開	¥1,836
	Vol. 45#7 (2011) 神経生理学的アプローチの転換	¥1,836
	Vol. 45#8 (2011) 糖尿病の理学療法	¥1,836
品切	Vol. 45#9 (2011) 足部・足関節の機能と理学療法	¥1,836
	Vol. 45#10 (2011) 認知症と理学療法	¥1,836
	Vol. 45#11 (2011) チーム医療における理学療法士の役割	¥1,836
	Vol. 45#12 (2011) 下肢機能再建と理学療法	¥1,836
	Vol. 46#1 (2012) 運動学習と理学療法	¥1,944
	Vol. 46#2 (2012) 慢性疼痛への包括的アプローチ	¥1,944
	Vol. 46#3 (2012) 東日本大震災と理学療法	¥1,944
	Vol. 46#4 (2012) 理学療法技能の評価と学習支援	¥1,944
	Vol. 46#5 (2012) 理学療法士のキャリアデザイン	¥1,944
品切	Vol. 46#6 (2012) 脳卒中理学療法のクリニカルリーズニング	¥1,944
	Vol. 46#7 (2012) スポーツと理学療法	¥1,944
	Vol. 46#8 (2012) 外来理学療法	¥1,944
	Vol. 46#9 (2012) 心疾患に対する理学療法の新たな展開	¥1,944

	Vol. 46#10 (2012) 地域包括ケアシステムと訪問理学療法		¥1,944
	Vol. 46#11 (2012) はたらく理学療法士の動機づけ		¥1,944
	Vol. 46#12 (2012) 高齢下肢切断の理学療法		¥1,944
	Vol. 47#1 (2013) 脳のシステム障害と理学療法		¥1,944
	Vol. 47#2 (2013) 心理・精神領域の理学療法		¥1,944
	Vol. 47#3 (2013) 関節リウマチの最新治療と理学療法		¥1,944
	Vol. 47#4 (2013) 予防と理学療法		¥1,944
	Vol. 47#5 (2013) 医療系教育における臨床実習の現状と展望		¥1,944
	Vol. 47#6 (2013) 脳卒中理学療法のシームレス化にむけて		¥1,944
	Vol. 47#7 (2013) 頸肩腕障害と理学療法		¥1,944
	Vol. 47#8 (2013) 物理療法の再興		¥1,944
	Vol. 47#9 (2013) 在宅理学療法の可能性を探る		¥1,944
	Vol. 47#10 (2013) ウィメンズ・ヘルスと理学療法士のかかわり		¥1,944
	Vol. 47#11 (2013) 呼吸理学療法の進歩		¥1,944
	Vol. 47#12 (2013) 神経筋疾患の治療と理学療法		¥1,944
	Vol. 48#1 (2014) バランス update－実用的な動作・活動の獲得のために		¥1,944
	Vol. 48#2 (2014) 発達障害児の理学療法と生活指導		¥1,944
	Vol. 48#3 (2014) 地域における理学療法のパラダイムシフト		¥1,944
	Vol. 48#4 (2014) 理学療法実践に役立つコミュニケーション技術		¥1,944
	Vol. 48#5 (2014) 老年症候群と理学療法		¥1,944
	Vol. 48#6 (2014) 臨床実習教育の実態と展望		¥1,944
	Vol. 48#7 (2014) 股関節の運動機能と評価方法		¥1,944
	Vol. 48#8 (2014) 慢性腎臓病と理学療法		¥1,944
	Vol. 48#9 (2014) 脳卒中片麻痺患者の体性感覚障害と理学療法		¥1,944
	Vol. 48#10 (2014) 安全管理		¥1,944
	Vol. 48#11 (2014) 脊椎・脊髄疾患と理学療法		¥1,944
	Vol. 48#12 (2014) 認知行動療法		¥1,944
	Vol. 49#1 (2015) 姿勢と歩行－理学療法士の診るべきこと		¥1,944
	Vol. 49#2 (2015) 障害者権利条約の実現と理学療法		¥1,944
	Vol. 49#3 (2015) 大規模災害の支援・防災活動－大震災からの学び		¥1,944
	Vol. 49#4 (2015) 世界の理学療法－激動のAsia Western Pacific地区の		¥1,944
	Vol. 49#5 (2015) 頭頸部および肩凝りに対する理学療法		¥1,944
	Vol. 49#6 (2015) 急性期からの理学療法		¥1,944
	Vol. 49#7 (2015) 慢性期の理学療法－目標設定と治療・介入効果		¥1,944
	Vol. 49#8 (2015) 地域包括ケアシステムの構築に向けて		¥1,944
	Vol. 49#8 (2015) 地域包括ケアシステムの構築に向けて		¥1,944
	Vol. 49#9 (2015) 脳機能回復と理学療法		¥1,944
	Vol. 49#10 (2015) 歩行支援機器による歩行up to date		¥1,944
	Vol. 49#11 (2015) 地域包括ケアシステムと小児理学療法		¥1,944
	Vol. 49#12 (2015) 理学療法士界における継往開来		¥1,944
	Vol. 50#1 (2016) 理学療法50年の変遷「理学療法関連用語セレクション		¥1,944
	Vol. 50#2 (2016) 最新の糖尿病治療と運動療法		¥1,944
	Vol. 50#3 (2016) TENS		¥1,944
	Vol. 50#4 (2016) 理学療法からみた「予防」の取り組みと効果		¥1,944
	Vol. 50#5 (2016) 運動器疾患ーエキスパートはこうみる		¥1,944
	Vol. 50#6 (2016) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて		¥1,944
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
970	**リハビリテーション（鉄道身障者協会）**		
	No. 73,91,98-369 (1965-1994)	各号	¥281
971	**リハビリテーション連携科学（日本リハビリテーション連携科学学会）**		
	Vol. 1-4 (2000-2003) 各1号	各号	¥2,808
972	**陸水学雑誌（日本陸水学会）**		
	Vol. 1-9,11-15,18-71 (1932/33-2010) 各1-3号	各号	¥3,240
973	**臨床バイオメカニクス（日本臨床バイオメカニクス学会）**		
	Vol. 30, 31 (2009-2010)	各巻	¥10,800

974	**臨床病理（日本臨床病理学会）**		
	Vol. 47-57 (1999-2009) 各1-12号	各号	¥2,268
975	**臨床栄養（医歯薬出版）**		
	Vol. 108#1-5,7 (2006)	各号	¥1,296
	Vol. 108#6 (2006)		¥2,592
	Vol. 109#1-3,5-7 (2006)	各号	¥1,296
	Vol. 109#4 (2006)		¥2,592
	Vol. 110#1-5,7 (2007)	各号	¥1,296
	Vol. 111#1-3,5-7 (2007)	各号	¥1,296
	Vol. 112#1-5,7 (2008)	各号	¥1,404
	Vol. 113#1-3,5-7 (2008)	各号	¥1,404

976 臨床婦人科産科（医学書院）

Vol. 26-37 (1972-1983) 各1-12号	各号	¥2,700
Vol. 38#1,3-12 (1984)	各号	¥2,700
Vol. 39-46 (1985-1992) 各1-12号	各号	¥2,700
Vol. 47#1-4,6-12 (1993)	各号	¥2,700
Vol. 47#5 (1993) 増大号 産科外来検診マニュアル		¥9,180
Vol. 48#1-3,5-12 (1994)	各号	¥2,700
Vol. 48#4 (1994) 増大号 婦人科外来検診マニュアル		¥9,180
Vol. 49#1 (1995) CTかMRIか-婦人科腫瘍読影のポイント		¥2,700
Vol. 49#2 (1995) 分娩発来-しくみと調節		¥2,700
Vol. 49#3 (1995) GnRH療法-刺激と抑制		¥2,700
Vol. 49#4 (1995) 病態生理の最前線		¥2,700
Vol. 49#5 (1995) 妊娠と血液		¥2,700
Vol. 49#6 (1995) イラスト 小手術		¥2,700
Vol. 49#7 (1995) 婦人科癌の免疫療法		¥2,700
Vol. 49#8 (1995) 増大号 体外受精マニュアル		¥9,180
Vol. 49#9 (1995) 婦人の尿失禁-トラブルへの対処		¥2,700
Vol. 49#10 (1995) 初期治療60分-産科救急		¥2,700
Vol. 49#11 (1995) 無排卵-病態と治療をめぐるトピックス		¥2,700
Vol. 49#12 (1995) いまなぜ胎児仮死か		¥2,700
Vol. 50#1 (1996) 子宮内膜症Controversy'96		¥2,700
Vol. 50#2 (1996) 妊婦の糖尿病マネジメント		¥2,700
Vol. 50#3 (1996) 産婦人科とウィルス感染		¥2,700
Vol. 50#4 (1996) 増大号 産婦人科エコー診断		¥7,020
Vol. 50#5 (1996) 習慣流産をとめる		¥2,700
Vol. 50#6 (1996) 妊婦と自己免疫疾患		¥2,700
Vol. 50#7 (1996) 乳房-管理のポイント		¥2,700
Vol. 50#8 (1996) 婦人科腫瘍境界悪性		¥2,700
Vol. 50#9 (1996) 新生児診療-産科医のためのポイント		¥2,700
Vol. 50#10 (1996) ホルモン療法-新しい動向を探る		¥2,700
Vol. 50#11 (1996) 不妊治療-ここが聞きたい		¥2,700
Vol. 50#12 (1996) 初期治療60分-婦人科救急		¥2,700
Vol. 51#1 (1997) 着床		¥2,592
Vol. 51#2 (1997) 婦人科外来治療-Dos & Don'ts		¥2,592
Vol. 51#3 (1997) 妊婦中毒症-どのように変わったか		¥2,592
Vol. 51#4 (1997) 使用量ピル-新しい避妊法を知る		¥2,592
Vol. 51#5 (1997) エコーガイド下で何ができるか		¥2,592
Vol. 51#6 (1997) 治療困難例の排卵誘発		¥2,592
Vol. 51#7 (1997) 婦人科がんの化学療法		¥2,592
Vol. 51#8 (1997) 産科における検査法		¥2,592
Vol. 51#9 (1997) 婦人科における検査法		¥2,592
Vol. 51#10 (1997) 妊婦初期を診る		¥2,592
Vol. 51#11 (1997) 男性不妊をどうする		¥2,592
Vol. 51#12 (1997) 子宮筋腫-最新情報		¥2,592
Vol. 52#1 (1998) 先天異常をどう診るか		¥2,592
Vol. 52#2 (1998) 腫瘍マーカーは何を語るか		¥2,592
Vol. 52#3 (1998) 産科と凝固異常		¥2,592
Vol. 52#4 (1998) 増大号 経膣超音波を使いこなす		¥7,776
Vol. 52#5 (1998) 早産対策-いま臨床医ができること		¥2,592
Vol. 52#6 (1998) 卵管性不妊症への対応		¥2,592
Vol. 52#7 (1998) 難治性細菌感染症		¥2,592
Vol. 52#8 (1998) サイトカインと産婦人科		¥2,592
Vol. 52#9 (1998) 胎児・新生児のBrain Damage		¥2,592
Vol. 52#10 (1998) 羊水		¥2,592
Vol. 52#11 (1998) HRT-ベストテクニック		¥2,592
Vol. 52#12 (1998) 内視鏡手術-どこまで進んだか		¥2,592

Vol. 53#1 (1999) 性の分化とその異常-どこまで解明されたか	¥2,700
Vol. 53#2 (1999) GnRH療法の新展開	¥2,700
Vol. 53#3 (1999) 新生児トラブルの初期対応産科医アドバイス	¥2,700
Vol. 53#4 (1999) 増大号　婦人科外来	¥7,884
Vol. 53#5 (1999) PCO症候群を斬る	¥2,700
Vol. 53#6 (1999) 卵巣がんと闘うために	¥2,700
Vol. 53#7 (1999) 胎児へのlife line臍帯	¥2,700
Vol. 53#8 (1999) 生殖医療とバイオエシックス	¥2,700
Vol. 53#9 (1999) 増えてきた子宮体癌	¥2,700
Vol. 53#10 (1999) リニューアル　帝王切開	¥2,700
Vol. 53#11 (1999) 不正性器出血-原因と対応	¥2,700
Vol. 53#12 (1999) 産褥の異常と対策	¥2,700
Vol. 54#1 (2000) 胎盤異常と臨床	¥2,700
Vol. 54#2 (2000) ホルモン療法..ピットフォール-あなたの方法は	¥2,700
Vol. 54#3 (2000) 新生児外科..最前線-産科医としての必須知識	¥2,700
Vol. 54#4 (2000) 増大号　生殖内分泌と不妊診療の最新データ	¥7,884
Vol. 54#5 (2000) ハイリスク分娩の管理指針	¥2,700
Vol. 54#6 (2000) 子宮頸癌-最近のトピック	¥2,700
Vol. 54#7 (2000) 避妊法-問題点とその対策	¥2,700
Vol. 54#8 (2000) 無痛分娩・和痛分娩	¥2,700
Vol. 54#9 (2000) 思春期外来-診療上の留意点	¥2,700
Vol. 54#10 (2000) 女性の泌尿器疾患-最新情報	¥2,700
Vol. 54#11 (2000) 母子感染-最新の管理指針を考える	¥2,700
Vol. 54#12 (2000) ART最新情報-妊娠率向上のために	¥2,700
Vol. 55#1 (2001) 性感染症-胎児から癌まで	¥2,700
Vol. 55#2 (2001) 妊娠中毒症-新しい視点から	¥2,700
Vol. 55#3 (2001) 腹腔鏡下手術-知っておくべき最新情報	¥2,700
Vol. 55#4 (2001) 増大号 婦人科医のための乳癌検診	¥8,100
Vol. 55#5 (2001) 一歩先行く超音波胎児検診	¥2,700
Vol. 55#6 (2001) Obstetrics is a bloody business	¥2,700
Vol. 55#7 (2001) 排卵誘発の問題点-新しい工夫と対策	¥2,700
Vol. 55#8 (2001) 遺伝子医療-現況と将来	¥2,700
Vol. 55#9 (2001) 子宮外妊娠-新しい視点から	¥2,700
Vol. 55#10 (2001) ライフスタイルの変化と女性の健康	¥2,700
Vol. 55#11 (2001) 周産期救急と周産母子センター	¥2,700
Vol. 55#12 (2001) 子宮内膜症治療のストラテジー	¥2,700
Vol. 56#1 (2002) 女性内科的アプローチー循環器系を中心に	¥2,700
Vol. 56#2 (2002) 産婦人科と糖尿病　基礎知識と実地臨床	¥2,700
Vol. 56#3 (2002) 子宮筋腫　最近の話題	¥2,700
Vol. 56#4 (2002) 増大号 産婦人科手術における合併症管理のすべて	¥8,100
Vol. 56#5 (2002) ここまでわかる産婦人科のMRI	¥2,700
Vol. 56#6 (2002) 多胎妊娠管理　レベルアップのために	¥2,700
Vol. 56#7 (2002) 頸管無力症と頸管縫縮術	¥2,700
Vol. 56#8 (2002) どこまで可能か-悪性腫瘍治療と妊孕能温存	¥2,700
Vol. 56#9 (2002) 妊婦健診のピットフォール	¥2,700
Vol. 56#10 (2002) 不妊診療のピットフォール	¥2,700
Vol. 56#11 (2002) 更年期・老年期医療のピットフォール	¥2,700
Vol. 56#12 (2002) 分娩の多様化とリスク管理	¥2,700
Vol. 57#1 (2003) 婦人科がん検診	¥2,700
Vol. 57#2 (2003) 産婦人科診療における心のケア	¥2,700
Vol. 57#3 (2003) 母体症候ー救急疾患の鑑別と初期対応	¥2,700
Vol. 57#4 (2003) 増大号ここが聞きたい産婦人科外来における対処と処	¥9,180
Vol. 57#5 (2003) 妊娠と薬物	¥2,700
Vol. 57#6 (2003) ホルモン補充療法を再考する	¥2,700
Vol. 57#7 (2003) UAE子宮筋腫塞栓療法	¥2,700
Vol. 57#8 (2003) 妊娠と免疫	¥2,700
Vol. 57#9 (2003) 思春期のヘルスケアとメンタルケア	¥2,700

		税込価格
	Vol. 57#10 (2003) 周産期の難題を解く最新のエビデンスを考慮した解説	¥2,700
	Vol. 57#11 (2003) 不妊治療の難題を解く最新のエビデンスを考慮した解	¥2,700
	Vol. 57#12 (2003) 婦人科がん治療の難題を解く最新のエビデンスを考	¥2,700
	Vol. 58#1 (2004) 周産期の感染症―管理と対策	¥2,700
	Vol. 58#2 (2004) 産婦人科診療とリスクマネージメント	¥2,700
	Vol. 58#3 (2004) 不正出血の患者が来たら	¥2,700
品切	Vol. 58#4 (2004) 増大号 無痛分娩・和痛分娩ガイダンス	¥9,180
	Vol. 58#5 (2004) 血栓症と肺塞栓―予防と対策	¥2,700
	Vol. 58#6 (2004) Urogynecology	¥2,700
	Vol. 58#7 (2004) 産婦人科医に必要な乳がんの知識	¥2,700
	Vol. 58#8 (2004) 妊娠中毒症―新しい名称と定義	¥2,700
	Vol. 58#9 (2004) 不育症診療―その理論と実践	¥2,700
	Vol. 58#10 (2004) ここが知りたい―婦人科がん化学療法	¥2,700
	Vol. 58#11 (2004) 症例から学ぶ前置胎盤	¥2,700
	Vol. 58#12 (2004) 症例から学ぶ子宮内膜症 子宮内膜症を侮るな	¥2,700
	Vol. 59#1 (2005) 症例から学ぶ多嚢胞卵巣	¥2,700
	Vol. 59#2 (2005) 症例から学ぶ常位胎盤早期剥離	¥2,700
	Vol. 59#3 (2005) 安全な腹腔鏡下手術をめざして	¥2,700
	Vol. 59#4 (2005) 増大号 妊産婦と薬物治療EBM時代に対応した必須知	¥9,180
	Vol. 59#5 (2005) 安全な婦人科手術をめざして	¥2,700
	Vol. 59#6 (2005) 安全な産科手術・処置をめざして	¥2,700
品切	Vol. 59#7 (2005) 月経前症候群と月経痛―どう対応するか	¥2,700
	Vol. 59#8 (2005) 骨粗鬆症をめぐる新しい話題	¥2,700
	Vol. 59#9 (2005) 胎児疾患の管理－胎内治療の時代を迎えて	¥2,700
	Vol. 59#10 (2005) 腫瘍マーカー－基礎知識と診療指針	¥2,700
	Vol. 59#11 (2005) 婦人科の新しい画像診断法－PETを中心として	¥2,700
	Vol. 59#12 (2005) FGR―Fetal Growth Restriction	¥2,700
	Vol. 60#1 (2006) ART 2006	¥2,700
	Vol. 60#2 (2006) 子宮内膜症の新しい治療戦略	¥2,700
	Vol. 60#3 (2006) 妊婦と胎児の栄養管理	¥2,700
	Vol. 60#4 (2006) 増大号 女性診療科外来プラクティス	¥9,180
	Vol. 60#5 (2006) 早産-予防と対策	¥2,700
	Vol. 60#6 (2006) 性差医療	¥2,700
	Vol. 60#7 (2006) 妊娠のリスク評価	¥2,700
	Vol. 60#8 (2006) 婦人科がんを見逃さないために	¥2,700
	Vol. 60#9 (2006) PCOS-新たな視点	¥2,700
	Vol. 60#10 (2006) 妊娠中の偶発症候-産科医のプライマリケア	¥2,700
	Vol. 60#11 (2006) エイジングと生殖医療	¥2,700
	Vol. 60#12 (2006) ピル-エビデンスに基づいて新ガイドラインを読み解く	¥2,700
	Vol. 61#1 (2007) 高年出産－母児ケアのポイント	¥2,700
	Vol. 61#2 (2007) 子宮体癌の最新知見－専門医のために	¥2,700
	Vol. 61#3 (2007) 周産期医療の崩壊を防ごう	¥2,700
	Vol. 61#4 (2007) 増大号 産婦人科外来ベストナビゲーション－ここが聞	¥9,180
	Vol. 61#5 (2007) 母体救急	¥2,700
	Vol. 61#6 (2007) 子宮頸癌の治療-現状と展望	¥2,700
	Vol. 61#7 (2007) 中高年女性のトータルヘルスケア	¥2,700
	Vol. 61#8 (2007) 産科超音波診断 正診への道筋	¥2,700
	Vol. 61#9 (2007) 臨床遺伝学 診療に必要な最新情報	¥2,700
	Vol. 61#10 (2007) ここまできた分子標的治療	¥2,700
	Vol. 61#11 (2007) 胎盤と臍帯の臨床	¥2,700
	Vol. 61#12 (2007) 不妊治療 現在の課題と将来展望	¥2,700
	Vol. 62#1 (2008) 子宮筋腫の治療 大きく広がった選択の幅	¥2,808
	Vol. 62#2 (2008) 新生児の蘇生と管理	¥2,808
	Vol. 62#3 (2008) 不妊治療と多胎妊娠	¥2,808
	Vol. 62#4 (2008) 増大号 産婦人科臨床の難題を解く－私はこうしている	¥9,180
	Vol. 62#5 (2008) 婦人科がん化学療法 up to date	¥2,808
	Vol. 62#6 (2008) 妊婦の感染症	¥2,808

品切	Vol. 62#7 (2008) エキスパートに学ぶ-体外受精実践講座	¥2,808
	Vol. 62#8 (2008) エキスパートに学ぶ-漢方療法実践講座	¥2,808
	Vol. 62#9 (2008) 妊産婦の薬物療法-あなたの処方は間違っていません	¥2,808
	Vol. 62#10 (2008) 卵巣癌診療の最新情報	¥2,808
	Vol. 62#11 (2008) 子宮内膜症治療の最前線-症状に応じた治療戦略	¥2,808
	Vol. 62#12 (2008) 胎児機能不全	¥2,808
	Vol. 63#1 (2009) 産科出血-診断・治療のポイント	¥2,808
	Vol. 63#2 (2009) 性感染症 up to date	¥2,808
	Vol. 63#3 (2009) 多胎妊娠-母児のリスクとその管理	¥2,808
	Vol. 63#4 (2009) 増大号 ここが聞きたい 不妊・不育症診療ベストプラク	¥9,180
	Vol. 63#5 (2009) 性器脱診療の最前線	¥2,808
	Vol. 63#6 (2009) HRTの新ガイドラインを読み解く	¥2,808
	Vol. 63#7 (2009) 胎児の診断と治療	¥2,808
	Vol. 63#8 (2009) 若年女性の月経異常を診る	¥2,808
	Vol. 63#9 (2009) 婦人科がん検診	¥2,808
	Vol. 63#10 (2009) 妊娠高血圧症候群と関連疾患	¥2,808
	Vol. 63#11 (2009) 生殖医療のトピックス	¥2,808
	Vol. 63#12 (2009) QOLを考慮した婦人科がん治療	¥2,808
	Vol. 64#1 (2010) 母体救命搬送	¥2,808
	Vol. 64#2 (2010) ここが知りたい PCOSの最新情報	¥2,808
	Vol. 64#3 (2010) 子宮頸がんの予防戦略―ワクチンと検診	¥2,808
品切	Vol. 64#4 (2010) 増大号 これを読めばすべてわかる―最新の産婦人科	¥9,180
	Vol. 64#5 (2010) 着床障害―生殖医療のブラックボックス	¥2,808
	Vol. 64#6 (2010) 産婦人科画像診断のセカンドチョイス	¥2,808
	Vol. 64#7 (2010) 異所性妊娠	¥2,808
	Vol. 64#8 (2010) 子宮内膜症・腺筋症の外科的治療―機能温存をめざし	¥2,808
	Vol. 64#9 (2010) ここが問題　若年女性のやせ・肥満	¥2,808
	Vol. 64#10 (2010) ハイリスク妊娠　ここがチェックポイント	¥2,808
	Vol. 64#11 (2010) 低用量OCの普及をめざして	¥2,808
	Vol. 64#12 (2010) 子宮体癌診療の動向―これだけは知っておきたい	¥2,808
	Vol. 65#1 (2011) 胎児心拍数モニタリング	¥2,808
	Vol. 65#2 (2011) 静脈血栓塞栓症―予防・診断・治療	¥2,808
	Vol. 65#3 (2011) 絨毛と胎盤をめぐる新知見	¥2,808
	Vol. 65#4 (2011) 増大号 婦人科内分泌療法―病態の理解と正しい診断	¥9,180
	Vol. 65#5 (2011) 母体と胎児の栄養学	¥2,808
	Vol. 65#6 (2011) ART-いま何が問題か	¥2,808
	Vol. 65#7 (2011) 卵巣がん―最新の治療戦略	¥2,808
	Vol. 65#8 (2011) 母子感染―新しい制御戦略	¥2,808
	Vol. 65#9 (2011) 不妊治療のABC-ARTの前にできること	¥2,808
	Vol. 65#10 (2011) 子宮頸癌-予防と妊孕性温存のための治療戦略	¥2,808
	Vol. 65#11 (2011) 常位胎盤早期剥離-ワンランク上の診断と治療	¥2,808
	Vol. 65#12 (2011) 早産-ワンランク上の予防と管理	¥2,808
品切	Vol. 66#1 (2012) ワンランク上の漢方診療	¥2,916
	Vol. 66#2 (2012) 分娩誘発と陣痛促進法の見直し 安全な分娩管理を目	¥2,916
品切	Vol. 66#3 (2012) 不育症の診療指針	¥2,916
	Vol. 66#4 (2012) 最小侵襲手術アップデート minimally invasive surgery	¥2,916
	Vol. 66#5 (2012) 増刊号 オフィスギネコロジー 女性のプライマリ・ケア	¥9,180
	Vol. 66#6 (2012) 診療ガイドライン産科編2011 改訂と追加のポイント	¥2,916
	Vol. 66#7 (2012) 卵子の加齢 避けては通れないARTの課題	¥2,916
	Vol. 66#8 (2012) 絨毛性疾患アップデート「取扱い規約」改訂をふまえて	¥2,916
	Vol. 66#9 (2012) 前置胎盤と癒着胎盤 ワンランク上の診断と治療	¥2,916
	Vol. 66#10 (2012) 子宮内膜症の薬物療法 薬物特性の理解と個別化治	¥2,916
品切	Vol. 66#11 (2012) ホルモン補充療法ガイドライン2012年度版 改訂版を	¥2,916
品切	Vol. 66#12 (2012) 出生前診断の新しいトレンド	¥2,916
	Vol. 66#13 (2012) これだけは知っておきたい 婦人科がんの緩和ケア	¥2,916
	Vol. 67#1 (2013) 1・2月合併増大号 性感染症と母子感染 最新の診断と	¥4,104
	Vol. 67#2 (2013) 急速遂娩の基本ートラブルを避けるために	¥2,916

		税込価格
	Vol. 67#3 (2013) 女性骨盤底外科手術 Up to Date 増加する患者への	¥2,916
品切	Vol. 67#4 (2013) 増刊号 産婦人科当直医マニュアル―慌てないための	¥9,180
	Vol. 67#5 (2013) 子宮体がん診療アップデート	¥2,916
	Vol. 67#6 (2013) 産婦人科超音波診断－新しい技法とその臨床応用	¥2,916
	Vol. 67#7 (2013) 思春期診療グレードアップ	¥2,916
	Vol. 67#8 (2013) 婦人科がんの予防戦略と早期診断	¥2,916
	Vol. 67#9 (2013) 脳性麻痺－発症防止への挑戦	¥2,916
	Vol. 67#10 (2013) ART成功の秘訣－どうすれば妊娠率は向上するか	¥2,916
	Vol. 67#11 (2013) 進行婦人科がんの集学的治療	¥2,916
	Vol. 67#12 (2013) 多胎妊娠管理の最新スタンダード　ガイドラインを踏ま	¥2,916
	Vol. 68#1 (2014) 生殖医療の進歩と課題　安全性の検証から革新的知見	¥4,104
	Vol. 68#2 (2014) 生殖医療の進歩と課題　安全性の検証から革新的知見	¥2,916
	Vol. 68#3 (2014) メタボとロコモ　これからの女性医療のキーワード	¥2,916
品切	Vol. 68#4 (2014) 増刊号 産婦人科処方のすべて　すぐに使える実践ガイ	¥9,180
	Vol. 68#5 (2014) 妊婦のアレルギー・自己免疫・炎症性疾患　病態と妊婦	¥2,916
	Vol. 68#6 (2014) 性ホルモン製剤を使いこなす	¥2,916
	Vol. 68#7 (2014) あなたにもできる　最先端の婦人科手術	¥2,916
	Vol. 68#8 (2014) 診療ガイドライン産科編 2014　改訂と追加のポイントを	¥2,916
	Vol. 68#9 (2014) いま注目されている　早発卵巣不全(POI)	¥2,916
	Vol. 68#10 (2014) 診療ガイドライン婦人科外来編 2014　改訂と追加のポ	¥2,916
	Vol. 68#11 (2014) 妊娠高血圧症候群のベストマネジメント	¥2,916
	Vol. 68#12 (2014) 子宮内膜症治療の未来図	¥2,916
	Vol.69 No.1 1/2月 合併増大号 (2015) ゲノム時代の婦人科がん診療を	¥4,104
	Vol. 69#2 (2015) 総合診療における産婦人科医の役割　あらゆるライフス	¥2,916
	Vol. 69#3 (2015) 早産の予知・予防の新たな展開	¥2,916
	Vol. 69#4 (2015) 増刊号 妊婦健診のすべて―週数別・大事なことを見逃	¥9,180
	Vol. 69#5 (2015) 月経異常・不妊症の診断力を磨く	¥2,916
	Vol. 69#6 (2015) 産婦人科医必読―乳がん予防と検診Up to date	¥2,916
	Vol. 69#7 (2015) 専攻医必読　基礎から学ぶ周産期超音波診断のポイン	¥2,916
	Vol. 69#8 (2015) 体外受精治療の行方　問題点と将来展望	¥2,916
	Vol. 69#9 (2015) がん妊孕性温存治療の適応と注意点―腫瘍学と生殖	¥2,916
	Vol. 69#10 (2015) 婦人科疾患の妊娠・産褥期マネジメント	¥2,916
	Vol. 69#11 (2015) 婦人科腹腔鏡手術の進歩と“落とし穴”	¥2,916
	Vol. 69#12 (2015) 婦人科がん診療を支えるトータルマネジメント―各領	¥2,916
	Vol. 70#1 (2016) 合併増大号　難治性の周産期common diseaseへの挑	¥4,104
	Vol. 70#2 (2016) 不妊女性に対する手術療法―適応・タイミングと手技の	¥2,916
	Vol. 70#3 (2016) 産科大出血に慌てない！！	¥2,916
	Vol. 70#5 (2016) 糖尿病が女性ヘルスケア・がんに与えるリスク	¥2,916
	Vol. 70#6 (2016) 若年女性の外来診療に役立つ基礎知識	¥2,916

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

977 臨床眼科

Vol. 1#1-3 (1947)	各号	¥2,916
Vol. 2#1-6 (1948)	各号	¥2,916
Vol. 3-5 (1949-1951) 各1-12号	各号	¥2,916
Vol. 6-7 (1952-1953) 各1-13号	各号	¥2,916
Vol. 8#1-12 (1954)	各号	¥2,916
Vol. 9-11 (1955-1957) 各1-13号	各号	¥2,916
Vol. 13-42 (1959-1988) 各1-12号	各号	¥2,916
Vol. 43#1-13 (1989)	各号	¥2,916
Vol. 44#1-9,11-13 (1990)	各号	¥2,916
Vol. 44#10 (1990) 増刊号 小児眼科診療マニュアル		¥5,184
Vol. 45#1-10,13 (1991)	各号	¥2,916
Vol. 45#11 (1991) 増刊号 眼科基本診療 私はこうしている		¥5,184
Vol. 46#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,916
Vol. 46#11 (1992) 眼科治療薬マニュアル-私の処方箋-		¥5,184
Vol. 47#1-10,12-13 (1993)	各号	¥2,916
Vol. 47#11 (1993) 増刊号 白内障手術 Controversy '93		¥5,184
Vol. 48#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,916
Vol. 48#11 (1994) 増刊号 高齢患者の眼科手術		¥5,184
Vol. 49#1 (1995) ICG 螢光造影		¥4,320
Vol. 49#2,6-10,12-13 (1995)	各号	¥2,916
Vol. 49#3 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 49#4 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 49#5 (1995) 第48回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 50#1,2,6-10,12-13 (1996)	各号	¥2,916
Vol. 50#3 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 50#4 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 50#5 (1996) 第49回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 50#11 (1996) 増刊号 緑内障Today		¥7,344
Vol. 51#1,2,7-10,12-13 (1997)	各号	¥2,700
Vol. 51#3 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,700
Vol. 51#4 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,700
Vol. 51#5 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,700
Vol. 51#6 (1997) 第50回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,700
Vol. 51#11 (1997) 増刊号 オキュラーサーフェス Today		¥7,344
Vol. 52#1、2、7-8,10,12、13 (1998)	各号	¥2,700
Vol. 52#3 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,700
Vol. 52#4 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,700
Vol. 52#5 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,700
Vol. 52#6 (1998) 第51回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,700
Vol. 52#9 (1998) OCT		¥6,696
Vol. 52#11 (1998) 増刊号 眼科検査法を検証する		¥7,776
Vol. 53#1,2,7-9,11-13 (1999)	各号	¥2,808
Vol. 53#3 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,808
Vol. 53#4 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,808
Vol. 53#5 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,808
Vol. 53#6 (1999) 第52回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,808
Vol. 53#10 (1999) 増刊号　眼科外来診療マニュアル		¥7,776
Vol. 54#1,7-10,12,13 (2000)	各号	¥2,808
Vol. 54#2 (2000) シンポジウム　診断と治療の進歩		¥6,696
Vol. 54#3 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,808
Vol. 54#4 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,808
Vol. 54#5 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,808
Vol. 54#6 (2000) 第53回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,808
Vol. 54#11 (2000) 増刊号 眼科基本診療Update		¥8,100

Vol. 55#1 (2001) 眼外傷の救急治療		¥2,808
Vol. 55#2,7,9,11-13 (2001)	各号	¥2,808
Vol. 55#3 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,808
Vol. 55#4 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,808
Vol. 55#5 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,808
Vol. 55#6 (2001) 第54回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,808
Vol. 55#8 (2001) 眼疾患の季節変動		¥2,808
Vol. 55#10 (2001) 増刊号 眼科EBM確率に向けての治療ガイド		¥8,100
Vol. 56#1,2,8,10,11,13 (2002)	各号	¥2,916
Vol. 56#3 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 56#4 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 56#5 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 56#6 (2002) 第55回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,916
Vol. 56#7 (2002) 角膜屈折矯正手術を手がける前に		¥2,916
Vol. 56#9 (2002) 増刊号 緑内障診療ガイド―今日の戦略		¥8,100
Vol. 56#12 (2002) 眼窩腫瘍		¥2,916
Vol. 57#1,9,12,13 (2003)	各号	¥2,916
Vol. 57#2 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 57#3 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 57#4 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 57#5 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,916
Vol. 57#6 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,916
Vol. 57#7 (2003) 第56回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,916
Vol. 57#8 (2003) ベーチェット病研究の最近の進歩		¥2,916
Vol. 57#10 (2003) 網膜色素変性症の最前線		¥2,916
Vol. 57#11 (2003) 増刊号 眼感染症診療ガイド		¥9,180
Vol. 58#1,2 (2004)	各号	¥2,916
Vol. 58#3 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 58#4 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 58#5 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 58#6 (2004) 緑内障神経保護治療の展望／第57回日本臨床眼科学		¥2,916
Vol. 58#7 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,916
Vol. 58#8 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,916
Vol. 58#9 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(7)		¥2,916
Vol. 58#10 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(8)		¥2,916
Vol. 58#11 (2004) 増刊号 白内障手術の傾向と対策 術中・術後合併症と		¥9,180
Vol. 58#12 (2004) 第57回日本臨床眼科学会講演集(9)		¥2,916
Vol. 58#13 (2004) コンタクトレンズ 2004		¥2,916
Vol. 59#1,13 (2005)	各号	¥2,916
Vol. 59#2 (2005) 結膜アレルギーの病態と対策		¥2,916
Vol. 59#3 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 59#4 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 59#5 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 59#6 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,916
Vol. 59#7 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(5)		¥2,916
Vol. 59#8 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(6)		¥2,916
Vol. 59#9 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(7)		¥2,916
Vol. 59#10 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(8)		¥2,916
Vol. 59#11 (2005) 眼科における最新医工学		¥9,180
Vol. 59#12 (2005) 第58回日本臨床眼科学会講演集(9)		¥2,916
Vol. 60#1,13 (2006)	各号	¥2,916
Vol. 60#2 (2006) どこまで進んだ 分子病態の解明と標的治療		¥2,916
Vol. 60#3 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(1)		¥2,916
Vol. 60#4 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(2)		¥2,916
Vol. 60#5 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(3)		¥2,916
Vol. 60#6 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(4)		¥2,916

	税込価格
Vol. 60#7 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 60#8 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 60#9 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 60#10 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 60#11 (2006) 増刊号 手術のタイミングとポイント	¥9,180
Vol. 60#12 (2006) 第59回日本臨床眼科学会講演集(9)	¥2,916
Vol. 60#13 (2006)	¥2,916
Vol. 61#1 (2007)	¥2,916
Vol. 61#2 (2007) 緑内障診療の新しい展開	¥2,916
Vol. 61#3 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,916
Vol. 61#4 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,916
Vol. 61#5 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,916
Vol. 61#6 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,916
Vol. 61#7 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 61#8 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 61#9 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 61#10 (2007) 第60回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 61#11 (2007) 増刊号 眼科専門医に必要な「全身疾患と眼」のすべ	¥9,180
Vol. 61#12 (2007) 眼の不定愁訴と結膜弛緩渉ほか	¥2,916
Vol. 61#13 (2007) アレルギー性結膜疾患の診断と治療	¥2,916
Vol. 62#1 (2008)	¥2,916
Vol. 62#2 (2008) 網膜病変の最近の考え方と新しい知見	¥2,916
Vol. 62#3 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,916
Vol. 62#4 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,916
Vol. 62#5 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,916
Vol. 62#6 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,916
Vol. 62#7 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 62#8 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 62#9 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 62#10 (2008) 第61回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 62#11 (2008) 増刊号 網膜硝子体診療update	¥9,180
Vol. 62#12 (2008) 糖尿病の眼合併症	¥2,916
Vol. 62#13 (2008)	¥2,916
Vol. 63#1 (2009) 巻末 眼科学教室名簿	¥2,916
Vol. 63#2 (2009) 未熟児網膜症診療の最前線	¥2,916
Vol. 63#3 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,916
Vol. 63#4 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,916
Vol. 63#5 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,916
Vol. 63#6 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,916
Vol. 63#7 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 63#8 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 63#9 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 63#10 (2009) 第62回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 63#11 (2009) 増刊号 緑内障診療 グレーゾーンを超えて	¥9,180
Vol. 63#12 (2009) 黄斑手術の基本手技	¥2,916
Vol. 63#13 (2009) 視神経炎の新しい考え方 “抗アクアポリン4抗体陽性	¥2,916
Vol. 64#1 (2010) iPS細胞と網膜再生	¥2,916
Vol. 64#2 (2010) OCTによって緑内障診療の何が変わるか	¥2,916
Vol. 64#3 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,916
Vol. 64#4 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,916
Vol. 64#5 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,916
Vol. 64#6 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,916
Vol. 64#7 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 64#8 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 64#9 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 64#10 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 64#11 (2010) 増刊号 新しい時代の白内障手術	¥9,180

Vol. 64#12 (2010) 第63回日本臨床眼科学会講演集(9)	¥2,916
Vol. 64#13 (2010) 基礎研究から難治性眼疾患のブレークスルーをねら	¥2,916
Vol. 65#1 (2011)	¥2,916
Vol. 65#2 (2011) 新しい手術手技の現状と今後の展望	¥2,916
Vol. 65#3 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥2,916
Vol. 65#4 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥2,916
Vol. 65#5 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥2,916
Vol. 65#6 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥2,916
Vol. 65#7 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥2,916
Vol. 65#8 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥2,916
Vol. 65#9 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥2,916
Vol. 65#10 (2011) 第64回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥2,916
Vol. 65#11 (2011) 増刊号 眼科診療:5年前の常識は,現在の非常識！	¥9,180
Vol. 65#12 (2011) 脈絡膜の画像診断	¥3,062
Vol. 65#13 (2011) 角膜輪部減張切開術による乱視矯正	¥2,916
Vol. 66#1 (2012)	¥3,024
Vol. 66#2 (2012) 疾患メカニズムの新しい理解と治療の展開	¥3,024
Vol. 66#3 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,024
Vol. 66#4 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,024
Vol. 66#5 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,024
Vol. 66#6 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,024
Vol. 66#7 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,024
Vol. 66#8 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,024
Vol. 66#9 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,024
Vol. 66#10 (2012) 第65回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,024
Vol. 66#11 (2012) 増刊号 オキュラーサーフェス診療アップデート	¥9,180
Vol. 66#12 (2012) 災害、震災時の眼科医療	¥3,024
Vol. 66#13 (2012) 眼にやさしい眼瞼腫瘍の切除後再建	¥3,024
Vol. 67#1 (2013) 新しい緑内障手術	¥3,024
Vol. 67#2 (2013) 中心性漿液性脈絡網膜症の病態と治療	¥3,024
Vol. 67#3 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,024
Vol. 67#4 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,024
Vol. 67#5 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,024
Vol. 67#6 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,024
Vol. 67#7 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,024
Vol. 67#8 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,024
Vol. 67#9 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,024
Vol. 67#10 (2013) 第66回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,024
Vol. 67#11 (2013) 増刊号 図で早わかり 実戦！眼科薬理	¥9,180
Vol. 67#12 (2013) 抗VEGF薬をどう使う?	¥3,024
Vol. 67#13 (2013) 新しい角膜パーツ移植	¥3,024
Vol. 68#1 (2014) 糖尿病黄斑症は今こう治療する/眼底疾患と悪性腫瘍	¥3,024
Vol. 68#2 (2014) ロービジョンケアの基本をマスターしよう	¥3,024
Vol. 68#3 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,024
Vol. 68#4 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,024
Vol. 68#5 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,024
Vol. 68#6 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,024
Vol. 68#7 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,024
Vol. 68#8 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,024
Vol. 68#9 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,024
Vol. 68#10 (2014) 第67回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,024
Vol. 68#12 (2014) 網膜静脈閉塞の最新治療	¥3,024
Vol. 68#13 (2014) 新しい術式を評価する	¥3,024
Vol. 69#1 (2015) 眼感染症-知っておくべきことから最新の治療まで/硝	¥3,024
Vol. 69#2 (2015) 脈絡膜と網膜疾患／特集2　近年のコンタクトレンズ事	¥3,024
Vol. 69#3 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(1)	¥3,024
Vol. 69#4 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(2)	¥3,024

Vol. 69#5 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(3)	¥3,024
Vol. 69#6 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(4)	¥3,024
Vol. 69#7 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(5)	¥3,024
Vol. 69#8 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(6)	¥3,024
Vol. 69#9 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(7)	¥3,024
Vol. 69#10 (2015) 第68回日本臨床眼科学会講演集(8)	¥3,024
Vol. 69#12 (2015) 遺伝性網膜疾患のトータルケア	¥3,024
Vol. 69#13 (2015) これからの眼底血管評価法	¥3,024
Vol. 70#1 (2016) 眼内レンズアップデート	¥3,024
Vol. 70#2 (2016) 緑内障治療の副作用・合併症対策総ざらい	¥3,024
Vol. 70#3 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[1]	¥3,024
Vol. 70#4 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[2]	¥3,024
Vol. 70#5 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[3]	¥3,024
Vol. 70#6 (2016) 第69回日本臨床眼科学会講演集[4]	¥3,024

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

978 臨床外科（医学書院）

Vol. 1#1-4 (1946/1947)	各号	¥2,700
Vol. 2#1-4 (1947)	各号	¥2,700
Vol. 3-39 (1948-1984) 各1-12号	各号	¥2,700
Vol. 40-46 (1985-1991) 各1-13号	各号	¥2,700
Vol. 34-46 (1979-1991) 各増刊号	各号	¥8,640
Vol. 47#1-10,12,13 (1992)	各号	¥2,700
Vol. 47#11 (1992) 増刊号 外来患者・薬物療法マニュアル		¥8,640
Vol. 48#1-10,12,13 (1993)	各号	¥2,700
Vol. 48#11 (1993)		¥8,640
Vol. 49#1-10,12-13 (1994)	各号	¥2,700
Vol. 49#11 (1994) 増刊号 施設別/新・悪性腫瘍治療		¥8,640
Vol. 50#1 (1995) 早期胃癌の内視鏡的根治切除		¥2,700
Vol. 50#2 (1995) 消化器癌画像診断のノウ・ハウ		¥2,700
Vol. 50#3 (1995) Q & A 人工呼吸管理とベンチレータ		¥2,700
Vol. 50#4 (1995) 新しい膵手術のテクニック		¥2,700
Vol. 50#5 (1995) 画像診断が変わる? MRIの新しい展開		¥2,700
Vol. 50#6 (1995) 外科臨床医のための基本手技		¥2,700
Vol. 50#7 (1995) 再発消化管癌を治療する		¥2,700
Vol. 50#8 (1995) 高齢者の外科-キュアとケア		¥2,700
Vol. 50#9 (1995) 出血させない消化器癌手術		¥2,700
Vol. 50#10 (1995) 多臓器不全-患者管理の実際		¥2,700
Vol. 50#11 (1995) 増刊号 術後1週間の患者管理		¥8,640
Vol. 50#12 (1995) 消化器癌手術における皮膚切開		¥2,700
Vol. 50#13 (1995) 外科医のための緩和ケア		¥2,700
Vol. 51#1 (1996) 乳房温存療法の適応と実際		¥2,700
Vol. 51#2 (1996) 甲状腺外科の新しい展開		¥2,700
Vol. 51#3 (1996) 肝炎・肝硬変患者の消化器外科手術		¥2,700
Vol. 51#4 (1996) 術後感染症-予防と治療の実際-		¥2,700
Vol. 51#5 (1996) 肛門疾患診療のポイント		¥2,700
Vol. 51#6 (1996) 外科医に必要な整形外科の知識		¥2,700
Vol. 51#7 (1996) 図解 成人鼠径ヘルニア手術		¥2,700
Vol. 51#8 (1996) 直腸癌に対する肛門機能温存手術		¥2,700
Vol. 51#9 (1996) 急性腹症-画像診断から初期治療まで		¥2,700
Vol. 51#10 (1996) 胃癌治療のup-to-date		¥2,700
Vol. 51#11 (1996) 増刊号 術前ワークアップマニュアル		¥8,640
Vol. 51#12 (1996) 外科医のためのペインクリニック		¥2,700
Vol. 51#13 (1996) 大災害に対する外科医の備え		¥2,700
Vol. 52#1 (1997) 転移性肺癌診療の最新ストラテジー		¥2,484
Vol. 52#2 (1997) 消化器の前癌病変とハイリスク病変		¥2,484
Vol. 52#3 (1997)ドレッシング-創傷管理の新たな展開-		¥2,484
Vol. 52#4 (1997) 膵瘻の予防・治療のノウハウ		¥2,484
Vol. 52#5 (1997) サイトカインからみた周術期管理		¥2,484
Vol. 52#6 (1997) 輸血後GHVDをめぐる諸問題		¥2,484
Vol. 52#7 (1997) 経腸栄養法-最新の動向		¥2,484
Vol. 52#8 (1997) 児童吻合器・縫合器の安全,有効な		¥2,484
Vol. 52#9 (1997) 甲状腺と上皮小体の外科-最近の進歩		¥2,484
Vol. 52#10 (1997) 食道癌診療のトピックス		¥2,484
Vol. 52#11 (1997) 増刊号 外来診療・小外科マニュアル		¥8,424
Vol. 52#12 (1997) 消化器外科領域におけるメタリックステント		¥2,484
Vol. 52#13 (1997) 血管系病変と腹部消化器外科		¥2,484
Vol. 53#1 (1998) 胆道ドレナージを考える		¥2,484
Vol. 53#2 (1998) 食道・胃静脈瘤攻略法		¥2,484
Vol. 53#3 (1998) 自己血輸血の現状と将来展望		¥2,484
Vol. 53#4 (1998) 早期直腸癌診療のストラテジー		¥2,484
Vol. 53#5 (1998) 病態別補充・補正のFormula		¥2,484

Vol. 53#6 (1998) ここまできたDay Surgery	¥2,484
Vol. 53#7 (1998) 分子生物学的診断は病理診断に迫れるか	¥2,484
Vol. 53#8 (1998) 肛門疾患診断・治療のノウハウ	¥2,484
Vol. 53#9 (1998) 急性腹膜炎-病態と治療の最前線	¥2,484
Vol. 53#10 (1998) 胃癌術後補助化学療法をめぐって	¥2,484
Vol. 53#11 (1998) 増刊号 縫合・吻合法のバイブル	¥8,424
Vol. 53#12 (1998) 肝癌治療のupdate	¥2,484
Vol. 53#13 (1998) 外科・形成外科の連携と展望	¥2,484
Vol. 54#1 (1999) 乳癌の手術：最適化への論点	¥2,592
Vol. 54#2 (1999) 癌転移治療のノウハウ	¥2,592
Vol. 54#3 (1999) 器械吻合・縫合におけるコツとピットフォール	¥2,592
Vol. 54#4 (1999) Surgical deviceの有効、安全な使い方	¥2,592
Vol. 54#5 (1999) 切除標本取扱ガイドライン-癌取扱い規制に	¥2,592
Vol. 54#6 (1999) 直腸癌の治療-機能温存手術のプログレス	¥2,592
Vol. 54#7 (1999) 膵臓外科に対するチャレンジ：切離・吻合の..	¥2,592
Vol. 54#8 (1999) 3D画像診断の肝胆膵手術への応用	¥2,592
Vol. 54#9 (1999) 在宅栄養療法の標準管理	¥2,592
Vol. 54#10 (1999) 消化管EMRの現状と問題点	¥2,592
Vol. 54#11 (1999) 増刊号　薬物療法マニュアル	¥8,424
Vol. 54#12 (1999) 胃・十二指腸の非腫瘍性疾患-外科医のため	¥2,592
Vol. 54#13 (1999) 大腸の非腫瘍性疾患-外科医のための診療..	¥2,592
Vol. 55#1 (2000) 肝臓移植を理解する	¥2,592
Vol. 55#2 (2000) イレウス診療のupdate	¥2,592
Vol. 55#3 (2000) Sentinel Node Navigation Surgery	¥2,592
Vol. 55#4 (2000) 各種ステント治療のノウハウ	¥2,592
Vol. 55#5 (2000) 輸液：その組成・アクセス・管理	¥2,592
Vol. 55#6 (2000) 胃全摘後の消化管再建-術式のベストチョイス	¥2,592
Vol. 55#7 (2000) 抗菌薬ベストチョイス-その理論と実際	¥2,592
Vol. 55#8 (2000) 肛門疾患診療の実際とコツ	¥2,592
Vol. 55#9 (2000) 外科医に求められる緩和医療プラクティス	¥2,592
Vol. 55#10 (2000) ベッドサイド基本手技とコツ	¥2,592
Vol. 55#11 (2000) 増刊号　癌治療のプロトコール-当施設は	¥8,424
Vol. 55#12 (2000) 胃癌術後のフォローアップ:再発と二次癌対策	¥2,592
Vol. 55#13 (2000) 超音波ガイド下の穿刺手技	¥2,592
Vol. 56#1 (2001) 21世紀の外科-Tissue Engineering	¥2,592
Vol. 56#2 (2001) 重症急性膵炎の診断Now	¥2,592
Vol. 56#3 (2001) 総胆管結石治療の最前線-手技と周辺機器の	¥2,592
Vol. 56#4 (2001) 外科におけるクリニカルパスの展開	¥2,592
Vol. 56#5 (2001) 家族性腫瘍-診断と治療の現況	¥2,592
Vol. 56#6 (2001) 大腸癌の術後再発をめぐって	¥2,592
Vol. 56#7 (2001) 肝良性疾患-鑑別診断と治療方法選択のup..	¥2,592
Vol. 56#8 (2001) 閉塞性黄疸の診療手順	¥2,592
Vol. 56#9 (2001) 外科と消毒と感染予防	¥2,592
Vol. 56#10 (2001) 甲状腺外科:最新の臨床	¥2,592
Vol. 56#11 (2001) 増刊号 画像で決める癌手術の切除範囲	¥8,424
Vol. 56#12 (2001) 新しい医療材料と器具	¥2,592
Vol. 56#13 (2001) IVRの現状と問題点	¥2,592
Vol. 57#1 (2002) 最先端の外科医療	¥2,592
Vol. 57#2 (2002) 食道癌治療におけるcontroversy	¥2,592
Vol. 57#3 (2002) 乳癌：初回治療の標準化	¥2,592
Vol. 57#4 (2002) 消化器外科における機能検査	¥2,592
Vol. 57#5 (2002) 肝切除術のコツ	¥2,592
Vol. 57#6 (2002) エビデンスから見直す癌術後患者のフォローアップ	¥2,592
Vol. 57#7 (2002) 外科診療とステロイド療法	¥2,592
Vol. 57#8 (2002) ヘルニアー最新の治療	¥2,592
Vol. 57#9 (2002) パソコン活用術とその周辺	¥2,592
Vol. 57#10 (2002) 内視鏡下手術の現状と問題点	¥2,592

	Vol. 57#11 (2002) 増刊号 癌診療に役立つ最新データ	¥8,424
	Vol. 57#12 (2002) 肛門疾患手術の up to date	¥2,592
	Vol. 57#13 (2002) 胃癌治療ガイドラインの検証	¥2,592
	Vol. 58#1 (2003) 外科における重症感染症とその対策	¥2,592
	Vol. 58#2 (2003) 胆嚢癌 NOW	¥2,592
	Vol. 58#3 (2003) Q&A器械吻合・縫合のコツ	¥2,592
	Vol. 58#4 (2003) 腹腔鏡下大腸切除術のコツ	¥2,592
	Vol. 58#5 (2003) 栄養療法と formula	¥2,592
	Vol. 58#6 (2003) 癌肝転移の治療戦略	¥2,592
	Vol. 58#7 (2003) 癌化学療法レジメンの選択とその根拠:乳癌・肺癌・甲	¥2,592
	Vol. 58#8 (2003) 癌化学療法レジメンの選択とその根拠：消化器癌	¥2,592
	Vol. 58#9 (2003) 癌と紛らわしい各領域の諸病変	¥2,592
	Vol. 58#10 (2003) 神経温存胃切除術	¥2,592
	Vol. 58#11 (2003) 増刊号クリニカルパスによる外科医療の進歩	¥8,640
	Vol. 58#12 (2003) 浸潤性膵管癌の診療をどうするか	¥2,592
	Vol. 58#13 (2003) 内視鏡下手術で発展した手技・器具の外科手術への	¥2,592
	Vol. 59#1 (2004) 癌 en bloc 切除と non－touch isolation technique の考	¥2,592
	Vol. 59#2 (2004) GIST（gastrointestinal stromal tumor）診療の最前線	¥2,592
	Vol. 59#3 (2004) 肝細胞癌治療の最前線	¥2,592
	Vol. 59#4 (2004) 甲状腺癌治療の最適化を目指して	¥2,592
	Vol. 59#5 (2004) Sentinel node navigation surgery 新たなる展開	¥2,592
	Vol. 59#6 (2004) 内視鏡外科手術を安全に行うために	¥2,592
	Vol. 59#7 (2004) 研修医のための外科基本手技とそのコツ	¥2,592
	Vol. 59#8 (2004) 肛門疾患診断・治療の実際	¥2,592
	Vol. 59#9 (2004) 乳癌初回の診療：ガイドラインと主治医の裁量	¥2,592
	Vol. 59#10 (2004) 周術期の輸液と感染対策	¥2,592
	Vol. 59#11 (2004) 増刊号 小外科・外来処置マニュアル	¥8,640
	Vol. 59#12 (2004) 術中の出血コントロールと止血のノウハウ	¥2,592
	Vol. 59#13 (2004) 直腸癌に対する手術のコツ	¥2,592
	Vol. 60#1 (2005) 手術のグッドタイミング	¥2,700
	Vol. 60#2 (2005) 再発食道癌を考える	¥2,700
	Vol. 60#3 (2005) 急性肺塞栓症の最新診療	¥2,700
	Vol. 60#4 (2005) Surgical Site Infection（SSI）の現状と対策	¥2,700
	Vol. 60#5 (2005) 外科栄養療法の新たな潮流	¥2,700
	Vol. 60#6 (2005) 化学放射線療法―現状とイメージングによる効果判定	¥2,700
	Vol. 60#7 (2005) 炎症性腸疾患―治療における最近の進歩	¥2,700
品切	Vol. 60#8 (2005) 肝切除のコツを知る―出血を少なくするために	¥2,700
	Vol. 60#9 (2005) 癌告知とインフォームド・コンセント	¥2,700
品切	Vol. 60#10 (2005) 自動吻合器・縫合器による消化管再建の標準手技と	¥2,700
	Vol. 60#11 (2005) 増刊号 癌治療のプロトコール2005-2006	¥8,640
	Vol. 60#12 (2005) 生体肝移植―最新の話題	¥2,700
	Vol. 60#13 (2005) 消化管機能温存を考えた外科手術最前線	¥2,700
	Vol. 61#1 (2006) GIST-診断と治療の最前線	¥2,700
	Vol. 61#2 (2006) 外科医に求められる緩和医療の知識	¥2,700
	Vol. 61#3 (2006) 乳腺疾患を取り巻くガイドラインと最新の知見-最適な	¥2,700
品切	Vol. 61#4 (2006) 最新の手術器械-使いこなすコツを学ぶ	¥2,700
	Vol. 61#5 (2006) 手術のための臨床局所解剖	¥2,700
	Vol. 61#6 (2006) 癌の播種性病変の病態と診断・治療	¥2,700
	Vol. 61#7 (2006) 消化器外科における非観血的ドレナージ	¥2,700
	Vol. 61#8 (2006) 急性腹症における低侵襲な治療法選択	¥2,700
	Vol. 61#9 (2006) 消化器外科医に必要な低侵襲治療の知識	¥2,700
	Vol. 61#10 (2006) 今どうして NST なのか？	¥2,700
	Vol. 61#11 (2006) 増刊号 イラストレイテッド外科標準術式	¥8,640
	Vol. 61#12 (2006) 生活習慣病および代謝性疾患と外科	¥2,700
	Vol. 61#13 (2006) 消化器外科術後合併症の治療戦略-私たちはこのよう	¥2,700
	Vol. 62#1 (2007) 良性腸疾患における腹腔鏡下手術の適応と限界	¥2,700
	Vol. 62#2 (2007) 外科領域におけるインフォームド・コンセントと医療安全	¥2,700

	Vol. 62#3 (2007) 術後呼吸器合併症 予防と対策の最新知識	¥2,700
	Vol. 62#4 (2007) 癌診療ガイドラインの功罪	¥2,700
	Vol. 62#5 (2007) 外来がん化学療法と外科	¥2,700
	Vol. 62#6 (2007) 肝胆膵術後合併症―その予防のために	¥2,700
	Vol. 62#7 (2007) 乳癌の治療戦略-エビデンスとガイドラインの使い方	¥2,700
	Vol. 62#8 (2007) Surgical Site Infection(SSI)対策	¥2,700
	Vol. 62#9 (2007) 多発肝転移をめぐって	¥2,700
	Vol. 62#10 (2007) 肛門疾患診断・治療のコツと実際	¥2,700
	Vol. 62#11 (2007) 増刊号 癌診療に役立つ最新データ2007-2008	¥8,856
	Vol. 62#12 (2007) Up-to-Date 外科医のための創傷治癒	¥2,700
	Vol. 62#13 (2007) 膵臓外科の新たな展開	¥2,700
	Vol. 63#1 (2008) 機能温存手術のメリット・デメリット	¥2,700
	Vol. 63#2 (2008) 安全な消化管器械吻合をめざして	¥2,700
	Vol. 63#3 (2008) 術前・術中のリンパ節転移診断の方法とその有用性	¥2,700
	Vol. 63#4 (2008) 消化器外科と漢方	¥2,700
	Vol. 63#5 (2008) 胆道癌外科診療を支えるエキスパートテクニック	¥2,700
	Vol. 63#6 (2008) 肝・胆・膵領域における腹腔鏡下手術の最前線	¥2,700
	Vol. 63#7 (2008) 実践に必要な術後創の管理	¥2,700
	Vol. 63#8 (2008) St.Gallen 2007に基づいた乳癌テーラーメイド補助療法	¥2,700
	Vol. 63#9 (2008) がんの切除範囲を考える-診断法とその妥当性	¥2,700
	Vol. 63#10 (2008) 鼠径ヘルニアの治療NOW-乳幼児から成人まで	¥2,700
	Vol. 63#11 (2008) 増刊号 肛門疾患診療のすべて	¥8,856
	Vol. 63#12 (2008) 十二指腸病変に対する外科的アプローチ	¥2,700
	Vol. 63#13 (2008) 外科における adjuvant/neoadjuvant chemotherapy up	¥2,700
	Vol. 64#1 (2009) 外科診療上知っておきたい新たな予後予測因子・スコ	¥2,808
	Vol. 64#2 (2009) 最近のGIST診療-診療ガイドラインの理解と実践	¥2,808
	Vol. 64#3 (2009) 直腸癌治療-最近の進歩と動向	¥2,808
	Vol. 64#4 (2009) 脾臓をめぐる最近のトピックス	¥2,808
	Vol. 64#5 (2009) 炎症性腸疾患患者外科治療のcontroversy	¥2,808
	Vol. 64#6 (2009) 消化器癌外科治療のrandomized controlled trial	¥2,808
	Vol. 64#7 (2009) 肝胆膵癌に対する補助療法―治療成績の向上を目指	¥2,808
	Vol. 64#8 (2009) 胆嚢癌根治手術をめぐる諸問題	¥2,808
	Vol. 64#9 (2009) 外科医に求められるチーム医療Practice	¥2,808
	Vol. 64#10 (2009) 消化器外科における経腸栄養の意義と役割	¥2,808
	Vol. 64#11 (2009) 増刊号 できる！縫合・吻合	¥8,856
	Vol. 64#12 (2009) 転移性腫瘍に対する治療戦略	¥2,808
	Vol. 64#13 (2009) 内視鏡下手術―もう一歩のステップアップのために	¥2,808
	Vol. 65#1 (2010) がん診療ガイドライン―臨床現場における有効活用法	¥2,808
	Vol. 65#2 (2010) 外科医に必要なPET検査の知識－その有用性と問題	¥2,808
	Vol. 65#3 (2010) エキスパートが伝える 消化器癌手術の流れと手術助手	¥2,808
	Vol. 65#4 (2010) 消化器癌neoadjuvant chemotherapyの新展開	¥2,808
	Vol. 65#5 (2010) 消化器外科手術における新しい潮流	¥2,808
	Vol. 65#6 (2010) 癌外科治療の日本と海外との相違点	¥2,808
品切	Vol. 65#7 (2010) 腹壁瘢痕ヘルニア治療up date	¥2,808
	Vol. 65#8 (2010) ESD時代の外科治療	¥2,808
	Vol. 65#9 (2010) 臓器別消化器癌終末期の特徴とターミナルケア	¥2,808
品切	Vol. 65#10 (2010) 乳糜胸水・腹水を考える―その原因と対策	¥2,808
	Vol. 65#11 (2010) 増刊号 外科医のための大腸癌の診断と治療	¥8,856
	Vol. 65#12 (2010) 新しいエネルギーデバイスの構造と使い方のコツ	¥2,808
	Vol. 65#13 (2010)「出血量ゼロ」をめざした消化管癌の内視鏡下手術	¥2,808
	Vol. 66#1 (2011) 医療経済からみた大腸癌化学療法	¥2,808
	Vol. 66#2 (2011) T4の癌―臓器別特性と治療戦略	¥2,808
	Vol. 66#3 (2011) 知っておくべき外科手術の神経系合併症	¥2,808
	Vol. 66#4 (2011) 悪性腫瘍の術中病理診断を効果的に活用する―どこ	¥2,808
	Vol. 66#5 (2011) いま必要な外科治療に関する臨床試験の最新知識	¥2,808
	Vol. 66#6 (2011) 栄養療法―最新の知見と新たな展開	¥2,808
	Vol. 66#7 (2011) 術前薬物療法は乳癌手術を縮小させるか	¥2,808

	Vol. 66#8 (2011) 画像診断の進歩をいかに手術に役立てるか	¥2,808
	Vol. 66#9 (2011) 下大静脈にかかわる病態を見直す	¥2,808
	Vol. 66#10 (2011) 進歩する癌転移診断 外科臨床はどう変わるのか	¥2,808
	Vol. 66#11 (2011) 増刊号 最新癌薬物療法	¥8,856
	Vol. 66#12 (2011) 目でわかる肛門疾患治療	¥2,808
	Vol. 66#13 (2011) 外科医のための消化器内視鏡 Up-to-Date	¥2,808
	Vol. 67#1 (2012)「切除困難例」への化学療法後の手術	¥2,808
	Vol. 67#2 (2012) 肝胆膵外科手術における術中トラブル	¥2,808
品切	Vol. 67#3 (2012) 消化器外科のドレーン管理を再考する	¥2,808
	Vol. 67#4 (2012) 内視鏡外科手術の腕をみがく	¥2,808
	Vol. 67#5 (2012) 次代のMinimally Invasive Surgery!	¥2,808
	Vol. 67#6 (2012) よくわかるNCD	¥2,808
	Vol. 67#7 (2012) 分子標的薬の有害事象とその対策	¥2,808
	Vol. 67#8 (2012) 知っておきたい放射線・粒子線治療	¥2,808
	Vol. 67#9 (2012) 高齢者外科手術における周術期管理	¥2,808
	Vol. 67#10 (2012) 炎症性腸疾患のすべて―新しい治療戦略	¥2,808
	Vol. 67#11 (2012) 増刊号 外科医のための癌診療データ	¥8,856
	Vol. 67#12 (2012) 食道癌・胃癌切除後の再建法を見直す 達人の選択	¥2,808
	Vol. 67#13 (2012) 本当は怖い臓器解剖変異 外科医が必ず知っておく	¥2,808
	Vol. 68#1 (2013) 進歩する消化器外科手術―術式の温故知新	¥2,808
	Vol. 68#2 (2013) 術後の血管系合併症―その診断と対策	¥2,808
	Vol. 68#3 (2013) CRT時代の直腸癌手術 ―最善の戦略は何か	¥2,808
	Vol. 68#4 (2013)「食道胃接合部癌」に迫る!	¥2,808
	Vol. 68#5 (2013) 一般外科医が知っておくべき 小児患者への対応	¥2,808
	Vol. 68#6 (2013) 胃癌腹膜転移治療の最前線	¥2,808
	Vol. 68#7 (2013) NOTSS－外科医に問われる手技以外のスキル	¥2,808
	Vol. 68#8 (2013) 外科医のための癌免疫療法－基礎と臨床	¥2,808
	Vol. 68#9 (2013) 大腸癌腹膜播種を極める－最近の進歩と今後の展望	¥2,808
	Vol. 68#10 (2013) 次代の外科専門医をめざしたトレーニングシステム	¥2,808
	Vol. 68#11 (2013) 増刊号 術前画像診断のポイントと術中の解剖認識	¥8,856
	Vol. 68#12 (2013) 漢方を上手に使う－エビデンスに基づいた外科診療	¥2,808
	Vol. 68#13 (2013) 切除可能なStage Ⅳ胃癌に対する外科治療	¥2,808
	Vol. 69#1 (2014) 見直される膵癌診療の新展開	¥2,808
	Vol. 69#2 (2014) ディベート★消化器・一般外科手術-選ぶのはどっちだ	¥2,808
	Vol. 69#3 (2014) 究極の肛門温存術式ISR-長期成績からわかる有用性と	¥2,808
	Vol. 69#4 (2014) サルベージとコンバージョン	¥2,808
	Vol. 69#5 (2014) 消化器外科での救急医療	¥2,808
	Vol. 69#6 (2014) 癌の補助療法アップデート	¥2,808
	Vol. 69#7 (2014) 術後合併症への対処法Surgical vs Non-Surgical-いつ	¥2,808
	Vol. 69#8 (2014) 肝胆膵癌の血管浸潤をどう治療するか	¥2,808
	Vol. 69#9 (2014) 外科医が知っておくべき小腸疾患	¥2,808
	Vol. 69#10 (2014) 直腸癌局所再発に対する治療戦略	¥2,808
	Vol. 69#11 (2014) 増刊号 ERAS時代の周術期管理マニュアル	¥8,856
	Vol. 69#12 (2014) 外科切除適応の境界領域-Borderline resectable canc	¥2,808
	Vol. 69#13 (2014) 早期胃癌の外科治療を極める?「EMR適応外」への安	¥2,808
	Vol. 70#1 (2015) 胆道癌外科切除-再発防止のストラテジー	¥2,916
	Vol. 70#2 (2015) 肛門良性疾患を極める－目で見る　多彩な病態へのア	¥2,916
	Vol. 70#3 (2015) 生検材料を手術に活かす	¥2,916
	Vol. 70#4 (2015) 膵・消化管神経内分泌腫瘍（GEP-NET）のアップデート	¥2,916
	Vol. 70#5 (2015) 外科医が知っておくべき　がん薬物療法の副作用とそ	¥2,916
	Vol. 70#6 (2015) 胃切除後再建術式の工夫とその評価	¥2,916
	Vol. 70#7 (2015) 臨床外科 Vol.70 No.7 (2015) Neoadjuvant therapyの	¥2,916
	Vol. 70#8 (2015) 大腸癌腹腔鏡手術の新展開-Reduced port surgeryか	¥2,916
	Vol. 70#9 (2015) 再発に挑む！―外科治療の役割	¥2,916
	Vol. 70#10 (2015) エキスパートの消化管吻合を学ぶ	¥2,916
	Vol. 70#12 (2015) 同時性・異時性の重複がんを見落とさないーがん診療	¥2,916
	Vol. 70#13 (2015) 外科医に求められる積極的緩和医療―延命と症状緩	¥2,916

	Vol. 71#1 (2016) 十二指腸乳頭部病変に対する新たな治療戦略ー新規		¥2,916
	Vol. 71#2 (2016) イラストでみる大腸癌腹腔鏡手術のポイント		¥2,916
	Vol. 71#3 (2016) 術後障害のリアルー外来フォローの実力が臓器損失を		¥2,916
	Vol. 71#4 (2016) 大腸癌肝転移ー最新の治療ストラテジー		¥2,916
	Vol. 71#5 (2016) 外科臨床研究のノウハウと重要研究の総まとめ		¥2,916
	Vol. 71#6 (2016) 必携 腹腔鏡下胃癌手術の完全マスターービギナーから		¥2,916
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
979	**臨床発達心理実践研究（日本臨床発達心理士会）**		
	Vol. 7-8 (2012-2013)	各巻	¥2,700
	Vol. 9-12 (2014-2016) 各1-2号	各号	¥2,700

980 臨床皮膚科（医学書院）

Vol. 21-22 (1967-1968) 各1-13号	各号	¥2,916
Vol. 23-24 (1969-1970) 各1-12号	各号	¥2,916
Vol. 25#1-13 (1971)	各号	¥2,916
Vol. 26#1-12 (1972)	各号	¥2,916
Vol. 27＃1-4,6-12 (1973)	各号	¥2,916
Vol. 28-40 (1974-1986) 各1-12号	各号	¥2,916
Vol. 41#1-13 (1987)	各号	¥2,916
Vol. 42#1-12 (1988)	各号	¥2,916
Vol. 43#1-13 (1989)	各号	¥2,916
Vol. 44#1-5,7-13 (1990)	各号	¥2,916
Vol. 44#6 (1990) 増刊号 最近のトピックス1990		¥4,860
Vol. 45#1-4,6-13 (1991)	各号	¥2,916
Vol. 45#5 (1991) 増刊号 最近のトピックス1991		¥4,968
Vol. 46#1-4,6-13 (1992)	各号	¥2,916
Vol. 46#5 (1992) 増刊号 最近のトピックス1992		¥4,968
Vol. 47#1-4,6-13 (1993)	各号	¥2,916
Vol. 47#5 (1993) 増刊号 最近のトピックス1993		¥5,184
Vol. 48#1-4,6-13 (1994)	各号	¥2,916
Vol. 48#5 (1994) 増刊号 最近のトピックス1994		¥5,184
Vol. 49#1-4,6-13 (1995)	各号	¥2,916
Vol. 49#5 (1995) 増刊号 最近のトピックス1995		¥5,184
Vol. 50#1-4,6-12 (1996)	各号	¥2,916
Vol. 50#5 (1996) 増刊号 最近のトピックス1996		¥5,400
Vol. 51#1-4,6-13 (1997)	各号	¥2,700
Vol. 51#5 (1997) 増刊号 最近のトピックス1997		¥5,832
Vol. 52#1-4,6-13 (1998)	各号	¥2,700
Vol. 52#5 (1998) 増刊号 最近のトピックス1998		¥5,832
Vol. 53#1-4,6-13 (1999)	各号	¥2,808
Vol. 53#5 (1999) 増刊号 最近のトピックス1999		¥6,480
Vol. 54#1-4,6-13 (2000)	各号	¥2,808
Vol. 54#5 (2000) 増刊号 最近のトピックス2000		¥7,020
Vol. 55#1-4,6-13 (2001)	各号	¥2,808
Vol. 55#5 (2001) 増刊号 最近のトピックス2001		¥7,236
Vol. 56#1-4,6-13 (2002)	各号	¥2,808
Vol. 56#5 (2002) 増刊号 最近のトピックス2002		¥7,236
Vol. 57#1-4,6-13 (2003)	各号	¥2,916
Vol. 57#5 (2003) 増刊号 最近のトピックス2003		¥7,236
Vol. 58#1-4,6-13 (2004)	各号	¥2,916
Vol. 58#5 (2004) 増刊号 最近のトピックス2004		¥7,236
Vol. 59#1-4,6-13 (2005)	各号	¥2,916
Vol. 59#5 (2005) 増刊号 最近のトピックス2005		¥7,236
Vol. 60#1-4,6-13 (2006)	各号	¥2,916
Vol. 60#5 (2006) 増刊号 最近のトピックス2006		¥7,236
Vol. 61#1-4,6-13 (2007)	各号	¥2,916
Vol. 61#5 (2007) 増刊号 最近のトピックス2007		¥7,344
Vol. 62#1-4,6-13 (2008)	各号	¥2,916
Vol. 62#5 (2008) 増刊号 最近のトピックス2008		¥7,344
Vol. 63#1,2,4,6-13 (2009)	各号	¥2,916
Vol. 63#5 (2009) 増刊号 最近のトピックス2009		¥7,344
Vol. 64#1-4,6-13 (2010)	各号	¥2,916
Vol. 64#5 (2010) 増刊号 最近のトピックス2010		¥7,344
Vol. 65#1-4,6-13 (2011)	各号	¥2,916
Vol. 65#5 (2011) 増刊号 最近のトピックス2011		¥7,344

Vol. 66#1-4,6-13 (2012)	各号	¥3,024
Vol. 66#5 (2012) 増刊号 最近のトピックス2012		¥7,344
Vol. 67#1-4,6-13 (2013)	各号	¥3,024
Vol. 67#5 (2013) 増刊号 最近のトピックス2013		¥7,344
Vol. 68#1-4,6-13 (2014)	各号	¥3,024
Vol. 68#5 (2014) 増刊号 最近のトピックス2014		¥7,344
Vol. 69#1-4,6-13 (2015)	各号	¥3,024
Vol. 69#5 (2015) 増刊号 最近のトピックス2015		¥7,344
Vol. 70#1-4,6 (2016)	各号	¥3,024

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

981 臨床泌尿器科（医学書院）

Vol. 21#2-12 (1967)	各号	¥2,916
Vol. 22-26 (1968-1972) 各1-13号	各号	¥2,916
Vol. 27-43 (1973-1989) 各1-12号	各号	¥2,916
Vol. 44#1-12 (1990)	各号	¥2,916
Vol. 45#1-5,7-13 (1991)	各号	¥2,916
Vol. 45#6 (1991) 増刊号 外来泌尿器科マニュアル 私はこうしている		¥8,640
Vol. 46#1-10,12-13 (1992)	各号	¥2,916
Vol. 46#11 (1992) 増刊号 泌尿器科医のため 臨床超音波マニュアル		¥5,184
Vol. 47#1-3,5-13 (1993)	各号	¥2,916
Vol. 12#3 (2014)		¥3,024
Vol. 47#4 (1993) 増刊号 泌尿器科治療薬マニュアル		¥5,184
Vol. 48#1-3,5-13 (1994)	各号	¥2,916
Vol. 48#4 (1994) 増刊号 小児泌尿器科診療		¥8,640
Vol. 49#1-3,6-11,13 (1995)	各号	¥2,916
Vol. 49#4 (1995) 増刊号 泌尿器科病棟マニュアル		¥8,640
Vol. 49#5 (1995) 新しい抗生物質と感染症		¥2,916
Vol. 49#12 (1995) 泌尿器科領域での救急医療		¥2,916
Vol. 50#1-3,5,6,8-12 (1996)	各号	¥2,916
Vol. 50#4 (1996) 増刊号 前立腺肥大症		¥8,640
Vol. 50#7 (1996) 男性不妊症		¥2,916
Vol. 50#13 (1996) 排尿障害を診る-検査と治療		¥2,916
Vol. 51#1-4,6,8-13 (1997)	各号	¥2,592
Vol. 51#5 (1997) 増刊号 術者からみた局所解剖		¥8,640
Vol. 51#7 (1997) 泌尿器科領域の新しい画像診断		¥2,592
Vol. 52#1,2,5,6,8-13 (1998)	各号	¥2,700
Vol. 52#3 (1998) 泌尿器科領域..分子生物学..臨床応用:診断編		¥2,700
Vol. 52#4 (1998) 増刊号 膀胱全摘除術と尿路変向術のすべて		¥7,560
Vol. 52#7 (1998) 泌尿器科領域..分子生物学..臨床応用:治療編		¥2,700
Vol. 53#1-3,5-11,13 (1999)	各号	¥2,700
Vol. 53#4 (1999) 増刊号 泌尿器科画像診断		¥7,560
Vol. 53#12 (1999) 泌尿器科領域の救急疾患-診断・治療の..		¥2,700
Vol. 54#1-3,5,7-13 (2000)	各号	¥2,700
Vol. 54#4 (2000) 増刊号 泌尿器科外来診療-私はこうしている-		¥7,560
Vol. 54#6 (2000) 泌尿器切除標本の取り扱い方		¥5,400
Vol. 55#1-3,5-9,11-13 (2001)	各号	¥2,808
Vol. 55#4 (2001) 増刊号 泌尿器科手術における合併症管理のす		¥7,776
Vol. 55#10 (2001) 最新の手術機器を使いこなす		¥7,776
Vol. 56#1-3,5-13 (2002)	各号	¥2,808
Vol. 56#4 (2002) 増刊号 泌尿器科病棟管理マニュアル		¥7,776
Vol. 57#1-3,5-7,9-13 (2003)	各号	¥2,808
Vol. 57#4 (2003) 増刊号前立腺疾患のすべて		¥8,640
Vol. 57#8 (2003) 泌尿器悪性腫瘍の治療指針私たちはこうしている		¥2,808
Vol. 58#1 (2004) 泌尿器科領域の緊急手術と緊急処置		¥2,916
Vol. 58#2,3,5,6,8-11,13 (2004)	各号	¥2,916
Vol. 58#4 (2004) 増刊号 イラストレイテッド泌尿器科手術		¥8,640
Vol. 58#7 (2004) 前立腺生検の最前線		¥2,916
Vol. 58#12 (2004) 悪性腫瘍との鑑別が困難な各領域の諸病変		¥2,916
Vol. 59#1-3,5,6,8,10,11,13 (2005)	各号	¥2,916
Vol. 59#4 (2005) 増刊号ここが聞きたい泌尿器科外来における対処と処		¥8,640
Vol. 59#7 (2005) 手術によらない限局性前立腺癌の治療		¥2,916
Vol. 59#9 (2005) 泌尿器科体腔鏡下手術を安全に行うために		¥2,916
Vol. 59#12 (2005) 泌尿器切除標本の取り扱い方ー私たちはこうしている		¥2,916
Vol. 60#1-3,5-7,9,11,13 (2006)	各号	¥2,916
Vol. 60#4 (2006) 増刊号ここが聞きたい泌尿器科検査ベストプラクティス		¥8,640

Vol. 60#8 (2006) 泌尿器科臨床の難問を解く-EBMを考慮した解説		¥2,916
Vol. 60#10 (2006) Female urology		¥2,916
Vol. 60#12 (2006) ここが知りたい-癌薬物療法		¥2,916
Vol. 61#1 (2007) Aging male これからの展開		¥2,916
Vol. 61#2,3,6 (2007)	各号	¥2,916
Vol. 61#4 (2007) 増刊号 ここが聞きたい泌尿器科処置・手術とトラブル対		¥8,856
Vol. 61#5 (2007) 腎細胞癌診療の新しい展開		¥2,916
Vol. 61#7 (2007) これだけは知っておきたい―尿路結石症の再発予防		¥2,916
Vol. 61#8 (2007) 過活動膀胱のすべて		¥2,916
Vol. 61#9 (2007) 肥満と前立腺癌 腹腔鏡下手術時代における開放手術		¥2,916
Vol. 61#10 (2007) 性感染症の現状		¥2,916
Vol. 61#11 (2007) 尿管結石の積極的治療方針ほか		¥2,916
Vol. 61#12 (2007) マイクロ波手術器(マイクロターゼ)を用いた鏡視下腎		¥2,916
Vol. 61#13 (2007) 泌尿器科救急		¥2,916
Vol. 62#1,2,7,9,11,13 (2008)	各号	¥2,916
Vol. 62#3 (2008) 前立腺肥大症のいま 古くて新しい疾患		¥2,916
Vol. 62#4 (2008) 増刊号 泌尿器科外来ベストナビゲーション		¥8,856
Vol. 62#5 (2008) アカデミアにおける新規医療技術開発促進のためにほ		¥2,916
Vol. 62#6 (2008) 静脈内腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の手術治療と成績ほ		¥2,916
Vol. 62#8 (2008) 男性不妊症に対するマイクロサージェリー		¥2,916
Vol. 62#10 (2008) EBMに基づく小児泌尿器科診療		¥2,916
Vol. 62#12 (2008) 間質性膀胱炎を診る		¥2,916
Vol. 63#1,3 (2009)	各号	¥2,916
Vol. 63#2 (2009) 泌尿器科医のための内分泌学ことはじめ		¥2,916
Vol. 63#4 (2009) 増刊号 イラストレイテッド 膀胱全摘除術と尿路変向術		¥8,856
Vol. 63#5 (2009) 泌尿器科の癌薬物療法-ここが聞きたい		¥2,916
Vol. 63#6 (2009) 尿管形成術		¥2,916
Vol. 63#7 (2009) 泌尿器科医に必要な癌緩和ケア		¥2,916
Vol. 63#8 (2009) 異所開口尿管切除術		¥2,916
Vol. 63#9 (2009) 泌尿器科専門医のための臓器別画像診断のポイント		¥2,916
Vol. 63#10 (2009) 尿路系の手術		¥2,916
Vol. 63#11 (2009) 尿路変向術・膀胱再建術		¥2,916
Vol. 63#12 (2009) 泌尿器科領域の漢方療法―エキスパートに聞く		¥2,916
Vol. 63#13 (2009) 会陰式前立腺全摘除術アップデート		¥2,916
Vol. 64#1 (2010) 泌尿器腫瘍と機能温存手術		¥2,916
Vol. 64#2 (2010) 末梢血循環癌細胞（CTC）検出		¥2,916
Vol. 64#3 (2010) 泌尿器科領域における抗菌薬適正使用		¥2,916
Vol. 64#4 (2010) 増刊号 泌尿器科検査のここがポイント		¥8,856
Vol. 64#5 (2010) ここが聞きたい―尿路・性器感染症における抗菌薬の		¥2,916
Vol. 64#6 (2010) 泌尿器科領域におけるロボット手術		¥2,916
Vol. 64#7 (2010) 抗癌剤治療の副作用とそのコントロール		¥2,916
Vol. 64#8 (2010) 埋没陰茎・翼状陰茎に対する手術		¥2,916
Vol. 64#9 (2010) 筋層非浸潤性膀胱癌に関する最近の話題		¥2,916
Vol. 64#10 (2010) 前立腺肥大症の薬物治療		¥2,916
Vol. 64#11 (2010) 外来で行う泌尿器科手術-私のテクニック		¥2,916
Vol. 64#12 (2010) Focus PSA検診は有効か		¥2,916
Vol. 64#13 (2010)		¥2,916
Vol. 65#1 (2011) ワンランク上の泌尿器科エマージェンシー		¥2,916
Vol. 65#2 (2011) ロボット手術の現況と将来展望		¥2,916
Vol. 65#3 (2011) 泌尿器科における単孔式腹腔鏡下手術		¥2,916
Vol. 65#4 (2011) 増刊号 こんなときどうする!?―泌尿器科手術のトラブル		¥8,856
Vol. 65#5 (2011)		¥2,916
Vol. 65#6 (2011) ED診療のコツ―私はこうしている		¥2,916
Vol. 65#7 (2011)		¥2,916
Vol. 65#8 (2011)　特集　血液透析―カレントトピックス		¥2,916
Vol. 65#9 (2011)		¥2,916
Vol. 65#10 (2011) 頻尿・切迫性尿失禁		¥2,916

	Vol. 65#11 (2011)		¥2,916
	Vol. 65#12 (2011) 専門医のための性分化疾患講座		¥2,916
	Vol. 65#13 (2011)		¥2,916
	Vol. 66#1 (2012) 進行性腎癌に対する分子標的治療薬・薬剤選択ガイド		¥3,024
	Vol. 66#2 (2012)		¥3,024
	Vol. 66#3 (2012) 画像診断の進歩を腫瘍手術に役立てる！		¥3,024
	Vol. 66#4 (2012) 増刊号 泌尿器科ベッドサイドマニュアル		¥8,856
	Vol. 66#5 (2012)		¥3,024
	Vol. 66#6 (2012) Energy devicesの選択と使い方		¥3,024
	Vol. 66#7 (2012)		¥3,024
	Vol. 66#8 (2012) 薬剤投与と泌尿器科的副作用ー泌尿器科医の必須知		¥3,024
	Vol. 66#9-10 (2012)	各号	¥3,024
品切	Vol. 66#11 (2012) 古くて新しい前立腺炎の臨床		¥3,024
	Vol. 66#12-13 (2012)	各号	¥3,024
	Vol. 67#1 (2013) 分子標的薬時代開幕5年目を迎えた進行腎癌の治療		¥3,024
	Vol. 67#2 (2013) Focus 泌尿器科の未来を拓くバイオ技術		¥3,024
	Vol. 67#3 (2013) 前立腺全摘除術後の合併症－予防と対処		¥3,024
	Vol. 67#4 (2013) 増刊号 泌尿器科診療　ベストNAVI		¥8,856
	Vol. 67#5 (2013) ロボット支援前立腺全摘除術		¥3,024
	Vol. 67#6 (2013)		¥3,024
	Vol. 67#7 (2013) 過活動膀胱と紛らわしい疾患・病態－鑑別診断のポイ		¥3,024
	Vol. 67#8 (2013)		¥3,024
	Vol. 67#9 (2013)		¥3,024
品切	Vol. 67#10 (2013) 泌尿器科救急疾患－あなたの対処は間違っていませ		¥3,024
	Vol. 67#11 (2013) 良性・悪性の鑑別に迷う泌尿器病変ラインアップ		¥3,024
	Vol. 67#12 (2013)		¥3,024
	Vol. 67#13 (2013) アンチエイジング医学と泌尿器科		¥3,024
	Vol. 68#1 (2014)		¥3,024
	Vol. 68#2 (2014) 男性性器疾患を診る－初期対応から専門的治療まで		¥3,024
	Vol. 68#3 (2014) 神経因性膀胱		¥3,024
	Vol. 68#4 (2014) 増刊号 前立腺癌の診療ナビゲーション わかりやすく丁		¥8,856
	Vol. 68#5 (2014)		¥3,024
	Vol. 68#6 (2014)　腎・尿管結石の治療－こんなときどう対処する？(1)		¥3,024
	Vol. 68#7 (2014)　腎・尿管結石の治療－こんなときどう対処する？(2)		¥3,024
	Vol. 68#8 (2014) 副腎腫瘍を再考する-診断と最新の低侵襲治療		¥3,024
	Vol. 68#9 (2014) 泌尿器科で起きる患者の急変－なにを考え，どのように		¥3,024
	Vol. 68#10 (2014)		¥3,024
	Vol. 68#11 (2014) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール(1)		¥3,024
	Vol. 68#12 (2014) 泌尿器科医のためのクリニカル・パール(2)		¥3,024
	Vol. 68#13 (2014) 新時代を迎えたPET診断		¥3,024
	Vol. 69#1 (2015) LOH症候群診療-最近の進歩		¥3,024
	Vol. 69#2 (2015) 小児泌尿器科内視鏡手術“最前線”-適応とコツ		¥3,024
	Vol. 69#3 (2015) 女性下部尿路機能障害のベストマネジメント		¥3,024
	Vol. 69#4 (2015) 増刊号特集 泌尿器科外来パーフェクトガイドー誰にで		¥8,856
	Vol. 69#5 (2015) 前立腺癌の内分泌療法ー気になる最新の動向		¥3,024
	Vol. 69#6 (2015) 夜間頻尿を診る-これを読めば解決！		¥3,024
	Vol. 69#7 (2015) Onco-Nephrologyーがん治療の最新フロンティア		¥3,024
	Vol. 69#8 (2015) 抗菌薬の選択と上手な使い方！－私の処方箋		¥3,024
	Vol. 69#9 (2015) 誰も教えてくれなかった緩和医療－最新知識と実践		¥3,024
	Vol. 69#10 (2015) ロボット時代の泌尿器科手術①ー前立腺癌に対する新		¥3,024
	Vol. 69#11 (2015) ロボット時代の泌尿器科手術②ー新たな術式への挑戦		¥3,024
	Vol. 69#12 (2015) いまさら聞けない！泌尿器がん化学療法の理論と実		¥3,024
	Vol. 69#13 (2015) 知っておきたい腎移植の最新情報－基礎から臨床ま		¥3,024
	Vol. 70#1 (2016) 決定版! 過活動膀胱―All about OAB		¥3,024
	Vol. 70#2 (2016) ここが知りたい! 筋層非浸潤性膀胱癌―エキスパートが		¥3,024
	Vol. 70#3 (2016) ART時代の男性不妊診療―いま泌尿器科医に求めら		¥3,024
	Vol. 70#5 (2016) これだけは伝えたい! 腎癌手術のコツ		¥3,024

	Vol. 70#6 (2016) 前立腺肥大症の薬物療法―使い分けのポイント		¥3,024
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
982	**臨床評価（臨床評価刊行会）**		
	Vol. 35#2,3 (2008/2009)	各号	¥5,400
	Vol. 36#1,2,3,Supplement 26 (2008/2009)	各号	¥5,400
	Vol. 37#1,2,Supplement 28 (2009/2010)	各号	¥5,400
	Vol. 38#1,3 (2010)	各号	¥5,400
	Vol. 39#1,2,3,Supplement 29 (2011/2012)	各号	¥5,400
	Vol. 40#1,2,Supplement 30,31 (2012/2013)	各号	¥5,400
	Vol. 41#1,2,3,4 (2013/2014)	各号	¥5,400
983	**臨牀看護（臨床看護）（へるす出版）**		
	Vol. 1#1-9 (1975)	各号	¥1,188
	Vol. 2-34 (1976-2008) 各1-14号	各号	¥1,188
	Vol. 2-34 (1975-2008) 臨時増刊号	各号	¥2,376

984 臨床検査（医学書院）

	Vol. 1-8 (1957-1964) 各1-12号	各号	¥1,836
	Vol. 9-33 (1965-1989) 各1-13号	各号	¥1,836
	Vol. 34#1-10,12,13 (1990)	各号	¥1,836
	Vol. 34#11 (1990) 電解質と微量元素の臨床検査ガイド		¥5,400
	Vol. 35#1-11,13 (1991)	各号	¥1,836
	Vol. 35#12 (1991) 増刊号 アレルギーと自己免疫		¥5,400
	Vol. 36#1-10,12,13 (1992)	各号	¥1,836
品切	Vol. 36#11 (1992) 増刊号 遺伝と臨床検査		¥5,400
	Vol. 37#1-5,7-10,12,13 (1993)	各号	¥1,836
	Vol. 37#11 (1993) 増刊号 ロボティクスと臨床検査		¥5,400
	Vol. 38#1-10,12 (1994)	各号	¥1,836
	Vol. 38#11 (1994) 増刊号 ホルモンと生理活性物質		¥5,400
	Vol. 39#1 (1995) 糖鎖の異常		¥1,836
	Vol. 39#2 (1995) 平衡機能検査		¥1,836
	Vol. 39#3 (1995) 骨髄移植		¥1,836
	Vol. 39#4 (1995) 薬物検査		¥1,836
	Vol. 39#5 (1995) 定量検査のQM-精度向上への道筋		¥1,836
	Vol. 39#6 (1995) 抗体蛋白		¥1,836
	Vol. 39#7 (1995) 赤血球-新しい展開		¥1,836
	Vol. 39#8 (1995) 脱中央化検査技術		¥1,836
	Vol. 39#9 (1995) 人畜共通感染症		¥1,836
	Vol. 39#10 (1995) 乳腺の検査		¥1,836
品切	Vol. 39#11 (1995) 増刊号 免疫組織・細胞化学検査		¥5,400
	Vol. 39#12 (1995) 腫瘍マーカー-最近の進歩		¥1,836
	Vol. 39#13 (1995) 臨床検査とQOL		¥1,836
	Vol. 40#1 (1996) 検査室の安全管理		¥1,836
	Vol. 40#2 (1996) 活性酸素とSOD		¥1,836
品切	Vol. 40#3 (1996) 悪性リンパ腫		¥1,836
	Vol. 40#4 (1996) 注目のグラム陽性菌		¥1,836
	Vol. 40#5 (1996) 心筋梗塞の生化学的マーカー		¥1,836
	Vol. 40#6 (1996) 性感染症(STD)		¥1,836
	Vol. 40#7 (1996) ニューロパチーの臨床検査		¥1,836
	Vol. 40#8 (1996) 造血幹細胞		¥1,836
	Vol. 40#9 (1996) 動脈硬化とリポ蛋白		¥1,836
	Vol. 40#10 (1996) 糖尿病-診断・治療の指標		¥1,836
	Vol. 40#11 (1996) 増刊 血栓症と血小板凝固線溶系検査		¥5,400
	Vol. 40#12 (1996) 臨床化学とHPLC		¥1,836
	Vol. 40#13 (1996) 基準値		¥1,836
	Vol. 41#1 (1997) スポーツと臨床検査		¥1,620
	Vol. 41#2 (1997) Helicobacter pylori		¥1,620
	Vol. 41#3 (1997) 白血病・最近の進歩		¥1,620
	Vol. 41#4 (1997) Internal Quality Control		¥1,620
	Vol. 41#5 (1997) 自己抗体・最近の動向		¥1,620
	Vol. 41#6 (1997) 感染症における病原因子		¥1,620
	Vol. 41#7 (1997) 母子医療と臨床検査		¥1,620
	Vol. 41#8 (1997) 臓器移植と臨床検査		¥1,620
	Vol. 41#9 (1997) 臨床化学分析の指示反応系		¥1,620
	Vol. 41#10 (1997) フローサイトメトリー-最近の進歩		¥1,620
	Vol. 41#11 (1997) 増刊号 神経系疾患と臨床検査		¥3,780
	Vol. 41#12 (1997) 標準物質		¥1,620
	Vol. 41#13 (1997) 臨床検査と医療経済		¥1,620
	Vol. 42#1 (1998) 骨髄腫細胞とその産生蛋白		¥1,728
	Vol. 42#2 (1998) 骨代謝マーカー		¥1,728
	Vol. 42#3 (1998) 生物・化学発光の新しい展開		¥1,728
	Vol. 42#4 (1998) 肥満		¥1,728

Vol. 42#5 (1998) 注目されている感染症-Emerging…	¥1,728
Vol. 42#6 (1998) 臨床検査情報処理の将来	¥1,728
Vol. 42#7 (1998) 多発性内分泌腫?症(MEN)	¥1,728
Vol. 42#8 (1998) 受容体	¥1,728
Vol. 42#9 (1998) in situ hybridization	¥1,728
Vol. 42#10 (1998) 蛋白尿の病態解析	¥1,728
Vol. 42#11 (1998) 増刊号 感染症診断へのアプローチ	¥4,320
Vol. 42#12 (1998) 遺伝子多型と疾患	¥1,728
Vol. 42#13 (1998) 検査項目の再評価	¥1,728
Vol. 43#1 (1999) TDMの臨床応用	¥1,728
Vol. 43#2 (1999) 深在性真菌症	¥1,728
Vol. 43#3 (1999) 肝炎	¥1,728
Vol. 43#4 (1999) 原発性免疫不全症	¥1,728
Vol. 43#5 (1999) 結核	¥1,728
Vol. 43#6 (1999) 高血圧と臨床検査	¥1,728
Vol. 43#7 (1999) マスト細胞	¥1,728
Vol. 43#8 (1999) 輸血検査	¥1,728
Vol. 43#9 (1999) 生活習慣病	¥1,728
Vol. 43#10 (1999) 血管壁細胞	¥1,728
Vol. 43#11 (1999) 増刊号　臨床検査の新しい展開-環境保全..	¥5,400
Vol. 43#12 (1999) 心電図	¥1,728
Vol. 43#13 (1999) 21世紀に向けての寄生虫症	¥1,728
Vol. 44#1 (2000) 質量分析-新しい臨床検査への展開	¥1,836
Vol. 44#2 (2000) 血流	¥1,836
Vol. 44#3 (2000) 糖化蛋白と蛋白のグリケーション	¥1,836
Vol. 44#4 (2000) 抗原認識と抗体産生	¥1,836
Vol. 44#5 (2000) 微生物培養検査のサンプリング	¥1,836
Vol. 44#6 (2000) イオンチャネルの変化と心臓	¥1,836
Vol. 44#7 (2000) 慢性閉塞性肺疾患	¥1,836
Vol. 44#8 (2000) 自動機器分析に要求される標準化	¥1,836
Vol. 44#9 (2000) テレメディスン（遠隔医療）	¥1,836
Vol. 44#10 (2000) 脂質代謝関連検査項目についての再検討	¥1,836
Vol. 44#11 (2000) 増刊号　細胞診-21世紀への展望	¥5,400
Vol. 44#12 (2000) 毒物検査	¥1,836
Vol. 44#13 (2000) 血管新生	¥1,836
Vol. 45#1 (2001) サイトカイン・ケモカイン	¥1,836
Vol. 45#2 (2001) 染色体-検査と社会とのかかわり	¥1,836
Vol. 45#3 (2001) 酸化ストレス	¥1,836
Vol. 45#4 (2001) 高齢化	¥1,836
Vol. 45#5 (2001) 在宅医療	¥1,836
Vol. 45#6 (2001) 生体リズム	¥1,836
Vol. 45#7 (2001) 鉄銅代謝	¥1,836
Vol. 45#8 (2001) 薬剤耐性菌をめぐる最近の話題	¥1,836
Vol. 45#9 (2001) 蛋白質の活性と蛋白量	¥1,836
Vol. 45#10 (2001) ビタミン	¥1,836
Vol. 45#11 (2001) 増刊号 超音波検査の技術と臨床	¥5,400
Vol. 45#12 (2001) 視機能検査と臨床検査	¥1,836
Vol. 45#13 (2001) 検査領域でのリスク・マネジメント	¥1,836
Vol. 46#1 (2002) テーラーメイド医療と臨床検査	¥1,836
Vol. 46#2 (2002) インフルエンザー新しい知見	¥1,836
Vol. 46#3 (2002) HBV・HCV検査法の新しい動向－標準化に向けて	¥1,836
Vol. 46#4 (2002) 再生医療と幹細胞	¥1,836
Vol. 46#5 (2002) 筋疾患	¥1,836
Vol. 46#6 (2002) 細胞診自動化	¥1,836
Vol. 46#7 (2002) 糖尿病	¥1,836
Vol. 46#8 (2002) 臨床検査測定値の標準化	¥1,836
Vol. 46#9 (2002) C反応性蛋白	¥1,836

Vol. 46#10 (2002) 診察前検査	¥1,836
Vol. 46#11 (2002) 増刊号 造血器腫瘍	¥5,400
Vol. 46#12 (2002) プリオン病とその診断	¥1,836
Vol. 46#13 (2002) 臨床検査技師の教育	¥1,836
Vol. 47#1 (2003) 緊急検査	¥1,836
Vol. 47#2 (2003) 病原微生物の迅速検査	¥1,836
Vol. 47#3 (2003) 樹状細胞	¥1,836
Vol. 47#4 (2003) 漢方医学と臨床検査	¥1,836
Vol. 47#5 (2003) 食中毒，その発症をめぐって	¥1,836
Vol. 47#6 (2003) アルコールと臨床検査	¥1,836
Vol. 47#7 (2003) 補完・代替医療	¥1,836
Vol. 47#8 (2003) プロテアーゼ，プロテアーゼインヒビター	¥1,836
Vol. 47#9 (2003) PSA	¥1,836
Vol. 47#10 (2003) 聴覚障害とその診断	¥1,836
Vol. 47#11 (2003) 増刊号プロテオミクスに向かう臨床蛋白質検査	¥5,400
Vol. 47#12 (2003) 生体材料の取扱いと倫理	¥1,836
Vol. 47#13 (2003) イムノアッセイ	¥1,836
Vol. 48#1 (2004) 感染症における危機管理	¥1,836
Vol. 48#2 (2004) 薬物代謝酵素の遺伝的多型 特に個別化薬物治療を	¥1,836
Vol. 48#3 (2004) 新しい自己抗体	¥1,836
Vol. 48#4 (2004) ワクチン―その開発と将来展望	¥1,836
Vol. 48#5 (2004) アルブミン	¥1,836
Vol. 48#6 (2004) 小児の成長・発育と臨床検査	¥1,836
Vol. 48#7 (2004) ドーピング・スポーツ薬物検査	¥1,836
Vol. 48#8 (2004) 更年期障害と甲状腺ホルモン	¥1,836
Vol. 48#9 (2004) 栄養管理のパラメーター	¥1,836
Vol. 48#10 (2004) 輸血・細胞療法と臨床検査	¥1,836
Vol. 48#11 (2004) 増刊号 動脈硬化その成り立ちと臨床検査	¥5,400
Vol. 48#12 (2004) 自己健康管理のための検査	¥1,836
Vol. 48#13 (2004) 脳機能	¥1,836
Vol. 49#1 (2005) ミトコンドリア病	¥1,836
Vol. 49#2 (2005) 酸化ストレスマーカーと疾患・病態	¥1,836
Vol. 49#3 (2005) 私と臨床検査―先達の軌跡	¥1,836
Vol. 49#4 (2005) 脳脊髄液	¥1,836
Vol. 49#5 (2005) マイクロアレイ技術の進歩	¥1,836
Vol. 49#6 (2005) 院内感染制御	¥1,836
Vol. 49#7 (2005) アレルギー疾患の現況と今後の展望	¥1,836
Vol. 49#8 (2005) これからの臨床検査技師教育を考える	¥1,836
Vol. 49#9 (2005) キャピラリー電気泳動法	¥1,836
Vol. 49#10 (2005) 視機能	¥1,836
Vol. 49#11 (2005) 肝臓癌の臨床検査	¥1,836
Vol. 49#12 (2005) 増刊号臨床検査のための情報処理技術の進歩	¥5,400
Vol. 49#13 (2005) メタボリックシンドローム	¥1,836
Vol. 50#1 (2006) PK/PD解析を指標とした感染症治療	¥1,836
Vol. 50#2 (2006) 花粉症克服への展望	¥1,836
Vol. 50#3 (2006) 採血	¥1,836
Vol. 50#4 (2006) 検査室におけるインシデント・アクシデント	¥1,836
Vol. 50#5 (2006) 腎疾患と臨床検査	¥1,836
Vol. 50#6 (2006) 健康食品と臨床検査	¥1,836
Vol. 50#7 (2006) ホルマリン固定パラフィン包埋標本からどこまで遺伝子	¥1,836
Vol. 50#8 (2006) 皮膚科と臨床検査	¥1,836
Vol. 50#9 (2006) 高齢者の臨床検査値	¥1,836
Vol. 50#10 (2006) 認知症の動的神経病理	¥1,836
Vol. 50#11 (2006) 海外旅行と臨床検査	¥1,836
Vol. 50#12 (2006) 増刊号 ナノテクノロジーとバイオセンサ	¥5,400
Vol. 50#13 (2006) 臨床検査史-国際的な流れとわが国の動向	¥1,836
Vol. 51#1 (2007) 乳癌と臨床検査	¥1,836

	Vol. 51#2 (2007) 尿路感染症の診断	¥1,836
	Vol. 51#3 (2007) 血管超音波検査	¥1,836
	Vol. 51#4 (2007) 悪性リンパ腫	¥1,836
	Vol. 51#5 (2007) 脂質	¥1,836
	Vol. 51#6 (2007) 骨粗鬆症と臨床検査	¥1,836
	Vol. 51#7 (2007) 不整脈検査	¥1,836
	Vol. 51#8 (2007) ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)と子宮頸癌	¥1,836
	Vol. 51#9 (2007) フローサイトメトリー	¥1,836
	Vol. 51#10 (2007) 白血球	¥1,836
	Vol. 51#11 (2007) メタボリックシンドローム健診での注意点	¥1,836
	Vol. 51#12 (2007) 増刊号 遺伝子検査 診断とリスクファクター	¥5,400
	Vol. 51#13 (2007) 胎盤	¥1,836
	Vol. 52#1 (2008) インフルエンザ診療のブレークスルー	¥1,836
	Vol. 52#2 (2008) 輸血の安全管理	¥1,836
	Vol. 52#3 (2008) アルツハイマー病の最近の進歩	¥1,836
	Vol. 52#4 (2008) 歯科からみえる全身疾患	¥1,836
	Vol. 52#5 (2008) 自己免疫疾患の診断	¥1,836
	Vol. 52#6 (2008) エピジェネティクスと臨床検査	¥1,836
	Vol. 52#7 (2008) 腎移植	¥1,836
	Vol. 52#8 (2008) 自然免疫と生体防御レクチン	¥1,836
	Vol. 52#9 (2008) アスベストと中皮腫	¥1,836
	Vol. 52#10 (2008) 結核	¥1,836
	Vol. 52#11 (2008) 増刊号 ホルモンの病態異常と臨床検査	¥5,400
	Vol. 52#12 (2008) 平衡機能検査	¥1,836
	Vol. 52#13 (2008) 凝固制御	¥1,836
	Vol. 53#1 (2009) ウィルス感染症−最近の動向	¥1,944
	Vol. 53#2 (2009) 生体内微量元素	¥1,944
	Vol. 53#3 (2009) 臨床検査コンサルテーション/診療支援	¥1,944
	Vol. 53#4 (2009) 妊娠と臨床検査	¥1,944
	Vol. 53#5 (2009) 免疫不全症候群と遺伝子異常	¥1,944
	Vol. 53#6 (2009) 食中毒	¥1,944
	Vol. 53#7 (2009) 唾液の臨床検査	¥1,944
	Vol. 53#8 (2009) 漢方薬・生薬と臨床検査	¥1,944
	Vol. 53#9 (2009) 脳磁図で何がわかるか？	¥1,944
	Vol. 53#10 (2009) 血栓症と臨床検査	¥1,944
	Vol. 53#11 (2009) 増刊号 医療・福祉施設における感染制御と臨床検査	¥5,400
	Vol. 53#12 (2009) オートファジー	¥1,944
	Vol. 53#13 (2009) 前立腺癌	¥1,944
	Vol. 54#1 (2010) POCT、医療におけるその役割	¥1,944
	Vol. 54#2 (2010) Helicobacter pyloriの診断と臨床応用	¥1,944
	Vol. 54#3 (2010) 骨髄増殖性疾患	¥1,944
	Vol. 54#4 (2010) 広義のアポリポ蛋白	¥1,944
	Vol. 54#5 (2010) 薬剤耐性菌制御の最前線	¥1,944
	Vol. 54#6 (2010) 注目されるサイトカイン	¥1,944
	Vol. 54#7 (2010) 排尿障害	¥1,944
	Vol. 54#8 (2010) 未病を考える	¥1,944
	Vol. 54#9 (2010) 糖尿病の病態解析	¥1,944
	Vol. 54#10 (2010) ファーマコゲノミクス	¥1,944
	Vol. 54#11 (2010) 増刊号 新時代のワクチン戦略について考える	¥5,400
品切	Vol. 54#12 (2010) 脳卒中	¥1,944
	Vol. 54#13 (2010) 遺伝子検査の最近の展開ーヒトゲノム多様性と医療応	¥1,944
	Vol. 55#1 (2011) β2-ミクログロブリンーその多様な病因，病態と検査ア	¥2,268
	Vol. 55#2 (2011) 腸内細菌叢	¥2,268
	Vol. 55#3 (2011) 更年期医療	¥2,268
	Vol. 55#4 (2011) 静脈血栓塞栓症と凝固制御因子プロテインS	¥2,268
	Vol. 55#5(2011) 癌幹細胞と検査医学	¥2,268
	Vol. 55#6(2011) 脂肪細胞	¥2,268

Vol. 55#7(2011) 臨床生理機能検査におけるリスクマネジメント	¥2,268
Vol. 55#8(2011) IgG4関連疾患	¥2,268
Vol. 55#9(2011) RNAの解析	¥2,268
Vol. 55#10 (2011) カルシウム・リン・ビタミンDの再評価	¥2,268
Vol. 55#11 (2011) 増刊号 ここまでわかった自己免疫疾患	¥5,400
Vol. 55#12 (2011) 子宮頸癌の予防と検査	¥2,268
Vol. 55#13 (2011) 骨疾患	¥2,268
Vol. 56#1 (2012) 認知症と臨床検査	¥2,376
Vol. 56#2 (2012) 生理活性脂質	¥2,376
Vol. 56#3 (2012) 尿路結石	¥2,376
Vol. 56#4 (2012) 感染症検査における境界値の取り扱い方	¥2,376
Vol. 56#5 (2012) 成長と臨床検査値	¥2,376
Vol. 56#6 (2012) めまいの生理検査	¥2,376
Vol. 56#7 (2012) 周産期の臨床検査	¥2,376
Vol. 56#8 (2012) 多剤耐性菌の検査と臨床	¥2,376
Vol. 56#9 (2012) 間質性肺炎と臨床検査	¥2,376
Vol. 56#10 (2012) 鉄代謝のバイオマーカー	¥2,376
Vol. 56#11 (2012) 増刊号 教科書には載っていない 臨床検査Q&A	¥5,400
Vol. 56#12 (2012) MDS（骨髄異形成症候群）	¥2,376
Vol. 56#13 (2012) アルコール依存症	¥2,376
Vol. 57#1 (2013) 臨床検査の展望／ウイルス性胃腸炎	¥2,376
Vol. 57#2 (2013) 血管超音波検査／血液形態検査の標準化	¥2,376
Vol. 57#3 (2013) 分子病理診断の進歩／血管炎症候群	¥2,376
Vol. 57#4 (2013) 次世代の微生物検査／非アルコール性脂肪性肝疾患	¥2,376
Vol. 57#5 (2013) 実践EBLMー検査値を活かす／ADAMTS13と臨床検	¥2,376
Vol. 57#6 (2013) 尿バイオマーカー／連続モニタリング検査	¥2,376
Vol. 57#7 (2013) 遺伝子関連検査の標準化に向けて／感染症と発癌	¥2,376
Vol. 57#8 (2013) 特定検診項目の標準化と今後の展開／輸血関連副作	¥2,376
Vol. 57#9 (2013) 肺癌診断update／日常検査から見える病態ー生化学	¥2,376
Vol. 57#10 (2013) 神経領域の生理機能検査の現状と新たな展開／Clos	¥2,376
Vol. 57#11 (2013) 増刊号 はじめよう、検査説明	¥5,400
Vol. 57#12 (2013) 前立腺癌マーカー／日常検査から見える病態ー生化	¥2,376
Vol. 57#13 (2013) 病理組織・細胞診検査の精度管理／今月の特集2	¥2,376
Vol. 58#1 (2014) 診療ガイドラインに活用される臨床検査／深在性真菌	¥2,376
Vol. 58#2 (2014) JSCC勧告法は磐石か？-課題と展望／I型アレルギー	¥2,376
Vol. 58#3 (2014) 検査で切り込む溶血性貧血/知っておくべき睡眠呼吸	¥2,376
Vol. 58#4 (2014) 検査室間連携が高める臨床検査の付加価値/話題の	¥2,376
Vol. 58#5 (2014) 最新の輸血検査／改めて，精度管理を考える	¥2,376
Vol. 58#6 (2014) 液状化検体細胞診（LBC）にはどんなメリットがあるか／	¥2,376
Vol. 58#7 (2014) 電解質，酸塩基平衡検査を苦手にしない／夏に知って	¥2,376
Vol. 58#8 (2014) 個別化医療を担う コンパニオン診断／血栓症時代の	¥2,376
Vol. 58#9 (2014) 関節リウマチ診療の変化に対応する／てんかんと臨床	¥2,376
Vol. 58#10 (2014) 血液培養検査を感染症診療に役立てる／尿沈渣検	¥2,376
Vol. 58#11 (2014) 増刊号 微生物検査 イエローページ	¥5,400
Vol. 58#12 (2014) 甲状腺疾患診断NOW/ブラックボックス化からの脱却	¥2,376
Vol. 58#13 (2014) 検査でわかる! M蛋白血症と多発性骨髄腫/とても怖	¥2,376
Vol. 59#1 (2015) 採血から分析前までのエッセンス/新型インフルエンザ	¥2,376
Vol. 59#2 (2015) 動脈硬化症の最先端／血算値判読の極意	¥2,376
Vol. 59#3 (2015) 検査システムの更新に備える／夜勤で必要な輸血の知	¥2,376
Vol. 59#4 (2015) 奥の深い高尿酸血症／感染制御と連携　検査部門は	¥2,376
Vol. 59#5 (2015) 1滴で捉える病態／乳癌病理診断の進歩	¥2,376
Vol. 59#6 (2015) 日常検査としての心エコー／健診・人間ドックと臨床検	¥2,376
Vol. 59#7 (2015) 検査と臨床のコラボで理解する腫瘍マーカー/血液細	¥2,376
Vol. 59#8 (2015) 臨床検査の視点から科学する老化	¥2,376
Vol. 59#9 (2015) 乳腺の臨床を支える超音波検査	¥2,376
Vol. 59#10 (2015) 見逃してはならない寄生虫疾患	¥2,376
Vol. 59#12 (2015) ウイルス性肝炎をまとめて学ぶ	¥2,376

	Vol. 59#13 (2015) 移植医療を支える臨床検査		¥2,376
	Vol. 60#1 (2016) 社会に貢献する臨床検査／グローバル化時代の耐性		¥2,376
	Vol. 60#2 (2016) 深く知ろう！ 血栓止血検査／実践に役立つ呼吸機能		¥2,376
	Vol. 60#3 (2016) 日常検査からみえる病態ー心電図検査編／smartに実		¥2,376
	Vol. 60#4 (2016) 血漿蛋白ーその病態と検査／感染症診断に使われるバ		¥2,376
	Vol. 60#5 (2016) 体腔液の臨床検査／感度を磨くー検査性能の追求		¥2,376
	Vol. 60#6 (2016) もっと知りたい！ 川崎病／CKDの臨床検査と腎病理診		¥2,376
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい		
985	**臨床血液（日本臨床血液学会）**		
	Vol. 41-52 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,620
986	**臨床肛門病学**		
	Vol. 1#1; 2#1 (2009-2010)	各号	¥3,240
987	**臨床麻酔（真興交易医書出版部）**		
	Vol. 24-34 (2000-2010) 各1-12号	各号	¥2,571
	Vol. 24-34 (2000-2010) 臨時増刊号	各号	¥4,320
988	**臨床免疫・アレルギー科（科学評論社）**		
	Vol. 33-44,47-50 (2000-2008) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 51-54 (2009-2010) 各1-6号	各号	¥2,700
989	**臨床脳波（永井書店）**		
	Vol. 1-34 (1959-1992) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 35-39 (1993-1997) 各1-12号	各号	¥2,160
990	**臨床リウマチ（日本臨床リウマチ学会）**		
	Vol. 12#1-4 (2000)	各号	¥3,240
	Vol. 13#1-4 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 14#3,4 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 15#1-4 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 16#1,3,4 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1-4 (2005)	各号	¥3,240
	Vol. 18#3 (2006)		¥3,240
	Vol. 19#2,3 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1,4 (2008)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1-4 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 22#1-4 (2010)	各巻	¥3,240
991	**臨床老年看護（日総研出版）**		
	Vol. 18#2-6 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 19#1-6 (2012)	各号	¥2,700
	Vol. 22-23 (2015) 各1-6号	各号	¥2,700

992　臨床整形外科（医学書院）

品切	Vol. 1#1-9 (1966)	各号	¥2,484
	Vol. 2-17 (1966-1982) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 18#1-13 (1983)	各号	¥2,484
	Vol. 19-24 (1984-1984) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 25#1-3,5-12 (1990)	各号	¥2,484
	Vol. 25#4 (1990) 不安定腰椎		¥5,184
	Vol. 26#1-3,5-9,1112 (1991)	各号	¥2,484
	Vol. 26#4 (1991) Spinal Dysraphism/Pedicular Screwing		¥5,184
	Vol. 27#1-3,5-12 (1992)	各号	¥2,484
	Vol. 27#4 (1992) 腰部脊柱管狭窄症		¥5,184
	Vol. 28#1-3,5-12 (1993)	各号	¥2,484
	Vol. 28#4 (1993) 痛みをとらえる		¥5,184
	Vol. 29#1,3,5,7-12 (1994)	各号	¥2,484
	Vol. 29#4 (1994) 椎間版-基礎と臨床		¥5,184
	Vol. 30#1-3,5-12 (1995)	各号	¥2,484
	Vol. 30#4 (1995) 上位頚椎疾患-その病態と治療		¥5,184
	Vol. 31#1-3,5-12 (1996)	各号	¥2,484
	Vol. 31#4(1996) 脊椎外傷の最近の進歩(上位頚椎を除く)		¥5,184
	Vol. 32#1-3,5-12 (1997)	各号	¥2,376
	Vol. 32#4 (1997) 脊椎外科の最近の進歩		¥4,536
	Vol. 33#1-3,5-12 (1998)	各号	¥2,376
	Vol. 33#4 (1998) 脊椎外科の最近の進歩-OPLLを中心として		¥4,536
	Vol. 34#1-3,5-12 (1999)	各号	¥2,484
	Vol. 34#4 (1999) 脊椎外科最近の進歩		¥4,860
	Vol. 35#1,3-4,6-13 (2000)	各号	¥2,484
	Vol. 35#2 (2000) 臨時増刊　総目次・総索引（第18-34巻）		¥3,780
	Vol. 35#5 (2000) 脊椎外科最近の進歩		¥4,968
	Vol. 36#1-3,5-12 (2001)	各号	¥2,484
	Vol. 36#4 (2001) 脊椎外科最近の進歩-主題とパネル演題を中心に		¥5,076
	Vol. 37#1-3,5,7-12 (2002)	各号	¥2,484
	Vol. 37#4 (2002) 増大号 脊椎脊髄病学最近の進歩		¥5,076
	Vol. 38#1,7,12 (2003)	各号	¥2,484
	Vol. 38#2 (2003) 膝複合靱帯損傷に対する保存療法および観血的治療		¥2,484
	Vol. 38#3 (2003) 腰椎変性すべり症の治療		¥2,484
	Vol. 38#4 (2003) 増大号脊椎脊髄病学最近の進歩		¥5,076
	Vol. 38#5 (2003) 外傷に伴う呼吸器合併症の予防と治療		¥2,484
	Vol. 38#6 (2003) 脊椎転移癌に対する治療法の選択		¥2,484
	Vol. 38#8 (2003) 難治性骨折の治療		¥2,484
	Vol. 38#9 (2003) 全人工肩関節置換術の成績		¥2,484
	Vol. 38#10 (2003) 整形外科医療におけるリスクマネジメント		¥2,484
	Vol. 38#11 (2003) RSDを含む頑固なneuropathic painの病態と治療		¥2,484
	Vol. 39#1 (2004) 外傷に対するプライマリケア保存療法を中心に		¥2,484
	Vol. 39#2,3,6,7,9,11 (2004)	各号	¥2,484
	Vol. 39#4 (2004) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2004		¥5,184
	Vol. 39#5 (2004) 手指の関節外骨折		¥2,484
	Vol. 39#8 (2004) 診療ガイドラインの方向性 臨床に役立つガイドラインと		¥2,484
	Vol. 39#10 (2004) 関節リウマチ頚椎病変の病態・治療・予後		¥2,484
	Vol. 39#12 (2004) 小児大腿骨頚部骨折の治療法とその成績		¥2,484
	Vol. 40#1,3,5,7,12 (2005)	各号	¥2,484
品切	Vol. 40#2 (2005) 前腕回旋障害の病態と治療		¥2,484
	Vol. 40#4 (2005) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2005		¥5,184
	Vol. 40#6 (2005) 脊柱短縮術		¥2,484
	Vol. 40#8 (2005) 整形外科におけるリスクマネジメント		¥2,484
	Vol. 40#9 (2005) どうする日本の医療		¥2,484

	Vol. 40#10 (2005) 関節鏡を用いた腱板断裂の治療		¥2,484
	Vol. 40#11 (2005) 整形外科疾患における骨代謝マーカーの応用		¥2,484
	Vol. 41#1,3,5,6,9-11 (2006)	各号	¥2,592
	Vol. 41#2 (2006) de Quervain病の治療		¥2,592
	Vol. 41#4 (2006) 増大号 脊椎脊髄病学 最近の進歩2006		¥5,184
	Vol. 41#7 (2006) 運動器リハビリテーションの効果		¥2,592
	Vol. 41#8 (2006) 腰部脊柱管狭窄症-最近の進歩		¥2,592
	Vol. 41#12 (2006) 肘不安定症の病態と治療		¥2,592
	Vol. 42#1 (2007) 変形性膝関節症 最近の進歩		¥2,592
	Vol. 42#2 (2007) 上電皮神経の解剖学的研究 採骨時神経損傷の予防		¥2,592
	Vol. 42#3 (2007) 腰椎椎間板ヘルニア治療の最前線		¥2,592
	Vol. 42#4 (2007) 関節軟骨とヒアルロンサ酸		¥2,592
品切	Vol. 42#5 (2007) 肩こりの病態と治療		¥2,592
	Vol. 42#6 (2007) 整形外科疾患における痛みの研究		¥2,592
	Vol. 42#7 (2007) 人工股関節手術における骨セメント使用時の工夫と問		¥2,592
	Vol. 42#8 (2007) 人工膝関節置換術の術後回収式自己血輸血について		¥2,592
	Vol. 42#9 (2007) 骨折治療の最新知見-小侵襲骨接合術とNavigation sy		¥2,592
品切	Vol. 42#10 (2007) 外傷性頚部症候群-最近の進歩		¥2,592
	Vol. 42#11,12 (2007)	各号	¥2,592
	Vol. 43#1 (2008) 高齢者(80歳以上)に対する人工膝関節置換術		¥2,592
	Vol. 43#2 (2008) 整形外科手術におけるコンピュータナビゲーション支援		¥2,592
	Vol. 43#3 (2008) 変形性手関節症の治療		¥2,592
	Vol. 43#4 (2008) 骨粗鬆症脊椎骨折の病態		¥2,592
	Vol. 43#5 (2008) 手・肘関節鏡手術の現状と展望		¥2,592
	Vol. 43#6 (2008) 胸椎後縦靭帯骨化症の治療-最近の進歩		¥2,592
	Vol. 43#7 (2008) 人工股関節術後の骨折の治療		¥2,592
	Vol. 43#8 (2008) 腰椎変性側弯の治療選択		¥2,592
	Vol. 43#9 (2008)		¥2,592
	Vol. 43#10 (2008) 発育期大腿骨頭の壊死性病変への対応		¥2,592
	Vol. 43#11 (2008) 外傷性肩関節脱臼		¥2,592
	Vol. 43#12 (2008)		¥2,592
	Vol. 44#1 (2009) 整形外科における人工骨移植の現状と展望		¥2,592
	Vol. 44#2 (2009) 膝骨壊死の病態と治療		¥2,592
	Vol. 44#3-4 (2009)	各号	¥2,592
	Vol. 44#5 (2009) プレート骨接合術-従来型かLCPか		¥2,592
	Vol. 44#6 (2009) 手術部位感染の基本3		¥2,592
	Vol. 44#7 (2009) 手術部位感染の基本4		¥2,592
	Vol. 44#8 (2009) 創傷処置に関する最近の進歩		¥2,592
	Vol. 44#9 (2009) 高齢者骨折と転倒予防		¥2,592
	Vol. 44#10 (2009) 整形外科術後感染の実態と予防対策		¥2,592
	Vol. 44#11 (2009) 手術に至った骨粗鬆症性椎体偽関節の初期治療		¥2,592
	Vol. 44#12 (2009) 変形性股関節症における股関節痛の検討:疼痛領域		¥2,592
	Vol. 45#1 (2010) 慢性腰痛症の保存的治療		¥2,592
	Vol. 45#2 (2010) 肩腱板不全断裂		¥2,592
	Vol. 45#3 (2010) 軟部腫瘍の診断と治療		¥2,592
	Vol. 45#4 (2010) 破骨細胞と骨芽細胞の極性		¥2,592
	Vol. 45#6 (2010) 整形外科領域における抗菌薬の使い方		¥2,592
	Vol. 45#7 (2010) 腰部脊柱管狭窄の診断における歩行負荷試験の有用		¥2,592
	Vol. 45#8 (2010) 四肢のしびれ感		¥2,592
	Vol. 45#9 (2010) 軟骨再生ー基礎と臨床		¥2,592
	Vol. 45#10 (2010) 骨粗鬆症診断・治療の新展開		¥2,592
	Vol. 45#11 (2010) 骨強度と骨質		¥2,592
	Vol. 45#12 (2010) 小児の肩関節疾患		¥2,592
	Vol. 46#1-3,5,7-9,11,12 (2011)	各号	¥2,592
	Vol. 46#4 (2011) 運動器の慢性疼痛に対する薬物療法の新展開		¥2,592
	Vol. 46#6 (2011) 腰部脊柱管狭窄[症]に対する手術戦略		¥2,592
	Vol. 47#1 (2012) 整形外科領域における蛍光イメージング		¥2,700

Vol. 47#2 (2012)		¥2,700
Vol. 47#3 (2012) 大震災と整形外科医		¥2,700
Vol. 47#4 (2012) 壮年期変形性股関節症の診断と関節温存療法		¥2,700
Vol. 47#5 (2012) 重度後縦靭帯骨化症に対する術式選択と合併症		¥2,700
Vol. 47#6 (2012) 難治性良性腫瘍の治療		¥2,700
Vol. 47#7 (2012)		¥2,700
Vol. 47#8 (2012) 難治性足部スポーツ傷害の治療		¥2,700
Vol. 47#9 (2012) 脊椎脊髄手術の医療安全		¥2,700
Vol. 47#10 (2012) 内視鏡診断・治療の最前線		¥2,700
Vol. 47#11 (2012) 橈骨遠位端骨折の治療		¥2,700
Vol. 47#12 (2012) 高位脛骨骨切り術の適応と限界		¥2,700
Vol. 48#1 (2013)		¥2,700
Vol. 48#2 (2013) 高齢者の腱板断裂		¥2,700
Vol. 48#3 (2013) 創外固定の将来展望		¥2,700
Vol. 48#4 (2013) 腰椎変性側弯症の手術－現状と課題		¥2,700
Vol. 48#5 (2013)		¥2,700
Vol. 48#6 (2013)		¥2,700
Vol. 48#7 (2013) 転移性骨腫瘍－治療の進歩		¥2,700
Vol. 48#8 (2013)		¥2,700
Vol. 48#9 (2013)		¥2,700
Vol. 48#10 (2013) 低出力超音波パルス(LIPUS)による骨折治療－基礎		¥2,700
Vol. 48#11 (2013)		¥2,700
Vol. 48#12 (2013) 慢性疼痛と原因療法		¥2,700
Vol. 49#1 (2014) 下肢壊疽の最新治療		¥2,700
Vol. 49#2 (2014)		¥2,700
Vol. 49#3 (2014) 良性腫瘍に対する最新の治療戦略		¥2,700
Vol. 49#4 (2014) 整形外科外傷治療の進歩		¥2,700
Vol. 49#5 (2014)		¥2,700
Vol. 49#6 (2014) MIS人工膝関節置換術の現状と展望		¥2,700
Vol. 49#7,8,12 (2014)	各号	¥2,700
Vol. 49#9 (2014) 骨粗鬆症に対する治療戦略		¥2,700
Vol. 49#10 (2014) 検診からわかる整形外科疾患		¥2,700
Vol. 49#11 (2014) 運動器画像診断の進歩		¥2,700
Vol. 50#1 (2015)		¥2,700
Vol. 50#2 (2015) 関節リウマチ－生物学的製剤使用で変化したこと		¥2,700
Vol. 50#3 (2015) 骨軟部腫瘍における画像評価最前線		¥2,700
Vol. 50#4 (2015) 難治性テニス肘はこうみる		¥2,700
Vol. 50#5 (2015) 股関節鏡の現状と可能性		¥2,700
Vol. 50#6,7 (2015)	各号	¥2,700
Vol. 50#8 (2015) 反復性肩関節脱臼後のスポーツ復帰		¥2,700
Vol. 50#9 (2015) Life is Motion－整形外科医が知りたい筋肉の科学		¥2,700
Vol. 50#10 (2015) 人工骨移植の現状と展望		¥2,700
Vol. 50#11 (2015) 誌上シンポジウム 成人脊柱変形へのアプローチ		¥2,700
Vol. 50#12 (2015) 世界にインパクトを与えた日本の整形外科		¥2,700
Vol. 51#1 (2016)		¥2,808
Vol. 51#2 (2016) 誌上シンポジウム MISの功罪		¥2,808
Vol. 51#3 (2016) 誌上シンポジウム 半月変性断裂に対する治療		¥2,808
Vol. 51#4 (2016) 誌上シンポジウム THA後感染の予防・診断・治療の最		¥2,808
Vol. 51#5 (2016) 誌上シンポジウム 整形外科と慢性腎不全		¥2,808
Vol. 51#6 (2016)		¥2,808

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

993 臨床精神病理（星和書店）

Vol. 1,7,9-13,15,26,27 (1980-2006) 各1-3号	各号	¥2,880

994	**臨床精神医学（アークメディア）**		
	Vol. 1-4 (1972-1975) 各1-12号		
	Vol. 5#1-13 (1976)		
	Vol. 6-18 (1977-1989) 各1-12号		
	Vol. 19#1-13 (1990)		
	Vol. 20-22 (1991-1993) 各1-12号		
	Vol. 23#1-13 (1994)		
	Vol. 24-43 (1995-2014) 各1-12号,増刊号		
	※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。		
	（Webショップでもご確認いただけます。）		
995	**臨床精神薬理（星和書店）**		
	Vol. 1-19 (1998-2016) 各1-12号	各号	¥3,132
996	**臨床神経学（日本神経学会）**		
	Vol. 50#1-9 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 52#1-10 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 53#1-10 (2013)	各号	¥1,620
	Vol. 54#1-7 (2014)	各号	¥1,620
997	**臨床神経生理学（日本臨床神経生理学会）**		
	Vol. 1-27→脳波と節電図		
	Vol. 28-34 (2000-2006) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 35-39 (2007-2011) 各1-4,6号	各号	¥2,160
	Vol. 35-39 (2007-2011) 各5号	各号	¥4,320
	Vol. 40#1,2 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 40#5 (2012)		¥4,320
	Vol. 41#4 (2013)		¥2,160
	Vol. 41#5 (2013)		¥4,320
	Vol. 42#1-4 (2014)	各号	¥2,160
998	**臨床神経心理（東北神経心理懇話会）**		
	Vol. 3 (1993)		¥3,240
	Vol. 9-16 (1998-2005)	各巻	¥3,240
999	**臨床心理学研究（日本臨床心理学会）**		
	Vol. 1-18,20-25,27-30 (1962/63-1992/93) 各1-4号	各号	¥2,160
1000	**臨床心理士報（日本臨床心理士資格認定協会）**		
	Vol. 12#2 (2001)		¥2,160
	Vol. 13#1,特別号 (2001)	各号	¥2,160
	Vol. 14-27 (2002/2003-2016) 各1-2号	各号	¥2,160
1001	**臨床心臓電気生理（臨床心臓電気生理研究会）**		
	Vol. 24-33 (2001-2010)	各巻	¥5,400
1002	**臨牀消化器内科（臨床消化器内科）（日本メディカルセンター）**		
	Vol. 1-3 (1986-1988) 各1-12号		
	Vol. 4-9 (1989-1994) 各1-13号		
	Vol. 10#1-14 (1995)		
	Vol. 11-26 (1996-2011) 各1-13号		
	※価格、在庫状況はお問い合わせ下さい。		
	（Webショップでもご確認いただけます。）		
1003	**臨床小児医学 Journal of Clinical Pediatrics, Sapporo（小児愛育協会）**		
	Vol. 54#1/2,3/4; 56#1/2,3/4; 57#1/2,3/4 (2006-2009)	各冊	¥3,240
1004	**臨床スポーツ医学（文光堂）**		
	Vol. 3-26 (1986-2009) 各1-12号	各号	¥2,592
	臨時増刊号	各号	¥7,560

1005	**臨床体液 Proceedings of the Congress on Electrolyte Metabolism (臨床体液研究会)**		
	Vol. 22-27 (1995-2000) 各1号	各号	¥4,320
	Vol. 28-33,35 (2001-2008)	各巻	¥4,320
	Vol. 37 (2010)	各巻	¥4,320
1006	**臨床体温 (臨床体温編集委員会)**		
	Vol. 15-21,23 (1997-2005) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 27#1 (2009)		¥3,240
	Vol. 29#1 (2011)		¥3,240
1007	**臨床と微生物 (近代出版)**		
	Vol. 33,35-37 (2006-2010) 各1-6号	各号	¥2,268
	Vol. 33,35-37 (2006-2010) 各増刊号	各号	¥4,104
1008	**臨床と研究 (大道学館出版部)**		
	Vol. 77-90 (2000-2013) 各1-12号	各号	¥2,571
1009	**臨床透析 (日本メディカルセンター)**		
	Vol. 16-25 (2000-2009) 各1-13号	各号	¥2,160
	Vol. 16-25 (2000-2009) 増刊号	各号	¥5,400
1010	**臨床と薬物治療 (ミクス)**		
	Vol. 19-24 (2000-2005) 各1-12号	各巻	¥1,998
1011	**臨床薬理 (日本臨床薬理学会)**		
	Vol. 31-44 (2000-2013) 各1-6号,Supplement	各号	¥2,160
1012	**臨床薬理の進歩 (臨床薬理研究振興財団)**		
	No. 21-24,26-29,32-34 (2000-2013)	各号	¥5,400
1013	**理療教育研究 (日本理療科教員連盟)**		
	Vol. 26-34 (2004-2012) 各1号	各号	¥2,160
1014	**老人ケア研究 (全国老人ケア研究会／全国高齢者ケア協会)**		
	No. 22 (2005)		¥2,160
1015	**老人泌尿器科 (老人泌尿器科研究会)**		
	Vol. 8-11 (1995-1998)	各巻	¥1,620
1016	**ロールレタリング研究 (日本ロールレタリング学会)**		
	No .4 (2004)		¥2,160
1017	**老年看護学 (日本老年看護学会)**		
	Vol. 1-2,5-8,11,14-16 (1996-2011/12) 各1-2号	各号	¥2,700
1018	**老年期痴呆 (メディカルレビュー社)**		
	Vol. 3#1,2,4 (1989)	各号	¥1,620
	Vol. 4#1-4 (1990)	各号	¥1,620
	Vol. 5#3,4 (1991)	各号	¥1,620
	Vol. 6#2,4 (1992)	各号	¥1,620
	Vol. 7#1 (1993)		¥1,620
	Vol. 8#2,4 (1994)	各号	¥1,620
	Vol. 9#1 (1995)		¥1,620
	Vol. 10#1,4 (1996)	各号	¥1,620
1019	**老年期痴呆研究会誌 (老年期痴呆研究会)**		
	Vol. 6-12 (1992-1999)	各巻	¥5,400
1020	**老年精神医学 (情報開発研究所)**		
	Vol. 1-5 (1984-1988) 各1-6号	各号	¥1,944
1021	**老年精神医学雑誌 (ワールドプランニング)**		
	Vol. 1-6,8-26 (1990-2015) 各1-12号,増刊号	各号	¥2,057

1022	**老年社会科学（日本老年社会科学会）**		
	Vol. 1 (1979)		¥2,777
	Vol. 5 (1983)		¥2,777
	Vol. 6#1-2 (1984)	各号	¥2,777
	Vol. 7-9 (1985-1987)	各巻	¥2,777
	Vol. 10#1-2 (1988)	各号	¥2,777
	Vol. 11-13 (1989-1991)	各巻	¥2,777
	Vol. 14#1,Suppl (1992)	各号	¥2,777
	Vol. 15-19 (1992/94-1997/98) 各1,2号	各号	¥2,777
	Vol. 20#1-2 (1998)	各号	¥2,777
	Vol. 21-24 (1999-2002) 各1-3号	各号	¥2,777
	Vol. 25-36 (2003/04-2014/15) 各1-4号	各号	¥2,777
	Vol. 37#1-2 (2015)	各号	¥2,777
1023	**老年歯科医学（日本老年歯科医学会）**		
	Vol. 2#1 (1988)		¥3,086
	Vol. 4#1 (1990)		¥3,086
	Vol. 5#1 (1991)		¥3,086
	Vol. 6-8 (1991/1992-1993/1994) 各1-2号	各号	¥3,086
	Vol. 9-17 (1994/1995-2002/2003) 各1-3号	各号	¥3,086
	Vol. 18-29 (2003/2004-2014/2015) 各1-4号	各号	¥3,086
	第25回 学術大会 プログラム・抄録集 (2014)		¥3,086
	Vol. 30#1-4 (2015)	各号	¥3,086
	第26回 総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2015)		¥3,086
	Vol. 31#1,2 (2016)	各号	¥3,086
1024	**ロールシャッハ法研究（日本ロールシャッハ学会）**		
	Vol. 3-6,15 (1999-2002,2011)	各巻	¥2,160
1025	**リウマチ（日本リウマチ学会）**		
	Vol. 40-43 (2000-2003) 各1-6号	各号	¥1,620
1026	**リウマチ科（科学評論社）**		
	Vol. 53-56 (2015-2016) 各1-6号	各号	¥3,240
1027	**流体熱工学研究（東海流体熱工学研究会）**		
	Vol. 35-37 (2000-2002) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 38#1 (2003)		¥3,240
	Vol. 39#1,2 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 40#1 (2005)		¥3,240
	Vol. 41#1 (2006)		¥3,240
	Vol. 42#2 (2008)		¥3,240
	Vol. 45#1 (2011)		¥3,240
1028	**作業環境（日本作業環境測定協会）**		
	Vol. 4-24 (1983-2003) 各1-6号	各号	¥1,620
	特集号1-44 (1986-2003)	各号	¥1,620
1029	**作業療法（日本作業療法士協会）**		
	Vol. 1-33 (1982-2014) 各1-6号	各号	¥1,404
	Vol. 9-23,25 (1990-2006) 特別号	各号	¥2,808

1030	**作業療法ジャーナル（三輪書店）**		
	Vol. 23-37 (1989-2003) 各1-12号	各号	¥1,674
	Vol. 26-37 (1992-2003) 増刊号	各号	¥3,348
	Vol. 38#1-6,8-13 (2004)	各号	¥1,674
	Vol. 39#1-6,8-13 (2005)	各号	¥1,674
	Vol. 40#1-6,8-13 (2006)	各号	¥1,674
	Vol. 41#1-6,8-13 (2007)	各号	¥1,674
	Vol. 41#7 (2007) 増刊号		¥3,348
	Vol. 42-43 (2008-2009) 各1-6,8-13号	各号	¥1,782
	Vol. 42#7 (2008) 増刊号; Vol. 43#7 (2009) 増刊号	各号	¥3,564
	Vol. 44-46 (2010-2012) 各1-6,8-13号	各号	¥1,836
	Vol. 44#7 (2010) 増刊号; Vol. 45#7 (2011) 増刊号	各号	¥3,672
	Vol. 46#7 (2012) 増刊号		¥3,672
	Vol. 47-48 (2013-2014) 各1-6,8-13号	各号	¥1,890
	Vol. 47#7 (2013) 増刊号; Vol. 48#7 (2014) 増刊号	各号	¥4,104
1031	**栽培漁業技術開発研究（日本栽培漁業協会）**		
	Vol. 31#1; 32#1 (2003-2005)	各号	¥2,160
	Vol. 33-35 (2005-2008) 各1-2号	各号	¥2,160
1032	**栽培漁業センター技報（水産総合研究センター）**		
	No. 1-12 (2003-2010)	各号	¥2,160
1033	**細胞工学（秀潤社）**		
	Vol. 19-28 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥1,944
1034	**催眠学研究 Japanese Journal of Hypnosis（日本催眠医学心理学会）**		
	Vol. 19-24 (1975-1979) 各1-2号	各号	¥2,160
1035	**再生医療（メディカルレビュー社）**		
	Vol. 1#2 (2002)		¥2,160
	Vol. 2-12 (2002-2013) 各1-4号	各号	¥2,160
1036	**最新医学（最新医学社）**		
	Vol. 61-62 (2006-2007) 各1-12号	各号	¥2,520
	Vol. 61#3月増刊号 (2006) メタボリックシンドローム 前篇		¥5,143
	Vol. 61#6月増刊号 (2006) メタボリックシンドローム 後篇		¥5,143
	Vol. 61#9月増刊号 (2006) 臨床遺伝子学'06		¥5,143
	Vol. 62#9月増刊号 (2007) 臨床遺伝子学'07-ゲノム科学の臨床へのイン		¥5,400
	Vol. 63-65 (2008-2010) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 63#3月増刊号 (2008) 新興・再興感染症（前篇）		¥5,400
	Vol. 63#9月増刊号 (2008) 臨床遺伝子学'08		¥5,400
	Vol. 64#6月増刊号 (2009) 幹細胞研究の最近の進歩(後篇)-組織幹細		¥5,400
	Vol. 64#9月増刊号 (2009) 臨床遺伝子学'09 -がんの遺伝子学-		¥5,400
	Vol. 65#6月増刊号 (2010) 乳癌		¥5,400
	Vol. 65#9月増刊号 (2010) 臨床遺伝子学'10		¥5,400
1037	**最新精神医学（世論時報社）**		
	Vol. 3-7 (1998-2002) 各1-6号	各号	¥2,052
1038	**産婦人科治療（永井書店）**		
	Vol. 80-103 (2000-2011) 各1-6号	各号	¥2,808
	Vol. 80,82,96 (2000-2008); 102 (2011) 増刊号	各号	¥8,100
1039	**産婦人科の実際（金原出版）**		
	Vol. 49-53 (2000-2004) 各1-13号	各号	¥2,808
	Vol. 54#1 (2005) 増大号		¥4,752
	Vol. 54#2-10,12,13 (2005)	各号	¥2,808
	Vol. 54#11 (2005) 臨時増刊号		¥7,560
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各1,2,4-10,12,13号	各号	¥2,808
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各3号 増大号	各号	¥4,752
	Vol. 55-58 (2006-2009) 各11号 臨時増刊号	各号	¥7,560

1040	**産婦人科の世界（医学の世界社）**		
	Vol. 52-59 (2000-2007) 各1-12号	各号	¥2,160
1041	**産婦人科の進歩（近畿産科婦人科学会）**		
	Vol. 52#4; 53#5,6; 55#3,4; 56#2,3,4; 57#1 (2000-2005)	各号	¥3,024
	Vol. 58-62 (2006-2010) 各1-4号	各号	¥3,024
1042	**産業衛生学雑誌・産業医学（産業衛生学会）**		
	Vol. 1#1-6 (1959)	各号	¥2,160
	Vol. 1#7/8 (1959)		¥4,320
	Vol. 2#1-10 (1960)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1-8 (1961)	各号	¥2,160
	Vol. 3#9/10 (1961)		¥4,320
	Vol. 4-5 (1962-1963) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-10 (1964)	各号	¥2,160
	Vol. 6#11/12 (1964)		¥4,320
	Vol. 7-8 (1965-1966) 各1-11号	各号	¥2,160
	Vol. 9-11 (1967-1969) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 12#1-11 (1970)	各号	¥2,160
	Vol. 13-20 (1971-1978) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 21#1-6,特別号 (1979)	各号	¥2,160
	Vol. 22#1-6 (1980)	各号	¥2,160
	Vol. 23-34 (1981-1992) 各1-7号	各号	¥2,160
	Vol. 35-36 (1993-1994) 各1-6号,臨時増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 37-48 (1995-2006) 各1-6号,臨時増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 49-54 (2007-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 55#3-6 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 56#1-6 (2014)	各号	¥2,160
	Vol. 49#第80回日本産業衛生学会プログラム集 (2007)		¥2,160
	Vol. 50#第81回日本産業衛生学会プログラム集 (2008)		¥2,160
	Vol. 52#第83回日本産業衛生学会プログラム・CD-ROM版講演集 (2010		¥2,160
品切	Vol. 57#臨時増刊号 第88回講演集 (2015)		¥2,160
1043	**産業医学レビュー（産業医学振興財団）**		
	Vol. 18-22 (2005-2009) 各1-4号	各号	¥1,296
1044	**産業精神保健（日本産業精神保健学会）**		
	Vol. 7-13,16 (1999-2008) 各1-4号	各号	¥1,296
1045	**産業ストレス研究（日本産業ストレス学会）**		
	Vol. 4-15#1 (1997-2007) 各1-4号	各号	¥2,160
1046	**産科と婦人科（診断と治療社）**		
	Vol. 67-71 (2000-2004) 各1-10,12号	各号	¥2,592
	Vol. 68#11 (2001)		¥6,480
	Vol. 69#11 (2002)		¥6,372
	Vol. 70#11 (2003)		¥6,372
	Vol. 71#11 (2004)		¥7,452
	Vol. 72-74 (2005-2007) 各1-10,12号	各号	¥2,700
	Vol. 72#11;73#11;74#11 (2005-2007)	各号	¥5,940
	Vol. 75-76 (2008-2009) 各1-10,12号	各号	¥2,808
	Vol. 75#11 (2008)		¥6,480
	Vol. 76#11 (2009)		¥5,400
	Vol. 77-79 (2010-2012) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 80#7,11 (2013)	各号	¥2,808

1047	**Science (American Association Advancement of Science)**		
	Vol. 335#6045-6076 (2012)	各号	¥5,400
	Vol. 336#6077-6089 (2012)	各号	¥5,400
	Vol. 337#6090-6102 (2012)	各号	¥5,400
	Vol. 338#6103-6114 (2012)	各号	¥5,400
	Vol. 339#6115-6127 (2013)	各号	¥5,400
	Vol. 340#6128-6140 (2013)	各号	¥5,400
	Vol. 341#6141-6149,6151-6153 (2013)	各号	¥5,400
	Vol. 342#6154,6155,6157-6165 (2013)	各号	¥5,400
	Vol. 343#6166-6178 (2014)	各号	¥5,400
	Vol. 344#6179-6191 (2014)	各号	¥5,400
	Vol. 345#6192-6204 (2014)	各号	¥5,400
	Vol. 346#6205-6210,6212-6216 (2014)	各号	¥5,400
	Vol. 347#6217-6229 (2015)	各号	¥5,400
	Vol. 348#6230-6242 (2015)	各号	¥5,400
	Vol. 349#6243-6254 (2015)	各号	¥5,400
	Vol. 350#6262-6264,6266,6267 (2015)	各号	¥5,400
	Vol. 351#6268-6270,6273,6279,6280 (2015)	各号	¥5,400
1048	**SD：スペースデザイン（鹿島出版会）**		
	No. 169-171,176,177,179,180,182,186,188 (1978-1980)	各号	¥2,160
1049	**接着歯学（日本接着歯学会）**		
	Vol. 1#1 (1983)		¥3,240
	Vol. 2#1 (1984)		¥3,240
	Vol. 3#1 (1985)		¥3,240
	Vol. 4#1-2 (1986)	各号	¥3,240
	Vol. 5#1-2 (1987)	各号	¥3,240
	Vol. 5#3/4 (1987)		¥6,480
	Vol. 6-8 (1988-1990) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 9#3,4 (1991)	各号	¥3,240
	Vol. 10-24 (1992-2006/2007) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 25-26 (2007-2008) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-3 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 28#1-4 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 29#1-4 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 30#1-4 (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 31-34 (2013-2016) 各1,2,4号 3号は電子ジャーナル	各号	¥3,240
1050	**生物物理（日本生物物理学会）**		
	Vol. 40-52 (2000-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 53#1 (2013)		¥2,160
	年会講演予稿集 第38回-41回,43回,46回-50回 (2000-2012)	各号	¥2,160
1051	**生物工学会誌（日本生物工学会）**		
	Vol. 71-80,83,86-90 (1993-2012) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 91#1-3 (2013)	各号	¥2,700
1052	**成人病と生活習慣病（東京医学社）**		
	Vol. 30-35 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥2,592
	Vol. 36-37 (2006-2007) 各1-12号	各号	¥2,726
	Vol. 38-40 (2008-2010) 各1-12号	各号	¥2,756
1053	**生化学（日本生化学会）**		
	Vol. 72-83 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,512
1054	**整形外科（南江堂）**		
	Vol. 5-63 (1954-2012) 各1-13号	各号	¥2,592
	Vol. 5-63 (1954-2012) 増大号	各号	¥5,940

1055	**別冊整形外科（南江堂）**		
	No.9,18,22,25-32,34-37,39-42,46,47,49,50,55,57,58（1986-2010）	各巻	¥5,400
1056	**整形外科医療の周辺問題資料集（日本臨床整形外科医会）**		
	第2版（2003）		¥5,400
	Vol. 2（2004）		¥5,400
1057	**整形外科 Mook（金原出版）**		
	No. 1-57,59-65（1977-1993）	各号	¥5,940
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1A 保存療法		¥5,940
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1B 保存療法		¥5,940
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1D 観血療法		¥5,940
	増刊 私のすすめる整形外科治療法 1E 観血療法		¥5,940
1058	**整形外科最小侵襲手術ジャーナル（全日本病院出版会）**		
	No. 2,6,8,9（1997-1998）	各号	¥2,873
	No. 11,17,18,19,22,24-33,40,41,48,49（1999-2008）	各号	¥3,024
	No. 52,55,57,58（2009-2011）	各号	¥3,132
1059	**整形外科 Surgical Technique（整形外科サージカルテクニック）（メディカ出版）**		
	Vol. 1#1-5（2011）	各号	¥2,700
	Vol. 2-4（2012-2014）各#1-6号	各号	¥2,700
1060	**整形・災害外科（金原出版）**		
	Vol. 47-52（2004-2009）各1-13号	各号	¥2,592
	Vol. 47-52（2004-2009）各増刊号	各号	¥7,128
1061	**生命倫理（日本生命倫理学会）**		
	Nol. 3-21（1993-2011）	各号	¥2,700
1062	**聖路加看護学会誌（聖路加看護学会）**		
	Vol. 5-11（2001-2007）各1-2号	各号	¥2,160
1063	**精神分析研究（日本精神分析学会）**		
	Vol. 17,21（1971/72,1976/77）各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 18-20,22-44（1973/74-2000）各1-5号	各号	¥2,700
	Vol. 45-48（2001-2004）各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 48#50周年記念特集増刊号（2004）		¥2,700
	Vol. 49-57（2005-2013）	各号	¥2,700
	Vol. 58#2-4（2014）	各号	¥2,700
	Vol. 59-60（2015-2016）各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 61#1-3（2017）	各号	¥2,700
	総目次（Vol.1#1-Vol.41#5）（1997）		¥2,700
	日本精神分析学会 抄録集 第47回（2001）－第60回（2016）	各回	¥2,700
1064	**精神分析的精神医学（日本精神分析的精神医学会）**		
	No. 1,2,4（2005-2010）	各号	¥2,160
1065	**精神衛生研究 / 国立精神衛生研究所**		
	No. 1-33（1953-1986）	各号	¥2,160
1066	**精神衛生資料（国立精神衛生研究所）**		
	No. 1-25（1953-1981）	各号	¥2,160
1067	**精神保健福祉（日本精神保健福祉士協会）**		
	Vol. 34-39（2003-2008）各1-4号	各号	¥2,835
1068	**精神保健研究（国立精神・神経センター精神保健研究所）**		
	No. 44,44,47-49,51（1994-2005）	各号	¥2,160

1069 精神医学（医学書院）

	Vol. 1-16 (1959-1974) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 17#1-13 (1975)	各号	¥2,700
	Vol. 18-32 (1976-1990) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 33#1-12 (1991)	各号	¥2,700
	Vol. 34#1-12 (1992)	各号	¥2,700
	Vol. 35#1-12 (1993)	各号	¥2,700
	Vol. 36#1-12 (1994)	各号	¥2,700
	Vol. 37#1 (1995) 分裂病者の社会復帰-新しい展開		¥2,700
	Vol. 37#2-6,9-12 (1995)	各号	¥2,700
	Vol. 37#7 (1995) 阪神・淡路大震災-現場からの報告		¥2,700
	Vol. 37#8 (1995) 外来精神科医療の現状と課題		¥2,700
	Vol. 38#1-4,6-10 (1996)	各号	¥2,700
	Vol. 38#5 (1996) 精神病理学の方法論-記述か計量か		¥2,700
	Vol. 38#11 (1996) 精神医学における分子生物学的研究		¥2,700
	Vol. 38#12 (1996) 痴呆の薬物療法の最前線		¥2,700
	Vol. 39#1-4,6,7,9,10,12 (1997)	各号	¥2,484
	Vol. 39#5 (1997) 学校精神保健-教育との連携の実際		¥2,484
	Vol. 39#8 (1997) スーパービジョンとコンサルテーション		¥2,484
	Vol. 39#11 (1997) 精神科の合理的薬物選択アルゴリズム		¥2,484
	Vol. 40#1,3,4,6,7,9-11 (1998)	各号	¥2,484
	Vol. 40#2 (1998) 精神病像を伴う躁うつ病および分裂感情障害		¥2,484
	Vol. 40#5 (1998) アジアにおける最近の精神医学事情		¥2,484
	Vol. 40#8 (1998) 災害のもたらすもの-阪神・淡路大震災復興期		¥2,484
	Vol. 40#12 (1998) がん、臓器移植とリエゾン精神医学		¥2,484
	Vol. 41#2-5,7-11 (1999)	各号	¥2,592
	Vol. 41#1 (1999) 記憶障害の臨床		¥2,592
	Vol. 41#6 (1999) 治療抵抗性の精神障害とその対応		¥2,592
	Vol. 41#12 (1999) 自動精神科医療の課題		¥2,592
	Vol. 42#1,4,6-9,11 (2000)	各号	¥2,592
	Vol. 42#2 (2000) シンポ・新しい精神医学の構築-21世紀への..		¥2,592
	Vol. 42#3 (2000) 精神医学、医療の将来		¥2,592
	Vol. 42#5 (2000) 精神疾患の発病規定因子		¥2,592
	Vol. 42#10 (2000) 職場の精神保健		¥2,592
	Vol. 42#12 (2000) シンポ・ライフサイクルと睡眠障害		¥2,592
	Vol. 43#1,3,4,7-9,12 (2001)	各号	¥2,592
	Vol. 43#2 (2001) 今、なぜ病跡学か		¥2,592
	Vol. 43#5 (2001) 薬物依存者に対する精神保健・精神科医療体		¥2,592
	Vol. 43#6 (2001) 社会構造の変化と高齢者問題		¥2,592
	Vol. 43#10 (2001) シンポ・精神分裂病の心理社会的治療の進歩		¥2,592
	Vol. 43#11 (2001) 青少年犯罪と精神医学		¥2,592
	Vol. 44#1,2,4,5,9,10,12 (2002)	各号	¥2,700
	Vol. 44#3 (2002) 新しい向精神薬の薬理・治療		¥2,700
	Vol. 44#6 (2002) 司法精神医学の今日的課題		¥2,700
	Vol. 44#7 (2002) 特別企画 WPA 2002横浜大会に期待する		¥2,700
	Vol. 44#8 (2002) 精神疾患と認知機能		¥2,700
	Vol. 44#11 (2002) 精神疾患の脳画像解析と臨床応用の将来		¥2,700
	Vol. 45#1,2,5,9 (2003)	各号	¥2,700
品切	Vol. 45#3 (2003) ひきこもりの病理と診断・治療		¥2,700
	Vol. 45#4 (2003) 新医師臨床研修制度の課題求められる医師像と精神		¥2,700
	Vol. 45#6 (2003) 統合失調症とは何かSchizophrenia 概念の変遷		¥2,700
	Vol. 45#7 (2003)		¥2,700
	Vol. 45#8 (2003) 痴呆症とパーキンソン病研究の新展開		¥2,700
	Vol. 45#10 (2003) 新医師臨床研修制度における精神科研修はどうある		¥2,700
	Vol. 45#11 (2003) ICF と精神医学		¥2,700

Vol. 45#12 (2003) 統合失調症と認知機能―最近の話題		¥2,700
Vol. 46#1 (2004) 臨床心理技術者の国家資格化についての主張		¥2,700
Vol. 46#2-5,7-9,11,12 (2004)	各号	¥2,700
Vol. 46#6 (2004) 精神科医療における危機介入		¥2,700
Vol. 46#10 (2004) 精神科医療における介護保険制度		¥2,700
Vol. 47#1,3-7,9,10,12 (2005)	各号	¥2,700
Vol. 47#2 (2005) 時代による精神疾患の病像変化		¥2,700
Vol. 47#8 (2005) リエゾン精神医学の現状と課題		¥2,700
Vol. 47#11 (2005) 電気けいれん療法		¥2,700
Vol. 48#1,2,4,7,8,10,11 (2006)	各号	¥2,700
Vol. 48#3 (2006) 災害精神医学の10年-経験から学ぶ		¥2,700
Vol. 48#5 (2006) シンポジウム MCIとLNTDをめぐって		¥2,700
Vol. 48#6 (2006) オグメンテーション療法か，多剤併用療法か		¥2,700
Vol. 48#9 (2006) 新医師臨床研修制度に基づく精神科ローテート研修の		¥2,700
Vol. 48#12 (2006) シンポジウム気分障害治療の新たな展開		¥2,700
Vol. 49#1 (2007) シンポ・児童思春期の攻撃性・衝動性の理解と援助－		¥2,700
Vol. 49#2,4,6,8,10,12 (2007)	各号	¥2,700
Vol. 49#3 (2007) 統合失調症と感情障害の補助診断法の最近の進歩		¥2,700
Vol. 49#5 (2007) 睡眠と精神医学:「睡眠精神医学」の推進		¥2,700
Vol. 49#7 (2007) レビー小体型認知症をめぐって		¥2,700
Vol. 49#9 (2007)「緩和ケアチーム」精神科医に期待すること、精神科医		¥2,700
Vol. 49#11 (2007) シンポ・ストレスと精神生物学 新しい診断法を目指し		¥2,700
Vol. 50#1 (2008) 精神医学的コミュニケーションとは何か 精神科専門医		¥2,700
Vol. 50#2,4,5,10,11 (2008)	各号	¥2,700
Vol. 50#3 (2008) 精神疾患に対する早期介入の現状と将来		¥2,700
Vol. 50#6 (2008) 疲労と精神障害－ストレス-疲労-精神障害について		¥2,700
Vol. 50#7 (2008) 成人期のアスペルガー症候群・I		¥2,700
Vol. 50#8 (2008) 成人期のアスペルガー症候群・II		¥2,700
Vol. 50#12 (2008) ACTは日本の地域精神医療の柱になれるか？		¥2,700
Vol. 51#1,5 (2009)	各号	¥2,700
Vol. 51#2 (2009) シンポ・統合失調症の脳科学		¥2,700
Vol. 51#3 (2009) 社会脳をめぐって		¥2,700
Vol. 51#4 (2009) シンポ・うつ病と自殺に医師はどう対応するのか		¥2,700
Vol. 51#6 (2009) 精神医学は進歩したか？		¥2,700
Vol. 51#7 (2009) 精神疾患と睡眠マネージメント		¥2,700
Vol. 51#8 (2009) 総合失調症概念の変遷		¥2,700
Vol. 51#9 (2009) 児童青年精神医学の現状		¥2,700
Vol. 51#10 (2009) 若年性認知症をめぐる諸問題		¥2,700
Vol. 51#11 (2009) 現代の自殺をめぐる話題		¥2,700
Vol. 51#12 (2009) アルツハイマー病に対する高用量donepezilの1年間の		¥2,700
Vol. 52#1 (2010) 認知機能リハビリテーション－総合失調症の治療にどう		¥2,700
Vol. 52#2 (2010) 児童青年期統合失調症患者の自傷行為に関する検討		¥2,700
Vol. 52#3 (2010) 総合病院精神科衰退の危機と総合病院精神医学会の		¥2,700
Vol. 52#4 (2010) 内因性精神疾患の死後脳研究		¥2,700
Vol. 52#5 (2010) 児童期における精神疾患の非定型性―成人期の精神		¥2,700
Vol. 52#6-9,12 (2010)	各号	¥2,700
Vol. 52#10 (2010) 高次脳機能障害をめぐって		¥2,700
Vol. 53#1,3,9 (2011)	各号	¥2,700
Vol. 53#2 (2011) 統合失調症の予後改善に向けての新たな戦略		¥2,700
Vol. 53#4 (2011) シンポジウム　気分障害の生物学的研究の最新動向―		¥2,700
Vol. 53#5 (2011) 成人てんかんの国際分類と医療の現状		¥2,700
Vol. 53#6,7 (2011)	各号	¥2,700
Vol. 53#8 (2011) 性同一性障害(GID)		¥2,700
Vol. 53#10 (2011) 裁判員制度と精神鑑定		¥2,700
Vol. 53#11 (2011) 震災時の避難大作戦:精神科編		¥2,700
Vol. 53#12 (2011) シンポ・精神医学研究の到達点と展望		¥2,700

	Vol. 54#1 (2012)		¥2,808
	Vol. 54#2 (2012) 障害者権利条約批准に係る国内法の整備:今後の精神		¥2,808
	Vol. 54#3 (2012) オピニオン・認知症の終末期医療の対応		¥2,808
	Vol. 54#4 (2012) オピニオン・マインドフルネス/アクセプタンス認知行動		¥2,808
	Vol. 54#5-9 (2012)	各号	¥2,808
	Vol. 54#10 (2012) 医療法に基づく精神疾患の地域医療計画策定		¥2,808
	Vol. 54#11 (2012) アルコール・薬物関連障害		¥2,808
	Vol. 54#12 (2012)		¥2,808
	Vol. 55#1-2 (2013)	各号	¥2,808
	Vol. 55#3 (2013) SST 最近の進歩と広がり		¥2,808
	Vol. 55#4-7 (2013)	各号	¥2,808
	Vol. 55#8 (2013) 職場のメンタルヘルスと復職支援－その効果的な利用		¥2,808
	Vol. 55#9 (2013) オピニオン 精神科医にとっての精神療法の意味		¥2,808
	Vol. 55#10 (2013) アンチスティグマ活動の新しい転機 Ⅰ		¥2,808
	Vol. 55#11 (2013) アンチスティグマ活動の新しい転機Ⅱ		¥2,808
	Vol. 55#12 (2013)		¥2,808
	Vol. 56#1-4,6,7,11,12 (2014)	各号	¥2,916
	Vol. 56#5 (2014) 大学生とメンタルヘルス－保健管理センターのチャレン		¥2,916
品切	Vol. 56#8 (2014) うつ病の早期介入，予防(I)		¥2,916
	Vol. 56#9 (2014) うつ病の早期介入，予防(II)		¥2,916
	Vol. 56#10 (2014) 良質かつ適切な医療の提供-改正精神保健福祉法41		¥2,916
	Vol. 57#1 (2015) 今後の産業精神保健の課題－近年の行政施策の動向		¥2,916
	Vol. 57#2 (2015)	各号	¥2,916
	Vol. 57#3 (2015) リエゾン精神医学の現状と今後の展望(I)		¥2,916
	Vol. 57#4 (2015) リエゾン精神医学の現状と今後の展望(II)		¥2,916
	Vol. 57#5-7 (2015)	各号	¥2,916
	Vol. 57#8 (2015) オピニオンDSM-5―私はこう思う		¥2,916
	Vol. 57#9 (2015) 統合失調症の認知機能障害の臨床的意義		¥2,916
	Vol. 57#10 (2015) 精神医学と神経学の境界領域―最近のトピックスから		¥2,916
	Vol. 57#11 (2015) 家族と当事者からみた精神科医療・精神医学		¥2,916
	Vol. 57#12 (2015)		¥2,916
	Vol. 58#1 (2016) 社会認知研究の最近の動向		¥2,916
	Vol. 58#2 (2016) 妊娠・出産・育児とメンタルヘルスケア		¥2,916
	Vol. 58#3-4 (2016)	各号	¥2,916
	Vol. 58#5 (2016) 成人の自閉スペクトラム症とライフステージの課題		¥2,916

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

1070 精神医学史研究 Japanese Journal of History of Psychiatry（精神医学史学会）

Vol. 5-9 (2001-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
Vol. 10#2 (2006)		¥2,160

1071 精神医療（悠久書房）

No. 68 (1988)		¥1,350
No. 70-72 (1989)	各号	¥1,350
No. 73-75 (1990)	各号	¥1,350
No. 76 (1991)		¥2,700

1072 精神科（科学評論社）

Vol. 16-23 (2010-2013) 各1-6号	各号	¥2,916
Vol. 24-29 (2014-2016) 各1-6号	各号	¥3,240
Vol. 30#1-5 (2017)	各号	¥3,240

1073	**精神科治療学 （星和書店）**		
	Vol. 1-2 (1986-1987) 各1-4号	各号	¥2,570
	Vol. 3#1-6 (1988)	各号	¥2,570
	Vol. 4-18 (1989-2003) 各1-12号	各号	¥2,570
	Vol. 19-30 (2004-2015) 各1-12号	各号	¥3,110
	Vol. 10#増刊号 (1995) 十周年記念出版 精神科治療ガイドライン		¥6,134
	Vol. 13#増刊号 (1998) 精神科治療技法ガイドライン		¥6,372
	Vol. 14#増刊号 (1999) 痴呆の治療ガイドライン		¥6,372
	Vol. 15#増刊号 (2000) 分裂病の治療ガイドライン		¥6,372
	Vol. 16#増刊号 (2001) 小児・思春期の精神障害治療ガイドライン		¥6,372
	Vol. 17#増刊号 (2002) 気分障害の治療ガイドライン		¥6,372
	Vol. 18#増刊号 (2003) 精神科救急ガイドライン		¥6,372
	Vol. 19#増刊号 (2004) 精神科リエゾンガイドライン		¥6,372
	Vol. 20#増刊号 (2005) 新精神科治療ガイドライン		¥6,372
品切	Vol. 21#増刊号 (2006) 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン		¥6,372
品切	Vol. 22#増刊号 (2007) 精神科治療薬の副作用:予防・早期発見・治療ガ		¥6,372
品切	Vol. 23#増刊号 (2008) 児童・青年期の精神障害治療ガイドライン		¥6,372
品切	Vol. 24#増刊号 (2009) 精神療法・心理社会療法ガイドライン		¥6,372
品切	Vol. 25#増刊号 (2010) 今日の精神科治療ガイドライン		¥6,372
品切	Vol. 26#増刊号 (2011) 神経症性障害の治療ガイドライン		¥6,372
1074	**精神科看護 (日本精神科看護協会・精神看護出版)**		
	No,24,29,,30,32,33,35-243 (1987-2012)	各号	¥1,080
1075	**精神科救急 (日本精神科救急学会)**		
	Vol. 1-4 (1998-2001)	各巻	¥1,728

1076　精神看護（医学書院）

	Vol. 1#1 (1998) 医療制度改革は日常ケアをどう変えるか	¥1,296
	Vol. 1#2 (1998) SSTのいまとこれから	¥1,296
	Vol. 1#3 (1998) いまさら聞けない精神科看護Q&A	¥1,296
	Vol. 1#4 (1998) 合併症ケアが問いかけるもの	¥1,296
	Vol. 1#5 (1998) 記録で見える看護の中身	¥1,296
	Vol. 1#6 (1998) 痴呆症老人のケアは環境づくりから	¥1,296
	Vol. 2#1 (1999) 長期入院者に何が提供できるのか	¥1,296
	Vol. 2#2 (1999) 拒む患者さんを前にして	¥1,296
	Vol. 2#3 (1999) 保護室を語ろう	¥1,296
	Vol. 2#4 (1999) 患者さんの回復過程と看護の手立て	¥1,296
	Vol. 2#5 (1999) 約束から見えるもの	¥1,296
	Vol. 2#6 (1999) 患者さんが「利用者」になる	¥1,296
	Vol. 3#1 (2000) クスリのターゲット	¥1,296
	Vol. 3#2 (2000) ケアの時間軸を探る	¥1,296
	Vol. 3#3 (2000) ケアの〈かたち〉づくり−看護管理の視点	¥1,296
	Vol. 3#4 (2000) 〈堂々めぐり〉からの跳躍	¥1,296
	Vol. 3#5 (2000) 患者さん参加型のカンファレンス	¥1,296
	Vol. 3#6 (2000) 「消極的」な患者さんにどう対応するか	¥1,296
	Vol. 4#1 (2001) 患者さんの死と看護者の心のケア	¥1,296
	Vol. 4#2 (2001) 「お金」にまつわる、いろいろ	¥1,296
	Vol. 4#3 (2001) となりの看護記録	¥1,296
	Vol. 4#4 (2001) アルコール看護にはツボがあった	¥1,296
	Vol. 4#5 (2001) 中井久夫を読む	¥1,296
	Vol. 4#6 (2001) 間違いだらけの「痴呆病棟の一日」	¥1,296
	Vol. 5#1 (2002) 疥癬と結核　発生したら、どうするか。	¥1,296
品切	Vol. 5#2 (2002) 好きで嫌いな,「境界例」	¥1,296
	Vol. 5#3 (2002) 地域でケアするって、なんてドラマ…？	¥1,296
	Vol. 5#4 (2002) 殴られているのは誰だ　精神病院のなかの「暴力」	¥1,296
品切	Vol. 5#5 (2002) これが薬を減らす道	¥1,296
	Vol. 5#6 (2002) 介護職とうまく協働する方法	¥1,296
	Vol. 6#1 (2003) 「反社会性人格障害者」という人	¥1,296
	Vol. 6#2 (2003) いまここにあるセクハラ/身体の「心地良さ」を変化のきっ	¥1,296
	Vol. 6#3 (2003) 精神療法が知りたい	¥1,296
	Vol. 6#4 (2003) 薬物依存症看護が「苦手」だと感じる看護職のみなさん	¥1,296
	Vol. 6#5 (2003) その裏にある「虐待」問題	¥1,296
	Vol. 6#6 (2003) 集団療法のダイナミズム思春期・青年期の困難事例	¥1,296
	Vol. 7#1 (2004) 看護と死/特集2「心神喪失者等医療観察法」で精神医	¥1,296
	Vol. 7#2 (2004) つらい「幻聴」とうまくつきあう　コーピングスキルの獲得	¥1,296
	Vol. 7#3 (2004) 壁のバカ	¥1,296
	Vol. 7#4 (2004) 新薬が使える病院, 使えない病院	¥1,296
	Vol. 7#5 (2004) 医療者が楽になる「リスクマネジメント」	¥1,296
品切	Vol. 7#6 (2004) 暴力に対峙するときの身体技術(実践CD付)／どうやって	¥1,296
品切	Vol. 8#1 (2005) 「身体合併症」の極みとしての「がん」看護	¥1,296
	Vol. 8#2 (2005) 思わず膝打つ「現場の工夫」	¥1,296
	Vol. 8#3 (2005) 「患者さん参加型」のカンファレンスと記録/暴力、そのあ	¥1,296
品切	Vol. 8#4 (2005) はじめての抗精神病薬「副作用」マニュアル　前編／もし	¥1,296
品切	Vol. 8#5 (2005) はじめての抗精神病薬　「副作用」マニュアル［中編］／	¥1,296
	Vol. 8#6 (2005) はじめての抗精神病薬「副作用」マニュアル［後編］／“	¥1,296
品切	Vol. 9#1 (2006) 一気に大量88人退院物語/「行動」に着目するMORI式	¥1,296
品切	Vol. 9#2 (2006) 看護がはじめる「認知療法」/「抗うつ薬」がわかる	¥1,296
	Vol. 9#3 (2006) 新人ナース必携お助けガイド!精神科でよく起きる自傷・	¥1,296
	Vol. 9#4 (2006) 新人ナース必携お助けガイド!わからない人が多いチュ	¥1,296
	Vol. 9#5 (2006) 「支え」と「介入」をめぐる精神看護4話/新人ナース必携	¥1,296
	Vol. 9#6 (2006) 「うつ」の看護の不全感を解消する/今どうなっているの?	¥1,296
	Vol. 10#1 (2007) 「行動制限最小化」につながる看護をさがす／実は「痩	¥1,296
	Vol. 10#2 (2007) SST！私たちの「悩み克服法」/入院時こそ濃厚なかか	¥1,296

	Vol. 10#3 (2007) 「単純化」を成功させるために必要なこと/魅力があって	¥1,296
	Vol. 10#4 (2007) 水中毒への対応に革命を起こした病院のノウハウ／ア	¥1,296
	Vol. 10#5 (2007) 退院支援のツボ 精神科訪問看護 障害者自立支援法	¥1,296
	Vol. 10#6 (2007) イレウスの看護を確認しよう	¥1,296
	Vol. 11#1 (2008) 地震・火災発生! そのときどうする	¥1,296
	Vol. 11#2 (2008) 「発達障害」だと考えると、こういうアプローチのほうが有	¥1,296
	Vol. 11#3 (2008) 鑑定入院で看護は何をする？/指定通院医療機関の	¥1,296
	Vol. 11#4 (2008) 私たちはなぜ寂しいのか/事件・事故と法的対処	¥1,296
	Vol. 11#5 (2008) ”ケアする人”が楽になるための「認知行動療法」入門	¥1,296
	Vol. 11#6 (2008) それでもあなたは胃洗浄しますか？/高次脳機能障害	¥1,296
	Vol. 12#1 (2009) CD付録「ふまねっと運動」実践集/ぼくの給与明細、全	¥1,296
	Vol. 12#2 (2009) 精神科の薬 基本の“き”	¥1,296
	Vol. 12#3 (2009) 自傷行為からグチへ/搬送の判断をするとき	¥1,296
	Vol. 12#4 (2009) 保護室がいっぱい	¥1,296
	Vol. 12#5 (2009) なぬ！？「経時記録」はいらないって？	¥1,296
	Vol. 12#6 (2009) 精神科訪問看護の疑問に答えます	¥1,296
	Vol. 13#1 (2010) 思春期病棟を「発達障害」の視点から作り直した病院が	¥1,296
	Vol. 13#2 (2010) 行動制限最小化への道／クリニックで働く／看護学生	¥1,296
	Vol. 13#3 (2010) 看護が行う認知行動療法 ストレス軽減で離職を防ぐ！	¥1,296
	Vol. 13#4 (2010) マンガ「ほ・ん・へ」で振り返る精神科で看護師をすると	¥1,296
	Vol. 13#5 (2010) 胴拘束が、ドウもあぶない 認定看護師になりたい！　実	¥1,296
	Vol. 13#6 (2010) 女って大変。当事者ならわかる、木村敏。	¥1,296
	Vol. 14#1 (2011) 看護・介護する人が楽になる身体の使い方	¥1,296
	Vol. 14#2 (2011) 主任はつらいよ、楽しいよ	¥1,296
	Vol. 14#3 (2011) 多飲症看護/院内研修/東日本大震災	¥1,296
	Vol. 14#4 (2011) 認知症、どうしたらいい？	¥1,296
	Vol. 14#5 (2011) 拘束時の心理的ケア	¥1,296
	Vol. 14#6 (2011) 死なせない 積極的にかかわる自殺予防	¥1,296
品切	Vol. 15#1 (2012) 経験値MAX 90歳の精神科訪問看護師／中井久夫×	¥1,296
品切	Vol. 15#2 (2012) 新しい「精神疾患」この十年／特集2 中井久夫×神田	¥1,296
	Vol. 15#3 (2012) スーパー救急で拘束ゼロ	¥1,296
	Vol. 15#4 (2012) 観察の視点にプラスしたい 身体疾患治療薬と向精神	¥1,296
	Vol. 15#5 (2012) クロザピンがある看護現場	¥1,296
	Vol. 15#6 (2012) 身体の異変を見逃さない	¥1,296
	Vol. 16#1 (2013) 心が折れない看護研究	¥1,296
	Vol. 16#2 (2013) 拒否する人には「快」より始めよ	¥1,296
	Vol. 16#3 (2013) 使える! 理論とモデル	¥1,296
	Vol. 16#4 (2013) 精神疾患の治療動向2013/看護のための性格論―病名	¥1,296
	Vol. 16#5 (2013) マインドフルネスと新世代の認知行動療法	¥1,296
	Vol. 16#6 (2013) 勤務表の作り方	¥1,296
	Vol. 17#1 (2014) 「処方薬依存」と「脱法ドラッグ」が大変なことになってお	¥1,296
	Vol. 17#2 (2014) 近森病院総合心療センターがチーム医療で取り組んだ	¥1,296
品切	Vol. 17#3 (2014) 新しい認知症ケアメソッド「ユマニチュード」	¥1,296
品切	Vol. 17#4 (2014) フィンランドで効果を上げる驚きの救急対応「オープン	¥1,296
品切	Vol. 17#5 (2014) 地域につなげる「退院サマリー」を提案します	¥1,296
	Vol. 17#6 (2014) 「これがユマニチュードだ! 」開発者イヴ・ジネスト氏の	¥1,296
	Vol. 18#1 (2015) あっと驚くACTです 「暮らしを支える」ってこういうことだ	¥1,404
品切	Vol. 18#2 (2015) 地域との「連携」がうまい組織は、こんな手法を使ってい	¥1,404
	Vol. 18#3 (2015) A子がWRAPを作ったら／自分の病院に合った、持続	¥1,404
品切	Vol. 18#4 (2015) ストレングス・マッピングシートをケアに使ってみて、どう	¥1,404
	Vol. 18#5 (2015) 学校の先生に聞きました。	¥1,404
	Vol. 18#6 (2015) 自分を傷つける行為が止まらない人	¥1,404
	Vol. 19#1 (2016) 行って見て聞いた　オープンダイアローグ発祥の地ケロ	¥1,404
	Vol. 19#2 (2016) いいのかなと不安に思いながらやってしまっている　腹	¥1,404
	Vol. 19#3 (2016) オープンダイアローグの“キモ”はリフレクティングにある	¥1,404

※上記以外は医学書院 販売部
(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804)へお申し込み下さい

1077	**精神療法（季刊精神療法）（金剛出版）**		
	Vol. 1-17 (1975-1991) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 18-21,23 (1992-1997) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 27#6 (2001); 28#4 (2002)	各号	¥2,160
1078	**精神神経学雑誌（日本精神神経学会）**		
	Vol. 7,12-15,17,19,20,28-45,47-114 (1902/03-2012) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 115-118 (2013-2016) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 119#1-8 (2017)	各号	¥1,620
1079	**精神身体医学（日本精神身体医学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1961)	各号	¥1,728
	Vol. 2#1-4 (1962)	各号	¥1,728
	Vol. 3#1,2,4,5,6 (1963)	各号	¥1,728
	Vol. 4-8 (1964-1968) 各1-6号	各号	¥1,728
	Vol. 11-15 (1971-1975) 各1-6号	各号	¥1,728
	心身医学 Vol.16 (1976) に続く		
1080	**精神障害とリハビリテーション（日本精神障害者リハビリテーション学会）**		
	Vol. 2#1-2 (1998)	各号	¥1,620
	Vol. 4#2 (2000)		¥1,620
	Vol. 5-6 (2001-2002) 各1-2号	各号	¥1,620
	Vol. 7#1 (2003)		¥1,620
	Vol. 8-9 (2004-2005) 各1-2号	各号	¥1,620
	Vol. 10#2 (2006)		¥1,620
	Vol. 11-13 (2007-2009) 各1-2号	各号	¥1,620
	Vol. 14#2 (2010); 15#1 (2011)	各号	¥1,620
	Vol. 16#1-2 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 17#1 (2013)		¥1,620
1081	**生態学研究（八甲田山植物実験所）**		
	Vol. 1-20 (1935-1985/1985)	各巻	¥8,640
1082	**生体医工学：日本エム・イー学会誌（日本生体医工学会）**		
	Vol. 41-43 (2003-2005) 各1-4号	各号	¥2,592
	Vol. 45#1-4 (2007)	各号	¥2,592
	Vol. 46#1-6 (2008)	各号	¥2,592
	Vol. 47#1-4,6 (2009)	各号	¥2,592
	Vol. 48#2-5 (2010)	各号	¥2,592

1083 生体の科学（医学書院）

Vol. 2-6 (1950/51-1954/55) 各1-6号	各号	¥1,728
Vol. 7#1-9 (1955/56)	各号	¥1,728
Vol. 8-20 (1957-1969) 各1-6号	各号	¥1,728
Vol. 21#1-7 (1970)	各号	¥1,728
Vol. 22-40 (1971-1989) 各1-6号	各号	¥1,728
Vol. 41#1-3,5-6 (1990)	各号	¥1,728
Vol. 41#4 (1990) 増大号 New Proteins		¥4,860
Vol. 42#1-4,6 (1991)	各号	¥1,728
Vol. 42#5 (1991) 増大号 神経系に作用する薬物マニュアル		¥4,860
Vol. 43#1-4,6 (1992)	各号	¥1,728
Vol. 43#5 (1992) 研究室で役に立つ細胞株		¥5,184
Vol. 44#1-4,6 (1993)	各号	¥1,728
Vol. 44#5 (1993) 増大号 現代医学・生物学の仮説・学説		¥4,860
Vol. 45#1-4,6 (1994)	各号	¥1,728
Vol. 45#5 (1994) 動物の行動機能テスト		¥4,860
Vol. 46#1-4,6 (1995)	各号	¥1,728
Vol. 46#5 (1995) 増大号 遺伝子・タンパク質のファミリー・スーパーファミリ		¥5,940
Vol. 47#1 (1996) 神経科学の最前線		¥1,728
Vol. 47#2 (1996) カルシウム動態と細胞機能		¥1,728
Vol. 47#3 (1996) 細胞分化		¥1,728
Vol. 47#4 (1996) エンドサイトーシス		¥1,728
Vol. 47#5 (1996) 増大号 器官-その新しい視点		¥4,860
Vol. 47#6 (1996) 老化		¥1,728
Vol. 48#1 (1997) 21世紀の脳科学		¥1,728
Vol. 48#2 (1997) 最近のMAPキナーゼ系		¥1,728
Vol. 48#3 (1997) 開口分泌のメカニズムにおける新しい展開		¥1,728
Vol. 48#4 (1997) マトリックス生物学の最前線		¥1,728
Vol. 48#5 (1997) 増大号 受容体 1997		¥4,860
Vol. 48#6 (1997) 軸索誘導		¥1,728
Vol. 49#1 (1998) 言語の脳科学		¥1,728
Vol. 49#2 (1998) 血管-新しい観点から		¥1,728
Vol. 49#3 (1998) 幹細胞研究の新展開		¥1,728
Vol. 49#4 (1998) プロテインキナーゼCの多様な機能		¥1,728
Vol. 49#5 (1998) 増大号 神経系に作用する薬物マニュアル1998		¥4,860
Vol. 49#6 (1998) 発生・分化とホメオボックス遺伝子		¥1,728
Vol. 50#1 (1999)「座談会」脳を守る		¥1,728
Vol. 50#2 (1999) リソソーム：最近の研究		¥1,728
Vol. 50#3 (1999) 時間生物学の新たな展開		¥1,728
Vol. 50#4 (1999)トランスポーターの構造と機能協関		¥1,728
Vol. 50#5 (1999) 増大号 病気の分子細胞生物学		¥4,860
Vol. 50#6 (1999) 細胞内輸送		¥1,728
Vol. 51#1 (2000) 脳を守る21世紀生命科学の展望		¥1,728
Vol. 51#2 (2000) 細胞極性の形成機序		¥1,728
Vol. 51#3 (2000) 自然免疫における異物認識と排除の分子機構		¥1,728
Vol. 51#4 (2000) 臓器（組織）とアポトーシス		¥1,728
Vol. 51#5 (2000) 増大号 ノックアウトマウスリスト		¥4,860
Vol. 51#6 (2000) 機械的刺激需要の分子機構と細胞応答		¥1,728
Vol. 52#1 (2001) [座談会]脳を育む		¥1,728
Vol. 52#2 (2001) 情報伝達物質としてのATP		¥1,728
Vol. 52#3 (2001) 脳の発達に関与する分子機構		¥1,728
Vol. 52#4 (2001) 骨格筋研究の新展開		¥1,728
Vol. 52#5 (2001) 増大号 モチーフ・ドメインリスト		¥4,860
Vol. 52#6 (2001) 血液脳関門研究の最近の進歩		¥1,728
Vol. 53#1 (2002) 脳とこころ－21世紀の課題		¥1,728
Vol. 53#2 (2002) RNA		¥1,728

	Vol. 53#3 (2002) 細胞質分裂	¥1,728
	Vol. 53#4 (2002) 一価イオンチャネル	¥1,728
	Vol. 53#5 (2002) 増大号 加齢の克服－21世紀の課題	¥4,860
	Vol. 53#6 (2002) ゲノム全解読とポストゲノムの問題点	¥1,728
	Vol. 54#1 (2003) 座談会生命のナノテクノロジー	¥1,728
	Vol. 54#2 (2003) 樹状突起	¥1,728
	Vol. 54#3 (2003) クロマチン	¥1,728
	Vol. 54#4 (2003) ラフトと細胞機能	¥1,728
	Vol. 54#5 (2003) 増大号 創薬ゲノミクス・創薬プロテオミクス・創薬インフ	¥4,860
	Vol. 54#6 (2003) オートファジー	¥1,728
	Vol. 55#1 (2004) ニューロンと脳	¥1,728
	Vol. 55#2 (2004) アダプタータンパク	¥1,728
	Vol. 55#3 (2004) 分子進化学の現在	¥1,728
	Vol. 55#4 (2004) 心筋研究の最前線	¥1,728
	Vol. 55#5 (2004) 増大号 生命科学のNew Key Word	¥4,860
	Vol. 55#6 (2004) 脳の深部を探る	¥1,728
	Vol. 56#1 (2005) 情動-喜びと恐れの脳の仕組み	¥1,728
	Vol. 56#2 (2005) 味覚のメカニズムに迫る	¥1,728
	Vol. 56#3 (2005) Naチャネル	¥1,728
	Vol. 56#4 (2005) 脳の遺伝子－どこでどのように働いているのか	¥1,728
	Vol. 56#5 (2005) 増大号 タンパク・遺伝子からみた分子病―新しく解明さ	¥4,860
	Vol. 56#6 (2005) 構造生物学の現在と今後の展開	¥1,728
	Vol. 57#1 (2006) こころと脳：とらえがたいものを科学する	¥1,728
	Vol. 57#2 (2006) 膜リサイクリング	¥1,728
	Vol. 57#3 (2006) ミエリン化の機構とその異常	¥1,728
	Vol. 57#4 (2006) 脳科学が求める先端技術	¥1,728
	Vol. 57#5 (2006) 増大特集　生物進化の分子マップ	¥4,860
	Vol. 57#6 (2006) 血管壁	¥1,728
	Vol. 58#1 (2007) 意識－脳科学からのアプローチ	¥1,728
	Vol. 58#2 (2007) シナプス後部構造の形成・機構と制御	¥1,728
	Vol. 58#3 (2007) 骨の形成と破壊	¥1,728
	Vol. 58#4 (2007) 嗅覚受容の分子メカニズム	¥1,728
	Vol. 58#5 (2007) 増大号 タンパク質間相互作用	¥4,860
品切	Vol. 58#6 (2007) グリケーション(糖化)	¥1,728
	Vol. 59#1 (2008) コンピュータと脳	¥1,728
	Vol. 59#2 (2008) 細胞外基質－研究の新たな展開	¥1,728
	Vol. 59#3 (2008) アディポゲネシス	¥1,728
	Vol. 59#4 (2008) 免疫学の最近の動向	¥1,728
	Vol. 59#5 (2008) 増大特集 現代医学・生物学の仮説・学説2008	¥4,860
	Vol. 59#6 (2008) mTORをめぐるシグナルタンパク	¥1,728
	Vol. 60#1 (2009) 遺伝子-脳回路-行動	¥1,728
	Vol. 60#2 (2009) 感染症の現代的課題	¥1,728
	Vol. 60#3 (2009) 脳と糖脂質	¥1,728
	Vol. 60#4 (2009) 睡眠と脳回路の可塑性	¥1,728
	Vol. 60#5 (2009) 伝達物質と受容体	¥4,860
	Vol. 60#6 (2009) ユビキチン化による生体機能の調節	¥1,728
	Vol. 61#1 (2010) 脳科学のモデル実験動物	¥1,728
	Vol. 61#2 (2010) 糖鎖のかかわる病気：発症機構，診断，治療に向けて	¥1,728
	Vol. 61#3 (2010) SNARE複合体-膜融合の機構	¥1,728
	Vol. 61#4 (2010) miRNA研究の最近の進歩	¥1,728
	Vol. 61#5 (2010) シナプスをめぐるシグナリング	¥4,860
	Vol. 61#6 (2010) 細胞死か腫瘍化かの選択	¥1,728
	Vol. 62#1 (2011) 摂食制御の分枝過程	¥1,728
	Vol. 62#2 (2011) 筋ジストロフィーの分子病態から治療へ	¥1,728
	Vol. 62#3 (2011) インフラマソーム	¥1,728
	Vol. 62#4 (2011) 小脳研究の課題	¥1,728
	Vol. 62#5 (2011) 細胞核-構造と機能	¥4,860

	Vol. 62#6 (2011) コピー数変異		¥1,728
	Vol. 63#1 (2012) 小脳研究の課題(2)		¥1,728
	Vol. 63#2 (2012) RNA干渉の実現化に向けて		¥1,728
	Vol. 63#3 (2012) 細胞極性の制御		¥1,728
	Vol. 63#4 (2012) 質感脳情報学への展望		¥1,728
	Vol. 63#5 (2012) 細胞の分子構造と機能―核以外の細胞小器官		¥4,860
	Vol. 63#6 (2012) リンパ管		¥1,728
	Vol. 64#1 (2013) 神経回路の計測と操作		¥1,728
	Vol. 64#2 (2013) 特殊な幹細胞としての骨格筋サテライト細胞		¥1,728
	Vol. 64#3 (2013) 細胞接着の制御		¥1,728
	Vol. 64#4 (2013) 予測と意思決定の神経科学		¥1,728
	Vol. 64#5 (2013) 増大特集 細胞表面受容体		¥4,860
	Vol. 64#6 (2013) 顕微鏡で物を見ることの新しい動き		¥1,728
	Vol. 65#1 (2014) 精神疾患の病理機構		¥1,728
	Vol. 65#2 (2014) 細胞の小数性と多様性に挑む-シングルセルアナリシス		¥1,728
	Vol. 65#3 (2014) 器官の発生と再生の基礎		¥1,728
	Vol. 65#4 (2014) 古典的代謝経路の新しい側面		¥1,728
	Vol. 65#5 (2014) 増大特集 生命動態システム科学		¥4,860
	Vol. 65#6 (2014) エピジェネティクスの今		¥1,728
品切	Vol. 66#1 (2015) 脳と心の謎はどこまで解けたか		¥1,728
	Vol. 66#2 (2015) 使える最新ケミカルバイオロジー		¥1,728
	Vol. 66#3 (2015) 進化と発生からみた生命科学		¥1,728
	Vol. 66#4 (2015) 新興・再興感染症と感染症対策		¥1,728
	Vol. 66#5 (2015) 増大 細胞シグナル操作法		¥4,860
	Vol. 66#6 (2015) グリア研究の最先端		¥1,728
	Vol. 67#1 (2016) 記憶ふたたび		¥1,728
	Vol. 67#2 (2016) 細胞の社会学―細胞間で繰り広げられる協調と競争		¥1,728
	※上記以外は医学書院 販売部		
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
1084	**脊椎外科（日本脊椎外科学会）**		
	Vol. 11#1-2 (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 12-17 (1998-2003) 各1-3号	各号	¥2,700
1085	**脊椎・脊髄ジャーナル（三輪書店）**		
	Vol. 1#1-9 (1988)	各号	¥2,376
	Vol. 2-8 (1989-1995) 各1-12号	各号	¥2,376
	Vol. 5#11; 6#11; 7#11 (1992-1994)	各号	¥4,320
	Vol. 11-17,19-20 (1998-2007) 各1-12号	各号	¥2,376
	Vol. 11#3 (1998)		¥4,320
	Vol. 12#6 (1999)		¥5,400
	Vol. 23#3,7-9 (2010)	各号	¥2,484
1086	**脊椎・脊髄神経手術手技（日本脊椎・脊髄神経手術手技学会）**		
	Vol. 4#1; 5#1 (2002-2003)	各号	¥3,240
1087	**石油技術協会誌（石油技術協会）**		
	Vol. 55-71 (1990-2006) 各1-6号	各号	¥1,620
1088	**繊維製品消費科学（日本繊維製品消費科学会）**		
	Vol. 51#1,3-12 (2010)	各号	¥1,620
	Vol. 52#1,3-12 (2011)	各号	¥1,620
	Vol. 53#1-12 (2012)	各号	¥1,620
	Vol. 54#1-12 (2013)	各号	¥1,620
	Vol. 54#1-8,10-12 (2014)	各号	¥1,620
	Vol. 56#1-4 (2015)	各号	¥1,620
1089	**染色体（染色体学会）**		
	No. 1-4,68-100 (1946-1975)	各号	¥1,080

1090	**染色体Ⅱ（染色体学会）**		
	No. 1-68 (1976-1992)	各号	¥1,620
	No. 69-80 (1993-1995)	各号	¥1,890
	No. 81-84 (1996)	各号	¥2,160
1091	**雪氷（日本雪氷学会）**		
	Vol. 1-6 (1939-1944) 各1-12号	各号	¥2,160
	Vol. 7-32 (1945-1970) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 33-55 (1971-1993) 各1-4号	各号	¥2,160
1092	**説文新義　白川静著（白鶴美術館）**		
	Vol. 1-15 (1969-1973)	各巻	¥2,160
	Vol. 16 別巻 (1974)		¥2,160
1093	**社会福祉研究（鉄道弘済会）**		
	No. 80 (2001)		¥2,880
	No. 83-85,87,89,96,98,99 (2002-2007)	各号	¥2,160
	No. 100 (2007)		¥3,086
	No. 101-103,105-109 (2008-2010)	各号	¥2,160
	No. 110 (2011)		¥3,086
	No. 111,113,114,116,117 (2011-2013)	各号	¥2,160
1094	**社会学評論（日本社会学会）**		
	Vol. 1-61#244 (1950/51-2010/11) 各1-4号	各号	¥1,620
1095	**社会保険旬報（社会保険研究所）**		
	No.2410-2445 (2010)	各号	¥756
1096	**社会保障研究（社会保障研究所）**		
	Vol. 17,18,20-26,28,29,30,33-37 (1981/82-2001/02) 各1-4号	各号	¥2,700
1097	**社会科教育研究**		
	No. 106-108 (2009)	各号	¥2,160
	No. 109-111 (2010)	各号	¥2,160
	No. 112-114 (2011)	各号	¥2,160
	No. 115-117 (2012)	各号	¥2,160
1098	**社会経済史学（社会経済史学会）**		
	Vol. 41-66 (1975/76-2000/2001) 各1-6号	各号	¥1,879
1099	**社会精神医学（星和書店）**		
	Vol. 1#1-2 (1978)	各号	¥2,160
	Vol. 2-15 (1979-1992) 各1-4号	各号	¥2,160
1100	**社会心理学研究（日本社会心理学会）**		
	Vol. 1-5 (1985/1986-1990) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 6-30 (1990/1991-2014/2015) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 31#1 (2015)		¥2,160
1101	**Shakespeare Studies（日本シェイクスピア協会）**		
	Vol. 7-35,37-43 (1968/1969-2005)	各巻	¥2,160
1102	**写真工業（写真工業出版社）**		
	Vol. 1-60 (1952-2002)	各巻	¥12,960
1103	**写真測量とリモートセンシング（日本写真測量学会）**		
	Vol. 29#2-6 (1990)	各号	¥2,160
	Vol. 30#1-6 (1991)	各号	¥2,160
	Vol. 31#1-6,30周年記念号 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 32-41 (1993-2004) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 45-49 (2006-2010) 各1-6号	各号	¥2,160
1104	**芝草研究（日本芝草研究会）**		
	Vol. 18-25,31-37 (1989/90-2008/09) 各1-2号	各号	¥3,240

1105	**資源地質（資源地質学会）**		
	Vol. 42-46 (1992-1996) 各1-6号	各号	¥3,240
	Vol. 48-54 (1998-2005) 各1-2号	各号	¥3,240
1106	**資源環境対策（公害対策技術同友会）**		
	Vol. 40-44 (2004-2008) 各1月-12月号	各号	¥1,521
1107	**歯科放射線（日本歯科放射線学会）**		
	Vol. 27#4 (1987)		¥2,160
	Vol. 28#2,3,4,増刊号 (1988)	各号	¥2,160
	Vol. 29-38 (1989-1998) 各1-4号,増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 39#1,2,4,増刊号 (1999)	各号	¥2,160
	Vol. 40-43 (2000-2003) 各1-4号,増刊号	各号	¥2,160
	Vol. 44-46 (2004-2006) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 47-55 (2007-2015) 各1/2/3/4号の合本	各巻	¥5,400
	Vol. 56-57 (2016-2017) 各1-2号	各号	¥2,160
1108	**歯科基礎医学会雑誌 Japanese Journal of Oral Biology（歯科基礎医学会）**		
	Vol. 1#1 (1959)		¥2,700
	Vol. 2-3 (1960-1961) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 4#1/2 (1962)		¥5,400
	Vol. 4#3 (1962)		¥2,700
	Vol. 5#1/2 (1963)		¥5,400
	Vol. 5#3 (1963)		¥2,700
	Vol. 6-9 (1964-1967) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 10-13 (1968-1971) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 14#1-4,supplement (1972)	各号	¥2,700
	Vol. 15-20 (1973-1978) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 21-27 (1979-1985) 各1-4号,supplement	各号	¥2,700
	Vol. 28-33 (1986-1991) 各1-6号,supplement	各号	¥2,700
	Vol. 34-35 (1992-1993) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 36-37 (1994-1995) 各1-6号,supplement	各号	¥2,700
	Vol. 38#1-3,6,supplement (1996)	各号	¥2,700
	Vol. 39#1-6,supplement (1997)	各号	¥2,700
	Vol. 40#3 (1998)		¥2,700
	Vol. 41-45 (1999-2003) 各1-6号	各号	¥2,700
	以降は、Journal of Oral Biosciences		
1109	**歯科麻酔研究会誌（歯科麻酔研究会）**		
	Vol. 1-4 (1968-1971) 各1号	各号	¥3,240
	Vol. 5#1-2 (1972)	各号	¥3,240
1110	**歯科理工学雑誌（歯科理工学会）**		
	Vol. 1#1-Vol. 23#61 (1960-1982)	各号	¥2,160
1111	**歯科審美（日本歯科審美学会）**		
	Vol. 1-5 (1989-1993) 各1号	各号	¥5,400
	Vol. 6-28 (1993/1994-2015/2016) 各1-2号	各号	¥5,400
	Vol. 29 no.1 (2016)		¥5,400
	Global Esthetic Forum 2004 @ Nagoya Program and Abstracts (2004)		¥5,400

1112	**歯科薬物療法（日本歯科薬物療法学会）**		
	Vol. 2-4 (1983-1985) 各1-2号	各号	¥3,780
	Vol. 5#3 (1986)		¥3,780
	Vol. 6#1,2 (1987)	各号	¥3,780
	Vol. 7#1,2 (1988)	各号	¥3,780
	Vol. 8#3 (1989)		¥3,780
	Vol. 9-10 (1990-1991) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 11#1 (1992)		¥3,780
	Vol. 12#2,3 (1993)	各号	¥3,780
	Vol. 13-14 (1994-1995) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 15#1,2 (1996)	各号	¥3,780
	Vol. 16#1 (1997)		¥3,780
	Vol. 18#2,3 (1999)	各号	¥3,780
	Vol. 19-28 (2000-2009) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 29#1,3 (2010)	各号	¥3,780
	Vol. 30-35 (2011-2016) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 36#1,2 (2017)	各号	¥3,780
1113	**歯科材料・器械（日本歯科理工学会）**		
	Vol. 1#1-4 (1982)	各号	¥3,240
	Vol. 2-28 (1983-2009)　各1-6号	各号	¥3,240
	Vo. 3#特別号A,B (1984)	各号	¥3,240
	Vol. 20#特別号 21世紀記念大会および創立20周年記念特集 (2001)		¥3,240
	特別号 No. 5-40 (1985-2002)	各号	¥3,240
1114	**色材協会誌**		
	Vol. 49#1,2,4-6,11,12 (1976)	各号	¥1,080
	Vol. 50#1,3,4,5,8,11 (1977)	各号	¥1,080
	Vol. 51#1,4,5,7-12 (1978)	各号	¥1,080
	Vol. 52#1-3,6-8,10-12 (1979)	各号	¥1,080
	Vol. 53#1-3,5-10,12 (1980)	各号	¥1,080
	Vol. 54#1-12 (1981)	各号	¥1,080
	Vol. 55#1-6,8-12 (1982)	各号	¥1,080
	Vol. 56#1-8,11,12 (1983)	各号	¥1,080
	Vol. 57#1-12 (1984)	各号	¥1,080
	Vol. 58#1-3,5-12 (1985)	各号	¥1,080
	Vol. 59#1-12 (1986)	各号	¥1,080
	Vol. 60#1-8,10,11 (1987)	各号	¥1,080
	Vol. 61#1-4,6-12 (1988)	各号	¥1,080
	Vol. 62#1-12 (1989)	各号	¥1,080
	Vol. 63#1,3-12 (1990)	各号	¥1,080
	Vol. 64#1-11 (1991)	各号	¥1,080
	Vol. 65#1-9,11,12 (1992)	各号	¥1,080
	Vol. 66#1-10,12 (1993)	各号	¥1,080
	Vol. 67#1-10,12 (1994)	各号	¥1,080
	Vol. 68-69 (1995-1996) 各1-12号	各号	¥1,080
	Vol. 70#1-3,5-12 (1997)	各号	¥1,080
1115	**四国公衆衛生学会雑誌（四国公衆衛生学会）**		
	Vol. 44,46,48,50-52 (1999-2007) 各1号	各号	¥3,240
1116	**詩経研究（日本詩経学会）**		
	No. 1-35 (1974-2013)	各号	¥1,080

1117	**新防衛論集（防衛学会）**		
	Vol. 8#4 (1981); 9#1,2 (1981); 10#1-4(1982/83); 11#1-4 (1983/84)	各号	¥1,080
	Vol. 12#2-4 (1984/85); 13#1-4 (1985/86); 14#1-4 (1986/87)	各号	¥1,080
	Vol. 15#2-4 (1987/88); 16#1,3,4 (1988/89); 17#1,4 (1989/90)	各号	¥1,080
	Vol. 18#1-4 (1990/91); 19#1-3 (1991); 20#2-4 (1992/94)	各号	¥1,080
	Vol. 21#1-4 (1993/94); 22#1-3 (1994/95); 23#1-4 (1995/96)	各号	¥1,080
	Vol. 24#1-4 (1996/97); 25#1,2,4 (1997/98); 26#1-4 (1998/99)	各号	¥1,080
	Vol. 27#1-4 (1999/2000); 28#1-4 (2000/2001)	各号	¥1,080
1118	**新地理（日本地理教育学会）**		
	Vol. 42-54 (1994/95-2006/07) 各1-4号	各号	¥1,620
1119	**診断と治療（診断と治療社）**		
	Vol. 88-98 (2000-2010) 各1-8,10-12号	各号	¥2,592
	Vol. 88-98 (2000-2010) 各No.9増刊号	各号	¥6,480
1120	**神経治療学（日本神経治療学会）**		
	Vol. 9-29 (1992-2012) 各1-6号	各号	¥2,376
1121	**神経超音波医学（日本脳神経超音波学会）**		
	Vol. 6,7,13-21 (1993-2008) 各1-3号	各号	¥3,240
1122	**神経化学（日本神経化学会）**		
	Vol. 1-9 (1961/62-1970) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 11-23 (1972-1984) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 24-33 (1985-1994) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 34#1-3 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 35-42 (1996-2003) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 43-49 (2004-2010) 各1,2/3,4号	各号	¥2,160
	Vol. 52-53 (2013-2014) 各1-3号	各号	¥2,700

1123 神経研究の進歩（医学書院）

Vol. 1-15 (1956/57-1971) 各1-4号	各号	¥6,048
Vol. 16-21 (1972-1977) 各1-6号	各号	¥6,048
Vol. 22#1-7 (1978)	各号	¥6,048
Vol. 23-38 (1979-1994) 各1-6号	各号	¥6,048
Vol. 39#1 (1995) 睡眠と睡眠障害		¥6,048
Vol. 39#2 (1995) 大脳基底核		¥6,048
Vol. 39#3 (1995) アテトーゼトジストニー(異常運動と異常姿勢)		¥6,048
Vol. 39#4 (1995) 視覚認知のメカニズムとその障害		¥6,048
Vol. 39#5 (1995) 脳の発生と分化		¥6,048
Vol. 39#6 (1995) 第30回脳のシンポジウム		¥6,048
Vol. 40#1 (1996) Motor Neuron Disease		¥6,048
Vol. 40#2 (1996) 神経系細胞のアトポーシス		¥6,048
Vol. 40#3 (1996) 眼球運動と注意		¥6,048
Vol. 40#4 (1996) 脳循環と脳虚血		¥6,048
Vol. 40#5 (1996) 神経機能の再建		¥6,048
Vol. 40#6 (1996) 第31回脳のシンポジウム		¥6,048
Vol. 41#1 (1997) アルツハイマー病研究最近の進歩		¥5,832
Vol. 41#2 (1997) 神経免疫学の進歩		¥5,832
Vol. 41#3 (1997) Triplet repeat diseases		¥5,832
Vol. 41#4 (1997) 感情のメカニズムとその障害		¥5,832
Vol. 41#5 (1997) 機能遺伝子のノックアウト		¥5,832
Vol. 41#6 (1997) 第32回脳のシンポジウム		¥5,832
Vol. 42#1 (1998) 手の運動の制御と学習		¥5,832
Vol. 42#2 (1998) イオンチャンネルとレセプター--生理と病態-		¥5,832
Vol. 42#3 (1998) 痛みのメカニズム		¥5,832
Vol. 42#4 (1998) 脳とステロイドホルモン		¥5,832
Vol. 42#5 (1998) 神経系と老化		¥5,832
Vol. 42#6 (1998) 第33回脳のシンポジウム		¥5,832
Vol. 43#1 (1999) 神経系感染症の進歩とその周辺		¥5,940
Vol. 43#2 (1999) 活性酸素・窒素種と神経系		¥5,940
Vol. 43#3 (1999) グリオーマ-最近の研究と治療		¥5,940
Vol. 43#4 (1999) 高次脳機能マッピング		¥5,940
Vol. 43#5 (1999) 味と匂いの神経機構		¥5,940
Vol. 43#6 (1999) 第34回脳のシンポジウム		¥5,940
Vol. 44#1 (2000) てんかん研究トピックス		¥5,940
Vol. 44#2 (2000) ミオパチー研究最前線		¥5,940
Vol. 44#3 (2000) 神経栄養因子研究の新しい展開		¥5,940
Vol. 44#4 (2000) パーキンソン病最前線		¥5,940
Vol. 44#5 (2000) 小脳		¥5,940
Vol. 44#6 (2000) 第35回脳のシンポジウム		¥5,940
Vol. 45#1 (2001) 神経系の遺伝子治療－その現状と展望		¥5,940
Vol. 45#2 (2001) 記憶研究最近の進歩		¥5,940
Vol. 45#3 (2001) 脳血管障害の臨床－最近のトピックス		¥5,940
Vol. 45#4 (2001) 神経疾患の新しい治療		¥5,940
Vol. 45#5 (2001) 生体時計と概日リズム		¥5,940
Vol. 45#6 (2001) 第36回脳のシンポジウム		¥5,940
Vol. 46#1 (2002) 聴覚神経科学の新しい展開		¥5,940
Vol. 46#2 (2002) 神経幹細胞と再生移植治療		¥5,940
Vol. 46#3 (2002) 頭痛・疼痛		¥5,940
Vol. 46#4 (2002) グリアの生物科学		¥5,940
Vol. 46#5 (2002) ポリグルタミン病の病態機序		¥5,940
Vol. 47#1 (2003) プリオン病研究における最近の進歩		¥5,940
Vol. 47#2 (2003) チャネロパチー		¥5,940
Vol. 47#3 (2003) 神経内分泌学の最近の展開		¥5,940
Vol. 47#4 (2003) Peripheral neuropathy：診療と研究の最近の進歩		¥5,940

	Vol. 47#5 (2003) 言語機能の脳内メカニズム		¥5,940
	Vol. 47#6 (2003) 第 38 回脳のシンポジウム		¥5,940
	Vol. 48#1 (2004) 蛋白質の品質管理と神経疾患		¥6,048
	Vol. 48#2 (2004) 知覚と認知の大脳メカニズム		¥6,048
	Vol. 48#3 (2004) 神経病理:最前線		¥6,048
	Vol. 48#4 (2004) 頭頂葉の新しい機能地図		¥6,048
	Vol. 48#5 (2004) ポストゲノム時代の神経疾患の分子遺伝学		¥6,048
	Vol. 48#6 (2004) 第39回脳のシンポジウム		¥6,048
	Vol. 49#1 (2005) 脳の発生分化と回路形成		¥6,048
	Vol. 49#2 (2005) 前庭機能とめまい		¥6,048
	Vol. 49#3 (2005) アルツハイマー病研究の最前線-基礎と臨床		¥6,048
	Vol. 49#4 (2005) 前頭前野機能の最前線-基礎から臨床まで		¥6,048
	Vol. 49#5 (2005) てんかん研究の新しい展開		¥6,048
	Vol. 49#6 (2005) 第40回脳のシンポジウム		¥6,048
	Vol. 50#1 (2006) 情動の脳科学		¥6,048
	Vol. 50#2 (2006) 脳浮腫研究の進歩-基礎と臨床		¥6,048
	Vol. 50#3 (2006) 脊髄小脳変性症研究の最近の進歩		¥6,048
	Vol. 50#4 (2006) 多発性硬化症研究・治療の現状2006		¥6,048
	Vol. 50#5 (2006) 精神疾患と知的発達障害の分子遺伝学		¥6,048
	Vol. 50#6 (2006) 第41回 脳のシンポジウム		¥6,048
1124	**神経免疫学 Neuroimmunology（日本神経免疫学会）**		
	Vol. 7#1 (1999)		¥2,160
	Vol. 9#1 (2001)		¥2,160
	Vol. 11#2; 12#2; 13#1; 14#1 (2003-2006)	各号	¥2,160
	Vol. 15#1,2; 16#1 (2007-2008)	各号	¥2,160
	第22回日本神経免疫学会学術集会抄録集 (2010)		¥2,160
1125	**神経内科（科学評論社）**		
	Vol. 1-79 (1974-2013) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 49#Suppl.1 (1998) 特別増刊号 眼で見る神経内科-とっておきの写		¥10,800
	Vol. 53#Suppl.2 (2000) 特別増刊号 眼で見る神経内科-とっておきの画		¥19,440
	Vol. 58#Suppl.3 (2003) 特別増刊号 脳血管障害のすべて		¥19,440
	Vol. 65#Suppl.4 (2006) 特別増刊号 臨床神経生理学的検査マニュアル		¥19,440
1126	**神経内科治療（神経内科治療研究会）**		
	Vol. 1#1,2 (1984)	各号	¥2,376
	Vol. 2-5 (1985-1988) 各1-4号	各号	¥2,376
	Vol. 6-8 (1989-1992) 各1-6号	各号	¥2,376
1127	**神経精神薬理（星和書店）**		
	Vol. 1-19 (1979-1997) 各1-12号	各号	¥3,289
	Vol. 19#増刊号 (1997) ニューロトランスミッター・トゥディ		¥4,629
1128	**神経心理学（日本神経心理学会）**		
	Vol. 1-2 (1985-1986) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 3-5 (1987-1989) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 6-24 (1990-2008) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 25#1,2 (2009)	各号	¥2,160
1129	**新建築（新建築社）**		
	Vol. 55-69,79-80 (1980-2005) 各1-12号	各号	¥2,057
1130	**新建築. 住宅特集（新建築社）**		
	No. 45,47,50,51,55,61,62,64-156 (1990-1999)	各号	¥2,160
1131	**鍼灸手技療法教育（あはき教育研究懇話会）**		
	Vol. 1-3 (2005-2007)	各号	¥2,160

1132	**死の臨床（日本死の臨床研究会）**		
	Vol. 1,4-8 (1978-1985) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 11-28 (1988-2005) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 31-33 (2008-2010) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 34#1 (2011)		¥2,160
1133	**進歩する心臓研究**		
	Vol. 15-20 (1995-2000) 各1-2号	各号	¥1,620
1134	**心理学評論（心理学評論刊行会）**		
	Vol. 1-14 (1957-1971) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 15-55 (1972-2012) 各1-2号	各号	¥2,700
1135	**心理学研究（日本心理学会）**		
	Vol. 19,20,24,25 (1944/49-1954/55) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 27-85 (1956/57-2014/15) 各1-6号	各号	¥2,700
	Vol. 86#1-4 (2015)	各号	¥2,700
1136	**心理学ワールド Psychology world（日本心理学会）**		
	創刊準備号 (1998)		¥1,080
	No. 1-71 (1998-2015)	各号	¥1,080
1137	**心理科学（心理科学研究会）**		
	Vol. 1,9,12-17 (1977-1995) 各1-2号	各号	¥2,160
1138	**心理臨床学研究（日本心理臨床学会）**		
	Vol. 1-6 (1983/84-1988/89) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 7-11 (1989/90-1993/94) 各1-3号	各号	¥2,700
	Vol. 12-14 (1994/95-1996/97) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 15-34 (1997/98-2016/17) 各1-6号	各号	¥2,700
1139	**心理臨床の広場（日本心理臨床学会）**		
	Vol. 1-9 (2008/09-2016/17) 各1-2号	各号	¥1,080
1140	**診療情報管理（日本診療情報管理学会）**		
	Vol. 21#1,3 (2009/2010)	各号	¥3,240
1141	**心療内科（科学評論社）**		
	Vol. 5-13 (2001-2009) 各1-6号	各号	¥2,916
1142	**診療録管理（日本診療録管理学会）**		
	Vol. 13#2; 14#2,3; 15#1 (2001-2003)	各号	¥1,620
	Vol. 19#3; 20#1 (2008)	各号	¥3,240
1143	**診療と新薬（医事出版社）**		
	Vol. 37-47 (2000-2010) 各1-12号	各号	¥2,006
1144	**震災予防（震災予防協会）**		
	No. 184-187 (2002)	各号	¥2,160
	No. 188-193 (2003)	各号	¥2,160
	No. 194-196,198-199 (2004)	各号	¥2,160
	No. 200-205 (2005)	各号	¥2,160
	No. 206-210 (2006)	各号	¥2,160
	No. 213-215,217 (2007)	各号	¥2,160
	No. 218-223 (2008)	各号	¥2,160
	No. 224-229 (2009)	各号	¥2,160
	No. 230-231 (2010)	各号	¥2,160
1145	**新生代の研究（民主主義科学者協会地学団体研究部会札幌新生代研究会）**		
	No. 6,10-12,17-23,26-33 (1950-1961)	各号	¥2,160

1146	**心身医学（日本心身医学会）**		
	Vol. 16-25 (1976-1985) 各1-6号	各号	¥1,728
	Vol. 26-30 (1986-1990) 各1-7号	各号	¥1,728
	Vol. 31-41 (1991-2001) 各1-8号	各号	¥1,728
	Vol. 42-45 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥1,728
	Vol. 46-56 (2006-2016) 各1-5,7-12号	各号	¥1,728
	Vol. 46-56 (2006-2016) 各6号	各号	¥2,057
1147	**心身医療 Psychosomatic therapy（心身医療研究会）**		
	Vol. 1-10 (1989-1998) 各1-12号	各号	¥2,052
1148	**身体教育医学研究**		
	Vol. 1#1 (2000) - 9#1 (2008)	各号	¥1,620
1149	**心的トラウマ研究：兵庫県こころのケアセンター研究年報**		
	No. 1,2,4,5,6,7 (2005-2011)	各号	¥3,240
1150	**新薬と臨床（新薬と臨床社）**		
	Vol. 59-62 (2010-2013) 各1-12号	各号	¥1,728
1151	**心臓（医事通信社）**		
	Vol. 32-42 (2000-2011) 各1-12号	各号	¥1,944
1152	**心臓リハビリテーション（日本心臓リハビリテーション学会）**		
	Vol. 5-8,12,13 (2000-2008) 各1号	各号	¥2,376
	Vol. 15#2; 16#2; 17#1 (2010-2012)	各号	¥2,376
1153	**思春期学（日本思春期学会）**		
	Vol. 1,3-12,14-29 (1983-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 31#4 (2013)		¥2,160
	Vol. 32#4 (2014)		¥2,160
	Vol. 33#3,4 (2015)	各号	¥2,160
	Vol. 34#2 (2016)		¥2,160
1154	**思春期青年期精神医学（日本思春期青年期精神医学会）**		
	Vol. 1-3,7-14,16,17,21-26 (1997-2017) 各1-2号	各号	¥2,700
1155	**失語症研究：日本失語症研究会誌（日本失語症研究会）**		
	Vol. 1-22 (1981-2002) 各1-4号	各号	¥2,160
	※Vol. 23 (2003)～ →高次脳機能研究		
1156	**質量分析総合討論会講演要旨集（日本質量分析学会）**		
	47回, 53回, 55回, 56回, 57回 (1999-2009)	各回	¥6,480
1157	**自然災害科学（自然災害科学会）**		
	Vol. 2-5 (1983-1986) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 6-14 (1987-1995) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 15-30 (1996-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
1158	**静岡地学（静岡県地学会）**		
	No. 8-10,13-15,17-22,24,26-28,30-39,41,43-72,74-95,97-104 (1967-	各号	¥2,160
1159	**静岡大学地学研究報告（静岡大学地学教室）**		
	Vol. 1#1; 2#1,2; 3#1 (1967-1972)	各号	¥2,160
1160	**静岡大学地球科学研究報告 Geoscience Reports of Shizuoka University（静岡大学理学部地球科学教室）**		
	No. 1-20,22,24,25,36,37 (1975-2010)	各号	¥3,240
1161	**小動物臨床（山水書房）**		
	Vol. 6#4-6 (1987)	各号	¥3,110
	Vol. 7-18 (1988-1999) 各1-6号	各号	¥3,110
	Vol. 19#1-3 (2000)	各号	¥3,110

1162	**障害者問題研究（全国障害者問題研究会）**		
	Vol. 22#2 (1994)		¥2,700
	Vol. 24#4 (1997)		¥2,700
	Vol. 25#2,3,4 (1997/1998)	各号	¥2,700
	Vol. 27#3 (1999)		¥2,700
	Vol. 28#3 (2000)		¥2,700
	Vol. 29#3 (2001)		¥2,700
	Vol. 30#2 (2002)		¥2,700
	Vol. 31#2,3 (2003)	各号	¥2,700
	Vol. 32#3 (2004)		¥2,700
	Vol. 33#1-4 (2005/2006)	各号	¥2,700
	Vol. 36#1,3 (2008)	各号	¥2,700
	Vol. 37#1,2,4 (2009/2010)	各号	¥2,700
	Vol. 38#2 (2010)		¥2,700
	Vol. 39#1 (2011)		¥2,700
1163	**障害者歯科（日本障害者歯科学会）**		
	Vol. 1-7 (1980-1986)　各1号	各号	¥3,240
	Vol. 8-14 (1987-1993)　各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 15-21 (1994-2000)　各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 19#Supplement (1998)		¥3,240
	Vol. 22-38 (2001-2017)　各1-4号	各号	¥3,240
1164	**消費者教育（日本消費者教育学会）**		
	Vol. 25 (2005); 26 (2006); 30 (2010)	各号	¥3,240

1165　消化器画像（医学書院）

	Vol. 1#1 (1999) 肝画像の最先端	¥2,808
品切	Vol. 1#2 (1999) 胆管癌の進展度診断	¥2,808
品切	Vol. 1#3 (1999) 膵癌の進展度診断	¥2,808
品切	Vol. 1#4 (1999) 肝転移-治療戦略と画像診断	¥2,808
品切	Vol. 1#5 (1999) 進行膵癌の手術適応-画像と治療	¥2,808
品切	Vol. 1#6 (1999) ts1浸潤性膵管癌の診断と治療成績	¥2,808
品切	Vol. 2#1 (2000) 早期胆膵癌-最新の画像診断と治療	¥2,808
品切	Vol. 2#2 (2000) 血流と肝画像	¥2,808
品切	Vol. 2#3 (2000) まれな膵腫瘍をめぐって	¥2,808
	Vol. 2#4 (2000) 胆石症NOW-画像診断と治療をめぐって	¥2,808
	Vol. 2#5 (2000) MRCPの有用性と限界	¥2,808
	Vol. 2#6 (2000) 超音波革命-ハーモニックイメージング	¥2,808
品切	Vol. 3#1 (2001) 肝細胞癌との鑑別を要する良性腫瘤-画像と病理	¥2,808
	Vol. 3#2 (2001) 十二指腸乳頭部腫瘍-診断と治療をめぐる最近の話題	¥2,808
	Vol. 3#3 (2001) 膵管内乳頭腫瘍と粘液性嚢胞腫瘍の鑑別	¥2,808
品切	Vol. 3#4 (2001) 画像で知る肝区域	¥2,808
	Vol. 3#5 (2001) 肝内胆管癌の肉眼分類と画像	¥2,808
	Vol. 3#6 (2001) 門脈圧亢進症の病態と治療－最近のトピックス	¥2,808
	Vol. 4#1 (2002) 自己免疫性膵炎とその周辺	¥2,808
	Vol. 4#2 (2002) 肝移植と画像－12年の成果と21世紀の展望	¥2,808
	Vol. 4#3 (2002) EUS・IDUSの最近の進歩	¥2,808
	Vol. 4#4 (2002) 肝細胞癌の病態と新しい治療戦略	¥2,808
	Vol. 4#5 (2002) 画像で迫る膵・胆道疾患の内視鏡治療―安全・適切な	¥2,808
	Vol. 4#6 (2002) 上腹部血管性病変―画像診断と治療選択	¥2,808
	Vol. 5#1 (2003) 肝嚢胞性病変－画像と病理	¥2,808
	Vol. 5#2 (2003) 膵・胆管合流異常の新たな展開―画像と病態	¥2,808
品切	Vol. 5#3 (2003) 外科が求める肝・胆道癌の術前画像	¥2,808
	Vol. 5#4 (2003) 稀な肝悪性腫瘍―画像と病理	¥2,808
	Vol. 5#5 (2003) 外科が求める膵腫瘍の術前画像	¥2,808
	Vol. 5#6 (2003) 肝胆膵の最新三次元画像	¥2,808
品切	Vol. 6#1 (2004) IPMT由来浸潤癌と通常型膵管癌の違い	¥2,916
	Vol. 6#2 (2004) 肝胆膵の救急画像	¥2,916
	Vol. 6#3 (2004) 肝門部胆管癌の進展度診断 画像でどこまでわかるか	¥2,916
	Vol. 6#4 (2004) 肝癌治療前後の画像	¥2,916
	Vol. 6#5 (2004) 急性膵炎―画像診断と治療選択	¥2,916
	Vol. 6#6 (2004) 包括医療と肝胆膵画像 検査の流れはどう変わる？	¥2,916
品切	Vol. 7#1 (2005) 膵・胆道系の神経内分泌腫瘍―画像診断と治療選択	¥2,916
	Vol. 7#2 (2005) 炎症性肝腫瘤―診断・病理と治療選択	¥2,916
	Vol. 7#3 (2005) 原発性硬化性胆管炎と自己免疫性膵炎の最前線	¥2,916
	Vol. 7#4 (2005) 肝転移―その特性からみた診断と治療	¥2,916
	Vol. 7#5 (2005) 進行膵癌への挑戦	¥2,916
	Vol. 7#6 (2005) 肝内胆管癌　up-to-date	¥2,916
	Vol. 8#1 (2006) 早期肝細胞癌の画像診断基準に迫る	¥3,024
	Vol. 8#2 (2006) いま胆嚢癌を見直す	¥3,024
	Vol. 8#3 (2006) 肝区域の新しい見方	¥3,024
	Vol. 8#4 (2006) 長期生存膵管癌の臨床と画像	¥3,024
	Vol. 8#5 (2006) アルコール性肝障害における結節性病変-画像と病理	¥3,024
	Vol. 8#6 (2006) 膵・胆道周囲の腫瘤性病変-後腹膜を中心に	¥3,024
	Vol. 9#1 (2007) 膵腺房細胞癌の診断と治療	¥3,024
	Vol. 9#2 (2007) 肝区域性・領域性異常の画像と病態	¥3,024
	Vol. 9#3 (2007) 粘液産生胆管腫瘍―その疾患概念は？	¥3,024
	Vol. 9#4 (2007) IPMNと通常型膵管癌の合併は稀か？	¥3,024
	Vol. 9#5 (2007) 新しい超音波造影剤が与えるインパクト	¥3,024
	Vol. 9#6 (2007) PETは肝胆膵領域の画像診断を変えたか？	¥3,024

※Vol. 10#1 (2008)→肝胆膵画像

1166	**消化器外科（へるす出版）**		
	Vol. 27#1-5,7-13 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 27#6 (2004) 増刊号		¥8,640
	Vol. 28-29 (2005-2006) 各1-4,6-13号	各号	¥2,376
	Vol. 28#5 (2005) 増刊号		¥9,288
	Vol. 29#5 (2006) 増刊号		¥9,288
	Vol. 30#1-5,7-13 (2007)	各号	¥2,376
	Vol. 30#6 (2007) 増刊号		¥9,288
	Vol. 31-32 (2008-2009) 各1-4,6-13号	各号	¥2,376
	Vol. 31#5 (2008) 増刊号		¥9,288
	Vol. 32#5 (2009) 増刊号		¥9,288
	Vol. 33#1-4,6-13 (2010)	各号	¥2,592
	Vol. 33#5 (2010) 増刊号		¥9,288
	Vol. 34#1-5,7-13 (2011)	各号	¥2,592
	Vol. 35-38 (2012-2015) 各1-4,6-13号	各号	¥2,592
1167	**消化器外科ナーシング（メディカ出版）**		
	Vol. 2#2-6 (1997)	各号	¥1,944
	Vol. 4#1-12 (1999)	各号	¥1,944
	Vol. 5#1-4,6-11,13 (2000)	各号	¥1,944
	Vol. 6#1-8,10-12 (2001)	各号	¥1,944
	Vol. 7#1-8 (2002)	各号	¥1,944
	Vol. 7#春季増刊号 (2002)		¥4,320
	Vol. 9#5 (2004)		¥1,944
	Vol. 10#2,3,7 (2005)		¥1,944
	Vol. 16#1,3 (2011)	各号	¥1,944

1168	**消化器内視鏡（東京医学社）**		
	Vol. 12#2,3 (2000)	各号	¥3,076
	Vol. 13#1,2,5,6,8,9,10 (2001)	各号	¥3,076
	Vol. 13#3,4,11 (2001) 増大号	各号	¥4,320
	Vol. 14#1-8,11,12 (2002)	各号	¥3,076
	Vol. 14#9 (2002) 増大号		¥6,480
	Vol. 14#10 (2002) 増大号		¥3,780
	Vol. 15#1,3,5-9,11,12 (2003)	各号	¥3,076
	Vol. 15#2 (2003) 増大号		¥6,480
	Vol. 15#4 (2003)		¥3,703
	Vol. 15#10 (2003) 増大号		¥6,048
	Vol. 16#1,2,4,5,7-12 (2004)	各号	¥3,076
	Vol. 16#3,6 (2004) 増大号	各号	¥5,832
	Vol. 17#1-5,7,9,11,12 (2005)	各号	¥3,076
	Vol. 17#6 (2005) 増大号		¥6,480
	Vol. 17#8 (2005) 増大号		¥4,731
	Vol. 17#10 (2005) 増大号		¥7,560
	Vol. 18#1-4,6-9,11,12 (2006)		¥3,127
	Vol. 18#5 (2006) 増大号		¥5,966
	Vol. 18#10 (2006) 増大号		¥4,731
	Vol. 19#1,2,4,5,6,7,8,10,1112 (2007)	各号	¥3,062
	Vol. 19#3,9 (2007) 増大号	各号	¥5,348
	Vol. 20#1-3,5,7,9-12 (2008)	各号	¥3,147
	Vol. 20#4 (2008) 増大号		¥4,731
	Vol. 20#6,8 (2008) 増大号	各号	¥5,348
	Vol. 21#1,5-8,10-12 (2009)	各号	¥3,147
	Vol. 21#2 (2009) 増大号		¥3,806
	Vol. 21#3,4 (2009) 増大号	各号	¥4,320
	Vol. 21#9 (2009) 増大号		¥5,348
	Vol. 22#1-3,5,6,10-12 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 22#4 (2010) 増大号		¥6,480
	Vol. 22#7 (2010) 増大号		¥4,320
	Vol. 22#8 (2010) 増大号		¥3,780
	Vol. 22#9 (2010) 増大号		¥5,400
	Vol. 23#1,3,5-8,10 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 23#2,4,9 (2011) 増大号	各号	¥4,320
	Vol. 23#11 (2011) 増大号		¥5,940
	Vol. 23#12 (2011) 増大号		¥3,780
	Vol. 24#1,2,6-8,10-12 (2012)	各号	¥3,240
	Vol. 24#4 (2012) 増大号		¥4,860
	Vol. 24#5 (2012) 増大号		¥5,940
	Vol. 24#9 (2012) 増大号		¥5,400
	Vol. 25#1,3-7,10-12 (2013)	各号	¥3,240
	Vol. 25#2 (2013) 増大号		¥4,320
	Vol. 25#8 (2013) 増大号		¥5,400
	Vol. 25#9 (2013) 増大号		¥6,480
1169	**消化器心身医学（消化器心身医学研究会）**		
	Vol. 2-9,12,13 (1995-2006) 各1号	各号	¥1,836
	Vol. 16,18,19 (2009-2012) 各1号	各号	¥3,240
1170	**消化性潰瘍 臨床と基礎（消化性潰瘍-臨床と基礎編集委員会）**		
	Vol. 15#2 (1996)		¥3,240
	Vol. 16#1,2 (1997)	各号	¥3,240
	Vol. 17#1 (1998)		¥3,240
	Vol. 18#1 (1999)		¥3,240

1171	**植物分類・地理（植物分類地理学会）**		
	Vol. 1-32,36-47 (1932-1996)	各巻	¥6,480
1172	**植物学雑誌（東京植物学会編集所）**		
	Vol. 2-10 (1878-1886)	各巻	¥19,440
	Vol. 13,16,17,20,23,25-30,33 (1888-1919) 各1-12号	各号	¥1,620
	Vol. 42-105 (1928-1992) 各1-4号	各号	¥1,620
1173	**植物研究雑誌（津村研究所）**		
	Vol. 1-56 (1916/18-1981)	各巻	¥9,720
	Vol. 64-73 (1989-1998)	各巻	¥7,776
1174	**植物の化学調節（植物化学調節学会）**		
	Vol. 1-35 (1966-2000) 各1-2号	各号	¥3,240
1175	**植物の生長調節（植物化学調節学会）**		
	Vol. 36-41 (2001-2006) 各1-2号	各号	¥4,320
1176	**植物組織培養（日本植物組織培養学会）**		
	Vol. 3-5 (1986-1988) 各1-2号	各号	¥3,780
	Vol. 6-7,9-10 (1989-1990,1992-1993) 各1-3号	各号	¥3,780
	Vol. 8#1,3 (1991)	各号	¥3,780
1177	**職業リハビリテーション（日本職業リハビリテーション学会）**		
	Vol. 7-16 (1994-2003)	各巻	¥3,240
	Vol. 17-24 (2004-2010/2011) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 25#1 (2011); Vol. 26#2 (2013)	各号	¥3,240
	Vol. 27#1-2 (2013/2014)	各号	¥3,240
	Vol. 29#1-2 (2015/2016)	各号	¥3,240
	Vol. 30#1 (2016)		¥3,240
1178	**食品衛生学雑誌（日本食品衛生学会）**		
	Vol. 31-47 (1990-2006) 各1-6号	各号	¥4,320
1179	**食品衛生研究（日本食品衛生協会）**		
	Vol. 50-53 (2000-2003) 各1-12号	各号	¥864
1180	**植生学会誌 Vegetation Science（植生学会）**		
	Vol. 13-28 (1996-2011) 各1-2号	各号	¥2,160
1181	**植生情報 Vegetation Science News（植生学会）**		
	No. 1-12 (1997-2008)	各号	¥2,160
1182	**照明学会誌（照明学会）**		
	Vol. 84-89 (2000-2005) 各1-12号	各号	¥1,080
1183	**小児外科（東京医学社）**		
	Vol. 32-41 (2000-2009) 各1-12号	各号	¥2,860
1184	**小児保健研究（日本小児保健協会）**		
	Vol. 14-16,21-24,28-30,33-34,39-65 (1995-2006) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 66-75 (2007-2016) 各1-6号	各号	¥2,160
1185	**小児科（金原出版）**		
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各1-13号	各号	¥2,700
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各増大号	各号	¥4,752
	Vol. 46-51 (2005-2010) 各増刊号	各号	¥7,560
1186	**小児看護（へるす出版）**		
	Vol. 23-32 (2000-2009) 各1-13号	各号	¥1,296
	Vol. 23-32 (2000-2009) 各増刊号	各号	¥2,592
	Vol. 33-35 (2010-2012) 各1-13号	各号	¥1,512
	Vol. 33-35 (2010-2012) 各増刊号	各号	¥2,808

1187	**小児科臨床（日本小児医事出版部）**		
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各1-12号	各号	¥2,484
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各特集号	各号	¥4,752
	Vol. 57-62 (2004-2009) 各増刊号	各号	¥6,372
1188	**小児科診療（診断と治療社）**		
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各1-12号	各号	¥2,700
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各増大号	各号	¥8,100
	Vol. 67-73 (2004-2010) 各増刊号	各号	¥10,260
1189	**小児内科（東京医学社）**		
	Vol. 36#1,7 (2004)	各号	¥4,885
	Vol. 36#2-6,8-12 (2004)	各号	¥2,695
	Vol. 37#1-11 (2005)	各号	¥2,695
	Vol. 37#12 (2005)		¥3,559
	Vol. 37#増刊号 (2005)		¥10,800
	Vol. 38#1,4,6,7,9,11,12 (2006)	各号	¥2,695
	Vol. 38#2 (2006)		¥5,657
	Vol. 38#3 (2006)		¥3,374
	Vol. 38#8 (2006)		¥4,629
	Vol. 38#増刊号 (2006)		¥12,343
1190	**小児の脳神経（日本小児神経外科学研究会）**		
	Vol. 1-34 (1976-2009) 各1-6号	各号	¥2,700
1191	**小児の精神と神経（日本小児精神神経学会）**		
	Vol. 1-35 (1960-1999) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 40 (2000) 各1-4号	各号	¥3,240
	Vol. 41 (2001) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 42-53 (2001-2013) 各1-4号	各号	¥3,240
1192	**小児リウマチ Journal of Clinical Pediatric Rheumatology（日本小児リウマチ学会）**		
	Vol. 1#1 (2008)		¥2,160
	Vol. 2#1 (2010)		¥2,160
	Vol. 3#1,2 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1 (2013)		¥2,160
1193	**小児歯科学雑誌（日本小児歯科学会）**		
	Vol. 1-7 (1963-1969) 合本製本		¥29,160
	Vol. 8-10 (1970-1972) 合本製本		¥19,440
	Vol. 11-13 (1973-1975) 合本製本		¥22,680
	Vol. 14-15 (1976-1977) 合本製本		¥19,440
	Vol. 16-17 (1978-1979) 合本製本		¥19,440
	Vol. 18-19 (1980-1981) 合本製本		¥19,440
	Vol. 20#1-4,記念号 (1982) 製本		¥16,200
	Vol. 21-27 (1983-1989) 各1-4号 製本	各巻	¥12,960
	Vol. 30#1-5,30周年記念号 (1992)	各号	¥3,240
	Vol. 31-39 (1993-2001) 各1-5号	各号	¥3,240
	Vol. 40#1,3,4 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 41#1,3,4,5 (2003)	各号	¥3,240
1194	**商店建築**		
	Vol. 49＃1,9,11,12 (2004)	各号	¥2,098
	Vol. 50#1,2,3,4,11(2005)	各号	¥2,098
	Vol. 51#5 (2006)		¥2,098
	Vol. 52#6,7,9,10,12 (2007)	各号	¥2,098
	Vol. 53#1,2,3,5,6,7,9,11 (2008)	各号	¥2,098
	Vol. 54#1,4 (2009)	各号	¥2,098

1195	**昭和学士会雑誌（昭和大学学士会）**		
	Vol. 73#1-2 (2013)	各号	¥2,160
1196	**昭和医学会雑誌（昭和大学・昭和医学会）**		
	Vol. 68#4-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 69#1-6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 70#1-6 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 71#1-6 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 72#1-6 (2012)	各号	¥2,160
1197	**Showa University Journal of Medical Sciences（昭和大学・昭和医学会・昭和大学学士会）**		
	Vol. 22#4 (2010)		¥2,160
	Vol. 23#1-4 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 24#1-4 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 25#1 (2013)		¥2,160
1198	**昭和前期文芸・同人雑誌集成（国立国会図書館所蔵）**		
	完全復刻版　全35巻　別巻・索引1巻		¥378,000
	不同調　大正14年7月～昭和3年12月		
	手帖　昭和2年3月～11月／終刊		
	大調和　昭和2年4月～昭和3年10月／終刊		
	創作月刊　昭和3年2月～昭和4年5月／終刊		
	左翼芸術　昭和3年5月　創刊号／終刊		
	星雲　昭和6年1月～9月		
	文学クオタリィ　昭和7年2月，6月／終刊		
	重光　昭和7年11月～昭和9年10月／終刊		
	人民文庫　昭和11年3月～昭和13年1月／終刊		
	赤門文学　昭和16年12月～昭和19年2月／終刊		
1199	**生薬学雑誌（日本生薬学会）**		
	Vol. 1-48 (1947-1994) 各1-4号	各号	¥2,160
1200	**手術（金原出版）**		
	Vol. 58-69 (2004-2015) 通常号	各号	¥2,916
	Vol. 58-65 (2004-2015) 臨時増刊号	各号	¥8,100
	Vol. 58-65 (2004-2015) 増大号	各号	¥4,752
1201	**周産期医学（東京医学社）**		
	Vol. 14-37 (1984-2007) 各1-12号	各号	¥2,808
	Vol. 14-37 (1984-2007) 各増刊号	各号	¥4,752
1202	**腫瘍内科 Clinical Oncology（科学評論社）**		
	Vol. 3,4,7-12 (2009-2013) 各1-6号	各号	¥2,916
	Vol. 13-18 (2014-2016) 各1-6号	各号	¥3,240
1203	**シーボルト「日本」復刻版**		
品切	全4巻および補遺1巻、日本地図1葉、図版解説(和文)		¥486,000
	Siebold, Philipp Franz von-Nippon. Archiv zur Beschreibung von Japan		
	Vollstandinger Neudruck der Urausgabe		
	Zur Erinnerung an Philipp Franz von Siebolds Erstes Wirken in Japan		
	1823-1830 in Zwei Text-und Zwei Tafelbanden Mit Einem Erganzungsba		
	Herausgegeben vom Japanisch-Hollandischen Institut Tokyo		
	Kodansha Limited Tokyo 1975		
	Textband I, page 1-715 Bound		
	Textband II, page 719-1410 Bound		
	Tableband I, page 1-210 Bound		
	Tableband II, page 211-366 Bound		
	Erganzungsband, page 1-201 Bound		
	Karte von Japanischen Reiche (Map)		
	5 volumes and Map (1823-1830) (1975)		

1204	**Skin Surgery（日本臨床皮膚外科学会）**		
	Vol. 17#1-3 (2008)	各号	¥5,400
	Vol. 18#1-3 (2009)	各号	¥5,400
	Vol. 19#1 (2010)		¥5,400
1205	**ソーシャルワーク研究（ソーシャルワーク研究所 相川書房）**		
	Vol. 24-36 (1998/99-2010/11) 各1-4号	各号	¥1,296
1206	**相談学研究（日本相談学会）**		
	Vol. 1-19 (1968-1986/1987) 各1-2号	各号	¥2,160
	※Vol. 20#1 (1988)→カウンセリング研究（日本カウンセリング学会）		
1207	**総合病院精神医学（日本総合病院精神医学会事務局）**		
	Vol. 1#1 (1989)		¥2,700
	Vol. 2-3 (1990-1991) 各1-2号	各号	¥2,700
	Vol. 4-15 (1992-2003) 各1-2号,Supplement	各号	¥2,700
	Vol. 16-20 (2004-2008) 各1-3号,Supplement	各号	¥2,700
	Vol. 21-28 (2009-2016) 各1-4号,Supplement	各号	¥2,700
	Vol. 29#1 (2017)		¥2,700
1208	**総合看護（現代社）**		
	Vol. 1-36 (1966-2001) 各1-4号	各号	¥1,225
	Vol. 40#4 (2005)		¥1,225
	Vol. 41-48 (2006-2013) 各1-4号	各号	¥1,225

1209 総合リハビリテーション（医学書院）

	Vol. 1-18 (1973-1990) 各1-12号	各号	¥2,268
	Vol. 19#1-3,5-12 (1991)	各号	¥2,268
	Vol. 19#4 (1991) 増大特集 老年者とリハビリテーション		¥5,940
	Vol. 20-22 (1992-1994) 各1-12号	各号	¥2,268
	Vol. 23#1 (1995) 理学療法-その客観的評価と作用機序		¥2,214
	Vol. 23#2 (1995) 福祉の街づくり		¥2,214
	Vol. 23#3 (1995) リハビリテーションにおける呼吸循環系		¥2,214
	Vol. 23#4 (1995) リハビリテーション・スタッフのトピックス		¥2,214
	Vol. 23#5 (1995) 慢性関節リウマチ-外科治療とその後療法		¥2,214
	Vol. 23#6 (1995) 脳卒中患者の職業復帰		¥2,214
	Vol. 23#7 (1995) 進行性疾患とリハビリテーション		¥2,214
	Vol. 23#8 (1995) 患者家族の障害受容と問題		¥2,214
	Vol. 23#9 (1995) 障害児者の口腔機能とケア		¥2,214
	Vol. 23#10 (1995) 障害者・高齢者と性の問題		¥2,214
	Vol. 23#11 (1995) 下腿義足		¥2,214
	Vol. 23#12 (1995) 脳卒中の急性期治療		¥2,214
品切	Vol. 24#1 (1996) リハビリテーションと情報		¥2,214
	Vol. 24#2 (1996) リハビリテーション医学の基礎研究:神経・筋系		¥2,214
	Vol. 24#3 (1996) リハビリテーションにおける電気刺激法		¥2,214
	Vol. 24#4 (1996) リハビリテーション・システム		¥2,214
	Vol. 24#5 (1996) リハビリテーションにおける電気生理学		¥2,214
	Vol. 24#6 (1996) 多発性脳梗塞のリハビリテーション		¥2,214
	Vol. 24#7 (1996) 精神障害者のリハビリテーション		¥2,214
	Vol. 24#8 (1996) 姿勢保持のアプローチ		¥2,214
	Vol. 24#9 (1996) 腰部脊柱管狭窄症		¥2,214
	Vol. 24#10 (1996) 障害学Update		¥2,700
	Vol. 24#11 (1996) 随意運動とその障害		¥2,214
	Vol. 24#12 (1996) 脳卒中の機能障害-評価を中心に		¥2,214
	Vol. 25#1 (1997) 装具療法再考		¥2,160
	Vol. 25#2 (1997) 内科疾患と運動療法		¥2,160
	Vol. 25#3 (1997) 不随意運動		¥2,160
	Vol. 25#4 (1997) リハビリテーション医学の基礎-骨・関節系		¥2,160
	Vol. 25#5 (1997) 痴呆のリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 25#6 (1997) 学習機能とリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 25#7 (1997) 慢性関節リウマチのリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 25#8 (1997) 中途視覚・聴覚障害のリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 25#9 (1997) 運動と健康		¥2,160
	Vol. 25#10 (1997) 中枢神経障害のリハビリテーション		¥5,940
	Vol. 25#11 (1997) リハビリテーションとpharmacology		¥2,160
	Vol. 25#12 (1997) 脳血管障害者と地域生活		¥2,160
	Vol. 26#1 (1998) 大腿切断と義足の現状		¥2,160
	Vol. 26#2 (1998) 末梢神経障害のリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 26#3 (1998) リハビリテーションと医療・保健・福祉-経済的側面..		¥2,160
	Vol. 26#4 (1998) 脳性麻痺の二次障害		¥2,160
	Vol. 26#5 (1998) リハビリテーション医学の基礎-体力		¥2,160
品切	Vol. 26#6 (1998) 前頭葉障害とリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 26#7 (1998) 骨折とリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 26#8 (1998) 痛みへの対応		¥2,160
	Vol. 26#9 (1998) 平衡機能障害		¥2,160
	Vol. 26#10 (1998) 社会リハビリテーションの実践		¥2,160
	Vol. 26#11 (1998) 歩行障害Update		¥2,160
	Vol. 26#12 (1998) 慢性期脳卒中の機能維持のために		¥2,160
	Vol. 27#1 (1999) スポーツ医学-最近の話題		¥2,160
	Vol. 27#2 (1999) 運動の効果とその理論		¥2,160
	Vol. 27#3 (1999) 訪問看護とリハビリテーション		¥2,160
	Vol. 27#4 (1999) リハビリテーション専門職種の現状と問題点		¥2,160

Vol. 27#5 (1999) 小児のリハビリテーション	¥2,160
Vol. 27#6 (1999) 脳卒中治療-最近の話題	¥2,160
Vol. 27#7 (1999) 関節拘縮と治療	¥2,160
Vol. 27#8 (1999) リハビリテーション医学の基礎-運動生理学	¥2,160
Vol. 27#9 (1999) 福祉用具と供給システム	¥2,160
Vol. 27#10 (1999) 運動失調	¥2,160
Vol. 27#11 (1999) 表面筋電図による動作解析	¥2,160
Vol. 27#12 (1999) 脳卒中の歩行障害	¥2,160
Vol. 28#1 (2000) 介護保険とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 28#2 (2000) 脳外傷のリハビリテーション	¥2,214
Vol. 28#3 (2000) リハビリテーションにおける治療法Update	¥2,214
Vol. 28#4 (2000) 不全頸髄損傷とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 28#5 (2000) 摂食・嚥下障害	¥2,214
Vol. 28#6 (2000) リハビリテーション医学の基礎-神経生理学..	¥2,214
Vol. 28#7 (2000) 職業リハビリテーションの近未来-多様な就労	¥2,214
Vol. 28#8 (2000) 整形外科治療-最近の進歩	¥2,214
Vol. 28#9 (2000) リハビリテーションの効果	¥2,214
Vol. 28#10 (2000) 排尿・排便障害とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 28#11 (2000) リハビリテーションにおける精神科的対応	¥2,214
Vol. 28#12 (2000) 脳卒中の上肢障害	¥2,214
Vol. 28#13 (2000) 増刊号 総目次・著者索引(第1巻-28巻)CD附	¥3,780
Vol. 29#1 (2001) 半側空間無視	¥2,214
Vol. 29#2 (2001) 身体障害者と高齢化	¥2,214
Vol. 29#3 (2001) 下肢骨関節症の最近の治療	¥2,214
Vol. 29#4 (2001) 痙性麻痺の治療 update	¥2,214
Vol. 29#5 (2001) リハビリテーションにおけるインフォームド・コンセント	¥2,214
Vol. 29#6 (2001) リハビリテーション工学の最近の進歩	¥2,214
Vol. 29#7 (2001) リハビリテーションにおけるリスクへの対応	¥2,214
Vol. 29#8 (2001) リハビリテーションにおけるQOL	¥2,214
Vol. 29#9 (2001) 脳性麻痺-最近の話題	¥2,214
Vol. 29#10 (2001) リハビリテーション医学におけるEBM-治療効果の・・	¥2,214
Vol. 29#11 (2001) 神経難病の在宅リハビリテーション	¥2,214
Vol. 29#12 (2001) 脳卒中の機能障害	¥2,214
Vol. 30#1 (2002) 精神障害者のリハビリテーション	¥2,214
Vol. 30#2 (2002) 廃用性筋萎縮を解明する	¥2,214
Vol. 30#3 (2002) 脊髄損傷－最近の話題	¥2,214
Vol. 30#4 (2002) 記憶障害とリハビリテーション－何を評価し，どのように	¥2,214
Vol. 30#5 (2002) リハビリテーション医学教育の新しいうねり	¥2,214
Vol. 30#6 (2002) リハビリテーション各専門領域の国際動向	¥2,214
Vol. 30#7 (2002) 体幹機能の評価と訓練	¥2,214
Vol. 30#8 (2002) 感覚障害のリハビリテーションの現状	¥2,214
Vol. 30#9 (2002) 慢性期脳卒中のリハビリテーション―現状と問題点	¥2,214
Vol. 30#10 (2002) 障害者と腰痛	¥2,214
Vol. 30#11 (2002) 増大号 新・リハビリテーション技術	¥5,940
Vol. 30#12 (2002) 障害者ケアマネジメント	¥2,214
Vol. 31#1 (2003) リハビリテーションこれまでの10年これからの10年	¥2,214
Vol. 31#2 (2003) 脳外傷の障害評価	¥2,214
Vol. 31#3 (2003) 地域リハビリテーションの現在	¥2,214
Vol. 31#4 (2003) リハビリテーション関連工学の最前線	¥2,214
Vol. 31#5 (2003) 神経因性疼痛	¥2,214
Vol. 31#6 (2003) リハビリテーション医療の費用と効果	¥2,214
Vol. 31#7 (2003) 生活習慣病と運動療法	¥2,214
Vol. 31#8 (2003) 障害と体力	¥2,214
Vol. 31#9 (2003) 障害受容における相互作用	¥2,214
Vol. 31#10 (2003) 整形外科における術後リハビリテーションの日米(欧)	¥2,214
Vol. 31#11 (2003) 社会福祉の動向とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 31#12 (2003) 片麻痺の随伴障害	¥2,214

Vol. 32#1 (2004) リハビリテーション医学における疫学	¥2,214
Vol. 32#2 (2004) 呼吸リハビリテーション	¥2,214
Vol. 32#3 (2004) 転倒の予防とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 32#4 (2004) 医療改革時代におけるリハビリテーション	¥2,214
Vol. 32#5 (2004) 各種疾患における最近の帰結研究	¥2,214
Vol. 32#6 (2004) 褥瘡最前線	¥2,214
Vol. 32#7 (2004) リハビリテーションと臨床神経生理学	¥2,214
Vol. 32#8 (2004) 関節リウマチ―最新の知見とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 32#9 (2004) 歩行訓練	¥2,214
Vol. 32#10 (2004) 骨折―最近の話題	¥2,214
Vol. 32#11 (2004) 福祉施設とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 32#12 (2004) 脳卒中―社会生活を支援する	¥2,214
Vol. 33#1 (2005) 介護保険改革をめぐって	¥2,214
Vol. 33#2 (2005) 排便障害とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 33#3 (2005) 高齢切断と義肢	¥2,214
Vol. 33#4 (2005) リスクマネジメント	¥2,214
Vol. 33#5 (2005) 手の外科の最近の進歩	¥2,214
Vol. 33#6 (2005) 精神疾患のリハビリテーション	¥2,214
Vol. 33#7 (2005) 運動療法再考	¥2,214
Vol. 33#8 (2005) 神経難病のリハビリテーション	¥2,214
Vol. 33#9 (2005) コミュニケーション障害とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 33#10 (2005) 装具－最近の話題	¥2,214
Vol. 33#11 (2005) 健康関連 QOL とリハビリテーション	¥2,214
Vol. 33#12 (2005) 脳卒中治療ガイドラインとリハビリテーション	¥2,214
Vol. 34#1 (2006) 高齢者の運動療法	¥2,268
Vol. 34#2 (2006) 歩行分析の臨床	¥2,268
Vol. 34#3 (2006) 認知症のリハビリテーション	¥2,268
Vol. 34#4 (2006) 末梢神経障害のリハビリテーション	¥2,268
Vol. 34#5 (2006) ハイリスク状態のリハビリテーションアプローチ	¥2,268
Vol. 34#6 (2006) 小児リハビリテーションの最新情報	¥2,268
Vol. 34#7 (2006) 老化と廃用―予防と治療	¥2,268
Vol. 34#8 (2006) 障害者自立支援法をめぐって	¥2,268
Vol. 34#9 (2006) スポーツ障害	¥2,268
Vol. 34#10 (2006) 医学教育改革とリハビリテーション医学	¥2,268
Vol. 34#11 (2006) 介護予防をめぐって	¥2,268
Vol. 34#12 (2006) 脳卒中治療－最近の話題	¥2,268
Vol. 35#1 (2007) 心疾患のリハビリテーション	¥2,268
Vol. 35#2 (2007) 呼吸リハビリテーション	¥2,268
Vol. 35#3 (2007) 高齢者の骨・関節疼痛疾患	¥2,268
Vol. 35#4 (2007) 地域包括支援センター	¥2,268
Vol. 35#5 (2007) 工学とリハビリテーション	¥2,268
Vol. 35#6 (2007) リハビリテーション関連職種の現状と展望	¥2,268
Vol. 35#7 (2007) メタボリックシンドローム	¥2,268
Vol. 35#8 (2007) 障害者自立支援法と補装具	¥2,268
Vol. 35#9 (2007) 脳外傷などによる高次脳機能障害の課題	¥2,268
Vol. 35#10 (2007) 増大特集 リハビリテーション医学2007 最近10年の動	¥5,400
Vol. 35#11 (2007) 上肢機能障害へのアプローチ	¥2,268
Vol. 35#12 (2007) 最近の脳卒中リハビリテーション技術	¥2,268
Vol. 36#1 (2008) リハビリテーションにおける帰結研究 脳卒中を中心に	¥2,268
Vol. 36#2 (2008) バランスと協調運動	¥2,268
Vol. 36#3 (2008) 腰痛-最近の動向	¥2,268
Vol. 36#4 (2008) リハビリテーション関連職種の卒前・卒後教育－課題と	¥2,268
Vol. 36#5 (2008) がんのリハビリテーション最前線	¥2,268
Vol. 36#6 (2008) 障害者の就労支援	¥2,268
Vol. 36#7 (2008) 筋力と筋持久力	¥2,268
Vol. 36#8 (2008) 高齢障害者の機能維持	¥2,268
Vol. 36#9 (2008) 障害者スポーツ	¥2,268

		税込価格
	Vol. 36#10 (2008) 脊髄損傷リハビリテーション−現状・課題・展望	¥2,268
	Vol. 36#11 (2008) 難病のリハビリテーション−神経筋疾患を中心に	¥2,268
	Vol. 36#12 (2008) stroke unitの10年	¥2,268
	Vol. 37#1 (2009) 高次脳機能障害治療の実践	¥2,268
	Vol. 37#2 (2009) 誤嚥性肺炎と不顕性誤嚥	¥2,268
	Vol. 37#3 (2009) 国際生活機能分類(ICF)の現状と問題点	¥2,268
	Vol. 37#4 (2009) 廃用症候群を治すには	¥2,268
	Vol. 37#5 (2009) リハビリテーション医療の質と効率	¥2,268
	Vol. 37#6 (2009) 高齢者の脊椎・脊髄疾患	¥2,268
	Vol. 37#7 (2009) 国際交流・協力	¥2,268
	Vol. 37#8 (2009) 臨床神経生理学のリハビリテーションへの応用	¥2,268
	Vol. 37#9 (2009) リハビリテーションとロボット	¥2,268
	Vol. 37#10 (2009) 障害がある人の心理とケア	¥2,268
	Vol. 37#11 (2009) 神経因性膀胱の話題	¥2,268
	Vol. 37#12 (2009) 新脳卒中治療ガイドラインを巡って	¥2,268
	Vol. 38#1 (2010) ITとリハビリテーション	¥2,268
	Vol. 38#2 (2010) 中枢神経の可塑性	¥2,268
	Vol. 38#3 (2010) 関節リウマチの治療 薬物療法を中心に	¥2,268
	Vol. 38#4 (2010) 障害児者の就学支援	¥2,268
	Vol. 38#5 (2010) 人工関節−最近の動向	¥2,268
	Vol. 38#6 (2010) 人工関節−最近の動向ケアマネジメント再考	¥2,268
	Vol. 38#7 (2010) ゴール設定に必要な予後予測	¥2,268
	Vol. 38#8 (2010) リハビリテーションと臨床心理	¥2,268
	Vol. 38#9 (2010) 各種疾患におけるリハビリテーションのエビデンス	¥2,268
	Vol. 38#10 (2010) リハビリテーションとマネジメント	¥2,268
	Vol. 38#11 (2010) BMIとリハビリテーション	¥2,268
	Vol. 38#12 (2010) リハビリテーションにおける質の評価	¥2,268
	Vol. 39#1 (2011) 再生医療―臨床応用へ向けての現状と課題	¥2,268
	Vol. 39#2 (2011) 転倒予防とリハビリテーション	¥2,268
	Vol. 39#3 (2011) 小児リハビリテーション　最近の動向	¥2,268
	Vol. 39#4 (2011) 物理療法のエビデンスとトピックス	¥2,268
	Vol. 39#5 (2011) 認知症リハビリテーションのEBM	¥2,268
	Vol. 39#6 (2011) 内科疾患の運動療法―課題と展望	¥2,268
	Vol. 39#7 (2011) 脊髄損傷−社会生活上の問題	¥2,268
	Vol. 39#8 (2011) 慢性疼痛へのアプローチ	¥2,268
	Vol. 39#9 (2011) スポーツ障害のリハビリテーション	¥2,268
	Vol. 39#10 (2011) ハイリスク状態のリハビリテーション	¥2,268
	Vol. 39#11 (2011) 運動器の10年−成果と課題	¥2,268
	Vol. 39#12 (2011) 脳卒中リハビリテーションの新しい展開	¥2,268
	Vol. 40#1 (2012) 診療報酬からみたリハ−疾患別リハ導入のその後	¥2,376
	Vol. 40#2 (2012) 重症心身障害児のリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 40#3 (2012) 東日本大震災とリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 40#4 (2012) 頸肩腕部痛へのアプローチ	¥2,376
品切	Vol. 40#5 (2012) 増大特集 リハビリテーションQ&A	¥4,860
	Vol. 40#6 (2012) ボツリヌス治療とリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 40#7 (2012) リハビリテーションにおける動作解析	¥2,376
	Vol. 40#8 (2012) リハビリテーション病棟と看護師－病棟創りへの提言	¥2,376
	Vol. 40#9 (2012) 視覚障害者のリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 40#10 (2012) 装具−最先端と臨床	¥2,376
	Vol. 40#11 (2012) 心大血管のリハビリテーション−病院から在宅・介護保	¥2,376
	Vol. 40#12 (2012) 脳卒中維持期のリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 41#1 (2013) 発達障害のリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 41#2 (2013) 呼吸リハビリテーション−新しいチーム医療の展開	¥2,376
	Vol. 41#3 (2013) 治療ガイドラインとリハビリテーション	¥2,376
	Vol. 41#4 (2013) 片麻痺上肢機能回復治療のエビデンス	¥2,376
	Vol. 41#5 (2013) 周術期リハビリテーション	¥2,376
	Vol. 41#6 (2013) 切断と義肢－最新の臨床	¥2,376

	Vol. 41#7 (2013) 精神障害のリハビリテーション		¥2,376
	Vol. 41#8 (2013) 障害児者に関わる法制度改革の動向		¥2,376
	Vol. 41#9 (2013) アンチエイジングとリハビリテーション		¥2,376
	Vol. 41#10 (2013) 診療報酬・介護保険同時改定		¥2,376
	Vol. 41#11 (2013) 障害者の社会参加と就労支援		¥2,376
	Vol. 41#12 (2013) 脳卒中急性期治療の最前線		¥2,376
	Vol. 42#1 (2014) 脳科学の進歩－最近のトピックス		¥2,484
	Vol. 42#2 (2014) 障害認定の課題と展望		¥2,484
	Vol. 42#3 (2014) 脳卒中病棟と回復期リハビリテーション病棟		¥2,484
	Vol. 42#4 (2014) 重症下肢虚血肢とリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 42#5 (2014) リハビリテーションに直結する先進医学		¥2,484
	Vol. 42#6 (2014) 神経難病とリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 42#7 (2014) 地域社会におけるリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 42#8 (2014) 医療福祉ロボット－実用化に向けて		¥2,484
	Vol. 42#9 (2014) 障害児の成長・加齢に伴う問題点		¥2,484
	Vol. 42#10 (2014) 総合病院におけるリハビリテーション 急性期を中心に		¥2,484
	Vol. 42#11 (2014) 高齢化とリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 42#12 (2014) がんのリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 43#1 (2015) 新生児リハビリテーション-NICUからの取り組み		¥2,484
	Vol. 43#2 (2015) 誤嚥性肺炎の呼吸・嚥下リハビリテーション		¥2,484
	Vol. 43#3 (2015) 脳卒中リハビリテーションのエビデンス		¥2,484
	Vol. 43#4 (2015) 脊髄損傷-最近の話題		¥2,484
	Vol. 43#5 (2015)		¥2,484
	Vol. 43#6 (2015) リハビリテーションに必要な産業医学の知識		¥2,484
	Vol. 43#7 (2015) 宇宙医学とリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 43#8 (2015) リハビリテーション工学と福祉用具開発		¥2,484
	Vol. 43#9 (2015) 地域包括ケアシステムとリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 43#10 (2015) リハビリテーション医の卒前卒後教育の現状ー専門医		¥2,484
	Vol. 43#11 (2015) 高次脳機能障害の診断とリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 43#12 (2015) 若年脳卒中患者のリハビリテーション		¥2,484
	※上記以外は医学書院 販売部		
	Vol. 44#1 (2016) 認知症予防と治療の進歩		¥2,484
	(Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
	Vol. 44#2 (2016) 脳性麻痺の歩行機能改善をめざした治療		¥2,484
	Vol. 44#3 (2016) 脳梗塞急性期治療の進歩		¥2,484
	Vol. 44#4 (2016) 地域包括ケア時代のリハビリテーション		¥2,484
	Vol. 44#5 (2016) 最新の糖尿病治療とリハビリテーション		¥2,484
1210	**総合臨牀（永井書店）**		
	Vol. 60#1,3-5,8-12 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 60#増刊 (2011) 日常診療でよくみる症状・病態		¥8,856
1211	**総合社会福祉研究（総合社会福祉研究所）**		
	No. 1-5,8,15-17 (1989-2000)	各号	¥2,160
1212	**早期大腸癌（日本メディカルセンター）**		
	Vol. 3#2 (1999)		¥2,808
	Vol. 4#6 (2000)		¥2,808
	Vol. 6#2,5 (2002)	各号	¥2,808
	Vol. 8#2,5 (2004)	各号	¥2,808
	Vol. 9-12 (2005-2008) 各1-6号	各号	¥2,808
	※Vol.13#1 (2009)→Intestine（日本メディカルセンター）		
1213	**測地学会誌（日本測地学会）**		
	Vol. 48-57 (2002-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
1214	**藻類（日本藻類学会）**		
	Vol.1-56 (1953-2008) 各1-3号	各号	¥2,160

1215	**組織培養研究 Tissue Culture Research Communications (日本組織培養学会)**		
	Vol. 4-9 (1985-1991) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 10#2 (1991)		¥3,240
	Vol. 11-15 (1992-1996) 各1-4号	各号	¥3,240
1216	**組織科学 (組織学会)**		
	Vol. 38#1,2 (2004)	各号	¥1,296
	Vol. 41#1 (2007)		¥1,296
	Vol. 44#1,2 (2010)	各号	¥1,296
	Vol. 45#2 (2011)		¥1,296
	Vol. 46#1-4 (2012/2013)	各号	¥1,296
1217	**ソシオロジ (社会学研究会)**		
	No. 11,13,14,27,31,35/36,54,55,58-172 (1955-2011)	各号	¥2,700
1218	**総合診療 (医学書院)**		
	※Vol.1-24(1991-2014)→JIM: Journal of Integrated Medicine (医学書院		
	Vol. 25#1 (2015) 動悸・息切れ-ヤバい病気の見つけ方 そして見つから		¥2,484
	Vol. 25#2 (2015) 総合医のためのスポーツ医学ベーシックス		¥2,484
	Vol. 25#3 (2015) 神経難病ケアのコペルニクス的転回		¥2,484
	Vol. 25#4 (2015) 関節が痛いんです！ ーコモンからレアものまでの診断と		¥2,484
	Vol. 25#5 (2015) 咳を聴きとり, 咳を止める		¥2,484
	Vol. 25#6 (2015) 高齢者救急の落とし穴ー紹介する時, される時		¥2,484
	Vol. 25#7 (2015) ここを知りたい！ 頭部外傷初期対応・慢性期ケア		¥2,484
	Vol. 25#8 (2015) 健診データで困ったらーこんな検査結果を持ってこら		¥2,484
	Vol. 25#9 (2015) 診断ピットフォール10選 こんな疾患,見逃していません		¥2,484
	Vol. 25#10 (2015) 感染症を病歴と診察だけで診断する! Part 2		¥2,484
	Vol. 25#11 (2015) レアだけど重要な「痛み」の原因―システム1診断学		¥2,484
	Vol. 25#12 (2015) 外来で「複数の疾患」をもつ患者を診るーマルチモビ		¥2,484
	Vol. 26#1 (2016) 妊婦・褥婦が一般外来に来たら―エマージェンシー&コ		¥2,484
	Vol. 26#2 (2016) フィジカル改革宣言！ ――診断からフォローアップま		¥2,484
	Vol. 26#3 (2016) こんな時は漢方でしょう！		¥2,484
	Vol. 26#4 (2016) ケースとクイズで総ざらい！ 街場の2型糖尿病治療		¥2,484
	Vol. 26#5 (2016) しびれるんです！―知っておくべきシビレル疾患		¥2,484
	Vol. 26#6 (2016) “賢い処方”と“ナゾ処方”		¥2,484
1219	**Species Diversity (Japanese Society of Systematic Zoology)**		
	Vol. 3-4 (1998-1999) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 5-10 (2000-2005) 各1-4号	各号	¥2,160
1220	**スポーツ歯学 (日本スポーツ歯科医学会)**		
	Vol. 1-9 (1998-2006) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 10-18 (2006/2007-2014/2016) 各1-2号	各号	¥2,160
	第18回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2007)		¥2,160
	第19回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2008)		¥2,160
	第20回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2009)		¥2,160
	第25回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2014)		¥2,160
	第26回総会・学術大会 プログラム・抄録集 (2015)		¥2,160
1221	**スポーツ方法学研究**		
	Vol. 14-20 (2001-2007) 各1号	各号	¥4,320
	Vol. 21-23 (2007/2008-2010) 各1-2号	各号	¥4,320
1222	**スポーツ健康科学研究 Vol.35～←東海保健体育科学 Vol.1～34 (東海体育学会)**		
	Vol. 1-24 (1979-2002)	各巻	¥3,240
	Vol. 25#1-2 (2003)	各号	¥3,240
	Vol. 26-35 (2004-2013)	各巻	¥3,240

1223	**ストレス科学 : 日本ストレス学会誌 (日本ストレス学会)**		
	Vol. 1-5 (1986-1990) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 6#1-2 (1991)	各号	¥2,160
	Vol. 7-8 (1992-1993) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 9-28 (1994-2011) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 29#1-3 (2014)	各号	¥2,160
1224	**ストレスと臨床 (フジメディカル出版)**		
	No. 1-26,増刊号 (1999-2006)	各号	¥1,404
1225	**Strix 日本野鳥の会研究報告 (日本野鳥の会)**		
	Vol. 1-5 (1982-1986)	各号	¥3,240
	Vol. 7-16 (1988-1998)	各号	¥3,240
	Vol. 17-26 (1999-2008)	各号	¥4,320
1226	**数学 (岩波書店)**		
	Vol. 58-65 (2006-2013) 各1-4号	各号	¥1,008
	Vol. 66#1 (2014)		¥1,008
	Vol. 66#2-4 (2014)	各号	¥1,021
	Vol. 67-69 (2015-2017) 各1-4号	各号	¥1,021
	Vol. 70#1 (2018)		¥1,021
1227	**数学セミナー (日本評論社)**		
	Vol. 10-13,17-24,27-42,47 (1971-2008) 各1-12号	各号	¥1,008
1228	**水産海洋研究 (水産海洋学会)**		
	No. 3,7-49 (1963-1985)	各号	¥2,160
	No. 50-61,67-74 (1986-2010) 各1-4号	各号	¥2,160
1229	**水産増殖 (日本水産増殖学会)**		
	Supplement no. 4-5 (1965)	各号	¥2,700
	Supplement no. 6 (1966)		¥2,700
	Supplement no. 7 (1968)		¥2,700
	Vol. 7#4 (1960)		¥2,700
	Vol. 12#1-4 (1964/65)	各号	¥2,700
	Vol. 13#1-4 (1965/66)	各号	¥2,700
	Vol. 17#1-6 (1969/70)	各号	¥2,700
	Vol. 18#2-6 (1970/71)	各号	¥2,700
	Vol. 19#1-6 (1971)	各号	¥2,700
	Vol. 20#1-6 (1972)	各号	¥2,700
	Vol. 21-48 (1973/74-2000) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 49-58 (2001-2010) 各1-4号	各号	¥2,700
	臨時増刊 11号 (2003) Index-IV Vol. 46-50		¥2,700
	臨時増刊 12号 (2009) Index-V Vol. 51-55		¥2,700
	Vol. 59#1-4 (2011)	各号	¥2,700
	Vol. 61#2-4 (2013)	各号	¥2,700

1230	**膵臓 Journal of the Japan Pancreas Society (日本膵臓学会)**		
	Vol. 19#1-4 (2004)	各号	¥3,240
	Vol. 21#3 (2006)		¥3,240
	Vol. 22#2,4-6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 22#3 (2007)		¥3,240
	Vol. 23#1,2,4-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 23#3 (2008)		¥3,240
	Vol. 24#1,2,4-6 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 24#3 (2009)		¥3,240
	Vol. 25#2,4-6 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 25#3 (2010)		¥3,240
	Vol. 26#1,2,4-6 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 26#3 (2011)		¥3,240
	Vol. 27#1,2,4,5 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 27#3 (2012)		¥3,240
1231	**駿台史学 (駿台史学会)**		
	No. 112 (2001)		¥2,160
	No. 114,116 (2002)	各号	¥2,160
	No. 122-123 (2004)	各号	¥2,160
	No. 127,129 (2006)	各号	¥2,160
	No. 130-132 (2007)	各号	¥2,160
	No. 133-134 (2008)	各号	¥2,160

1232	**Super CG :Super Car Graphic (二玄社)**		
	Super CG :Super Car Graphic No. 1 (1989)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 2 (1989)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 3 (1989)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 4 (1990)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 5 (1990)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 6 (1990)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 7 (1990)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 8 (1991)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 9 (1991)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 10 (1991)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 11 (1991)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 12 (1992)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 13 (1992)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 14 (1992)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 15 (1992)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 16 (1993)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 17 (1993)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 18 (1993)		¥2,484
	Super CG :Super Car Graphic No. 19 (1993)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 20 (1993)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 21 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 22 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 23 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 24 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 25 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 26 (1994)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 27 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 28 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 29 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 30 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 31 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 32 (1995)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 33 (1996)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 34 (1996)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 35 (1996)		¥1,944
	Super CG :Super Car Graphic No. 36 (2000)		¥3,024
	Super CG :Super Car Graphic No. 37 (2000)		¥3,024
1233	**数理科学 (サイエンス社)**		
	Vol. 44-46 (2006-2008) 各1-12号	各号	¥1,028
1234	**数理解析研究所講究録 (京都大学数理解析研究所)**		
	No,31,223,252-254,337-450,452-1616 (1967-2008)	各号	¥2,160
1235	**Synthesiology 構成学 (シンセシオロジー編集委員会)**		
	Vol. 1#4; 2#1,2; 3#1-4; 4#1-4; 5#1 (2008-2012)	各号	¥2,160
1236	**手術 (金原出版)**		
	Vol. 54-60 (2001-2006) 各1-13号	各号	¥2,700
	Vol. 54-60 (2001-2006) 各増刊号	各号	¥7,128
1237	**宗教研究 (日本宗教学会)**		
	No. 40-45,49-51,75-93,99-103,105-118,121-207 (1928-1970/71)	各号	¥1,620
	Vol. 1-13 (1924-1936) 各1-6号	各号	¥1,620
1238	**出版研究 (出版ニュース社)**		
	No. 37-41 (2006-2010)	各号	¥2,808
1239	**体液・代謝管理 Journal of Society for Researches on Body Fluid and Metabolism**		
	Vol. 16,17,18,20 (2000-2004)	各巻	¥2,160

1240	**体育の科学（杏林書院）**		
	Vol. 49-51 (1999-2001) 各1-12号	各号	¥1,026
1241	**大気環境学会誌**		
	Vol. 40#4-6 (2005)	各号	¥2,160
	Vol. 41#1-6 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 42#1,3-6 (2007)	各号	¥2,160
	Vol. 43#1-6 (2008)	各号	¥2,160
	Vol. 44#1 (2009)	各号	¥2,160
1242	**体育学研究（日本体育学会）**		
	Vol. 1 (1951/55)　製本		¥21,600
	Vol. 2 (1956/57)　製本		¥14,040
	Vol. 3 (1958/59)　製本		¥15,120
	Vol. 4 (1959/60)　製本		¥17,280
	Vol. 5 (1960/61)　製本		¥19,440
	Vol. 6 (1961/62)　製本		¥16,200
	Vol. 7 (1962/63)　製本		¥21,600
	Vol. 8 (1963/64)　製本		¥19,440
	Vol. 9 (1964/65)　製本		¥20,520
	Vol. 10 (1965/66)　製本		¥20,520
	Vol. 11 (1966/67)　製本		¥14,040
	Vol. 12 (1967/68)　製本		¥23,760
	Vol. 13 (1968/69)　製本		¥27,000
	Vol. 14 (1969/70)　製本		¥22,680
	Vol. 15 (1970/71)　製本		¥15,120
	Vol. 16 (1971/72)　製本		¥14,040
	Vol. 17-22 (1972/73-1977/78) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 23-37 (1978/79-1992/93) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 38-52 (1993/94-2007) 各1-6号	各号	¥2,160
	Vol. 53-57 (2008-2012) 各1-2号	各号	¥5,400
1243	**体力・栄養・免疫学雑誌 Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology（体力・栄養・免疫学会）**		
	Vol. 9#1-3 (1999)	各号	¥3,780
	Vol. 10#1-3 (2000)	各号	¥3,780
	Vol. 11#1-2 (2001)	各号	¥3,780
	Vol. 12#1-2 (2002)	各号	¥3,780
	Vol. 13#1-3 (2003)	各号	¥3,780
	Vol. 14#1-3 (2004)	各号	¥3,780
	Vol. 15#1,2 (2005)	各号	¥3,780
	Vol. 16#1,2 (2006)	各号	¥3,780
	Vol. 17#1,2 (2007)	各号	¥3,780
	Vol. 18#1-3 (2008)	各号	¥3,780
	Vol. 19#1 (2009)		¥3,780
1244	**体力研究（明治生命厚生事業団）**		
	No. 1-87,89-92 (1963-1996)	各号	¥3,240
1245	**蛋白質・核酸・酵素（共立出版株式会）**		
	Vol. 1-4,8-16,18-55#1 (1956-2010) 各1月-12月	各号	¥1,620
	別冊	各号	¥4,320
	増刊	各号	¥4,320
1246	**胆膵の生理機能（日本胆膵生理機能研究会）**		
	Vol. 11-21 (1995-2005) 各1号	各号	¥3,240

1247	**胆と膵（医学図書出版）**		
	Vol. 21-22 (2000-2001) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥2,700
	Vol. 23-27 (2002-2006) 各1-12号,臨時増刊号	各号	¥2,916
	Vol. 28-30 (2007-2009) 各1-12号	各号	¥3,132
	Vol. 28-30 (2007-2009) 臨時増刊特大号	各号	¥5,400
	Vol. 33#4,5,7 (2012)	各号	¥3,132
1248	**タクサ 日本動物分類学会誌**		
	No. 1-19 (1996-2005)	各号	¥2,160
1249	**TDM研究 The Japanese Journal of Therapeutic Drug Monitoring（日本TDM研究）**		
	Vol. 13, 16-19 (1996-2002) 各1-4号	各号	¥2,160
1250	**適応医学（日本適応医学会）**		
	Vol. 10#2; 11#2; 12#1,2; 13#1,2; 14#1 (2006-2010)	各号	¥3,240
1251	**てんかん研究（日本てんかん学会）**		
	Vol. 1-30 (1983-2012/13) 各1-3号	各号	¥3,240
1252	**天気**		
	Vol. 42-47 (1995-2000) 各1-12号	各号	¥2,057
	Vol. 48#1-11 (2001)	各号	¥2,057
	Vol. 49-52 (2002-2005) 各1-12号	各号	¥2,057
	Vol. 53#1,3-12 (2006)	各号	¥2,057
	Vol. 54-58 (2007-2011) 各1-12号	各号	¥2,057
	Vol. 59#1-9,11,12 (2012)	各号	¥2,057
1253	**天の水地の水（全国地下水利用対策団体連合会）**		
	No. 65-172 (1983-2011)	各号	¥2,160
1254	**ターミナルケア（三輪書店）**		
	Vol. 1-14 (1991-2004) 各1-6号	各号	¥1,620
1255	**Therapeutic Research セラピューティック・リサーチ（ライフサイエンス出版）**		
	Vol. 35#1-12 (2014)	各号	¥1,620
1256	**東方医学（日本東方医学会）**		
	Vol. 22#1-4 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 23#1,2,3/4 (2007)	各号	¥3,240
	Vol. 24-28 (2008-2012) 各1-4号	各号	¥3,240
1257	**東北アジア研究（東北大学東北アジア研究センター）**		
	No. 1-6 (1996-2001)	各号	¥2,160
1258	**東北地理（東北地理学会）**		
	Vol. 1-37,42,43 (1948/49-1991) 各1-4号	各号	¥1,080
1259	**東北理学療法学 Annual Report of the Tohoku Section of Japanese Physical Therapy Association**		
	No. 10-22 (1998-2010)	各号	¥1,080
1260	**東北理学療法学術大会 プログラム・抄録集**		
	第26回, 第27回 (2008-2009)	各号	¥2,160
1261	**東北理学療法士学会 抄録集プログラム集**		
	第19回-第20回, 第22回, 第24回, 第25回 (2001-2007)	各号	¥2,160
1262	**東北整形災害外科学会雑誌（東北整形災害外科学会）**		
	Vol. 34-52 (1990-2008) 各1-2号	各号	¥3,240
1263	**東北心理学研究（東北心理学会）**		
	No. 1-23,25 (1951-1975)	各号	¥2,160
1264	**東海大学スポーツ医科学雑誌（東海大学スポーツ医科学研究所）**		
	No. 7-15,18 (1995-2006)	各号	¥3,240
1265	**東海骨軟部腫瘍（東海骨軟部腫瘍研究会）**		
	Vol. 6-13 (1995-2002)	各巻	¥3,240

1266	**東海脊椎外科（東海脊椎外科研究会）**		
	Vol. 9-20 (1995-2006)	各巻	¥5,400
1267	**頭頸部癌（日本頭頸部癌学会）**		
	Vol. 30#3,4 (2004)	各号	¥2,700
	Vol. 31#1-4 (2005)	各号	¥2,700
	Vol. 31#Suppl. (2005)		¥2,700
	Vol. 32#1-4 (2006)	各号	¥2,700
	Vol. 32#Suppl. (2006)		¥2,700
	Vol. 33#1-4 (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 33#Suppl. (2007)	各号	¥2,700
	Vol. 34-38 (2008-2013) 各1-4号	各号	¥2,700
	Vol. 39-40 (2013-2014) 各1-4号,Suppl.	各号	¥2,700
	Vol. 41#1-3,Suppl. (2015)	各号	¥2,700
	Vol. 42#1-4,Suppl. (2016)	各号	¥2,700
1268	**頭頸部外科（日本頭頸部外科学会）**		
	Vol. 1 (1991)		¥3,240
	Vol. 2 (1992)		¥3,240
	Vol. 3#1,2 (1993)	各号	¥3,240
	Vol. 4#1,2 (1994)	各号	¥3,240
	Vol. 5#1 (1995)		¥3,240
	Vol. 6#3 (1996)		¥3,240
	Vol. 8-18 (1998-2008) 各1-3号	各号	¥3,240
	Vol. 19#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 20#1-3 (2010)	各号	¥3,240
	Vol. 21#1,2 (2011)	各号	¥3,240
	Vol. 22-25 (2012-2015) 各1-3号	各号	¥3,240
1269	**頭頸部自律神経（頭頸部自律神経研究会）**		
	Vol. 10-15,17,20,23,24 (1996-2010)	各巻	¥2,160
1270	**頭頸部腫瘍（日本頭頸部癌学会）**		
	Vol. 2 (1975)		¥2,160
	Vol. 3 (1976)		¥2,160
	Vol. 5 (1978)		¥2,160
	Vol. 6 (1979)		¥2,160
	Vol. 7 (1980)		¥2,160
	Vol. 8 (1981)		¥2,160
	Vol. 9 (1982)		¥2,160
	Vol. 11 (1984)		¥2,160
	Vol. 12 (1985)		¥2,160
	Vol. 13 (1986)		¥2,160
	Vol. 15#1,2 (1988/1989)	各号	¥2,160
	Vol. 16#1,2 (1989/1990)	各号	¥2,160
	Vol. 17#1,2 (1991)	各号	¥2,160
	Vol. 17#創立30周年記念誌 (1991)		¥3,240
	Vol. 18#1,2 (1992)	各号	¥2,160
	Vol. 19#1-3 (1993)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1-3 (1994)	各号	¥2,160
	Vol. 21#2,3 (1995)	各号	¥2,160
	Vol. 22-28 (1996-2002) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 29#1-4 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 30#1,2 (2004)	各号	¥2,160
1271	**統計数理（統計数理研究所）**		
	Vol. 1-57 (1953/54-2009) 各1-2号	各号	¥4,320

1272	**特殊教育学研究（日本特殊教育学会）**		
	Vol. 17-29 (1979/80-1991/92) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 30-37 (1992/93-1999) 各1-5号	各号	¥2,160
	Vol. 38-50 (2000-2012) 各1-6号	各号	¥2,160
1273	**東京母性衛生学会誌（東京母性衛生学会）**		
	Vol. 11-20 (1995-2004) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 26#1,Supplement1,Supplement2 (2009/2010)	各号	¥2,160
	Vol. 27#Supplement1 (2010)		¥2,160
1274	**東京矯正歯科学会雑誌（東京矯正歯科学会）**		
	Vol. 10-11 (2000-2001) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 12#1 (2002)		¥3,240
	Vol. 16-17 (2006-2007) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 18#1 (2008)		¥3,240
	Vol. 19-21 (2009-2011) 各1-2号	各号	¥3,240
	Vol. 23-25 (2013-2015) 各1-2号	各号	¥3,240
1275	**東京精神医学会誌（東京精神医学会）**		
	Vol. 6,7,9-22,24,25 (1988-2007) 各1号	各号	¥3,240
1276	**東京膝関節学会会誌（東京膝関節学会）**		
	Vol. 16-19 (1995-1998)	各巻	¥7,560
1277	**東南アジア研究（京都大学東南アジア研究センター）**		
	Vol. 1#1-4 (1963/64)	各号	¥2,160
	Vol. 2#1-4 (1964/65)	各号	¥2,160
	Vol. 3#1-5 (1965/66)	各号	¥2,160
	Vol. 4#1-5 (1966/67)	各号	¥2,160
	Vol. 5-22 (1967/68-1984/85) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 23#1-5 (1985/86)	各号	¥2,160
	Vol. 24-49 (1986/87-2011/12) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 50#1,2 (2012/13)	各号	¥2,160
	Vol. 51#1 (2013)		¥2,160
1278	**糖尿病（日本糖尿病学会）**		
	Vol. 43-55 (2000-2012) 各1-12号,Supplement	各号	¥1,296
1279	**糖尿病ケア（メディカ出版）**		
	Vol. 2-4 (2005-2007) 各1-12号	各号	¥1,944
	増刊号	各号	¥4,320
1280	**糖尿病合併症（日本糖尿病合併症学会）**		
	Vol. 13#1; 19#1; 22#1,Supplement1; 23#1,Supplement1; 24#Supplement	各号	¥2,160

1281 糖尿病診療マスター（医学書院）

Vol. 1#1 (2003) 診察の達人	¥1,944
Vol. 1#2 (2003) 検査はどこまでやるか	¥1,944
Vol. 1#3 (2003) 外来で糖尿病を治療する-治療困難な症例から学ぶ	¥1,944
Vol. 1#4 (2003) 糖尿病診療に欠かせない視点	¥1,944
Vol. 1#5 (2003) 1型と2型の違いを識る	¥1,944
Vol. 1#6 (2003) 上手なコンサルテーション	¥1,944
Vol. 2#1 (2004) インスリン治療をマスターする	¥1,944
Vol. 2#2 (2004) 血糖自己測定（SMBG）―限界から可能性へ	¥1,944
Vol. 2#3 (2004) 糖尿病外来　初診の心得十か条	¥1,944
Vol. 2#4 (2004) 診療ガイドラインをマスターする―そのPros & Cons	¥1,944
Vol. 2#5 (2004) 私はこうしている－効果的な決めゼリフ	¥1,944
Vol. 2#6 (2004) やる気を引き出す糖尿病診療　10のコツ	¥1,944
Vol. 3#1 (2005) 糖尿病―心理と行動のサイエンス	¥1,944
Vol. 3#2 (2005) 増刊号 患者満足度を高める糖尿病診療	¥3,780
Vol. 3#3 (2005) 食育から食事療法2005	¥1,944
Vol. 3#4 (2005) 経口薬治療の質を高める10のポイント―経口血糖降下	¥1,944
Vol. 3#5 (2005) 糖尿病の外科治療―糖尿病は治るのですか？	¥1,944
Vol. 3#6 (2005) 糖尿病診療の神話と事実－日常診療のなかの不確実性	¥1,944
Vol. 3#7 (2005) 研修医と糖尿病療養指導士のための実力養成講座―な	¥1,944
Vol. 4#1 (2006) 糖尿病診療のQuality of Careを向上させたい	¥2,052
Vol. 4#2 (2006) 増刊号Brush Up!CDEワンランク上の糖尿病療養指導	¥3,780
Vol. 4#3 (2006) インスリン治療のエキスパートになる-明日からの臨床に	¥2,052
Vol. 4#4 (2006) 対論　糖尿病診療	¥2,052
Vol. 4#5 (2006) 患者さんに上手に説明するための17の秘訣	¥2,052
Vol. 4#6 (2006) 糖尿病診療のエビデンス＆プラクティス―欧米のエビデ	¥2,052
Vol. 4#7 (2006) 患者さんの負担をいかに軽減するか-クリニック・病院の	¥2,052
Vol. 5#1 (2007) 手足・皮膚・顔を診る	¥2,160
Vol. 5#2 (2007) 糖尿病の虚血性心疾患にどのようにアプローチするか	¥2,160
Vol. 5#3 (2007) 悪性腫瘍を見逃さない	¥2,160
Vol. 5#4 (2007) これでわかる！糖尿病患者の感染症対策	¥2,160
Vol. 5#5 (2007) 高齢者糖尿病にどう向き合うか	¥2,160
Vol. 5#6 (2007) 医療連携の新ルール	¥2,160
Vol. 6#1 (2008) 特定健診・特定保健指導で行動変容を成功させる	¥2,160
Vol. 6#2 (2008) 見えてきたニッポン・エビデンス	¥2,160
Vol. 6#3 (2008) 見逃してはならない10のSigns & Symptoms	¥2,160
Vol. 6#4 (2008) Pros & Cons 糖尿病腎症と慢性腎臓病(CKD)	¥2,160
Vol. 6#5 (2008) 糖尿病診療の死角 フェイルセーフはどこまで可能か	¥2,160
Vol. 6#6 (2008) 糖尿病QOLのエビデンスとそれを高める工夫	¥2,160
Vol. 7#1 (2009) 薬物療法の「常識」はいまも常識？	¥2,160
Vol. 7#2 (2009) 糖尿病診療のアート 名人からコツを学ぶ	¥2,160
Vol. 7#3 (2009) 最新のデータに基づく日本人の糖尿病治療	¥2,160
Vol. 7#4 (2009) チーム医療はどこまで実現したか？	¥2,160
Vol. 7#5 (2009) 糖尿病 こころと行動のキーコンセプト	¥2,160
Vol. 7#6 (2009) タバコとアルコール　その似て非なるところ	¥2,160
Vol. 8#1 (2010) 糖尿病の病態を「見える化」してみる	¥2,160
Vol. 8#2 (2010) 1型糖尿病のトータルケア	¥2,160
Vol. 8#3 (2010) 臨床医のための実践的食事療法	¥2,160
Vol. 8#4 (2010) 糖尿病合併症とその治療に関するエポックメーキングトピ	¥2,160
Vol. 8#5 (2010) 糖尿病治療の至適HbA1cを再考する	¥2,160
Vol. 8#6 (2010) 糖尿病診療の将来展望 10Topics	¥2,160
Vol. 9#1 (2011) どうしたらやせられる？―名人の示す実例集	¥2,700
Vol. 9#2 (2011) 糖尿病外来診療とPOCT	¥2,700
Vol. 9#3 (2011) 症例徹底！糖尿病患者の心理	¥2,700
Vol. 9#4 (2011) 糖尿病治療薬の2面性―糖代謝以外の作用にも目を向	¥2,700
Vol. 9#5 (2011) 糖尿病の治療	¥2,700
Vol. 9#6 (2011) いま一度低血糖を考える	¥2,700

	Vol. 10#1 (2012) 健康食品にどう対応するか		¥2,808
	Vol. 10#2 (2012) 糖尿病合併症のこころのケア		¥2,808
	Vol. 10#3 (2012) 増刊号 Brush Up! CDE 症例から考える糖尿病療養指		¥2,808
	Vol. 10#4 (2012) 脳・心・腎連関を見逃さない		¥2,808
	Vol. 10#5 (2012) ライフステージに対応した糖尿病診療のコツ		¥2,808
	Vol. 10#6 (2012) 高血圧in糖尿病　その対策!!		¥2,808
	Vol. 10#7 (2012) 糖尿病診療のための実践的運動療法		¥2,808
	Vol. 11#1 (2013) 増大号 糖尿病治療薬アップデート 最近の進歩を知る		¥3,888
	Vol. 11#2 (2013) 各種ガイドラインを糖尿病治療に生かすには		¥2,916
	Vol. 11#3 (2013) 増刊号 Brush up！CDE　CASEで学ぶインクレチン		¥2,916
	Vol. 11#4 (2013) 増大号 2型糖尿病診療における15のコントロバシー		¥3,888
	Vol. 11#5 (2013) 糖尿病患者の健康寿命を延ばすー先手を打つ実臨床		¥2,916
	Vol. 11#6 (2013) 糖尿病医療連携－本当に必要なものは何か		¥2,916
	Vol. 11#7 (2013) 増刊号 実践的糖尿病療養指導に活かすインスリン読		¥2,916
	Vol. 11#8 (2013) 患者がわかると糖尿病がわかる！-糖尿病医療学的診		¥2,916
	Vol. 12#1 (2014)「やせたい」を科学する		¥3,888
	Vol. 12#2 (2014) 経口糖尿病治療薬		¥2,916
	Vol. 12#3 (2014) 増刊号 Brush up！CDE 糖尿病合併症事典		¥2,916
	Vol. 12#4 (2014) 糖尿病「前熟考期」の壁　あなたはどうして平気でいら		¥3,888
	Vol. 12#5 (2014) 高齢者糖尿病診療のピットフォール		¥2,916
	Vol. 12#6 (2014) 糖尿病診療に生かす連続モニタリング		¥2,916
	Vol.12#7 (2014) 増刊号 患者さんの問題解決！ 糖尿病食事療法		¥2,916
	Vol. 12#8 (2014) 糖尿病診療コラボ時代 内科と外科		¥2,916
	Vol. 13#1 (2015) 10 Topics in Diabetic Complications and Diabetes-Rela		¥2,916
	Vol. 13#2 (2015) 必携！ 糖尿病患者の意識障害		¥2,916
	Vol. 13#3 (2015) 糖尿病の臨床検査　その限界に挑戦する		¥2,916
	Vol. 13#4 (2015) 糖尿病医療学の時代　糖尿病患者のこころを支える		¥2,916
	Vol. 13#5 (2015) 糖のホメオスターシス　最近の知見		¥2,916
	Vol. 13#6 (2015) 2型糖尿病の薬物治療　Trend（かわること） and Traditi		¥2,916
	Vol. 13#7 (2015) 糖尿病診療におけるICT（Information and Communicati		¥2,916
	Vol. 13#8 (2015) 糖尿病から脳を守る		¥2,916
	Vol. 13#9 (2015) 血糖自己測定（SMBG）の課題と展望		¥2,916
	Vol. 13#10 (2015) 糖尿病は回復するだろうか Part 1ー膵β細胞機能はも		¥2,916
	Vol.13#11 (2015) 糖尿病は回復するだろうか Part 2ー腎障害は寛解する		¥2,916
	Vol. 13#12 (2015) 再生医療と創薬ー糖尿病患者のベッドサイドへ		¥2,916
	Vol. 14#1 (2016) 中断と放置ー糖尿病診療のアドヒアランスを高めるため		¥2,916
	Vol. 14#2 (2016) 元気の出る糖尿病チーム医療ーBuilding and Coordinat		¥2,916
	Vol. 14#3 (2016) 病理でガッテン！糖尿病ー患者さんをも変えるミクロ画		¥2,916
	Vol. 14#4 (2016) 糖尿病と外科ー併発症治療の最前線		¥2,916
	Vol. 14#5 (2016) インスリン製剤の種類が増えましたー再考するインスリン		¥2,916
	※上記以外は医学書院 販売部 (Tel:03-3817-5657/Fax:03-3815-7804) へお申し込み下さい		
1282	**糖尿病と妊娠 Diabetes & Pregnancy（日本糖尿病・妊娠学会）**		
	Vol. 1#1-3 (2001)	各号	¥3,240
	Vol. 2#1,2 (2002)	各号	¥3,240
	Vol. 3#1 (2003)		¥3,240
	Vol. 5#1 (2005)		¥3,240
	Vol. 6#1,2 (2006)	各号	¥3,240
	Vol. 7#1 (2007)		¥3,240
	Vol. 8#2 (2008)		¥3,240
	Vol. 9#1,2 (2009)	各号	¥3,240
	Vol. 10#1,2 (2010)	各号	¥3,240
1283	**都市住宅（鹿島出版会）**		
	No.127-217 (1978-1985)	各号	¥1,620
1284	**都市問題（東京市政調査会）**		
	Vol. 49-88 (1958-1997) 各1-12号	各号	¥681

1285	**都市清掃（全国都市清掃会議）**		
	No. 257-285 (2004-2008)	各号	¥1,955
1286	**都市と廃棄物（環境産業新聞社）**		
	Vol. 35-38 (2005-2008) 各1-12号	各号	¥1,620
1287	**図書館雑誌（日本文庫協会）**		
	Vol. 100-107 (2006-2013) 各1-12号	各号	¥1,008
1288	**到達度評価（全国到達度評価研究会編集）**		
	No. 1 (1984)		¥1,188
	No. 8 (1987)		¥1,188
	No. 9 (1987)		¥1,188
	No. 10 (1988)		¥1,188
1289	**到達度評価研究ジャーナル（京都到達度評価研究会）**		
	No. 1 (1980)		¥1,080
	No. 2 (1980)		¥1,080
	No. 3 (1981)		¥1,080
	No. 4 (1982)		¥1,080
1290	**登山医学（日本登山医学研究会）**		
	Vol. 15-18 (1995-1998) 各1号	各号	¥5,400
1291	**Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences**		
	Vol. 48#161-162 (2006)	各号	¥2,160
	Vol. 49#166 (2007)		¥2,160
	Vol. 50#167-170 (2007/2008)	各号	¥2,160
	Vol. 51#171-174 (2008/2009)	各号	¥2,160
	Vol. 52#175-178 (2009/2010)	各号	¥2,160
	Vol. 53#179-182 (2010)	各号	¥2,160
	Vol. 54#183-184,185/186 (2011)	各号	¥2,160
	Vol. 55#1-6 (2012)	各号	¥2,160
	Vol. 56#1,2,5,6 (2013)	各号	¥2,160
	Vol. 58#1,2 (2015)	各号	¥2,160
1292	**Transactions of the Operations Research Society of Japan 日本オペレーションズ・リサーチ学会和文論文誌**		
	Vol. 47-51 (2004-2008)	各巻	¥3,240
1293	**トラウマティック・ストレス（日本トラウマティック・ストレス学会）**		
	第4回トラウマティック・ストレス学会 (2005)		¥1,728
	Vol. 5#1,2 (2007)	各号	¥1,728
	Vol. 6#2 (2008)		¥1,728
	Vol. 7#1,2 (2009)	各号	¥1,728
	日本トラウマティック・ストレス学会第8回大会 (2009)		¥1,728
1294	**Tumor Research (The Cancer Research Institute Sapporo Medical University School of Medicine)**		
	Vol. 30-38 (1995-2003)	各巻	¥5,400
1295	**馬の科学（競走馬総合研究所）**		
	Vol. 41#3,6; 42#1-6; 43#1 (2004-2006)	各号	¥1,620
	Vol. 44#4; 45#1-4,5/6 (2007-2008)	各号	¥1,620
	Vol. 46#1-4; 47#1-4 (2009-2010)	各号	¥1,620
1296	**うみ（日仏海洋学会）**		
	Vol. 9-42 (1971-2004) 各1-4号	各号	¥2,700
1297	**海の研究（日本海洋学会）**		
	Vol. 1-17 (1992-2008) 各1-6,特別号	各号	¥2,160
	Vol. 18#1,2 (2009)	各号	¥2,160
	Vol. 20#1 (2011)		¥2,160
	Vol. 21#2-5 (2012)	各号	¥2,160

1298 **Venus 貝類学雑誌（日本貝類学会）**
Vol. 1-10,14-25,27-69 (1928/29-2010/11) 各no.1-4　各号　¥2,160

1299 **ウイルス（日本ウイルス学会）**
Vol. 50-54,56,60 (2000-2010) 各1-2号　各号　¥3,240

1300 **ビタミン（日本ビタミン学会）**
Vol. 87-88 (2013-2014) 各1-4,5/6,7-12号　各号　¥1,728

1301 **和漢医薬学雑誌（和漢医薬学会）**
Vol. 1-12,14-19 (1984-2002) 各1-6号　各号　¥2,160

1302 **和漢薬（ウチダ和漢薬）**
No. 589-746 (2002-2015)　各号　¥540

1303 **ウィリアム・ハーヴィ　動物発生論**
ロンドン　1651年版
Harvey, William - Exercitationes de generatione animalium
Quibus accedunt quedam de partu:
de membranis ac humoribus Uteri: & de Conceptione Londini, 1651
302 page Bound Reprint
Saikon Publishing Tokyo 1979　¥86,400

1304 **ウィリアム・ハーヴィ　動物の心臓と血液の運動に関しての解剖学的研究**
フランクフルト　1628年版
Harvey, William - Exercitatio anatomica de motu cordis et sanguinis in a
Francofurti, 1628
72 page + Figura 1-4 Bound Reprint
Saikon Publishing Tokyo 1979　¥43,200

1305 **ウィリアム・スメリー　解剖図表**
ニュールンベルグ　1758年版
Smellie, Gvilielmi M.D.
Tabvlae Anatomicae accedit Earvndem Explicatio cvm Brevi,
de Arte Obstetricia, Institvtione, ad Illvstrandvm ovem
de Eadem Illa in Pvblicvm Avctor edidit Tractatvm,
Variarvmqve Observationvm Collectionem ex Anglico Transtvlit
Georgivs Leonhartvs Hvth, M.D. in aes Incidit et Excvdit
Iohannes Michael Seeligmann
Nurnberg 1758 Bound Reprint 41 page with 39 illustrations
Saikon Publishing Tokyo 1979　¥54,000

1306 **週刊ワールド・エアクラフト : World Aircraft（デアゴスティーニ・ジャパン）**
No. 74-115 (2001)　各号　¥756
No. 116-167 (2002)　各号　¥756
No. 168-206 (2003)　各号　¥756

1307 **薬局（南山堂）**
Vol. 51-61 (2000-2010) 各1-13号　各号　¥2,052
Vol. 51-61 (2000-2010) 各増刊号　各号　¥3,240

1308 **薬物動態（日本薬物動態学会）**
Vol. 2-26 (1987-2001) 各1-6号,supplement　各号　¥2,160

1309 **薬学雑誌（日本薬報社）**
Vol. 120-128 (2000-2008) 各1-12号　各号　¥2,484

1310 **薬理と治療（ライフ・サイエンス出版）**
Vol. 28-39 (2000-2011) 各1-12号,supplement　各号　¥1,620

1311 **薬理と臨床（医薬出版）**
Vol. 12-14 (2002-2004) 各1-6号　各号　¥3,456

1312 **薬剤学（日本薬剤学会）**
Vol. 60-68 (2001-2008) 各1-6号　各号　¥1,404

1313 **山形県作業療法士会誌（山形県作業療法士会）**
Vol. 1-5 (2003-2007) 各1号　各号　¥3,240

1314	**用水と排水 Journal of Water and Waste (産業用水調査会)**		
	Vol. 49#1,3,4,6,10-12 (2007)	各号	¥1,851
	Vol. 50-53 (2008-2011) 各1-12号	各号	¥1,851
1315	**有病者歯科医療 (日本有病者歯科医療学会)**		
	Vol. 8-10 (2000-2001) 各1-2号	各号	¥2,160
	Vol. 11#1-3 (2002)	各号	¥2,160
	Vol. 12#2,3 (2003)	各号	¥2,160
	Vol. 13#1,2 (2004)	各号	¥2,160
	Vol. 21#1 (2012)		¥2,160
	Vol. 22#2 (2013)		¥2,160
1316	**有機合成化学協会誌 (有機合成化学協会)**		
	Vol. 58-70 (2000-2012) 各1-4,6-12号	各号	¥1,944
	Vol. 58-70 (2000-2012) 各5号	各号	¥3,240
1317	**雑草研究 (日本雑草防除研究会)**		
	Vol. 1-6,10-19 (1962-1975)	各巻	¥2,160
	Vol. 20-53,56-57 (1975-2012) 各1-4号	各号	¥2,160
1318	**全国看護教育研究会記 (全国看護研究会)**		
	No. 1-10,12-17,19 (1970-1987)	各号	¥2,160
1319	**全日本鍼灸学会雑誌 (全日本鍼灸学会)**		
	Vol. 1-4 (1952-1955) 各1号	各号	¥2,160
	Vol. 5-14 (1956-1965) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 15#1 (1966)		¥2,160
	Vol. 16-25 (1967-1976) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 26#1-2 (1977)	各号	¥2,160
	Vol. 27-30 (1978-1981) 各1-3号	各号	¥2,160
	Vol. 31-40 (1982-1990) 各1-4号	各号	¥2,160
	Vol. 41#1 (1991)		¥2,160
	Vol. 52#3 (2002)		¥2,160
	Vol. 54#3 (2004)		¥2,160
	Vol. 56#3 (2006)		¥2,160
	Vol. 57#3 (2007)		¥2,160
	Vol. 58#3 (2008)		¥2,160
	Vol. 59#3 (2009)		¥2,160
	Vol. 60#3 (2010)		¥2,160
1320	**Zero ゼロ ごみゼロ社会をめざす廃棄物と環境の専門誌 (オフィスゼロ)**		
	No. 141-243 (2004-2008)	各号	¥2,700